目　　次

病院の概要

組織図…… 2
幹部名簿…… 3
病院概要（病院完成への道）…… 6
収支状況表（2020年度）…… 9
科別請求額前年比（2020年度）…… 10
市町村別レセプト請求件数（2020年度）…… 11
診療実績（2020年度）…… 12
講演会などへの講師派遣一覧（2020年度）…… 13
健康づくり支援委員会出前講座実施一覧（2020年度）…… 17

医療統計

医療実績（クリニカルインディケーター）…… 20
科別退院患者数の動向…… 21
地区別退院患者数の動向…… 24
退院患者平均在院日数の動向…… 25
退院患者科別平均在院日数（2020年度）…… 26
入院患者数（2020年度）…… 28
退院患者数（2020年度）…… 30
科別・年齢別・性別退院患者数（2020年度）…… 32

疾病分類別統計

全科疾病分類別集計（2020年度）…… 36
全科疾病分類別上位頻度表（2020年度）…… 37

悪性新生物統計

部位別退院患者件数（2020年度）…… 44
年齢別患者件数（2020年度）…… 45
部位順位表　性別・年齢（2020年度）…… 46
悪性新生物による死亡患者数（2020年度）…… 50

死亡患者統計

科別死亡率（2020年度）…… 52
死亡患者数（2020年度）…… 53
死亡患者数の割合（2020年度）…… 54
年齢別死亡患者数（2020年度）…… 55
死亡患者における疾病順位表　性別・年齢…… 56

DPC統計

全科MDC２別退院患者数（2020年度） …… 60
全診療科　診断群分類別（MDC6）上位頻度表（2020年度） …… 61
入院科別　診断群分類別（MDC6）上位頻度表（2020年度） …… 67

クリニカル・パスの統計

クリニカル・パスの使用件数（2020年度） …… 74
クリニカル・パスの使用率（2020年度） …… 82
診療科別クリニカル・パスの使用率（2020年度） …… 83

臨床指標

全体臨床指標…… 88
科別臨床指標…… 89

診療局

内科（2020年度） …… 110
消化器内科（2020年） …… 110
循環器内科（2020年） …… 111
血液内科（2020年度） …… 113
腎臓内科（2020年） …… 115
呼吸器内科（2020年度） …… 117
糖尿病代謝内科（2020年度） …… 118
神経内科（2020年度） …… 119
総合診療内科（2020年度） …… 119
アレルギー・膠原病内科（2020年度） …… 120
化学療法センター（2020年度） …… 122
透析センター（2020年） …… 124
外科（2020年） …… 125
呼吸器外科（2020年） …… 127
乳腺センター（2020年度） …… 129
小児科（2020年度） …… 130
新生児科（2020年） …… 132
心臓外科（2020年度） …… 132
整形外科（2020年度） …… 134
リハビリテーション科（2020年度） …… 136
脳神経外科（2020年） …… 145
形成外科（2020年） …… 146
産婦人科（2020年） …… 147
眼科（2020年度） …… 148
耳鼻咽喉科（2020年度） …… 150
皮膚科（2020年度） …… 152

麻酔科・中央手術室（2020年度） …… 153
歯科・歯科口腔外科（2020年度） …… 156
泌尿器科（2020年） …… 158
神経精神科（2020年度） …… 160
救命救急センター（2020年度） …… 162
緩和ケアセンター（2020年度） …… 165
集中治療科（2020年度） …… 167
臨床病理科（2020年） …… 168

看護局

看護局（2020年度） …… 174
スキンケア相談室（2020年度） …… 183
訪問看護室（2020年度） …… 186
中央洗浄滅菌室（2020年度） …… 188

薬剤局

薬剤局（2020年度） …… 190

診療技術局

中央検査科（2020年度） …… 198
放射線科（2020年度） …… 201
臨床工学室（2020年度） …… 202
神経精神科（2020年度） …… 204
臨床栄養科（2020年度） …… 209
医療連携福祉相談室（2020年度） …… 211

センター等

予防医学研究センター（2020年度） …… 222
PET画像診断センター（2020年度） …… 228
入院・手術サポートセンター（2020年度） …… 229

診療支援・企画情報局

経営企画室（2020年度） …… 232
医療情報室（2020年度） …… 233

事務局

総務人事課（2020年度） …… 236
経理課（2020年度） …… 236
医事課（2020年度） …… 237

施設課（2020年度） …… 238
契約課（2020年度） …… 239
広報患者相談課（2020年度） …… 239

医療安全管理推進室

医療安全管理推進室（2020年度） …… 242

TQMセンター

TQMセンター（2020年度） …… 248

内部監査室

内部監査室（2020年度） …… 256

地域医療支援センター

地域医療支援センター（2020年度） …… 258

附属施設・併設施設

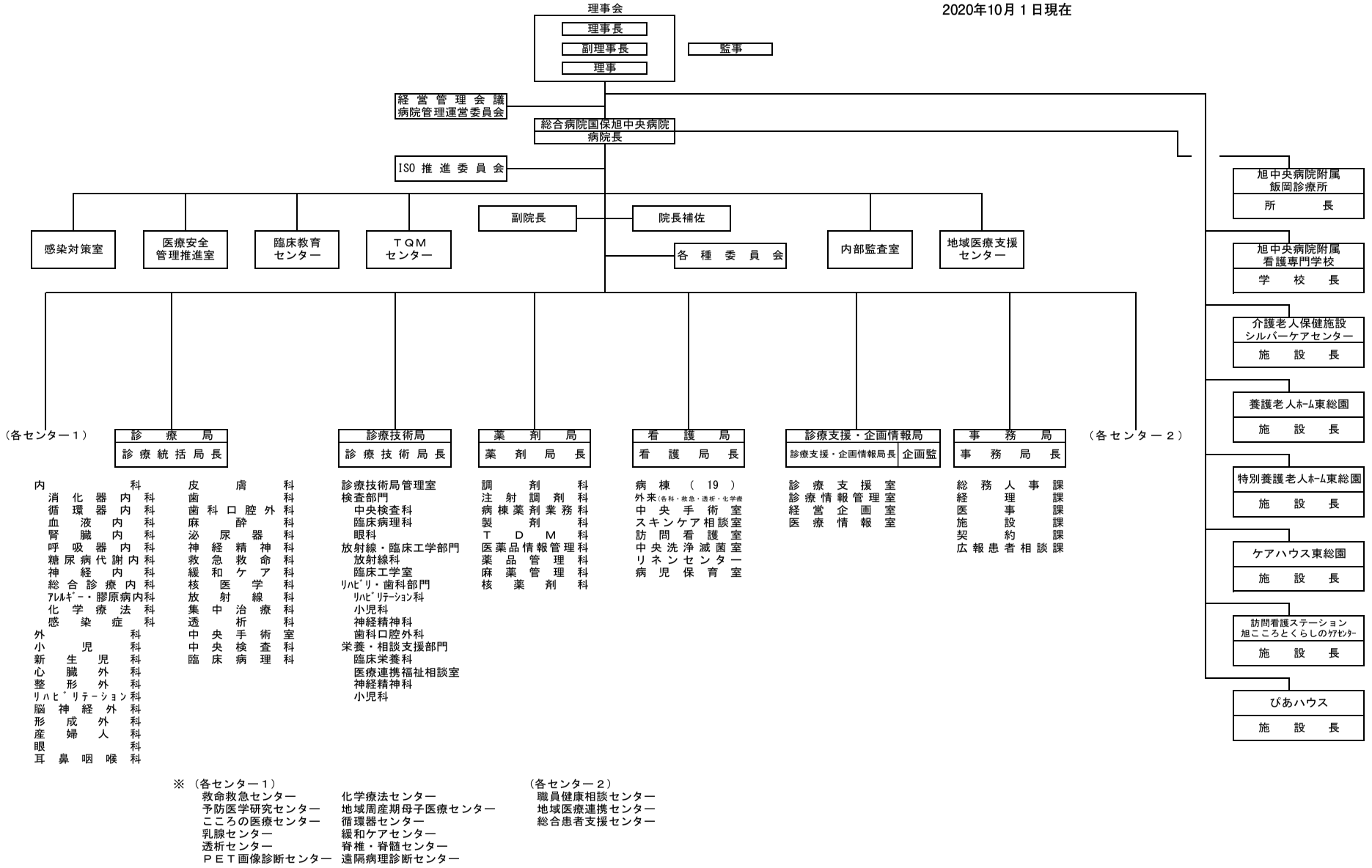
旭中央病院附属飯岡診療所（2020年度） …… 268
旭中央病院附属看護専門学校（2020年度） …… 268
介護老人保健施設シルバーケアセンター（2020年度） …… 274
養護老人ホーム東総園・特別養護老人ホーム東総園（2020年度） …… 279
ケアハウス東総園（2020年度） …… 282
訪問看護ステーション 旭こころとくらしのケアセンター（AKK）（2020年度） …… 284

病院の概要

●組織図

地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院

2020年10月１日現在



※（各センター１）

- 救命救急センター
- 予防医学研究センター
- こころの医療センター
- 乳腺センター
- 透析センター
- ＰＥＴ画像診断センター
- 化学療法センター
- 地域周産期母子医療センター
- 循環器センター
- 緩和ケアセンター
- 脊椎・脊髄センター
- 遠隔病理診断センター

（各センター２）

- 職員健康相談センター
- 地域医療連携センター
- 総合患者支援センター

●幹部名簿

2021年3月1日現在

役員

役　職	氏　名	備　考
理事長	吉　田　象　二	
副理事長	野　村　幸　博	病院長
理　事	齊　藤　陽　久	特任医師
理　事	渡　邉　三　郎	特任医師
理　事	塩　尻　俊　明	副院長
理　事	川　副　泰　成	副院長
理　事	紫　村　治　久	院長補佐
理　事	大　塚　玲　子	看護局長
理　事	菅　谷　敏之史	事務局長
理　事（非常勤）	高　林　克日己	千葉大学名誉教授
理　事（非常勤）	加　瀬　寿　一	元旭市副市長
監　事	向　後　　剛	弁護士
監　事	髙　根　雅　人	税理士

病院幹部（部長職以上）

氏　名	役　職
野　村　幸　博	病院長　兼　診療統括局長
塩　尻　俊　明	副院長　兼内科主任部長 兼総合診療内科部長 兼教育研修部長 兼臨床教育センター長 兼訪問看護室長
中　津　裕　臣	副院長　兼泌尿器科主任部長 兼感染対策室長 兼中央手術室長 兼総合患者支援センター長 兼入院・手術サポートセンター長
神　田　順　二	副院長　兼循環器内科主任部長 兼循環器センター長
川　副　泰　成	副院長　兼地域精神保健センター長
志　村　謙　次	副院長　兼消化器内科主任部長 兼救命救急センター部長
髙　橋　　功	副院長　兼救急救命科主任部長 兼救命救急センター長
糸　林　　詠	副院長　兼消化器画像診断部長 兼医療安全管理推進室長
本　多　昭　仁	院長補佐　兼小児科主任部長
古　屋　隆　俊	院長補佐　兼血管外科部長 兼スキルセンター長
鈴　木　良　夫	院長補佐　兼臨床病理科部長
宮　内　義　浩	院長補佐　兼腎臓内科部長 兼透析センター部長
紫　村　治　久	院長補佐　兼飯岡診療所長 兼消化器内視鏡部長 兼予防医学研究センター参与 兼医療連携福祉相談室長
平　野　　稔	院長補佐　兼乳腺外科部長 兼乳腺センター長
北　澤　克　彦	院長補佐　兼小児科小児総合診療部長
中　村　　朗	院長補佐　兼化学療法科部長 兼化学療法センター長 兼感染症科部長 兼救命救急センター部長

渡　邊　　隆	院長補佐　兼透析科部長 兼透析センター長
小　林　康　祐	院長補佐　兼産婦人科主任部長 兼地域周産期母子医療センター長
永　井　元　樹	院長補佐　兼外科主任部長
青　木　　勉	院長補佐　兼神経精神科主任部長 兼ぴあハウス施設長
杉　山　　宏	院長補佐　兼整形外科主任部長 兼救命救急センター部長
松　本　　弘	院長補佐　兼新生児科主任部長 兼地域周産期母子医療センター部長
磯　貝　　純	院長補佐　兼放射線科（診断部門）主任部長
大　屋　　滋	脳神経外科主任部長
蛇　澤　　晶	臨床病理科部長
本　田　亮　一	呼吸器内科部長
持　田　英　俊	脳神経外科部長
小　錢　健　二	麻酔科部長
石　井　昭　広	中央検査科部長事務取扱　兼輸血部部長
鈴　木　規　之	泌尿器科部長
大　江　恭　司	麻酔科部長　兼集中治療科部長 兼救命救急センター部長
青　野　光　夫	麻酔科部長
齋　藤　義　之	緩和ケア科部長
大　塚　祐　司	神経精神科部長
加々美　新一郎	アレルギー・膠原病内科部長　兼アレルギー・リウマチセンター長
櫛　田　俊　一	循環器内科部長　兼循環器センター部長
新　籾　正　明	整形外科部長
内　野　正　人	救急救命科部長　兼救命救急センター部長
八重樫　　優子	産婦人科部長　兼地域周産期母子医療センター部長
山　本　哲　史	心臓外科部長
仙　田　昌　義	小児科部長
窪　田　　学	消化器内科部長
太　田　禎　久	リハビリテーション科部長
川　村　剛　以	整形外科部長
小　林　一　貴	糖尿病代謝内科部長
島　　敬　之	泌尿器科部長
糟　谷　美有紀	救急救命科部長　兼救命救急センター副センター長
田　中　優　子	乳腺外科部長　兼乳腺センター部長
太　田　さや子	放射線科（治療部門）部長
平　林　和　也	麻酔科主任部長
伊　藤　史　生	救急救命科部長　兼救命救急センター副センター長
小　林　宏　伸	小児科部長
磯　野　友　厚	神経精神科部長
網　谷　兆　康	泌尿器科部長
山　内　友　規	整形外科部長
野　本　洋　平	眼科部長
田　中　宏　明	血液内科部長
宮　地　浩太郎	循環器内科部長

小　林　　誠	神経内科部長
野　坂　英　樹	救急救命科部長　兼救命救急センター部長
中　野　倫　代	皮膚科部長
大　戸　弘　人	耳鼻咽喉科部長
秋　葉　正　一	歯科口腔外科参与
古　川　惠　一	感染症センターセンター長
深　山　正　久	遠隔病理診断センターセンター長
鳥井原　　彰	ＰＥＴ画像診断センターセンター長　兼核医学科部長
冨　樫　順　一	外科部長
樋　口　正　美	消化器内科部長
山　本　邦　厚	脳神経外科部長
村　上　信　乃	名誉院長　兼介護老人保健施設長 兼ケアハウス施設長
伊良部　徳　次	附属看護専門学校長　兼内科顧問 兼透析センター顧問 兼診療報酬担当顧問
浅　田　　学	老人ホーム施設長
齊　藤　陽　久	特任医師　兼呼吸器内科主任部長 兼診療支援・企画情報局長 兼医療情報室長 兼診療情報管理室長 兼ＴＱＭセンター長
渡　邉　三　郎	特任医師　兼臨床研究支援センター長
岡　　龍　弘	特任医師
大　塚　玲　子	看護局長
浅　井　秀　樹	診療技術局長
川　島　美智子	薬剤局長
菅　谷　敏之史	事務局長
河　口　成　富	訪問看護ステーション旭こころとくらしのケアセンター施設長

●病院概要（病院完成への道）

――我が病院のあゆみとめざすもの――

地方独立行政法人　総合病院　国保旭中央病院理事長

1［病院の歴史］

地域住民の健康を自らの手で守り、国の皆保険制度実現に協力するため、旭町他８ヶ町村（現旭市）は 1953（昭和 28）年３月１日、国保旭中央病院を開院した。2005（平成 17）年７月１日の旭市・飯岡町・海上町・干潟町の合併により、旭市立病院となった。2016（平成 28）年４月１日より地方独立行政法人へ移行した。

開院当時は、病床数 113 床（一般 35 ／結核 78）、診療科目４科（内科／外科／産婦人科／小児科）、全職員 45 名、うち医師８名、敷地面積 6,600㎡、建物面積 2,375㎡であった。

その後、増改築工事を重ね、近年では 1993（平成 5）年９月、各病棟・外来棟の大改造、1996（平成 8）年 11 月、救命救急センター増築、1999（平成 11）年３月、１号館（1 ～４Ｆ外来棟／５～７Ｆ病棟／屋上庭園）完成、11 月、基幹災害医療研修センター（1 Ｆ資料館／２～４Ｆ診療録管理室／５Ｆ災害医療研修施設）完成、2002（平成 14）年３月、附属飯岡診療所移転新築、2004（平成 16）年 10 月、PET 画像診断センターの新築を行ってきた。

こうした拡張の結果、①患者動線悪化 ②老朽建物の増加 ③耐震性の確保の問題 が生じ、新本館の建設を含む再整備事業（2006 ～ 2012 年度）に着手した。2009（平成 21）年 12 月には、放射線治療棟がオープンした。2011（平成 23）年３月に、地上 12 階建ての免震構造による待望の新本館が完成した。2012（平成 24）年３月には、地域医療再生計画に基づき、地域医療支援センターが開設された。現在の病床数は 989 床、全職員 2,162 名（常勤職員）、うち医師 280 名（研修医を含む）・看護師 956 名（人員 2021 年３月１日現在）、敷地面積 189,363㎡、建物延床面積 176,079㎡となっている。更に職員の住環境の改善を図るため 2015（平成 27）年２月に医師マンション A（104 戸）、2020（令和 2）年４月に新看護師宿舎（166 戸・保育所併設）を整備した。

2［診療科目・40 科］

内科	消化器内科	循環器内科	呼吸器内科	血液内科	腎臓内科	糖尿病代謝内科	神経内科
感染症内科	化学療法内科	人工透析内科	アレルギー科	リウマチ科	緩和ケア内科	消化器内視鏡内科	小児科
新生児内科	外科	血管外科	乳腺外科	呼吸器外科	消化器外科	心臓外科	整形外科
脳神経外科	形成外科	産婦人科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	リハビリテーション科
麻酔科	歯科	歯科口腔外科	神経精神科	放射線科	救急科	臨床検査科	病理診断科

3［病床数／患者数］患者数：2021 年２月実績

（許可） 病床数 ９８９床	一般７６３床	内　ＮＩＣＵ（新生児特定集中治療室管理施設）　９床 小児入院医療管理病棟（２）　４５床 救命救急センター（救命救急入院施設）　３０床 特定集中治療室　４床 緩和ケア病棟　２０床
	精神２２０床	内　精神科救急病棟　４２床
	感染　６床	第二種感染症指定医療機関

	外　来	入　院	
１日平均患者数	２，４３１名	７３３名	外来：日帰りドック７名／日含む
１ヶ月新患者数	６，３９０名	１，４０６名	

	一　般	精　神	感　染	全　科
平均在院日数	１２．９日	７４．３日	０日	１３．４日
(除外有)	１３．７日	１５４．０日	０日	１４．０日
稼動病床利用率	９１．０％	７６．７％	０％	８９．４％

□ 入院基本料　　（急性期一般入院料１）

□ 稼動病床数　一般７６３床　精神４２床　感染６床

4［診療圏］

千葉県東部及び茨城県鹿島地区を含む東南部の１３市７町。　診療圏人口 約１００万人。

５［地理的環境］

千葉県東部（東総地区）にあり、上記 13 市７町は病院を中心に半径 30 ｋｍ以内に入る。病院は東京駅より特急又は高速バスで約１時間半、千葉駅からは特急で１時間。総武本線旭駅より 1,500 m、病院に近接して高速バス・院内に千葉交通バス・各市町のコミュニティバス・病院シャトルバス（旭駅と病院間に１日 16 往復の専用無料バス）の停留所がある。

６［病院の特徴］

（１）専門医・認定医の教育病院、施設認定等

□内科学会	□消化器病学会	□呼吸器学会	□外科学会	□消化器外科学会	□麻酔科学会
□整形外科学会	□形成外科学会	□脳神経外科学会	□リウマチ学会	□産科婦人科学会	□小児科学会
□泌尿器科学会	□眼科学会	□耳鼻咽喉科学会	□皮膚科学会	□緩和医療学会	□核医学会
□歯科麻酔学会	□ペインクリニック学会	□病理学会 (A ランク)	□救急医学会	□医学放射線学会	□病院総合診療医学会
□透析医学会	□消化器内視鏡学会	□腎臓学会	□循環器学会	□精神神経学会	□神経学会
□集中治療医学会	□臨床細胞学会	□胆道学会	□乳癌学会	□口腔外科学会	□顎顔面インプラント学会
□超音波医学会	□脳卒中学会	□血液学会	□静脈経腸栄養学会	□リハビリテーション医学会	□心血管インターベンション治療学会
□糖尿病学会	□内分泌外科学会	□甲状腺外科学会	□人間ドック学会	□不整脈心電学会	□周産期・新生児医学
□消化管学会	□肝胆膵外科学会	□認知症学会	□急性血液浄化学会	□アレルギー学会	□有病者歯科医療学会
□ IVR 学会	□栄養代謝学会	□脊椎脊髄病学会			

□心臓リハビリテーション学会　□肝臓学会　□呼吸器外科専門医合同委員会　□成人白血病治療共同研究機構
□心臓血管外科専門医認定機構　□栄養療法推進協議会　□乳房オンコプラスティックサージャリー学会
□ステントクラフト実施基準管理委員会　□がん治療認定医機構　□マンモグラフィ検診精度管理中央委員会
□経カテーテル的大動脈弁置換術関連学会協議会　□一次脳卒中センター　□地域がん診療連携拠点病院　□基幹災害拠点病院
□ DMAT 指定医療機関　□救命救急センター　□小児救急医療拠点病院　□救急告示病院　□第二種感染症指定医療機関
□エイズ治療拠点病院　□地域医療支援病院　□地域難病相談支援センター　□地域周産期母子医療センター
□認知症疾患医療センター　□地域リハビリテーション広域支援センター　□生活保護法指定医療機関
□結核指定医療機関　□原子爆弾被爆者一般疾病医療機関　□未熟児養育医療担当機関
□難病患者指定医療機関　□千葉県肝炎治療特別促進事業指定医療機関　□千葉県肝疾患専門医療機関
□指定小児慢性特定疾病医療機関　□千葉県特定不妊治療実施医療機関　□精神科指定通院医療機関
□精神科指定病院（措置入院・応急入院）　□身体疾患合併症対応協力病院　□地域包括医療・ケア認定施設
□精神科救急医療施設（基幹病院・輪番病院）　□千葉県精神障害者地域移行・地域定着協力病院　□難病医療協力病院
□千葉県肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関　□千葉県アレルギー疾患地域基幹病院
□高次脳機能障害支援普及事業地域支援拠点機関　□母体保護法指定医師研修機関　□外国医師・歯科医師の臨床修練指定病院
□厚生労働省臨床研修指定・協力病院 (医科 / 歯科) □ NCD 施設　□人間ドック健診施設機能評価 (Ver3.0 認定第 374 号)
□ ISO9001:2015　□ ISO15189:2012　□日本医療機能評価機構認定：(3rdG:ver.1.1)・救急・緩和ケア (認定第 GB24 － 3 号)

□ DPC 特定病院群（2020 年 4 月現在）□総合入院体制加算１　□救命救急入院料３　□特定集中治療室管理料４
□新生児特定集中治療室管理料２　□新生児治療回復室入院医療管理料　□小児入院医療管理料２　□緩和ケア病棟入院料１
□精神科救急入院料１　□短期滞在手術基本料１　□内視鏡手術用支援機器を用いる手術（ダ・ヴィンチ手術）
□経カテーテル大動脈弁置換術（TAVI）　□強度変調放射線治療（IMRT）　□検体検査管理加算Ⅳ　□病理診断管理加算２　等

医師の生涯教育研修の場として地域医療研修センター、研修医の為の研修医センターを持ち、医学・病院関係の資料を多数展示する医学資料館を有する。

（２）この 67 年間当院で研修し、東大・千葉大・医歯大・筑波大・自治医大等の教授になった方や、病院長になった方も多数輩出している。

（３）中央手術室は 2011 年５月より 15 室に増室（～４月までは 12 室）。手術室内での手術件数は、年間 8,462 件。

（４）一般病棟入院基本料は急性期一般入院料１（看護配置７対１）を取得

（５）大部屋の病室でも全て１床当り 8㎡以上ありアメニティーのよいこと。

（６）臨床と病理の照合、結びつきを重視している。

2016（平成 28）年度　95 体　7.1%	2017（平成 29）年度　120 体　8.7%
2018（平成 30）年度　96 体　7.5%	2019（令和元）年度　87 体　7.0%

（７）医師については学閥がない。多数の国立・公私立大学より人材を得ている。

（８）一次～三次の救急患者（2019（令和元）年度 44,537 名／即時入院月平均 594 名／うち開業医等よりの紹介依頼 3,030 名）に対して、常時 24 時間応需の救命救急センター（S ランク）を持ち、敷地内にヘリポートあり。

（９）駐車場が広い、外来者用 1,331 台（身体障害者用 21 台含む）。

（10）患者さんからの贈り物、お礼を戴かない。

（11）看護専門学校（３年制 180 名）、養護・特別養護老人ホーム（各 50 名収容）、ケアハウス（40 名収容）、介護老人保健施設（100 名収容）を併設。
（12）地域周産期母子医療センター、循環器センター、PET 画像診断センター、予防医学研究センター、附属飯岡診療所、訪問看護ステーション、院内病弱小・中学級をもつ。
（13）全医師が病院の敷地内又は近接地に居住。（医師 288 名、看護師 441 名、看護学生 96 名収容の宿舎あり）
（14）労働組合はないが労使協調している。

7［医療に対するビジョン］～初代諸橋芳夫病院長が掲げた以下のような目標を私共職員一同は今後も継承してゆきます～
（１）経済性と公共性をともに発揮し、医学的にも経済的にも社会的にも適正な、云わばその地域での模範的包括医療をする。
（２）病を治すのではなく、病人を癒す。温かさ、思いやりの心が必要。
（３）医学的に正しく、早く、安く、親切に治療する。
（４）病気は治って喜ばれ、不幸にして亡くなってもそのご家族によい病院を選んだと感謝される病院、更に死後剖検をさせて頂き死因を究明し、医学医術の進歩に寄与し、医師の反省、研修の糧にさせて頂く。また、ご家族に死因を正しくお伝えし満足して頂く事のできる病院でありたい。
―医師及び看護師を始めとする全職員と患者さん側との信頼関係が良くてはじめて可能―
（５）国内、国際学会に参加し、論文の発表に努める。
（６）日進月歩の医学を身につけ、医の倫理の高揚に努める。
（７）医師を始めとする病院職員は患者さんの為、国民の為にあるのであって病院及び職員の為に患者さんがあるのではない。
（８）医師を始めとする病院職員は健康な人を一層健康にし、病気の早期発見に努め、病気又は怪我の人を一日も早く治し社会復帰させてあげることに生き甲斐を感ずる。
（９）公的医療機関は民間の医療機関の対応できない高度・不採算医療、土日祝日、年末年始を含め 24 時間無休の救急医療等を受け持つ事は当然。
（10）経営主体は違っても全ての医療機関と協力し、患者さんを中心に有機的に結びつくよう病診・病々連携に力を入れる。
（11）病院の医療評価を高めるよう、また安全管理に努め地域住民に信頼される病院になるよう全職員が努力する。
（12）地域の方々より選ばれ、且つ職員の働き甲斐のある病院とする。
（13）日本の移植医療の発展に積極的に寄与する。

【2021 年３月１日現在】作成：総務人事課

●収支状況表（2020年度）

（税抜き処理）　（単位：千円）

	A) 2019年度決算	B) 2020年度予算	C) 2020年度決算	執行率 C)/B)	E) C)2020年度決算 −A)2019年度決算	F) C)2020年度決算 −B)2020年度予算
総収益	38,643,875	39,634,256	39,663,792	100.1%	1,019,917	29,536
営業収益	38,095,220	39,059,465	39,118,042	100.1%	1,022,822	58,577
医業収益	34,071,583	35,790,099	34,143,008	95.4%	71,425	▲ 1,647,091
入院収益	19,853,245	20,722,620	20,170,535	97.3%	317,290	▲ 552,085
外来収益	13,339,883	14,170,666	13,239,074	93.4%	▲ 100,809	▲ 931,592
その他医業収益	952,693	978,834	838,122	85.6%	▲ 114,571	▲ 140,712
介護保険事業収益	24,182	23,690	21,880	92.4%	▲ 2,302	▲ 1,810
保険等査定減	▲ 98,420	▲ 105,711	▲ 126,604	--	▲ 28,184	▲ 20,893
運営費負担金収益（営業）	1,869,658	1,875,921	2,019,958	107.7%	150,300	144,037
運営費交付金収益（営業）	588,437	0	0	--	▲ 588,437	0
補助金等収益（営業）	134,068	114,236	1,697,440	1485.9%	1,563,372	1,583,204
資産見返負債戻入	354,408	206,858	219,004	105.9%	▲ 135,404	12,146
寄附金収益（営業）	0	0	0	--	0	0
看護学校事業収益	146,863	144,482	152,485	105.5%	5,622	8,003
老人保健施設事業収益	536,522	532,121	526,116	98.9%	▲ 10,406	▲ 6,005
養護老人ホーム事業収益	88,055	90,785	69,862	77.0%	▲ 18,193	▲ 20,923
特別養護老人ホーム事業収益	188,897	186,209	178,715	96.0%	▲ 10,182	▲ 7,494
ケアハウス事業収益	63,467	63,077	63,963	101.4%	496	886
訪問看護ステーション事業収益	53,261	55,677	47,490	85.3%	▲ 5,771	▲ 8,187
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ事業収益	0	0	0	--	0	0
営業外収益	548,655	574,791	538,287	93.6%	▲ 10,368	▲ 36,504
運営費負担金収益（営業外）	223,923	271,912	209,208	76.9%	▲ 14,715	▲ 62,704
寄附金収益（営業外）	100	0	2,165	--	2,065	2,165
財務収益	1,629	1,100	1,186	107.8%	▲ 443	86
その他営業外収益	323,003	301,779	325,728	107.9%	2,725	23,949
臨時利益	0	0	7,463	--	7,463	7,463
引当金戻入益	0	0	7,463	--	7,463	7,463
その他臨時利益	0	0	0	--	0	0

	A) 2019年度決算	B) 2020年度予算	C) 2020年度決算	執行率 C)/B)	E) C)2020年度決算 −A)2019年度決算	F) C)2020年度決算 −B)2020年度予算
総費用	38,251,341	39,566,159	39,103,892	98.8%	852,551	▲ 462,267
営業費用	37,854,661	38,995,137	38,589,776	99.0%	735,115	▲ 405,361
医業費用	32,435,235	33,453,374	33,287,996	99.5%	852,761	▲ 165,378
給与費（医業）	14,455,381	14,871,507	14,758,175	99.2%	302,794	▲ 113,332
材料費（医業）	10,772,857	10,915,980	11,154,677	102.2%	381,820	238,697
経費（医業）	4,157,395	4,256,664	3,925,972	92.2%	▲ 231,423	▲ 330,692
減価償却費（医業）	2,719,541	2,971,510	3,097,566	104.2%	378,025	126,056
資産に係る控除対象外消費税償却	173,852	199,470	254,400	127.5%	80,548	54,930
研究研修費	156,208	238,243	97,206	40.8%	▲ 59,002	▲ 141,037
一般管理費	4,272,945	4,291,641	4,123,100	96.1%	▲ 149,845	▲ 168,541
給与費（一般）	2,150,872	2,242,520	2,165,651	96.6%	14,779	▲ 76,869
経費（一般）	1,903,507	1,769,122	1,641,373	92.8%	▲ 262,134	▲ 127,749
減価償却費（一般）	218,431	279,863	315,940	112.9%	97,509	36,077
時の経過による資産除去債務の調整額	135	136	135	99.3%	0	▲ 1
看護学校事業費用	187,320	219,321	188,177	85.8%	857	▲ 31,144
老人保健施設事業費用	529,191	562,255	542,093	96.4%	12,902	▲ 20,162
養護老人ホーム事業費用	125,387	122,373	134,986	110.3%	9,599	12,613
特別養護老人ホーム事業費用	196,694	222,114	208,058	93.7%	11,364	▲ 14,056
ケアハウス事業費用	53,822	64,396	50,567	78.5%	▲ 3,255	▲ 13,829
訪問看護ステーション事業費用	54,067	59,663	54,799	91.8%	732	▲ 4,864
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ事業費用	0	0	0	--	0	0
営業外費用	393,894	369,163	366,077	99.2%	▲ 27,817	▲ 3,086
財務費用	387,917	369,163	363,186	98.4%	▲ 24,731	▲ 5,977
雑損失	5,977	0	2,891	--	▲ 3,086	2,891
臨時損失	2,785	201,859	148,039	73.3%	145,254	▲ 53,820
固定資産除却損	2,785	134,698	39,305	29.2%	36,520	▲ 95,393
減損損失	0	67,161	108,734	161.9%	108,734	41,573
過年度損益修正損	0	0	0	--	0	0
その他臨時損失	0	0	0	--	0	0
当期純損益	392,534	68,097	559,900	822.2%	167,366	491,803

	A) 2019年度決算	B) 2020年度予算	C) 2020年度決算	執行率 C)/B)	E) C)2020年度決算 −A)2019年度決算	F) C)2020年度決算 −B)2020年度予算
営業損益	240,559	64,328	528,266	821.2%	287,707	463,938
医業損益	1,636,348	2,336,725	855,012	36.6%	▲ 781,336	▲ 1,481,713

	A) 2019年度決算	B) 2020年度予算	C) 2020年度決算	執行率 C)/B)	E) C)2020年度決算 −A)2019年度決算	F) C)2020年度決算 −B)2020年度予算
資本的収入	2,379,750	1,091,117	500,546	45.9%	▲ 1,879,204	▲ 590,571
長期借入金	2,337,000	1,088,000	340,000	31.3%	▲ 1,997,000	▲ 748,000
その他資本的収入	0	0	0	--	0	0
補助金	42,750	3,117	160,546	5150.7%	117,796	157,429

	A) 2019年度決算	B) 2020年度予算	C) 2020年度決算	執行率 C)/B)	E) C)2020年度決算 −A)2019年度決算	F) C)2020年度決算 −B)2020年度予算
資本的支出	7,256,584	4,097,565	3,656,069	89.2%	▲ 3,600,515	▲ 441,496
工事費	2,005,943	272,211	524,422	192.7%	▲ 1,481,521	252,211
工事費	2,005,943	272,211	524,422	192.7%	▲ 1,481,521	252,211
建設改良費	3,643,663	2,044,500	1,350,793	66.1%	▲ 2,292,870	▲ 693,707
土地	0	0	0	--	0	0
建物	0	60,000	0	0.0%	0	▲ 60,000
構築物	10,000	188,000	26,847	14.3%	16,847	▲ 161,153
器械備品	1,418,813	1,238,000	902,551	72.9%	▲ 516,262	▲ 335,449
車両運搬具	16,047	14,000	6,743	48.2%	▲ 9,304	▲ 7,257
開発費（ソフトウエア）	2,198,803	544,500	414,652	76.2%	▲ 1,784,151	▲ 129,848
その他	0	0	0	--	0	0
償還金	1,584,610	1,778,943	1,778,943	100.0%	194,333	0
移行前地方債償還金	1,413,624	1,357,977	1,357,977	100.0%	▲ 55,647	0
長期借入金償還金	170,986	420,966	420,966	100.0%	249,980	0
その他資本的支出	22,368	1,911	1,911	100.0%	▲ 20,457	0
リース債務	22,368	1,911	1,911	100.0%	▲ 20,457	0

●科別請求額前年比(2020年度)

(単位＝千円)

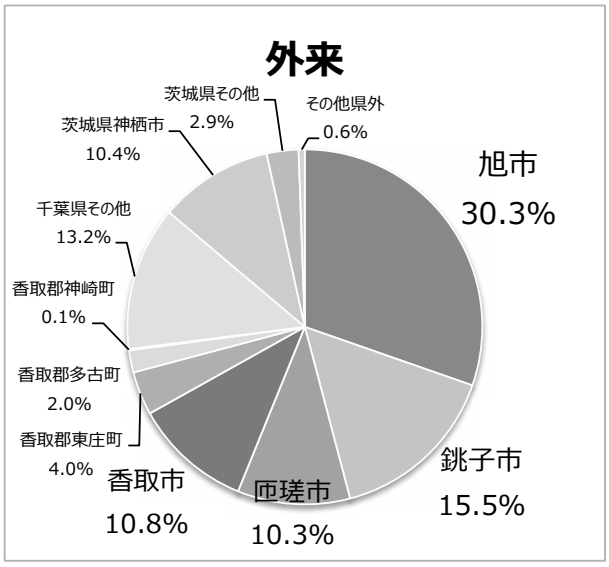
科別	外・入別	2019年度 令和元年度	2020年度 令和2年度	%	科別	外・入別	2019年度 令和元年度	2020年度 令和2年度	%
内科	外来件数	140,511	132,432	94.3	新生児科	外来件数	6	4	66.7
	入院件数	11,426	11,739	102.7		入院件数	580	682	117.6
	外来金額	6,978,744	6,741,598	96.6		外来金額	156	235	150.6
	入院金額	8,600,584	9,574,500	111.3		入院金額	515,539	629,148	122.0
	合計金額	15,579,328	16,316,098	104.7		合計金額	515,695	629,383	122.0
外科	外来件数	18,864	18,160	96.3	脳神経外科	外来件数	8,370	7,637	91.2
	入院件数	2,685	2,682	99.9		入院件数	1,263	1,261	99.8
	外来金額	781,073	924,873	118.4		外来金額	187,778	151,033	80.4
	入院金額	2,211,987	2,314,561	104.6		入院金額	1,155,140	1,199,066	103.8
	合計金額	2,993,060	3,239,434	108.2		合計金額	1,342,917	1,350,099	100.5
産婦人科	外来件数	27,855	27,017	97.0	麻酔科	外来件数	1,724	1,746	101.3
(分娩件数)	入院件数	(866件) 2,917	(847件) 3,424	117.4		入院件数	3	2	66.7
	外来金額	371,522	367,370	98.9		外来金額	21,989	28,960	131.7
	入院金額	1,097,359	1,097,030	100.0		入院金額	4,795	3,082	64.3
	合計金額	1,468,881	1,464,400	99.7		合計金額	26,784	32,042	119.6
眼科	外来件数	17,851	18,876	105.7	心臓外科	外来件数	1,944	1,848	95.1
	入院件数	841	1,063	126.4		入院件数	228	194	85.1
	外来金額	528,141	549,178	104.0		外来金額	38,622	38,141	98.8
	入院金額	345,456	391,396	113.3		入院金額	751,402	632,338	84.2
	合計金額	873,597	940,574	107.7		合計金額	790,023	670,478	84.9
皮膚科	外来件数	13,122	13,009	99.1	形成外科	外来件数	6,861	6,362	92.7
	入院件数	193	236	122.3		入院件数	444	372	83.8
	外来金額	183,108	228,555	124.8		外来金額	109,599	99,071	90.4
	入院金額	83,647	111,965	133.9		入院金額	281,201	280,371	99.7
	合計金額	266,754	340,520	127.7		合計金額	390,800	379,442	97.1
耳鼻咽喉科	外来件数	13,708	11,593	84.6	リハビリ科	外来件数	2,932	2,604	88.8
	入院件数	556	546	98.2		入院件数	0		
	外来金額	212,891	222,226	104.4		外来金額	107,733	107,356	99.6
	入院金額	291,551	297,471	102.0		入院金額	0		
	合計金額	504,442	519,698	103.0		合計金額	107,733	107,356	99.6
整形外科	外来件数	18,379	17,219	93.7	歯科	外来件数	22,358	21,394	95.7
	入院件数	1,381	1,275	92.3		入院件数	154	171	111.0
	外来金額	326,218	314,062	96.3		外来金額	253,991	264,313	104.1
	入院金額	1,406,624	1,336,961	95.0		入院金額	70,960	90,183	127.1
	合計金額	1,732,842	1,651,022	95.3		合計金額	324,951	354,496	109.1
精神科	外来件数	22,723	21,258	93.6	合計	外来件数	366,778	344,423	93.9
	入院件数	619	576	93.1		入院件数	27,877	28,092	100.8
	外来金額	322,265	304,802	94.6		外来金額	13,549,767	13,500,377	99.6
	入院金額	347,344	349,378	100.6		入院金額	19,490,192	20,428,338	104.8
	合計金額	669,609	654,180	97.7		合計金額	33,039,959	33,928,716	102.7
泌尿器科	外来件数	18,405	16,999	92.4	※放射線科	外来件数	3,508	3,314	94.5
	入院件数	2,318	2,225	96.0	(※再掲)	外来金額	340,373	343,689	101.0
	外来金額	979,831	1,019,432	104.0					
	入院金額	1,056,768	1,087,050	102.9	診療所	外来件数	4,681	4,140	88.4
	合計金額	2,036,599	2,106,483	103.4		外来金額	25,277	23,026	91.1
透析	外来件数	4,864	4,899	100.7	その他	差額室料	557,981	517,890	92.8
	入院件数	963	936	97.2					
	外来金額	1,578,176	1,620,179	102.7					
	入院金額	739,728	716,044	96.8		その他外	242,227	203,591	84.0
	合計金額	2,317,904	2,336,223	100.8					
小児科	外来件数	26,301	21,366	81.2					
	入院件数	1,306	708	54.2					
	外来金額	567,931	518,993	91.4	**総合計**		**33,865,444**	**34,673,223**	**102.39**
	入院金額	530,108	317,794	59.9					
	合計金額	1,098,039	836,787	76.2					

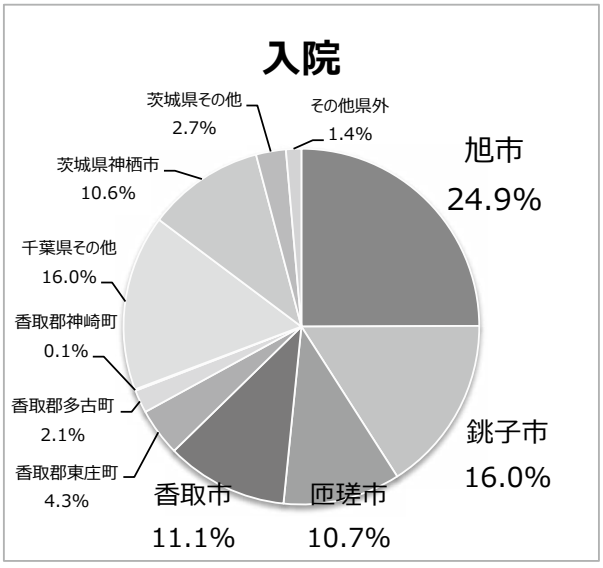
※外来・入院件数は、レセプト請求件数（実患者数）です。

2021.4.15 医事課

●市町村別レセプト請求件数（2020年度）

市町村	外来		入院	
	件数	割合	件数	割合
旭市	98,435	30.3%	7,044	24.9%
銚子市	50,437	15.5%	4,520	16.0%
匝瑳市	33,250	10.3%	3,012	10.7%
香取市	34,879	10.8%	3,131	11.1%
香取郡東庄町	12,874	4.0%	1,227	4.3%
香取郡多古町	6,521	2.0%	590	2.1%
香取郡神崎町	428	0.1%	36	0.1%
千葉県その他	42,659	13.2%	4,516	16.0%
茨城県神栖市	33,668	10.4%	3,007	10.6%
茨城県その他	9,388	2.9%	766	2.7%
その他県外	1,828	0.6%	394	1.4%
全体	324,367	100.0%	28,243	100.0%





●診療実績（2020年度）

科別	外来 1日平均 診療日数	外来 1日平均 2019年度	外来 1日平均 診療日数	外来 1日平均 2020年度	外来 1年延数 2019年度	外来 1年延数 2020年度	入院 1日平均 診療日数	入院 1日平均 2019年度	入院 1日平均 診療日数	入院 1日平均 2020年度	入院 1年延数 2019年度	入院 1年延数 2020年度	入院 救命救急各科内訳	入院 緩和ケア各科内訳
内科	243	704	243	677	171,147	164,516	366	354	365	347	129,482	126,798	4,620	2,763
感染							366	0	365	0	0	0	0	0
心臓外科	103	25	106	23	2,556	2,455	366	10	365	8	3,733	2,803	731	0
麻酔科	242	14	243	13	3,294	3,158	366	0	365	0	12	10	0	0
外科	242	114	243	115	27,693	27,966	366	70	365	73	25,637	26,468	764	594
形成外科	242	50	243	46	12,124	11,272	366	11	365	12	4,072	4,436	120	0
脳神経外科	242	42	243	38	10,266	9,231	366	41	365	41	15,097	15,096	317	133
整形外科	242	116	243	107	28,110	26,088	366	51	365	46	18,677	16,824	418	12
産婦人科	242	146	243	141	35,405	34,191	366	39	365	38	14,152	13,837	15	661
耳鼻咽喉科	243	85	243	72	20,703	17,553	366	13	365	12	4,829	4,313	62	265
皮膚科	242	100	243	104	24,235	25,333	366	5	365	6	1,966	2,064	25	227
泌尿器科	242	109	243	100	26,429	24,412	366	43	365	43	15,731	15,655	190	461
眼科	242	124	243	135	30,048	32,802	366	13	365	12	4,625	4,474	4	38
歯口科	242	163	243	150	39,342	36,518	366	3	365	4	1,243	1,451	19	101
小児科	243	108	243	92	26,271	22,397	366	24	365	13	8,745	4,865	3	0
透析	314	189	313	194	59,468	60,681	366	40	365	34	14,503	12,437	305	0
周産期医療センター							366	20	365	19	7,270	6,885		
救命救急センター	366	122	365	93	44,537	33,966	366	(23)	365	(21)	(8,590)	(7,593)		
緩和ケア							366	(14)	365	(14)	(5,269)	(5,255)		
リハビリ科	244	42	243	33	10,364	8,068	366	(227)	365	(225)	(83,246)	(82,164)		
人間ドック	241	10	243	10	2,463	2,318								
放射線科	245	72	243	71	17,566	17,135								
ＰＥＴ	241	1	243	1	227	195								
訪問診療	243	1	243	1	260	267								
一般計		2,337		2,216	592,508	560,522	366	737	365	708	269,774	258,416	7,593	5,255
前年度比				94.8%		94.6%				96.1%		95.8%		
神経精神科	242	175	243	157	42,352	38,039	366	34	365	34	12,616	12,260		
前年度比				89.7%		89.8%				100.0%		97.2%		
合計		2,512		2,373	634,860	598,561		771	365	742	282,390	270,676	7,593	5,255
前年度比				94.5%		94.3%				96.2%		95.9%		
ドック（外泊）							242	10	243	7	2,317	1,639		
飯岡診療所	147	32	147	28	4,748	4,183								
シルバーケア	308	18	310	17	5,589	5,116	366	93	365	90	34,035	32,754		
養護老人ホーム							366	31	365	27	11,353	9,893		
特別養護老人ホーム							366	42	365	40	15,543	14,587		
ケアハウス							366	40	365	40	14,640	14,537		

			2019年度	2020年度
外来患者数	一般	新患者数	103,996	85,372
		（新患者数※）	31,297	25,538
		最高患者数	2,796	2,608
		最低患者数	1,167	1,618
	精神	新患者数	656	605
		最高患者数	269	250
		最低患者数	98	72
入院患者数	一般	新患者数	19,777	18,959
		（1日平均）	54.0	51.9
		最高患者数	805	782
		最低患者数	568	570
	精神	新患者数	232	199
		最高患者数	42	39
		最低患者数	27	27
紹介患者数			20,350	16,827
逆紹介患者数			28,801	25,164

		2019年度	2020年度
救急患者数	総数	44,537	33,966
	即時入院	7,136	6,782
	救急車搬送	7,848	7,115
剖検	死亡数	1,244	1,148
	剖検数	87	84
	剖検率	7.0%	7.3%
稼動病床利用率	一般病床	95.9%	92.1%
	精神病床	82.1%	80.0%
平均在院日数（一般）	除外（無）	12.6	12.6
	除外（有）	13.6	13.5
平均在院日数（精神）	除外（無）	52.9	60.6
紹介率		65.0%	65.9%
逆紹介率		92.0%	98.5%

		2019年度	2020年度
放射線科	治療人数	13,209	13,001
	検査人数	180,363	170,061
PET検査総件数		1,613	1,500
検査科	検査件数	5,738,044	5,770,850
中央手術室手術件数		8,462	8,163
透析件数		59,287	60,269
分娩件数		866	847
外来化学療法件数		11,391	11,424
ﾄﾞｸﾀｰｽﾞｶｰ件数(NICU)		55	40
ﾄﾞｸﾀｰｶｰ件数(救急)		30	125
レセプト件数（一般）	外来	384,432	364,230
	入院	26,781	25,451
レセプト件数（精神）	外来	24,777	23,372
	入院	622	568

※ 平均在院日数 除外（有）

2018年度より短期滞在手術基本料3に該当・緩和ケア・NICU・GCU・精神科救急入院料・自費・労災の患者を除く

※ 稼働病床利用率 … 稼働病床内訳 2014年4月～（一般763床、精神42床）

※ 病床利用率＝月延患者数÷（稼動病床数×月日数） 一般病床利用率には感染6床を含む

※ （新患者数※）…初診料算定の患者数

2021/4/20 総務人事課

●講演会などへの講師派遣一覧（2020年度）

派遣日	依頼元	講師名	依頼内容（演題等）	場所	対象者
4月　5月	千葉県消防学校	神田　順二　医師 中津　裕臣　医師 内野　正人　医師 伊藤　史生　医師	非常勤講師	千葉県消防学校	同学校救急科 47 期生 83 名
4月～ 2021年3月	銚子市保健福祉センター	田村　乙彦　言語聴覚士	令和２年度　「ことばの相談」	銚子市保健福祉センター	幼児保護者
4月～ 2021年2月	千葉県教育庁教育振興部	川副　泰成　医師	千葉県公立学校職員健康審査会（神経・精神部会）	千葉県教育会館新館	公立学校職員
4月～ 2021年3月	千葉大学医学部附属病院	山田　ことの　医師	麻酔管理指導	千葉大学医学部附属病院	同病院関係者
4月～ 2021年3月	千葉県銚子児童相談所	青木　勉　医師 磯野　友厚　医師	児童の精神科診断　援助処遇への助言及び意見書診断書作成	銚子児童相談所	銚子市児童、関係者
4月～ 2021年3月 第2．4木曜日	千葉県海匝保健所	中村　朗　医師	2020年度海匝保健所感染症審査協議会	千葉県海匝保健所	同協議会議関係者
4月～6月 9月以降	香取おみがわ医療センター附属看護専門学校	認定看護師・看護師８名＜多辺田,鈴木(恵),石毛(香)、加瀬(昌)、鷲山(由)、高橋(久)、名雪(能)、大島(誠)＞	非常勤講師	香取おみがわ医療センター 附属看護専門学校	同学校看護学生１年次生 ２年次生
4月17日 10月23日 2021年 1月23日	長野医療生活協同組合 長野中央病院	坂本　壮　医師	オンラインセミナー講師「救急分野」、他	オンライン	同病院研修医　指導医　医学生　コメディカル
4月17日	第94回日本感染症学会総会・学術講演会	古川　恵一　医師	第94回日本感染症学会総会学術講演会司会	グランドニッコー東京台場	同講演会関出席者
4月18日 8月1日 12月5日 2021年 1月9日	利根保健生活協同組合利根中央病院	坂本　壮　医師	救急・集中治療教育指導 HCU回診、集中治療レクチャー	オンライン	同病院救急集中治療関係者
5月8月 11月2月	多古町	富岡　美帆　公認心理師	乳幼児発達相談事業	多古町	乳幼児保護者
5月6月 7月9月	香取郡市医師会附属佐原准看護学校	坂本　壮　医師	講義「人体のしくみとはたらき　循環系」「臨床看護概論」	佐原准看護学校	同学校１年生２年生
5月～7月	香取おみがわ医療センター附属看護専門学校	持田　英俊　医師	非常勤講師 「病態生理治療学Ⅰ」	香取おみがわ医療センター 附属看護専門学校	同学校看護学生
5月15日	城西国際大学看護学部	秋元　安代　助産師	特別講義「助産学概論」	城西国際大学	同大学看護学部３年次生８名
5月21日	飯田市立病院	坂本　壮　医師	症例検討及びウェブ講演	オンライン	同病院研修医
5月27日	東京情報大学	出口　文比呂　ピアサポート専門員	講義「精神看護学方法論」	東京情報大学	同大学看護学部看護学科学生
6月10日	千葉大学大学院医学研究院	仙田　昌義　医師	臨床医から見た児童虐待に関する講演	千葉大学医学部本館	同大学院関係者
6月11日 25日 7月9日	学校法人君津あすなろ学園千葉医療福祉専門学校	平野　いづみ　理学療法士	非常勤講師 「小児理学療法治療学」	千葉医療福祉専門学校	同学校学生
6月17日	社会福祉法人恩寵財団 母子愛育会総合母子保健センター	仙田　昌義　医師	地域母子保健研修会２「乳幼児保健・育児支援」	社会福祉法人恩賜財団母子愛育会	保健師　助産師　看護師　保育士
6月18日	国際医療福祉大学保健医療学部放射線・情報学科長	藤田　圭一　放射線技師	臨時講義　「診療放射線特論」	国際医療福祉大学	同大学保健医療学部放射線・情報学科学生
7月10日	地方独立行政法人長野市民病院	坂本　壮　医師	救命救急センターにおける診療に関する講演	長野市民病院	同病院研修医
7月11日	長野医療生活協同組合 長野中央病院	坂本　壮　医師	救急セミナー「呼吸困難のオキテ」	長野中央病院	医師、医学生

7月15日	山武郡市行政組合立養護老人ホーム	佐々木　優子 感染管理特定認定看護師	新型コロナウイルス感染症予防対策研修会	山武郡市広域行政組合立養護老人ホーム	看護師　生活相談員、支援員15名
7月15日～2021年3月31日で年4回	公益社団法人母子保健推進会議	仙田　昌義　医師	母子保健、児童虐待を中心とした児童福祉に関する調査研究	母子保健推進会議内	同委員会関係者
7月15日 8月24日 9月7日 9月23日 10月5日	順天堂大学医学部附属順天堂医院	永井　元樹　医師	膵体部癌　ロボットDP指導	順天堂大学医学部附属順天堂医院	同病院関係者
7月18日	旭市教育委員会	富岡　美帆　公認心理師	３歳児わくわく子育て学級講師	海上公民館	３歳児保護者
7月30日	千葉県健康福祉部	中村　朗　医師	千葉県新型コロナウイルス感染症にかかるクラスターチーム等対策チーム登録者対象講師	国保旭中央病院（ビデオ収録）	感染症クラスター等対策チーム派遣登録者
8月6日	砂川市立病院	坂本　壮　医師	救急医療講演会	オンライン	医師、研修医
8月7日	独立行政法人労働者健康安全機構千葉労災病院	小林　康祐　医師	千葉労災病院クリニカルパス講演会	千葉労災病院	同病院職員
8月21日～22日 10月31日～11月1日	名古屋大学医学部附属病院	仙田　昌義　医師	令和２年度厚生労働省科学研究費補助金「わが国の至適なチャイルド・デス・レビュー制度を確立するための研究」打合せ会	神戸コンベンションセンター神戸国際会議場TKP名古屋ルーセンタワー	同会議関係者
8月21日	香取郡市医師会	中村　朗　医師	COVID-19講演会	千葉県立佐原病院	香取郡市医師
8月30日	地方独立行政法人岐阜県総合医療センター	仙田　昌義　医師	児童虐待医療ネットワーク事業岐阜地域BEAMS　Stage２研修会	岐阜県総合医療センター	医療関係者、関係機関職員
9月4日	霧島市立医師会医療センター	仙田　昌義　医師	院内医療安全研修会「児童虐待」	オンライン	同センター職員
9月4日 5日	医療法人社団誠馨会千葉中央看護専門学校	内野　正人　医師	非常勤講師 回復促進援助技術「BLS講習」	千葉中央看護専門学校	同校２年生73名
9月16日～2021年3月31日	千葉科学大学	伊良部　徳次　医師	非常勤講師 「成人病態治療学Ⅱ」	千葉科学大学	同大学学生
9月18日	一般社団法人しまね地域医療支援センター	坂本　壮　医師	第１回島根県臨床研修指導医講習会	オンライン	島根県研修医指導医師
9月24日	公益社団法人日本看護協会看護研修学校	加瀬　昌子　皮膚・排泄ケア特定認定看護師	2020年度認定看護師教育課程　第１回実習指導者会議	日本看護協会看護研修学校　または　WEB	同会議関係者
10月～12月	香取おみがわ医療センター附属看護専門学校	赤沼　暁彦　医師	非常勤講師 講義「精神看護援助論」	香取おみがわ医療センター附属看護専門学校	同校看護学生21名
10月　11月 12月 2021年1月 2月3月	近江八幡市立総合医療センター	坂本　壮　医師	ER診療における鉄則　総論 オンライン	近江八幡市立総合医療センター	同センター医師、研修医
10月2日	飯田市立病院	坂本　壮　医師	研修会講師「症例検討」、講演	オンライン WEB	同病院研修医
10月7日	公益社団法人日本看護協会看護研修学校	髙橋　功　医師	認定看護師教育課程 クリティカルケア学科講師	日本看護協会研修学校	同学校学生30名
10月7日 14日	社会福祉法人千葉県社会福祉協議会	仙田　昌義　医師	令和２年度保護児童対策調整機関調整担当者研修	千葉県社会福祉センター	児童対策調整機関調整担当職員
10月12日	一般社団法人旭市歯科医師会	秋葉　正一 歯科医師	口腔がん啓発動画事業 口腔がんについての講演（動画収録）	旭市匝瑳医師会館	旭市民、他
10月13日	千葉県立保健医療大学	今野　和成 作業療法士	特別講義「災害時における作業療法士の活動について」	千葉県立保健医療大学	同大学リハビリテーション学科作業療法学専攻４年生
10月14日	一般社団法人千葉県高齢者福祉施設協会	持田　英俊　医師	千葉県認知症コーディネーター養成研修	ホテルポートプラザちば	同研修会受講者
10月15日	京都府立医科大学附属北部医療センター	坂本　壮　医師	研修医勉強会講師	オンライン	同センター研修医

10月16日 22日	公益社団法人日本看護協会看護研修学校	加瀬　昌子　皮膚・排泄ケア特定認定看護師	認定看護師教育課程 皮膚・排泄ケア学科講師	日本看護協会研修学校	同学校学生30名
10月17日	静岡市立静岡病院	坂本　壮　医師	研修会 「救急外来ただいま診断中 in　静岡 ver.5」	WEB配信	研修医、救急看護師
10月20日	千葉県内視鏡実技研究会	志村　謙次　医師	千葉県内視鏡実技研究会 胆膵分野世話人会	WEB開催	同会関係者
10月22日	香取市立佐原第５中学校	綿貫　美恵　助産師	思春期講演会 「考えよう！生命とあなたの夢・行動」	香取市佐原第５中学校	同中学校３年生
10月23日	地方独立行政法人岐阜県総合医療センター	仙田　昌義　医師	児童虐待医療ネットワーク事業 飛騨地域BEAMS　Stage1研修会	下呂交流会館	医療関係者、関係機関（行政、教育、福祉、警察、司法）
10月27日	銚子市児童発達支援センターわかば	大屋　滋　医師	令和２年度第２回「保護者交流・こっこの集い」講演 「自閉症と我が子と歩む」	銚子市保健福祉センター	児童保護者、同団体職員
10月28日	国際医療福祉大学保健医療学部	今野　和成 作業療法士	講義「先端作業法特論」	国際医療福祉大学成田キャンパス	同大学同学部同学科生
10月29日	旭市教育委員会	中村　朗　医師 北澤　克彦　医師	旭市小中学校長会議 講義「学校における感染症予防対策について」	海上公民館	旭市小中学校長
10月30日	旭市地域自立支援協議会	櫻井　孝二 精神保健福祉士	第２回地域自立支援協議会	旭市さわやかホール	同協議会議関係者
10月30日 11月10日	千葉県立鶴舞看護専門学校	内野　正人　医師	非常勤講師 「BLS ICLS研修」	千葉県立鶴舞看護専門学校	同学校看護学科２年生３年生
11月3日	一般社団法人日本家族計画協会	仙田　昌義　医師	第５回切れ目のない妊娠出産　育児支援のためのセミナー	収録　藤和六本木コープ WEB	医療従事者、保育士、保健師、他
11月7日	総合東京PCIトレーニングライブ	早川　直樹　医師	総合東京病院LIVE　2020 EVT編　コメンテーター	オンライン	同イベント関係者
11月13日	一般社団法人日本能率協会	坂井　厚夫 管理栄養士	HOSPEX　Japan 病院給食セミナー講演	東京ビックサイト	病院　介護　福祉施設経営層、管理栄養士
11月13日	静岡赤十字病院	坂本　壮　医師	救急セミナー	オンライン	同病院若手医師
11月15日	公益社団法人　東京都看護協会	中村　朗　医師	2,020年度東京都看護協会 感染対策指導者養成研修講師	東京都看護協会	同研修受講者
11月17日	一般社団法人千葉県高齢者福祉施設協会	秋　慶一 社会福祉士	千葉県認知症コーディネーター養成研修講師 「地域資源と連携体制の構築」～情報共有の方法～	ホテルポートプラザちば	同研修受講者
11月20日	神崎町立米沢小学校	秋元　安代　助産師	思春期講演会「大切ないのち～体と心の成長を通して～」	神崎町立米沢小学校	4、5、6年生22名と保護者11名
11月20日	東総養護教諭会	仙田　昌義　医師	東総養護教諭研修会 講話「児童生徒の虐待について」	東総教育会館	海匝地区小中学校養護教諭
11月21日	広島市立広島市民病院	坂本　壮　医師	第30回広島グリーンサミット講演 「救急学」「総合内科学」	オンライン	広島県内の初期研修医、医師
11月24日	香取市立佐原中学校	中津　裕臣　医師	講演会「エイズを含めた感染症の予防」	香取市立佐原中学校	同学校３学年182名
11月25日	匝瑳市	仙田　昌義　医師	匝瑳市要保護児童対策地域協議会議	匝瑳市役所	同会議関係者
11月27日	千葉県立保健医療大学	秋葉　正一　歯科医師 新行内　彩乃　歯科衛生士	特別講義 「地域における病院歯科口腔外科の意義と役割」「病院歯科口腔外科における歯科衛生士の役割と他職種との連携」	千葉県立保健医療大学	同大学歯科衛生学科４年生24名
12月3日	山武郡市歯科医師会	中村　朗　医師	医療管理講習会講師	東金文化会館	同会会員
12月11日	東京都立松沢病院	坂本　壮　医師	研修会「意識障害」	WEB	同病院医師、研修医
12月12日	日本重症心身障害学会	中村　朗　医師	講演「知的障害者施設におけるクラスター対応の経験」	WEB	同学会関係者
12月13日	特定非営利活動法人千葉医師研修支援ネットワーク	坂本　壮　医師	第５回Chiba Clinical Skills Boot Camp 2020	オンライン	初期臨床研修医、医学生、医師等300名

12月18日	旭匝瑳薬剤師会旭中央病院薬剤局	中村　朗　医師	特別講演「COVID-19の最新知見と千葉県の体制から現場の医療を考える～ツインデミックを見据えて～」	旭中央病院	地域保険薬局、薬剤師会会員
1月8日	東庄町国民健康保険東庄病院	中村　朗　医師	新型コロナウイルス感染症対策勉強会	東庄町保健福祉総合センター	同病院スタッフ、東庄町健康福祉課職員
1月10日	公益社団法人全日本病院協会	髙橋　功　医師	2020年AMAT隊員養成研修	WEB	病院勤務者
1月14日 1月28日	隠岐広域連合隠岐病院	坂本　壮　医師	職員研修会	WEB	同病院職員
1月15日	名古屋掖済会病院	坂本　壮　医師	講演「ER問診7 rules」	名古屋掖済会病院オンライン	同病院初期研修医
1月19日 20日	千葉県消防学校	神田　順二　医師 中津　裕臣　医師 内野　正人　医師 伊藤　史生　医師	非常勤講師	千葉県消防学校	同学校救急科47期生88名
1月21日	一般社団法人千葉市身体障害者連合会	大屋　滋　医師	令和2年度障害者虐待防止法に係る講演会	千葉市ハーモニープラザ	福祉サービス事業所職員、身体・知的障害者相談員、千葉市関係職員40名
1月21日	鹿嶋市郡医師会附属准看護学院	石上　享嗣　歯科医師	講義「歯科口腔外科」	鹿嶋市郡医師会附属准看護学院	同学院学生
2月2日	一般社団法人しまね地域医療支援センター	坂本　壮　医師	令和2年度第2回島根臨床研修指導医講習会	WEB会議	島根県研修指導医
2月5日	横芝光町東陽病院	中村　朗　医師 宮本　頼子　感染管理認定看護師	感染制御に関する指導	東陽病院	同病院職員
2月13日	フクダ電子南関東販売株式会社	仙田　昌義　医師	第2回生涯教育講座	フクダ電子南関東販売株式会社	同社社員
2月15日	千葉市消防学校	内野　正人　医師	非常勤講師 「特殊病態別応急処置」	千葉市消防学校	同学校救急課程学生
2月17日	一般社団法人旭市歯科医師会	秋葉　正一　歯科医師	旭市歯科医師会第18回臨床研修会	旭中央病院	旭市歯科医師会会員
2月20日	千葉県内視鏡実技研究会 千葉県立佐原病院	志村　謙次　医師	第23回千葉県内視鏡実技研究会～胆膵分野～司会	WEB開催・TKPガーデンシティ幕張	同研究会関係者
2月20日	千葉県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連携推進会議	今野　和成 作業療法士	第5回「千葉県介護予防の推進に資する専門職育成研修」介護予防のための地域ケア個別会議における専門職の関わり方	オンライン	千葉県内理学療法士・作業療法士・言語聴覚士約200名
2月22日	淑徳大学大学院総合福祉研究科	池田　裕樹 臨床心理士	2020年度心理実践実習報告会・実習指導者会指導	オンライン	同大学学院生
2月26日	南和広域医療企業団南奈良総合医療センター	坂本　壮　医師	第11回レジデントデイ講師「意識障害」	南奈良総合医療センター	医師、医学生
3月10日	公益社団法人全国自治体病院協議会	川副　泰成　医師	2020年度精神保健指定医研修会司会	砂防会館別館	精神保健指定医申請者300名
3月12日	公益社団法人日本看護協会	加瀬　昌子　皮膚・排泄ケア特定認定看護師	2020年度特定行為研修講師	日本看護協会看護研修学校	同看護研修学校研修生３３名
3月17日	全国地方独立行政法人病院協議会	菅谷　敏之史 事務局長	病院改革セミナー講演事例発表	WEB	同セミナー関係者
3月28日	総合診療勉強会東京どまんなか	坂本　壮　医師	講師・ワークショップ指導 重症患者の見抜き方　-Best approach-	オンライン	医学生120名

●健康づくり支援委員会出前講座実施一覧（2020年度）

依頼者	人数	開催日	会場	講師	演題
飯岡ライオンズクラブ	27	9月18日（金）	いいおかユートピアセンター	循環器内科主任部長 神田順二　医師	No.16「狭心症、心筋梗塞を防ごう」
瀬道あじさいクラブ	21	11月17日(水)	旭市民会館２階	糖尿病代謝内科 木下大輔　医師 坪井　美佳　看護師	No.25「生活習慣病の治療」 ①糖尿病について ②元気で長生きするために ⑤足を大事にしよう

医療統計

●医療実績（クリニカルインディケーター）

項　目		2019年度	2020年度	計算方式
退院患者数		19,868人	19,105人	
1日平均在院患者数		774人	742人	在院患者延べ数 / 365
平均在院日数	一般	13.7日	13.7日	在院患者延べ数 / 退院患者数
	精神	54.6日	63.5日	在院患者延べ数 / 退院患者数
院内粗死亡率		5.9%	5.7%	死亡患者数 / 退院患者数 × 100
院内精死亡率		5.0%	4.9%	入院48時間以後死亡数 / 退院患者数 × 100
剖検率		7.5%	7.7%	剖検数 / 死亡患者数 × 100
新生児死亡率		3.4‰	3.5‰	新生児死亡数 / 出生数 × 1000
帝王切開率		19.6%	21.7%	帝切件数 / 分娩件数 × 100

分類及び集計方法

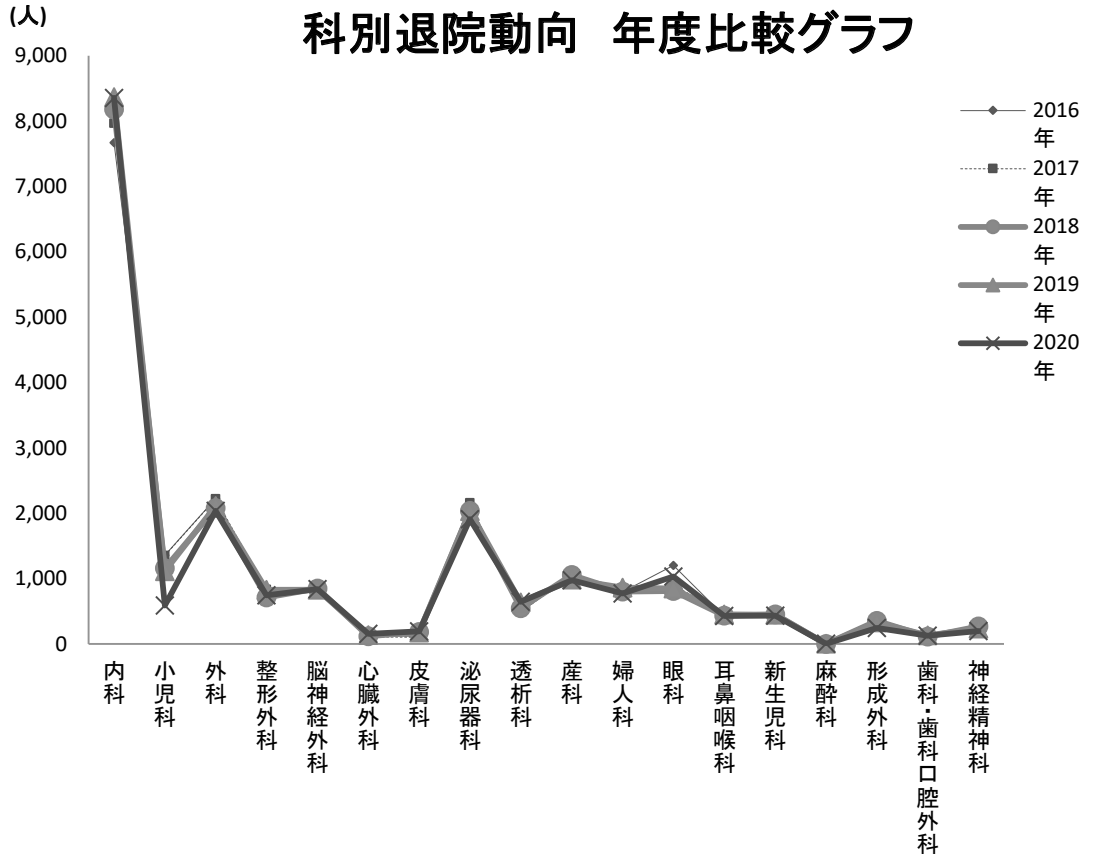
1.対象期間は2020/04/01～2021/03/31とする。
2.国際疾病分類（International Classification of Diseases 略号：ICD-10）は、
　厚生労働省大臣官房統計情報部編　「疾病、傷害および死因統計分類提要」を使用した。
3.病名に関する統計は、筆頭主病名を対象とした。
4.手術分類（International Classification of Diseases, 9th Revision, Clinical Modification, Volume3, Procedures, fifth-edition 略号：ICD-9-CM）を使用した。
5.内科詳細科の分類は、診療実績を把握するため主治医で判断する。
　内科で救急救命科医師が主治医の場合、救急救命科として表記する。
　内科以外の診療科で救急救命医が主治医の場合は、（　）で表示する。
6.退院患者と病名に関する統計件数の誤差は、産科を省いたために生じたもの。

統計表の見方

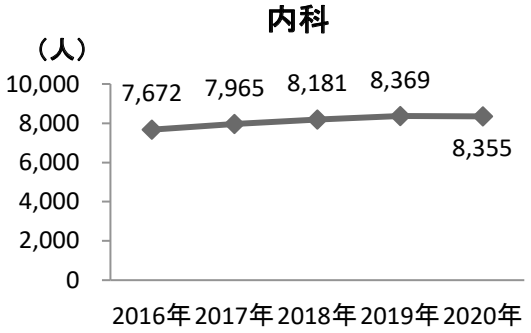
転科を行った場合
1.退院患者に関する統計
　診療科が関係する統計表では、各々の診療科で集計（延べ人数）
　診療科が関係しない統計表では、1件として集計（実人数）
2.病名に関する統計
　各々の診療科で集計（延べ数）

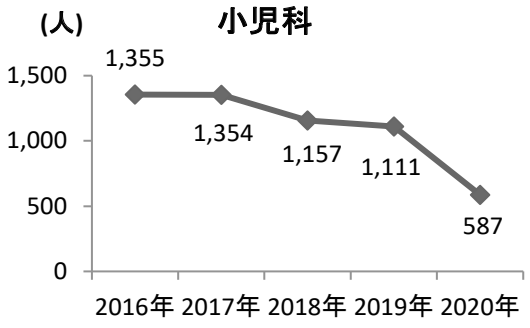
●科別退院患者数の動向

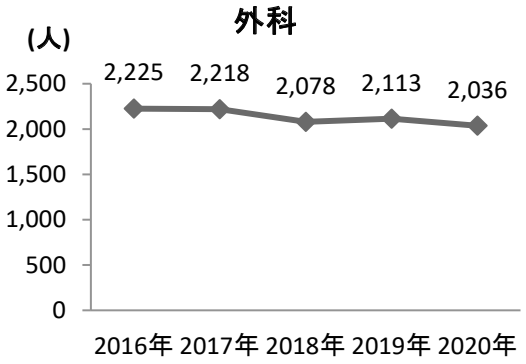
科名＼年度	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
内科	7,672	7,965	8,181	8,369	8,355
小児科	1,355	1,354	1,157	1,111	587
外科	2,225	2,218	2,078	2,113	2,036
整形外科	733	832	709	829	746
脳神経外科	826	849	849	830	839
心臓外科	129	106	115	138	155
皮膚科	119	105	185	174	194
泌尿器科	2,132	2,158	2,037	2,032	1,908
透析科	490	488	545	636	644
産科	1,061	1,052	1,056	983	976
婦人科	795	762	802	863	771
眼科	1,200	901	811	849	1,032
耳鼻咽喉科	427	464	433	450	429
新生児科	410	410	454	447	432
麻酔科	0	0	1	2	2
形成外科	255	257	354	328	245
歯科・歯科口腔外科	138	122	111	133	127
神経精神科	283	273	270	237	198
合　計	20,250	20,316	20,148	20,524	19,676

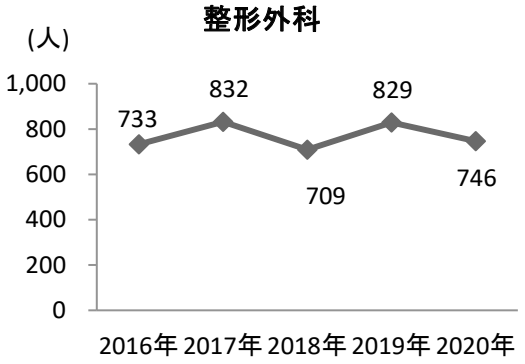


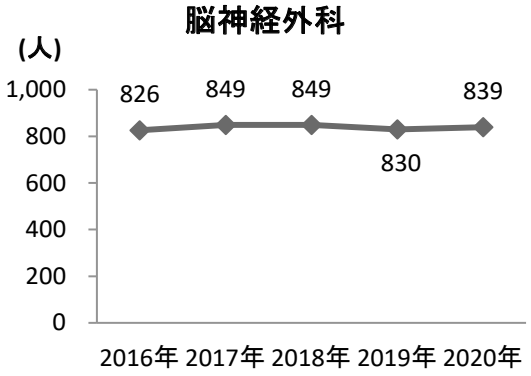
科別退院患者数　年度比較グラフ

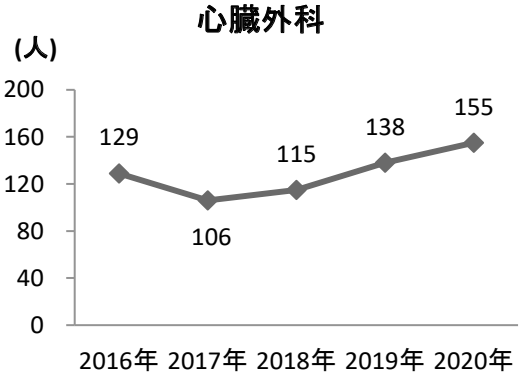


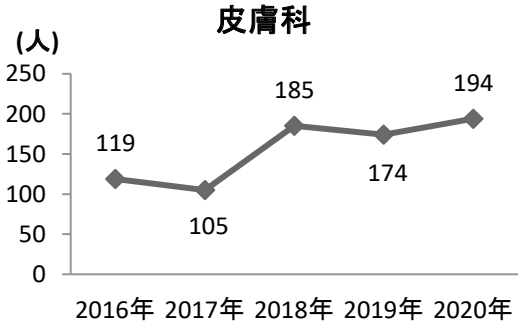


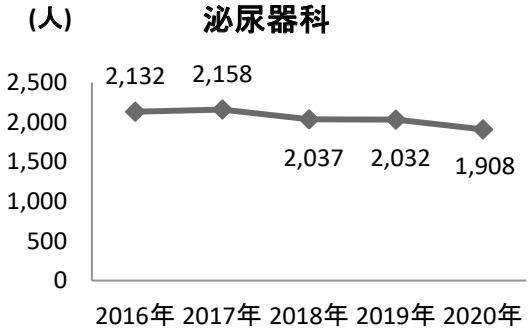




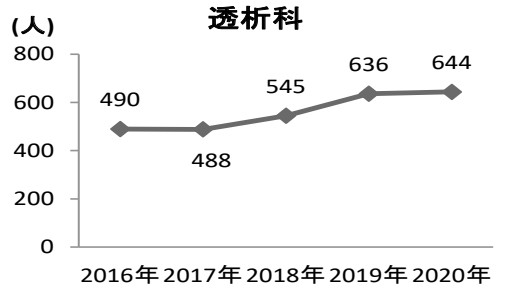


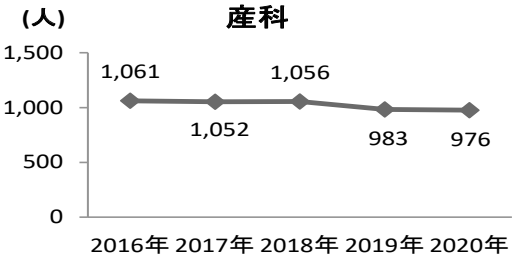


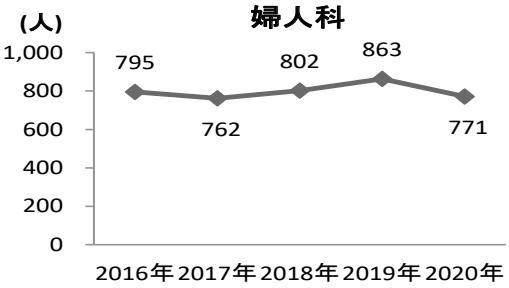


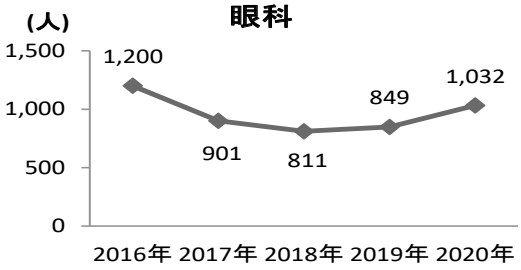


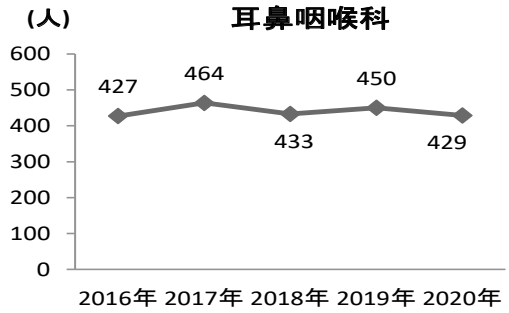
科別退院患者数　年度比較グラフ

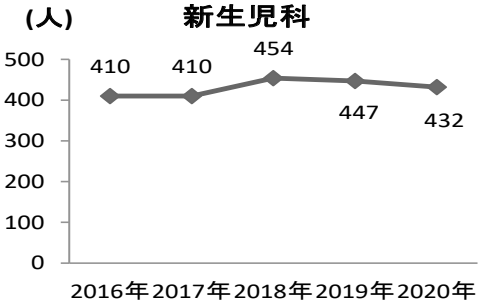


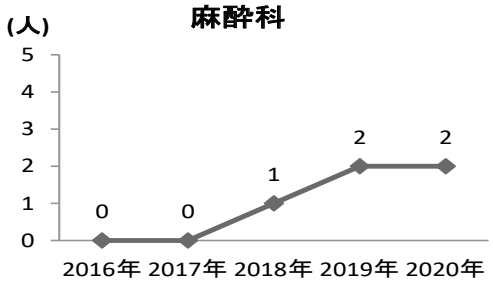


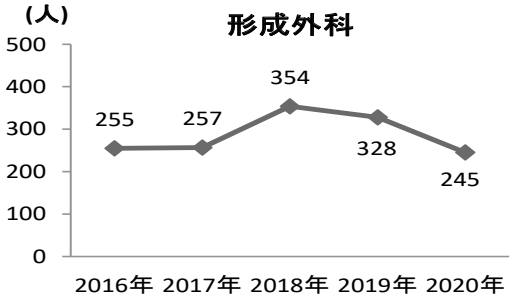


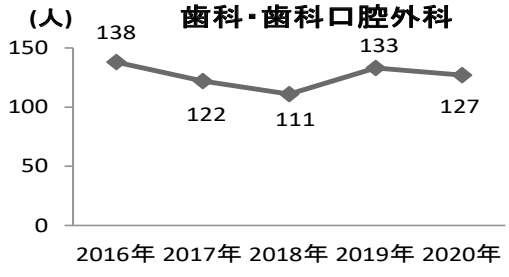


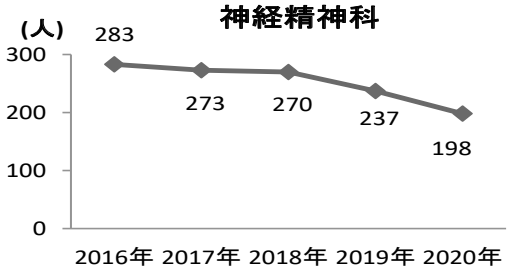












●地区別退院患者数の動向（２次保健医療圏）（2020年度）

性別＼地区		香取海匝	山武長生夷隅	鹿行	その他（診療圏外）	印旛	東葛南部	千葉	取手・竜ヶ崎
男女計	(人)	13,122	2,726	2,475	275	203	116	65	49
	%	68.7	14.3	13.0	1.4	1.1	0.6	0.3	0.3
男	(人)	7,234	1,587	1,298	112	103	45	27	32
	%	69.1	15.2	12.4	1.1	1.0	0.4	0.3	0.3
女	(人)	5,888	1,139	1,177	163	100	71	38	17
	%	68.2	13.2	13.6	1.9	1.2	0.8	0.4	0.2

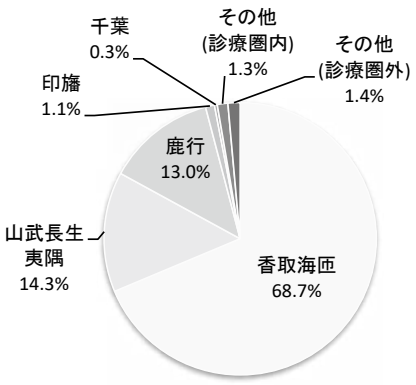
性別＼地区		東葛北部	市原	君津	不明	つくば	常陸太田・ひたちなか	土浦	安房
男女計	(人)	38	9	7	5	5	4	4	1
	%	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男	(人)	17	3	2	3	4	4	2	0
	%	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女	(人)	21	6	5	2	1	0	2	1
	%	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

性別＼地区		筑西・下妻	古河・坂東	水戸	日立	合　計
男女計	(人)	1	0	0	0	19,105
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
男	(人)	0	0	0	0	10,473
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
女	(人)	1	0	0	0	8,632
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

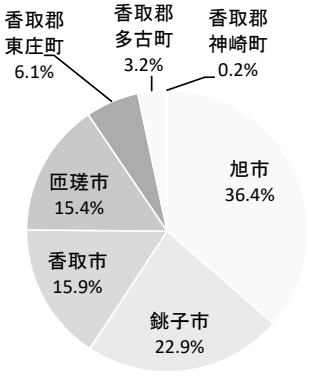
香取海匝地区詳細

性別＼地区		旭市	銚子市	香取市	匝瑳市	香取郡東庄町	香取郡多古町	香取郡神崎町	合　計
男女計	(人)	4,778	3,001	2,081	2,019	803	418	22	13,122
	%	36.4	22.9	15.9	15.4	6.1	3.2	0.2	100.0
男	(人)	2,544	1,669	1,160	1,160	420	265	16	7,234
	%	35.2	23.1	16.0	16.0	5.8	3.7	0.2	100.0
女	(人)	2,234	1,332	921	859	383	153	6	5,888
	%	37.9	22.6	15.6	14.6	6.5	2.6	0.1	100.0

地区別患者退院割合

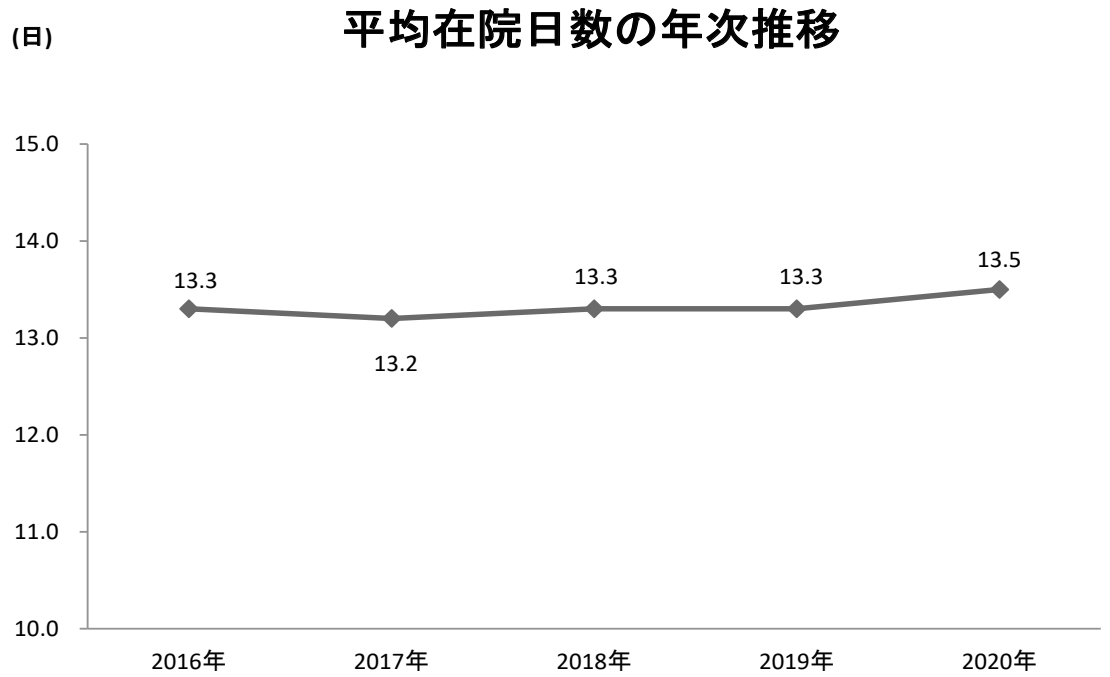


香取海匝地区退院患者割合



●退院患者平均在院日数の動向

期間＼年度		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
0-8日	件数	11,313	11,262	11,192	11,650	10,952
	%	56.7	56.2	56.3	57.4	56.2
9-15日	件数	4,124	4,065	3,927	3,924	3,845
	%	20.7	20.3	19.8	19.3	19.7
16-22日	件数	1,543	1,729	1,623	1,573	1,653
	%	7.7	8.6	8.2	7.8	8.5
23-31日	件数	1,135	1,135	1,246	1,165	1,193
	%	5.7	5.7	6.3	5.7	6.1
32-61日	件数	1,359	1,374	1,431	1,461	1,336
	%	6.8	6.9	7.2	7.2	6.9
62-91日	件数	323	317	319	332	306
	%	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6
3-6ヶ月	件数	139	142	123	157	169
	%	0.7	0.7	0.6	0.8	0.9
6ヶ月-1年	件数	21	17	13	21	15
	%	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
1-2年	件数	8	1	2	3	7
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2年-	件数	2	1	2	1	2
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合 計		19,967	20,043	19,878	20,287	19,478
平均在院日数		13.3	13.2	13.3	13.3	13.5

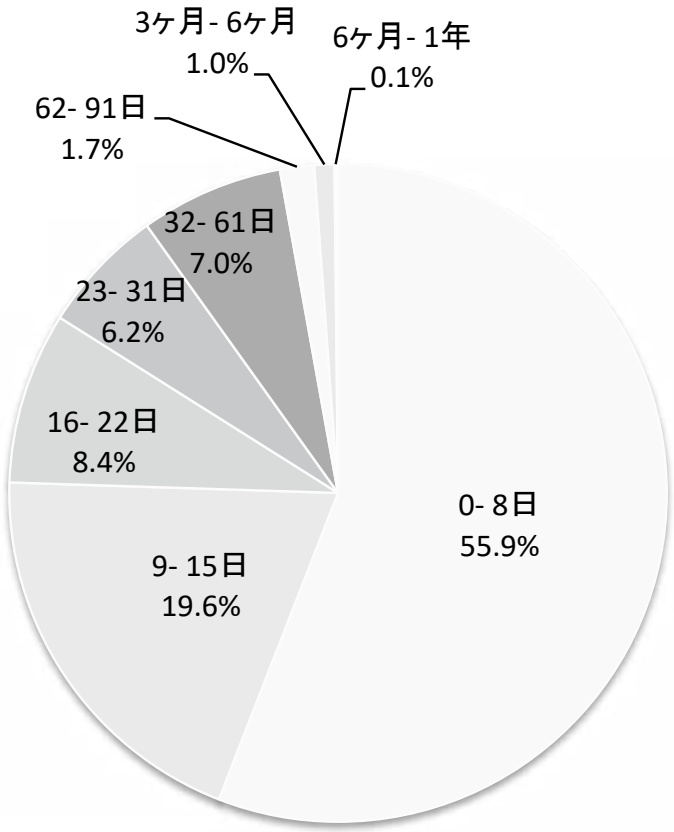


＊一般科のみの表記とする

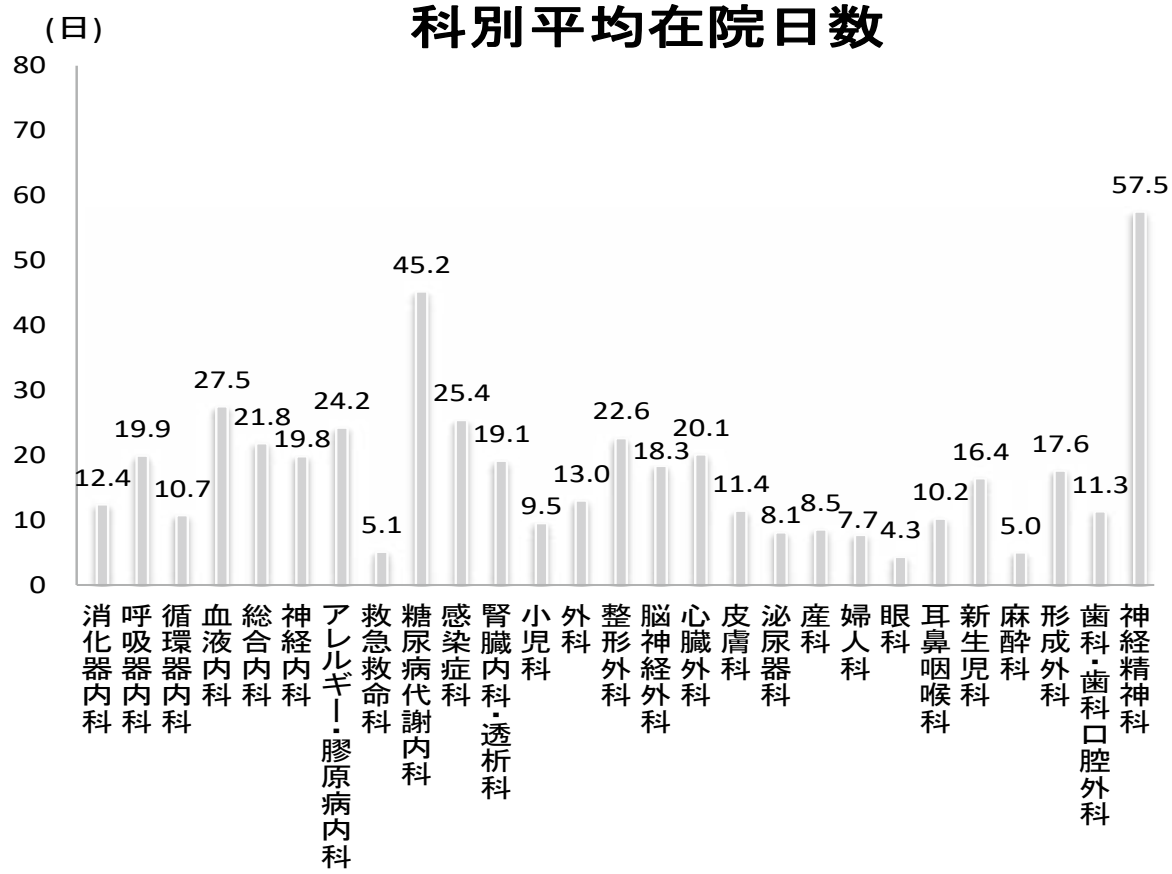
●退院患者科別平均在院日数（2020年度）

期間 / 科名	0−8日	9−15日	16−22日	23−31日	32−61日	62−91日	3ヶ月−6ヶ月	6ヶ月−1年	1−2年	2年−	合　計	平均在院日数
消化器内科	1,452	639	221	132	123	23	11	2	2	−	2,605	12.4
呼吸器内科	228	218	132	93	135	22	5	−	−	−	833	19.9
循環器内科	1,631	466	196	136	133	25	8	−	−	−	2,595	10.7
血液内科	175	104	67	67	79	36	29	3	−	−	560	27.5
総合内科	246	276	170	125	140	23	17	2	1	−	1,000	21.8
神経内科	62	41	39	26	24	7	2	−	−	−	201	19.8
アレルギー・膠原病内科	55	78	46	49	67	8	3	2	−	−	308	24.2
救急救命科	130	11	5	2	4	−	−	−	−	−	152	5.1
糖尿病代謝内科	3	2	2	1	−	−	1	1	−	−	10	45.2
感染症科	18	27	22	5	11	4	3	1	−	−	91	25.4
腎臓内科・透析科	267	151	73	44	68	25	14	2	−	−	644	19.1
小児科	506	47	8	16	7	−	−	−	2	1	587	9.5
外科	1,025	576	166	92	130	29	18	−	−	−	2,036	13.0
整形外科	163	135	162	139	121	17	8	−	1	−	746	22.6
脳神経外科	407	126	69	82	111	27	16	1	−	−	839	18.3
心臓外科	53	20	33	29	12	4	4	−	−	−	155	20.1
皮膚科	130	32	9	6	10	4	3	−	−	−	194	11.4
泌尿器科	1,361	310	108	62	53	9	5	−	−	−	1,908	8.1
産科	742	177	19	13	16	8	1	−	−	−	976	8.5
婦人科	542	170	21	13	14	7	4	−	−	−	771	7.7
眼科	915	91	16	6	3	1	−	−	−	−	1,032	4.3
耳鼻咽喉科	352	32	6	13	13	13	−	−	−	−	429	10.2
新生児科	286	46	36	22	23	8	8	1	1	1	432	16.4
麻酔科	2	−	−	−	−	−	−	−	−	−	2	5.0
形成外科	111	53	23	17	28	6	7	−	−	−	245	17.6
歯科・歯科口腔外科	90	17	4	3	11	−	2	−	−	−	127	11.3
神経精神科	48	12	8	21	50	25	25	6	2	1	198	57.5
合計	11,000	3,857	1,661	1,214	1,386	331	194	21	9	3	19,676	13.9
構成比（%）	55.9	19.6	8.4	6.2	7.0	1.7	1.0	0.1	0.0	0.0	100.0	0

在院日数分布



科別平均在院日数



●入院患者数（2020年度）

月 / 科名	4月	5月	6月	7月	8月	9月
消化器内科	186	180	223	248	206 (1)	221
	1	1	2	5	1	4
呼吸器内科	71 (1)	67 (2)	56	70 (1)	64 (2)	70
	1	-	2	-	1	1
循環器内科	175 (2)	183 (1)	205	194	208 (2)	210 (1)
	4	11	7	8	7	3
血液内科	37	40	43	54	42	46 (1)
	1	2	1	4	-	-
総合内科	77	79	75	93 (1)	101 (2)	79 (1)
	1	2	4	2	-	1
神経内科	9	19	19	14	18 (1)	25 (1)
	-	-	-	-	-	-
アレルギー・膠原病内科	16	25	31	23 (1)	23	20
	2	1	-	2	4	2
救急救命科	7 (7)	7 (7)	7 (7)	8 (8)	16 (16)	16 (17)
	-	-	-	-	-	1
糖尿病代謝内科	-	-	1	1	1	-
	-	-	-	-	-	-
感染症科	6	6	3	9	17	2
	-	-	-	-	-	-
腎臓内科・透析科	59	42 (2)	43 (2)	51	62	45 (2)
	4	1	4	5	3	5
小児科	28	35	40	53	58	56
	1	-	-	1	-	-
外科	137	147	179 (1)	172 (2)	173 (3)	159 (3)
	9	8	7	14	13	4
整形外科	48 (1)	53 (3)	53	67 (3)	59	69 (3)
	-	2	-	3	1	3
脳神経外科	74 (4)	54 (2)	65 (2)	69 (2)	66 (1)	69 (4)
	2	5	3	5	2	1
心臓外科	8	7	5	6	5	6
	3	6	5	6	6	6
皮膚科	13	13	12	23	20	13
	-	-	-	-	-	2
泌尿器科	145	154	174	168	135	184 (1)
	2	3	1	3	-	3
産科	89	89	88	81	94	96
	-	-	-	-	-	-
婦人科	74	59	72	63	65	56
	-	1	-	-	2	1
眼科	80	69	84	83	104	92
	-	-	-	-	-	-
耳鼻咽喉科	24	24	38	38	42	37
	-	-	2	-	2	-
新生児科	39	33	37	37	36	41
	-	-	-	-	-	-
麻酔科	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-
形成外科	18	17	20	21 (1)	22	24
	-	2	2	-	2	3
歯科・歯科口腔外科	8	8	11	15	11	14
	-	-	-	-	-	-
神経精神科	14	15	22	16	12	12
	-	1	1	3	1	4
*正常新生児	73	72	72	53	81	85
	-	-	-	-	-	-
入院患者数	1,442 (15)	1,425 (17)	1,606 (12)	1,677 (19)	1,660 (28)	1,662 (34)
転科入院数	31	46	41	61	45	44
合 計	1,473 (15)	1,471 (17)	1,647 (12)	1,738 (19)	1,705 (28)	1,706 (34)

（注）上段は入院患者数、下段は転科入院患者数

*1 内科は救急救命医が主治医の場合、救急救命内科として表記する
　内科以外の科は救急救命医が主治医の場合、（）に表記する

*2 正常出生児は入院患者数、転科入院数及び%に含めず

月 / 科名	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	構成比(%)
消化器内科	235 (1)	212	218 (1)	236 (4)	183 (2)	248 (1)	2,596 (10)	13.6
	1	5	1	2	6	4	33	5.8
呼吸器内科	63	71	81 (1)	73 (3)	67 (1)	62	815 (11)	4.3
	-	1	-	-	1	-	7	1.2
循環器内科	205 (2)	198 (1)	230	253 (2)	204 (1)	247	2,512 (12)	13.1
	14	12	10	6	7	8	97	17.0
血液内科	46	39	32	46	49	55	529 (1)	2.8
	1	2	1	3	1	1	17	3.0
総合内科	92 (3)	75 (3)	76 (2)	87 (1)	71 (2)	83	988 (15)	5.2
	5	1	-	-	1	2	19	3.3
神経内科	23	14	14	13	14	14	196 (2)	1.0
	-	-	-	-	-	-	0	0.0
ｱﾚﾙｷﾞｰ・膠原病内科	26	23	31 (1)	25	20	24 (1)	287 (3)	1.5
	2	-	2	2	2	-	19	3.3
救急救命科	13 (12)	13 (14)	17 (16)	14 (14)	12 (12)	22 (22)	152 (152)	0.8
	-	1	-	-	-	-	2	0.4
糖尿病代謝内科	2 (1)	1	1	2	1	1	11 (1)	0.1
	-	-	-	-	-	-	0	0.0
感染症科	3	8	9	13	6	5	87	0.5
	-	-	-	-	-	-	0	0.0
腎臓内科・透析科	45 (3)	44 (1)	49 (1)	50	44	53 (1)	587 (12)	3.1
	5	5	5	7	4	3	51	8.9
小児科	58 (5)	56 (6)	42 (3)	43 (4)	51 (9)	63 (15)	583 (42)	3.0
	-	-	-	-	1	-	3	0.5
外科	170	159 (2)	171 (3)	151 (1)	128 (2)	194 (2)	1,940 (19)	10.1
	9	7	3	9	10	19	112	19.6
整形外科	71 (3)	63 (1)	63 (4)	56 (2)	60	74 (2)	736 (22)	3.8
	2	1	1	1	3	1	18	3.2
脳神経外科	72 (3)	57 (2)	65 (1)	60	78 (2)	69	798 (23)	4.2
	5	2	4	2	2	4	37	6.5
心臓外科	5	11	6	8	6	5	78	0.4
	8	5	6	7	4	11	73	12.8
皮膚科	17	12	16	13	15	23	190	1.0
	1	-	1	-	1	3	8	1.4
泌尿器科	185 (1)	168 (1)	143 (1)	148	119	170 (1)	1,893 (5)	9.9
	2	3	1	1	2	2	23	4.0
産科	96	79	65	64	54	79	974	5.1
	-	-	-	-	-	-	0	0.0
婦人科	60	65	62	64	51	66	757	4.0
	-	1	-	-	2	-	7	1.2
眼科	91	90	80	82 (1)	78	97 (2)	1,030 (3)	5.4
	-	-	-	-	-	1	1	0.2
耳鼻咽喉科	38	44	40 (1)	31	32 (1)	34	422 (2)	2.2
	-	-	-	-	1	1	6	1.1
新生児科	41	44	39	31	24	33	435	2.3
	-	-	-	-	-	-	0	0.0
麻酔科	1	1	-	-	-	-	2	0.0
	-	-	-	-	-	-	0	0.0
形成外科	28 (1)	18 (1)	20 (2)	15	15 (1)	12 (2)	230 (8)	1.2
	1	2	1	3	2	1	19	3.3
歯科・歯科口腔外科	15	8	7	8	10	12	127	0.7
	-	-	-	1	-	2	3	0.5
神経精神科	16	17	15	18	14	13	184	1.0
	1	2	-	1	-	1	15	2.6
*正常新生児	82	61	54	53	41	55	782	4.1
	-	-	-	-	-	-	0	0.0
入院患者数	1,717 (35)	1,590 (32)	1,592 (37)	1,604 (32)	1,406 (33)	1,758 (49)	19,139 (343)	100.0
転科入院数	57	50	36	45	50	64	570	100.0
合 計	1,774 (35)	1,640 (32)	1,628 (37)	1,649 (32)	1,456 (33)	1,822 (49)	19,709 (343)	-

（注）上段は入院患者数、下段は転科入院患者数

*1 内科は救急救命医が主治医の場合、救急救命内科として表記する
　内科以外の科は救急救命医が主治医の場合、（）に表記する

*2 正常出生児は入院患者数、転科入院数及び%に含めず

●退院患者数（2020年度）

科名＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
消化器内科	167	183	209	238	196	214
	5	5	5	7	11	8
呼吸器内科	67 (2)	74 (2)	67	51 (1)	71 (2)	61 (1)
	2	3	2	1	-	-
循環器内科	183	187 (1)	186 (2)	195	213	195 (2)
	3	11	7	11	8	9
血液内科	36	47	45	47	58	46
	1	-	-	2	-	-
総合内科	67 (1)	83	73 (1)	77	93 (2)	89 (2)
	3	7	5	8	4	7
神経内科	12	14	23	10	19 (1)	19 (1)
	1	-	-	-	-	-
アレルギー・膠原病内科	19 (1)	24	26	25	27	21
	-	-	-	1	1	-
救急救命科	5 (7)	7 (7)	4 (5)	6 (8)	15 (17)	13 (16)
	2	-	1	2	2	3
糖尿病代謝内科	-	-	-	2	-	1
	-	-	-	-	-	-
感染症科	11	7	3	6	15	6
	-	-	-	1	-	-
腎臓内科・透析科	58	45 (1)	42 (2)	51 (1)	67	57
	2	3	3	4	4	2
小児科	27	38	41	57	53	57
	1	-	-	-	-	-
外科	148	144	186 (1)	180 (2)	172 (2)	159 (3)
	4	3	4	8	5	5
整形外科	54 (3)	52	56 (3)	62 (2)	59	61 (1)
	-	3	3	2	1	1
脳神経外科	87 (4)	62 (2)	64 (2)	62 (3)	65 (1)	67 (4)
	1	3	2	4	-	2
心臓外科	10	9	11	3	8	10
	3	5	4	4	3	3
皮膚科	12	17	8	23	19	15
	-	-	1	1	1	-
泌尿器科	145	137	180	175	134	176 (1)
	1	1	-	3	2	1
産科	89	91	90	78	92	100
	-	-	-	-	-	-
婦人科	70	64	67	65	66	58
	1	1	-	-	1	-
眼科	84	73	76	86	100	87
	-	-	-	-	-	-
耳鼻咽喉科	26	25	30	41	42	36
	-	-	1	1	1	-
新生児科	43	27	38	39	36	41
	-	-	-	-	-	-
麻酔科	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-
形成外科	14	12	22	18 (1)	20	27
	1	-	2	1	1	1
歯科・歯科口腔外科	11	6	9	16	10	10
	-	-	1	-	-	1
神経精神科	18	11	19	20	16	11
	-	1	-	-	-	1
*正常新生児	74	77	72	52	78	84
	-	-	-	-	-	-
退院患者数	1,463 (18)	1,439 (13)	1,575 (16)	1,633 (18)	1,666 (25)	1,637 (31)
転科退院数	31	46	41	61	45	44
合 計	1,494 (18)	1,485 (13)	1,616 (16)	1,694 (18)	1,711 (25)	1,681 (31)

（注）上段は退院患者数、下段は転科退院患者数

*1 内科は救急救命医が主治医の場合、救急救命内科として表記する
　内科以外の科は救急救命医が主治医の場合、（）に表記する

*2 正常出生児は退院患者数、転科退院数及び%に含めず

科名＼月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	構成比(%)
消化器内科	221 (1)	216 (1)	243 (1)	217 (1)	194 (1)	219 (3)	2,517 (8)	13.2
	7	6	2	9	6	17	88	15.4
呼吸器内科	68	69	79	68 (1)	77 (1)	69 (2)	821 (12)	4.3
	-	-	1	-	1	2	12	2.1
循環器内科	231 (3)	204	220 (1)	233 (2)	212	222	2,481 (11)	13.0
	13	8	9	13	8	14	114	20.0
血液内科	48	32	45	40	50	59	553	2.9
	1	1	1	-	1	-	7	1.2
総合内科	71 (1)	81 (2)	76 (1)	80 (2)	67	84 (3)	941 (15)	4.9
	6	5	2	4	4	4	59	10.3
神経内科	21	22	14	12	17	13	196 (2)	1.0
	1	1	1	-	1	-	5	0.9
アレルギー・膠原病内科	25	27	27 (2)	26	26	27	300 (3)	1.6
	-	2	1	1	2	-	8	1.4
救急救命科	11 (12)	10 (13)	18 (18)	15 (14)	11 (11)	18 (22)	133 (150)	0.7
	2	3	-	-	-	4	19	3.3
糖尿病代謝内科	-	2 (1)	2	1	1	1	10 (1)	0.1
	-	-	-	-	-	-	0	0.0
感染症科	4	4	9	9	6	10	90	0.5
	-	-	-	-	-	-	1	0.2
腎臓内科・透析科	49 (3)	30 (2)	51 (2)	56	43	58	607 (11)	3.2
	1	6	3	2	5	2	37	6.5
小児科	60 (5)	57 (6)	41 (2)	41 (5)	48 (8)	66 (15)	586 (41)	3.1
	-	-	-	-	-	-	1	0.2
外科	174 (1)	150 (2)	198 (2)	143 (2)	127 (1)	188 (3)	1,969 (19)	10.3
	7	8	5	3	7	8	67	11.7
整形外科	72 (4)	66 (2)	68 (3)	57 (2)	55 (2)	65	727 (22)	3.8
	1	-	1	3	1	3	19	3.3
脳神経外科	78 (2)	62 (1)	67 (2)	58 (1)	75 (2)	66	813 (24)	4.3
	2	2	1	3	4	2	26	4.6
心臓外科	9	7	11	6	6	12	102	0.5
	8	3	7	3	4	6	53	9.3
皮膚科	17	9	15	19	16	19	189	1.0
	2	-	-	-	-	-	5	0.9
泌尿器科	193 (1)	162 (1)	170 (1)	133	121	164 (1)	1,890 (5)	9.9
	2	3	-	2	2	1	18	3.2
産科	89	80	78	60	56	73	976	5.1
	-	-	-	-	-	-	0	0.0
婦人科	65	62	70	58	59	63	767	4.0
	-	-	-	-	-	1	4	0.7
眼科	102	86	84	78 (1)	78	96 (2)	1,030 (3)	5.4
	-	1	1	-	-	-	2	0.4
耳鼻咽喉科	42	47	42	32 (1)	30 (1)	33	426 (2)	2.2
	-	-	-	-	-	-	3	0.5
新生児科	43	39	39	34	24	29	432	2.3
	-	-	-	-	-	-	0	0.0
麻酔科	1	1	-	-	-	-	2	0.0
	-	-	-	-	-	-	0	0.0
形成外科	28 (1)	25 (1)	24 (2)	12	16 (1)	14 (2)	232 (8)	1.2
	2	-	1	1	2	1	13	2.3
歯科・歯科口腔外科	18	8	9	7	9	9	122	0.6
	1	-	-	-	2	-	5	0.9
神経精神科	16	20	20	16	10	16	193	1.0
	1	1	-	1	-	-	5	0.9
*正常新生児	82	62	60	50	39	56	786	4.1
	-	-	-	-	-	-	0	0.0
退院患者数	1,756 (34)	1,578 (32)	1,720 (37)	1,511 (32)	1,434 (28)	1,693 (53)	19,105 (337)	100.0
転科退院数	57	50	36	45	50	65	571	100.0
合 計	1,813 (34)	1,628 (32)	1,756 (37)	1,556 (32)	1,484 (28)	1,758 (53)	19,676 (337)	-

（注）上段は退院患者数、下段は転科退院患者数

*1 内科は救急救命医が主治医の場合、救急救命内科として表記する
　内科以外の科は救急救命医が主治医の場合、（）に表記する

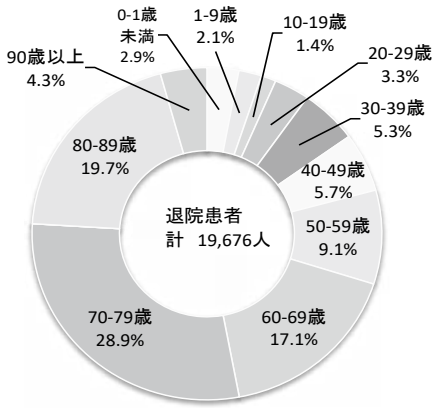
*2 正常出生児は退院患者数、転科退院数及び%に含めず

●科別・年齢別・性別退院患者数（2020年度）

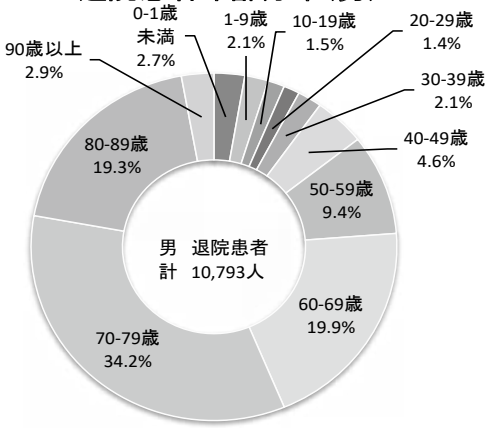
科・性別＼年齢階層		0-1歳未満	1-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳
合計（人）	計	577	414	274	648	1,050	1,123	1,797	3,373	5,691
	男	293	224	160	154	231	492	1,012	2,153	3,686
	女	284	190	114	494	819	631	785	1,220	2,005
構成比（%）	計	2.9	2.1	1.4	3.3	5.3	5.7	9.1	17.1	28.9
	男	2.7	2.1	1.5	1.4	2.1	4.6	9.4	19.9	34.2
	女	3.2	2.1	1.3	5.6	9.2	7.1	8.8	13.7	22.6
消化器内科	男	-	-	4	13	35	50	120	348	620
	女	-	-	2	10	23	39	86	156	293
呼吸器内科	男	-	-	-	6	2	18	38	91	242
	女	-	-	-	3	4	9	11	26	70
循環器内科	男	-	-	1	3	15	71	190	340	620
	女	-	-	1	1	4	20	59	128	306
血液内科	男	-	-	-	4	9	5	18	74	112
	女	-	-	1	-	3	3	44	50	94
総合内科	男	-	-	2	4	8	29	52	72	158
	女	-	-	9	7	10	25	31	51	99
神経内科	男	-	-	3	1	5	4	16	27	37
	女	-	-	-	1	4	3	5	17	16
アレルギー・膠原病内科	男	-	-	1	3	1	4	13	33	46
	女	-	-	2	5	6	11	29	43	43
救急救命科	男	-	-	2	3	2	9	12	22	17
	女	-	-	6	6	5	7	2	11	10
糖尿病代謝内科	男	-	-	-	-	1	1	-	1	2
	女	-	-	-	-	3	1	-	-	1
感染症科	男	-	-	1	6	4	5	5	6	11
	女	-	-	1	4	4	3	4	3	8
腎臓内科・透析科	男	-	-	2	5	15	21	49	98	152
	女	-	-	1	2	8	21	15	40	60
小児科	男	73	171	55	1	2	-	-	-	-
	女	71	163	39	3	7	2	-	-	-
外科	男	-	3	28	16	23	56	124	277	415
	女	-	2	12	17	25	85	97	162	274
整形外科	男	1	5	19	23	12	35	46	55	96
	女	-	5	6	5	5	16	28	70	96
脳神経外科	男	-	4	4	11	11	25	42	78	160
	女	-	1	3	2	5	20	44	62	100
心臓外科	男	-	-	1	-	-	4	12	24	34
	女	-	-	-	-	-	1	3	12	18
皮膚科	男	-	-	-	1	8	4	16	12	22
	女	-	-	3	1	3	4	9	11	19
泌尿器科	男	-	13	5	10	17	54	116	404	613
	女	-	-	1	2	11	24	34	100	92
産科	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	5	358	555	58	-	-	-
婦人科	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	4	22	79	218	203	115	103
眼科	男	-	-	3	4	8	23	55	93	221
	女	-	3	-	4	3	10	24	90	224
耳鼻咽喉科	男	-	14	12	23	25	33	36	47	54
	女	-	9	4	26	28	12	21	27	30
新生児科	男	218	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	212	1	-	-	-	-	-	-	-
麻酔科	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	1
形成外科	男	1	12	9	12	5	19	23	32	23
	女	1	6	6	1	2	16	15	10	19
歯科・歯科口腔外科	男	-	1	4	2	14	9	10	6	13
	女	-	-	5	6	7	9	5	11	5
神経精神科	男	-	-	4	3	9	13	19	13	18
	女	-	-	3	8	15	14	16	25	24

科・性別＼年齢階層		80-89歳	90歳以上	合 計	平均年齢
合計（人）	計	3,884	845	19,676	63.8
	男	2,079	309	10,793	65.7
	女	1,805	536	8,883	61.4
構成比（%）	計	19.7	4.3	100.0	0.0
	男	19.3	2.9	100.0	0.0
	女	20.3	6.0	100.0	0.0
消化器内科	男	372	54	1,616	71.2
	女	276	104	989	73.3
呼吸器内科	男	151	51	599	74.5
	女	69	42	234	76.9
循環器内科	男	352	54	1,646	71.2
	女	336	94	949	76.5
血液内科	男	84	4	310	71.7
	女	48	7	250	70.6
総合内科	男	138	38	501	71.8
	女	185	82	499	75.4
神経内科	男	21	2	116	67.1
	女	31	8	85	73.3
アレルギー・膠原病内科	男	25	2	128	69.6
	女	39	2	180	65.8
救急救命科	男	15	2	84	63.9
	女	17	4	68	60.5
糖尿病代謝内科	男	-	-	5	57.8
	女	-	-	5	42.2
感染症科	男	13	3	54	62.7
	女	7	3	37	61.9
腎臓内科・透析科	男	88	5	435	68.7
	女	49	13	209	69.0
小児科	男	-	-	302	4.9
	女	-	-	285	5.1
外科	男	211	19	1,172	67.6
	女	154	36	864	66.9
整形外科	男	47	13	352	59.9
	女	117	46	394	72.4
脳神経外科	男	120	18	473	69.5
	女	102	27	366	72.0
心臓外科	男	15	2	92	69.6
	女	26	3	63	76.2
皮膚科	男	35	9	107	70.3
	女	23	14	87	71.6
泌尿器科	男	263	29	1,524	69.7
	女	91	29	384	70.6
産科	男	-	-	-	0.0
	女	-	-	976	31.3
婦人科	男	-	-	-	0.0
	女	23	4	771	54.0
眼科	男	92	-	499	69.5
	女	164	11	533	73.9
耳鼻咽喉科	男	13	1	258	51.7
	女	12	2	171	50.1
新生児科	男	-	-	219	0.0
	女	-	-	213	0.0
麻酔科	男	1	-	1	84.0
	女	-	-	1	77.0
形成外科	男	16	2	154	52.4
	女	13	2	91	55.9
歯科・歯科口腔外科	男	6	1	66	52.8
	女	12	1	61	54.3
神経精神科	男	1	-	80	54.4
	女	11	2	118	57.3

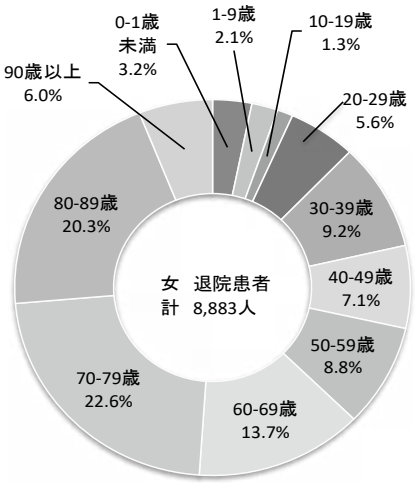
退院患者年齢分布（男女計）



退院患者年齢分布（男）



退院患者年齢分布（女）

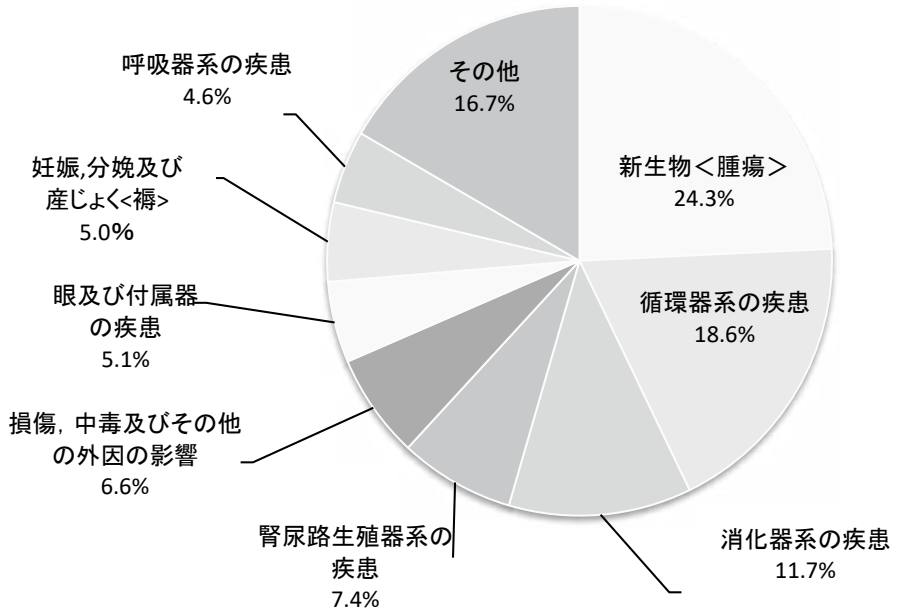


疾病分類別統計

●全科疾病分類別集計（2020年度）

コード	分類名	件数	構成比(%)	平均在院日数
Ⅰ	感染症及び寄生虫症	384	2.0	18.0
Ⅱ	新生物＜腫瘍＞	4,772	24.3	14.7
Ⅲ	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	128	0.7	18.6
Ⅳ	内分泌，栄養及び代謝疾患	279	1.4	15.8
Ⅴ	精神及び行動の障害	221	1.1	51.5
Ⅵ	神経系の疾患	332	1.7	21.2
Ⅶ	眼及び付属器の疾患	1,013	5.1	4.2
Ⅷ	耳及び乳様突起の疾患	78	0.4	5.5
Ⅸ	循環器系の疾患	3,653	18.6	13.5
Ⅹ	呼吸器系の疾患	911	4.6	16.2
ⅩⅠ	消化器系の疾患	2,302	11.7	10.8
ⅩⅡ	皮膚及び皮下組織の疾患	205	1.0	16.8
ⅩⅢ	筋骨格系及び結合組織の疾患	498	2.5	27.7
ⅩⅣ	腎尿路生殖器系の疾患	1,451	7.4	12.6
ⅩⅤ	妊娠，分娩及び産じょく＜褥＞	988	5.0	8.5
ⅩⅥ	周産期に発生した病態	431	2.2	12.9
ⅩⅦ	先天奇形，変形及び染色体異常	98	0.5	20.6
ⅩⅧ	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	155	0.8	7.1
ⅩⅨ	損傷，中毒及びその他の外因の影響	1,307	6.6	16.4
ⅩⅩⅠ	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	326	1.7	4.3
ⅩⅩⅡ	特殊目的用コード	144	0.7	15.8
合　計		19,676	100.0	13.9

全科疾病別割合



●全科疾病分類別上位頻度表（2020年度）

	Ⅰ　感染症及び寄生虫症	コード	件数	構成比（%）
1	その他の敗血症	A41	80	20.8
2	その他の胃腸炎及び大腸炎，感染症及び詳細不明の原因によるもの	A09	54	14.1
3	部位不明の細菌感染症	A49	52	13.5
4	帯状疱疹［帯状ヘルペス］	B02	22	5.7
5	部位不明のウイルス感染症	B34	16	4.2
6	その他の細菌性腸管感染症	A04	15	3.9
7	その他の細菌性疾患，他に分類されないもの	A48	14	3.6
8	アスペルギルス症	B44	11	2.9
9	ウイルス性及びその他の明示された腸管感染症	A08	10	2.6
9	呼吸器結核，細菌学的又は組織学的に確認されたもの	A15	10	2.6
11	その他		100	26.0
	合 計		384	100.0

	Ⅱ　新生物	コード	件数	構成比（%）
1	前立腺の悪性新生物	C61	396	8.3
2	大腸の悪性新生物	C18-C20	389	8.2
3	胃の悪性新生物	C16	380	8.0
4	気管支及び肺の悪性新生物	C34	370	7.8
5	膀胱の悪性新生物	C67	269	5.6
6	膵の悪性新生物	C25	203	4.3
7	肝及び肝内胆管の悪性新生物	C22	192	4.0
8	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫	C83	175	3.7
9	乳房の悪性新生物	C50	159	3.3
10	子宮頚部の悪性新生物	C53	147	3.1
11	その他		2,092	43.8
	合 計		4,772	100.0

	Ⅲ　血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	コード	件数	構成比（%）
1	サルコイドーシス	D86	30	23.4
2	紫斑病及びその他の出血性病態	D69	24	18.8
2	無顆粒球症	D70	24	18.8
4	鉄欠乏性貧血	D50	8	6.3
5	その他の無形成性貧血	D61	7	5.5
6	リンパ細網組織及び細網組織球組織のその他の明示された疾患	D76	6	4.7
7	その他の凝固障害	D68	5	3.9
7	その他の免疫機構の障害，他に分類されないもの	D89	5	3.9
9	後天性溶血性貧血	D59	4	3.1
10	その他の貧血	D64	3	2.3
11	その他		12	9.4
	合 計		128	100.0

	Ⅳ　内分泌、栄養および代謝疾患	コード	件数	構成比（%）
1	２型＜インスリン非依存性＞糖尿病＜NIDDM＞	E11	62	22.2
2	その他の体液，電解質及び酸塩基平衡障害	E87	49	17.6
3	その他の非中毒性甲状腺腫	E04	25	9.0
3	下垂体機能低下症及びその他の下垂体障害	E23	25	9.0
5	１型＜インスリン依存性＞糖尿病＜IDDM＞	E10	18	6.5
6	その他の膵内分泌障害	E16	14	5.0
6	体液量減少(症)	E86	14	5.0
8	その他の内分泌障害	E34	12	4.3
9	その他の副腎障害	E27	10	3.6
10	ミネラル＜鉱質＞代謝障害	E83	9	3.2
11	その他		41	14.7
	合 計		279	100.0

	Ⅴ　精神および行動の障害	コード	件数	構成比(%)
1	統合失調症	F20	65	29.4
2	双極性感情障害 <躁うつ病>	F31	44	19.9
3	うつ病エピソード	F32	33	14.9
4	統合失調感情障害	F25	13	5.9
5	アルコール使用 <飲酒> による精神及び行動の障害	F10	11	5.0
6	反復性うつ病性障害	F33	8	3.6
7	急性一過性精神病性障害	F23	5	2.3
8	詳細不明の認知症	F03	4	1.8
8	解離性［転換性］障害	F44	4	1.8
8	身体表現性障害	F45	4	1.8
11	その他		30	13.6
	合 計		221	100.0

	Ⅵ　神経系の疾患	コード	件数	構成比(%)
1	てんかん	G40	69	20.8
2	顔面神経障害	G51	32	9.6
3	睡眠障害	G47	27	8.1
4	一過性脳虚血発作及び関連症候群	G45	22	6.6
4	水頭症	G91	22	6.6
6	パーキンソン <Parkinson> 病	G20	19	5.7
7	脳のその他の障害	G93	18	5.4
8	てんかん重積(状態)	G41	14	4.2
9	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	G12	10	3.0
9	自律神経系の障害	G90	10	3.0
11	その他		89	26.8
	合 計		332	100.0

	Ⅶ　眼および付属器の疾患	コード	件数	構成比(%)
1	老人性白内障	H25	647	63.9
2	緑内障	H40	147	14.5
3	その他の網膜障害	H35	77	7.6
4	網膜剥離及び裂孔	H33	55	5.4
5	眼瞼のその他の障害	H02	29	2.9
6	硝子体の障害	H43	13	1.3
7	角膜炎	H16	9	0.9
8	水晶体のその他の障害	H27	8	0.8
9	その他の白内障	H26	7	0.7
10	麻痺性斜視	H49	4	0.4
11	その他		17	1.7
	合 計		1,013	100.0

	Ⅷ　耳および乳様突起の疾患	コード	件数	構成比(%)
1	その他の難聴	H91	23	29.5
2	前庭機能障害	H81	21	26.9
3	化膿性及び詳細不明の中耳炎	H66	11	14.1
4	その他の内耳疾患	H83	7	9.0
5	非化膿性中耳炎	H65	5	6.4
5	中耳真珠腫	H71	5	6.4
7	乳(様)突(起)炎及び関連病態	H70	3	3.8
8	外耳炎	H60	1	1.3
8	中耳及び乳様突起のその他の障害	H74	1	1.3
8	伝音及び感音難聴	H90	1	1.3
	合 計		78	100.0

	Ⅸ 循環器系の疾患	コード	件数	構成比(%)
1	狭心症	I20	603	16.5
2	脳梗塞	I63	508	13.9
3	心不全	I50	346	9.5
4	心房細動及び粗動	I48	291	8.0
5	急性心筋梗塞	I21	281	7.7
6	非リウマチ性大動脈弁障害	I35	245	6.7
7	アテローム＜じゅく＜粥＞状＞硬化(症)	I70	235	6.4
8	脳内出血	I61	176	4.8
9	大動脈瘤及び解離	I71	116	3.2
10	動脈の塞栓症及び血栓症	I74	107	2.9
11	その他		745	20.4
	合 計		3,653	100.0

	Ⅹ 呼吸器系の疾患	コード	件数	構成比(%)
1	細菌性肺炎，他に分類されないもの	J15	155	17.0
1	固形物及び液状物による肺臓炎	J69	155	17.0
3	その他の間質性肺疾患	J84	58	6.4
4	慢性副鼻腔炎	J32	54	5.9
5	肺炎，病原体不詳	J18	53	5.8
6	気胸	J93	52	5.7
7	扁桃及びアデノイドの慢性疾患	J35	40	4.4
8	膿胸(症)	J86	36	4.0
9	扁桃周囲膿瘍	J36	30	3.3
10	喘息	J45	29	3.2
11	その他		249	27.3
	合 計		911	100.0

	Ⅺ 消化器系の疾患	コード	件数	構成比(%)
1	胆石症	K80	793	34.4
2	そけい＜鼠径＞ヘルニア	K40	157	6.8
3	消化器系の処置後障害，他に分類されないもの	K91	144	6.3
4	腸の憩室性疾患	K57	136	5.9
5	急性虫垂炎	K35	134	5.8
6	麻痺性イレウス及び腸閉塞，ヘルニアを伴わないもの	K56	82	3.6
7	胆道のその他の疾患	K83	76	3.3
8	急性膵炎	K85	73	3.2
9	胃潰瘍	K25	64	2.8
10	胆のう＜嚢＞炎	K81	48	2.1
11	その他		595	25.8
	合 計		2,302	100.0

	Ⅻ 皮膚および皮下組織の疾患	コード	件数	構成比(%)
1	蜂巣炎＜蜂窩織炎＞	L03	79	38.5
2	摂取物質による皮膚炎	L27	26	12.7
3	皮膚膿瘍，せつ＜フルンケル＞及び　よう＜カルブンケル＞	L02	17	8.3
4	円形脱毛症	L63	12	5.9
5	下肢の潰瘍，他に分類されないもの	L97	9	4.4
6	急性リンパ節炎	L04	8	3.9
6	じょく＜褥＞瘡性潰瘍及び圧迫領域	L89	8	3.9
8	類天疱瘡	L12	7	3.4
9	皮膚の肥厚性障害	L91	6	2.9
10	毛巣のう＜嚢＞胞	L05	4	2.0
11	その他		29	14.1
	合 計		205	100.0

	ⅩⅢ　筋骨格系および結合組織の疾患	コード	件数	構成比(%)
1	その他の脊椎障害	M48	55	11.0
2	その他の全身性結合組織疾患	M35	44	8.8
3	その他のえ＜壊＞死性血管障害	M31	40	8.0
4	その他の関節リウマチ	M06	37	7.4
5	股関節症［股関節部の関節症］	M16	33	6.6
5	結節性多発(性)動脈炎及び関連病態	M30	33	6.6
7	その他の結晶性関節障害	M11	25	5.0
7	膝関節症［膝の関節症］	M17	25	5.0
9	その他の炎症性脊椎障害	M46	24	4.8
10	脊椎症	M47	23	4.6
11	その他		159	31.9
	合 計		498	100.0

	ⅩⅣ　尿路性器系の疾患	コード	件数	構成比(%)
1	腎結石及び尿管結石	N20	303	20.9
2	慢性腎不全	N18	254	17.5
3	急性尿細管間質性腎炎	N10	238	16.4
4	前立腺肥大(症)	N40	97	6.7
5	尿路系のその他の障害	N39	70	4.8
6	急性腎不全	N17	58	4.0
7	子宮内膜症	N80	48	3.3
8	下部尿路結石	N21	43	3.0
9	その他の膀胱障害	N32	32	2.2
10	閉塞性尿路疾患及び逆流性尿路疾患	N13	31	2.1
11	その他		277	19.1
	合 計		1,451	100.0

	ⅩⅤ　妊娠、分娩および産じょく〈褥〉	コード	件数	構成比(%)
1	分娩における会陰裂傷 <laceration>	O70	265	26.8
2	娩出力の異常	O62	118	11.9
3	前期破水	O42	113	11.4
4	既知の母体骨盤臓器の異常又はその疑いのための母体ケア	O34	75	7.6
5	切迫早産及び早産	O60	48	4.9
6	胎児ストレス［仮死 ＜ジストレス＞］を合併する分娩	O68	34	3.4
7	過度の妊娠嘔吐	O21	31	3.1
7	他に分類されるが，妊娠，分娩及び産じょく＜褥＞に合併するその他の母体疾患	O99	31	3.1
9	既知の胎位異常又はその疑いのための母体ケア	O32	28	2.8
10	子かん＜癇＞前症	O14	26	2.6
11	その他		219	22.2
	合 計		988	100.0

	ⅩⅥ　周産期に発生した病態	コード	件数	構成比(%)
1	新生児の呼吸窮＜促＞迫	P22	157	36.4
2	妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害，他に分類されないもの	P07	83	19.3
3	その他及び詳細不明の原因による新生児黄疸	P59	61	14.2
4	胎児及び新生児に特異的な一過性糖質代謝障害	P70	37	8.6
5	新生児の哺乳上の問題	P92	29	6.7
6	周産期に発生したその他の呼吸器病態	P28	19	4.4
7	出生時仮死	P21	8	1.9
8	胎児及び新生児の溶血性疾患	P55	6	1.4
9	周産期に発生した間質性気腫及び関連病態	P25	5	1.2
9	新生児のその他の体温調節機能障害	P81	5	1.2
11	その他		21	4.9
	合 計		431	100.0

	ⅩⅦ 先天性奇形、変形および染色体異常	コード	件数	構成比(%)
1	喉頭の先天奇形	Q31	18	18.4
2	循環器系のその他の先天奇形	Q28	10	10.2
3	顔面及び頸部のその他の先天奇形	Q18	8	8.2
4	卵巣，卵管及び広間膜の先天奇形	Q50	7	7.1
4	停留精巣＜睾丸＞	Q53	7	7.1
6	唇裂を伴う口蓋裂	Q37	6	6.1
7	心(臓)中隔の先天奇形	Q21	4	4.1
7	上部消化管のその他の先天奇形	Q40	4	4.1
9	のう＜嚢＞胞性腎疾患	Q61	3	3.1
9	多系統におよぶその他の明示された先天奇形症候群	Q87	3	3.1
11	その他		28	28.6
	合 計		98	100.0

	ⅩⅧ 症状、微候および異常臨床所見	コード	件数	構成比(%)
1	けいれん＜痙攣＞，他に分類されないもの	R56	31	20.0
2	悪心及び嘔吐	R11	19	12.3
3	その他の原因による熱及び不明熱	R50	17	11.0
4	気道からの出血	R04	16	10.3
5	失神及び虚脱	R55	11	7.1
6	腹痛及び骨盤痛	R10	9	5.8
7	頭痛	R51	6	3.9
8	傾眠，昏迷及び昏睡	R40	5	3.2
8	身体標準発育不足	R62	5	3.2
8	食物及び水分摂取に関する症状及び徴候	R63	5	3.2
11	その他		31	20.0
	合 計		155	100.0

	ⅩⅨ 損傷、中毒およびその他の外因の影響	コード	件数	構成比(%)
1	頭蓋内損傷	S06	255	19.5
2	大腿骨骨折	S72	215	16.4
3	心臓及び血管のプロステーシス，挿入物及び移植片の合併症	T82	94	7.2
4	処置の合併症，他に分類されないもの	T81	83	6.4
5	下腿の骨折，足首を含む	S82	72	5.5
6	多部位の骨折	T02	53	4.1
7	有害作用，他に分類されないもの	T78	36	2.8
8	その他の体内プロステーシス，挿入物及び移植片の合併症	T85	35	2.7
9	肩及び上腕の骨折	S42	33	2.5
10	腰椎及び骨盤の骨折	S32	32	2.4
11	その他		399	30.5
	合 計		1,307	100.0

	ⅩⅩⅠ 健康に影響をおよぼす要因および健康サービスの利用	コード	件数	構成比(%)
1	疾病及び病態の疑いに対する医学的観察及び評価	Z03	199	61.0
2	移植された器具の調整及び管理	Z45	55	16.9
3	その他の整形外科的経過観察 ＜フォローアップ＞ ケア	Z47	32	9.8
4	人工開口部に対する手当て	Z43	21	6.4
5	形成手術後の経過観察 ＜フォローアップ＞ ケア	Z42	7	2.1
6	愁訴がない又は診断名の記載がない者の一般検査及び診査	Z00	3	0.9
6	悪性新生物 ＜腫瘍＞ 以外の病態の治療後の経過観察 ＜フォローアップ＞ 検査	Z09	3	0.9
6	臓器及び組織の提供者 ＜ドナー＞	Z52	3	0.9
9	分娩前スクリーニング	Z36	1	0.3
9	健康状態改善以外を目的とする処置	Z41	1	0.3
11	その他		1	0.3
	合 計		326	100.0

	ＸＸⅡ 特殊目的用コード	コード	件数	構成比（%）
1	エマージェンシーコードU07(COVID-19)	U07	144	100.0
合 計			144	100.0

※WHOにより原因不明の新しい疾患に暫定的に使用されるコード

悪性新生物統計

●部位別退院患者件数（2020年度）

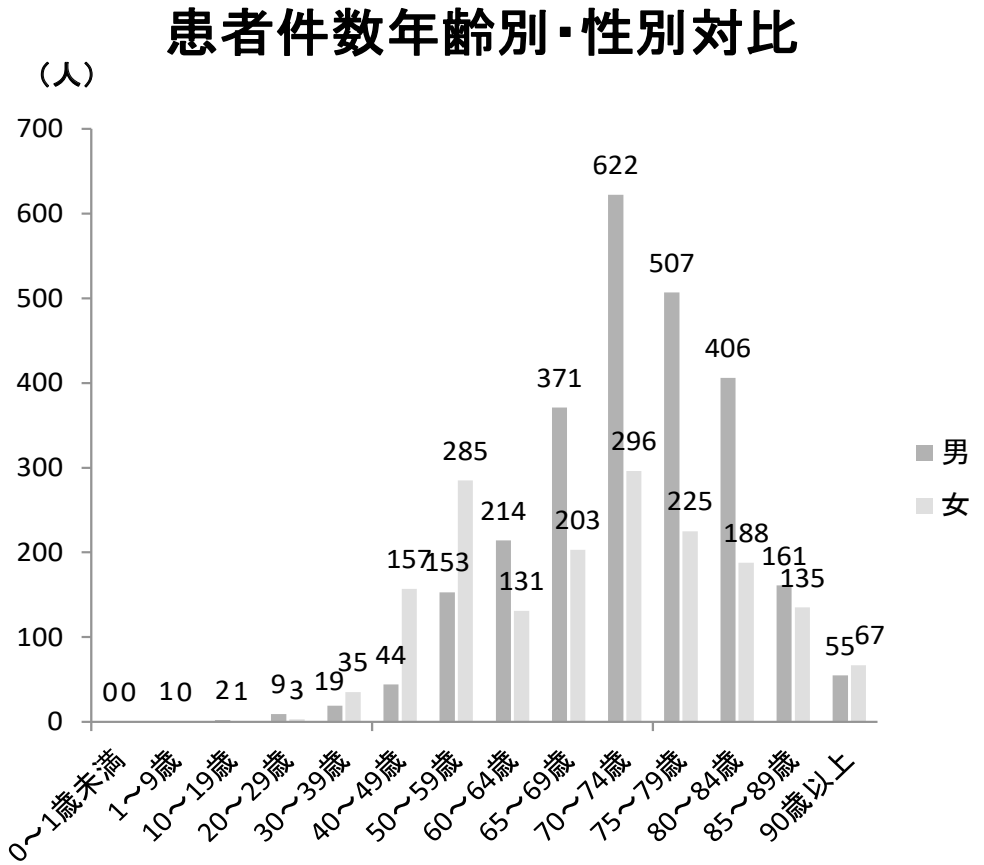
	順位	疾病部位	件数	構成比（%）
男女計	1	前立腺	396	9.2
	2	大腸	389	9.1
	3	胃	379	8.8
	4	気管支及び肺	370	8.6
	5	膀胱	269	6.3
	6	膵	203	4.7
	7	肝及び肝内胆管	192	4.5
	8	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫	175	4.1
	9	乳房	159	3.7
	10	子宮頚部	147	3.4
	11	その他	1,611	37.6
	合　計		4,290	100.0

	順位	疾病部位	件数	構成比（%）
男	1	前立腺	396	15.4
	2	胃	277	10.8
	3	気管支及び肺	269	10.5
	4	大腸	231	9.0
	5	膀胱	213	8.3
	6	肝及び肝内胆管	147	5.7
	7	膵	116	4.5
	8	食道	104	4.1
	9	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫	90	3.5
	10	その他及び部位不明の胆道	77	3.0
	11	その他	644	25.1
	合　計		2,564	100.0

	順位	疾病部位	件数	構成比（%）
女	1	大腸	158	9.2
	2	乳房	157	9.1
	3	子宮頚部	147	8.5
	4	子宮体部	118	6.8
	5	胃	102	5.9
	6	気管支及び肺	101	5.9
	7	卵巣	98	5.7
	8	膵	87	5.0
	9	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫	85	4.9
	10	膀胱	56	3.2
	11	その他	617	35.7
	合　計		1,726	100.0

●年齢別患者件数（2020年度）

性別 / 年齢区分	男	女	男女計
0～1歳未満	0	0	0
1～9歳	1	0	1
10～19歳	2	1	3
20～29歳	9	3	12
30～39歳	19	35	54
40～49歳	44	157	201
50～59歳	153	285	438
60～64歳	214	131	345
65～69歳	371	203	574
70～74歳	622	296	918
75～79歳	507	225	732
80～84歳	406	188	594
85～89歳	161	135	296
90歳以上	55	67	122
合　計	2,564	1,726	4,290



●部位順位表　性別・年齢（2020年度）

性別	年齢階層	順位 / 患者数	1		2		3		4		5	
男 計 2564	0～1歳未満	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0
	1～9歳	1	中咽頭	1	-	0	-	0	-	0	-	0
	10～19歳	2	精巣＜睾丸＞	2	-	0	-	0	-	0	-	0
	20～29歳	9	その他の内分泌腺及び関連組織	5	胃	1	気管支及び肺	1	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫	1	リンパ性白血病	1
	30～39歳	19	リンパ性白血病	7	陰茎	3	鼻＜上＞咽頭	2	精巣＜睾丸＞	2	脳	2
	40～49歳	44	大腸	7	気管支及び肺	5	胃	4	膵	4	腎盂を除く腎	4
	50～59歳	153	大腸	20	前立腺	18	胃	16	気管支及び肺	16	膀胱	12
	60～64歳	214	胃	42	前立腺	25	膀胱	25	大腸	23	膵	15
	65～69歳	371	前立腺	60	気管支及び肺	43	胃	41	膀胱	35	大腸	31
	70～74歳	622	前立腺	120	気管支及び肺	79	胃	57	大腸	51	膀胱	47
	75～79歳	507	前立腺	83	胃	59	気管支及び肺	58	大腸	44	膀胱	42
	80～84歳	406	前立腺	63	胃	40	大腸	38	肝及び肝内胆管	31	気管支及び肺	31
	85～89歳	161	前立腺	22	肝及び肝内胆管	18	膀胱	16	胃	14	気管支及び肺	14
	90歳以上	55	皮膚のその他	9	膀胱	8	気管支及び肺	7	大腸	6	その他及び部位不明の胆道	4
女 計 1726	0～1歳未満	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0
	1～9歳	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0
	10～19歳	1	骨髄性白血病	1	-	0	-	0	-	0	-	0
	20～29歳	3	大腸	1	乳房	1	その他の部位及び部位不明の続発性	1	-	0	-	0
	30～39歳	35	子宮頚部	11	子宮頚(部)の上皮内癌	8	卵巣	5	胃	4	乳房	2
	40～49歳	157	子宮頚部	56	乳房	23	子宮体部	14	子宮頚(部)の上皮内癌	12	胃	10
	50～59歳	285	子宮体部	48	子宮頚部	46	乳房	31	卵巣	27	後腹膜及び腹膜	20
	60～64歳	131	子宮体部	17	乳房	15	卵巣	15	大腸	11	子宮頚部	7
	65～69歳	203	乳房	25	子宮体部	17	大腸	16	子宮頚部	14	膀胱	14
	70～74歳	296	大腸	29	乳房	29	膵	26	胃	21	気管支及び肺	21
	75～79歳	225	大腸	33	気管支及び肺	31	卵巣	21	胃	18	膵	12
	80～84歳	188	大腸	24	胃	17	腎盂	16	気管支及び肺	13	乳房	13
	85～89歳	135	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫	15	胃	14	膵	12	皮膚のその他	11	大腸	10
	90歳以上	67	大腸	11	皮膚のその他	8	その他及び部位不明の胆道	5	膵	5	膀胱	5

性別	年齢階層	6		7		8		9		10		11	
男	0～1歳未満	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0
	1～9歳	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0
	10～19歳	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0
	20～29歳	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0
	30～39歳	食道	1	甲状腺	1	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫	1	-	0	-	0	-	0
	40～49歳	精巣＜睾丸＞	3	リンパ性白血病	3	舌のその他及び部位不明	2	胸腺	2	舌根＜基底＞部	1	肝及び肝内胆管	1
	50～59歳	腎盂を除く腎	9	その他の部位及び部位不明の続発性	8	食道	6	肝及び肝内胆管	6	呼吸器及び消化器の続発性	5	膵	4
	60～64歳	気管支及び肺	15	肝及び肝内胆管	8	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫	7	その他及び部位不明の上皮内癌	7	腎盂を除く腎	6	食道	5
	65～69歳	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫	19	肝及び肝内胆管	18	食道	16	膵	16	その他及び部位不明の上皮内癌	12	呼吸器及び消化器の続発性	10
	70～74歳	膵	39	肝及び肝内胆管	38	食道	36	尿管	18	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫	15	呼吸器及び消化器の続発性	13
	75～79歳	肝及び肝内胆管	27	膵	22	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫	21	食道	18	その他及び部位不明の胆道	14	腎盂を除く腎	13
	80～84歳	その他及び部位不明の胆道	30	膀胱	28	食道	16	皮膚のその他	15	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫	15	その他及び部位不明の上皮内癌	12
	85～89歳	その他及び部位不明の胆道	12	大腸	11	骨髄異形成症候群	11	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫	8	皮膚のその他	7	その他及び部位不明の上皮内癌	5
	90歳以上	前立腺	4	胃	3	膵	3	食道	2	その他及び部位不明の上皮内癌	2	その他及び部位不明の口腔	1
女	0～1歳未満	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0
	1～9歳	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0
	10～19歳	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0
	20～29歳	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0
	30～39歳	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫	2	耳下腺	1	大腸	1	骨髄性白血病	1	-	0	-	0
	40～49歳	卵巣	9	大腸	7	甲状腺	5	後腹膜及び腹膜	4	気管支及び肺	3	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫	3
	50～59歳	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫	17	骨髄性白血病	16	大腸	15	気管支及び肺	10	骨髄異形成症候群	8	その他の部位及び部位不明の続発性	5
	60～64歳	胃	6	膵	5	腎盂を除く腎	5	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫	5	気管支及び肺	4	骨髄性白血病	4
	65～69歳	気管支及び肺	11	膵	10	卵巣	10	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫	10	後腹膜及び腹膜	8	胃	7
	70～74歳	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫	17	骨髄異形成症候群	15	膀胱	13	肝及び肝内胆管	11	後腹膜及び腹膜	11	ろ＜濾＞胞性リンパ腫	9
	75～79歳	乳房	12	子宮体部	10	その他及び部位不明の胆道	9	肝及び肝内胆管	8	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫	8	食道	7
	80～84歳	膵	12	その他及び部位不明の胆道	9	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫	8	肝及び肝内胆管	7	子宮体部	7	尿管	7
	85～89歳	その他及び部位不明の胆道	9	その他及び部位不明の上皮内癌	7	肝及び肝内胆管	6	気管支及び肺	6	膀胱	6	歯肉	5
	90歳以上	胆のう＜嚢＞	4	胃	3	卵巣	3	骨髄異形成症候群	3	食道	2	肝及び肝内胆管	2

性別	年齢階層	12		13		14		15		16		17	
男	0～1歳未満	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0
	1～9歳	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0
	10～19歳	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0
	20～29歳	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0
	30～39歳	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0
	40～49歳	胆のう＜嚢＞	1	前立腺	1	眼及び付属器	1	脳	1	甲状腺	1	呼吸器及び消化器の続発性	1
	50～59歳	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	4	胆のう＜嚢＞	3	耳下腺	2	後腹膜及び腹膜	2	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫	2	T/NK細胞リンパ腫のその他の明示された型	2
	60～64歳	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	5	骨髄性白血病	4	細胞型不明の白血病	3	その他及び部位不明の消化器の上皮内癌	3	小腸	2	その他及び部位不明の胆道	2
	65～69歳	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	10	腎盂を除く腎	9	細胞型不明の白血病	8	その他及び部位不明の胆道	7	舌根＜基底＞部	4	腎盂	3
	70～74歳	腎盂	11	その他及び部位不明の上皮内癌	11	皮膚のその他	9	その他及び部位不明の消化器の上皮内癌	9	その他及び部位不明の胆道	8	骨髄異形成症候群	8
	75～79歳	腎盂	12	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	10	胆のう＜嚢＞	9	その他及び部位不明の上皮内癌	9	皮膚のその他	8	喉頭	6
	80～84歳	膵	11	腎盂を除く腎	9	腎盂	9	非ホジキン＜non-Hodgkin＞リンパ腫のその他及び詳細不明の型	9	骨髄異形成症候群	7	尿管	6
	85～89歳	食道	4	喉頭	3	腎盂	3	歯肉	2	膵	2	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	2
	90歳以上	中咽頭	1	副腎	1	その他の部位及び部位不明の続発性	1	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫	1	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	1	骨髄異形成症候群	1
女	0～1歳未満	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0
	1～9歳	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0
	10～19歳	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0
	20～29歳	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0
	30～39歳	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0
	40～49歳	呼吸器及び消化器の続発性	2	乳房の上皮内癌	2	膵	1	膀胱	1	リンパ節の続発性及び部位不明	1	その他の部位及び部位不明の続発性	1
	50～59歳	膵	4	尿管	4	呼吸器及び消化器の続発性	4	子宮頚(部)の上皮内癌	4	肝及び肝内胆管	3	腎盂を除く腎	3
	60～64歳	膀胱	3	呼吸器及び消化器の続発性	3	その他の部位及び部位不明の続発性	3	ろ＜濾＞胞性リンパ腫	3	骨髄異形成症候群	3	肝及び肝内胆管	2
	65～69歳	肝及び肝内胆管	6	その他の部位及び部位不明の続発性	5	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	5	骨髄性白血病	5	胆のう＜嚢＞	4	リンパ性白血病	4
	70～74歳	骨髄性白血病	9	子宮頚部	8	呼吸器及び消化器の続発性	7	その他及び部位不明の胆道	6	その他の部位及び部位不明の続発性	6	その他及び部位不明の上皮内癌	6
	75～79歳	尿管	7	膀胱	6	腎盂	4	細胞型不明の白血病	4	骨髄異形成症候群	4	子宮頚部	3
	80～84歳	骨髄性白血病	7	膀胱	6	食道	5	皮膚のその他	4	その他及び部位不明の消化器の上皮内癌	4	胆のう＜嚢＞	3
	85～89歳	乳房	5	胆のう＜嚢＞	4	脳	4	その他及び部位不明の口腔	2	卵巣	2	腎盂	2
	90歳以上	気管支及び肺	2	膣	2	舌のその他及び部位不明	1	歯肉	1	乳房	1	外陰(部)	1

性別	年齢階層	18		19		20		21	
男	0～1歳未満	-	0	-	0	-	0	-	0
	1～9歳	-	0	-	0	-	0	-	0
	10～19歳	-	0	-	0	-	0	-	0
	20～29歳	-	0	-	0	-	0	-	0
	30～39歳	-	0	-	0	-	0	-	0
	40～49歳	成熟T/NK細胞リンパ腫	1	非ホジキン＜non-Hodgkin＞リンパ腫のその他及び詳細不明の型	1	-	0	-	0
	50～59歳	骨髄性白血病	2	その他及び部位不明の上皮内癌	2	舌のその他及び位不明	1	その他	13
	60～64歳	喉頭	2	腎盂	2	T/NK細胞リンパ腫のその他の明示された型	2	その他	11
	65～69歳	尿管	3	甲状腺	3	部位が明示されていないもの	3	その他	20
	70～74歳	喉頭	6	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	5	骨髄性白血病	5	その他	37
	75～79歳	尿管	6	骨髄異形成症候群	6	呼吸器及び消化器の続発性	5	その他	35
	80～84歳	胆のう＜嚢＞	4	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	4	その他及び部位不明の消化器の上皮内癌	4	その他	24
	85～89歳	皮膚の悪性黒色腫	1	腎盂を除く腎	1	呼吸器及び消化器の続発性	1	その他	4
	90歳以上	-	0	-	0	-	0	-	0
女	0～1歳未満	-	0	-	0	-	0	-	0
	1～9歳	-	0	-	0	-	0	-	0
	10～19歳	-	0	-	0	-	0	-	0
	20～29歳	-	0	-	0	-	0	-	0
	30～39歳	-	0	-	0	-	0	-	0
	40～49歳	非ホジキン＜non-Hodgkin＞リンパ腫のその他及び詳細不明の型	1	骨髄性白血病	1	その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌	1	-	0
	50～59歳	甲状腺	3	食道	2	胃	2	その他	13
	60～64歳	脳	2	部位が明示されていないもの	2	悪性免疫増殖性疾患	2	その他	14
	65～69歳	その他及び部位不明の上皮内癌	4	腎盂を除く腎	3	腎盂	3	その他	22
	70～74歳	皮膚のその他	5	子宮体部	5	甲状腺	5	その他	37
	75～79歳	呼吸器及び消化器の続発性	3	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	3	骨髄性白血病	3	その他	19
	80～84歳	呼吸器及び消化器の続発性	3	その他及び部位不明の口腔	2	子宮頚部	2	その他	19
	85～89歳	成熟T/NK細胞リンパ腫	2	非ホジキン＜non-Hodgkin＞リンパ腫のその他及び詳細不明の型	2	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	2	その他	9
	90歳以上	尿管	1	甲状腺	1	リンパ節の続発性及び部位不明	1	その他	5

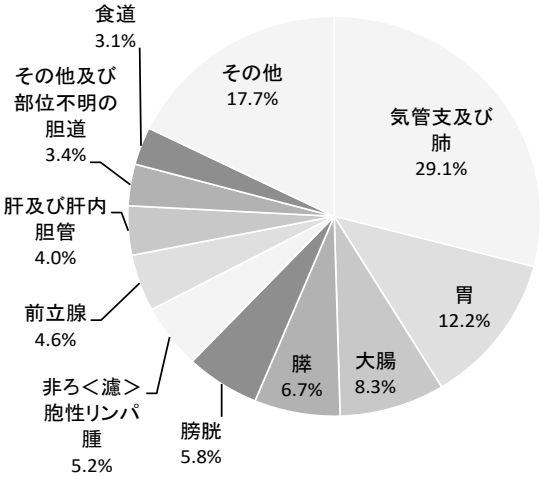
●悪性新生物による死亡患者数（2020年度）

男		
順位	部 位	件数
1	気管支及び肺	95
2	胃	40
3	大腸	27
4	膵	22
5	膀胱	19
6	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫	17
7	前立腺	15
8	肝及び肝内胆管	13
9	その他及び部位不明の胆道	11
10	食道	10
11	その他	58
合 計		327

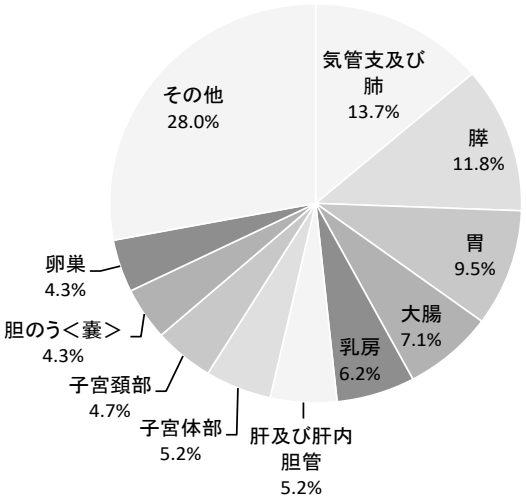
女		
順位	部 位	件数
1	気管支及び肺	29
2	膵	25
3	胃	20
4	大腸	15
5	乳房	13
6	肝及び肝内胆管	11
7	子宮体部	11
8	子宮頚部	10
9	胆のう＜嚢＞	9
10	卵巣	9
11	その他	59
合 計		211

男女計		
順位	部 位	件数
1	気管支及び肺	124
2	胃	60
3	膵	47
4	大腸	42
5	肝及び肝内胆管	24
6	膀胱	24
7	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫	22
8	その他及び部位不明の胆道	16
9	前立腺	15
10	食道	14
11	その他	150
合 計		538

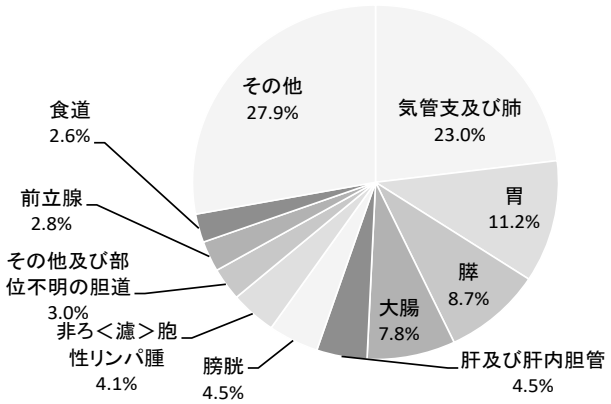
悪性新生物による死亡患者割合
（男）



悪性新生物による死亡患者割合
（女）



悪性新生物による死亡患者割合
（男女計）



死亡患者統計

●科別死亡率（2020年度）

患者数 / 科	退院患者数			死亡患者数							
	男	女	男女計	男		女		男女計		死亡率（%）	平均年齢（歳）
消化器内科	1,562	955	2,517	130	(122)	93	(84)	223	(206)	8.9	74.0
呼吸器内科	592	229	821	169	(152)	61	(56)	230	(208)	28.0	77.2
循環器内科	1,588	893	2,481	58	(48)	41	(36)	99	(84)	4.0	80.1
血液内科	306	247	553	42	(40)	24	(22)	66	(62)	11.9	75.0
総合内科	467	474	941	23	(18)	25	(20)	48	(38)	5.1	82.4
神経内科	112	84	196	4	(3)	3	(2)	7	(5)	3.6	73.1
ｱﾚﾙｷﾞｰ・膠原病内科	125	175	300	3	(3)	2	(2)	5	(5)	1.7	76.8
救急救命科	73	60	133	29	(12)	14	(3)	43	(15)	32.3	73.9
糖尿病代謝内科	5	5	10	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0.0	0.0
感染症科	54	36	90	8	(8)	2	(2)	10	(10)	11.1	84.1
腎臓内科・透析科	405	202	607	18	(16)	19	(13)	37	(29)	6.1	76.8
小児科	301	285	586	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0.0	0.0
外科	1,132	837	1,969	41	(34)	36	(30)	77	(64)	3.9	77.5
整形外科	344	383	727	1	(1)	5	(5)	6	(6)	0.8	77.2
脳神経外科	456	357	813	59	(43)	41	(22)	100	(65)	12.3	74.5
心臓外科	74	28	102	8	(7)	2	(1)	10	(8)	9.8	67.6
皮膚科	103	86	189	3	(3)	3	(3)	6	(6)	3.2	89.8
泌尿器科	1,511	379	1,890	52	(48)	18	(15)	70	(63)	3.7	78.0
産科	0	976	976	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0.0	0.0
婦人科	0	767	767	0	(0)	31	(30)	31	(30)	4.0	65.2
眼科	498	532	1,030	0	(0)	1	(1)	1	(1)	0.1	84.0
耳鼻咽喉科	256	170	426	7	(7)	3	(3)	10	(10)	2.3	80.0
新生児科	219	213	432	1	(1)	2	(2)	3	(3)	0.7	0.7
麻酔科	1	1	2	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0.0	0.0
形成外科	147	85	232	4	(3)	1	(0)	5	(3)	2.2	80.4
歯科・歯科口腔外科	64	58	122	2	(2)	3	(3)	5	(5)	4.1	82.0
神経精神科	78	115	193	3	(3)	0	(0)	3	(3)	1.6	59.0
合　計	10,473	8,632	19,105	665	(574)	430	(355)	1,095	(929)	5.7	76.1

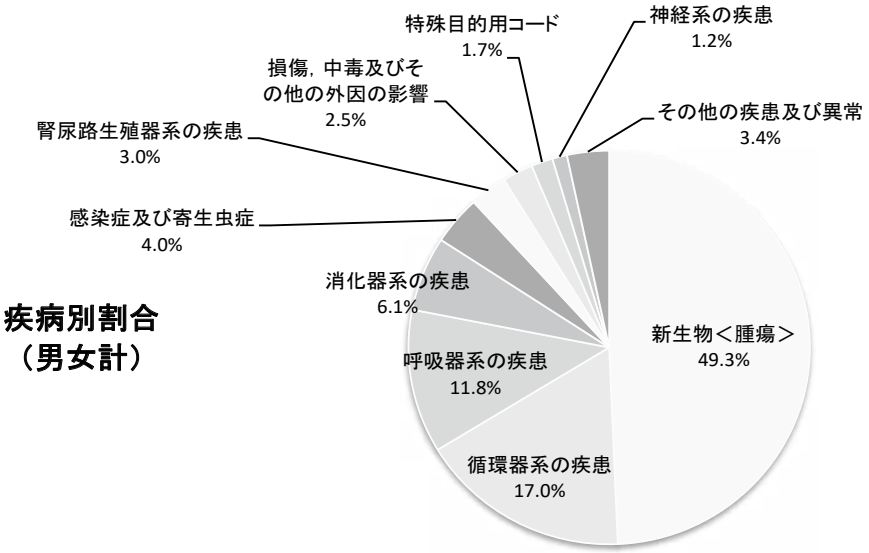
（注）・（ ）内は精死亡数を表す。精死亡とは入院後48時間以降の死亡をいう
・転科の場合は、退院時の科で集計

●死亡患者数（2020年度）

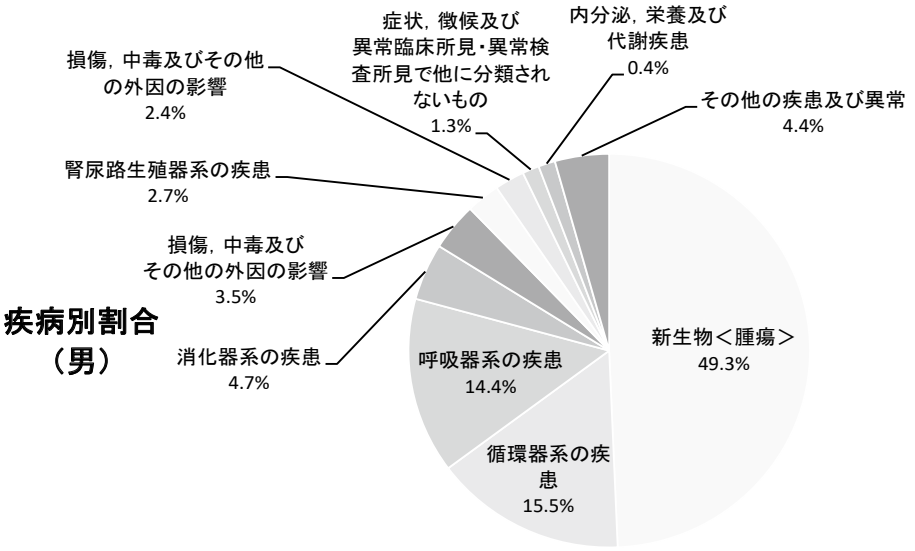
疾病大分類		死亡患者数			
		男	女	男女計	構成比（%）
Ⅰ	感染症及び寄生虫症	26	18	44	4.0
Ⅱ	新生物＜腫瘍＞	328	212	540	49.3
Ⅲ	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	5	1	6	0.5
Ⅳ	内分泌，栄養及び代謝疾患	9	3	12	1.1
Ⅴ	精神及び行動の障害	0	1	1	0.1
Ⅵ	神経系の疾患	9	4	13	1.2
Ⅶ	眼及び付属器の疾患	0	0	0	0.0
Ⅷ	耳及び乳様突起の疾患	0	0	0	0.0
Ⅸ	循環器系の疾患	103	83	186	17.0
Ⅹ	呼吸器系の疾患	96	33	129	11.8
ⅩⅠ	消化器系の疾患	31	36	67	6.1
ⅩⅡ	皮膚及び皮下組織の疾患	2	1	3	0.3
ⅩⅢ	筋骨格系及び結合組織の疾患	4	6	10	0.9
ⅩⅣ	腎尿路生殖器系の疾患	18	15	33	3.0
ⅩⅤ	妊娠，分娩及び産じょく＜褥＞	0	0	0	0.0
ⅩⅥ	周産期に発生した病態	1	1	2	0.2
ⅩⅦ	先天奇形，変形及び染色体異常	0	1	1	0.1
ⅩⅧ	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0	2	2	0.2
ⅩⅨ	損傷，中毒及びその他の外因の影響	16	11	27	2.5
ⅩⅩⅡ	特殊目的用コード	17	2	19	1.7
合 計		665	430	1,095	100.0

●死亡患者数の割合（2020年度）

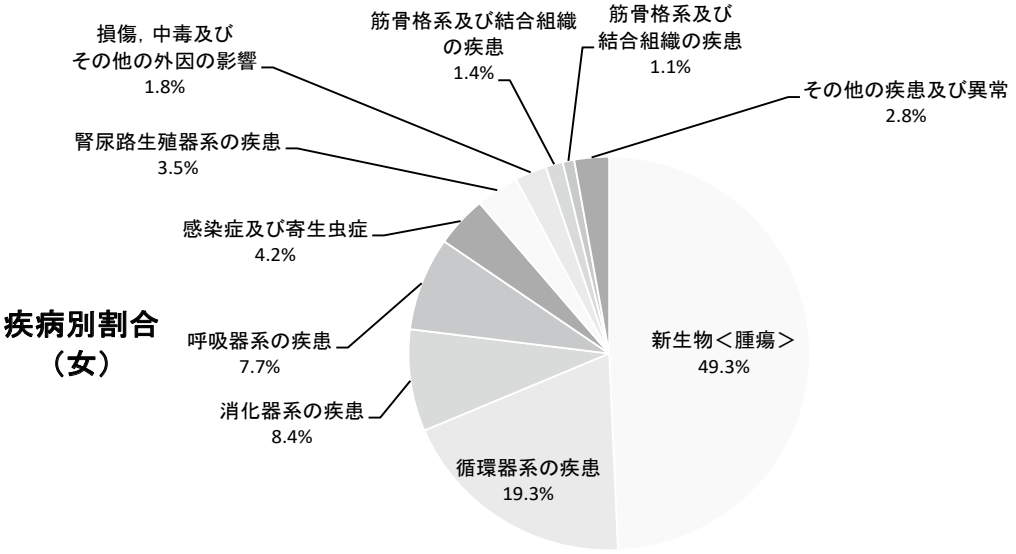
疾病別割合（男女計）



疾病別割合（男）

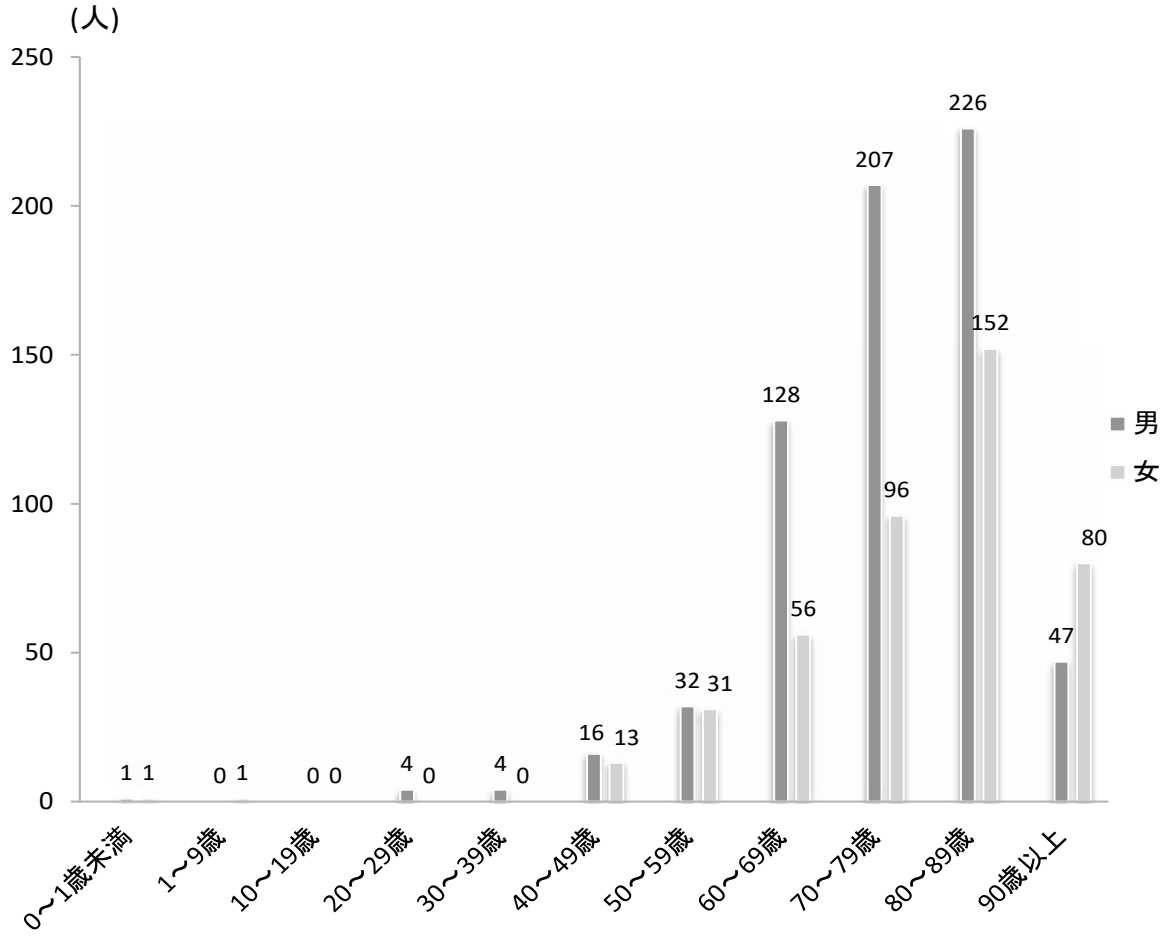


疾病別割合（女）



●年齢別死亡患者数（2020年度）

性別 / 年齢階層	男	女	男女計
0～1歳未満	1	1	2
1～9歳	0	1	1
10～19歳	0	0	0
20～29歳	4	0	4
30～39歳	4	0	4
40～49歳	16	13	29
50～59歳	32	31	63
60～69歳	128	56	184
70～79歳	207	96	303
80～89歳	226	152	378
90歳以上	47	80	127
合　計	665	430	1,095



●死亡患者における疾病順位表 性別・年齢

性別	年齢階層	順位 / 患者数	1		2		3		4	
男 計665	0～1歳未満	1	周産期に発生した病態	1	-	0	-	0	-	0
	1～9歳	0	-	0	-	0	-	0	-	0
	10～19歳	0	-	0	-	0	-	0	-	0
	20～29歳	4	感染症及び寄生虫症	1	新生物	1	内分泌，栄養及び代謝疾患	1	損傷，中毒及びその他の外因の影響	1
	30～39歳	4	感染症及び寄生虫症	1	新生物	1	循環器系の疾患	1	呼吸器系の疾患	1
	40～49歳	16	新生物	8	循環器系の疾患	5	呼吸器系の疾患	2	腎尿路生殖器系の疾患	1
	50～59歳	32	新生物	14	循環器系の疾患	10	消化器系の疾患	3	感染症及び寄生虫症	2
	60～69歳	128	新生物	75	循環器系の疾患	18	消化器系の疾患	8	呼吸器系の疾患	7
	70～79歳	207	新生物	122	循環器系の疾患	29	呼吸器系の疾患	25	消化器系の疾患	8
	80～89歳	226	新生物	96	呼吸器系の疾患	48	循環器系の疾患	28	腎尿路生殖器系の疾患	10
	90歳以上	47	呼吸器系の疾患	13	循環器系の疾患	12	新生物	11	消化器系の疾患	3
女 計430	0～1歳未満	1	周産期に発生した病態	1	-	0	-	0	-	0
	1～9歳	1	先天奇形，変形及び染色体異常	1	-	0	-	0	-	0
	10～19歳	0	-	0	-	0	-	0	-	0
	20～29歳	0	-	0	-	0	-	0	-	0
	30～39歳	0	-	0	-	0	-	0	-	0
	40～49歳	13	新生物	7	循環器系の疾患	4	感染症及び寄生虫症	1	消化器系の疾患	1
	50～59歳	31	新生物	25	循環器系の疾患	3	感染症及び寄生虫症	1	消化器系の疾患	1
	60～69歳	56	新生物	40	循環器系の疾患	8	消化器系の疾患	3	感染症及び寄生虫症	2
	70～79歳	96	新生物	60	循環器系の疾患	10	消化器系の疾患	8	呼吸器系の疾患	5
	80～89歳	152	新生物	61	循環器系の疾患	37	消化器系の疾患	16	呼吸器系の疾患	13
	90歳以上	80	循環器系の疾患	21	新生物	19	呼吸器系の疾患	13	消化器系の疾患	7

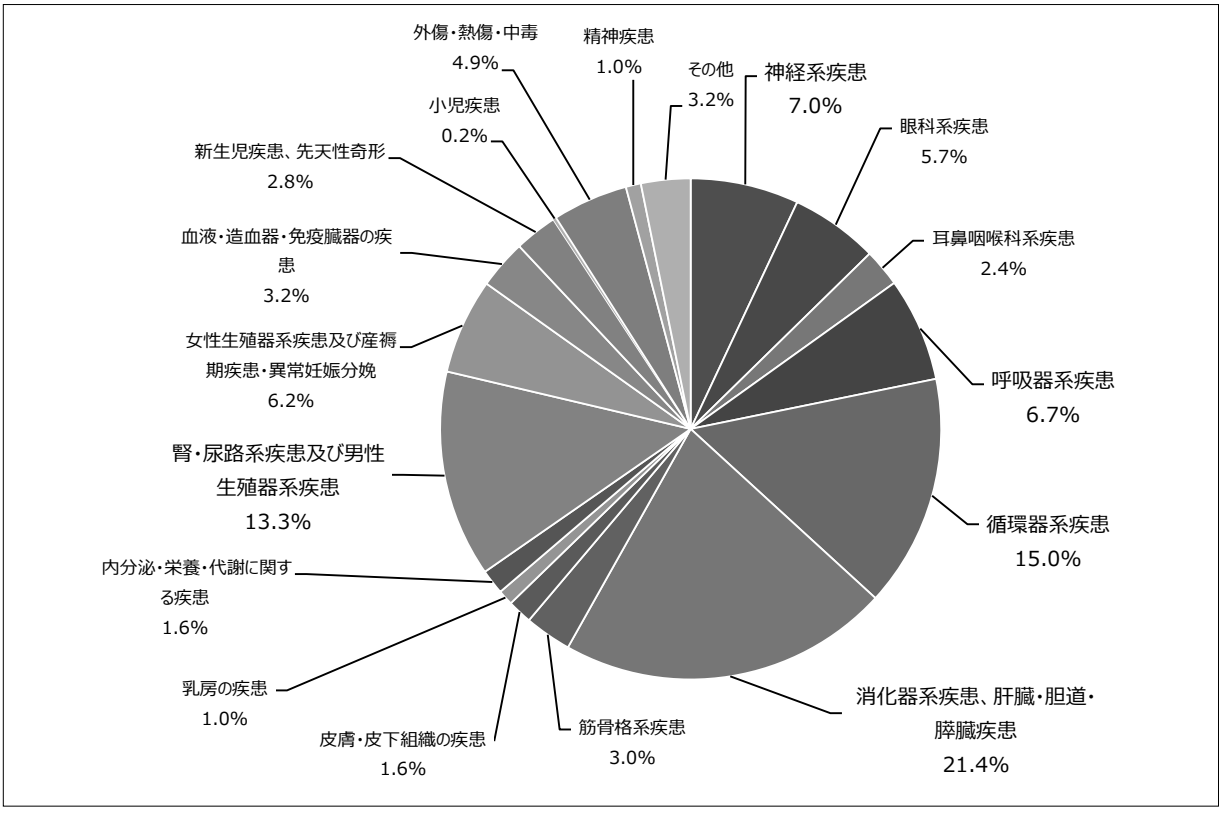
性別	年齢階層	5		6		7		8	
男	0～1歳未満	-	0	-	0	-	0	-	0
	1～9歳	-	0	-	0	-	0	-	0
	10～19歳	-	0	-	0	-	0	-	0
	20～29歳	-	0	-	0	-	0	-	0
	30～39歳	-	0	-	0	-	0	-	0
	40～49歳	-	0	-	0	-	0	-	0
	50～59歳	神経系の疾患	1	損傷，中毒及びその他の外因の影響	1	特殊目的用コード	1	-	0
	60～69歳	感染症及び寄生虫症	6	筋骨格系及び結合組織の疾患	3	特殊目的用コード	3	その他	8
	70～79歳	感染症及び寄生虫症	5	損傷，中毒及びその他の外因の影響	5	腎尿路生殖器系の疾患	4	その他	9
	80～89歳	感染症及び寄生虫症	9	消化器系の疾患	9	特殊目的用コード	9	その他	17
	90歳以上	感染症及び寄生虫症	2	腎尿路生殖器系の疾患	2	内分泌，栄養及び代謝疾患	1	その他	3
女	0～1歳未満	-	0	-	0	-	0	-	0
	1～9歳	-	0	-	0	-	0	-	0
	10～19歳	-	0	-	0	-	0	-	0
	20～29歳	-	0	-	0	-	0	-	0
	30～39歳	-	0	-	0	-	0	-	0
	40～49歳	-	0	-	0	-	0	-	0
	50～59歳	損傷，中毒及びその他の外因の影響	1	-	0	-	0	-	0
	60～69歳	呼吸器系の疾患	2	腎尿路生殖器系の疾患	1	-	0	-	0
	70～79歳	腎尿路生殖器系の疾患	4	損傷，中毒及びその他の外因の影響	4	神経系の疾患	3	その他	2
	80～89歳	感染症及び寄生虫症	8	筋骨格系及び結合組織の疾患	3	腎尿路生殖器系の疾患	3	その他	11
	90歳以上	腎尿路生殖器系の疾患	7	感染症及び寄生虫症	5	筋骨格系及び結合組織の疾患	3	その他	5

ＤＰＣ統計

●全科MDC2別退院患者数（2020年度）

対象：2020年4月1日～2021年3月31日退院患者（自費を除く）

MDC番号	分類名	件数	割合
MDC01	神経系疾患	1,291	7.0%
MDC02	眼科系疾患	1,048	5.7%
MDC03	耳鼻咽喉科系疾患	449	2.4%
MDC04	呼吸器系疾患	1,236	6.7%
MDC05	循環器系疾患	2,770	15.0%
MDC06	消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	3,942	21.4%
MDC07	筋骨格系疾患	558	3.0%
MDC08	皮膚・皮下組織の疾患	292	1.6%
MDC09	乳房の疾患	182	1.0%
MDC10	内分泌・栄養・代謝に関する疾患	296	1.6%
MDC11	腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	2,464	13.3%
MDC12	女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	1,137	6.2%
MDC13	血液・造血器・免疫臓器の疾患	584	3.2%
MDC14	新生児疾患、先天性奇形	508	2.8%
MDC15	小児疾患	38	0.2%
MDC16	外傷・熱傷・中毒	899	4.9%
MDC17	精神疾患	180	1.0%
MDC18	その他	589	3.2%
	総件数	18,463	100.0%



●全診療科　診断群分類別（MDC6）上位頻度表（2020年度）

対象：2020年4月1日～2021年3月31日退院患者（自費を除く）

MDC01：神経系疾患

順位	診断群分類	名称	件数	割合	平均在院日数
1	010060	脳梗塞	499	38.7%	21.8
2	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	191	14.8%	23.8
3	010230	てんかん	105	8.1%	12.5
4	010030	未破裂脳動脈瘤	87	6.7%	6.1
5	010070	脳血管障害	80	6.2%	11.0
6	010010	脳腫瘍	68	5.3%	31.7
7	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	65	5.0%	33.3
8	010080	脳脊髄の感染を伴う炎症	40	3.1%	45.9
9	010160	パーキンソン病	23	1.8%	27.6
10	010200	水頭症	23	1.8%	16.4
		その他	110	8.5%	
		合計	1,291	100.0%	21.2

MDC02：眼科系疾患

順位	診断群分類	名称	件数	割合	平均在院日数
1	020110	白内障、水晶体の疾患	641	61.2%	2.3
2	020220	緑内障	144	13.7%	6.3
3	020200	黄斑、後極変性	65	6.2%	7.6
4	020160	網膜剥離	56	5.3%	9.6
5	020240	硝子体疾患	44	4.2%	5.0
6	020230	眼瞼下垂	22	2.1%	2.4
7	020180	糖尿病性増殖性網膜症	21	2.0%	9.7
8	020210	網膜血管閉塞症	12	1.1%	8.8
9	020320	眼瞼、涙器、眼窩の疾患	10	1.0%	3.8
10	020280	角膜の障害	9	0.9%	21.1
		その他	24	2.3%	
		合計	1,048	100.0%	4.2

MDC03：耳鼻咽喉科系疾患

順位	診断群分類	名称	件数	割合	平均在院日数
1	030230	扁桃、アデノイドの慢性疾患	60	13.4%	8.1
2	03001x	頭頸部悪性腫瘍	59	13.1%	32.2
3	030350	慢性副鼻腔炎	57	12.7%	5.1
4	030240	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎	56	12.5%	7.8
5	030390	顔面神経障害	30	6.7%	7.2
6	030250	睡眠時無呼吸	24	5.3%	2.0
7	030300	声帯の疾患(その他)	23	5.1%	6.2
8	030150	耳・鼻・口腔・咽頭・大唾液腺の腫瘍	22	4.9%	5.7
9	030440	慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫	19	4.2%	6.3
10	030428	突発性難聴	18	4.0%	7.1
		その他	81	18.0%	
		計	449	100.0%	9.2

MDC04：呼吸器系疾患

順位	診断群分類	名称	件数	割合	平均在院日数
1	040040	肺の悪性腫瘍	337	27.3%	13.5
2	040080	肺炎等	282	22.8%	19.7
3	040081	誤嚥性肺炎	195	15.8%	28.6
4	040110	間質性肺炎	90	7.3%	23.5
5	040150	肺・縦隔の感染、膿瘍形成	54	4.4%	35.9
6	040200	気胸	52	4.2%	11.2
7	040100	喘息	51	4.1%	5.6
8	040120	慢性閉塞性肺疾患	24	1.9%	13.0
9	040190	胸水、胸膜の疾患(その他)	23	1.9%	24.5
10	040160	呼吸器の結核	21	1.7%	31.4
		その他	107	8.7%	
		計	1,236	100.0%	19.6

MDC05：循環器系疾患

順位	診断群分類	名称	件数	割合	平均在院日数
1	050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	664	24.0%	5.3
2	050070	頻脈性不整脈	378	13.6%	7.3
3	050170	閉塞性動脈疾患	329	11.9%	10.1
4	050210	徐脈性不整脈	308	11.1%	6.8
5	050030	急性心筋梗塞(続発性合併症を含む)、再発性心筋梗塞	291	10.5%	15.2
6	050130	心不全	282	10.2%	19.4
7	050080	弁膜症(連合弁膜症を含む)	192	6.9%	14.9
8	050163	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤	69	2.5%	16.7
9	050340	その他の循環器の障害	67	2.4%	11.5
10	050161	解離性大動脈瘤	44	1.6%	29.2
		その他	146	5.3%	
		計	2,770	100.0%	11.3

MDC06：消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患

順位	診断群分類	名称	件数	割合	平均在院日数
1	060340	胆管(肝内外)結石、胆管炎	620	15.7%	9.4
2	060335	胆嚢炎等	358	9.1%	11.1
3	060020	胃の悪性腫瘍	338	8.6%	17.3
4	060035	結腸(虫垂を含む)の悪性腫瘍	245	6.2%	13.8
5	060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	218	5.5%	12.4
6	06007x	膵臓、脾臓の腫瘍	183	4.6%	15.0
7	060040	直腸肛門(直腸S状部から肛門)の悪性腫瘍	181	4.6%	19.4
8	060050	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む)	178	4.5%	9.6
9	060160	鼠径ヘルニア	155	3.9%	2.8
10	060150	虫垂炎	141	3.6%	6.4
		その他	1,325	33.6%	
		合計	3,942	100.0%	12.4

MDC07：筋骨格系疾患

順位	診断群分類	名称	件数	割合	平均在院日数
1	070560	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患	157	28.1%	30.6
2	070343	脊柱管狭窄(脊椎症を含む) 腰部骨盤、不安定椎	53	9.5%	23.5
3	07040x	股関節骨頭壊死、股関節症(変形性を含む)	47	8.4%	22.1
4	070470	関節リウマチ	36	6.5%	17.7
5	070010	骨軟部の良性腫瘍(脊椎脊髄を除く)	30	5.4%	7.5
6	070230	膝関節症(変形性を含む)	25	4.5%	21.6
7	070341	脊柱管狭窄(脊椎症を含む) 頸部	25	4.5%	30.0
8	070330	脊椎感染(感染を含む)	24	4.3%	81.5
9	070040	骨の悪性腫瘍(脊椎を除く)	21	3.8%	21.5
10	070395	壊死性筋膜炎	19	3.4%	36.3
		その他	121	21.7%	
		計	558	100.0%	26.7

MDC08：皮膚･皮下組織の疾患

順位	診断群分類	名称	件数	割合	平均在院日数
1	080010	膿皮症	89	30.5%	15.6
2	080006	皮膚の悪性腫瘍(黒色腫以外)	77	26.4%	5.3
3	080270	食物アレルギー	23	7.9%	1.5
4	080020	帯状疱疹	20	6.8%	9.0
5	080100	薬疹、中毒疹	17	5.8%	11.5
6	080007	皮膚の良性新生物	15	5.1%	4.5
7	080190	脱毛症	12	4.1%	3.0
8	080110	水疱症	9	3.1%	49.8
9	080250	褥瘡潰瘍	8	2.7%	50.1
10	080005	黒色腫	6	2.1%	11.5
		その他	16	5.5%	
		計	292	100.0%	11.7

MDC09：乳房の疾患

順位	診断群分類	名称	件数	割合	平均在院日数
1	090010	乳房の悪性腫瘍	175	96.2%	7.0
	090020	乳房の良性腫瘍	4	2.2%	3.0
	090040	乳房の形態異常、女性化乳房、乳腺症など	2	1.1%	4.0
	090030	乳房の炎症性障害	1	0.5%	9.0
		計	182	100.0%	6.9

MDC10：内分泌･栄養･代謝に関する疾患

順位	診断群分類	名称	件数	割合	平均在院日数
1	100393	その他の体液･電解質･酸塩基平衡障害	38	12.8%	11.9
2	100250	下垂体機能低下症	36	12.2%	4.0
3	100130	甲状腺の良性結節	30	10.1%	6.5
4	100020	甲状腺の悪性腫瘍	27	9.1%	8.2
5	100380	体液量減少症	20	6.8%	7.5
6	100040	糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡	17	5.7%	13.1
7	100391	低カリウム血症	12	4.1%	13.3
8	100210	低血糖症	11	3.7%	21.1
9	10007x	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く)	10	3.4%	15.4
10	100392	カルシウム代謝障害	10	3.4%	16.7
		その他	85	28.7%	
		計	296	100.0%	13.1

MDC11：腎･尿路系疾患及び男性生殖器系疾患

順位	診断群分類	名称	件数	割合	平均在院日数
1	110080	前立腺の悪性腫瘍	579	23.5%	5.2
2	110070	膀胱腫瘍	360	14.6%	9.6
3	110280	慢性腎炎症候群･慢性間質性腎炎･慢性腎不全	358	14.5%	21.3
4	110310	腎臓又は尿路の感染症	338	13.7%	14.5
5	11012x	上部尿路疾患	290	11.8%	4.7
6	110060	腎盂･尿管の悪性腫瘍	138	5.6%	10.4
7	11013x	下部尿路疾患	65	2.6%	5.0
8	110200	前立腺肥大症等	64	2.6%	7.5
9	11001x	腎腫瘍	62	2.5%	10.3
10	110290	急性腎不全	58	2.4%	18.3
		その他	152	6.2%	
		計	2,464	100.0%	10.7

MDC12：女性生殖器系疾患及び産褥期疾患･異常妊娠分娩

順位	診断群分類	名称	件数	割合	平均在院日数
1	12002x	子宮頸･体部の悪性腫瘍	309	27.2%	6.0
2	120180	胎児及び胎児付属物の異常	141	12.4%	7.5
3	120260	分娩の異常	134	11.8%	3.0
4	120010	卵巣･子宮附属器の悪性腫瘍	101	8.9%	7.9
5	120060	子宮の良性腫瘍	90	7.9%	7.6
6	120070	卵巣の良性腫瘍	67	5.9%	7.5
7	120170	早産、切迫早産	61	5.4%	25.2
8	120165	妊娠合併症等	42	3.7%	17.2
9	120100	子宮内膜症	41	3.6%	6.8
10	120160	妊娠高血圧症候群関連疾患	36	3.2%	7.8
		その他	115	10.1%	
		計	1,137	100.0%	7.9

MDC13：血液･造血器･免疫臓器の疾患

順位	診断群分類	名称	件数	割合	平均在院日数
1	130030	非ホジキンリンパ腫	243	41.6%	27.8
2	130060	骨髄異形成症候群	95	16.3%	16.1
3	130010	急性白血病	82	14.0%	45.7
4	130040	多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物	48	8.2%	23.8
5	130090	貧血(その他)	28	4.8%	10.3
6	130050	骨髄増殖性腫瘍	18	3.1%	13.9
7	130120	血液疾患(その他)	17	2.9%	20.6
8	130110	出血性疾患(その他)	14	2.4%	18.1
9	130070	白血球疾患(その他)	9	1.5%	23.0
10	130080	再生不良性貧血	8	1.4%	38.8
		その他	22	3.8%	
		計	584	100.0%	27.1

MDC14：新生児疾患、先天性奇形

順位	診断群分類	名称	件数	割合	平均在院日数
1	140010	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害	427	84.1%	13.3
2	140230	喉頭の疾患(その他)	16	3.1%	42.0
3	140210	先天性耳瘻孔、副耳	10	2.0%	3.0
4	140140	口蓋･口唇先天性疾患	9	1.8%	8.6
5	140590	停留精巣	7	1.4%	2.9
6	140170	正中頸嚢胞･側頸嚢胞	6	1.2%	7.8
7	140600	女性性器の先天性異常	5	1.0%	5.2
8	140070	頭蓋、顔面骨の先天異常	4	0.8%	1.8
9	140420	腸重積	4	0.8%	3.0
10	140080	脳、脊髄の先天異常	3	0.6%	4.3
		その他	17	3.3%	
		計	508	100.0%	13.1

MDC15：小児疾患

順位	診断群分類	名称	件数	割合	平均在院日数
1	150070	川崎病	24	63.2%	19.4
2	150040	熱性けいれん	13	34.2%	4.9
3	150110	染色体異常(ターナー症候群及びクラインフェルター症候群を除く)	1	2.6%	636.0
		計	38	100.0%	30.7

MDC16 : 外傷・熱傷・中毒

順位	診断群分類	名称	件数	割合	平均在院日数
1	160100	頭蓋・頭蓋内損傷	228	25.4%	10.1
2	160800	股関節・大腿近位の骨折	210	23.4%	26.3
3	161070	薬物中毒(その他の中毒)	55	6.1%	4.2
4	160835	下腿足関節周辺の骨折	41	4.6%	15.2
5	160690	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰髄損傷を含む)	27	3.0%	28.4
6	160850	足関節・足部の骨折・脱臼	26	2.9%	17.6
7	160740	肘関節周辺の骨折・脱臼	24	2.7%	8.3
8	160980	骨盤損傷	23	2.6%	32.7
9	160200	顔面損傷(口腔、咽頭損傷を含む)	20	2.2%	5.1
10	160870	頸椎頸髄損傷	20	2.2%	31.6
		その他	225	25.0%	
		計	899	100.0%	16.0

MDC17 : 精神疾患

順位	診断群分類	名称	件数	割合	平均在院日数
1	170040	気分[感情]障害	79	43.9%	42.0
2	170030	統合失調症,統合失調症型障害及び妄想性障害	76	42.2%	81.7
3	170060	その他の精神及び行動の障害	14	7.8%	16.4
4	170020	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	7	3.9%	23.1
5	170050	神経症性障害,ストレス関連障害及び身体表現性障害	4	2.2%	4.5
		計	180	100.0%	55.2

MDC18 : その他

順位	診断群分類	名称	件数	割合	平均在院日数
1	180030	その他の感染症(真菌を除く)	254	43.1%	15.8
2	180010	敗血症	172	29.2%	22.4
3	180040	手術・処置等の合併症	119	20.2%	17.9
4	180050	その他の悪性腫瘍	23	3.9%	10.6
5	180060	その他の新生物	16	2.7%	6.4
6	180035	その他の真菌感染症	5	0.8%	61.4
		計	589	100.0%	18.1

●入院科別　診断群分類別（MDC6）上位頻度表（2020年度）

対象：2020年4月1日～2021年3月31日退院患者（自費を除く）

入院診療科：内科　消化器系疾患

順位	診断群分類	診断群分類名称	件数	割合	平均在院日数
1	060340	胆管(肝内外)結石、胆管炎	595	24.5%	9.1
2	060020	胃の悪性腫瘍	235	9.7%	14.5
3	06007x	膵臓、脾臓の腫瘍	153	6.3%	13.3
4	060050	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む)	150	6.2%	7.2
5	060100	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む)	125	5.1%	5.8
6	060335	胆嚢炎等	120	4.9%	17.2
7	060010	食道の悪性腫瘍(頸部を含む)	118	4.9%	17.9
8	060035	結腸(虫垂を含む)の悪性腫瘍	115	4.7%	11.1
9	060102	穿孔又は膿瘍を伴わない憩室性疾患	107	4.4%	7.2
10	060060	胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍	95	3.9%	13.1
		その他	617	25.4%	
		計	2,430	100.0%	11.8

入院診療科：内科　循環器系疾患

順位	診断群分類	診断群分類名称	件数	割合	平均在院日数
1	050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	646	25.7%	4.8
2	050070	頻脈性不整脈	375	14.9%	7.0
3	050210	徐脈性不整脈	294	11.7%	7.0
4	050170	閉塞性動脈疾患	289	11.5%	7.3
5	050030	急性心筋梗塞(続発性合併症を含む)、再発性心筋梗塞	283	11.3%	14.5
6	050130	心不全	269	10.7%	19.4
7	050080	弁膜症(連合弁膜症を含む)	154	6.1%	11.3
8	050340	その他の循環器の障害	66	2.6%	11.6
9	050161	解離性大動脈瘤	31	1.2%	24.6
10	050190	肺塞栓症	25	1.0%	24.6
		その他	81	3.2%	
		計	2,513	100.0%	10.1

入院診療科：内科　呼吸器系疾患

順位	診断群分類	診断群分類名称	件数	割合	平均在院日数
1	040080	肺炎等	238	26.8%	20.5
2	040040	肺の悪性腫瘍	232	26.2%	15.5
3	040081	誤嚥性肺炎	159	17.9%	26.2
4	040110	間質性肺炎	87	9.8%	23.9
5	040150	肺・縦隔の感染、膿瘍形成	36	4.1%	36.4
6	040120	慢性閉塞性肺疾患	24	2.7%	13.0
7	040160	呼吸器の結核	21	2.4%	31.4
8	04026x	肺高血圧性疾患	18	2.0%	16.4
9	040190	胸水、胸膜の疾患(その他)	16	1.8%	24.4
10	040100	喘息	11	1.2%	8.9
		その他	45	5.1%	
		計	887	100.0%	21.1

入院診療科：内科　神経系疾患

順位	診断群分類	診断群分類名称	件数	割合	平均在院日数
1	010060	脳梗塞	430	66.4%	20.7
2	010230	てんかん	69	10.6%	15.2
3	010080	脳脊髄の感染を伴う炎症	26	4.0%	34.9
4	010160	パーキンソン病	20	3.1%	30.0
5	010061	一過性脳虚血発作	17	2.6%	6.5
6	010290	自律神経系の障害	11	1.7%	4.1
7	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	8	1.2%	15.9
8	010010	脳腫瘍	7	1.1%	26.4
9	010070	脳血管障害	7	1.1%	12.0
10	010110	免疫介在性・炎症性ニューロパチー	7	1.1%	38.3
		その他	46	7.1%	
		計	648	100.0%	21.2

入院診療科：内科　血液疾患

順位	診断群分類	診断群分類名称	件数	割合	平均在院日数
1	130030	非ホジキンリンパ腫	235	44.8%	28.6
2	130060	骨髄異形成症候群	95	18.1%	16.1
3	130010	急性白血病	82	15.6%	45.7
4	130040	多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物	48	9.2%	23.8
5	130050	骨髄増殖性腫瘍	18	3.4%	13.9
6	130110	出血性疾患(その他)	13	2.5%	18.4
7	130090	貧血(その他)	9	1.7%	15.9
8	130070	白血球疾患(その他)	8	1.5%	25.3
9	130080	再生不良性貧血	8	1.5%	38.8
10	130120	血液疾患(その他)	8	1.5%	23.1
		その他		0.0%	
		計	524	100.0%	22.7

入院診療科：内科　筋骨格系疾患

順位	診断群分類	診断群分類名称	件数	割合	平均在院日数
1	070560	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患	146	53.5%	29.5
2	070470	関節リウマチ	33	12.1%	17.4
3	070330	脊椎感染(感染を含む)	20	7.3%	86.7
4	070510	痛風、関節の障害(その他)	16	5.9%	10.8
5	070040	骨の悪性腫瘍(脊椎を除く)	15	5.5%	20.8
6	07010x	化膿性関節炎(下肢)	10	3.7%	33.6
7	070071	骨髄炎(上肢以外)	6	2.2%	40.2
8	070395	壊死性筋膜炎	5	1.8%	33.6
9	07034x	脊柱管狭窄(脊椎症を含む)	4	1.5%	20.5
10	07040x	股関節骨頭壊死、股関節症(変形性を含む)	3	1.1%	15.3
		その他	15	5.5%	
		計	273	100.0%	30.6

入院診療科：外科

順位	診断群分類	診断群分類名称	件数	割合	平均在院日数
1	060335	胆嚢炎等	236	12.0%	7.9
2	060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	199	10.1%	12.4
3	090010	乳房の悪性腫瘍	168	8.5%	6.8
4	060160	鼠径ヘルニア	144	7.3%	2.8
5	060150	虫垂炎	135	6.9%	6.5
6	060035	結腸(虫垂を含む)の悪性腫瘍	129	6.6%	16.0
7	060040	直腸肛門(直腸S状部から肛門)の悪性腫瘍	114	5.8%	22.8
8	040040	肺の悪性腫瘍	105	5.3%	9.2
9	060020	胃の悪性腫瘍	102	5.2%	23.5
10	060370	腹膜炎、腹腔内膿瘍(女性器臓器を除く)	51	2.6%	34.6
		その他	583	29.7%	
		計	1,966	100.0%	13.4

入院診療科：心臓外科

順位	診断群分類	診断群分類名称	件数	割合	平均在院日数
1	050080	弁膜症(連合弁膜症を含む)	38	37.3%	29.2
2	050163	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤	20	19.6%	31.3
3	050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	15	14.7%	25.2
4	050161	解離性大動脈瘤	12	11.8%	40.7
5	050030	急性心筋梗塞(続発性合併症を含む)、再発性心筋梗塞	6	5.9%	33.3
6	050130	心不全	3	2.9%	46.7
7	050090	心内膜炎	3	2.9%	60.7
8	180040	手術・処置等の合併症	2	2.0%	16.0
9	050162	破裂性大動脈瘤	1	1.0%	23.0
9	14029x	動脈管開存症、心房中隔欠損症	1	1.0%	19.0
9	180010	敗血症	1	1.0%	29.0
		計	102	100.0%	31.6

入院診療科：整形外科

順位	診断群分類	診断群分類名称	件数	割合	平均在院日数
1	160800	股関節・大腿近位の骨折	205	30.8%	26.2
2	070343	脊柱管狭窄(脊椎症を含む) 腰部骨盤、不安定椎	50	7.5%	23.6
3	07040x	股関節骨頭壊死、股関節症(変形性を含む)	43	6.5%	23.1
4	160835	下腿足関節周辺の骨折	39	5.9%	15.2
5	160850	足関節・足部の骨折・脱臼	26	3.9%	17.6
6	070341	脊柱管狭窄(脊椎症を含む) 頸部	25	3.8%	30.0
7	160690	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰髄損傷を含む)	24	3.6%	25.8
8	160740	肘関節周辺の骨折・脱臼	24	3.6%	8.3
9	070230	膝関節症(変形性を含む)	23	3.5%	22.0
10	160980	骨盤損傷	19	2.9%	21.6
		その他	187	28.1%	
		計	665	100.0%	23.3

入院診療科：脳神経外科

順位	診断群分類	診断群分類名称	件数	割合	平均在院日数
1	160100	頭蓋・頭蓋内損傷	213	26.6%	9.7
2	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	182	22.7%	24.1
3	010030	未破裂脳動脈瘤	84	10.5%	5.9
4	010070	脳血管障害	70	8.7%	11.3
5	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	63	7.9%	33.4
6	010010	脳腫瘍	54	6.7%	33.8
7	010060	脳梗塞	54	6.7%	28.5
8	010200	水頭症	21	2.6%	17.0
9	010230	てんかん	9	1.1%	8.9
10	100030	内分泌腺及び関連組織の腫瘍	6	0.7%	13.0
		その他	45	5.6%	
		計	801	100.0%	18.4

入院診療科：形成外科

順位	診断群分類	診断群分類名称	件数	割合	平均在院日数
1	070010	骨軟部の良性腫瘍(脊椎脊髄を除く)	29	14.4%	2.3
2	050170	閉塞性動脈疾患	14	7.0%	4.1
3	160200	顔面損傷(口腔、咽頭損傷を含む)	13	6.5%	14.5
4	020230	眼瞼下垂	13	6.5%	34.8
5	160660	皮下軟部損傷・挫滅損傷、開放創	11	5.5%	6.9
6	080006	皮膚の悪性腫瘍(黒色腫以外)	10	5.0%	17.5
7	080010	膿皮症	10	5.0%	26.3
8	140140	口蓋・口唇先天性疾患	9	4.5%	5.0
9	100100	糖尿病足病変	9	4.5%	4.6
10	090010	乳房の悪性腫瘍	6	3.0%	11.8
		その他	77	38.3%	
		計	201	100.0%	18.9

入院診療科：皮膚科

順位	診断群分類	診断群分類名称	件数	割合	平均在院日数
1	080006	皮膚の悪性腫瘍(黒色腫以外)	66	35.1%	3.8
2	080010	膿皮症	18	9.6%	11.2
3	080100	薬疹、中毒疹	15	8.0%	11.1
4	080190	脱毛症	12	6.4%	3.0
5	080020	帯状疱疹	12	6.4%	7.9
6	080007	皮膚の良性新生物	10	5.3%	2.9
7	070395	壊死性筋膜炎	9	4.8%	36.3
8	080110	水疱症	9	4.8%	49.8
9	080005	黒色腫	6	3.2%	11.5
10	161070	薬物中毒(その他の中毒)	6	3.2%	2.5
		その他	25	13.3%	
		計	188	100.0%	10.1

入院診療科：泌尿器科･透析科

順位	診断群分類	診断群分類名称	件数	割合	平均在院日数
1	110080	前立腺の悪性腫瘍	578	23.2%	5.2
2	110070	膀胱腫瘍	359	14.4%	9.6
3	110280	慢性腎炎症候群･慢性間質性腎炎･慢性腎不全	346	13.9%	21.3
4	11012x	上部尿路疾患	288	11.6%	4.7
5	110310	腎臓又は尿路の感染症	139	5.6%	13.1
6	110060	腎盂･尿管の悪性腫瘍	137	5.5%	10.4
7	11013x	下部尿路疾患	65	2.6%	5.0
8	110200	前立腺肥大症等	63	2.5%	7.5
9	11001x	腎腫瘍	62	2.5%	10.3
10	180040	手術･処置等の合併症	47	1.9%	11.6
		その他	406	16.3%	
		計	2,490	100.0%	11.0

入院診療科：産科

順位	診断群分類	診断群分類名称	件数	割合	平均在院日数
1	120180	胎児及び胎児付属物の異常	140	30.4%	7.6
2	120260	分娩の異常	134	29.1%	3.0
3	120170	早産、切迫早産	61	13.3%	25.2
4	120165	妊娠合併症等	42	9.1%	17.2
5	120160	妊娠高血圧症候群関連疾患	36	7.8%	7.8
6	120182	前置胎盤及び低置胎盤	10	2.2%	13.1
7	120270	産褥期を中心とするその他の疾患	7	1.5%	3.7
8	120140	流産	6	1.3%	2.5
9	120185	(常位)胎盤早期剥離	4	0.9%	5.5
10	060150	虫垂炎	4	0.9%	3.5
		その他	16	3.5%	
		計	460	100.0%	9.4

入院診療科：婦人科

順位	診断群分類	診断群分類名称	件数	割合	平均在院日数
1	12002x	子宮頸･体部の悪性腫瘍	307	40.1%	6.0
2	120010	卵巣･子宮附属器の悪性腫瘍	100	13.1%	7.9
3	120060	子宮の良性腫瘍	90	11.8%	7.6
4	120070	卵巣の良性腫瘍	65	8.5%	7.4
5	120100	子宮内膜症	41	5.4%	6.8
6	060030	小腸の悪性腫瘍、腹膜の悪性腫瘍	41	5.4%	4.8
7	120090	生殖器脱出症	26	3.4%	7.2
8	130090	貧血(その他)	14	1.8%	6.8
9	120110	子宮･子宮附属器の炎症性疾患	13	1.7%	10.3
10	120130	異所性妊娠(子宮外妊娠)	7	0.9%	4.7
		その他	61	8.0%	
		計	765	100.0%	6.8

入院診療科：眼科

順位	診断群分類	診断群分類名称	件数	割合	平均在院日数
1	020110	白内障、水晶体の疾患	640	62.1%	2.3
2	020220	緑内障	144	14.0%	6.3
3	020200	黄斑、後極変性	65	6.3%	7.6
4	020160	網膜剥離	56	5.4%	9.6
5	020240	硝子体疾患	44	4.3%	5.0
6	020180	糖尿病性増殖性網膜症	21	2.0%	9.7
7	020210	網膜血管閉塞症	12	1.2%	8.8
8	020230	眼瞼下垂	9	0.9%	2.1
9	020280	角膜の障害	9	0.9%	21.1
10	020320	眼瞼、涙器、眼窩の疾患	8	0.8%	4.0
		その他	22	2.1%	
		計	1,030	100.0%	4.3

入院診療科：小児科

順位	診断群分類	診断群分類名称	件数	割合	平均在院日数
1	040100	喘息	40	7.0%	4.7
2	110310	腎臓又は尿路の感染症	35	6.1%	6.1
3	180030	その他の感染症(真菌を除く)	34	6.0%	4.9
4	100250	下垂体機能低下症	32	5.6%	2.9
5	060380	ウイルス性腸炎	27	4.7%	4.4
6	010230	てんかん	26	4.6%	4.2
7	150070	川崎病	24	4.2%	19.4
8	040080	肺炎等	20	3.5%	9.0
9	080270	食物アレルギー	19	3.3%	1.5
10	100380	体液量減少症	15	2.6%	4.5
		その他	299	52.4%	
		計	571	100.0%	7.3

入院診療科：新生児科

順位	診断群分類	診断群分類名称	件数	割合	平均在院日数
1	140010	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害	412	97.6%	13.6
2	140230	喉頭の疾患(その他)	5	1.2%	126.2
3	14031x	先天性心疾患(動脈管開存症、心房中隔欠損症を除く)	2	0.5%	2.5
4	080010	膿皮症	1	0.2%	10.0
5	140080	脳、脊髄の先天異常	1	0.2%	6.0
6	150110	染色体異常(ターナー症候群及びクラインフェルター症候群を除く)	1	0.2%	636.0
		計	422	100.0%	16.3

クリニカル・パスの統計

●クリニカル・パスの使用件数（2020年度）

電子カルテパス、Yahgeeパスをカウントした。（紙パスは統計対象外）

診療科 / パス名	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	総計
内科	548	563	628	468	2,207
ABL	58	65	60	39	222
AZA 静注 5 日間	7	3		7	17
AZA 静注 7 日間	1	8	13	4	26
AZA 皮下注 5 日間				2	2
AZA 皮下注 7 日間	2			1	3
CAG 上肢（腎機能異常）	4	2		1	7
CAG 上肢（腎機能正常）	4	4		1	9
CAG 鼠径（腎機能異常）		1	1	1	3
CAG 鼠径（腎機能正常）	1				1
EBUS(超音波気管支鏡検査) 一泊	11	13	9	13	46
EPS・ABL	8	4	12	4	28
EUS－FNA パス	3	5	4		12
EUS－FNA パス（腎機能低下・高齢者用）			3		3
EVT 創傷あり（腎機能異常）	9	5	12	7	33
EVT 創傷あり（腎機能正常）	13	11	12	7	43
EVT 創傷あり（透析患者用）	4	6	4	8	22
EVT 創傷なし（腎機能異常）	9	23	15	15	62
EVT 創傷なし（腎機能正常）	18	16	24	26	84
EVT 創傷なし（透析患者用）	17	8	13	9	47
PCI 上肢（腎機能異常）	41	30	36	31	138
PCI 上肢（腎機能正常）	63	57	59	67	246
PCI 鼠径（腎機能異常）	2	14	17	12	45
PCI 鼠径（腎機能正常）	5	8	7	9	29
R-CHOP 療法 (CHOP 先行)	2	3	3	3	11
R-CHOP 療法 (木曜以外の入院)	8	2		1	11
R-CHOP 療法 (木曜日入院)				1	1
アテローム血栓性脳梗塞パス	24	11	20	3	58
シャント造設術（維持透析患者）		1		1	2
ペースメーカー・ICD 植え込み術	31	34	30	28	123
ポート造設術	3	2	6	4	15
ラジオ波凝固療法（RFA）：前日入院用		7	13		20
ラジオ波凝固療法（RFA）：当日入院用			2		2
胃 ESD（前日入院　抗血小板薬内服あり）	2			1	3
胃 ESD（前日入院　抗血小板薬内服あり）腎機能低下・高齢者	2	1		3	6
胃 ESD（当日入院　抗血小板薬内服あり：腎機能低下・高齢者）	2	2	7	1	12
胃 ESD：食だし可能（GF ２回目以降（抗血小板薬内服あり）腎機能低下	1	2	1		4
胃 ESD:食だし可能(GF ２回目以降(前日入院　抗血小板薬内服あり)				4	4
胃 ESD:食だし可能(GF ２回目以降(当日入院　抗血小板薬内服あり)		1		5	6
胃 ESD：食だし可能（前日入院　抗血小板薬内服あり）	2	1			3
胃 ESD：食だし可能（当日入院　抗血小板薬内服あり）	4	4	6	2	16
胃 ESD：食だし可能（当日入院　抗血小板薬内服あり）腎機能低下	4	2	5	2	13
胃 ESD:食だし不可能（GF ２回目　前日入院　抗血小板薬内服あり）				1	1
胃 ESD：食だし不可能（GF ２回目（抗血小板薬内服あり）腎機能低下				1	1
胃 ESD:食だし不可能（GF ２回目（当日入院　抗血小板薬内服あり）		1		3	4
胃ポリペク	2	5	1	1	9
胃ポリペク（胃カメラ再検後　食だし不可）				1	1
胃ポリペク（腎機能低下または透析）			2		2
胃内視鏡的粘膜下層剥離術（前日入院・抗血小板薬なし）	6	5	7	5	23
胃内視鏡的粘膜下層剥離術（前日入院・抗血小板薬なし：腎機能低下）		2	2	3	7
胃内視鏡的粘膜下層剥離術（当日入院　抗血小板薬内服あり）	3	3	7	6	19
胃内視鏡的粘膜下層剥離術（当日入院・抗血小板薬なし）	6	12	10	7	35
胃内視鏡的粘膜下層剥離術（当日入院・抗血小板薬なし：腎機能低下）	4	2	2	5	13

診療科 / パス名	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	総計
肝生検パス		1	6		7
肝動脈塞栓術 (TAE)	19	12	6	11	48
経皮的内視鏡下胃瘻造設パス	1	4	5		10
上腕動脈表在化造設（維持透析患者）		2			2
心原性脳塞栓症パス	6	4	3	3	16
腎生検（ｅ - ＧＦＲ 50 以下または透析）	2	4		4	10
腎生検（e-GFR50 以上）				1	1
睡眠時無呼吸症候群　PSG 検査	6	6	6	4	22
大腸 ESD	11	10	18	15	54
大腸 ESD（腎機能低下または高齢者）	9	12	13	5	39
大腸ポリペク	11	11	14	11	47
大腸ポリペク（腎機能低下または透析）	5	6	5	3	19
胆管炎（ERCP 後入院：セフメタゾール)		1			1
胆管炎（ERCP 後入院：セフメタゾール) 腎機能低下・高齢者 ver			2		2
胆管炎（当日 ERCP：セフメタゾール)	1	11	17	1	30
胆管炎（当日 ERCP：セフメタゾール) 腎機能低下・高齢者 ver	1	4	7		12
胆管炎（当日 ERCP：タゾピペ)			1		1
胆管炎（当日 ERCP：タゾピペ) 腎機能低下・高齢者 ver		1			1
胆管炎（翌日 ERCP：セフメタゾール)		2	1		3
当日入院 CAG 上肢（腎機能正常）	2	1	2		5
当日入院 CAG 鼠径（腎機能正常）	1		1		2
当日入院 EVT 創傷あり（腎機能正常）	4	6	4		14
当日入院 EVT 創傷あり（透析患者用）	1	2	5		8
当日入院 EVT 創傷なし（腎機能正常）	13	5	11	1	30
当日入院 EVT 創傷なし（透析患者用）	2	3	2	1	8
当日入院 PCI 上肢（腎機能正常）	19	11	20	1	51
当日入院 PCI 鼠径（腎機能正常）	3	4	3		10
入院中 CAG 上肢（腎機能異常）	3	5	2	1	11
入院中 CAG 上肢（腎機能正常）	2	2	3	1	8
入院中 CAG 鼠径（腎機能異常）	3	1	1		5
入院中 PCI 上肢（腎機能異常）	9	22	20	13	64
入院中 PCI 上肢（腎機能正常）	18	16	13	23	70
入院中 PCI 鼠径（腎機能異常）	10	3	5	8	26
入院中 PCI 鼠径（腎機能正常）		5	7	5	17
透析科	82	92	103	110	387
CAPD カテーテル挿入術			1		1
CAPD カテーテル抜去術		1			1
CAPD 導入　カテ入れ後（テルモ）			1		1
PCI 鼠径（腎機能異常）	1				1
アテローム血栓性脳梗塞パス		1			1
シャント PTA	1	8	6		15
シャント造設術（維持透析患者）	23	27	25	18	93
シャント造設術（導入期患者）	17	10	22	23	72
血液透析導入	1	9	6	14	30
上腕動脈表在化造設（維持透析患者）	4	5	7	6	22
上腕動脈表在化造設（導入期患者）	3	3	1	1	8
腎生検（ｅ - ＧＦＲ 50 以下または透析）	1	1	3	8	13
腎生検（e-GFR50 以上）	2	1	5	1	9
外来シャント PTA クリニカルパス 透析あり	5		4	5	14
外来シャント PTA クリニカルパス 透析なし	23	23	20	33	99
外来シャント造影クリニカルパス	1	3	2	1	7
小児科	12	2	19	1	34
低月齢児発熱～ラクテック / セフォタックス・ビクシリン～		1	1		2
低身長精査＊＊アルギニン→クロニジン	5	1	8		14
低身長精査～ L-DOPA から～			4		4
低身長精査～アルギニンから～	1		1		2

診療科 / パス名	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	総計
低身長精査～インスリンから～	4		1	1	6
低身長精査～クロニジンから～	1		1		2
尿路感染症	1		3		4
外科	361	336	349	281	1,327
《VTEver》胃全摘 術後1病日～	2	1	3	2	8
《VTEver》試験開腹 or バイパス術 術後1病日～	1			1	2
《VTEver》幽門側胃切除術 術後1病日～	6	3	3	5	17
【共通】胃切除術（手術前日～当日）	23	15	18	25	81
【共通】直腸癌（入院日～手術当日）	16	19	18	17	70
EBUS(超音波気管支鏡検査) 一泊			1		1
EVAR	5	5	4	2	16
Miles 術　術後1病日～	1		1		2
Miles 術　術後1病日～　VTEver			1	2	3
イレウス保存治療	26	25	35	27	113
ポート造設術	9	3	9		21
胃全摘 術後1病日～				1	1
右側結腸パス（前処置なし、前日入院）	4	6	7	5	22
右側結腸パス（前処置なし、前日入院）　VTEver	9	16	15	10	50
下肢静脈瘤	2	1	8	1	12
開腹 AAA	8	2	5	7	22
開腹胆摘	2	6	4	6	18
肝切除	11	9	8	6	34
肝動脈塞栓術 (TAE)		1			1
甲状腺手術、PHPT 手術	6	4	7	8	25
左側結腸パス（前処置あり、２日前入院）	3	3	2	5	13
左側結腸パス（前処置あり、２日前入院）　VTEver	8	7	16	8	39
試験開腹 or バイパス術 術後1病日～		3	1	2	6
小児鼠径ヘルニア		3		2	5
成人ヘルニア　１泊２日	27	31	16	12	86
成人ヘルニア　２泊３日	11	18	16	10	55
虫垂切除術	21	11	9	19	60
直腸癌低位前方切除術　術後1病日～	1	4			5
直腸癌低位前方切除術　術後1病日～　VTEver	6	3	6	4	19
直腸癌低位前方切除術 +covering stoma　術後1病日～		1			1
直腸癌低位前方切除術 +covering stoma　術後1病日～　VTEver	3	1			4
乳腺手術（術後：ドレーンあり）パス	27	21	20	15	83
乳腺手術（術後：ドレーンなし）パス	22	14	16	7	59
乳腺手術（術前）パス	40	25	35	22	122
非開腹 ASO、末梢動脈瘤		3	6	4	13
腹腔鏡下胆嚢摘出術	44	58	45	38	185
腹腔鏡下虫垂切除術	13	10	7	6	36
幽門側胃切除術 術後1病日～	2		2	1	5
肛門疾患パス	2	4	5	1	12
整形外科	37	35	35	26	133
右人工股関節置換術パス	1	4	4	1	10
右人工膝関節置換術用パス	3	2	1	1	7
右大腿骨近位部骨折	2	2	4	3	11
金曜日入院：右人工股関節置換術パス	2	2	1	1	6
金曜日入院：左人工股関節置換術パス	1	1	1		3
金曜日入院：左人工膝関節置換術用パス	1	1	2		4
頚椎症性脊髄症	8	9	7	5	29
腰部脊柱管狭窄症	15	10	11	14	50
左人工股関節置換術パス		1	1	1	3
左人工膝関節置換術用パス	1	2	2		5
左大腿骨近位部骨折	3	1	1		5

診療科 / パス名	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	総計
脳神経外科	48	51	55	40	194
CAS（頚動脈ステント留置術）	3	9	10		22
CAS（頚動脈ステント留置術）　腎機能低下	2		1		3
V-P シャント術　前日入院～退院まで	5	6	4	4	19
コイル塞栓術	4	6	2		12
コイル塞栓術　腎機能低下			2		2
ジャネッタ術（顔面痙攣）パス　前日入院			1		1
ジャネッタ術パス　前日入院	3	7	2	1	13
下垂体腫瘍摘出術（週末入院～退院まで）			1	1	2
下垂体腫瘍摘出術（前日入院～退院まで）			1		1
血管撮影（前日入院）	1			1	2
血管撮影（当日入院）	17	10	9	15	51
慢性硬膜下血腫　術後入院		1	1		2
慢性硬膜下血腫　術後入院（1 週間）	1				1
慢性硬膜下血腫　前日入院	1	1	2	2	6
慢性硬膜下血腫　前日入院（1 週間）	1				1
慢性硬膜下血腫　当日入院	9	10	17	15	51
慢性硬膜下血腫　当日入院（1 週間）	1	1	2	1	5
泌尿器科	304	339	287	299	1,229
PNL1 回目	4	6	3	3	16
RALP 術後 5 日造影　ロボット支援前立腺摘除術	8	6	4	12	30
RALP 術後 7 日造影　ロボット支援前立腺摘除術	3		4	4	11
RAPN（ロボット支援腎部分切除術）	6	6	10	3	25
TUL	67	78	53	60	258
ＴＵＲＢＴ	50	58	59	60	227
TURP・TUEB（経尿道的前立腺切除）	17	18	10	22	67
陰嚢水腫	3	1		2	6
鏡視下腎尿管全摘・膀胱部分切除摘	6	1	5	5	17
経尿道的膀胱結石砕石術（TUVL）	9	14	10	7	40
高位除睾術	1	2	1	2	6
根治的前立腺摘除術	2	2	1	5	10
除睾術	6	3	3	4	16
水圧拡張術	4	3		1	8
前日入院　前立腺生検（P 生検）	2	2	3		7
鼠径ヘルニア	4	2	2	3	11
当日 ESWL	5	7	2	5	19
当日手術　高位除睾術		1			1
当日前立腺生検（P 生検）	93	113	99	89	394
内視尿道切開（尿道狭窄）	2	3	2	3	10
尿管鏡検査	7	8	7	6	28
腹腔鏡下腎摘除術（ラパロ腎摘）	5	5	8	3	21
膀胱全摘回腸導管造設術			1		1
眼科	186	193	175	163	717
眼瞼下垂　右眼　３日間				1	1
眼瞼下垂　両眼　３日間	1	3			4
白内障　右眼　２日間	65	57	45	54	221
白内障　右眼　３日間	24	28	27	15	94
白内障　左眼　２日間	54	56	44	54	208
白内障　左眼　３日間	24	26	25	17	92
緑内障　右眼　７日間	2	2	2	2	8
緑内障　左眼　７日間	1	1	4		6
緑内障＋白内障　右眼　７日間	8	9	15	12	44
緑内障＋白内障　左眼　７日間	7	10	12	7	36
睫毛内反　左眼　３日間　全身麻酔		1	1		2
睫毛内反　両眼　３日間　全身麻酔				1	1

診療科 / パス名	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	総計
皮膚科	22	14	24	17	77
円形脱毛症　2泊3日			1		1
全層植皮術　局所麻酔	22	14	23	17	76
耳鼻咽喉科	71	72	60	41	244
ESS	15	20	19	11	65
アデノイド切除・チュービング（小児）基準 20kg	1			1	2
チュービング（小児）		1	1		2
チュービング（小児）基準 20kg	2			1	3
デビコンコ	3	1			4
顔面神経麻痺・Hunt	1		1	2	4
顔面神経麻痺・Hunt　DM 合併				1	1
顔面神経麻痺・ベル麻痺	3	7	3	1	14
顔面神経麻痺・ベル麻痺　DM 合併	1			3	4
鼓室形成術（成人）	2	7	3	5	17
口蓋扁桃摘出術（小児）		3	6		9
口蓋扁桃摘出術（小児）基準 20kg	6	1		1	8
口蓋扁桃摘出術（成人）	17	9	4	3	33
口蓋扁桃摘出術・アデノイド切除・チュービング（小児）基準 20kg	1				1
喉頭微細手術		3	3		6
全麻リンパ節生検	3	3	2		8
頭頚部手術パス		7	14		21
頭頚部良性腫瘍	11	5		5	21
突発性難聴（中用量）	2	4	3	2	11
突発性難聴（中用量）DM 合併				2	2
突発性難聴（中用量）めまい合併	3	1	1	3	8
歯科・歯科口腔外科	28	23	19	19	89
炎症疾患　手術無し		1		1	2
顎骨骨折　非観血整復固定術　局所麻酔		4	2	1	7
顎変形症手術　上下骨切り			2		2
歯槽部関連疾患　局所麻酔	4	2	1	5	12
歯槽部関連疾患　局所麻酔　4日間 Ver.			1		1
歯槽部関連疾患　全身麻酔	20	15	4	10	49
歯槽部関連疾患　全身麻酔　4日間 Ver.			5		5
歯槽部関連疾患　全身麻酔　5日間 Ver.			2		2
上顎洞関連疾患　全身麻酔	4	1	2	2	9
産科	219	185	156	222	782
円錐切除パス：手術当日入院：外来から手術室	1			1	2
肝動脈塞栓術 (TAE)	1				1
緊急帝王切開パス：腰麻	11	7	3	8	29
緊急帝王切開パス：腰麻：児は NICU 管理	6	7	7	10	30
緊急帝王切開パス：全麻	1			2	3
緊急帝王切開パス：全麻：児は NICU 管理		1	1		2
緊急婦人科開腹術パス：全麻：ドレーンなし		1			1
頚管縫縮術パス			3		3
後期流産パス（2日間入院）	3		1	2	6
産褥パス（適用開始産褥1日）：産褥5日退院：児は NICU 管理		1			1
産褥パス（適用開始産褥1日）：産褥5日退院：児は産科管理	1		2	3	6
産褥パス：産褥4日退院：児は NICU 管理：会陰縫合あり	1				1
産褥パス：産褥4日退院：児は産科管理：会陰縫合あり	2	3		10	15
産褥パス：産褥4日退院：児は産科管理：会陰縫合なし			1	1	2
産褥パス：産褥5日退院：児は NICU 管理：会陰縫合あり	9	19	10	16	54
産褥パス：産褥5日退院：児は NICU 管理：会陰縫合なし	1		2	1	4
産褥パス：産褥5日退院：児は産科管理：会陰縫合あり	140	105	80	124	449
産褥パス：産褥5日退院：児は産科管理：会陰縫合なし	7	9	11	11	38
準広汎子宮全摘術パス：ドレーンあり				1	1
選択的帝王切開パス：腰麻	15	18	15	19	67

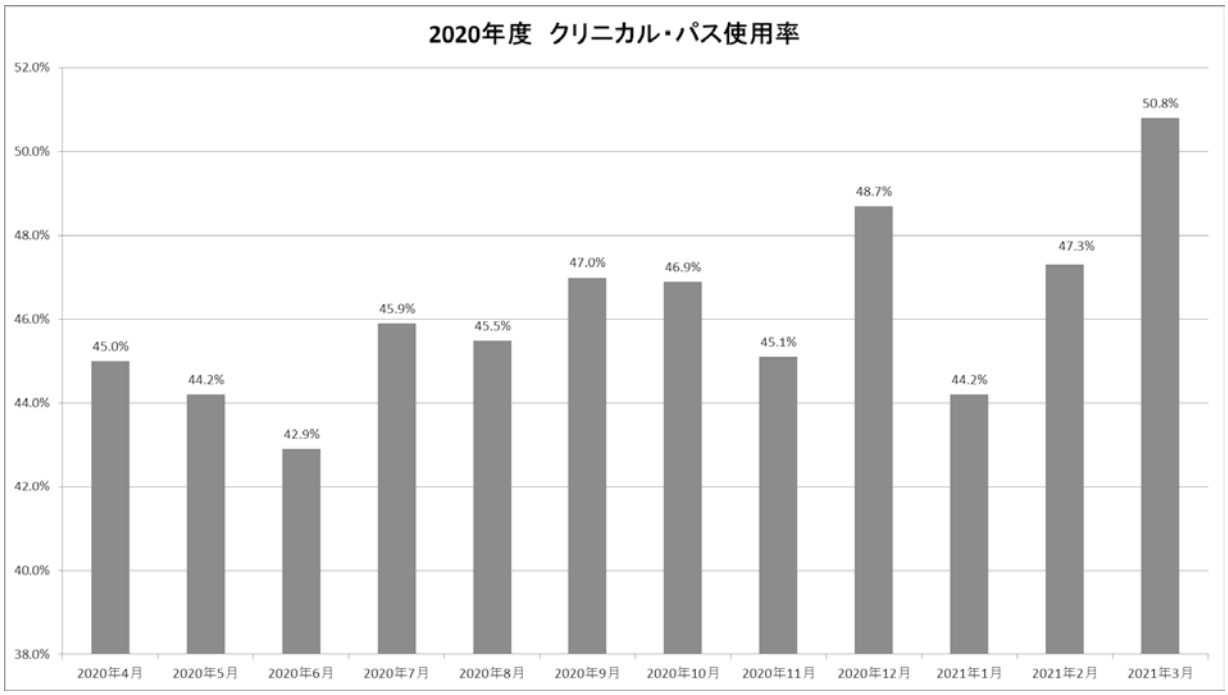
診療科 / パス名	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	総計
選択的帝王切開パス：腰麻：児は NICU 管理	2	6	5	1	14
選択的帝王切開パス：全麻	1				1
選択的帝王切開パス：全麻：児は NICU 管理				1	1
中期中絶術パス（２日間入院）		1	1	1	3
妊娠悪阻パス：入院 10 日間	3	1	3	6	13
婦人科 TC/TC+ アバスチン用パス				1	1
婦人科化学療法パス	4			2	6
婦人科開腹術パス：予定手術：ドレーンなし	1	1			2
腹式単純子宮全摘術：ドレーンなし		1			1
麻酔別腟式手術パス：３日間入院：全身麻酔				1	1
羊水検査パス：CTG なし			2		2
特定妊婦パス	9	4	9		22
婦人科	174	187	181	186	728
VTH	1	1		1	3
ロボット支援腹腔鏡下子宮全摘出手術パス	1	2	1	2	6
円錐切除パス：手術前日入院			1		1
円錐切除パス：手術当日入院：外来から手術室	16	6	7	11	40
円錐切除パス：手術当日入院：病棟から手術室			1		1
緊急帝王切開パス：腰麻	3	3	1	2	9
緊急帝王切開パス：腰麻：児は NICU 管理	2		1	1	4
緊急婦人科開腹術パス：全麻：ドレーンあり	1				1
緊急婦人科開腹術パス：全麻：ドレーンなし				1	1
緊急婦人科開腹術パス：全麻＋硬膜外：ドレーンあり		2			2
緊急婦人科開腹術パス：全麻＋硬膜外：ドレーンなし		2			2
緊急腹腔鏡下卵巣・卵管手術パス	2	1	4	2	9
経頸管的子宮鏡下手術パス：３日間入院：腰痛麻酔		1	3		4
頚管縫縮術パス	1				1
後期流産パス（２日間入院）	1		2	1	4
広汎子宮全摘術パス	1	3	1	2	7
産褥パス：産褥５日退院：児は NICU 管理：会陰縫合あり	2	1	1	3	7
産褥パス：産褥５日退院：児は NICU 管理：会陰縫合なし	1				1
産褥パス：産褥５日退院：児は産科管理：会陰縫合あり	14	24	19	9	66
産褥パス：産褥５日退院：児は産科管理：会陰縫合なし	1				1
子宮脱手術パス	7	3	5	6	21
子宮内容除去術パス：前日入院・術後１日退院			1		1
準広汎子宮全摘術パス：ドレーンあり				7	7
選択的帝王切開パス：腰麻	5	5	5	5	20
選択的帝王切開パス：腰麻：児は NICU 管理	1			3	4
選択的帝王切開パス：全麻		1			1
選択的帝王切開パス：全麻：児は NICU 管理		1			1
中期中絶術パス（２日間入院）	1				1
妊娠悪阻パス：入院 10 日間	2		1	1	4
婦人科 AP 療法パス	5	2		4	11
婦人科 EP 療法パス		1	5		6
婦人科 TC/TC+ アバスチン用パス	18	22	23	44	107
婦人科化学療法パス	30	41	34	31	136
婦人科開腹術パス：予定手術：ドレーンあり			1		1
婦人科開腹術パス：予定手術：ドレーンなし	3	3	6	2	14
腹腔鏡下子宮全摘出手術パス	9	11	9	10	39
腹腔鏡下卵巣・卵管手術パス	14	12	13	12	51
腹式単純子宮全摘術：ドレーンあり	1	1	2	6	10
腹式単純子宮全摘術：ドレーンなし	17	15	18	5	55
麻酔別腟式手術パス：３日間入院：腰椎麻酔		1	2		3
麻酔別腟式手術パス：３日間入院：全身麻酔	1	2	2	4	9
羊水検査パス：CTG なし	1				1
卵巣腫瘍 (悪性疑い) 手術パス：術後：ドレーンあり	2	4	2	1	9

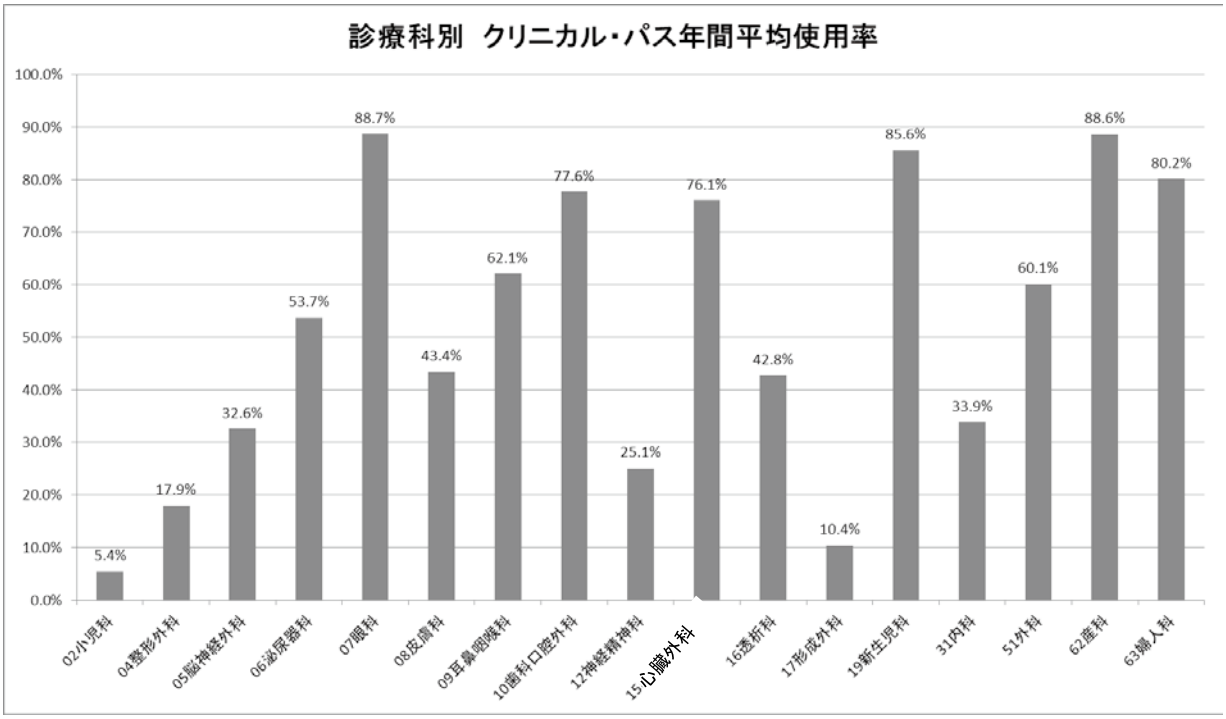
診療科 / パス名	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	総計
卵巣腫瘍 (悪性疑い) 手術パス：術後：ドレーンなし：クレキサンあり	1	1		4	6
卵巣腫瘍 (悪性疑い) 手術パス：術後：ドレーンなし：クレキサンなし	3	7	4	2	16
卵巣腫瘍 (悪性疑い) 手術パス：術前	6	8	6	4	24
神経精神科	31	28	30	28	117
修正型電気けいれん療法　入院用	31	28	30	28	117
救命科	457	658	690	567	2,372
ABL	1		3		4
ＡＣＳ（医療者用）クリニカルパス	54	54	68	60	236
CAG 上肢（腎機能異常）				1	1
CAPD カテーテル挿入術			1		1
EPS・ABL				1	1
ESS	2				2
EUS－FNA パス		1			1
EVT 創傷あり（腎機能異常）				1	1
EVT 創傷なし（腎機能正常）		1			1
PCI 上肢（腎機能正常）	2	1	1	2	6
アテローム血栓性脳梗塞パス	30	43	32	7	112
イレウス保存治療	6	5	8	4	23
シャント造設術（維持透析患者）			2	1	3
ペースメーカー・ICD 植え込み術	1	3			4
ポート造設術			1		1
ラジオ波凝固療法（RFA）：前日入院用		1			1
胃内視鏡的粘膜下層剥離術（前日入院・抗血小板薬なし）		1			1
右人工股関節置換術パス				1	1
右大腿骨近位部骨折	1	1	5	3	10
炎症疾患　手術無し	1				1
顎骨骨折　非観血整復固定術　局所麻酔		1			1
急性虫垂炎（医療者用）クリニカルパス	14	21	24	15	74
急性薬物中毒（医療者用）クリニカルパス	2	3	4	3	12
胸痛（医療者用）クリニカルパス	9	7	15	7	38
呼吸困難 (医療者用) クリニカルパス	36	88	55	62	241
口蓋扁桃摘出術（成人）		1			1
左大腿骨近位部骨折			2	1	3
産褥パス：産褥５日退院：児は産科管理：会陰縫合あり	1				1
小児：痙攣（医療者用）クリニカルパス	4	2	2	3	11
消化管出血（医療者用）クリニカルパス	22	46	33	31	132
上腕動脈表在化造設（導入期患者）		1			1
心原性脳塞栓症パス	8	7	13	3	31
成人ヘルニア　１泊２日		1			1
大腿骨骨折（医療者用）クリニカルパス	36	36	40	41	153
胆管炎（ERCP 後入院：セフメタゾール)		2	1		3
胆管炎（ERCP 後入院：セフメタゾール) 腎機能低下・高齢者 ver			1		1
胆管炎（当日 ERCP：セフメタゾール)		2	2		4
胆管炎（当日 ERCP：セフメタゾール) 腎機能低下・高齢者 ver			3		3
胆管炎（当日 ERCP：タゾピペ)		1			1
胆管炎（翌日 ERCP：セフメタゾール)		1	1		2
胆道感染・胆管炎（医療者用）クリニカルパス	15	38	28	29	110
虫垂切除術	6	1	5	3	15
腸閉塞（医療者用）クリニカルパス	16	27	30	25	98
当日前立腺生検（P 生検）			6		6
当日入院 EVT 創傷なし（腎機能正常）	1				1
当日入院 PCI 上肢（腎機能正常）		3			3
頭蓋内病変（医療者用）クリニカルパス	57	68	92	96	313
入院中 PCI 上肢（腎機能正常）	1	1		1	3
脳梗塞 (医療者用) クリニカルパス	47	58	73	56	234
脳出血・ＳＡＨ（医療者用）クリニカルパス	30	38	39	50	157

診療科 / パス名	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	総計
発熱（医療者用）クリニカルパス	17	69	69	35	190
慢性硬膜下血腫　前日入院	1		1	2	4
慢性硬膜下血腫　前日入院（1 週間）				1	1
慢性硬膜下血腫　当日入院	5	7	11	1	24
慢性硬膜下血腫　当日入院（1 週間）	5	1		4	10
慢性硬膜下血腫（医療者用）クリニカルパス	21	10	17	9	57
痙攣 (医療者用) クリニカルパス	5	6	2	8	21
全体	984	1,019	902	951	3,856
医療者用輸血療法パス	984	1,019	902	951	3,856
総　件　数	3,564	3,797	3,713	3,419	14,493

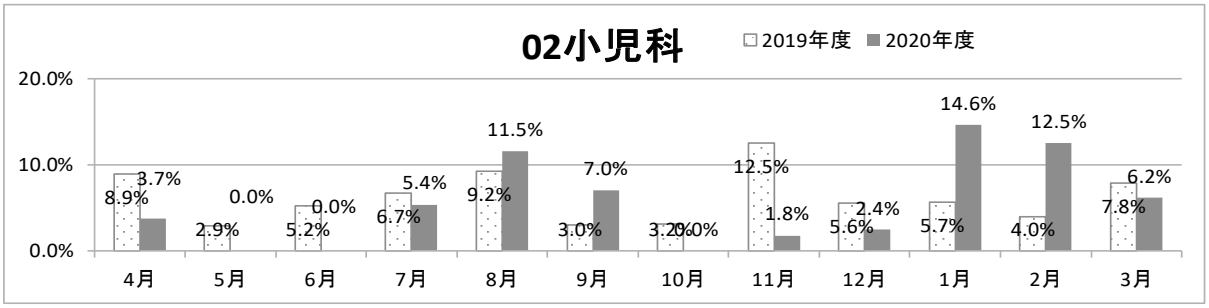
●クリニカル・パス使用率（2020年度）

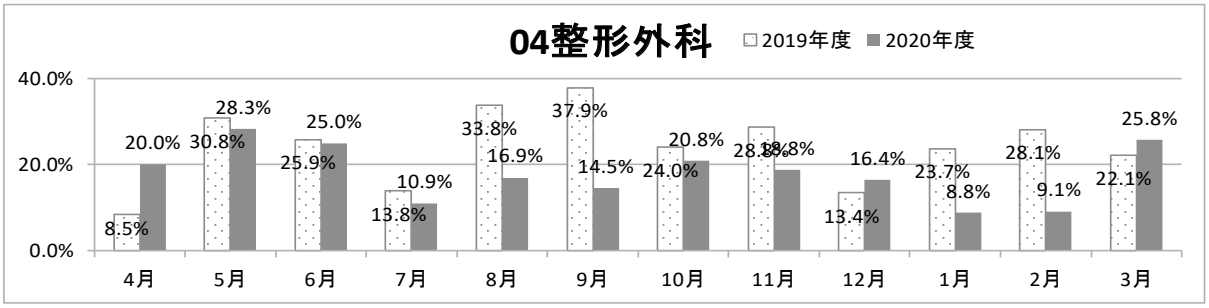
分子：クリニカル・パス利用患者　分母：退院患者

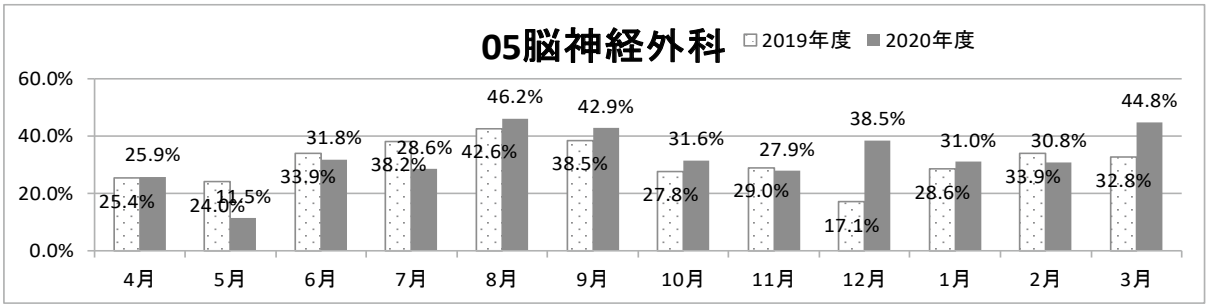


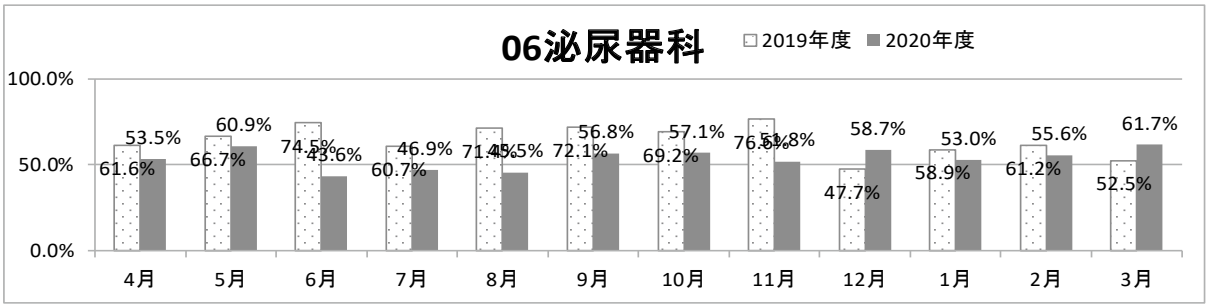


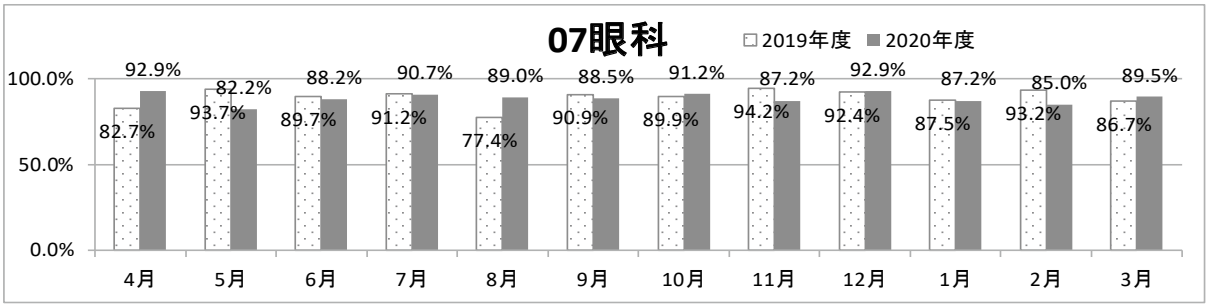
●診療科別クリニカル・パス使用率（2020年度）

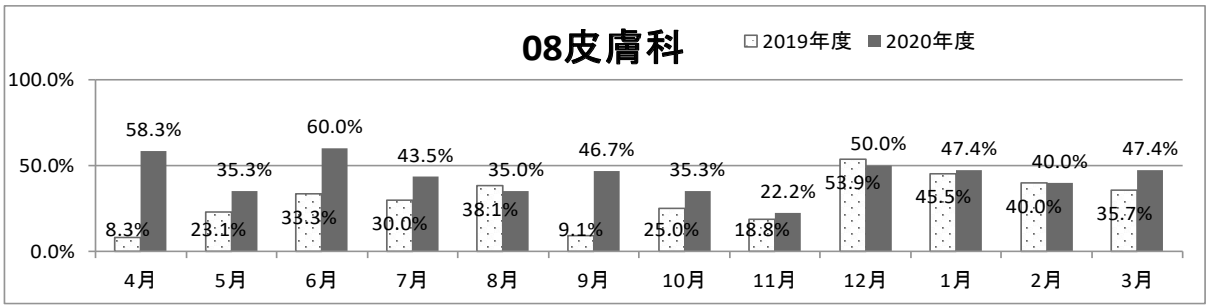


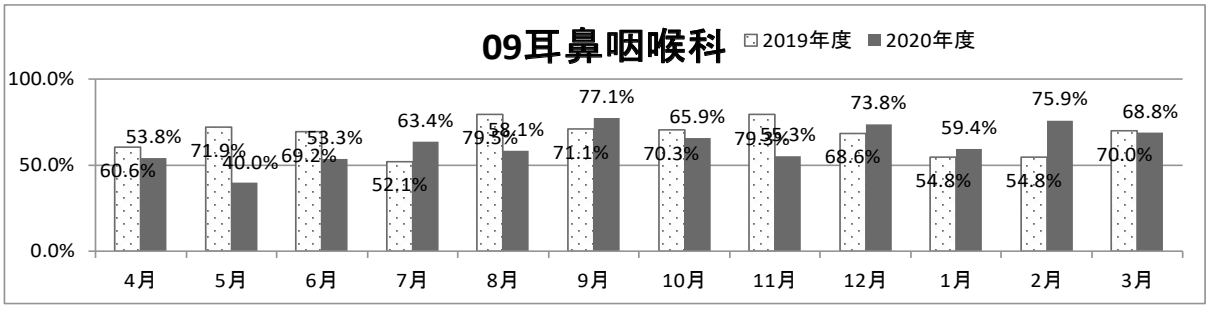


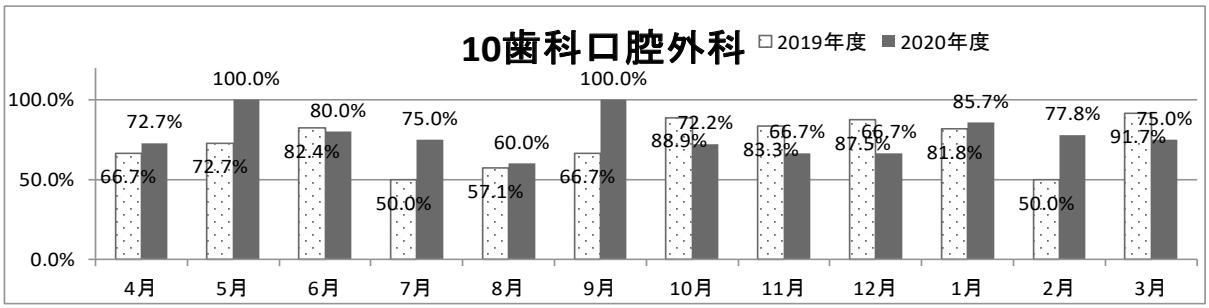


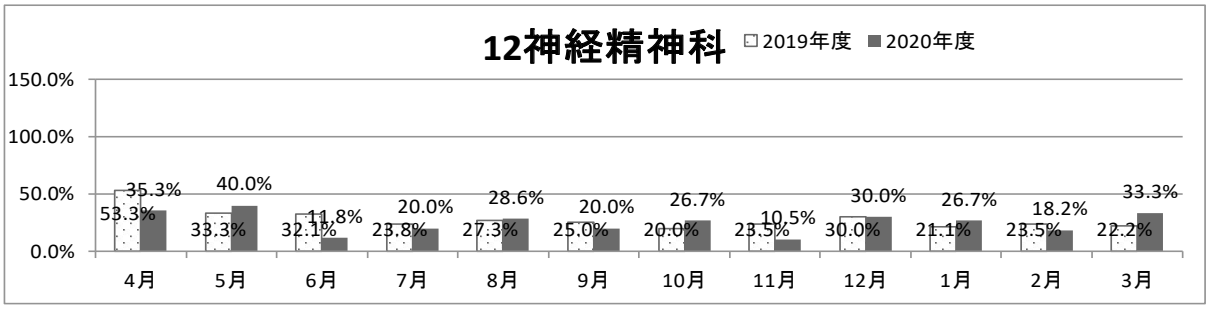


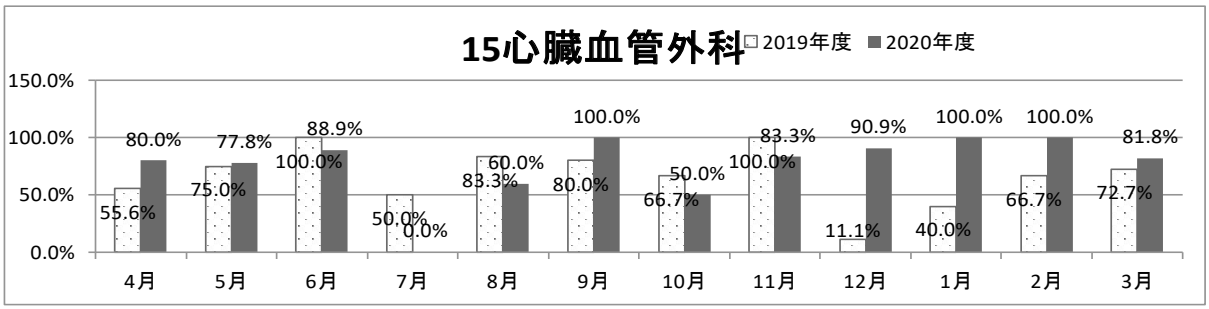


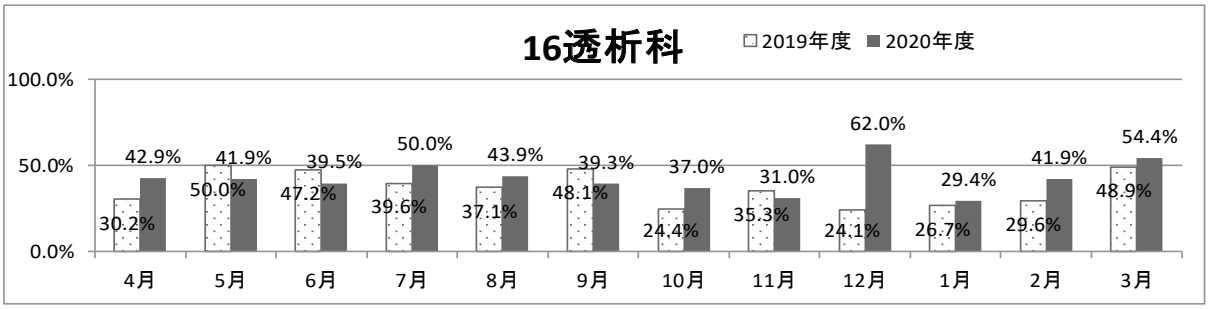

08皮膚科
2019年度
2020年度
100.0%
50.0%
0.0%
8.3%
58.3%
23.1%
35.3%
33.3%
60.0%
30.0%
43.5%
38.1%
35.0%
9.1%
46.7%
25.0%
35.3%
18.8%
22.2%
53.9%
50.0%
45.5%
47.4%
40.0%
40.0%
35.7%
47.4%
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月

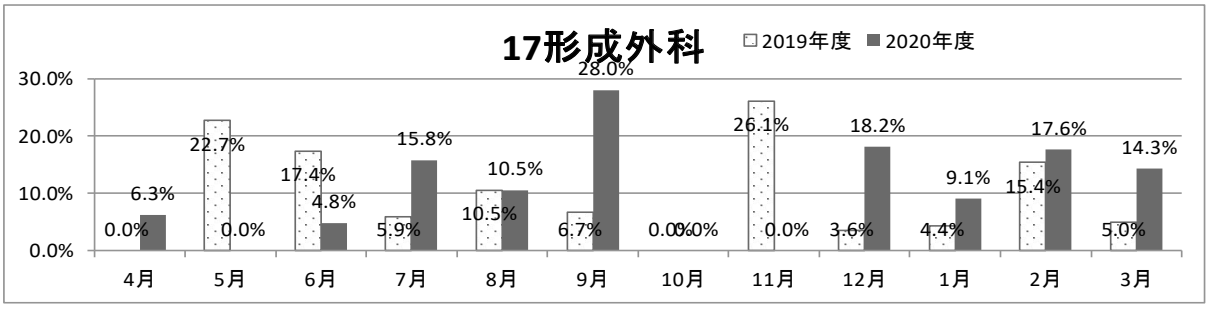

09耳鼻咽喉科
2019年度
2020年度
100.0%
50.0%
0.0%
60.6%
53.8%
71.9%
40.0%
69.2%
53.3%
52.1%
63.4%
79.3%
58.1%
71.1%
77.1%
70.3%
65.9%
79.3%
55.3%
68.6%
73.8%
54.8%
59.4%
54.8%
75.9%
70.0%
68.8%
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月

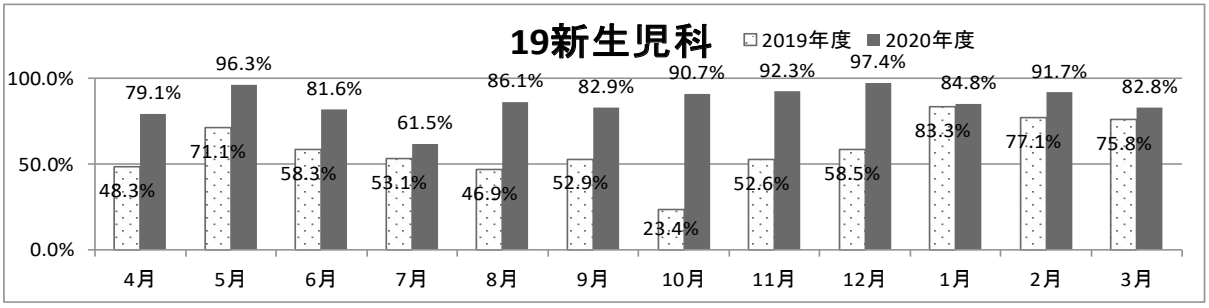

10歯科口腔外科
2019年度
2020年度
100.0%
50.0%
0.0%
66.7%
72.7%
72.7%
100.0%
82.4%
80.0%
50.0%
75.0%
57.1%
60.0%
66.7%
100.0%
88.9%
72.2%
83.3%
66.7%
87.5%
66.7%
81.8%
85.7%
50.0%
77.8%
91.7%
75.0%
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月

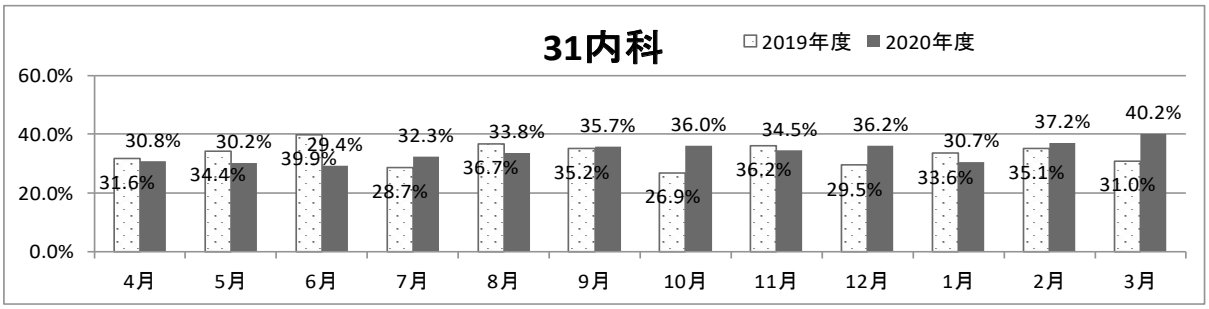

12神経精神科
2019年度
2020年度
150.0%
100.0%
50.0%
0.0%
53.3%
35.3%
33.3%
40.0%
32.1%
11.8%
23.8%
20.0%
27.3%
28.6%
25.0%
20.0%
20.0%
26.7%
23.5%
10.5%
30.0%
30.0%
21.1%
26.7%
23.5%
18.2%
22.2%
33.3%
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月

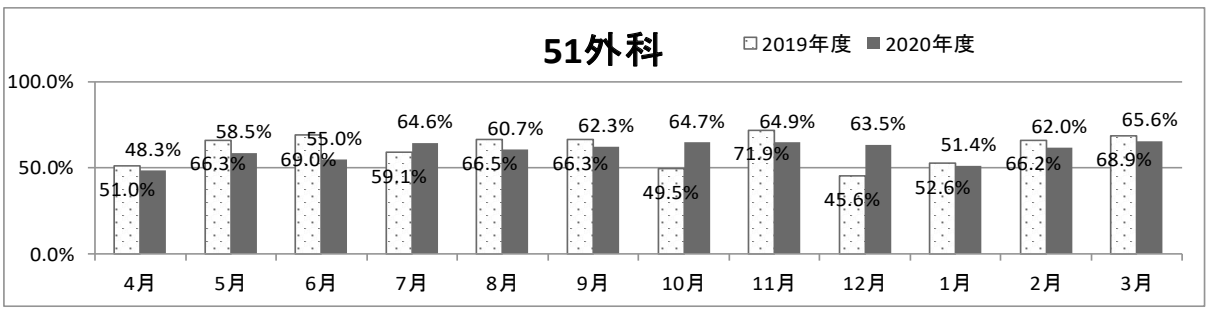

15心臓血管外科
2019年度
2020年度
150.0%
100.0%
50.0%
0.0%
55.6%
80.0%
75.0%
77.8%
100.0%
88.9%
50.0%
0.0%
83.3%
60.0%
80.0%
100.0%
66.7%
50.0%
100.0%
83.3%
11.1%
90.9%
40.0%
100.0%
66.7%
100.0%
72.7%
81.8%
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月

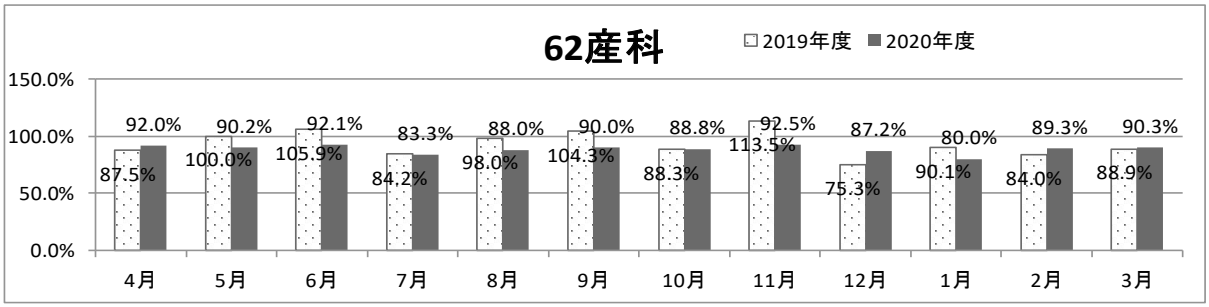

16透析科
2019年度
2020年度
100.0%
50.0%
0.0%
30.2%
42.9%
50.0%
41.9%
47.2%
39.5%
39.6%
50.0%
37.1%
43.9%
48.1%
39.3%
24.4%
37.0%
35.3%
31.0%
24.1%
62.0%
26.7%
29.4%
29.6%
41.9%
48.9%
54.4%
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月

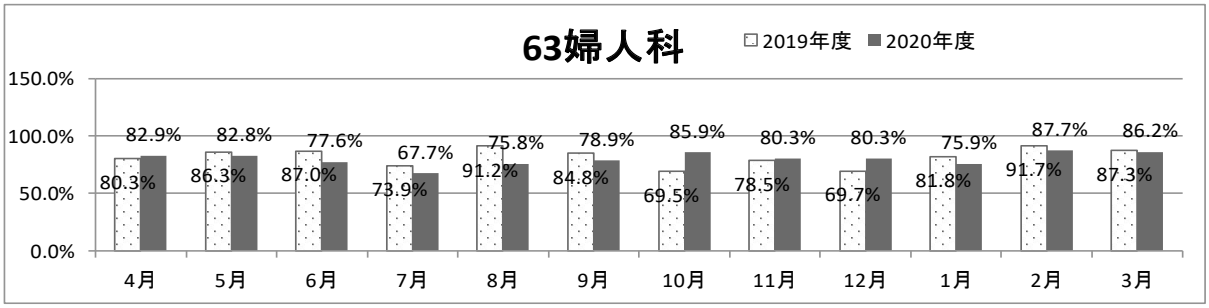

17形成外科
2019年度
2020年度
30.0%
20.0%
10.0%
0.0%
0.0%
6.3%
22.7%
0.0%
17.4%
4.8%
5.9%
15.8%
10.5%
10.5%
6.7%
28.0%
0.0%
0.0%
26.1%
0.0%
3.6%
18.2%
4.4%
9.1%
15.4%
17.6%
5.0%
14.3%
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月


19新生児科
2019年度
2020年度
100.0%
50.0%
0.0%
48.3%
79.1%
71.1%
96.3%
58.3%
81.6%
53.1%
61.5%
46.9%
86.1%
52.9%
82.9%
23.4%
90.7%
52.6%
92.3%
58.5%
97.4%
83.3%
84.8%
77.1%
91.7%
75.8%
82.8%
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月


31内科
2019年度
2020年度
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
31.6%
30.8%
34.4%
30.2%
39.9%
29.4%
28.7%
32.3%
36.7%
33.8%
35.2%
35.7%
26.9%
36.0%
36.2%
34.5%
29.5%
36.2%
33.6%
30.7%
35.1%
37.2%
31.0%
40.2%
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月


51外科
2019年度
2020年度
100.0%
50.0%
0.0%
51.0%
48.3%
66.3%
58.5%
69.0%
55.0%
59.1%
64.6%
66.5%
60.7%
66.3%
62.3%
49.5%
64.7%
71.9%
64.9%
45.6%
63.5%
52.6%
51.4%
66.2%
62.0%
68.9%
65.6%
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月

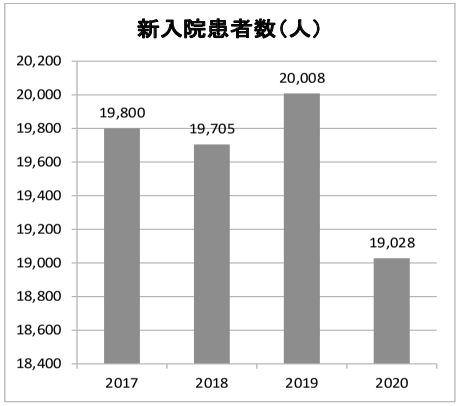

62産科
2019年度
2020年度
150.0%
100.0%
50.0%
0.0%
87.5%
92.0%
100.0%
90.2%
105.9%
92.1%
84.2%
83.3%
98.0%
88.0%
104.3%
90.0%
88.3%
88.8%
113.5%
92.5%
75.3%
87.2%
90.1%
80.0%
84.0%
89.3%
88.9%
90.3%
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月

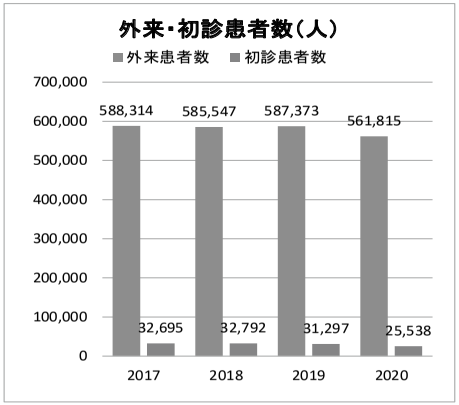

63婦人科
2019年度
2020年度
150.0%
100.0%
50.0%
0.0%
80.3%
82.9%
86.3%
82.8%
87.0%
77.6%
73.9%
67.7%
91.2%
75.8%
84.8%
78.9%
69.5%
85.9%
78.5%
80.3%
69.7%
80.3%
81.8%
75.9%
91.7%
87.7%
87.3%
86.2%
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月

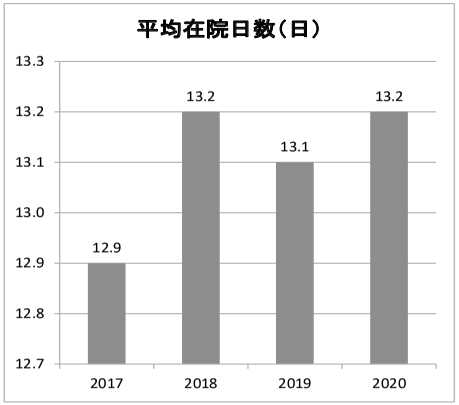
臨床指標

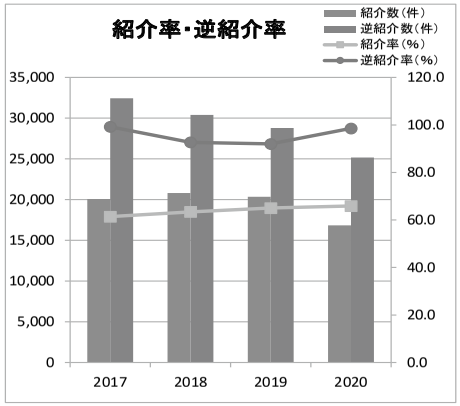
●全体臨床指標

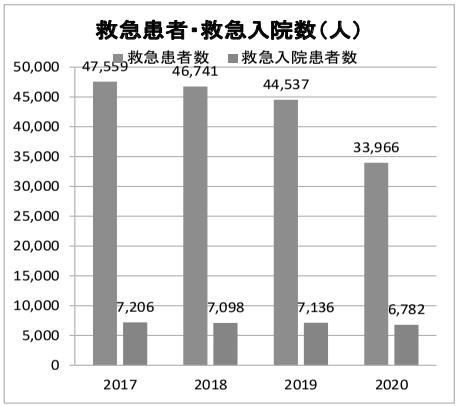
全体
臨床指標











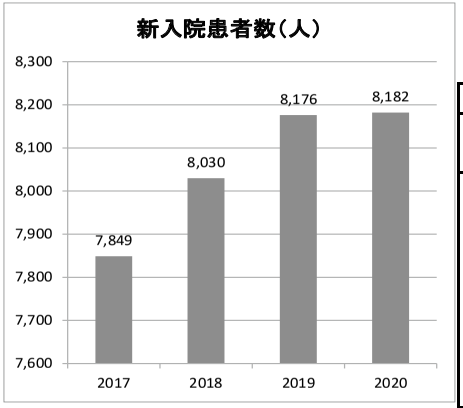
全体

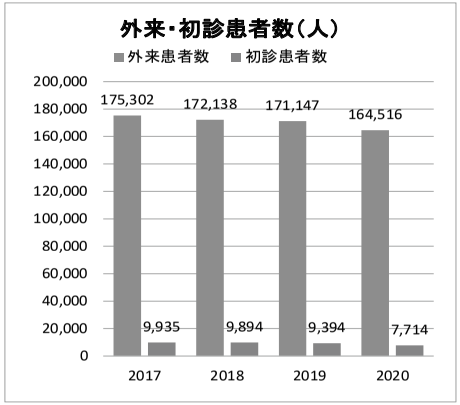
区分			2017	2018	2019	2020	2020/2017
日数	入院診療日数	日	365	365	366	365	100.0
	外来診療日数	日	244	244	241	243	99.6
基礎指標	医師数	人	175	178	188	202	115.4
	入院延患者数	人	275,565	280,170	282,390	270,676	98.2
	新入院患者数	人	19,800	19,705	20,008	19,028	96.1
	入院収益 A	千円	18,765,075	19,589,737	19,490,193	20,428,338	108.9
	外来患者数	人	588,314	585,547	587,373	561,815	95.5
	初診患者数	人	32,695	32,792	31,297	25,538	78.1
	外来収益 B	千円	12,315,179	12,842,675	13,549,768	13,500,377	109.6
	診療収益 A+B	千円	31,080,254	32,432,412	33,039,961	33,928,715	109.2
分析指標	入院診療単価	円	68,097	69,921	69,019	75,472	110.8
	新入院患者数/日	人	54.2	54.0	54.7	52.1	96.1
	平均在院日数	日	12.9	13.2	13.1	13.2	102.3
	外来診療単価	円	20,933	21,933	23,068	24,030	114.8
	紹介率	%	61.4	63.4	65.0	65.9	107.3
	外来平均患者数/日	人	2,411	2,399.8	2,437.2	2312.0	95.9
	初診患者数/日	人	134.0	134.4	129.9	105.1	78.4
	救急患者数	人	47,559	46,741	44,537	33,966	71.4
	救急入院患者数	人	7,206	7,098	7,136	6,782	94.1
	救急入院患者数/新入院患者数	%	36.4	36.0	35.7	35.6	97.9
	紹介数（紹介患者加算）	人	20,081	20,796	20,350	16,827	83.8
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	32,442	30,393	28,801	25,164	77.6
	逆紹介率	%	99.2	92.7	92.0	98.5	99.3
	手術件数（手術室利用）	件	8,469	8,417	8,462	8,163	96.4
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	293,778	301,520	283,255	277,070	94.3
	医師1人1日当たり外来収益	円	288,412	295,696	299,059	275,035	95.4
	医師1人1日当たり診療収益	円	582,190	597,216	582,314	552,105	94.8
	医師1人1日当たり入院患者数	人	4.3	4.3	4.1	3.7	85.1
	医師1人1日当たり外来患者数	人	13.8	13.5	13.0	11.4	83.1
	医師1人当たり新入院患者数	人	113.1	110.7	106.4	94.2	83.3
	医師1人当たり救急患者数	人	271.8	262.6	236.9	168.1	61.9
	医師1人当たり救急入院患者数	人	41.2	39.9	38.0	33.6	81.5
	医師1人当たり紹介数	件	114.7	116.8	108.2	83.3	72.6
	医師1人当たり逆紹介数	件	185.4	170.7	153.2	124.6	67.2
	医師1人当たり手術件数	件	48.4	47.3	45.0	40.4	83.5

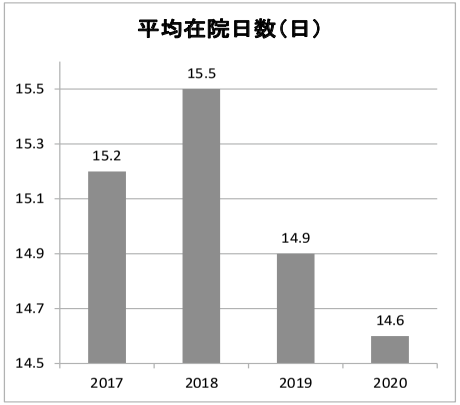
（注）1　医師数は2020年4月1日現在（当指標にない診療科の医師、研修医は含まれていない）
2　当指標にない診療科の外来患者は含まれていない。
3　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
4　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

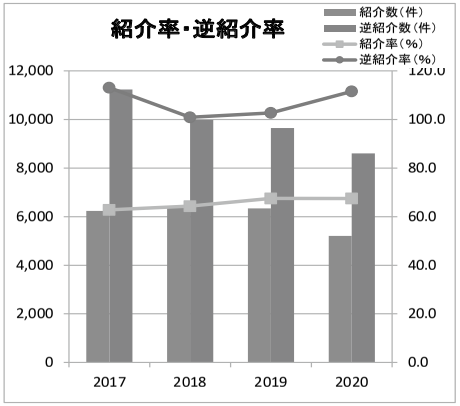
●科別臨床指標

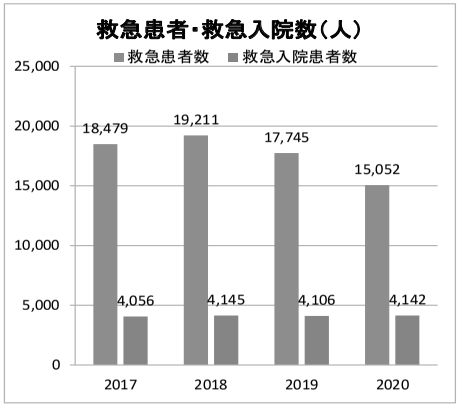
内科
臨床指標









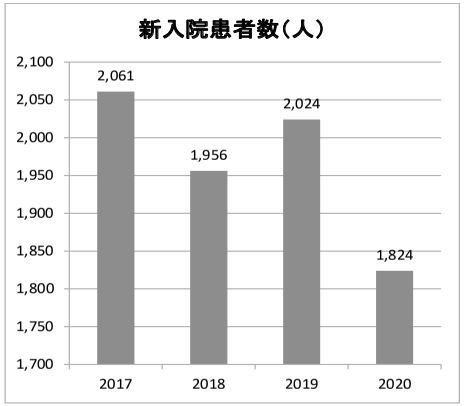


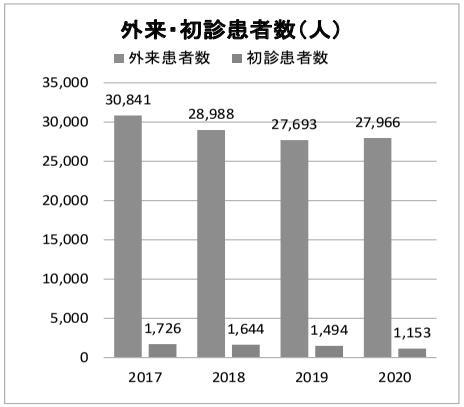
内科

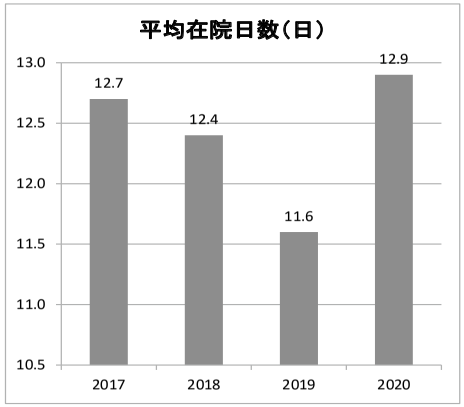
区分			2017	2018	2019	2020	2020/2017
日数	入院診療日数	日	365	365	366	365	100.0
	外来診療日数	日	244	244	243	243	99.6
基礎指標	医師数	人	55	56	57	68	123.6
	入院延患者数	人	124,241	131,338	129,482	126,798	102.1
	新入院患者数	人	7,849	8,030	8,176	8,182	104.2
	入院収益 A	千円	8,043,720	8,622,110	8,600,584	9,574,500	119.0
	外来患者数	人	175,302	172,138	171,147	164,516	93.8
	初診患者数	人	9,935	9,894	9,394	7,714	77.6
	外来収益 B	千円	6,097,995	6,646,247	6,978,744	6741598	110.6
	診療収益 A＋B	千円	14,141,715	15,268,357	15,579,328	16,316,098	115.4
分析指標	入院診療単価	円	64,743	65,648	66,423	75,510	116.6
	新入院患者数/日	人	21.5	22.0	22.3	22.4	104.2
	平均在院日数	日	15.2	15.5	14.9	14.6	96.1
	外来診療単価	円	34,786	38,610	40,776	40,978	117.8
	紹介率	%	62.8	64.3	67.5	67.5	107.4
	外来平均患者数/日	人	718	705.5	704.3	677.0	94.2
	初診患者数/日	人	40.7	40.5	38.7	31.7	78.0
	救急患者数	人	18,479	19,211	17,745	15,052	81.5
	救急入院患者数	人	4,056	4,145	4,106	4,142	102.1
	救急入院患者数/新入院患者数	%	51.7	51.6	50.2	50.6	98.0
	紹介数（紹介患者加算）	人	6,239	6,364	6,342	5,204	83.4
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	11,234	9,983	9,648	8,605	76.6
	逆紹介率	%	113.1	100.9	102.7	111.6	98.7
	手術件数（手術室利用）	件	1	4	6	1	100.0
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	400,683	421,825	412,261	385,757	96.3
	医師1人1日当たり外来収益	円	454,396	486,406	503,844	407,988	89.8
	医師1人1日当たり診療収益	円	855,079	908,231	916,105	793,746	92.8
	医師1人1日当たり入院患者数	人	6.2	6.4	6.2	5.1	82.5
	医師1人1日当たり外来患者数	人	13.1	12.6	12.4	10.0	76.2
	医師1人当たり新入院患者数	人	142.7	143.4	143.4	120.3	84.3
	医師1人当たり救急患者数	人	336.0	343.1	311.3	221.4	65.9
	医師1人当たり救急入院患者数	人	73.7	74.0	72.0	60.9	82.6
	医師1人当たり紹介数	件	113.4	113.6	111.3	76.5	67.5
	医師1人当たり逆紹介数	件	204.3	178.3	169.3	126.5	62.0
	医師1人当たり手術件数	件	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0

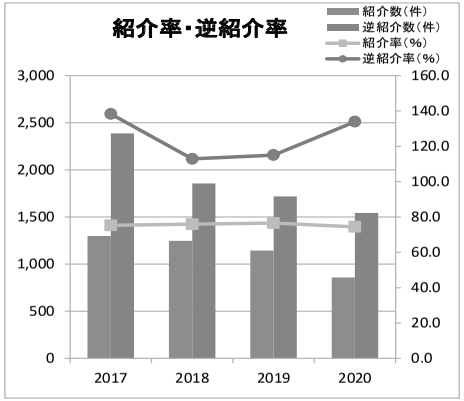
（注）1　医師数は2020年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

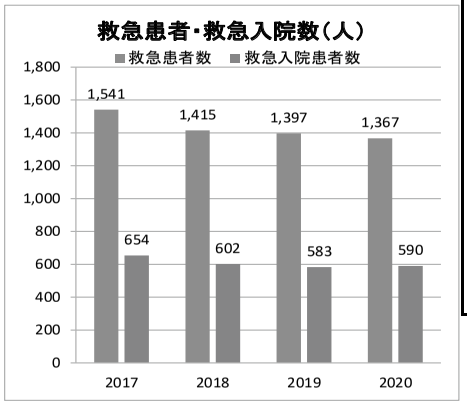
外科
臨床指標









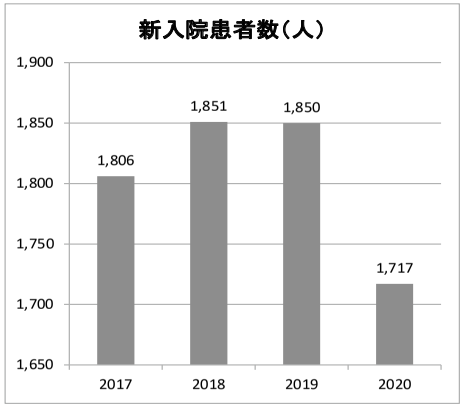


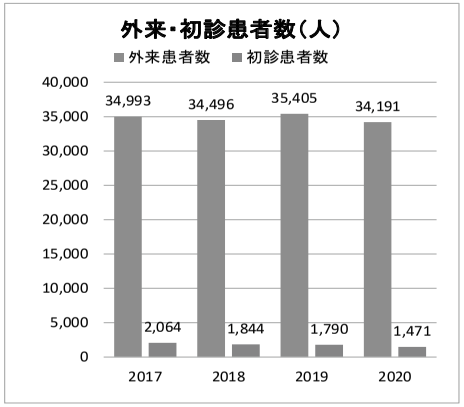
外科

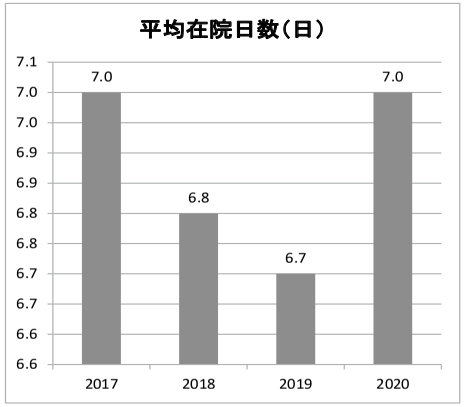
区分			2017	2018	2019	2020	2020/2017
日数	入院診療日数	日	365	365	366	365	100.0
	外来診療日数	日	244	244	242	243	99.6
基礎指標	医師数	人	24	22	24	24	100.0
	入院延患者数	人	29,125	26,633	25,637	26,468	90.9
	新入院患者数	人	2,061	1,956	2,024	1,824	88.5
	入院収益 A	千円	2,423,704	2,400,851	2,211,987	2,314,561	95.5
	外来患者数	人	30,841	28,988	27,693	27,966	90.7
	初診患者数	人	1,726	1,644	1,494	1,153	66.8
	外来収益 B	千円	909,683	707,012	781,073	924,873	101.7
	診療収益 A+B	千円	3,333,387	3,107,862	2,993,060	3,239,434	97.2
分析指標	入院診療単価	円	83,217	90,146	86,281	87,448	105.1
	新入院患者数/日	人	5.6	5.4	5.5	5.0	88.5
	平均在院日数	日	12.7	12.4	11.6	12.9	101.6
	外来診療単価	円	29,496	24,390	28,205	33,071	112.1
	紹介率	%	75.3	75.9	76.6	74.4	98.9
	外来平均患者数/日	人	126	118.8	114.4	115.1	91.1
	初診患者数/日	人	7.1	6.7	6.2	4.7	67.1
	救急患者数	人	1,541	1,415	1,397	1,367	88.7
	救急入院患者数	人	654	602	583	590	90.2
	救急入院患者数/新入院患者数	%	31.7	30.8	28.8	32.3	101.9
	紹介数（紹介患者加算）	人	1,299	1,248	1,144	858	66.1
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	2,387	1,856	1,719	1,544	64.7
	逆紹介率	%	138.3	112.9	115.1	133.9	96.8
	手術件数（手術室利用）	件	1,797	1,775	1,750	1,702	94.7
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	276,679	298,985	251,820	264,219	95.5
	医師1人1日当たり外来収益	円	155,342	131,709	134,482	158,586	102.1
	医師1人1日当たり診療収益	円	432,021	430,694	386,302	422,805	97.9
	医師1人1日当たり入院患者数	人	3.3	3.3	2.9	3.0	90.9
	医師1人1日当たり外来患者数	人	5.3	5.4	4.8	4.8	91.1
	医師1人当たり新入院患者数	人	85.9	88.9	84.3	76.0	88.5
	医師1人当たり救急患者数	人	64.2	64.3	58.2	57.0	88.7
	医師1人当たり救急入院患者数	人	27.3	27.4	24.3	24.6	90.2
	医師1人当たり紹介数	件	54.1	56.7	47.7	35.8	66.1
	医師1人当たり逆紹介数	件	99.5	84.4	71.6	64.3	64.7
	医師1人当たり手術件数	件	74.9	80.7	72.9	70.9	94.7

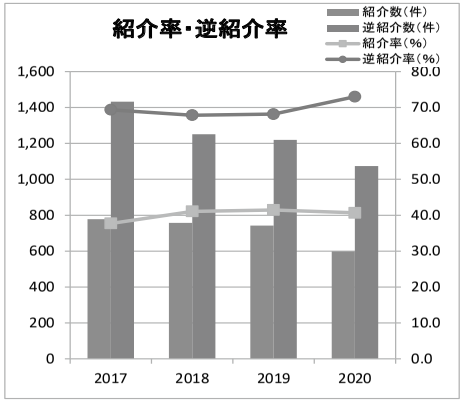
（注）1　医師数は2020年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

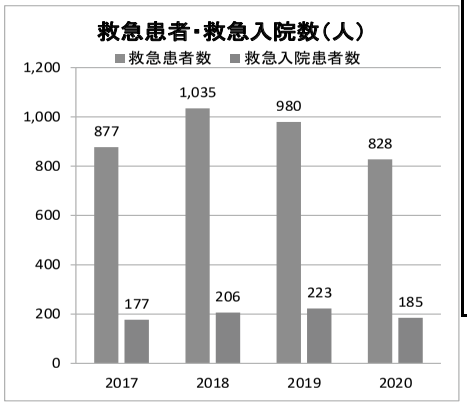
産婦人科
臨床指標









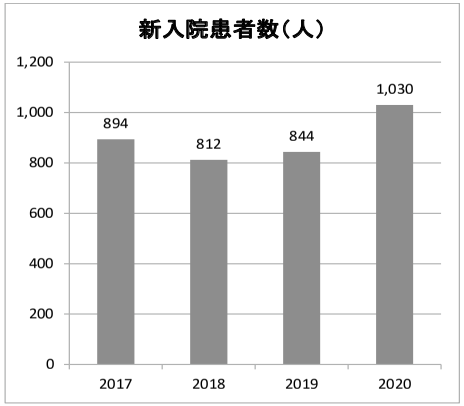


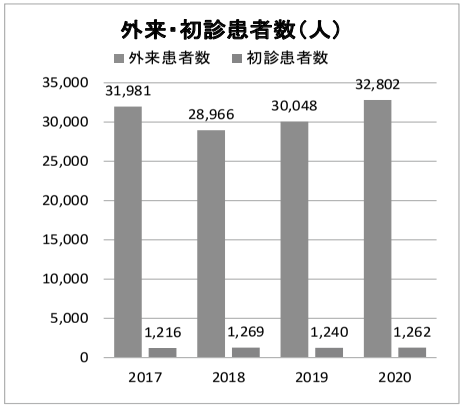
産婦人科

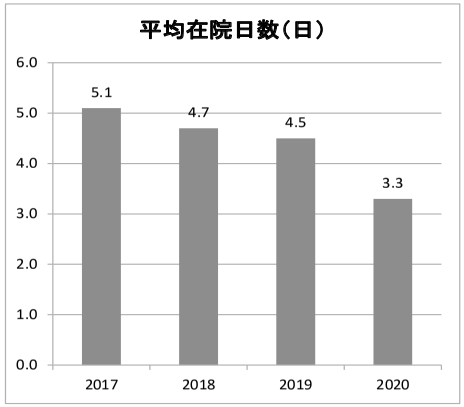
区分			2017	2018	2019	2020	2020/2017
日数	入院診療日数	日	365	365	366	365	100.0
	外来診療日数	日	244	244	242	243	99.6
基礎指標	医師数	人	8	9	12	10	125.0
	入院延患者数	人	14,466	14,428	14,152	13,837	95.7
	新入院患者数	人	1,806	1,851	1,850	1,717	95.1
	入院収益 A	千円	1,104,206	1,138,296	1,097,359	1,097,030	99.4
	外来患者数	人	34,993	34,496	35,405	34,191	97.7
	初診患者数	人	2,064	1,844	1,790	1,471	71.3
	外来収益 B	千円	312,388	323,431	371,522	367,370	117.6
	診療収益 A+B	千円	1,416,594	1,461,727	1,468,881	1,464,400	103.4
分析指標	入院診療単価	円	76,331	78,895	77,541	79,282	103.9
	新入院患者数/日	人	4.9	5.1	5.1	4.7	95.1
	平均在院日数	日	7.0	6.8	6.7	7.0	100.0
	外来診療単価	円	8,927	9,376	10,493	10,745	120.4
	紹介率	%	37.7	41.1	41.5	40.7	107.8
	外来平均患者数/日	人	143	141.4	146.3	140.7	98.1
	初診患者数/日	人	8.5	7.6	7.4	6.1	71.6
	救急患者数	人	877	1,035	980	828	94.4
	救急入院患者数	人	177	206	223	185	104.5
	救急入院患者数/新入院患者数	%	9.8	11.1	12.1	10.8	109.9
	紹介数（紹介患者加算）	人	778	757	742	598	76.9
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	1,432	1,251	1,220	1,074	75.0
	逆紹介率	%	69.4	67.8	68.2	73.0	105.2
	手術件数（手術室利用）	件	671	673	665	599	89.3
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	378,153	346,513	249,854	300,556	79.5
	医師1人1日当たり外来収益	円	160,035	147,282	127,935	151,181	94.5
	医師1人1日当たり診療収益	円	538,188	493,795	377,789	451,737	83.9
	医師1人1日当たり入院患者数	人	5.0	4.4	3.2	3.8	76.5
	医師1人1日当たり外来患者数	人	17.9	15.7	12.2	14.1	78.5
	医師1人当たり新入院患者数	人	225.8	205.7	154.2	171.7	76.1
	医師1人当たり救急患者数	人	109.6	115.0	81.7	82.8	75.5
	医師1人当たり救急入院患者数	人	22.1	22.9	18.6	18.5	83.6
	医師1人当たり紹介数	件	97.3	84.1	61.8	59.8	61.5
	医師1人当たり逆紹介数	件	179.0	139.0	101.7	107.4	60.0
	医師1人当たり手術件数	件	83.9	74.8	55.4	59.9	71.4

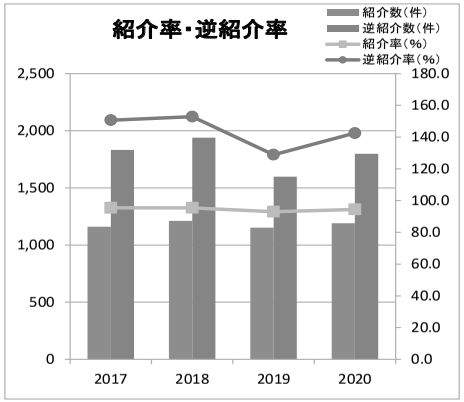
（注）1　医師数は2020年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

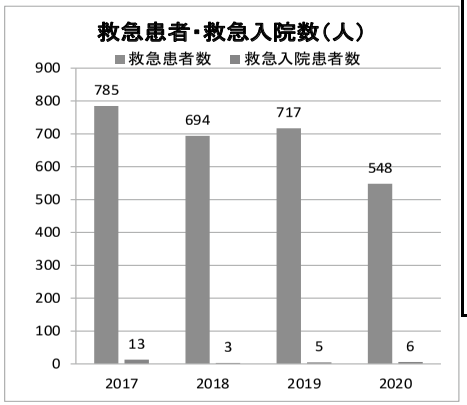
眼科
臨床指標









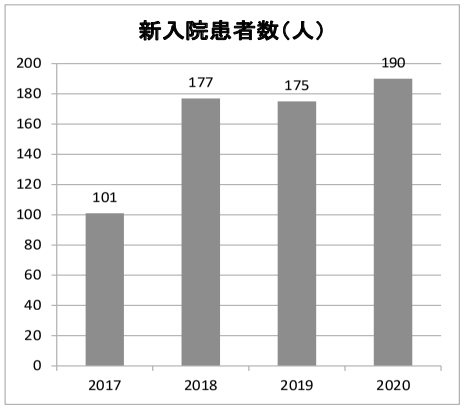


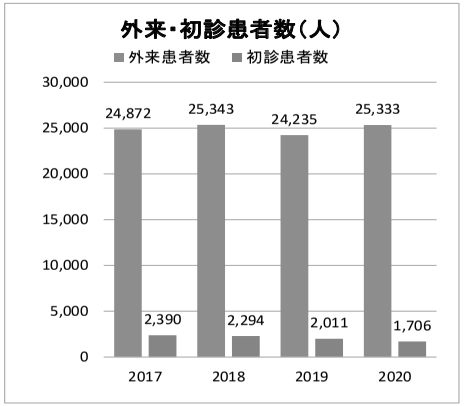
眼科

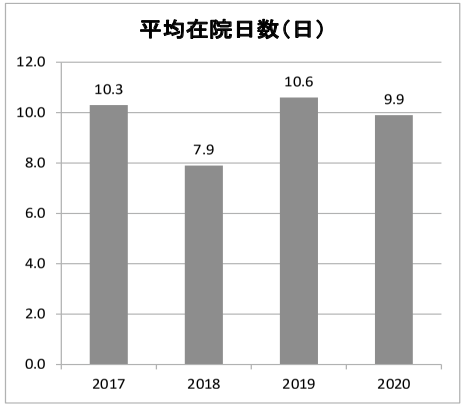
区分			2017	2018	2019	2020	2020/2017
日数	入院診療日数	日	365	365	366	365	100.0
	外来診療日数	日	244	244	242	243	99.6
基礎指標	医師数	人	6	6	5	7	116.7
	入院延患者数	人	5,515	4,666	4,625	4,474	81.1
	新入院患者数	人	894	812	844	1,030	115.2
	入院収益 A	千円	413,468	348,010	345,456	391,396	94.7
	外来患者数	人	31,981	28,966	30,048	32,802	102.6
	初診患者数	人	1,216	1,269	1,240	1,262	103.8
	外来収益 B	千円	497,330	486,970	528,141	549,178	110.4
	診療収益 A+B	千円	910,798	834,980	873,597	940,574	103.3
分析指標	入院診療単価	円	74,972	74,584	74,693	87,482	116.7
	新入院患者数/日	人	2.4	2.2	2.3	2.8	115.2
	平均在院日数	日	5.1	4.7	4.5	3.3	64.7
	外来診療単価	円	15,551	16,812	17,577	16,742	107.7
	紹介率	%	95.5	95.4	93.0	94.5	98.9
	外来平均患者数/日	人	131	118.7	124.2	135.0	103.0
	初診患者数/日	人	5.0	5.2	5.1	5.2	104.2
	救急患者数	人	785	694	717	548	69.8
	救急入院患者数	人	13	3	5	6	46.2
	救急入院患者数/新入院患者数	%	1.5	0.4	0.6	0.6	40.1
	紹介数（紹介患者加算）	人	1,161	1,211	1,153	1,192	102.7
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	1,832	1,940	1,598	1,799	98.2
	逆紹介率	%	150.7	152.9	128.9	142.6	94.6
	手術件数（手術室利用）	件	1,593	1,588	1,684	1,812	113.7
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	188,798	158,909	188,774	153,188	81.1
	医師1人1日当たり外来収益	円	339,706	332,630	436,480	322,856	95.0
	医師1人1日当たり診療収益	円	528,504	491,538	625,254	476,044	90.1
	医師1人1日当たり入院患者数	人	2.5	2.1	2.5	1.8	69.5
	医師1人1日当たり外来患者数	人	21.8	19.8	24.8	19.3	88.3
	医師1人当たり新入院患者数	人	149.0	135.3	168.8	147.1	98.8
	医師1人当たり救急患者数	人	130.8	115.7	143.4	78.3	59.8
	医師1人当たり救急入院患者数	人	2.2	0.5	1.0	0.9	39.6
	医師1人当たり紹介数	件	193.5	201.8	230.6	170.3	88.0
	医師1人当たり逆紹介数	件	305.3	323.3	319.6	257.0	84.2
	医師1人当たり手術件数	件	265.5	264.7	336.8	258.9	97.5

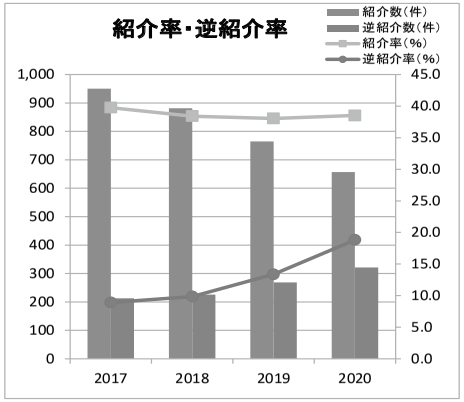
（注）1　医師数は2020年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

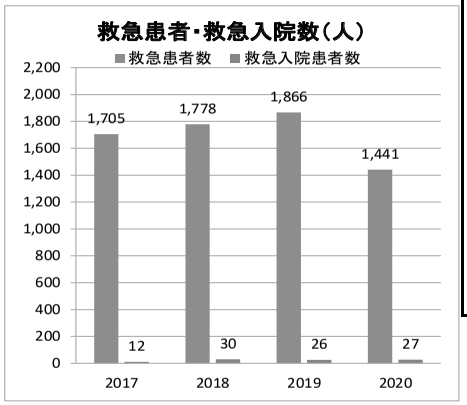
皮膚科
臨床指標









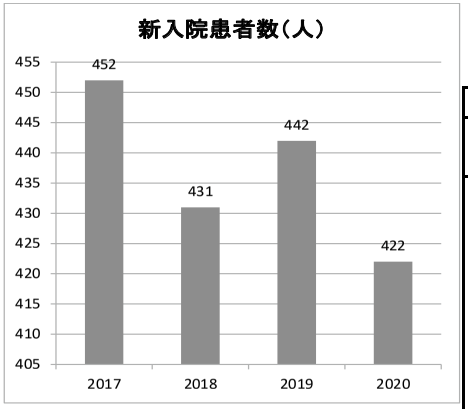


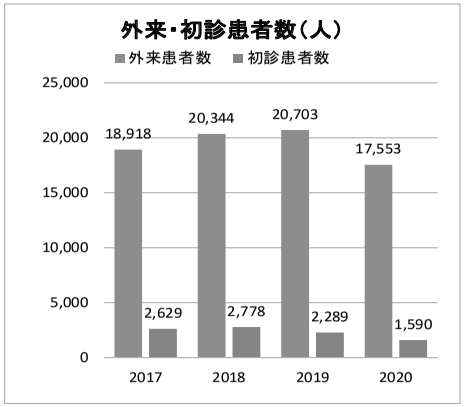
皮膚科

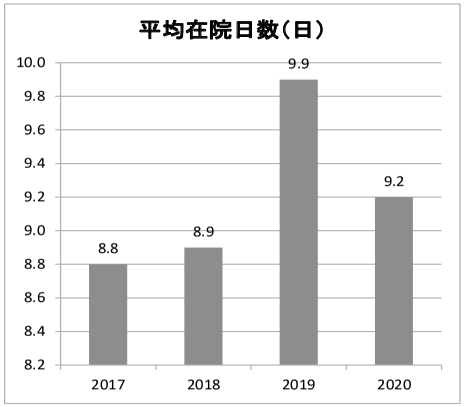
区分			2017	2018	2019	2020	2020/2017
日数	入院診療日数	日	365	365	366	365	100.0
	外来診療日数	日	244	244	242	243	99.6
基礎指標	医師数	人	3	3	3	4	133.3
	入院延患者数	人	1,161	1,547	1,966	2,064	177.8
	新入院患者数	人	101	177	175	190	188.1
	入院収益 A	千円	60,910	78,867	83,647	111,965	183.8
	外来患者数	人	24,872	25,343	24,235	25,333	101.9
	初診患者数	人	2,390	2,294	2,011	1,706	71.4
	外来収益 B	千円	124,506	160,916	183,108	228,555	183.6
	診療収益 A+B	千円	185,416	239,782	266,755	340,520	183.7
分析指標	入院診療単価	円	52,463	50,980	42,547	54,247	103.4
	新入院患者数/日	人	0.3	0.5	0.5	0.5	188.1
	平均在院日数	日	10.3	7.9	10.6	9.9	96.1
	外来診療単価	円	5,006	6,350	7,556	9,022	180.2
	紹介率	%	39.7	38.4	38.0	38.5	96.9
	外来平均患者数/日	人	102	103.9	100.1	104.3	102.3
	初診患者数/日	人	9.8	9.4	8.3	7.0	71.7
	救急患者数	人	1,705	1,778	1,866	1,441	84.5
	救急入院患者数	人	12	30	26	27	225.0
	救急入院患者数/新入院患者数	%	11.9	16.9	14.9	14.2	119.6
	紹介数（紹介患者加算）	人	950	881	765	657	69.2
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	213	226	269	321	150.7
	逆紹介率	%	8.9	9.9	13.4	18.8	211.1
	手術件数（手術室利用）	件	57	109	97	97	170.2
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	55,626	72,024	76,181	76,688	137.9
	医師1人1日当たり外来収益	円	170,090	219,830	252,215	235,139	138.2
	医師1人1日当たり診療収益	円	225,716	291,855	328,396	311,827	138.2
	医師1人1日当たり入院患者数	人	1.1	1.4	1.8	1.4	133.3
	医師1人1日当たり外来患者数	人	34.0	34.6	33.4	26.1	76.7
	医師1人当たり新入院患者数	人	33.7	59.0	58.3	47.5	141.1
	医師1人当たり救急患者数	人	568.3	592.7	622.0	360.3	63.4
	医師1人当たり救急入院患者数	人	4.0	10.0	8.7	6.8	168.8
	医師1人当たり紹介数	件	316.7	293.7	255.0	164.3	51.9
	医師1人当たり逆紹介数	件	71.0	75.3	89.7	80.3	113.0
	医師1人当たり手術件数	件	19.0	36.3	32.3	24.3	127.6

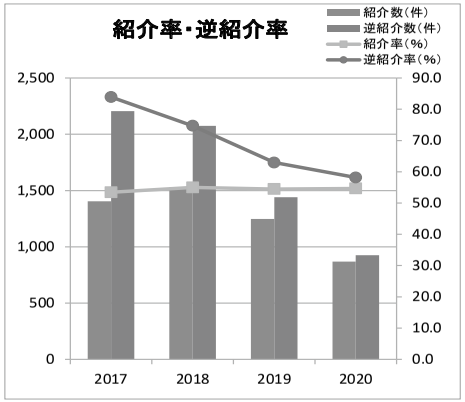
（注）1　医師数は2020年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

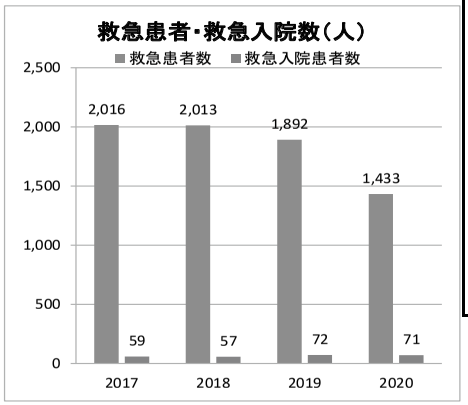
耳鼻咽喉科
臨床指標









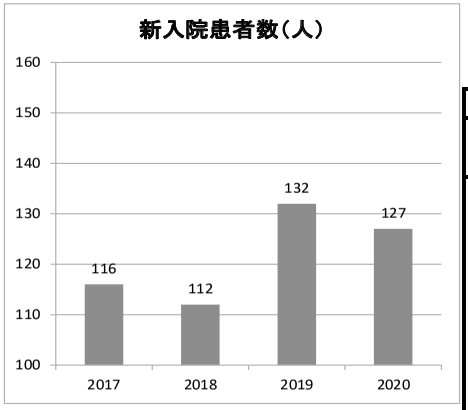


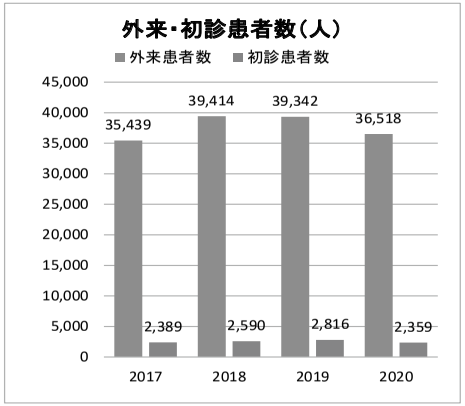
耳鼻咽喉科

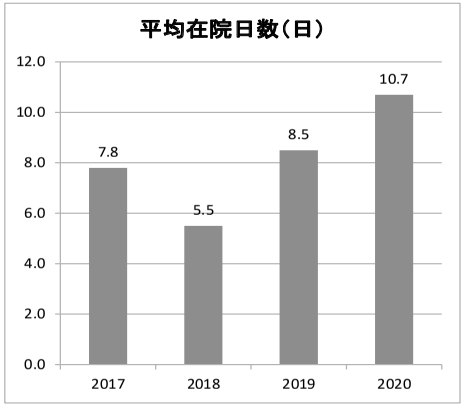
区分			2017	2018	2019	2020	2020/2017
日数	入院診療日数	日	365	365	366	365	100.0
	外来診療日数	日	244	244	243	243	99.6
基礎指標	医師数	人	4	4	4	4	100.0
	入院延患者数	人	4,536	4,189	4,829	4,313	95.1
	新入院患者数	人	452	431	442	422	93.4
	入院収益 A	千円	272,405	262,962	291,551	297,471	109.2
	外来患者数	人	18,918	20,344	20,703	17,553	92.8
	初診患者数	人	2,629	2,778	2,289	1,590	60.5
	外来収益 B	千円	173,446	183,599	212,891	222,226	128.1
	診療収益 A+B	千円	445,851	446,561	504,442	519,697	116.6
分析指標	入院診療単価	円	60,054	62,774	60,375	68,971	114.8
	新入院患者数/日	人	1.2	1.2	1.2	1.2	93.4
	平均在院日数	日	8.8	8.9	9.9	9.2	104.5
	外来診療単価	円	9,168	9,025	10,283	12,660	138.1
	紹介率	%	53.4	55.0	54.5	54.7	102.3
	外来平均患者数/日	人	77.5	83.4	85.2	72.2	93.2
	初診患者数/日	人	10.8	11.4	9.4	6.5	60.7
	救急患者数	人	2,016	2,013	1,892	1,433	71.1
	救急入院患者数	人	59	57	72	71	120.3
	救急入院患者数/新入院患者数	%	13.1	13.2	16.3	16.8	128.9
	紹介数（紹介患者加算）	人	1,405	1,528	1,247	869	61.9
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	2,206	2,075	1,441	925	41.9
	逆紹介率	%	83.9	74.7	63.0	58.2	69.3
	手術件数（手術室利用）	件	243	253	280	252	103.7
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	186,579	180,111	199,147	203,747	109.2
	医師1人1日当たり外来収益	円	177,711	188,114	219,024	228,628	128.7
	医師1人1日当たり診療収益	円	364,290	368,224	418,171	432,375	118.7
	医師1人1日当たり入院患者数	人	3.1	2.9	3.3	3.0	95.1
	医師1人1日当たり外来患者数	人	19.4	20.8	21.3	18.1	93.2
	医師1人当たり新入院患者数	人	113.0	107.8	110.5	105.5	93.4
	医師1人当たり救急患者数	人	504.0	503.3	473.0	358.3	71.1
	医師1人当たり救急入院患者数	人	14.8	14.3	18.0	17.8	120.3
	医師1人当たり紹介数	件	351.3	382.0	311.8	217.3	61.9
	医師1人当たり逆紹介数	件	551.5	518.8	360.3	231.3	41.9
	医師1人当たり手術件数	件	60.8	63.3	70.0	63.0	103.7

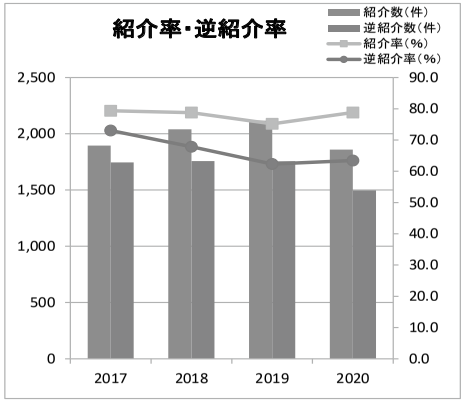
（注）1　医師数は2020年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

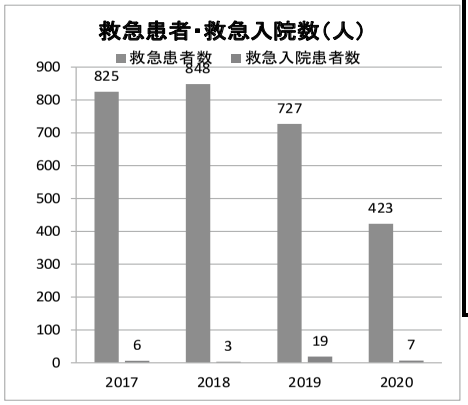
歯科口腔外科
臨床指標









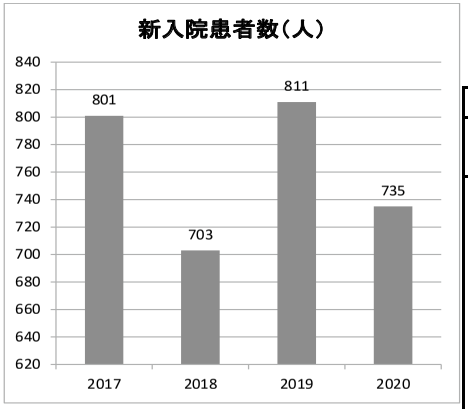


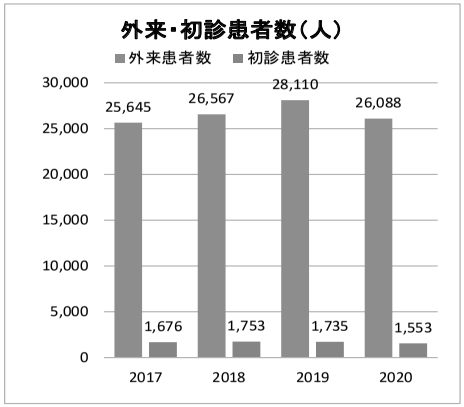
歯科口腔外科

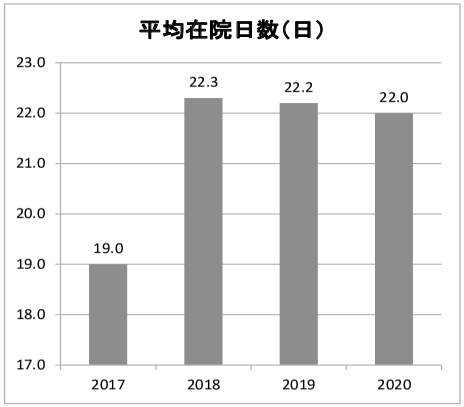
区分			2017	2018	2019	2020	2020/2017
日数	入院診療日数	日	365	365	366	365	100.0
	外来診療日数	日	244	244	242	243	99.6
基礎指標	医師数	人	9	9	8	9	100.0
	入院延患者数	人	1,012	724	1,243	1,451	143.4
	新入院患者数	人	116	112	132	127	109.5
	入院収益 A	千円	59,851	49,436	70,960	90,183	150.7
	外来患者数	人	35,439	39,414	39,342	36,518	103.0
	初診患者数	人	2,389	2,590	2,816	2,359	98.7
	外来収益 B	千円	244,334	245,902	253,991	264,313	108.2
	診療収益 A+B	千円	304,185	295,339	324,951	354,496	116.5
分析指標	入院診療単価	円	59,141	68,282	57,088	62,152	105.1
	新入院患者数/日	人	0.3	0.3	0.4	0.3	109.5
	平均在院日数	日	7.8	5.5	8.5	10.7	137.2
	外来診療単価	円	6,894	6,239	6,456	7,238	105.0
	紹介率	%	79.4	78.8	75.2	78.8	99.3
	外来平均患者数/日	人	145	161.5	162.6	150.3	103.5
	初診患者数/日	人	9.8	10.6	11.6	9.7	99.2
	救急患者数	人	825	848	727	423	51.3
	救急入院患者数	人	6	3	19	7	116.7
	救急入院患者数/新入院患者数	%	5.2	2.7	14.4	5.5	106.6
	紹介数（紹介患者加算）	人	1,896	2,040	2,117	1,859	98.0
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	1,745	1,757	1,755	1,497	85.8
	逆紹介率	%	73.0	67.8	62.3	63.5	86.9
	手術件数（手術室利用）	件	108	106	113	116	107.4
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	18,219	15,049	24,235	27,453	150.7
	医師1人1日当たり外来収益	円	111,263	111,977	131,194	120,856	108.6
	医師1人1日当たり診療収益	円	129,483	127,026	155,429	148,309	114.5
	医師1人1日当たり入院患者数	人	0.3	0.2	0.4	0.4	143.4
	医師1人1日当たり外来患者数	人	16.1	17.9	20.3	16.7	103.5
	医師1人当たり新入院患者数	人	12.9	12.4	16.5	14.1	109.5
	医師1人当たり救急患者数	人	91.7	94.2	90.9	47.0	51.3
	医師1人当たり救急入院患者数	人	0.7	0.3	2.4	0.8	116.7
	医師1人当たり紹介数	件	210.7	226.7	264.6	206.6	98.0
	医師1人当たり逆紹介数	件	193.9	195.2	219.4	166.3	85.8
	医師1人当たり手術件数	件	12.0	11.8	14.1	12.9	107.4

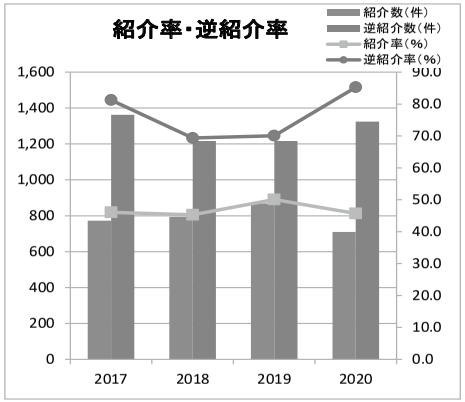
（注）1　医師数は2020年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

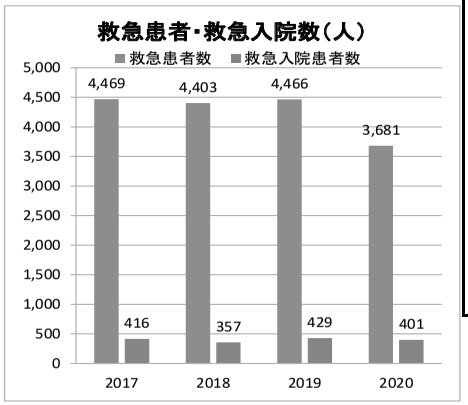
整形外科
臨床指標









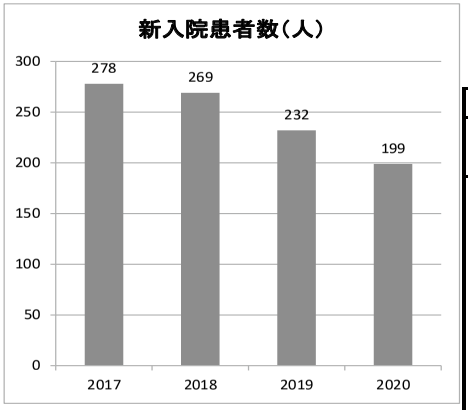


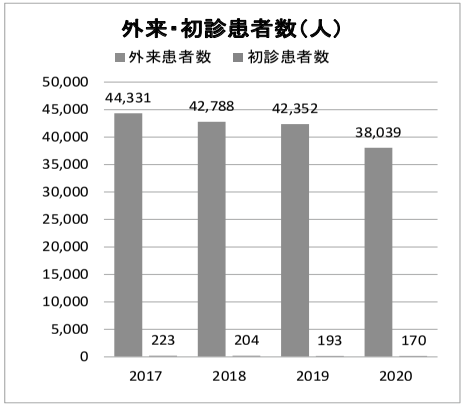
整形外科

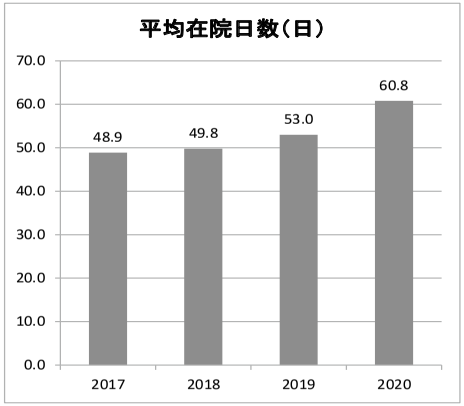
区分			2017	2018	2019	2020	2020/2017
日数	入院診療日数	日	365	365	366	365	100.0
	外来診療日数	日	244	244	242	243	99.6
基礎指標	医師数	人	5	4	5	5	100.0
	入院延患者数	人	16,254	16,127	18,677	16,824	103.5
	新入院患者数	人	801	703	811	735	91.8
	入院収益 A	千円	1,191,309	1,251,352	1,406,624	1,336,961	112.2
	外来患者数	人	25,645	26,567	28,110	26,088	101.7
	初診患者数	人	1,676	1,753	1,735	1,553	92.7
	外来収益 B	千円	262,478	276,980	326,218	314,062	119.7
	診療収益 A+B	千円	1,453,787	1,528,332	1,732,842	1,651,023	113.6
分析指標	入院診療単価	円	73,293	77,594	75,313	79,467	108.4
	新入院患者数/日	人	2.2	1.9	2.2	2.0	91.8
	平均在院日数	日	19.0	22.3	22.2	22.0	115.8
	外来診療単価	円	10,235	10,426	11,605	12,039	117.6
	紹介率	%	46.1	45.3	50.1	45.7	99.3
	外来平均患者数/日	人	105	108.9	116.2	107.4	102.1
	初診患者数/日	人	6.9	7.2	7.2	6.4	93.0
	救急患者数	人	4,469	4,403	4,466	3,681	82.4
	救急入院患者数	人	416	357	429	401	96.4
	救急入院患者数/新入院患者数	%	51.9	50.8	52.9	54.6	105.1
	紹介数（紹介患者加算）	人	772	794	869	710	92.0
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	1,362	1,216	1,216	1,324	97.2
	逆紹介率	%	81.3	69.4	70.1	85.3	104.9
	手術件数（手術室利用）	件	967	878	1,066	968	100.1
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	652,772	857,091	768,647	732,581	112.2
	医師1人1日当たり外来収益	円	215,146	283,791	269,602	258,487	120.1
	医師1人1日当たり診療収益	円	867,918	1,140,881	1,038,249	991,069	114.2
	医師1人1日当たり入院患者数	人	8.9	11.0	10.2	9.2	103.5
	医師1人1日当たり外来患者数	人	21.0	27.2	23.2	21.5	102.1
	医師1人当たり新入院患者数	人	160.2	175.8	162.2	147.0	91.8
	医師1人当たり救急患者数	人	893.8	1,100.8	893.2	736.2	82.4
	医師1人当たり救急入院患者数	人	83.2	89.3	85.8	80.2	96.4
	医師1人当たり紹介数	件	154.4	198.5	173.8	142.0	92.0
	医師1人当たり逆紹介数	件	272.4	304.0	243.2	264.8	97.2
	医師1人当たり手術件数	件	193.4	219.5	213.2	193.6	100.1

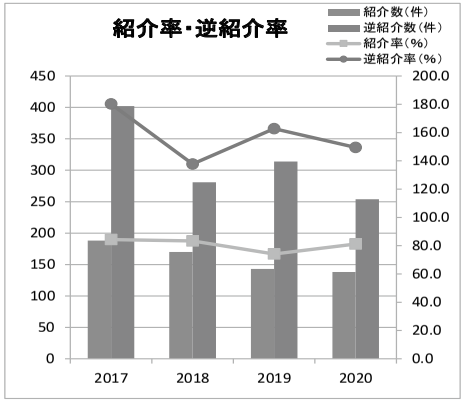
（注）1　医師数は2020年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

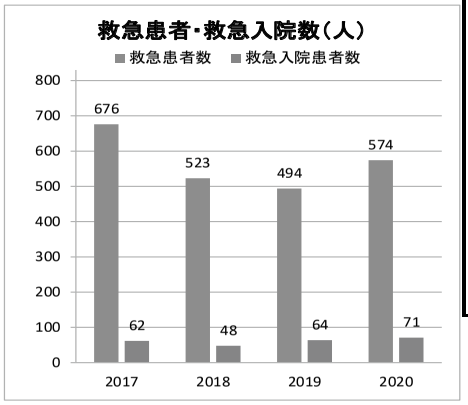
神経精神科
臨床指標











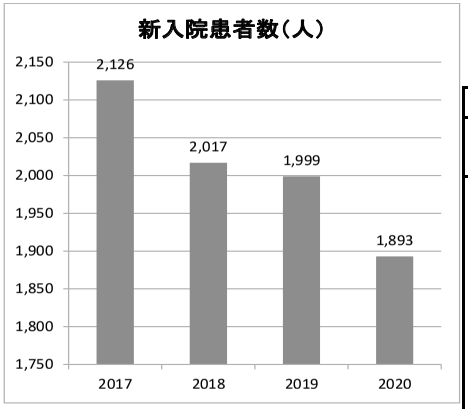
神経精神科

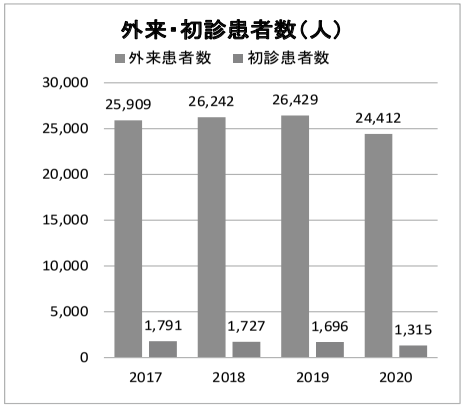
区分			2017	2018	2019	2020	2020/2017
日数	入院診療日数	日	365	365	366	365	100.0
	外来診療日数	日	244	244	242	243	99.6
基礎指標	医師数	人	10	12	12	10	100.0
	入院延患者数	人	13,727	13,682	12,616	12,260	89.3
	新入院患者数	人	278	269	232	199	71.6
	入院収益 A	千円	406,248	395,288	347,344	349,378	86.0
	外来患者数	人	44,331	42,788	42,352	38,039	85.8
	初診患者数	人	223	204	193	170	76.2
	外来収益 B	千円	312,830	312,978	322,265	304,802	97.4
	診療収益 A＋B	千円	719,078	708,266	669,609	654,180	91.0
分析指標	入院診療単価	円	29,595	28,891	27,532	28,497	96.3
	新入院患者数/日	人	0.8	0.7	0.6	0.5	71.6
	平均在院日数	日	48.9	49.8	53.0	60.8	124.3
	外来診療単価	円	7,057	7,315	7,609	8,013	113.6
	紹介率	%	84.3	83.3	74.1	81.2	96.3
	外来平均患者数/日	人	182	175.4	175.0	156.5	86.2
	初診患者数/日	人	0.9	0.8	0.8	0.7	76.5
	救急患者数	人	676	523	494	574	84.9
	救急入院患者数	人	62	48	64	71	114.5
	救急入院患者数/新入院患者数	%	22.3	17.8	27.6	35.7	160.0
	紹介数（紹介患者加算）	人	188	170	143	138	73.4
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	402	281	314	254	63.2
	逆紹介率	%	180.3	137.7	162.7	149.4	82.9
	手術件数（手術室利用）	件	304	317	201	119	39.1
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	111,301	90,248	79,086	95,720	86.0
	医師1人1日当たり外来収益	円	128,209	106,891	110,973	125,433	97.8
	医師1人1日当たり診療収益	円	239,510	197,140	190,058	221,153	92.3
	医師1人1日当たり入院患者数	人	3.8	3.1	2.9	3.4	89.3
	医師1人1日当たり外来患者数	人	18.2	14.6	14.6	15.7	86.2
	医師1人当たり新入院患者数	人	27.8	22.4	19.3	19.9	71.6
	医師1人当たり救急患者数	人	67.6	43.6	41.2	57.4	84.9
	医師1人当たり救急入院患者数	人	6.2	4.0	5.3	7.1	114.5
	医師1人当たり紹介数	件	18.8	14.2	11.9	13.8	73.4
	医師1人当たり逆紹介数	件	40.2	23.4	26.2	25.4	63.2
	医師1人当たり手術件数	件	30.4	26.4	16.8	11.9	39.1

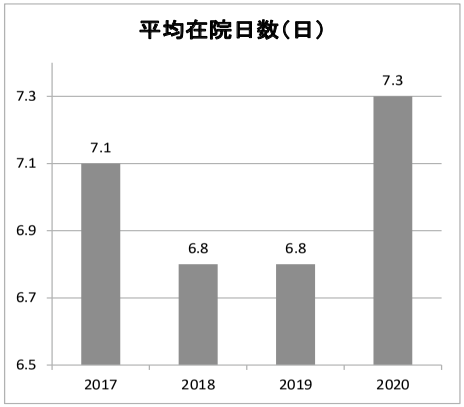
（注）1　医師数は2020年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

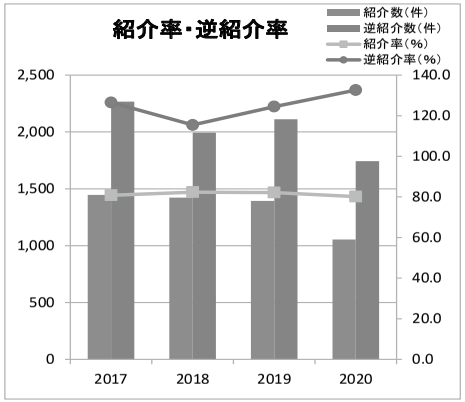
泌尿器科 臨床指標

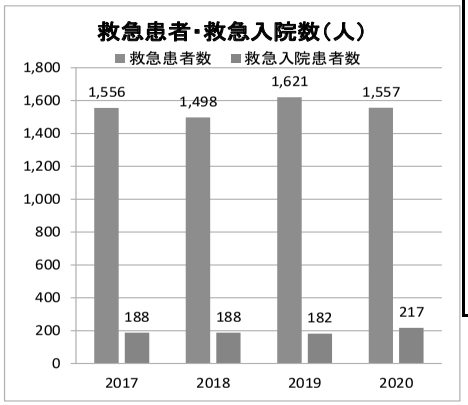
泌尿器科







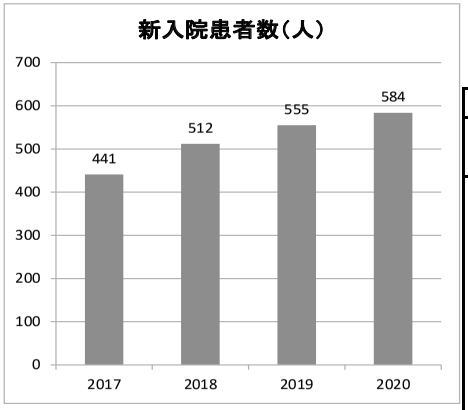


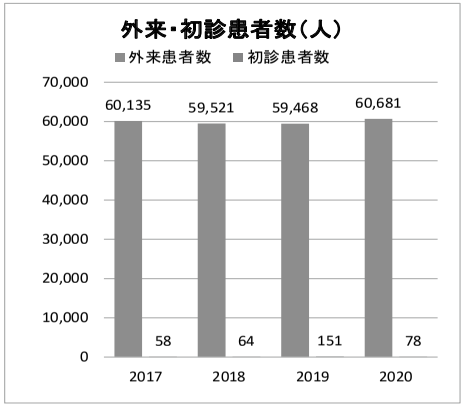


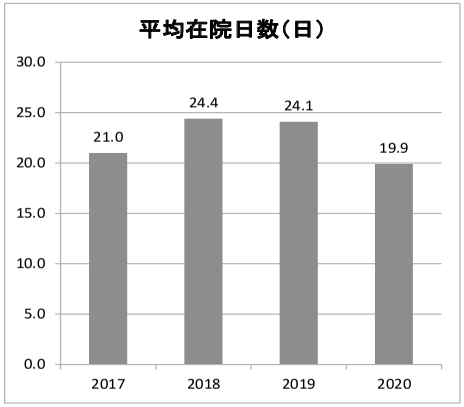
区分			2017	2018	2019	2020	2020/2017
日数	入院診療日数	日	365	365	366	365	100.0
	外来診療日数	日	244	244	242	243	99.6
基礎指標	医師数	人	7	8	8	9	128.6
	入院延患者数	人	17,643	15,783	15,731	15,655	88.7
	新入院患者数	人	2,126	2,017	1,999	1,893	89.0
	入院収益 A	千円	1,066,801	1,063,539	1,056,768	1,087,050	101.9
	外来患者数	人	25,909	26,242	26,429	24,412	94.2
	初診患者数	人	1,791	1,727	1,696	1,315	73.4
	外来収益 B	千円	771,348	908,972	979,831	1,019,432	132.2
	診療収益 A+B	千円	1,838,149	1,972,511	2,036,599	2,106,482	114.6
分析指標	入院診療単価	円	60,466	67,385	67,177	69,438	114.8
	新入院患者数/日	人	5.8	5.5	5.5	5.2	89.0
	平均在院日数	日	7.1	6.8	6.8	7.3	102.8
	外来診療単価	円	29,771	34,638	37,074	41,759	140.3
	紹介率	%	80.8	82.3	82.2	80.2	99.2
	外来平均患者数/日	人	106	107.5	109.2	100.5	94.6
	初診患者数/日	人	7.3	7.1	7.0	5.4	73.7
	救急患者数	人	1,556	1,498	1,621	1,557	100.1
	救急入院患者数	人	188	182	217	222	118.1
	救急入院患者数/新入院患者数	%	8.8	9.0	10.9	11.7	132.6
	紹介数（紹介患者加算）	人	1,447	1,422	1,394	1,054	72.8
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	2,266	1,994	2,111	1,744	77.0
	逆紹介率	%	126.5	115.5	124.5	132.6	104.8
	手術件数（手術室利用）	件	1,864	1,791	1,786	1674.0	89.8
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	417,535	364,226	360,918	330,913	79.3
	医師1人1日当たり外来収益	円	451,609	465,662	506,111	466,133	103.2
	医師1人1日当たり診療収益	円	869,144	829,888	867,029	797,046	91.7
	医師1人1日当たり入院患者数	人	6.9	5.4	5.4	4.8	69.0
	医師1人1日当たり外来患者数	人	15.2	13.4	13.7	11.2	73.6
	医師1人当たり新入院患者数	人	303.7	252.1	249.9	210.3	69.3
	医師1人当たり救急患者数	人	222.3	187.3	202.6	173.0	77.8
	医師1人当たり救急入院患者数	人	26.9	22.8	27.1	24.7	91.8
	医師1人当たり紹介数	件	206.7	177.8	174.3	117.1	56.7
	医師1人当たり逆紹介数	件	323.7	249.3	263.9	193.8	59.9
	医師1人当たり手術件数	件	266.3	223.9	223.3	186.0	69.8

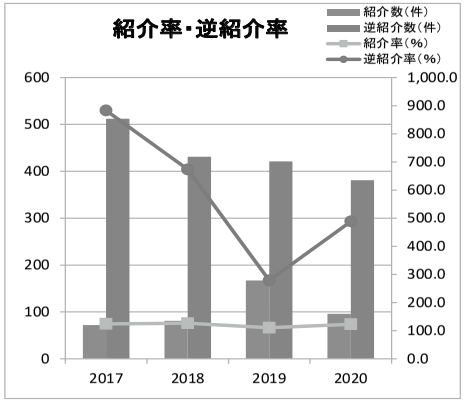
（注）1　医師数は2020年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

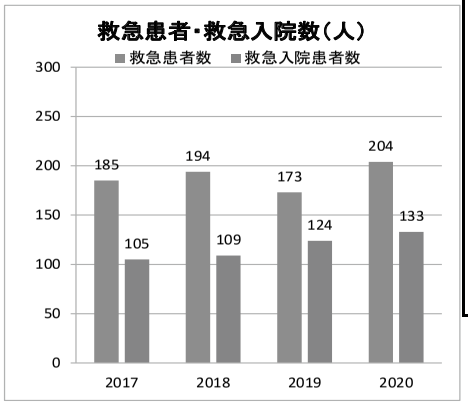
透析科
臨床指標









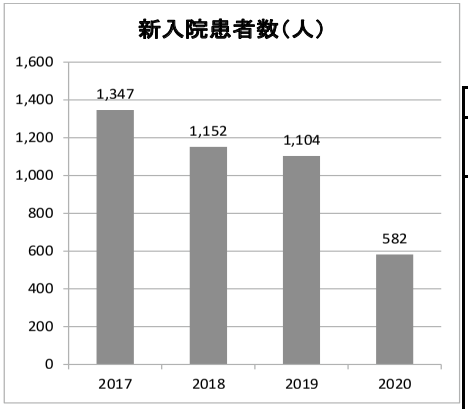


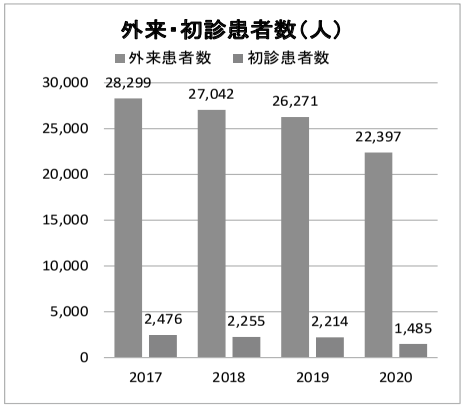
透析科

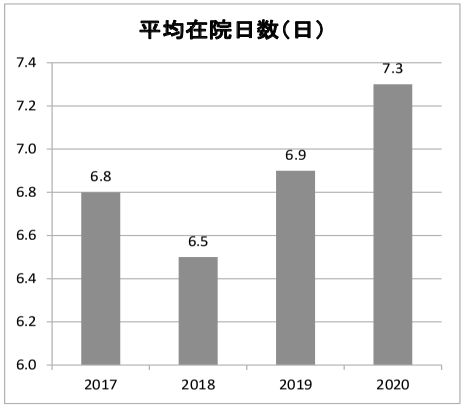
区分			2017	2018	2019	2020	2020/2017
日数	入院診療日数	日	365	365	366	365	100.0
	外来診療日数	日	313	311	314	313	100.0
基礎指標	医師数	人	1	1	1	1	100.0
	入院延患者数	人	9,980	13,006	14,503	12,437	124.6
	新入院患者数	人	441	512	555	584	132.4
	入院収益 A	千円	556,359	690,817	739,728	716,044	128.7
	外来患者数	人	60,135	59,521	59,468	60,681	100.9
	初診患者数	人	58	64	151	78	134.5
	外来収益 B	千円	1,653,863	1,633,194	1,578,176	1,620,179	98.0
	診療収益 A+B	千円	2,210,222	2,324,010	2,317,904	2,336,223	105.7
分析指標	入院診療単価	円	55,747	53,115	51,005	57,574	103.3
	新入院患者数/日	人	1.2	1.4	1.5	1.6	132.4
	平均在院日数	日	21.0	24.4	24.1	19.9	94.8
	外来診療単価	円	27,503	27,439	26,538	26,700	97.1
	紹介率	%	124.1	126.6	110.6	123.1	99.1
	外来平均患者数/日	人	192	191.4	189.4	193.9	100.9
	初診患者数/日	人	0.2	0.2	0.5	0.2	134.5
	救急患者数	人	185	194	173	204	110.3
	救急入院患者数	人	105	109	124	133	126.7
	救急入院患者数/新入院患者数	%	23.8	21.3	22.3	22.8	95.7
	紹介数（紹介患者加算）	人	72	81	167	96	133.3
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	512	431	421	381	74.4
	逆紹介率	%	882.8	673.4	278.8	488.5	55.3
	手術件数（手術室利用）	件	0	0	0	0	0.0
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	千円	1,524,271	1,892,648	2,021,115	1,961,764	128.7
	医師1人1日当たり外来収益	千円	5,283,907	5,251,427	5,026,038	5,176,291	98.0
	医師1人1日当たり診療収益	千円	6,808,179	7,144,075	7,047,153	7,138,055	104.8
	医師1人1日当たり入院患者数	人	27.3	35.6	39.6	34.1	124.6
	医師1人1日当たり外来患者数	人	192.1	191.4	189.4	193.9	100.9
	医師1人当たり新入院患者数	人	441.0	512.0	555.0	584.0	132.4
	医師1人当たり救急患者数	人	185.0	194.0	173.0	204.0	110.3
	医師1人当たり救急入院患者数	人	105.0	109.0	124.0	133.0	126.7
	医師1人当たり紹介数	件	72.0	81.0	167.0	96.0	133.3
	医師1人当たり逆紹介数	件	512.0	431.0	421.0	381.0	74.4
	医師1人当たり手術件数	件	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

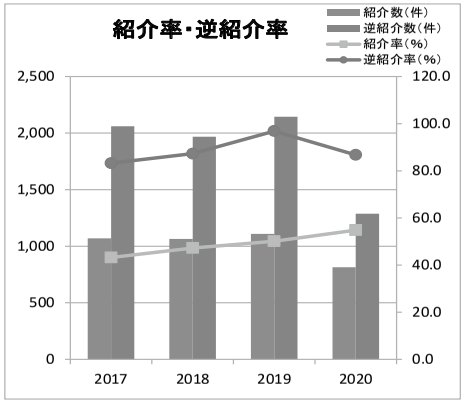
（注）1　医師数は2020年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

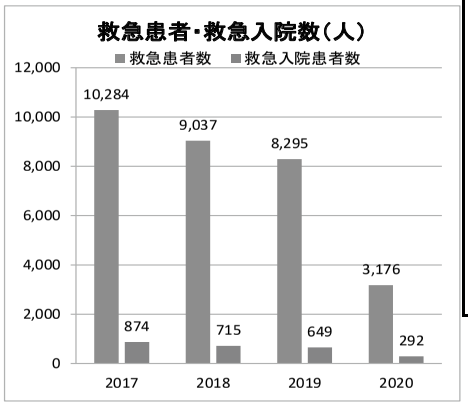
小児科
臨床指標









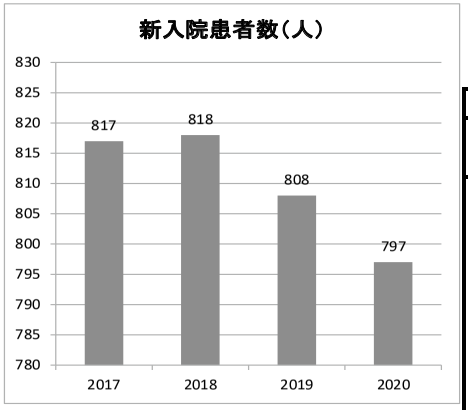


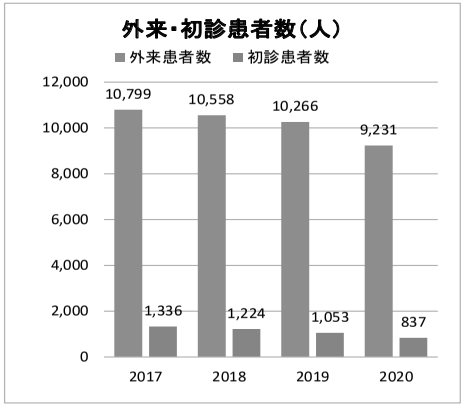
小児科

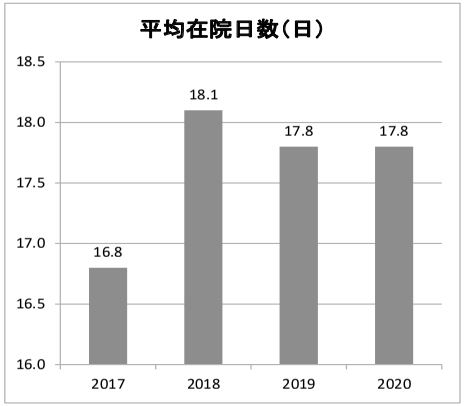
区分			2017	2018	2019	2020	2020/2017
日数	入院診療日数	日	365	365	366	365	100.0
	外来診療日数	日	244	244	243	243	99.6
基礎指標	医師数	人	10	8	11	11	110.0
	入院延患者数	人	10,402	8,643	8,745	4,865	46.8
	新入院患者数	人	1,347	1,152	1,104	582	43.2
	入院収益 A	千円	619,399	538,360	530,108	317,794	51.3
	外来患者数	人	28,299	27,042	26,271	22,397	79.1
	初診患者数	人	2,476	2,255	2,214	1,485	60.0
	外来収益 B	千円	549,135	528,175	568,087	519,228	94.6
	診療収益 A+B	千円	1,168,534	1,066,535	1,098,195	837,022	71.6
分析指標	入院診療単価	円	59,546	62,289	60,618	65,323	109.7
	新入院患者数/日	人	3.7	3.2	3.0	1.6	43.2
	平均在院日数	日	6.8	6.5	6.9	7.3	107.4
	外来診療単価	円	19,405	19,532	21,624	23,183	119.5
	紹介率	%	43.2	47.2	50.1	54.8	126.8
	外来平均患者数/日	人	116	110.8	108.1	92.2	79.5
	初診患者数/日	人	10.1	9.2	9.1	6.1	60.2
	救急患者数	人	10,284	9,037	8,295	3,176	30.9
	救急入院患者数	人	874	715	649	292	33.4
	救急入院患者数/新入院患者数	%	64.9	62.1	58.8	50.2	77.3
	紹介数（紹介患者加算）	人	1,070	1,065	1,110	814	76.1
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	2,061	1,968	2,144	1,288	62.5
	逆紹介率	%	83.2	87.3	96.8	86.7	104.2
	手術件数（手術室利用）	件	0	0	0	0	0.0
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	169,698	184,370	131,671	79,152	46.6
	医師1人1日当たり外来収益	円	225,055	270,581	212,528	194,249	86.3
	医師1人1日当たり診療収益	円	394,754	454,951	344,199	273,401	69.3
	医師1人1日当たり入院患者数	人	2.8	3.0	2.2	1.2	42.5
	医師1人1日当たり外来患者数	人	11.6	13.9	9.8	8.4	72.2
	医師1人当たり新入院患者数	人	134.7	144.0	100.4	52.9	39.3
	医師1人当たり救急患者数	人	1,028.4	1,129.6	754.1	288.7	28.1
	医師1人当たり救急入院患者数	人	87.4	89.4	59.0	26.5	30.4
	医師1人当たり紹介数	件	107.0	133.1	100.9	74.0	69.2
	医師1人当たり逆紹介数	件	206.1	246.0	194.9	117.1	56.8
	医師1人当たり手術件数	件	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

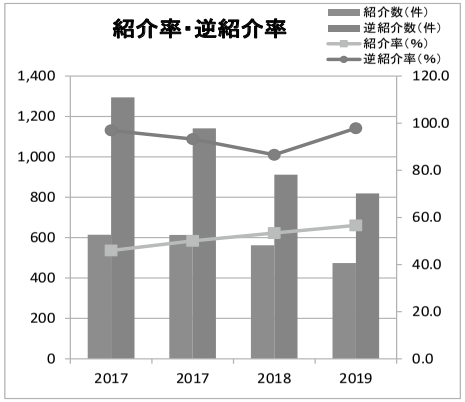
（注）1　医師数は2020年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

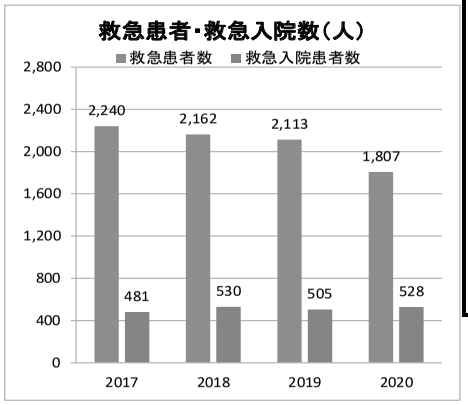
脳神経外科
臨床指標









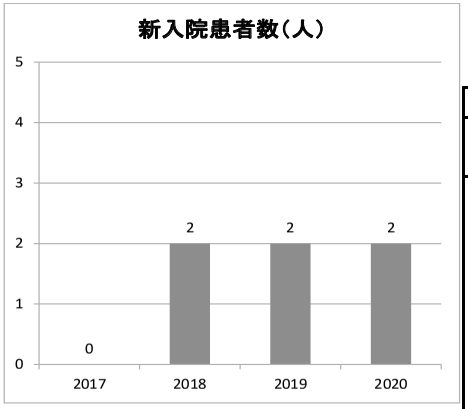


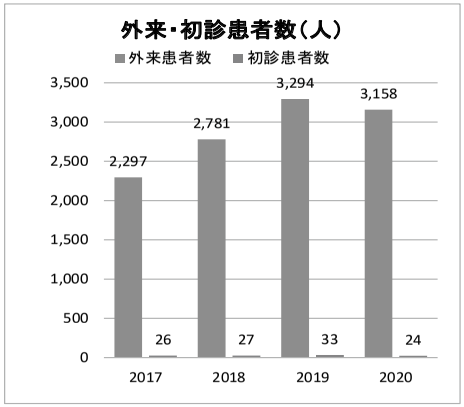
脳神経外科

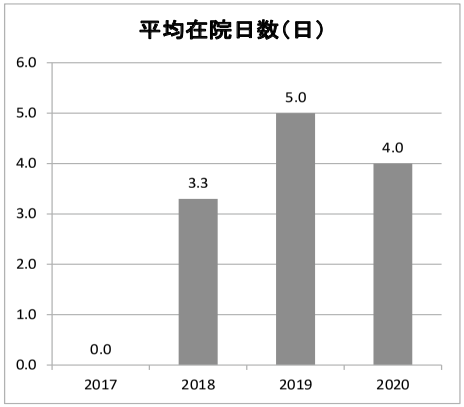
区分			2017	2018	2019	2020	2020/2017
日数	入院診療日数	日	365	365	366	365	100.0
	外来診療日数	日	244	244	242	243	99.6
基礎指標	医師数	人	7	7	6	7	100.0
	入院延患者数	人	14,366	15,628	15,097	15,096	105.1
	新入院患者数	人	817	818	808	797	97.6
	入院収益 A	千円	1,163,417	1,234,401	1,155,140	1,199,066	103.1
	外来患者数	人	10,799	10,558	10,266	9,231	85.5
	初診患者数	人	1,336	1,224	1,053	837	62.6
	外来収益 B	千円	197,747	190,693	187,778	151,033	76.4
	診療収益 A+B	千円	1,361,164	1,425,094	1,342,918	1,350,099	99.2
分析指標	入院診療単価	円	80,984	78,986	76,515	79,429	98.1
	新入院患者数/日	人	2.2	2.2	2.2	2.2	97.6
	平均在院日数	日	16.8	18.1	17.8	17.8	106.0
	外来診療単価	円	18,312	18,062	18,291	16,361	89.4
	紹介率	%	46.0	50.1	53.4	56.6	123.2
	外来平均患者数/日	人	44	43.3	42.4	38.0	85.8
	初診患者数/日	人	5.5	5.0	4.4	3.4	62.9
	救急患者数	人	2,240	2,162	2,113	1,807	80.7
	救急入院患者数	人	481	530	505	528	109.8
	救急入院患者数/新入院患者数	%	58.9	64.8	62.5	66.2	112.5
	紹介数（紹介患者加算）	人	614	613	562	474	77.2
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	1,295	1,141	912	819	63.2
	逆紹介率	%	96.9	93.2	86.6	97.8	100.9
	手術件数（手術室利用）	件	495	482	417	445	89.9
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	455,349	483,131	526,020	469,302	103.1
	医師1人1日当たり外来収益	円	115,777	111,647	129,324	88,791	76.7
	医師1人1日当たり診療収益	円	571,126	594,779	655,344	558,092	97.7
	医師1人1日当たり入院患者数	人	5.6	6.1	6.9	5.9	105.1
	医師1人1日当たり外来患者数	人	6.3	6.2	7.1	5.4	85.8
	医師1人当たり新入院患者数	人	116.7	116.9	134.7	113.9	97.6
	医師1人当たり救急患者数	人	320.0	308.9	352.2	258.1	80.7
	医師1人当たり救急入院患者数	人	68.7	75.7	84.2	75.4	109.8
	医師1人当たり紹介数	件	87.7	87.6	93.7	67.7	77.2
	医師1人当たり逆紹介数	件	185.0	163.0	152.0	117.0	63.2
	医師1人当たり手術件数	件	70.7	68.9	69.5	63.6	89.9

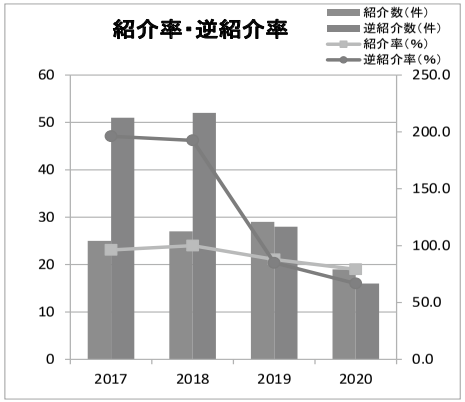
（注）1　医師数は2020年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

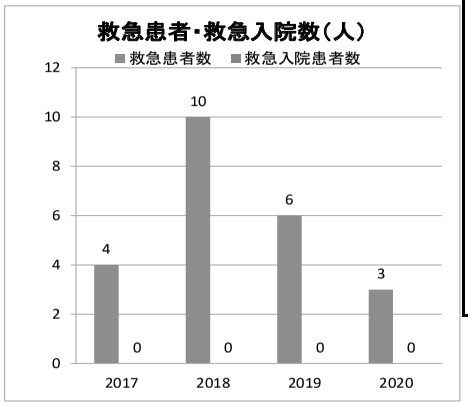
麻酔科
臨床指標









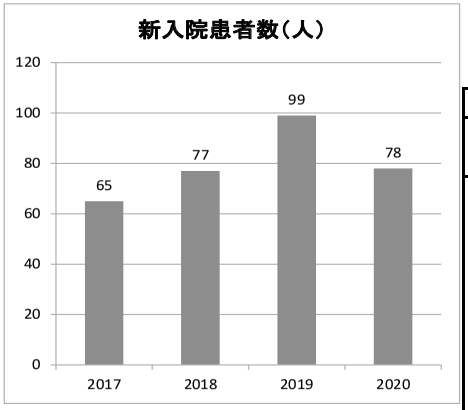


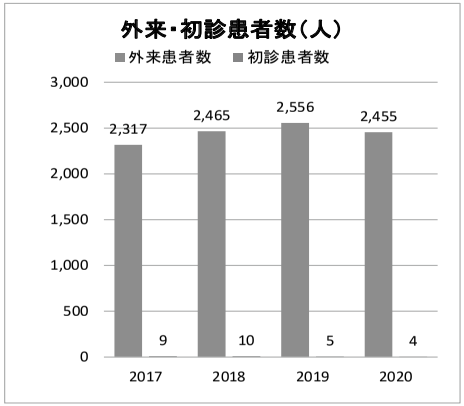
麻酔科

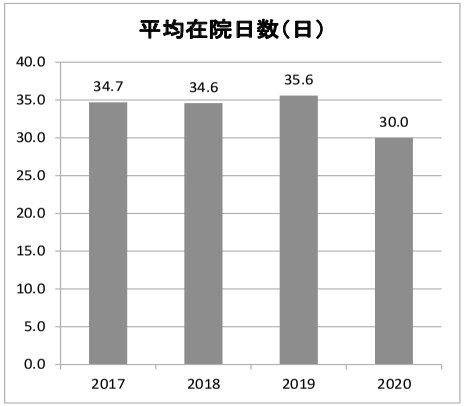
区分			2017	2018	2019	2020	2020/2017
日数	入院診療日数	日	365	365	366	365	100.0
	外来診療日数	日	244	244	242	243	99.6
基礎指標	医師数	人	8	10	11	9	112.5
	入院延患者数	人	87	6	12	10	11.5
	新入院患者数	人	0	2	2	2	0.0
	入院収益 A	千円	0	2,727	4,795	3,082	0.0
	外来患者数	人	2,297	2,781	3,294	3,158	137.5
	初診患者数	人	26	27	33	24	92.3
	外来収益 B	千円	9,606	14,826	21,989	28,960	301.5
	診療収益 A+B	千円	9,606	17,552	26,784	32,042	333.6
分析指標	入院診療単価	円	0	454,420	399,583	308,200	0.0
	新入院患者数/日	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平均在院日数	日	0.0	3.3	5.0	4.0	0.0
	外来診療単価	円	4,182	5,331	6,675	9,170	219.3
	紹介率	%	96.2	100.0	87.9	79.2	82.3
	外来平均患者数/日	人	9	11.4	13.6	13.0	138.0
	初診患者数/日	人	0.1	0.1	0.1	0.1	92.7
	救急患者数	人	4	10	6	3	75.0
	救急入院患者数	人	0	0	0	0	0.0
	救急入院患者数/新入院患者数	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	紹介数（紹介患者加算）	人	25	27	29	19	76.0
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	51	52	28	16	31.4
	逆紹介率	%	196.2	192.6	84.8	66.7	34.0
	手術件数（手術室利用）	件	4	5	7	6	150.0
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	0	747	1,191	938	0.0
	医師1人1日当たり外来収益	円	4,921	6,076	8,260	13,242	269.1
	医師1人1日当たり診療収益	円	4,921	6,823	9,451	14,180	288.1
	医師1人1日当たり入院患者数	人	0.0	0.0	0.0	0.0	10.2
	医師1人1日当たり外来患者数	人	1.2	1.1	1.2	1.4	122.7
	医師1人当たり新入院患者数	人	0.0	0.2	0.2	0.2	0.0
	医師1人当たり救急患者数	人	0.5	1.0	0.5	0.3	66.7
	医師1人当たり救急入院患者数	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医師1人当たり紹介数	件	3.1	2.7	2.6	2.1	67.6
	医師1人当たり逆紹介数	件	6.4	5.2	2.5	1.8	27.9
	医師1人当たり手術件数	件	0.5	0.5	0.6	0.7	133.3

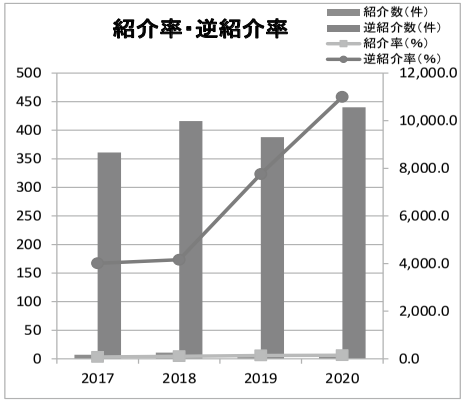
（注）1　医師数は2020年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

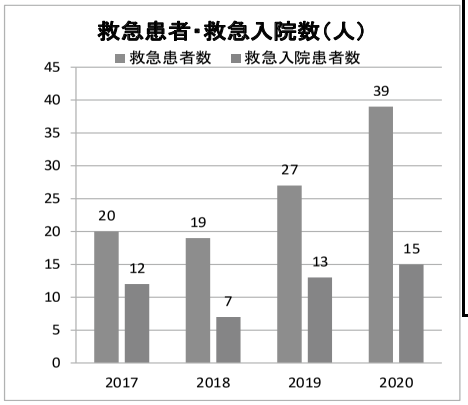
心臓外科
臨床指標









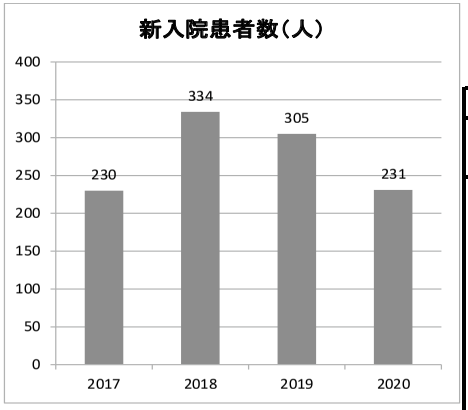


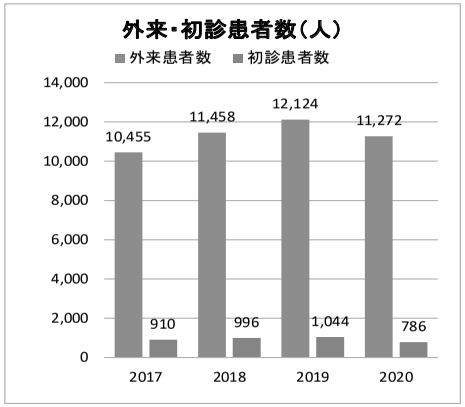
心臓外科

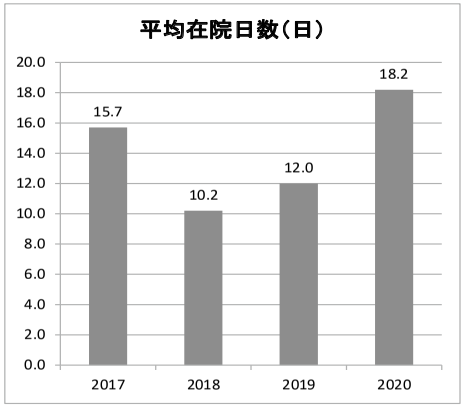
区分			2017	2018	2019	2020	2020/2017
日数	入院診療日数	日	365	365	366	365	100.0
	外来診療日数	日	96	107	103	106	110.4
基礎指標	医師数	人	3	3	4	4	133.3
	入院延患者数	人	2,784	3,258	3,733	2,803	100.7
	新入院患者数	人	65	77	99	78	120.0
	入院収益 A	千円	595,001	656,464	751,402	632,338	106.3
	外来患者数	人	2,317	2,465	2,556	2,455	106.0
	初診患者数	人	9	10	5	4	44.4
	外来収益 B	千円	33,748	36,925	38,622	38,141	113.0
	診療収益 A+B	千円	628,749	693,390	790,024	670,479	106.6
分析指標	入院診療単価	円	213,722	201,493	201,286	225,593	105.6
	新入院患者数/日	人	0.2	0.2	0.3	0.2	120.0
	平均在院日数	日	34.7	34.6	35.6	30.0	86.5
	外来診療単価	円	14,565	14,980	15,110	15,536	106.7
	紹介率	%	77.8	110.0	140.0	150.0	192.9
	外来平均患者数/日	人	24	23.0	24.8	23.2	96.0
	初診患者数/日	人	0.1	0.1	0.0	0.0	40.3
	救急患者数	人	20	19	27	39	195.0
	救急入院患者数	人	12	7	13	15	125.0
	救急入院患者数/新入院患者数	%	18.5	9.1	13.1	19.2	104.2
	紹介数（紹介患者加算）	人	7	11	7	6	85.7
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	361	416	388	440	121.9
	逆紹介率	%	4,011.1	4,160.0	7,760.0	11,000.0	274.2
	手術件数（手術室利用）	件	107	117	147	153	143.0
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	543,380	599,511	513,253	433,108	79.7
	医師1人1日当たり外来収益	円	117,181	115,032	93,743	89,955	76.8
	医師1人1日当たり診療収益	円	660,560	714,543	606,995	523,063	79.2
	医師1人1日当たり入院患者数	人	2.5	3.0	2.5	1.9	75.5
	医師1人1日当たり外来患者数	人	8.0	7.7	6.2	5.8	72.0
	医師1人当たり新入院患者数	人	21.7	25.7	24.8	19.5	90.0
	医師1人当たり救急患者数	人	6.7	6.3	6.8	9.8	146.3
	医師1人当たり救急入院患者数	人	4.0	2.3	3.3	3.8	93.8
	医師1人当たり紹介数	件	2.3	3.7	1.8	1.5	64.3
	医師1人当たり逆紹介数	件	120.3	138.7	97.0	110.0	91.4
	医師1人当たり手術件数	件	35.7	39.0	36.8	38.3	107.2

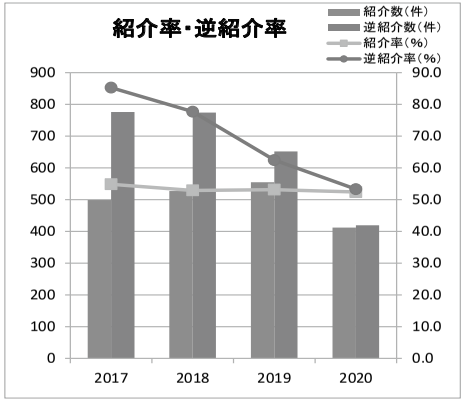
（注）1　医師数は2020年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

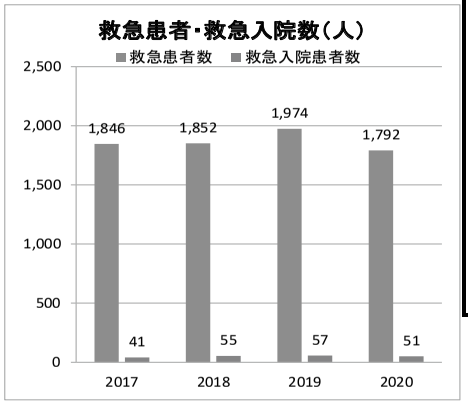
形成外科
臨床指標









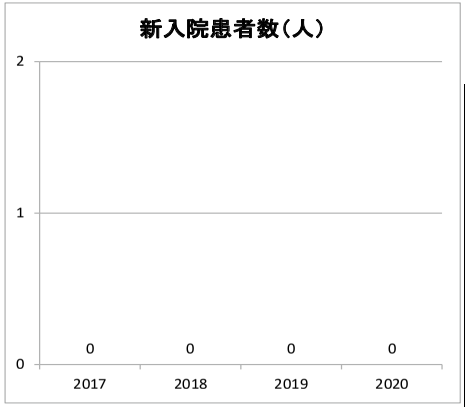


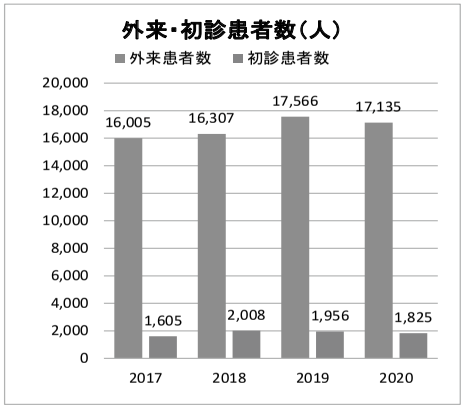
形成外科

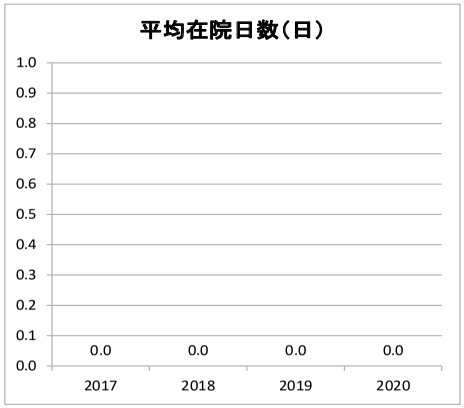
区分			2017	2018	2019	2020	2020/2017
日数	入院診療日数	日	365	365	366	365	100.0
	外来診療日数	日	244	244	242	243	99.6
基礎指標	医師数	人	5	5	5	5	100.0
	入院延患者数	人	4,108	3,758	4,072	4,436	108.0
	新入院患者数	人	230	334	305	231	100.4
	入院収益 A	千円	297,823	335,164	281,201	280,371	94.1
	外来患者数	人	10,455	11,458	12,124	11,272	107.8
	初診患者数	人	910	996	1,044	786	86.4
	外来収益 B	千円	76,652	97,888	109,599	99,071	129.2
	診療収益 A+B	千円	374,475	433,053	390,800	379,442	101.3
分析指標	入院診療単価	円	72,498	89,187	69,057	63,204	87.2
	新入院患者数/日	人	0.6	0.9	0.8	0.6	100.4
	平均在院日数	日	15.7	10.2	12.0	18.2	115.9
	外来診療単価	円	7,332	8,543	9,040	8,789	119.9
	紹介率	%	54.8	52.9	53.2	52.4	95.6
	外来平均患者数/日	人	43	47.0	50.1	46.4	108.3
	初診患者数/日	人	3.7	4.1	4.3	3.2	86.7
	救急患者数	人	1,846	1,852	1,974	1,792	97.1
	救急入院患者数	人	41	55	57	51	124.4
	救急入院患者数/新入院患者数	%	17.8	16.5	18.7	22.1	123.9
	紹介数（紹介患者加算）	人	499	527	555	412	82.6
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	776	774	652	419	54.0
	逆紹介率	%	85.3	77.7	62.5	53.3	62.5
	手術件数（手術室利用）	件	258	319	243	219	84.9
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	163,191	183,652	153,662	153,628	94.1
	医師1人1日当たり外来収益	円	62,830	80,236	90,578	81,540	129.8
	医師1人1日当たり診療収益	円	226,020	263,888	244,239	235,168	104.0
	医師1人1日当たり入院患者数	人	2.3	2.1	2.2	2.4	108.0
	医師1人1日当たり外来患者数	人	8.6	9.4	10.0	9.3	108.3
	医師1人当たり新入院患者数	人	46.0	66.8	61.0	46.2	100.4
	医師1人当たり救急患者数	人	369.2	370.4	394.8	358.4	97.1
	医師1人当たり救急入院患者数	人	8.2	11.0	11.4	10.2	124.4
	医師1人当たり紹介数	件	99.8	105.4	111.0	82.4	82.6
	医師1人当たり逆紹介数	件	155.2	154.8	130.4	83.8	54.0
	医師1人当たり手術件数	件	51.6	63.8	48.6	43.8	84.9

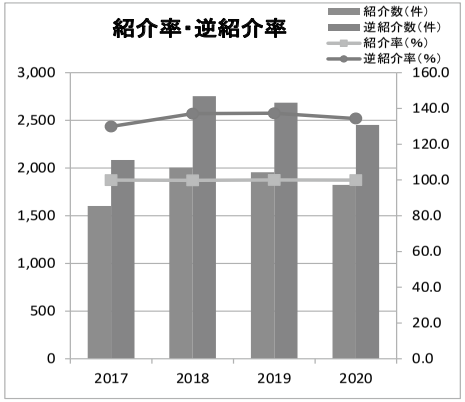
（注）1　医師数は2020年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

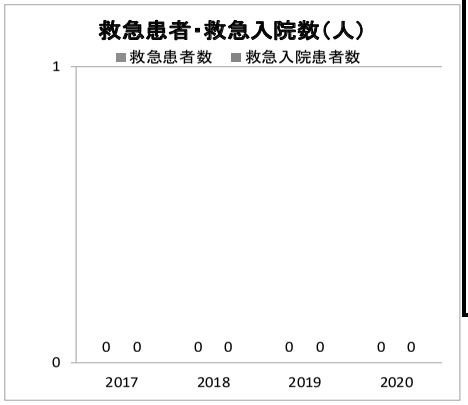
放射線科
臨床指標









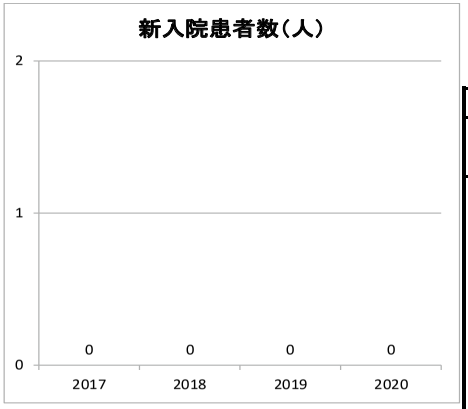


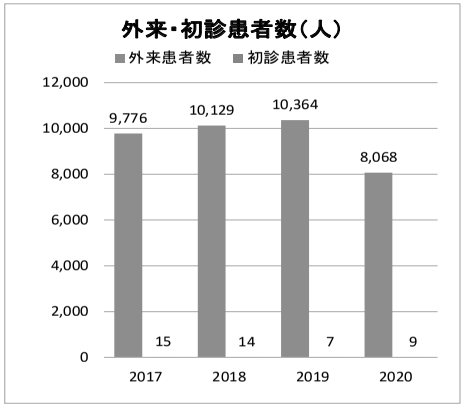
放射線科

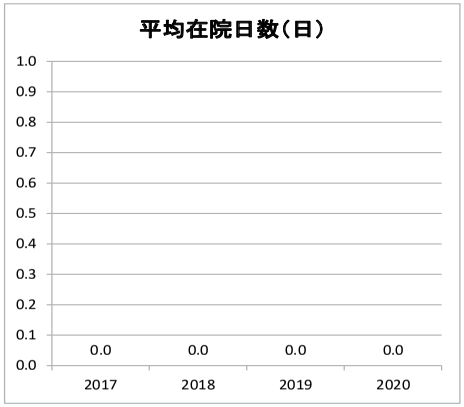
区分			2017	2018	2019	2020	2020/2017
日数	入院診療日数	日	365	365	366	365	100.0
	外来診療日数	日	246	245	245	243	98.8
基礎指標	医師数	人	4	6	8	11	275.0
	入院延患者数	人	0	0	0	0	0.0
	新入院患者数	人	0	0	0	0	0.0
	入院収益 A	千円	0	0	0	0	0.0
	外来患者数	人	16,005	16,307	17,566	17,135	107.1
	初診患者数	人	1,605	2,008	1,956	1,825	113.7
	外来収益 B	千円	301,350	332,406	339,433	343,689	114.0
	診療収益 A+B	千円	301,350	332,406	339,433	343,689	114.0
分析指標	入院診療単価	円	0	0	0	0	0.0
	新入院患者数/日	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平均在院日数	日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	外来診療単価	円	18,828	20,384	19,323	20,058	106.5
	紹介率	%	99.9	99.8	100.0	99.9	100.0
	外来平均患者数/日	人	65	66.6	71.7	70.5	108.4
	初診患者数/日	人	6.5	8.2	8.0	7.5	115.1
	救急患者数	人	0	0	0	0	0.0
	救急入院患者数	人	0	0	0	0	0.0
	救急入院患者数/新入院患者数	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	紹介数（紹介患者加算）	人	1,603	2,004	1,956	1,823	113.7
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	2,085	2,753	2,686	2,452	117.6
	逆紹介率	%	129.9	137.1	137.3	134.4	103.4
	手術件数（手術室利用）	件	0	0	0	0	0.0
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	0	0	0	0	0.0
	医師1人1日当たり外来収益	円	306,250	226,127	173,180	128,578	42.0
	医師1人1日当たり診療収益	円	306,250	226,127	173,180	128,578	42.0
	医師1人1日当たり入院患者数	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医師1人1日当たり外来患者数	人	16.3	11.1	9.0	6.4	39.4
	医師1人当たり新入院患者数	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医師1人当たり救急患者数	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医師1人当たり救急入院患者数	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医師1人当たり紹介数	件	400.8	334.0	244.5	165.7	41.4
	医師1人当たり逆紹介数	件	521.3	458.8	335.8	222.9	42.8
	医師1人当たり手術件数	件	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

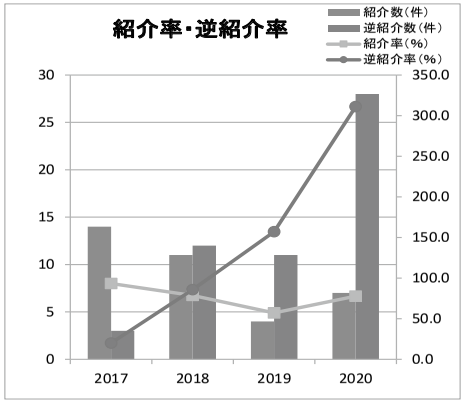
（注） 1 医師数は2020年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2 入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

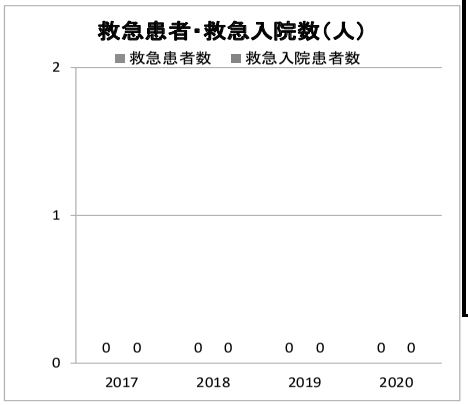
リハビリテーション科
臨床指標









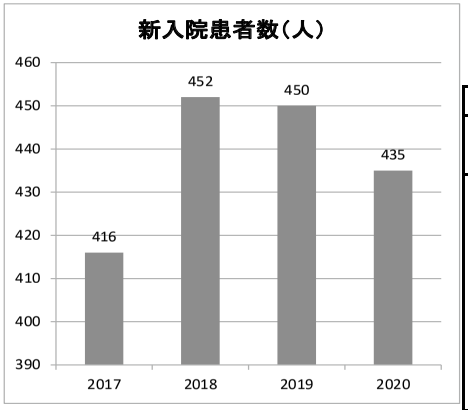


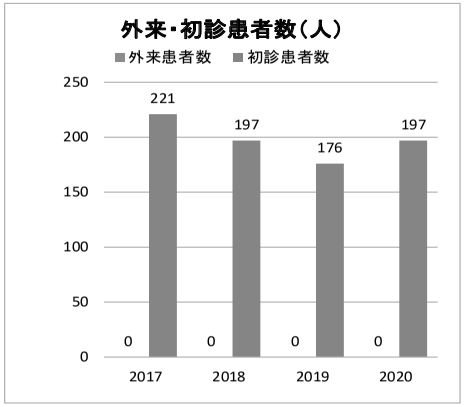
リハビリテーション科

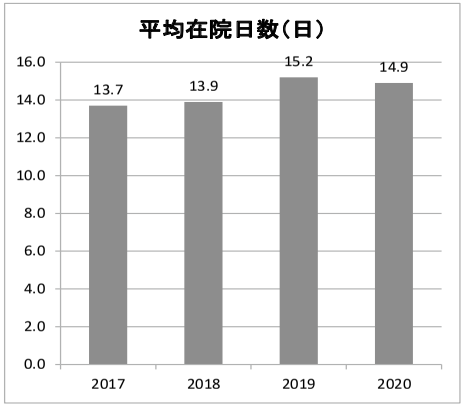
区分			2017	2018	2019	2020	2020/2017
日数	入院診療日数	日	365	365	366	365	100.0
	外来診療日数	日	244	244	244	243	99.6
基礎指標	医師数	人	3	2	1	1	33.3
	入院延患者数	人	0	0	0	0	0.0
	新入院患者数	人	0	0	0	0	0.0
	入院収益 A	千円	0	6	0	0	0.0
	外来患者数	人	9,776	10,129	10,364	8,068	82.5
	初診患者数	人	15	14	7	9	60.0
	外来収益 B	千円	88,090	87,968	107,733	107,356	121.9
	診療収益 A+B	千円	88,090	87,974	107,733	107,356	121.9
分析指標	入院診療単価	円	0	0	0	0	0.0
	新入院患者数/日	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平均在院日数	日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	外来診療単価	円	9,011	8,685	10,395	13,306	147.7
	紹介率	%	93.3	78.6	57.1	77.8	83.3
	外来平均患者数/日	人	40	41.5	42.5	33.2	82.9
	初診患者数/日	人	0.1	0.1	0.0	0.0	60.2
	救急患者数	人	0	0	0	0	0.0
	救急入院患者数	人	0	0	0	0	0.0
	救急入院患者数/新入院患者数	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	紹介数（紹介患者加算）	人	14	11	4	7	50.0
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	3	12	11	28	933.3
	逆紹介率	%	20.0	85.7	157.1	311.1	1,555.6
	手術件数（手術室利用）	件	0	0	0	0	0.0
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	0	9	0	0	0.0
	医師1人1日当たり外来収益	円	120,342	180,262	441,529	441,794	367.1
	医師1人1日当たり診療収益	円	120,342	180,271	441,529	441,794	367.1
	医師1人1日当たり入院患者数	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医師1人1日当たり外来患者数	人	13.4	20.8	42.5	33.2	248.6
	医師1人当たり新入院患者数	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医師1人当たり救急患者数	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医師1人当たり救急入院患者数	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医師1人当たり紹介数	件	4.7	5.5	4.0	7.0	150.0
	医師1人当たり逆紹介数	件	1.0	6.0	11.0	28.0	2,800.0
	医師1人当たり手術件数	件	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

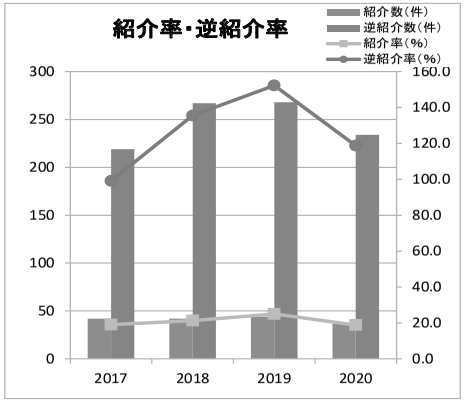
（注）1　医師数は2020年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

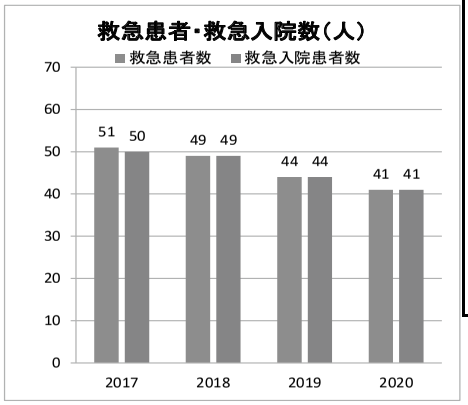
新生児科
臨床指標











新生児科

区分			2017	2018	2019	2020	2020/2017
日数	入院診療日数	日	365	365	366	365	100.0
	外来診療日数	日	0	0	0	0	0.0
基礎指標	医師数	人	3	3	3	3	100.0
	入院延患者数	人	6,158	6,754	7,270	6,885	111.8
	新入院患者数	人	416	452	450	435	104.6
	入院収益 A	千円	490,454	521,086	515,539	629,148	128.3
	外来患者数	人	0	0	0	0	0.0
	初診患者数	人	221	197	176	197	89.1
	外来収益 B	千円	0	0	0	0	0.0
	診療収益 A+B	千円	490,454	521,086	515,539	629,148	128.3
分析指標	入院診療単価	円	79,645	77,152	70,913	91,380	114.7
	新入院患者数/日	人	1.1	1.2	1.2	1	104.6
	平均在院日数	日	13.7	13.9	15.2	14.9	108.8
	外来診療単価	円	0	0	0	0	0.0
	紹介率	%	19.0	21.3	25.0	18.8	98.8
	外来平均患者数/日	人	0	0	0	0	0.0
	初診患者数/日	人	0	0	0	0	0.0
	救急患者数	人	51	49	44	41	80.4
	救急入院患者数	人	50	49	44	41	82.0
	救急入院患者数/新入院患者数	%	12.0	10.8	9.8	9.4	78.4
	紹介数（紹介患者加算）	人	42	42	44	37	88.1
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	219	267	268	234	106.8
	逆紹介率	%	99.1	135.5	152.3	118.8	119.9
	手術件数（手術室利用）	件	0	0	0	0	0.0
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	千円	447,903	475,878	469,526	574,564	128.3
	医師1人1日当たり外来収益	千円	0	0	0	0	0.0
	医師1人1日当たり診療収益	千円	447,903	475,878	469,526	574,564	128.3
	医師1人1日当たり入院患者数	人	5.6	6.2	6.6	6.3	111.8
	医師1人1日当たり外来患者数	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医師1人当たり新入院患者数	人	138.7	150.7	150.0	145.0	104.6
	医師1人当たり救急患者数	人	17.0	16.3	14.7	13.7	80.4
	医師1人当たり救急入院患者数	人	16.7	16.3	14.7	13.7	82.0
	医師1人当たり紹介数	件	14.0	14.0	14.7	12.3	88.1
	医師1人当たり逆紹介数	件	73.0	89.0	89.3	78.0	106.8
	医師1人当たり手術件数	件	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（注）1　医師数は2020年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

診　療　局

●内科（2020年度）

1．内科医局会の定期的開催

内科の中でも各診療科で専門性が高度に高まる昨今ですが、内科医としての最新の医学知識や知見をアップデートすることは極めて重要となっています。第1、3金曜日の月2回、内科医師、ローテート初期研修医、内科専攻医に出席していただき内科医局会を開催しています。各科のトピックや稀少症例を共有する場となっており、内科外来など共通の取り決め事が必要な事項の議論など、各内科の連携機会としても機能しています。

2．2020年入院、外来の状況

各内科診療科の項で、入院・外来状況を御参照ください。

3．2020年度の人材育成・確保・新専門医制度

2020年、全内科では部長18名（昨年度18名）、医長15名（昨年度12名）、医員8名（昨年度5名）、専攻医5年次5名（昨年度8名）、専攻医4年次8名（昨年度10名）、専攻医3年次8名（昨年度3名）、総専攻医数21名（昨年度21名）でした。昨年度に比べて医長、医員クラスは増員となり充実してきておりますが、専攻医数は昨年と同数であり、地方病院での若手医師確保という課題はなかなか解消できていません。対策としては、初期研修医からの当院専攻医プログラムへの残留率を上げることが重要と考えております。

●消化器内科（2020年）

人事では、4月1日より樋口が部長として赴任し、千葉大学医局からは丸田が派遣、消化器内科専門研修として土屋が派遣となりました。専門医研修者数が減少したため待機にてセカンド・サードの区別を廃止し、スタッフ全員にて交代でローテートすることとしました。待機へのヘルプとして久田(東京大学)、矢野(順天堂浦安病院)、西原(東陽病院)、廣瀬(国立がんセンター)に月一回非常勤で勤務いただきました。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い内視鏡件数は減少しましたが、EMR、ESD、ERCPといった治療内視鏡の件数には影響しませんでした。また、丸田が肝腫瘍に対するマイクロウェーブ焼灼治療を開始し、ラジオ波に比べて焼灼範囲が広いことから治療成績の向上が期待されます。一方内視鏡AIなど高額な新規の機器・技術の導入は、新型コロナウイルス感染症に影響が不明であったために行いませんでした。これは来年に期待をするところです。

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
GF	13,168	12,578	12,092	11,464	9,349
CF	6,161	5,780	5,790	5,729	5,079
CF-EMR	1,352	1,198	1,298	1,331	1,340
GF-ESD	134	122	134	160	171
CF-ESD	87	82	108	135	107
ERCP	1,068	1,203	1,126	1,231	1,240
EUS	553	617	664	585	543
EUS-FNA	58	65	66	55	55
TAE	142	155	80	54	67
RFA・MWA	19	27	38	31	47

●循環器内科（2020年）

＜スタッフ＞（2021 年 4 月 1 日現在）計 17 名
主任部長：神田順二
部　長　：櫛田俊一、宮地浩太郎
医　長　：早川直樹、井ノ口安紀
主任医員：荒川雅崇、平野智士、市原慎也
医　員　：佐橋秀一、矢島琴音
専攻医　：矢崎海基人（5 年次）、金上輝明（4 年次）、高梨啓介（4 年次）、山浦貴士（4 年次）、
　　長田遊貴（3 年次）、久慈広樹（3 年次）、永冨駿平（3 年次）

＜人事異動＞
2021 年 3 月末に、当院で 5 年間（初期 2 年＋後期 3 年）の研修を終えた石橋典幸と笠井裕平が更なる循環器専門研修に励むべく、東京の榊原記念病院に異動となった。また、上迫隼太は、当院で 2 年間の循環器研修の後、長野県の諏訪中央病院に異動となった。さらに当院に 13 年間勤務してくれたサッキャ・サンディープが母国ネパールの医療を担うべく 4 月末に帰国した。4 月 1 日より井ノ口安紀、市原慎也が着任し、当院のスタッフとして働くこととなった。2 名とも知識・技術、人柄とも優れた人材である。また、長田遊貴、久慈広樹、永冨駿平の 3 名が循環器後期研修を開始した。長田、久慈 2 名は当院での初期研修を優秀な成績で終了しており、また永冨は日本で初期研修を終えた後渡米し、米国の大学で公衆衛生学を学んできた異色の経歴を持つ。3 名ともやる気に満ち溢れ、仕事熱心な将来の有望株である。

＜診療の概要＞
今年度も病棟患者管理は 3 チーム制を継続することとなり、チーム長は櫛田、宮地、早川が務めている。常勤スタッフ、専攻医に加えてローテーションの初期研修医が 4 ～ 5 名配属となるため、各チーム医師数 7 ～ 8 名ほどの体制で入院患者の診療にあたっている。チームメンバー数がかなり多くなってきたため、近い将来 4 チーム制にする予定である。実態として循環器内科入院患者は循環器内科病棟（7 西病棟 53 床）単独では通常収まりきらず、他病棟に常時 20 ～ 30 名が入院しているため、患者の病状把握や指示出しに苦労している。今後は循環器内科の病床として 1.5 ～ 2 病棟分の確保が必要になるものと予想されるが、医師の働き方改革の実現や管理体制強化のためにも当面常勤スタッフの増員が不可欠と考えている。当科は毎日のカテーテル検査・治療はもちろんのこと、心電図や心エコー図検査など他部門からの依頼検査も多数請け負わねばならないという性格上、日常の仕事量が膨大である。また、急性冠症候群や急性心不全を代表とする救急疾患の占める割合が高く、連日の救急対応が必須となり、1 年 365 日循環器当直医制を敷き、3 次救命救急センターの一翼を担っている。外来診療も連日の循環器専門再診外来にとどまらず、新患外来にも連日循環器専門医を配置しており、曜日を選ばず、近隣の病医院より紹介患者を受け入れられる体制を採用している。

＜診療実績＞
過去 5 年間の診療実績を表 1 ～表 3 に示す。2020 年の入院患者総数は 2,421 名と過去最高を更新した。コロナ禍の中、入院患者総数の増加は特筆すべきことと考える。入院患者の内訳としては、冠動脈疾患、不整脈、心不全、末梢動脈疾患が多いのが現在の循環器診療の特徴である。幸いなことに、2021 年 7 月末までの当科での新型コロナウイルス感染症合併入院患者は 1 名だけであり、当医療圏外在住の急性心筋梗塞患者であった。2020 年は PCI の件数（735 件）こそ前年度を下回ったが、末梢動脈インターベンション EVT（382 件）、カテーテルアブレーション（259 件）、ペースメーカー植込み術（163 件）の件数は大幅に増加し、過去最高の件数を記録した。PCI は過去 5 年、常に年間 650 件を超えており、多い年には 700 件を超えるようになっており、全国 40 傑（2019 年度の 781 件は全国 20 位）に入る国内有数のカテーテルインターベンション施行施設になっている。超高齢化社会において EVT やカテーテルアブレーション、ペースメーカー植込み術は今後益々増加

していくことが予想され、バイタリティ溢れる若き医師たちの活躍に期待が寄せられている。2019年4月より開始した高齢患者を対象とした大動脈弁狭窄症に対する『経カテーテル大動脈弁留置術（TAVI）』は2020年42件と件数を伸ばすことができた。高齢者の多い当地域の特性を考えてみても、この件数は当面年間50例前後で推移していくものと予想される。

表1　循環器内科疾患別入院患者数（2016年～2020年）

疾患名	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
冠動脈疾患 （急性心筋梗塞）	930 （228）	878 （220）	832 （269）	915 （270）	896 （274）
心不全	368	414	471	483	347
不整脈	320	370	396	372	496
心臓弁膜症	62	61	82	133	142
心筋症	52	41	33	44	44
感染性心内膜炎	6	16	19	8	12
心筋炎、心膜疾患	20	12	10	7	20
肺性心・肺高血圧症	5	13	13	16	15
先天性心疾患	2	5	2	5	3
大動脈疾患	20	35	44	33	34
末梢動脈疾患	196	223	238	262	302
肺塞栓症・静脈疾患	25	28	26	26	25
その他	198	142	140	100	85
合計	2,204	2,238	2,306	2,404	2,421

表2　循環器系主要検査数（2016年～2020年）

検査名	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
心電図	25,916	29,673	29,681	30,058	27,882
トレッドミル運動負荷心電図	317	276	258	182	166
ホルター心電図	1,045	995	1,059	865	765
経胸壁心エコー	10,342	10,378	10,107	8,902	8,752
経食道心エコー	208	232	304	346	434
ABI/PWV/SPP	1,476	1,478	1,589	1,711	1,765
血管エコー	1,381	1,304	1,216	1,051	1,186
心臓カテーテル検査総数	1,652	1,399	1,955	1,872	1,876
冠動脈造影（CAG）	705	673	675	735	710
電気生理学的検査（EPS）	110	157	187	184	262
心筋SPECT	470	450	453	490	546
冠動脈CT（320列）	1,131	1,149	1,022	1,205	1,286

表3　循環器系主要治療件数（2016年～2020年）

治療名	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
冠動脈インターベンション（PCI）	739	694	674	781	735
上記の内急性冠症候群に対するPCI	234	251	270	280	234
末梢動脈インターベンション（EVT）	213	248	281	315	382
カテーテルアブレーション	100	148	163	173	259
ペースメーカー植込み術（電池交換含む）	106	108	121	105	163
ICD（植込み型除細動器）植込み術	16	28	19	16	27
CRT（心臓再同期療法）	14	18	20	22	19
経カテーテル大動脈弁留置術（TAVI）	—	—	—	12	42

＜今後の展望＞

TAVI導入に続き、2021年6月からは出血リスクの高い心房細動患者に対する治療として、左心耳閉鎖システム（WATCHMAN™）も新規導入することができた。残る当面の目標は僧帽弁閉鎖不全症に対するカテーテル治療MitraClipと新規の補助循環装置IMPELLAの導入ということになる。我々も早期導入に向けて計画的努力を続けていく所存である。先進的医療の導入・継続は地域基幹病院の使命であるため、スタッフの総力を挙げて取り組んでゆきたいと考えている。加えて超高齢化社会における心不全患者のさらなる増加に対しても、他施設との医療連携や在宅医療、緩和医療を有機的に結合させ、チーム医療の益々の充実と地域医療連携の更なる強化をはかっていきたい。

（文責：神田順二）

●血液内科（2020年度）

診療体制

2020年度の診療体制は、久米彩佳が異動となり、代わりに林清人、久保寺愛が赴任したため、田中宏明(部長)、清水亮（医長）とあわせて4人体制となった。非常勤医師として高木敏之医師および千葉大から派遣された栢森医師、三科医師の2名と、当院輸血部部長の石井昭広医師にもお手伝い頂き、計7コマの血液内科外来診療も昨年同様に続けられていた。毎週月曜日に病棟カンファレンス、木曜日に中央検査科と共同で骨髄カンファレンスを行い、1-2ヶ月毎の第3もしくは4火曜日に病理・血液カンファレンスも継続できた。

2020年度の動向

ここ4年間の当院で診断された症例数は下記の通りである。各年1-12月のデータで、他院で診断され加療目的に紹介された症例は含んでいない。

	2020	2019	2018	2017
慢性骨髄増殖性腫瘍				
慢性骨髄性白血病	6	7	7	2
本態性血小板血症	4	9	7	7
真性多血症	3	1	0	3
原発性骨髄線維症	3	2	0	1
慢性骨髄単球性白血病	2	0	2	2
骨髄異形成症候群	17	28	16	10
急性骨髄性白血病	14	10	17	16
うち急性前骨髄球性白血病	3	3	4	1
急性リンパ性白血病	4	4	2	1
慢性リンパ性白血病	1	4	3	1
悪性リンパ腫				
び漫性大細胞型B細胞性リンパ腫	51	37	48	40
うち中枢神経原発び漫性大細胞型B細胞性リンパ腫	2	4	3	4
うち血管内大細胞型B細胞性リンパ腫	3	1	3	1
濾胞性リンパ腫	11	19	9	16
MALTリンパ腫	9	13	7	6
末梢性T細胞性リンパ腫・詳細不明	2	1	7	1
血管免疫芽球性Ｔ細胞性リンパ腫	1	2	4	1
ホジキンリンパ腫	1	2	3	2
多発性骨髄腫	16	17	20	14
再生不良性貧血	4	7	1	3
特発性血小板減少性紫斑病	10	16	3	1
自己免疫性溶血性貧血	1	1	1	0

移植件数に関してはここ数年の移植件数を下記に示した。本年度は昨年とほぼ同様の移植件数であり、また当院で初となる移植後大量シクロフォスファミド療法をGVHD予防としたHLA半合致同種移植も行った。

	血縁者間末梢血幹細胞移植	血縁者間骨髄移植	自家末梢血幹細胞移植
2016年度	3例		5例
2017年度	2例		9例
2018年度	1例		6例

2019年度	2例	2例	14例
2020年度	3例	1例	14例

＜非血縁者間骨髄・末梢血幹細胞採取施設に認定＞

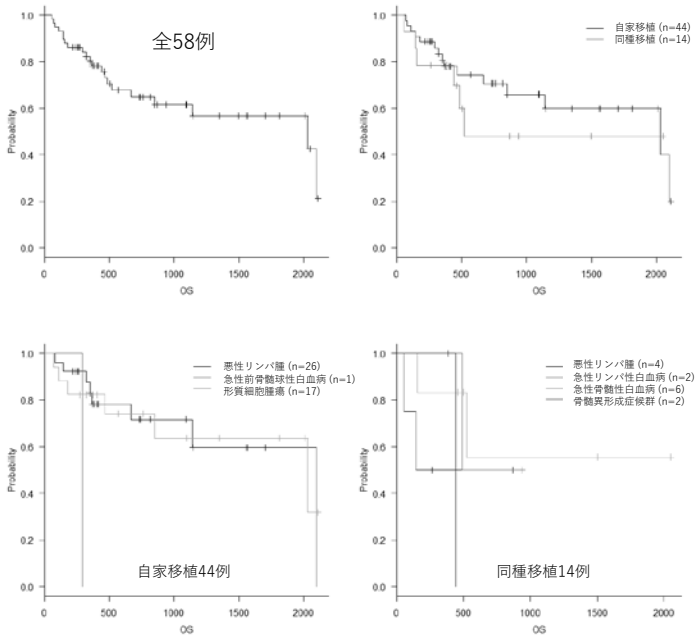
日本骨髄バンク採取施設（非血縁者間骨髄・末梢血幹細胞採取施設）の認定要件を満たして2020年11月に申請し、2021年1月の施設訪問を経て3月に施設認定を受けた。今まで当院の診療圏に居住している非血縁ドナーは、千葉大学病院、成田日赤病院など遠方の施設で採取をせざるを得ない状況であったが、今後は当院にて受け入れることが可能となった。2021年5月に当院1例目の非血縁者間骨髄採取を行う予定となっている。

またこの採取施設認定は、非血縁者間同種移植（骨髄バンク、さい帯血バンクを介した同種移植）の施設認定の必要条件であり、今後採取の実績を積むことでこちらの認定も目指していく方針である。

＜当院における移植治療の成績＞

非血縁者間移植認定施設申請に際して学会から求められるため、当院にて移植治療を行った症例の治療成績を下記にまとめた。

2014年1月1日から2019年12月31日まで当科にて移植治療を行った計58例を解析した。年齢中央値58.5(32-68)歳。男性/女性 36/22人。急性骨髄性白血病 7人、骨髄異形成症候群 2人、急性リンパ性白血病 2人、悪性リンパ腫 30人、形質細胞性腫瘍 17人。自家末梢血幹細胞移植 44人、血縁者間末梢血幹細胞移植 13人、血縁者間骨髄移植　1人。観察期間中央値463(56-2114)日。観察期間中の死亡21人。死因としては、原疾患の再発もしくは増悪 14人、細菌感染 2人および間質性肺炎、臓器不全（肝臓）、慢性GVHD、二次がんおよびその他が各1人ずつ。生存期間中央値2032(95%信頼区間669-NA)日。自家移植例では2032(850-NA)日、同種移植例では521(154-NA)日。生存曲線を下に示した。今後は非血縁者間同種移植目的に他院に紹介していた若年症例も含まれてくる見通しであるが、一人でも多くの症例の長期生存を目指して研鑽に励みたい。



多施設共同研究として、日本成人白血病研究グループ(JALSG)の多施設共同研究に引き続き参加し、千葉大学血液内科とも連携していくつかの臨床研究を行っている。

学会発表としては、2020年度として日本血液学会学術総会に2題および日本造血細胞移植学会に1題報告し、英論文は3本報告した。

●腎臓内科（2020年）

1．体制

スタッフは2017年3月まで腎透析科常勤5名、非常勤1名で診療にあたっていたが、2017年4月より腎透析科常勤3名、非常勤3名となった。しかし2018年4月より常勤1名が増え、常勤4名体制となった。

さらに、2019年4月-後期研修医2名が増え、常勤6名体制となったが、2020年4月より1名減で常勤5名体制となった。

看護単位は病棟と透析センターの2つよりなる。

2．病棟部門

病棟は49床であるが、腎臓内科としては腎・透析関係および、一部一般内科の患者を受け入れている。

2020年では、腎透析関係 629名であった。(表1)

腎生検については55件であった(表2)。後期研修医の減員などに伴い、透析関連の入院がそれ以前の20%ほど減員の状態で維持していたが、年間600名前後と元のレベルに戻った。なお、入院患者、腎生検患者、年末透析患者、透析導入患者の推移を添付する。(表3-6)

3．外来部門

(1)腎臓内科外来

内科外来の一部として、常勤スタッフ6名と非常勤スタッフ2名にて、合計12コマの外来を担当している。

(2)透析外来

2つの透析センターにて、血液透析および腹膜透析の患者を管理している。また、血漿交換や白血球除去療法などの特殊血液浄化も施行している。なお、2019/6より夜間透析を第一透析センター(4F)から第二透析センター(6F)に移動させた。透析センターの項も参照。

4．診療のトピック

腎臓病については、診療内容としては新しいものはなかったが、減少した常勤医が増加し腎生検の件数や入院患者は増加に転じた。

透析患者の管理については、CKD-MBDに対し、注射薬であるエテルカルセチドの使用が軌道にのり、さらにプレフィルド製剤が導入され安全に寄与。また、HDF用の装置への更新が完了しonline HDFとintermittent HDFの治療など透析治療の幅が広がった。

なお2020年には、新規の透析患者さんの治験は0件であった。また腎透析関連の学会発表3件発表、大学教授などによる講演会を2件開催した。しかしこれらはコロナ感染症の蔓延により低調であった。

(表1)2020/1/1-/12/31　腎臓内科　入院患者　内訳

腎・透析科	629
慢性腎不全(合併症の精査加療含む)	90
慢性腎不全(透析導入)	87
腎炎/ネフローゼ症候群	62
急性腎不全	54
尿路感染症	12
水/電解質異常	22
その他	5
透析患者	297
透析関連合併症	42
CAPD関連	9
ブラッドアクセス関連	154
併発合併症	92
循環器	8
消化器	9
呼吸器	16
神経	13
感染症	35
その他	11

(表2)腎生検 (2020/1/1-12/31)

MGA	5名
FSGS	2名
MN	3名
IgA腎症	9名
MPGN	0名
その他の糸球体腎炎	2名
Cres GN/血管炎	11名
SLE	3名
IgA血管炎	4名
DM	6名
動脈硬化	2名
尿細管/間質障害	4名
アミロイドーシス/骨髄腫腎	2名
その他	2名
計	55名

〈診療実績〉2020/1/1～12/31

(表3)入院患者

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
腎疾患	296	285	304	287	295	281	276	266	333	357	322
透析関連	370	347	293	234	224	255	229	197	207	277	307
その他	27	31	27	62	73	71	62	18	4	0	0
計	693	663	624	583	592	607	567	481	544	634	629

(表4)腎生検数

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
件数	70	74	55	48	49	54	72	49	75	77	55

(表5)透析患者数

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
年末 HD	448	439	422	402	423	409	405	390	392	391	404
年末 CAPD	23	23	19	17	16	14	10	10	10	8	6
計	471	462	441	419	439	423	415	400	402	399	410

(表6)透析導入患者数

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
件数	94	95	89	88	130	97	90	107	108	108	128

●呼吸器内科（2020年度）

2020年度の概要

常勤医は4月に交代があり、賀嶋/菅沼/浅見（総合内科）/本田/齊藤の5人となった。非常勤は内田（昭和大学）、川崎（千葉大学）、津島、寺田（国際医療福祉大学）の応援をいただき、外来ならびに気管支鏡体制を維持できた状況であった（敬称略）。新規肺癌例数は334例で昨年度より増加し、ほぼ1日１人新規患者のあるペースである。肺癌の内科的薬物療法は殺細胞薬、分子標的薬と免疫療法の組み合わせがますます複雑になり、その選択は専門医でも難しくなっている。しかし一部の肺癌患者は確かに治らずとも慢性疾患的な経過（癌と共存）となっているのは確かである。肺炎例は相変わらず多く、ほとんどが医療介護関連肺炎であることには変わりないが、何といってもコロナ肺炎（COVID-19）の増加がトピックスである。とくに高齢者の重症例（中等症以上）が目立ったのは周知の通りである。6東病棟は約半分がコロナ病床として常態化していた（2021年8月現在は全床コロナ病棟となっているが）。その他の疾患には大きな変わりはないが、やはりコロナに振り回された（現在も）１年であった。呼吸器内科の課題は毎年記載しているが、常勤医の確保である。

統計

＜新規症例数＞

1	原発性肺癌新規症例数：	334	例（外科も含む）
2	縦隔腫瘍：	11	例（外科も含む）
3	悪性胸膜中皮腫：	2	例
4	肺抗酸菌症		
	肺結核症	21	例（感染症内科も含む）
	非結核性抗酸菌症	23	例
5	肺炎（主）：	336	例（呼吸器内科入院例のみ）
6	COVID-19肺炎	141	例（感染症内科も含む）
7	間質性肺炎（主）：	52	例

●糖尿病代謝内科（2020年度）

①診療科の活動

2020年度当科の診療体制は、大西医長の異動、木下医員の着任と人員変更はあったが、留任の小林部長とともに昨年度と変わらず常勤2名、糖尿病外来も常勤4枠、非常勤2枠（非常勤医師は3名）を維持し例年と同様であった。当院では、例年4,000名以上の通院糖尿病患者に対して、内科を中心とする他科医師と協働で対応している。2020年度は新型コロナの感染拡大により医療に多大な影響が生じており、年度始めには初回の緊急事態宣言もあって、当院を含め各医療機関では新患や救急をはじめ受診者の大幅な減少が認められた。しかし当院の糖尿病診療状況としては、上半期の前年同月比（概算）や年度総計において、病院全体の通院患者数および当科の通院・新患患者数ともに例年とほぼ変わらず、当地における慢性疾患としての糖尿病患者数の多さを反映している可能性が推察された。またこれも概算ながら、血糖管理状況（HbA1c）も前年同月比で悪化せず、むしろやや低下しており、一般的に懸念された不活動による悪化よりも、通院継続した集団における病状の維持・改善の様相が示された形となった。その要因については推測の域を出ないが、個々の事例からの聴取においては、飲酒を含む外食の機会が大幅に減少したことや、就労時間の大幅減少に伴い多忙による食事・生活の不摂生が軽減されたケースが認められた（2020年度の主な診療実績は下記参照）。

一方、前年度から引き続いての取り組みとしては、１．政策医療となった糖尿病腎症予防プログラムへの取り組み：糖尿病透析予防指導の推進（105件）、２．地域眼科医との簡易連携書式運用の推進、３．院内多職種の糖尿病サポートチーム（10職種・約60名）との協働にて、(1)当院通院中の糖尿病患者の糖尿病改善、(2)当院医療職への糖尿病教育活動、(3)当院周辺地域の糖尿病状態の改善、等が挙げられるが、いずれも新型コロナ感染症拡大により多大な影響を受けており、とりわけイベントや講演・患者会など患者が集まる形の活動はほとんど中止を余儀なくされている。(1)においてはインスリンポンプ使用患者の会（すずの会）、病院まつりでの活動（血糖測定ブースの運営および教育レクチャー）はいずれも中止、外来・入院患者向けの多職種による糖尿病教室の運営は一時期中断ののち、対象を外来患者に限定して感染防止策を講じて再開している。併せて現在、入院患者向けの動画教材作成について検討している。(2)においては看護学校での代謝・内分泌分野の系統講義や院内向けレクチャーならびに各医療職種の日本糖尿病療法指導士(CDE-J)・千葉県糖尿病療養指導士(CDE-Chiba)の資格取得支援継続（有資格者それぞれ42名・12名）などをほぼ例年通り行っている。(3)においては、世界糖尿病デーへの参画活動となるブルーライトアップ（当院本館サインや旭市商工会議所、飯岡刑部岬展望館）は密を避ける呼びかけの元で実施できたが、他に例年行っていた周辺市町村の各種祭り（病院まつりを含む）における血糖測定ブース運営や啓蒙活動は全て中止となった。なお(3)は例年、当地域周辺で糖尿病に関心を持つ看護師の会（さくら会）とも協働しながら行っているが、同会との定期的な打ち合わせも中断を余儀なくされている。今後の再開も新型コロナ感染症の流行状況次第となるが、引き続き糖尿病サポートチームメンバーはじめ内外の方々と協力して、様々な工夫も加えながら継続可能な形でそれぞれの取り組みを維持していきたい。

他方、今回特筆すべきこととして、当院・当科の継続的な重要課題であった糖尿病看護認定看護師の育成に関して、看護局のご理解や現職の宮原認定看護師をはじめ周囲のご支援のもと、当院看護師から認定教育課程の合格者1名を得ることができた。2021年度のカリキュラム受講予定であり、充実した研鑽を期待するとともに、関係者各位に深謝申し上げたい。

②診療実績

【2020年度診療概要】

・糖尿病専門外来[常勤4枠、非常勤2枠] 1,724例
　内、薬物療法中の糖尿病 1,172例、平均HbA1c8.1%
（同；当院外来全体 4,349例、平均HbA1c7.4%）
　内、妊娠糖尿病 111例
　内、新患 496例（外来345例、入院151例）
・入院患者血糖管理 278例
・外来1型糖尿病 250例[内、インスリンポンプ27例]
（当院外来全体）

●神経内科（2020年度）

2020年度は、常勤医師2名と非常勤医師3名で診療を継続しました。常勤医師は外来と入院診療を担当し、非常勤医師は外来診療を行いました。同年度の入院患者数は172人で、内訳は脳血管障害(110人/入院患者全体の64%)、機能性疾患(17人/10%)、変性疾患(12人/7%)、脳炎・中枢神経感染症(10人/6%)、脊髄疾患(5人/3%)、末梢神経・筋疾患(4人/2%)、その他(14人/8%)でした。入院・外来診療ともに、総合内科と連携して診療を行いました。

●総合診療内科（2020年度）

施設認定：日本病院総合診療医学会認定施設
部長：塩尻俊明
医長：染小英弘、宮本翔平、佐伯雅史
主任医員：鈴木正史
医員：山田悟史
専攻医：酒井爽子
（2021年4月1日現在）

当科は、2010年から入院患者受け入れを開始した比較的新しい診療科であり、入院対象患者は、虚血性脳血管障害、尿路感染症、敗血症・菌血症、肺炎、糖尿病、電解質異常、膿瘍、てんかん、不明熱、皮膚・軟部組織感染症、ウイルス感染症、椎体炎、偽痛風、慢性閉塞性肺疾患、副腎不全、低体温症、リウマチ性多発筋痛症、間質性肺炎など多岐に及んでいる。

救急外来からの患者受け入れ基本コンセプトは、上記疾患群に加えて、いくつかの専門科にまたがる複数の疾患をもつ患者、どこの専門内科に属するのかが不明の患者、主病名が内科以外の他科であるが、内科合併症や全身状態が不良のため内科管理が必要な患者、また、集中治療が必要な重篤疾患を抱えているが、緩和的加療が中心となる超高齢者、内科専門科に属せない複合的問題を抱えている患者や社会的複雑な背景を持った患者など24時間体制で受け入れている。

入院患者は、8階西病棟を中心に50床から60床体制で受け入れている。過去５年間の入院患者数は、2016年度615名、2017年度632名、2018年度1084名、2019年度1056名、2020年度1012名となっている。入院患者の担当は、2チーム体制で、それぞれスタッフをチームリーダーとし、担当医は初期研修医に任せている。午前はほぼ毎日部長回診を行い、昼にケースカンファレンス、夕方にはチームリーダーによるチャートラウンドが行われている。

外来診療においては、火曜日、木曜日の午前、週２回総合診療内科の初診外来を開設している。

特に、木曜日は新専門医制度の外来研修が必須とされていることもあり、シニアレジデントの教育を兼ねた外来としている。シニアレジデントがまず診察した上で、スタッフと議論し方針を決定する屋根瓦方式をとっている。外来では、通常の一般内科の業務に加えて、他の医療機関や院内において診断困難症例の診療を受け入れている。

また、当科は初期研修医の教育的機能も担っている。ベッドサイドを中心に問診、身体所見など基本的診療技能を主に教育項目としている。週２回はケースカンファレンスを研修医向けに開き、臨床推論の方法論についての教育も行なっている。また、週１回は、身体診察の勉強会を開催している。対外的には、医学生向けの臨床推論を学ぶためのカンファレンスを毎年定期的に企画している。

●アレルギー・膠原病内科（2020年度）

（日本リウマチ学会教育施設、日本アレルギー学会専門医教育研修施設、千葉県アレルギー疾患基幹病院）

■1年間のまとめ

スタッフ

千葉大からの派遣として策愛子、中村隆之がスタッフとして赴任した。

柏熊大輔は2020年9月末に退職した。

他に後期研修医として餌取慶史、林佑紀、鷲澤恭平、河森一毅、井上良が他科ローテートを行いながら診療に従事した。

喘息・アレルギー外来は千葉大学アレルギー膠原病内科からの非常勤医師が担当した。

入院診療

2020年度入院患者数は310人（前年288人）となった。平均在院日数は24.9日（前年23.7日）となり、やや延長した。入院患者数は増加したが、平均在院日数は延長しており、ADLの低下した高齢入院患者の転院に苦慮する場面が目立った。外来での関節リウマチ症例の増加に伴い、関節リウマチ関連の入院が多い。また全身性エリテマトーデス、強皮症、多発性筋炎・皮膚筋炎などの典型的な膠原病症例に加え、高齢者の血管炎症例の増加が目立った。また比較的稀な疾患や病態の解釈が困難である症例が存在した。

外来診療

2020年度の新患患者は549人（前年548人）となった。2018年度が536人であることから新型コロナウイルス感染拡大の影響は認められないと思われる。2020年12月時点で外来での関節リウマチを含む膠原病症例が2,724人（前年2,726人）となりほぼ変化はなかった。2020年9月に柏熊医師が開業するにあたり、転院した症例は47人であり、実質増加していると考えられる。喘息症例は643人（前年675人）と若干減少した。2020年度の生物学的製剤の投与症例は420例であり、変化はなかった。生物学的製剤に関しては関節リウマチ以外の膠原病症例への適応拡大や新規製剤の登場が予定されており、今後当科で使用する生物学的製剤はその種類および投与症例数が増加することが予想される。一方で分子標的薬（JAK阻害薬）が登場することになり、治療の選択肢が広がっている。関節超音波検査数は630件（前年463件）と増加している。例年に比べ後期研修医（専攻医）の増加が要因と思われる。気管支喘息症例については生物学的製剤の登場により難治性喘息のコントロールが可能となっている。

学術的活動

新型コロナウイルス感染拡大の影響により参加した研究会、学会は全てリモート参加となった。主要学会である日本リウマチ学会では5演題（共同研究の2演題を含む）を発表した。また当科をローテートした研修医が内科学会関東地方会で2演題発表した。そのうちの1演題が関東地方会奨励賞・指導医賞を受賞した。例年参加している研究会は新型コロナウイルス感染拡大のため中止となるものもあり、全体的に学術的活動の低下を認めた。来年度は通常のレベルまでに戻したいと考えている。

■診療体制

部長　加々美新一郎

医長　策愛子、中村隆之

後期研修医　餌取慶史、林佑紀、鷲澤恭平、河森一毅、井上良

非常勤医師：岩本逸夫（元国保旭中央病院アレルギー膠原病内科部長）
横田雅也、田中繁（千葉大学アレルギー膠原病内科）
廣瀬晃一（国際医療福祉大学成田病院）
瀬戸洋平（東京女子医科大学八千代医療センター）

外来担当

・リウマチ膠原病外来
月曜日：加々美、策
火曜日：中村、餌取
水曜日：加々美、策 / 林
木曜日：加々美、中村、林
金曜日：瀬戸、廣瀬

・喘息・アレルギー外来
水曜午前：岩本（非常勤）
木曜午前：岩本（非常勤）
金曜午前：田中 / 鈴木（非常勤）

関節超音波検査：月曜日、水曜日、金曜日

■診療実績

2020 年度入院疾患

膠原病（主病名、合併症入院を含む）

全身性エリテマトーデス
多発性筋炎・皮膚筋炎
（抗 ARS 抗体症候群、抗 TIF1γ 抗体陽性筋炎、抗 MDA5 抗体陽性皮膚筋炎）
強皮症
混合性結合組織病
シェーグレン症候群
成人発症スティル病

関節リウマチ
リウマチ性多発筋痛症
RS3PE 症候群
乾癬性関節炎
結晶性関節炎

巨細胞性動脈炎
高安動脈炎
結節性多発動脈炎
小血管炎（MPA, GPA, EGPA, AAV）
皮膚型結節性多発動脈炎
アレルギー性紫斑病（IgA 血管炎）

サルコイドーシス
IgG4 関連疾患
後腹膜線維症

結節性紅斑
器質化肺炎
好酸球増多症
好酸球性筋膜炎
周期性発熱症候群（疑い）
ベーチェット病

アレルギー疾患

気管支喘息、アナフィラキシーショック、薬疹

2020 年度外来診療実績

新患患者数：549 人
関節超音波：630 件
生物学的製剤投与症例数（のべ数）：420 症例

■学術活動・臨床研究等の実績

日本リウマチ学会：5 演題（多施設共同研究の 2 演題を含む）
内科学会関東地方会：2 演題

原著論文

Granulomatosis with polyangiitis complicated with refractory optic neuritis and maxillary osteomyelitis. Kensuke Suga, Yohei Nomoto, Akiko Sudo, Jun Isogai, Yoshio Suzuki, Shin-ichiro Kagami. Modern Rheumatology Case Reports. 2020 Jan 4（1）:79-83.

Efficacy, pharmacokinetics, pharmacodynamics, and safety of intravenous C1 inhibitor for long-term prophylaxis and treatment of breakthrough attacks in Japanese subjects with hereditary angioedema: a phase 3 open-label study
Atsushi Fukunaga, Eishin Morita, Takashi Miyagi, Kazunori Eto, Akira Shimizu, Shinichiro Kagami, Hideyo Yamamoto, Moshe Vardi, Yongqiang Tang, Yi Wang, Michihiro Hide Arerugi 2020;69（3）:192-203.

臨床研究

膠原病関連：2 件
多施設共同研究：2 件（千葉大学アレルギー膠原病内科との共同研究）

企業治験

関節リウマチ関連：1 件
免疫不全関連：1 件

（文責：加々美新一郎）

●化学療法センター（2020年度）

当センターは外来通院で、がん薬物療法、膠原病内科からの疾患、炎症性腸疾患の治療患者を受け入れています。年間患者数は年々増加しており、2020 年度は合計 11,424 件で 2019 年度の 11,391 件より微増でした。内訳は表１に、月詳細を表２に示します。年間件数は横ばいですが、癌免疫療法薬と従来の抗がん剤との併用療法レジメンが増加してきており、より投与手順の複雑化、有害事象が多岐に渡るなど、適切な知識・技術が求められるようになってきています。

抗癌薬の投与手順での看護師の曝露対策として、2020 年２月より化学療法センターおよび病棟全体で閉鎖式投与器具を導入し、医療従事者の抗癌薬による健康被害を最小限にする取り組みを行っています。

2019 年末からの COVID-19 による影響により、新しい薬剤や治療法についての研修会やカンファレンスが減少していることにより、十分な検討がなされていないことが危惧されます。幸い治療患者の COVID 感染の影響は受けませんでしたが、今後も感染した場合の治療継続の可否など、各診療科での検討が必要となっていく状況です。

表１．2020 年度件数

利用診療科		件数
内科	消化器	3,071
	血液	2,046
	呼吸器	1,956
	アレルギー膠原病	1,630
外科（乳腺外科含む）		1,723
泌尿器科		540
婦人科		345
耳鼻科		57
皮膚科		44
小児科		12

表２．月推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
アレルギー膠原病内科	127	127	127	130	127	139	150	132	144	140	115	172	1630
呼吸器内科	178	141	144	166	175	160	193	169	147	164	150	169	1956
消化器内科	313	256	292	277	262	248	245	236	234	233	219	256	3071
血液内科	171	162	147	156	167	194	189	181	179	163	149	188	2046
外科	99	86	118	133	144	155	173	142	140	157	160	216	1723
婦人科	22	29	29	30	33	33	33	25	28	23	28	32	345
泌尿器科	34	31	51	56	50	31	45	40	48	53	44	57	540
小児科	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	2	12
耳鼻科	3	0	2	3	6	5	9	7	6	3	4	9	57
皮膚科	0	0	0	0	2	3	7	5	5	5	8	9	44
脳外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯口科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
													11424 件
2020年の件数・月合計/日平均	948/45	833/46	911/41	952/45	966/48	969/48	1045/48	938/49	932/47	942/50	878/49	1110/48	
2019年の件数・月合計/日平均	927/44	943/47	913/46	1076/49	995/47	874/46	1063/51	919/46	932/44	1007/53	846/47	896/43	
2018年の件数・月合計/日平均	844/42	937/45	822/39	855/41	966/42	803/45	995/45	919/44	871/46	882/46	840/44	835/42	

表 3. 新規の登録レジメンと採用薬剤（変更含む）

	レジメン	採用薬剤
2020 年 4 月	婦人科・EP 療法 血液内科・TBC 療法	
5 月	泌尿器科・ペムブロリズマブ + アキシチニブ療法 婦人科・TI 療法	
6 月	耳鼻咽喉科・FP+ ペムブロリズマブ療法／ CBDCA+5FU+ ペムブロリズマブ療法 血液内科・アクテムラ療法（キャッスルマン病）／大量シタラビン療法（AML 用） ・JALSG　CBF-AML220 ／ JALSG-APL219R ・エトポシド療法 婦人科・シスプラチン療法（放射線併用）／ TC 療法（卵巣癌・子宮癌） ・TC 療法（子宮頚癌）／ TC+Bev 療法（卵巣癌） ・TC+Bev 療法（子宮頸癌） 消化器内科・nal-IRI+FU ／ LV 療法	オニバイド
7 月	泌尿器科・治験マイトマイシン膀胱内注入療法／治験ゲムシタビン膀胱内注入療法	
8 月	血液内科・RL 療法　／　MEC 療法　／　治験 S759I1 療法	
9 月	外科・S1+ ドセタキセル療法　／　　耳鼻科・ペムブロリズマブ療法 婦人科・EP 療法　／　血液内科・JALSG APL220 療法 泌尿器科・アムルビシン療法　／　脳外科・EP 療法	
10 月	消化器内科・アテゾリズマブ + ベバシズマブ療法 血液内科・VP+CY+TBI 療法 消化器内科・アテゾリズマブ + ベバシズマブ療法　／　エンハーツ療法 耳鼻咽喉科・ニボルマブ療法	・エンハーツ ・レミケードをインフリキシマブ BS へ変更
11 月	呼吸器内科・カルボプラチン＋エトポシド＋デゥルバルマブ併用療法 ・シスプラチン＋エトポシド＋デュルバルマブ併用療法 ・デュルバルマブ療法　／　ポートラーザ療法 乳腺外科・エンハーツ療法　／　dose denseAC 療法 ・dose denseEC 療法	ポートラーザ
12 月	血液内科・DKd 療法 呼吸器内科・タルセバ + サイラムザ療法 ・カルボプラチン + パクリタキセル + 胸部放射線療法 耳鼻咽喉科・トラスツズマブ + ドセタキセル療法	
2021 年 2 月	婦人科・Bev+ オラパリブ療法　／ weeklyPTX+Bev 療法 ・リポソーマルドキソルビシン +Bev 療法 呼吸器内科・ニボルマブ + イピリムマブ複合免疫療法 ・ニボルマブ + イピリムマブ複合免疫療法 +2 サイクル化学療法	リポソーマルドキソルビシン

●透析センター（2020年）

2020 年 12 月末現在での当院における透析患者数は 410 名 (HD 404 名、PD 6 名 (HD 併用を含む)) であった。2019 年末が 399 名 (HD 391 名、CAPD 8 名) であったことより、全体で 11 名の増加 (+2.76%) であり、透析療法別にみると HD は 13 名の増加 (+3.32%) であるのに対して、CAPD は 2 名の減少 (-25.0%) であった。2020 年における新規透析導入患者は 128 名 (2019 年は 108 名) で増加しているが (+18.5%)、ここ 10 年間をみるとそれほど大きな変動はない。死亡者数は 40 名 (2019 年は 54 名) であり、昨年と比較して 14 名減少している (-25.9%)。年末患者数の増加は、新規透析導入患者数の微増と死亡者数の減少によるところが大きいと思われる。

当院では、慢性透析療法 (HD、CAPD) 以外に、急性血液浄化療法も行っている。腹膜透析単独を除いた慢性・急性血液浄化療法件数は 2020 年の一年間で 57,338 件 (2019 年 58,980 件) にのぼった。浄化療法別では、血液浄化機器の新規機器への更新に伴い、血液浄化療法のモダリティが変化したことが挙げられる。(間欠的) 血液透析 (リクセル併用を含む) の件数が減り (オンライン) 血液 (透析) 濾過および間欠補充型血液透析 (濾過) が増加した。2020 年では、(間欠的) 血液透析 (リクセル併用を含む) と (オンライン) 血液 (透析) 濾過および間欠補充型血液透析 (濾過) の合計が 56,541 件 (98.6%)、持続的血液 (濾過) 透析 646 件 (1.1%) であり、これらで全体の 99.7% を占めていた。その他として、直接血液灌流、(二重濾過) 血漿交換、血漿吸着、白血球除去なども行われた。エンドトキシン吸着は 13 件 (2019 年 15 件) あり、消化管穿孔等による消化器系の緊急外科手術後の症例で主に行われている。2015 年頃からは腹水濾過濃縮再静注法 (CART) も行われるようになってきており、2020 年は 3 件 (2019 年 5 件) 行われている。

慢性血液透析患者では、十分な透析療法を行うために良好な血流を確保できる血管アクセスが必要であり、血管アクセスを確保するためにアクセス造設術あるいは修復術を行う必要がある。2020 年における当院での血管アクセス関連手術であるが全体で 235 件であり、2019 年 (208 件) と比較して 27 件 (+13.0%) 増加した。内訳は内シャント 149 件 (63.4%)、人工血管内シャント 26 件 (11.1%)、動脈表在化 37 件 (15.7%)、その他 (血栓除去術、血管瘤切除術、静脈結紮術等)23 件 (9.8%) であった。当院の特徴として動脈表在化の割合が高いが、他院よりアクセス造設困難で紹介される症例は血管が荒廃している場合が多く、また、心機能を含め全身状態不良のために紹介される症例も少なくないという理由によるものと思われる。一方、アクセス修復術に関しては、20 年ほど前より経皮的血管拡張術 (PTA) を行うようになってから実施件数は次第に増加しており、2020 年における PTA 件数は 210 件と 2019 年 (145 件) と比較して 65 件増加 (+44.8%) している。特に超音波ガイド下での PTA が増加しており、紹介当日に施行している症例も増えてきている。近隣の透析クリニックからの依頼も多く、地域連携が良好に行われていることを反映しているものと考える。

シャント PTA 件数　2020 年

1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
18(2)	13(3)	9(0)	19(0)	15(2)	24(0)	14(1)	22(3)	19(3)	15(0)	17(2)	25(10)	210(26)

(　) 内はエコーガイド下

アクセス手術件数　2020 年

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
内シャント	10	10	11	17	9	15	14	13	16	10	10	14	149
ｸﾞﾗﾌﾄ内ｼｬﾝﾄ	0	2	2	0	1	6	2	4	1	3	4	1	26
動脈表在化	5	1	5	5	2	0	3	2	1	3	6	4	37
血栓除去術	1	1	2	1	0	1	1	0	0	3	0	1	11
その他	1	0	2	0	1	2	1	4	0	1	0	0	12
合計	17	14	22	23	13	24	21	23	18	20	20	20	235

●外科（2020年）

1．体制

外科常勤医は 23 名 (病院長、主任部長、血管外科部長、乳腺外科部長、肝胆膵外科部長、呼吸器外科部長、他医長２名、医員３名、専攻医 10 名)、非常勤医３名である。甲状腺外科は、日本医科大学より杉谷巌教授を非常勤医として招聘している。

2．診療

2020 年の手術件数は 1,751 件 (中央手術室集計) で、昨年度より 10 件増加した。

肺切除の手術件数増加が顕著である。

3．チーム医療

理学療法士、薬剤師、栄養士、臨床検査技師など多職種によるチーム医療によって、術後合併症の低減と在院日数の短縮が図られている。

4．地域連携

ソーシャルワーカーを中心に診療支援室や連携室の積極的な活動と、地域の医療施設・福祉施設のご協力とご理解により、紹介・逆紹介の件数が増加している。

Ⅰ：外科手術件数 (2020.1 月－ 2020.12 月)

	2019 年 (内視鏡手術)	2020 年 (内視鏡手術)
合計	1741 件	1751 件
頸部	26	29
肺	159 (105)	184 (141)
縦隔	6	10
乳房	152	156
血管	92	99
消化器	1067 (366)	1043 (370)
食道	8 (0)	7 (0)
胃	123 (40 ロボット 17)	121 (39 ロボット 22)
十二指腸	9 (0)	14 (1)
小腸	104 (3)	87 (4)
虫垂	134 (30)	137 (35)
結腸	170 (57)	157 (56)
直腸	87 (27 ロボット 1)	80 (28 ロボット 1)
肛門	9	7
腸閉塞	53	43
肝	50	34 (0)
胆道	291 (238)	290 (207)
膵	25	26
脾	4	3
ヘルニア	288	283
外傷	4	10
再手術	31	32
その他	60	76

Ⅱ：術後合併症

1）消化器 (予定手術)

食道　C-D 分類Ⅲ a:4、C-D 分類Ⅲ b:0、C-D 分類Ⅳ a, Ⅳ b, Ⅴ :0

胃　　C-D 分類Ⅲ a:12、C-D 分類Ⅲ b:0 、C-D 分類Ⅳ a:1、C-D 分類Ⅳ b, Ⅴ :1

結腸　C-D 分類Ⅲ a:5、C-D 分類Ⅲ b:2 、C-D 分類Ⅳ a:0、C-D 分類Ⅳ b, Ⅴ :1

直腸　C-D 分類Ⅲ a:8、C-D 分類Ⅲ b:4、C-D 分類Ⅳ a, Ⅳ b, Ⅴ :0

肝　　C-D 分類Ⅲ a:2、C-D 分類Ⅲ b:1 、C-D 分類Ⅳ a:0、C-D 分類Ⅳ b, Ⅴ :0

胆道　C-D 分類Ⅲ a:2、C-D 分類Ⅲ b, Ⅳ a, Ⅳ b, Ⅴ :0

膵　　C-D 分類Ⅲ a:1、C-D 分類Ⅲ b:2, Ⅳ a, Ⅳ b, Ⅴ :0

・消化器外科全体

手術関連死 18(1.7%)

術死 6(予定 0、緊急 6)

在院死 12(予定 3、緊急 9)

2）呼吸器

C-D 分類Ⅲ a:2、C-D 分類Ⅲ b:0、C-D 分類Ⅳ a, Ⅳ b, Ⅴ :0

3）乳腺

C-D 分類Ⅲ a:2、C-D 分類Ⅲ b:1、C-D 分類Ⅳ a, Ⅳ b, Ⅴ :0

4）血管

腹部大動脈瘤 (非破裂)25 例　術死 0

腹部大動脈瘤 (破裂)4 例　術死 0

EVAR 17 例　術死 0　ASO 8 例　術死 0　下肢静脈瘤 14 例

外科全体 (予定・緊急)

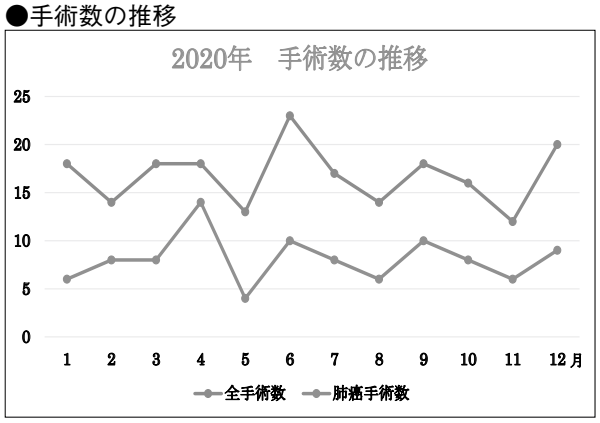
手術関連死 18(1.0%)

●呼吸器外科（2020年）

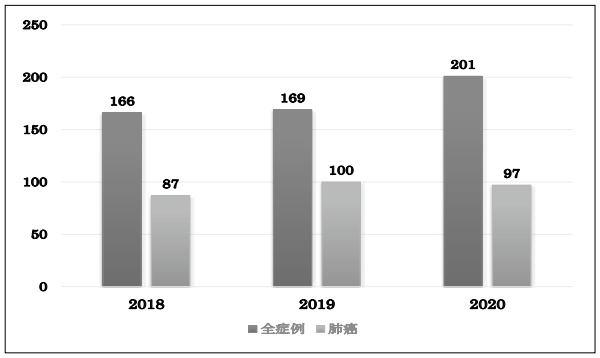
●診療体制

2020 年 1 月から 12 月　桑野秀規・吉田大介

●手術数の推移



●３年間の手術件数の推移



●手術症例数

疾患名	症例数	
	2020 年	2019 年
原発性肺癌	97	100
嚢胞性肺疾患（含：気胸）	42	20
転移性肺腫瘍	19	19
縦隔腫瘍	9	3
膿胸・縦隔炎	11	6
炎症性肺疾患	5	8
良性肺腫瘍	0	0
胸膜・心膜腫瘍	3	2
胸壁腫瘍	0	0
胸部外傷	5	1
その他の疾患	10	9
合計	201	169

●合併症

合併症名	2020 年	2019 年
遷延性肺瘻・遅発性肺瘻	2	6
肺炎	1	6
肺捻転	0	1
ARDS	0	0
気管支断端瘻	0	0
肺血栓塞栓症	3	1
術後 48 時間以上の人工呼吸器	0	0
再挿管	1	1
気管切開（ミニトラック挿入を含む）	0	1
治療を要する上室性不整脈	4	2
治療を要する心室性不整脈	0	0
心筋梗塞	0	0
治療を要する深部静脈血栓症	0	0
腸閉塞	0	0
再手術を要する出血	0	0
尿路感染	1	1
膿胸・縦隔炎	2	0
創感染	0	0
敗血症	1	0
新たな中枢神経障害（TIA・脳梗塞）	0	0
反回神経麻痺	1	1
その他の神経合併症	0	0
治療を要する腎不全・術前の２倍以上の Cr 値上昇	0	0
ドレナージ・内科治療を要する乳び胸	0	0
外科治療を要する乳び胸	0	0
せん妄	4	4

●手術死亡

	2020 年	2019 年
定　　時	0	0
緊　　急	0	0
合　　計	0	0

●原発性肺癌

●術式

	2020 年	2019 年
肺　葉　切　除	85	80
部　分　切　除	6	9
区　域　切　除	2	4
肺　全　摘　術	0	0
二　葉　切　除	1	2
試　験　開　胸	3	5

●アプローチ

	2020 年	2019 年
前　　側　　方	9	12
後　　側　　方	27	33
胸　　腔　　鏡	61	55

●合併切除

	2020 年	2019 年
隣接肺部分切除･区域切除	5	3
壁側胸膜・縦隔胸膜	0	3
肺動脈形成	1	0
胸壁（骨性胸郭）	1	0

●組織型

	2020 年	2019 年
Adenocarcinoma	73	76
Squamous cell carcinoma	19	15
LCNEC	3	1
Adenosquamous carcinoma	2	1
Small cell carcinoma	0	2
Pleomorphic carcinoma	0	2
Giant cell carcinoma	0	0
Atypical carcinoid	0	1
Typical carcinoid	0	0
Unclassified non-small cell carcinoma	0	2

●転移性肺腫瘍　　＊肺生検のみ

原発臓器	2020 年	2019 年
大腸癌	12	13
肺癌	2	0
口腔癌	1	0
顎下腺癌	1	0
乳癌	0	1
腎細胞癌	0	1
尿管癌	2	0
膀胱癌	0	1
胆嚢癌	0	1
脂肪肉腫	0	1
子宮頚癌	0	1
子宮筋腫	1*	0

●縦隔腫瘍

	2020 年	2019 年
胸腺腫	2	3
胸腺癌	2	0
奇形種	2	0
神経原性腫瘍	0	0
その他	3	0

●その他の疾患

	2020 年	2019 年
血胸	4	0
胸部刺創	1	0
フレイルチェスト	0	1
膿胸	10	5
降下性壊死性縦隔炎	1	1
胸囲結核	1	0
炎症性肺疾患	5	8
肺胞蛋白症	1	0
癌性胸膜炎・心膜炎	5	2
サルコイドーシス	1	0
悪性リンパ腫	0	2
乳幼児気管切開	3	3
術後肺瘻	2	3
肺捻転	0	1
追加切除	0	1

●乳腺センター（2020年度）

○認定施設

日本乳癌学会認定施設
日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会認定エキスパンダー実施施設
日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会認定インプラント実施施設

○スタッフ：

乳腺センター長・乳腺外科部長　　平野 稔
乳腺センター部長・乳腺外科部長　田中 優子（2020 年 10 月～）
乳腺センター医長・乳腺外科医長　神定 のぞみ（2020 年 10 月～）
乳がん看護認定看護師　新井田明美、他 看護師２名、事務職員３名

○診療体制（2020 年 10 月～）

	月	火	水	木	金
午前　初診・再診	平野 田中 神定	平野 田中 神定	手術日	平野 田中 神定	平野 神定
午後　再診	平野 田中 神定	平野 田中 神定		平野 田中	平野 神定

○診療実績

表１：外来患者数

		初診	再診	合計	医療機関紹介来院患者数（除、市町村検診）
2020 年	4 月	29	454	483	12
	5 月	44	426	470	15
	6 月	63	469	532	26
	7 月	58	497	555	27
	8 月	68	478	546	18
	9 月	69	472	541	20
	10 月	94	567	661	29
	11 月	118	482	600	30
	12 月	72	503	575	35
2021 年	1 月	51	474	525	16
	2 月	58	462	520	26
	3 月	78	557	635	36
総計		802	5,841	6,643	290

表２：外来化学療法件数（延べ数）
（化学療法センター利用）

2020 年	4 月	66
	5 月	51
	6 月	77
	7 月	59
	8 月	70
	9 月	70
	10 月	88
	11 月	47
	12 月	61
2021 年	1 月	70
	2 月	67
	3 月	86
総計		812

表３：手術件数

2020 年	4 月	6
	5 月	6
	6 月	12
	7 月	19
	8 月	15
	9 月	15
	10 月	12
	11 月	12
	12 月	12
2021 年	1 月	14
	2 月	7
	3 月	18
総計		148

＊参考
2019 年度　167 件
2018 年度　144 件
2017 年度　150 例
2016 年度　138 例
2015 年度　160 例
2014 年度　104 例

●小児科(2020年度)

2020 年度活動状況、トピックス

人事異動：4 月より馬　敏宰、佐藤名帆子が専攻医として研修を開始し、後期研修を修了した荒川真梨子が医員に就任した。10 月には当科の OB 高寺　侑が医長として、また研修連係施設である東大小児科から土居秀基が専攻医として着任した。11 月からは総合内科の山田悟史が 3 か月間当科で研修した。12 月には内山知佳が退職（厚労省に異動)、年度末には山本康之と 6 年間当科を支えてくれた井口晃宏が退職した（埼玉県立小児医療センターへ異動)。

診療体制と概要：年度を通して 10 名以上の常勤スタッフを維持することができ、初期研修医の力も借りながら、24 時間救急患者に応需可能な診療体制を維持することができた。病棟には常時複数名の人工呼吸患者が入院しており、平日は当直 1 名＋オンコール 1 名、休祭日は当直 1 名＋オンコール 2 名体制をとっているが重篤症例にはスタッフ総動員で診療にあたっている。

質目標の振り返り：年度初めに設定した目標としての医療安全講習の受講率、クリニカルパス利用率、学術発表の回数、医師数確保などの目標は概ね達成することができた。

診療実績

過去 10 年間の入院患者数を図 1 に、2020 年（1~12 月）の入院症例疾患統計を表 1 に示す。新型コロナウイルス感染症の影響により、入院患者は例年の 50% 程度まで減少したが、入院患者のうち大きな比率を占める RS ウイルス感染症とインフルエンザの患者が 5 月以降はゼロという特徴的な現象がみられた。外来受診者数も受診控えにより 4 月から大きく減少したが 9 月以降は徐々に回復した。

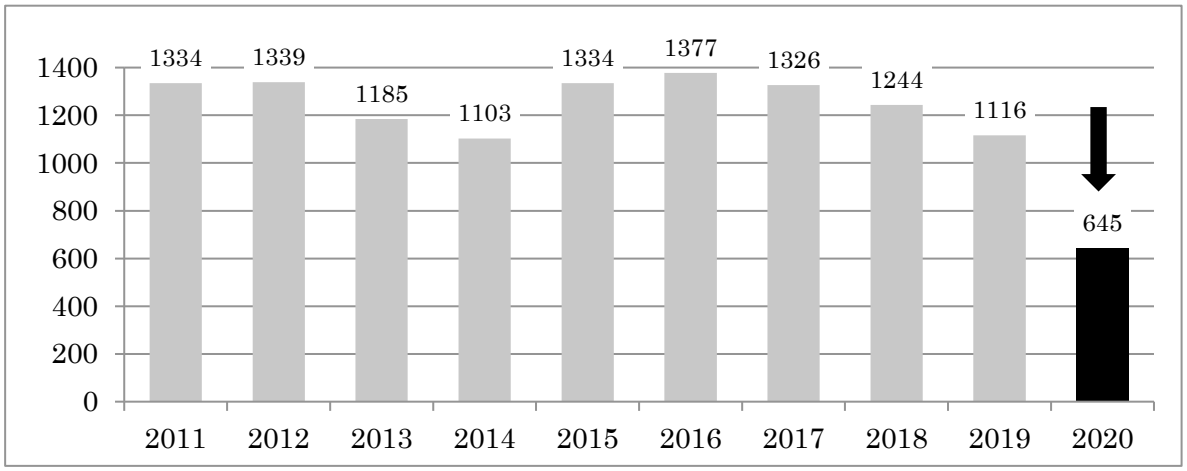


図 1. 過去 10 年間の小児科病棟入院患者数

表 1. 小児科入院患者疾患概要（主要疾患のみ、一部重複あり、2020 年 1 ～ 12 月）

概要					
入院総数	645 名				
人工呼吸	22 名				
転院	12 名				
疾患概要					
■呼吸器疾患		■（急性）神経疾患		■血液・腫瘍性疾患	
喘息	57	熱性けいれん	46	血小板減少性紫斑病	1
肺炎	17	てんかん	36	脳腫瘍	1
細気管支炎	14	けいれん重積	19		
クループ	3	けいれん群発	15	■循環器疾患	
		急性脳症	3	先天性心疾患	19
■ウイルス感染症		無菌性髄膜炎	3	頻拍性不整脈	2
RS ウイルス感染症	15（5 月～ 0）	Bell 麻痺	3		
HMP ウイルス	14（5 月～ 0）	硬膜下血腫	1	■内分泌疾患	
インフルエンザ	19（3 月～ 0）			低身長（検査）	27
アデノウイルス	9	■精神疾患		低血糖症	5
突発性発疹	14	身体表現性障害	11	糖尿病	3
ロタウイルス	0	摂食障害	8		
				■その他救急疾患	
■血管炎・アレルギー疾患		■消化器疾患		虐待・ネグレクト	7
川崎病	26	ウイルス性胃腸炎	18	薬物誤飲・中毒	3
PFAPA 症候群	3	細菌性腸炎	8	気道異物	1
血管性紫斑病	1	腸重積	2	溺水	2
食物負荷試験	13	炎症性腸疾患	7	熱傷	1
アナフィラキシー	7	肥厚性幽門狭窄症	2	その他の外傷	10
消化管アレルギー	3				
		■腎・尿路疾患			
■重症細菌感染症		ネフローゼ症候群	5		
尿路感染症	37	膀胱尿管逆流症	2		
菌血症（市中発症）	6				
細菌性髄膜炎	1				

今後の課題と展望

「働き方改革」とのバランスをとりながら診療の質を落とさず「断らない小児救急診療」をどう展開していくは重要な課題であり、常勤、非常勤を問わず当直可能医師の安定的な確保が必要である。

発達に問題を抱える小児の受診者は増加傾向にあるが、専属スタッフ（言語聴覚士、公認心理師）の不足から初回療育提案までに長時間お待ち頂いている現状がある。専門コメディカルスタッフの増員は急務である。一方、旭市教育委員会と定期的な意見交換が始まり、医療と教育双方で地域の子ども達を見守るという新たな取り組みの効果が期待される。

（文責　北澤克彦）

●新生児科(2020年)

総入院数……456
内新生児搬送…… 38
再入院数…… 13

◆出生体重別（院内出生のみ）
1000g 未満 …… 1
1001g ～ 1500g …… 10
1501g ～ 2000g …… 19
2001g ～ 2500g …… 77
2501g 以上 ……311

人工呼吸器管理…… 38

●心臓外科(2020年度)

① 2020 年度の方針・概要

2020 年度も常勤医 4 名の体制で診療にあたった。心臓大血管手術数は covid-19 の影響もあり 102 件と減少したが、2019 年度から開始した TAVI(経カテーテル大動脈弁植込術) 手術数が 42 件と大幅に増加したため、TAVI を含めた心臓大血管手術数は 144 件と前年より増加した。手術の内訳としては、比較的緊急性の高い虚血性心疾患の手術数がやや増加、大動脈手術数は横ばいであったが、心臓弁膜症手術数は減少した。右小開胸による MICS 手術数は弁膜症手術数の減少を受け、9 件と前年度 17 件から大きく減少した。

2020 年度の当科部門「質」目標として、1. 手術成績の安定化、2. 入院日数の短縮、3. 手術症例数の維持、4. 常時緊急症例受入を上げていた。また、それぞれの方針に対して、1. 定時手術死亡ゼロを目指す (目標値 5% 以下)、2.DPC 入院期間 I,II での退院比率 60% 以上、3. 心大血管手術件数年 120 件 (月 10 件)、4. 緊急手術依頼の全例受入れを目指す (実質目標当院で 8 割以上の対応) ことを目標として設定していた。

手術数に関しては、心臓外科手術件数は総数 155 例、うち心臓大血管手術数 102 例、TAVI 手術が 42 例であり、年間 120 例 (心臓大血管手術 100 例) の目標に達した。手術死亡 9 例のうち、待機手術症例は 3 例であり、TAVI を除く待機手術 87 例の手術死亡率は 3.4% で目標を達成したものの、昨年より上昇した。2020 年度の DPC 入院期間 I,II での退院患者の比率は 57.0%(上半期 63.5%、下半期 52.2%) と、目標に届かず。当科の DPC 対象患者 79 人のうち、内科からの継続入院で術前入院日数が 10 日以上となった患者が 10 人いたことが、比率の低下につながったものと思われる。2020 年度 1 年間の緊急手術適応症例は 28 例で、うち 15 例 (54%) を当院で対応できたが、4 例は当科手術中のため、1 例は手術室対応不可能のため、8 例は当院でまだ対応できていない緊急 TEVAR(胸部大動脈ステントグラフト治療) 目的に、他院へ搬送となった。緊急手術適応症例数自体は今年はやや減少したが、電話問い合わせの時点で断っている症例もあり、今後も可能な限り対応していく方針である。緊急 TEVAR への対応を 2021 年度中に実現する予定である。

②手術統計

心臓大血管手術 2020 年		手術件数	手術死亡
弁膜症			
単弁手術	大動脈弁置換術	19	1
	TAVI	42	
	僧帽弁置換術	4	
	僧帽弁形成術	5	
二弁手術	大動脈弁置換術＋僧帽弁形成術	1	
	大動脈弁置換術＋三尖弁形成術	2	
	僧帽弁置換術＋三尖弁形成術	0	
	僧帽弁形成術＋三尖弁形成術	6	
三弁手術	二弁置換術＋三尖弁形成術	3	
虚血性心疾患			
人工心肺使用 単独冠状動脈バイパス術		4	1
人工心肺非使用 単独冠状動脈バイパス		21	1
心筋梗塞合併症		2	2
心臓腫瘍		0	
成人先天性心疾患		2	
その他の心臓手術		0	
胸部大動脈疾患			
大動脈解離	急性大動脈解離 上行置換	5	1
	部分弓部置換	2	
	全弓部置換	4	2
	解離性大動脈瘤 TEVAR	1	
真性大動脈瘤	大動脈基部置換	2	
	上行置換	3	
	部分弓部	1	
	全弓部置換	5	1
	下行置換	1	
	肋間動脈閉鎖	1	
	TEVAR	5	
破裂性		3	
不整脈手術 (他の心臓大血管手術と併施)		(11)	
右小開胸手術 (MICS)		(9)	
合計 (TAVI 含む)		144	9

●整形外科（2020年度）

1．2020 年度のトピックス

2020 年度は 4 月より常勤医 4 名、新任が 2 名、5 月 1 日から 10 月 31 日の期間と 11 月 1 日から 3 月 31 日の期間にそれぞれ 1 名ずつ後期研修医が派遣され、5 月からは計 7 名の体制となった。

しかしながら指導医である常勤医 1 名が事故による上肢の障害により手術に入ることが不可能となり実質 1 名減員となった。そのため外来に関しては上半期に千葉大学整形外科教室より応援医師の派遣を受け、手術に関しても例年以上の支援を受けた。

総手術件数は 968 件（前年度 1066 件）と減少した。脊椎手術件数は 163 件（前年度 165）と前年度と同等であったが、人工関節手術は 71 件（前年度 88）と減少した。

外傷に関しては大腿骨近位部骨折の手術件数は 209 件（前年度 211）と前年度と変化は無かった。

人工関節手術の減少は Covid19 の感染拡大のため待機的手術の自粛傾向があったためと思われる。外傷や感染などの臨時手術に関しては本来の手術日以外にも空き枠があれば手術を行った。

臨時手術は高齢者や合併症の多い症例が多く麻酔科医の協力が必要であり、定時枠の後で手術が入るためほぼ毎日夜間まで手術を行うことが常態化した。2024 年度に始まる働き方改革に向けて延期が困難な臨時手術の扱いをどうするかは喫緊の課題である。

ISO 質目標に基づいた振り返り

1. 医療安全文化の醸成

手術が夜間に及ぶことが多く、病院の主催する安全講習会の受講が困難なことから本年度も Safety plus の受講を奨励した。年 2 回の医療安全研修会は全員が受講した。

2. 医療の質の維持向上

骨粗鬆症による 2 次骨折の予防のため、橈骨遠位端骨折で来院した患者の中で 60 歳以上の女性に対して全例骨密度検査を行い、治療が必要な骨粗鬆症患者の早期発見を目標とした。4 月から 9 月までの対象者は 45 例で検査実施は 19 例、実施率は 42%であった。10 月から 3 月は対象 39 例で検査実施は 7 例であり実施率は 18%と低下した。下半期の骨折は 12 月以降に 34 例が発症しており、骨折の治療中で時期的に骨密度検査の段階までに至らなかったためと考える。

脱落例に関しては、外来を担当した大学派遣の医師まで連絡が伝わっていなかったこと、通院困難で他院に紹介、高齢者で検査を希望しない、検査オーダー漏れが原因として挙げられる。

3. 働き方改革の推進

有給休暇を各自年間 5 日以上取得することを目標とした。5 か月勤務の後期研修医を除いた医師は全員取得できた。

4. 治療効率の向上

骨粗鬆症の外来管理に関しては専門外来を立ち上げ初診医師の労力を下げることで検査治療の促進を図ることを目標としたが、外来の人員不足により設置は困難であった。橈骨遠位端骨折後の骨密度検査の施行率を見ると 2 次予防が満足に行われていないことが分かり、来年度は当面月、水、金の主任部長外来で治療の初期対応を行うこととする。

2. 実績

年間整形外科新患数 3659 人
手術症例　968 件

1．骨折手術

鎖骨　ORIF	3
上腕骨　頚部　ORIF	8
骨幹部　ORIF	11
一時的創外固定術	1
顆上　ORIF	7
経皮鋼線固定術	4
一時的創外固定	1
顆部　ORIF	8
一時的創外固定	1
肘関節脱臼骨折　ORIF	1
一時的創外固定	1
前腕　骨幹部　ORIF	8
一時的創外固定	1
経皮鋼線固定術	1
橈骨遠位端 ORIF	75
一時的創外固定	6
経皮鋼線固定	2
橈骨頭　人工橈骨頭	2
肘頭　ORIF	11
手　手指　ORIF	7
経皮鋼線固定術	15
骨盤　寛骨臼骨折　ORIF	3
その他骨折　ORIF	3
大腿骨	
転子部　ORIF	106
頚部　ORIF	24
人工骨頭置換術　70	
転子下　ORIF	4

インプラント周囲骨折　ORIF　5
骨幹部　ORIF　10
一時的創外固定 1
顆上　ORIF　3
顆部　ORIF　4
遠位骨端線損傷　経皮鋼線固定術　1

膝蓋骨　ORIF　14

下腿骨　脛骨高原　ORIF　7
脛骨粗面　ORIF　1
脛骨インプラント周囲骨折 ORIF　2
脛骨骨幹部　ORIF　14
一時的創外固定　3
脛骨遠位端 ORIF　4
経皮鋼線固定術　1
足関節　ORIF　30
一時的創外固定　2
踵骨　ORIF　8
足　ORIF　6
抜釘　90

2．脊椎手術
頚椎　椎弓形成術　16
椎弓切除術　2
前方固定術　6
後方固定術　20
頚椎～胸椎　後方固定　3
胸椎　椎弓切除術　1
前方固定術　1
後方固定術　5
経皮的椎体形成術　1
胸椎～腰椎　後方固定　23
腰椎　椎弓切除術　6
椎弓形成術　4
髄核摘出術　3
後方固定術　39
前方固定術　11
前方後方同時固定術　9
骨切り術　1
経皮的椎体形成術　1
血腫除去術　2
腰椎～仙骨　後方固定　1
腰椎～腸骨　後方固定　1
胸椎～腸骨　後方固定　1
仙骨　後方固定術　1

3．関節手術
人工関節手術
人工股関節　45
人工膝関節　24(うち UKA 12)
人工股関節再置換術　2

関節鏡視下手術
前十字靭帯再建術　3
鏡視下半月縫合術　1
鏡視下関節炎清掃術　2
非観血的脱臼整復術　股　2

4．手の外科
腱縫合術　3
腱移行術　4
腱移植術　1
手関節形成術＋腱移行術　6
関節固定術　6
靭帯縫合　2
腱鞘切開　6
滑膜切除　2
手根管開放術　31
神経移行術　14
神経再生誘導手術　2
Dupuytren 拘縮手術　1

5．足の外科
アキレス腱縫合術　5
内反足腱切離　1

6．腫瘍
腫瘍切除　4

7．その他
感染症 （骨掻爬　切開・デブリドマン・持続洗浄など）　16
切断術　大腿　1
下腿　1
上腕　1
手指　1
筋膜切開
下腿　1

●リハビリテーション科(2020年度)

2020年度　疾患別新規処方件数

	理学療法		
	入院	外来	小計
脳血管障害	762	21	783
頭部外傷	54	1	55
その他の脳疾患	240	18	258
脊髄損傷	28	2	30
神経筋疾患	36	5	41
運動器の疾患・外傷	970	229	1,199
切断	19	6	25
呼吸器疾患	754	7	761
循環器疾患	1,153	140	1,293
小児疾患	30	37	67
がん	1,569	189	1,758
運動器不安定症	55	2	57
廃用症候群	1,117	0	1,117
松葉杖指導	1	88	89
その他の疾患	812	108	920
小　計	7,600	853	
合　計		8,453	

	作業療法		
	入院	外来	小計
脳血管障害	606	56	662
頭部外傷	32	4	36
その他の脳疾患	118	77	195
脊髄損傷	30	7	37
神経筋疾患	16	7	23
運動器の疾患・外傷	250	214	464
呼吸器疾患	5	0	5
循環器疾患	5	1	6
小児疾患	0	5	5
がん	37	0	37
運動器不安定症	1	0	1
廃用症候群	7	0	7
その他の疾患	2	1	3
小　計	1,109	372	
合　計		1,481	

	言語聴覚療法		
	入院	外来	小計
脳血管障害	527	9	536
頭部外傷	13	1	14
その他の脳疾患	110	3	113
脊髄損傷	5	0	5
神経筋疾患	25	0	25
運動器の疾患・外傷	18	0	18
呼吸器疾患	272	1	273
循環器疾患	64	0	64
がん	98	1	99
廃用症候群	162	1	163
その他の疾患	182	0	182
小計	1,476	16	
合計		1,492	

療法別業務年報

理学療法　2020 年度

診療行為			4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合 計	
			人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位
心大血管	205	外来	38	104			1	2			9	23	37	101	75	211	53	154	75	205	66	190	64	177	60	169	478	1,336
		入院	916	1,474	865	1,408	1,025	1,541	1,079	1,613	844	1,221	1,009	1,351	843	1,196	805	1,103	920	1,157	1,163	1,464	941	1,228	1,304	1,611	11,714	16,367
脳血管	245	外来	83	183	52	110	72	145	170	363	176	379	184	393	200	428	170	366	194	415	182	385	175	374	208	439	1,866	3,980
		入院	1,679	3,036	1,233	2,264	1,428	2,618	1,189	2,219	1,384	2,283	1,506	2,417	1,895	2,848	1,662	2,371	1,475	2,132	1,436	1,855	1,298	1,697	1,645	1,960	17,830	27,700
脳血管(減)	221	外来																	1	1							1	1
		入院	49	67	55	76	35	47	31	47	16	16	7	8	10	12	48	55	60	68	81	86	61	68	4	4	449	545
脳血管(要介減)	132	入院									6	6	16	17	6	6					1	3	5	5	13	13	47	50
廃用症候群	180	外来																			3	7	1	1	1	1	5	9
		入院	720	1,149	827	1,315	1,095	1,841	973	1,461	762	1,121	885	1,229	1,249	1,643	1,158	1,496	1,389	1,723	1,207	1,510	1,071	1,355	1,388	1,671	12,724	17,514
廃用(減)	162	外来																										
		入院	3	4			18	22	83	121	87	125	48	52	15	15	33	39	26	27	34	34	56	63	52	56	455	558
廃用(要介減)	97	入院											3	3	6	6	5	5	12	12	18	18	24	24	25	26	93	94
運動器	185	外来	220	447	190	386	200	393	196	393	183	379	204	408	238	467	231	454	281	544	234	456	208	410	197	317	2,582	5,054
		入院	902	1,694	850	1,485	866	1,644	966	1,639	953	1,514	1,011	1,574	1,286	1,814	1,108	1,540	986	1,318	834	1,092	954	1,235	1,160	1,498	11,876	18,047
運動器(減)	167	外来															4	8									4	8
		入院			28	35	49	70	39	59	15	16	22	25	26	27	55	59	48	56	7	7			21	25	310	379
運動器(要介減)	100	入院									3	3			5	8	3	4									11	15
呼吸器	175	外来	1	3					11	21	14	29	11	22	9	18	9	18	11	22	4	8	4	9	3	6	77	156
		入院	748	1,200	715	1,110	701	1,070	790	1,166	789	1,102	807	1,103	822	1,090	618	792	960	1,191	1,046	1,382	783	1,028	958	1,205	9,737	13,439
がん患者	205	外来																										
		入院	1,423	2,120	1,238	1,871	1,539	2,129	1,337	1,816	1,259	1,652	1,265	1,626	1,533	1,945	1,272	1,587	1,350	1,649	1,133	1,430	1,023	1,284	1,498	1,766	15,870	20,875
コストなし	0	外来	35	68	38	70	61	132	71	140	56	102	83	165	55	104	68	128	54	104	55	103	49	99	76	147	701	1,362
		入院	404	419	388	397	569	579	590	604	474	487	396	399	227	245	202	205	248	259	152	159	126	131	156	156	3,932	4,040
早期加算(心大血管)	30	入院	794	1,263	739	1,187	845	1,263	885	1,319	661	935	840	1,123	657	923	666	918	821	1,025	999	1,240	742	977	960	1,190	9,609	13,363
早期加算(脳血管)	30	入院	945	1,859	755	1,475	1,013	1,915	905	1,723	986	1,581	1,035	1,665	1,324	2,001	1,131	1,604	849	1,212	928	1,220	930	1,247	1,166	1,407	11,967	18,909
早期加算 (廃用)	30	入院	477	754	580	904	631	1,094	547	833	561	838	694	981	990	1,288	862	1,108	971	1,220	855	1,088	804	1,011	1,107	1,329	9,079	12,448
早期加算(運動器)	30	入院	726	1,357	642	1,097	662	1,289	760	1,308	718	1,134	797	1,260	866	1,206	777	1,034	687	945	574	769	644	861	815	1,056	8,668	13,316
早期加算(呼吸器)	30	入院	559	898	535	847	496	786	633	938	622	886	617	831	645	862	517	655	771	960	788	1,041	602	783	819	1,030	7,604	10,517
初期加算(心大血管)	45	入院	582	903	545	848	584	844	591	863	487	670	562	744	477	661	494	678	619	773	748	937	507	675	697	859	6,893	9,455
初期加算(脳血管)	45	入院	539	1,026	496	928	562	1,010	574	1,009	583	895	589	948	796	1,158	672	943	475	648	576	746	545	723	673	815	7,080	10,849
初期加算(廃用)	45	入院	289	461	312	484	336	565	267	393	351	508	374	533	614	786	479	611	574	729	531	663	493	608	744	892	5,364	7,233
初期加算(運動器)	45	入院	490	910	410	681	385	779	457	742	458	725	495	773	550	764	492	661	436	603	314	420	438	585	512	649	5,437	8,292
初期加算(呼吸器)	45	入院	367	598	349	543	310	492	417	602	360	506	413	549	382	521	339	418	529	664	511	673	402	517	484	599	4,863	6,682
在宅訪問	300	外来																	1	2					1	2	2	4
外来合計			342	737	242	496	273	540	377	777	382	810	436	924	522	1,124	467	1,000	563	1,189	489	1,046	452	971	470	934	5,015	10,548
入院合計			6,440	10,744	5,811	9,564	6,756	10,982	6,487	10,141	6,118	9,059	6,572	9,397	7,696	10,610	6,767	9,051	7,226	9,333	6,960	8,881	6,216	7,987	8,068	9,835	81,117	115,584

作業療法　2020 年度

診療行為			4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合 計	
			人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位
心大血管	205	外来											1	2	2	5											3	7
		入院					18	32	14	29	18	28	20	23	21	23					17	27	4	4			112	166
脳血管	245	外来	31	59	19	37	41	93	52	110	55	122	68	156	58	125	57	119	57	123	56	112	57	110	58	114	609	1,280
		入院	1,006	1,961	753	1,386	959	1,797	823	1,596	812	1,295	925	1,405	1,096	1,527	810	1,150	686	1,051	743	1,051	723	948	979	1,260	10,315	16,427
脳血管(減)	221	外来													1	3			1	2							2	5
		入院	47	69	49	70	27	41	12	25	2	2			3	3	1	2	1	1	7	7			9	9	158	229
脳血管(要介減)	132	入院							1	1	6	6	3	3													10	10
廃用症候群	180	外来																										
		入院							7	13	17	27	22	25	8	10	5	6	15	21			5	6	1	1	80	109
廃用(減)	162	外来																										
		入院																										
廃用(要介減)	97	入院																										
運動器	185	外来	217	434	181	348	219	422	222	426	210	400	229	453	224	444	169	327	227	444	260	493	224	422	236	440	2,618	5,053
		入院	173	322	347	650	259	457	265	524	311	507	228	318	286	392	182	222	95	131	50	64	48	54	117	146	2,361	3,787
運動器(減)	167	外来											6	13	9	18	3	6									18	37
		入院			2	3							12	12	3	3									2	2	19	20
運動器(要介減)	100	入院																										
呼吸器	175	外来																										
		入院	9	10	7	13							11	18	1	1			6	14	5	9					39	65
がん患者	205	外来																										
		入院	87	151	85	135	34	42	62	111	58	88	57	75	77	109	33	39	35	58	24	31	16	17	10	10	578	866
コストなし	0	外来															2	4			1	3	1	1			4	8
		入院			1	1	5	8	1	2	3	5			4	4			2	3	2	4			1	1	19	28
早期加算(心大血管)	30	入院					2	2			11	19									17	27	1	1			31	49
早期加算(脳血管)	30	入院	702	1,439	554	1,003	775	1,439	688	1,319	605	949	696	1,064	901	1,261	659	943	485	734	544	783	598	778	793	1,037	8,000	12,749
早期加算(廃用)	30	入院							7	13	11	20	11	13			1	1					5	6	1	1	36	54
早期加算(運動器)	30	入院	173	322	303	550	213	378	251	497	278	458	195	270	247	336	167	201	66	96	31	45	36	42	89	114	2,049	3,309
早期加算(呼吸器)	30	入院	9	10									11	18	1	1			6	14							27	43
初期加算(心大血管)	45	入院									8	15									9	18					17	33
初期加算(脳血管)	45	入院	415	817	347	582	423	793	418	759	307	472	408	612	571	768	425	622	281	423	322	468	375	474	486	626	4,778	7,416
初期加算(廃用)	45	入院									7	13	4	5									3	3			14	21
初期加算(運動器)	45	入院	116	214	173	310	125	217	156	304	156	254	136	183	157	214	94	106	48	73	31	45	30	33	50	61	1,272	2,014
初期加算(呼吸器)	45	入院	8	9									4	7					1	2							13	18
在宅訪問	300	外来	2	3	2	4	2	4	2	4	1	2	2	4	3	6	2	4	1	2	2	4	2	4	3	6	24	47
外来合計			250	496	202	389	262	519	276	540	266	524	306	628	297	601	231	456	286	571	318	609	283	536	297	560	3,274	6,429
入院合計			1,322	2,513	1,243	2,257	1,297	2,369	1,184	2,299	1,224	1,953	1,278	1,879	1,495	2,068	1,031	1,419	838	1,276	846	1,189	796	1,029	1,118	1,428	13,672	21,679

言語療法　2020 年度

診療行為			4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合 計	
			人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位
脳血管	245	外来	14	39	9	26	17	49	3	8	1	3	2	3	6	10	5	11	5	11	2	4	2	4	6	15	72	183
		入院	529	691	412	494	538	648	391	480	523	593	606	707	702	815	593	719	471	617	568	670	565	726	685	856	6,583	8,016
脳血管(減)	221	外来																										
		入院	42	42	27	27	8	8	10	10							6	7	36	40	37	38	23	23	16	16	205	211
脳血管(要介減)	132	入院																					1	1	1	1	2	2
廃用症候群	180	外来																										
		入院	19	21	32	36	62	68	69	77	52	55	37	37	99	99	127	139	135	148	65	76	100	119	148	180	945	1,055
廃用症候群	108	入院																										
廃用(減)	162	外来																										
		入院							20	31	16	17															36	48
廃用(要介減)	97	入院																										
呼吸器	175	外来																										
		入院	117	139	166	178	131	149	113	125	178	182	180	200	224	241	138	146	332	368	294	346	188	207	150	182	2,211	2,463
がん患者	205	外来																										
		入院	64	105	66	77	59	74	71	105	80	104	90	127	88	104	78	86	50	59	53	54	26	29	48	67	773	991
摂食機能	185	外来																										
		入院	26	26	47	47	98	98	97	97	38	38	25	25	38	38	11	11	17	17	18	18	24	24	31	31	470	470
摂食（非算定）	0	外来																										
		入院	38	38	66	66	76	76	122	122	86	86	75	75	45	45	30	30	27	27	46	46	69	69	107	107	787	787
コストなし	0	外来															1	1									1	1
		入院	3	3	2	2	4	4											3	3			1	1			13	13
早期加算(脳血管)	30	入院	348	482	286	354	464	566	314	390	383	437	410	483	525	597	424	513	305	369	373	429	427	551	506	632	4,765	5,803
早期加算(廃用)	30	入院	11	12	28	32	23	26	15	15	40	42	32	32	63	63	72	84	88	100	63	74	76	86	96	113	607	679
早期加算（呼吸器）	30	入院	97	116	147	155	122	139	95	107	146	149	142	154	173	187	119	127	265	295	158	183	154	169	132	164	1,750	1,945
初期加算(脳血管)	45	入院	195	262	194	231	249	301	203	259	238	279	234	255	310	357	251	285	191	228	216	246	234	295	311	380	2,826	3,378
初期加算(廃用)	45	入院	8	9	8	10	12	14	10	10	27	29	21	21	40	40	57	68	53	61	47	57	37	40	58	68	378	427
初期加算(呼吸器)	45	入院	70	87	90	97	81	96	69	78	87	88	100	108	91	100	80	86	175	200	84	92	84	94	89	113	1,100	1,239
在宅訪問	300	外来																										
外来合計			14	39	9	26	17	49	3	8	1	3	2	3	6	10	5	11	5	11	2	4	2	4	6	15	72	183
入院合計			835	1,062	816	925	972	1,121	893	1,047	973	1,075	1,013	1,171	1,196	1,342	983	1,138	1,068	1,276	1,081	1,248	996	1,198	1,186	1,440	12,012	14,043

評価・指導・検査・処置

診療行為			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
			件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数
総合計画評価1	300	外来	105	97	87	92	98	101	107	93	126	124	120	111	1,261
		入院	692	647	721	720	713	764	798	765	799	767	719	884	8,989
総合計画評価2	240	外来		1				2	2	1					6
		入院	4	9	7	4	3	3	4	8	11	3	5	1	62
退院時指導	300	入院	95	78	128	118	103	101	122	83	121	102	95	115	1,261
退院前訪問指導	580	入院	1	2	2		2	1	2	1	1			1	13
リンパ浮腫（指導）	100	外来													
		入院	3	2	5	8	6	5	3	3	6	3		7	51
認知・心理検査（極複雑）	450	外来				1									1
		入院													
認知・心理検査（容易・簡単）	80	外来	2		5	6	5	5	7	3	3	2	6	7	51
		入院													
治療用装具採型法（その他）	200	外来			2	1		1					1		5
		入院				1				1		1			3

2020 年度 訪問リハビリ実績（介護保険）

	利用者数			延件数	訪問リハ１		加　　算			減算	合計単位数
	実数	新規	終了		実施回数	算定単位数	提供体制	リハマネⅠ	短期集中リハ	計画診療未実施	
４月	19	3	4	108	216	62,640	1,296	18 回 4,140	40 回 8,000	20 回 -400	75,676
５月	15	3	3	65	130	37,700	792	17 回 3,910	16 回 3,200	26 回 -520	45,082
６月	18	0	0	103	206	59,740	1236	17 回 3,910	38 回 7,600	44 回 -880	71,606
７月	21	5	5	117	234	67,860	1,404	22 回 5,060	36 回 7,200	34 回 -680	80,844
８月	18	1	1	109	218	63,220	1,308	19 回 4,370	31 回 6,200	26 回 -520	74,578
９月	19	1	3	102	203	58,870	1,098	21 回 4,830	20 回 4,000	16 回 -320	68,478
10月	22	0	4	118	236	68,440	1,416	22 回 5,060	24 回 4,800	18 回 -360	79,356
11月	19	2	3	100	200	58,000	1,200	20 回 4,600	14 回 2,800	14 回 -280	66,320
12月	21	4	4	116	232	67,280	1,392	24 回 5,520	32 回 6,400	16 回 -320	80,272
１月	20	2	3	111	221	64,090	1,326	21 回 4,830	22 回 4,400	16 回 -320	74,326
２月	20	1	1	99	197	57,130	1,182	21 回 4,830	22 回 4,400	14 回 -280	67,262
３月	19	1	3	115	230	66,700	1,380	20 回 4,600	14 回 2,800	24 回 -480	75,000
合計	51 (延231)	23	34	1,263	2,523	731,670	15,030	242 回 55,660	309 回 61,800	268 回 -5,360	858,800

令和２年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実績報告書

事業実施期間	令和２年４月１日～令和３年３月３１日
圏域	香取海匝　地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	地方独立行政法人　総合病院国保旭中央病院
重点活動 項目評価	①　地域ケア個別会議運営相談、専門職意見交換会 →　コロナ禍により企画立てられず開催中止 ②　生活期リハ関係者の連携促進 →　WEB会議の導入、WEB研修会開催

１　全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業

① 連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築

ア　連絡協議会

・3 月（書面開催）

参集範囲：圏域内地域包括支援センター、健康福祉センター、地域リハ・パートナー　他

イ　その他の会議

・香取海匝圏域 地域リハ・パートナー会議

第 1 回：11 月 12 日、第 2 回：3 月 23 日

・生活期リハ支援班会議

第 1 回：10 月 20 日、第 2 回：2 月 22 日

・地域ネットワーク支援班会議

第 1 回：4 月 15 日、第 2 回：7 月 15 日、第 3 回：10 月 21 日、第 4 回：1 月 28 日、第 5 回：3 月 25 日（中止）

② 地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力

・一般介護予防事業への支援

旭市

介護予防サポーター養成講座(初級編)　講師：9 月 16 日

住民主体の通いの場支援

椎名内地区：6 月 26 日、11 月 27 日

萬歳地区：7 月 29 日

あさピー☆きらり体操動画作成協力：5 月 28 日、6 月 10 日、6 月 12 日、6 月 24 日

匝瑳市

いきいき百歳体操リーダー養成講座：10 月 23 日、12 月 16 日

一般介護予防事業に係る意見交換会（書面開催）

・地域ケア個別会議への専門職派遣

旭市：5 月 20 日（中止)、7 月 22 日（中止)、9 月 23 日、11 月 25 日、1 月 27 日（中止)、3 月 24 日

・第 10 回旭市地域ケア実務者会議　講師：3 月 18 日

〈〈・旭市介護保険運営協議会・旭市地域包括支援センター運営協議会〉〉
第1回：8月27日、第2回：2月25日
〈〈・旭市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会〉〉
第3回：11月26日、第4回：2月25日

③ リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援
・香取健康福祉センターへの相談支援
リハビリテーション専門職による訪問相談事業：
4月・5月（中止）、6月（相談なし）、7月15日、8月（相談なし）9月17日、
10月（相談なし）、11月17日、12月23日（中止）、1月・2月（中止）、3月22日

④ 研修等の実施を通じた協働促進

・令和2年度障害のある方の地域生活・就労に関する地域意見交換会

『高次脳機能障害について知ろう！』：12月3日

・高次脳機能障害者支援者向け研修会

『高次脳機能障害者の自動車運転支援』：2月27日

・生活期リハ研修会

第1回『コロナ禍の地域リハ活動について考えよう』：2月22日

2　圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業
⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施
⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

（　⑤　）内容：「障害者交流会 和希楽会」運営支援

・「障害者交流会 和希楽会」運営支援

令和2年度和希楽会全体集会：6月7日（中止）

和希楽会ニュース発行：第20号（9月）、第21号（3月）、号外（5月）

マッチング活動

食事会：5月30日（中止）

サビキ釣り：4月19日・5月17日・6月21日・7月19日・8月16日（中止）、
9月20日（7名）、10月18日（2名）

公園散歩：野栄ふれあい公園：9月27日（14名）
飯岡灯台・飯岡漁港：10月18日（10名）
袋公園：11月8日（19名）

障がい者ゴルフ：中止

料理教室：7月26日（中止）

イチゴ狩り：2月21日（中止）

オンライン忘年会：12 月 8 日（9 名）

（ ⑥ ）内容：

・通いの場活動再開後の状況確認、ならびに参加住民を対象とした外出自粛による活動の変化に関する調査（14 団体）

ひかた桜会：10 月 14 日、旭すみれ会：10 月 4 日、宮本わかばクラブ：10 月 15 日、

広原ハナミズキ：10 月 15 日、瀬道あじさいクラブ：10 月 16 日、

新町もみじ会：10 月 22 日、東町悠悠会：10 月 22 日、干潟つばき会：10 月 23 日、

百寿会：11 月 6 日、松沢クラブ：11 月 8 日、赤座クラブ：11 月 19 日、

宿天神さくら会：12 月 15 日、福寿会：12 月 15 日、西琴田リバーサイド：12 月 21 日

・旭中央病院祭りへのブース出展（体力測定・介護予防の取り組み紹介）（中止）

・住民を対象とした出前講座への講師派遣

横芝光町寿大学「フットケア」：6 月 18 日（中止）

（ ⑧ ）内容：

・地域リハビリテーション出前講座（応募なし）

・各種会議・研修会等出席

千葉県地域リハビリテーション広域支援センター担当者連絡会議

第 1 回：8 月 3 日、第 2 回：3 月 12 日

千葉県地域リハビリテーション広域支援センター担当者意見交換会

第 1 回：7 月 9 日、第 2 回：8 月 3 日、第 3 回：10 月 26 日、第 4 回：1 月 26 日

第 5 回：3 月 12 日

WEB 会議システムを利用したオンライン情報交換会：6 月 25 日

ちば地域リハ・パートナーとオンラインでつながろう！：10 月 2 日

第 14 回千葉県地域リハビリテーションフォーラム：1 月 9 日

WEB 意見交換会（ちば地域リハ・パートナー）：3 月 1 日

令和 2 年度地域リハ調整者養成研修：3 月 19 日

第 5 回　きょうと地域リハビリテーションフォーラム：8 月 28 日

旭市地域ケア実務者会議

第 5 回：9 月 16 日、第 7 回：11 月 20 日、第 8 回：1 月 21 日、第 9 回：2 月 17 日

旭市介護支援専門員事例検討会：10 月 2 日

千葉県高次脳機能障害支援普及事業 実績報告
（令和2年度集計）

1　相談支援事業

区分	直接相談（当事者家族からの相談）				間接相談（行政・医療・福祉等の相談）				合計
	電話	来院／来所	メール・書簡	その他（訪問等）	電話	来院／来所	メール・書簡	その他（訪問等）	
延べ数	9	126	4	111	53	2	19	1	325

2　普及・啓発事業

区分	実施時期	具体的な実施内容
①	7月	こ～じのう掲示板41号への寄稿
①	9月24日	東総就業センターとの意見交換会
①	随時	当院ホームページ内に、事業周知・報告用のページを作成
①	12月	こ～じのう掲示板42号への寄稿
①	3月	こ～じのう掲示板43号への寄稿
区分：①広報・啓発　②情報収集・調査　③診断評価・リハビリ　④その他		

3　研修事業

（1）-A　研修会等の企画

区分	日時	会議等名称	参加団体	参加者数
①	10月8日	意見交換会企画会議	千葉リハビリテーションセンター、東総就業センター、香取就業センター、旭中央病院	6
②	12月3日	令和2年　障害のある方の地域生活・就労に関する地域意見交換会	医療・障害福祉・行政・教育機関・就労機関など	57
②	2月27日	高次脳機能障害者への自動車運転支援研修会	医療・障害福祉・介護・行政・就労機関など	34
区分：①連絡会・協議会　②研修会・講演会　③勉強会・研究会　④家族会・交流会				

（1）-B　ケース会議（委託先内部におけるケース会議）の開催状況

ケース会議開催回数	4	回
ケース会議参加者数（上記会議の合計人数）	30	人

（2）　研修会等への参加・協力

区分	日時	会議等名称	参加者数
①	6月24日	令和2年度第1回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会	4
①	7月17日	令和2年度第1回支援コーディネーター全国会議（WEB）	4
①	8月7日	令和2年度　高次脳機能障害支援ネットワーク担当者会議	2
②	10月14日	高次脳機能障害支援者向け連続講座2020（WEB）	4
①	10月22日	関東甲信越ブロック・東京ブロック合同会議（WEB）	3
②	10月23日	高次脳機能障害リハビリテーション千葉懇話会（WEB）	9
②	2月10日	令和2年度千葉県高次能機能障害支援普及事業講習会（旭神経内科主催）	1
①	2月19日	令和2年度第1回高次脳支援拠点合同連絡協議会（旭神経内科主催）	1
①	2月26日	令和2年度第2回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会	3
①	2月26日	令和2年度第2回支援コーディネーター全国会議	4
②	2月26日	第2回自動車運転に関する医療従事者向け研修会	3
②	3月5日	小児高次脳機能障害支援者向け研修会	1
		延べ参加者数	**39**
区分：①連絡会・協議会　②研修会・講演会　③委託先外ケース会議　④勉強会・研究会　⑤家族会・交流会			

※神経精神科・医療連携福祉相談室での対応も実績数に含む

●脳神経外科（2020年）

2020 年の所属スタッフは、渡辺三郎、大屋滋、持田英俊、山本邦厚、鈴木孝典、上田浩太郎、千葉慶太郎の 7 名。

地域の中核病院として、救急医療を実施した。高度な脳神経外科治療に取り組んだ。看護師など病棟スタッフ全員と協力し、患者さんの安全と権利擁護に向けた取り組みを行った。リハビリテーションスタッフ、医療相談スタッフと協働し、地域の医療機関、介護・福祉機関との連携に努めた。

9 月に、脳神経外科病棟内にＳＣＵ (STROKE CARE UNIT)　3 床を開始し、利用率は 90% 以上を保持している。脳卒中に対して、予防的治療、血管内治療の割合が増加した。

船橋市立医療センター脳神経外科と連携し、日本専門医研修プログラムの基幹施設として、専門医の教育を行った。

手術実績　2020.1.1-12.31

大分類	小分類	件数	
脳腫瘍	（1）摘出術	33	
	（2）生検術・開頭術	2	
	・定位手術	5	
	（3）経蝶形骨洞手術	1	
	（4）広範囲頭蓋底腫瘍切除・再建術	0	
	その他	9	
			50
脳血管障害	（1）破裂動脈瘤	19	
	（2）未破裂動脈瘤	14	
	（3）脳動静脈奇形	2	
	（4）頸動脈内膜剥離術	1	
	（5）バイパス手術	2	
	（6）高血圧性脳内出血・開頭血腫除去術	9	
	・定位手術	1	
	その他	8	
			56
外傷	（1）急性硬膜外血腫	3	
	（2）急性硬膜下血腫	14	
	（3）減圧開頭術	2	
	（4）慢性硬膜下血腫	119	
	その他	11	
			149
奇形	（1）頭蓋・脳	1	
	（2）脊髄・脊椎	0	
	その他	0	
			1
水頭症	（1）脳室シャント術	29	
	（2）内視鏡手術	0	
	その他	3	
			32
機能的手術	（1）てんかん		
	（2）不随意運動・頑痛症・刺激術	0	
	・破壊術	0	
	（3）脳神経減圧術　　・三叉神経痛	6	

	・顔面痙攣	4	
	・その他	0	
	その他	0	
			10
血管内治療	（1）動脈瘤塞栓術　・破裂動脈瘤	15	
	・未破裂動脈瘤	31	
	（2）動静脈奇形　・脳	13	
	・脊髄	0	
	（3）閉塞性脳血管障害 ステント無し	54	
	（内、ステント使用例）	47	
	その他	4	
			164
その他	上記の分類すべてに当てはまらない	9	9
合計		471	471

●形成外科（2020年）

1：1年間のトピックス

2020年は、桑田（1月～12月）、中尾（1月～3月）、松原（1月～7月）、古瀬（1月～3月）、為本（1月～3月）、廬（4月～12月）、橋本（4月～12月）、磯崎（7月～12月）、切石（4月～12月）で、これまでに引き続き、形成外科疾患一般領域に関して広く診療を行っています。

当院形成外科の特徴として、マイクロサージャリー、クラニオフェイシャルサージャリーを中心とした先進的な医療を提供しています。リンパ浮腫の外科治療、顔面の形成術、乳房再建、糖尿病の重度潰瘍、骨・腱が露出する重度外傷、悪性腫瘍切除後の再建、眼瞼下垂、小児先天奇形、皮膚皮下良性腫瘍切除などに際して、積極的に治療を行い、良好な成績を収めています。

リンパ浮腫ではリンパ管静脈吻合、リンパ移植を中心に治療を行っています。顔面の形成術にも顕微鏡を用いた整容的治療を行っています。乳房再建は、インプラント、自家組織、脂肪注入などを組み合わせて行っています。重度潰瘍を他科多職種連携、地域連携で治療に当たっています。外傷の緊急手術も多く対応しています。小児先天奇形では、埼玉医科大学より時岡教授をお招きして、治療に当たっております。

旭中央病院および東総地区に益するような形成外科を目指しております。

2：診療実績（2020年1月～12月）

疾患大分類	入院手術			外来手術			計
	全身麻酔	腰麻・伝達麻酔	局所麻酔・その他	全身麻酔	腰麻・伝達麻酔	局所麻酔・その他	
外傷	56	51	44	0	4	436	591
先天異常	26	0	3	0	0	15	44
腫瘍	63	4	30	0	0	474	571
瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	8	0	1	0	0	31	40
難治性潰瘍	23	42	29	0	2	29	125
炎症・変性疾患	2	3	19	0	1	107	132
その他	8	0	17	0	0	21	46
Extra レーザー治療	2	0	0	0	0	7	9

●産婦人科(2020年)

１年間のトピックス

○ダヴィンチ手術(ロボット支援腹腔鏡下子宮全摘)の術者として、大藏医師に加え、高橋医師が加わった。

○新専門医制度の産婦人科基幹施設として、河野医師がプログラムに参加することになった。

◎1年間スタッフの人事異動(2020年4月～2021年3月)

2020年4月

高橋　健太医師　獨協医科大学から(東京医科歯科大学医局より)

三浦　貴大医師　JAとりで医療センターから

間野ちひろ医師　横浜みなと赤十字病院から

河野　智考医師　当院初期研修修了後採用(当院プログラム)

2021年3月

八重樫優子医師　退職

清水　陽彦医師　聖隷浜松病院へ

丸山　陽介医師　都立広尾病院へ

加茂　尚永医師　東京医科歯科大学へ

【診療統計】(外来、入院、分娩、手術件数等)

2020 年 (令和 2)

手術件数		567
開腹 (良性手術)	腹式単純子宮全摘術	57
	腟式単純子宮全摘術	0
	子宮筋腫核出術	7
	良性卵巣腫瘍手術	55
	異所性妊娠	7
腹腔鏡	全腹腔鏡下子宮全摘術 (TLH)	40
	腹腔鏡補助下腟式単純子宮全摘術	0
	卵巣手術	63
	異所性妊娠	5
ロボット支援下腹腔鏡下子宮全摘術		6
子宮鏡下手術 (TCR)		4
子宮頸がん手術		17
子宮体がん手術		22
卵巣がん手術		24
悪性腫瘍のうち	広汎子宮全摘術	9
	準広汎子宮全摘術	2
子宮脱	VTH ＋腟壁形成術＋腟断端挙上術	23
	腹腔鏡補助下腟式単純子宮全摘術	0
	中央腟閉鎖	3
円錐切除術		54
帝王切開		202
	選択的帝王切開術	111
	緊急帝王切開術	91
頸管縫縮手術		5

産科症例

分娩数 (母体数)		863
分娩数 (出産児数)		877
双胎		14
	DD	10
	MD	4
	MM	0
鉗子・吸引分娩	吸引	58
	鉗子	9
骨盤位経腟分娩		1
早産児数		89

●眼科（2020年度）

2020年4月は新型コロナウィルスに対して大学の関連病院と連携を取りながら対応を共有していくことに追われる事で始まった。簡易的な対策として診察室はそれぞれの細隙灯にアクリル板を設置。また眼科手術はマスク装用のまま施行となった。涙道手術は、硬性鏡の使用を制限し地域の感染状況と他施設の運用を確認しながら随時実施で対応とした。

人事に関しては前年に引き続き、7人体制で新年度が開始となった。12月末で神田医師が異動となり、2021年1月に秋山医師が就任。また12月末より淺野公子医師が産休となった。外来の待ち時間全体の延長が危惧されたが、大きな混乱は生じなかった。

手術件数は、1812件となり前年度より128件の増加となった。4〜5月は件数が減少したが、その後は回復し最終的に月平均151件となり全体の手術件数は増加することができた。医師の人数が維持され、それに合わせて手術室の金曜日午後の稼働が大きいと思われた。外来・病棟・手術室の関連部署の協力に重ねて感謝を申し上げたい。

同年の部署方針より振り返ると医療安全では左右眼の間違いによるインシデントが上半期に3件発生となった。新年度になり体制の切り替えていく時期に一致したのかもしれない。また日帰り白内障手術は月あたり50件以上を目標としていたが1ヶ月のみ達成が困難であったが年を通しての平均では目標を達することができた。

年間を通して、当科の前部長である稲用和也医師が顧問として難治症例の診断・手術治療を行い、東総地区の医療水準を高く維持することができた。

◆　医　師

顧問　稲用和也
部長　野本洋平
医長　淺野公子、新井隆浩
医員　藤野亮介、神田怜（〜2020年12月）、金ミンジェ、淺野祥太郎、秋山拓也（2021年1月〜）

◆　外　来

視能訓練士（ORT）（パート含）	10名
外来担当看護師	4名
看護補助員	1名
事務員（外来係）（パート含）	4名
〃（臨床支援係）	1名
外来診察室	7診

◆　病　棟

病床数	（11東病棟48床のうち28床）
病棟看護師	36名
看護補助員	7名
病棟診察室	2診

眼科手術・2020 年度

内眼手術	PEA+IOL	1,386
	ECCE+IOL	2
	PPL/ ＩＣＣＥ	1
	IOL2 次挿入	2
	PPV+IOL 縫着 / 整復	23
	PPV(膜）	109
	PDRope	20
	PVRope	12
	PPV	20
	網膜復位術	10
	lotomy	103
	lectomy	7
	GSL	24
	緑内障（その他）	13
	その他	3
	合計	1,735
その他	前後転術	1
	斜筋手術	1
	翼状片（江口法）	28
	眼球内容除去術	2
	涙道	17
	眼瞼その他	50
	その他	11
	合計	110
総　合　計		1,845

レーザー術	ALT	0
	LI	14
	YAG	196
	ＬＫ	1,401
	cycrophoto	15
	ｃｒｙｏ	0
	その他	0
合　計		1,626

中央手術室（日帰り）手術件数

年月	白内障	白内障以外	合計
2020年4月	51	7	58
2020年5月	51	3	54
2020年6月	66	7	73
2020年7月	67	4	71
2020年8月	59	6	65
2020年9月	71	5	76
2020年10月	66	5	71
2020年11月	60	5	65
2020年12月	68	5	73
2021年1月	64	3	67
2021年2月	45	6	51
2021年3月	65	3	68
総合計	733	59	792

眼科入院件数

主病名	件数
白内障	652
眼内レンズ偏位	22
緑内障	141
網膜前膜	31
黄斑円孔、黄斑円孔網膜剥離	31
裂孔原性網膜剥離、網膜剥離	49
増殖性糖尿病網膜症	20
増殖性硝子体網膜症	10
硝子体混濁	1
硝子体出血、黄斑下出血	12
網膜中心動脈閉塞症	1
眼球破裂	4
硝子体黄斑牽引症候群	1
眼窩腫瘍	1
斜視	2
涙器	2
眼瞼	17
視神経炎	1
角膜潰瘍、角膜穿孔	9
蜂窩織炎	1
眼内炎	1
原田病	3
悪性リンパ腫	1
脂腺癌	1
アズール病	1
その他	16
総入院件数	1,031

●耳鼻咽喉科（2020年度）

【認定施設】日本耳鼻咽喉科学会認定 耳鼻咽喉科専門医研修施設

【スタッフ（2020年度末時点）】

常勤医師

部長　大戸 弘人：日本耳鼻咽喉科学会専門医

主任医長　小林 麻里：日本耳鼻咽喉科学会専門医、日本耳鼻咽喉科学会補聴器相談医、日本めまい平衡医学会めまい相談医、医学博士

主任医員　黒柳 拓樹：日本耳鼻咽喉科学会専門医

医員　海老原央

臨時医員　志村 英二、長岡 真人、大村 和弘、森野常太郎

看護師　武内 ふみ、北見 麻里、大塚絵理香

看護補助員　斎藤 英子

外来事務　正職員：　向後 裕子、伊藤 朋子

嘱託職員：加瀬 彩香

病棟事務：　加瀬 友理

診療支援：　山本 典子

1．1年間のトピックス

昨年度と同様に常勤医4人、非常勤医3名の体制で診療にあたった。

常勤医においては、2月に柳原 太一医師が異動となり海老原央医師が赴任した。

昨年度と同様に耳鼻咽喉科疾患領域に関して広く診療を行った。ただし、未曾有の新型コロナウィルス感染拡大に伴い、大幅な手術制限、診療制限下での診療となった。現在は、十分な感染対策を施した上で診療を行なっている。

その上で、ここ数年大きく変化している頭頸部領域における抗がん剤治療のさらなる充実を継続した。さらに他施設との連携を強化し、術後抗がん剤治療や緩和抗がん剤治療を当院で行えるように整備し、患者さん、患者さんご家族の負担を減らすことに務めた。

今後も近隣の耳鼻咽喉科が少ないことを踏まえ、耳鼻咽喉科疾患領域の診療の継続はもちろん、頭頸部癌領域の標準化を引き続き目指していく。

2．診療実績

表1　外来担当医

	月	火	水	木	金	土
午前	初診：黒柳	予約：黒柳	初診：黒柳	初診：黒柳	予約：黒柳	
	初診：小林	初診：小林	予約：小林	初診：小林	初診：大戸	
	予約：長岡	初診：大戸	予約：志村 / 大村	予約：大戸	予約：森野	
	初診：大戸	予約：海老原	予約：大戸	予約：海老原	初診：海老原	
	初診：海老原	初診：交代制	初診：海老原	初診：交代制	初診：交代制	
午後	手術	予約：黒柳	手術	予約：黒柳	手術	
		予約：大戸		予約：大戸		
		予約：海老原		予約：柳原		

表2　2020 年度耳鼻咽喉科入院数・外来数

	入院実数
2020 年 4 月	24
5 月	24
6 月	38
7 月	38
8 月	42
9 月	37
10 月	38
11 月	44
12 月	40
2021 年 1 月	31
2 月	32
3 月	34
計	422
月平均	35

	新患数	再診数	合計
2020 年 4 月	187	1,007	1,194
5 月	254	902	1,156
6 月	375	1,233	1,608
7 月	309	1,223	1,532
8 月	394	1,152	1,454
9 月	308	1,188	1,496
10 月	345	1,307	1,652
11 月	299	1,155	1,454
12 月	254	1,287	1,541
2021 年 1 月	264	1,136	1,400
2 月	288	1,005	1,293
3 月	356	1,325	1,681
計	3,633	13,920	17,553
月平均	302	1,160	1,462

表 3　2020 年度耳鼻咽喉科手術件数

	手術件数
耳科手術	**計 71 件**
鼓室形成術	12
鼓膜チューブ挿入術	26
先天性耳瘻管摘出術	6
内耳窓閉鎖術	5
乳突削開術	7
外耳道異物除去術	15
鼻科手術	**計 273 件**
内視鏡下鼻・副鼻腔手術	96
鼻中隔矯正術	31
鼻甲介切除術	30
経鼻腔的翼突管神経切除術	114
頭蓋底手術	2
口腔咽喉頭手術	**計 147 件**
扁桃摘出術（アデノイド含む）	127
扁桃周囲膿瘍切開術	16
顕微鏡下喉頭微細手術	4
頭頸部手術	**計 105 件**
気管切開術	25
舌悪性腫瘍手術	2
中咽頭腫瘍切除術	4
喉頭部分切除	3
喉頭全摘出術	1
甲状腺良性腫瘍手術	23
甲状腺悪性腫瘍手術	2
耳下腺良性腫瘍手術	9
顎下腺良性腫瘍手術	2
顎下腺悪性腫瘍手術	1
頸部郭清術	2
頸部膿瘍切開排膿術	10
リンパ節生検	21

●皮膚科（2020年度）

2020年度の常勤医は、小俣渡、中村聡子の異動に伴い、部長に中野倫代が就任し、主任医員の浦崎智恵、医員の小泉滋、山本麻琴の4人体制となった。非常勤医師として週に1回千葉大学皮膚科より外川八英に外来診療の協力を仰いだ。外来では看護師4名、看護助手1名、事務4名の体制で診療を行った。

月曜日から金曜日まで午前中は予約外の外来診療を行っており、4、5月は新型コロナウイルスの影響で患者数が減少したが、その後は増加し、今年度の1日平均外来患者数は104人であった。月、水、木、金曜日の午後は、外来手術やパッチテスト、プリックテストなどの検査を中心に外来診療を行った。外来では悪性黒色腫や血管肉腫の外来化学療法や乾癬の生物学的製剤の治療も積極的に行った。

火曜日の午後は中央手術室で入院手術を行った。皮膚悪性腫瘍の手術を中心に植皮や皮弁などの様々な再建方法にも取り組んだ。

表１　月別　外来患者数 / 日

4 月	71
5 月	92
6 月	101
7 月	107
8 月	115
9 月	112
10 月	107
11 月	109
12 月	111
1 月	106
2 月	113
3 月	109

表２　入院手術件数

皮膚悪性腫瘍単純切除術	64
全層植皮術	26
デブリードマン	16
皮弁作成術	13
皮膚、皮下腫瘍摘出術	12
分層植皮術	4
創傷処理	1
リンパ節摘出術	1

表３　パッチテスト件数

金属	27
パッチテストパネル	16
内服薬	7
外用剤・点眼薬	4
化粧品	4
植物	1
成分	2
その他	9

●麻酔科・中央手術室（2020年度）

2020年度の麻酔科常勤医は、平林和也、岡　龍弘、小銭健二、青野光夫、室内健志、長谷川まどかの6名であり、前年度に比べて2名の減少となった。専攻医は、帝京大学医学部附属病院麻酔科専門医研修プログラムから1名、および千葉大学麻酔科専門研修プログラムから1名が常勤として勤務した。専攻医については、帝京大学および千葉大学の麻酔科専門研修プログラムに参加している専攻医が、連携施設としての当院で研修を行うという形式であった。2019年度は帝京大学の専攻医だけであったが、2020年度から千葉大学の専攻医が加わった。

手術室業務を行う非常勤医は1日平均4.0名となり、前年度比マイナス0.2名であった。

外来業務は前年度同様にペインクリニック外来が週に2日、周術期麻酔科外来が週に2日開設された。

手術件数は新型コロナの影響により前年度から約300件減少した。そのうち麻酔科管理の手術件数は約200件であった。

一方、臨時手術は前年度から約1000件の増加となっている。これも新型コロナの影響によるものであり、地域で生じた緊急性の高い患者を当院が一手に引き受けるようになった実態を示している。

手　術　件　数

科名＼年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
外　科	1,644	1,640	1,685	1,648	1,848	1,755	1,797	1,775	1,750	1,702
心臓外科	124	92	109	95	103	124	107	117	147	153
整形外科	725	733	843	851	762	882	967	878	1,066	968
泌尿器科	1,873	1,868	1,721	1,842	1,818	1,899	1,864	1,791	1,786	1,674
（ＥＳＷＬ）	(277)	(207)	(175)	(119)	(56)	(73)	(48)	(42)	(23)	(21)
脳外科	428	375	340	344	442	446	495	482	417	445
産　科	241	263	272	232	206	209	214	217	177	188
婦人科	661	679	592	551	499	479	457	456	488	411
耳鼻科	295	337	308	278	273	245	243	253	280	252
眼　科	1,517	1,284	1,355	1,390	1,484	1,641	1,593	1,588	1,684	1,812
歯口科	119	122	121	127	131	119	108	106	113	116
皮膚科	43	32	33	57	42	63	57	109	97	97
形成外科	319	288	253	348	279	268	258	319	243	219
内　科	1	0	1	1	0	1	1	4	6	1
麻酔科	5	7	2	4	3	1	4	5	7	6
小児科	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0
神経科	236	241	208	165	256	345	304	317	201	119
合　計	8,232	7,961	7,845	7,935	8,146	8,477	8,469	8,417	8,462	8,163
臨　時	2,210	2,006	2,136	2,128	2,175	2,287	2,305	2,258	2,870	3,898

麻　酔　件　数

種類＼年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
全身麻酔	3,184	3,183	3,281	3,350	3,600	3,592	3,617	3,453	3,419	3,268
腰椎麻酔	2,247	2,296	2,001	2,115	2,061	2,159	2,158	1,991	2,065	1,833
硬膜外麻酔	2	4	3	0	3	0	0	2	6	2
局所麻酔	2,275	2,023	2,127	2,133	2,178	2,386	2,346	2,414	2,597	2,768
静脈麻酔	216	230	255	214	246	263	299	511	349	268
麻酔なし	308	225	178	123	58	77	49	46	26	24
合　計	8,232	7,961	7,845	7,935	8,146	8,477	8,469	8,417	8,462	8,163

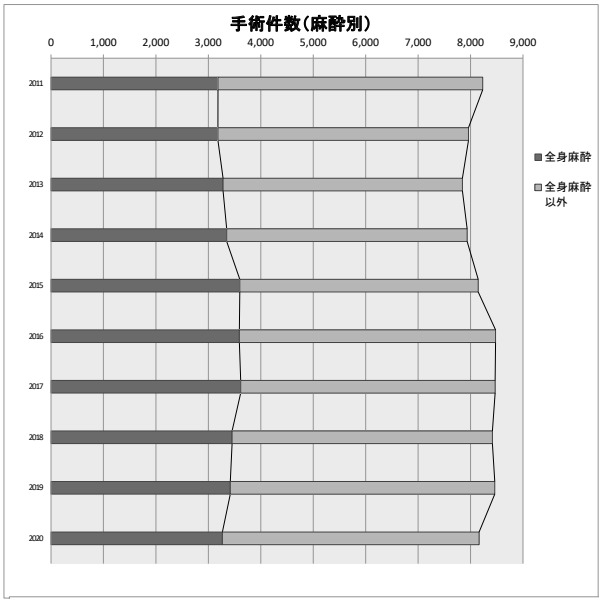
麻酔科依頼件数

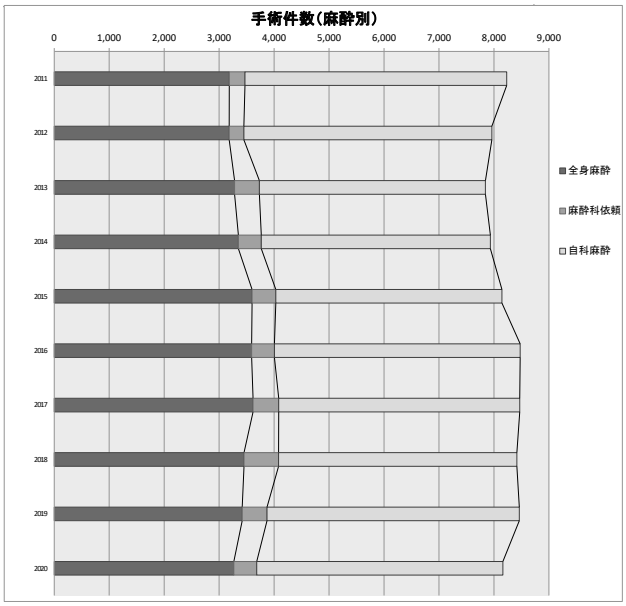
種類	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
全身麻酔	3,184	3,183	3,281	3,350	3,600	3,592	3,617	3,453	3,419	3,268
硬膜外麻酔	2	4	3	0	3	0	0	2	6	2
腰麻・局麻 麻酔科依頼	286	267	452	416	432	415	467	628	453	416
合　計	3,472	3,454	3,736	3,766	4,035	4,007	4,084	4,083	3,878	3,686
麻酔科依頼の割合	42.2%	43.4%	47.6%	47.5%	49.5%	47.3%	48.2%	48.5%	45.8%	45.2%

年度 種類	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
全身麻酔	3,184	3,183	3,281	3,350	3,600	3,592	3,617	3,453	3,419	3,268
全身麻酔以外	5,048	4,778	4,564	4,585	4,546	4,885	4,852	4,964	5,043	4,895
合　計	8,232	7,961	7,845	7,935	8,146	8,477	8,469	8,417	8,462	8,163

麻　酔　件　数

年度 種類	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
全身麻酔	3,184	3,183	3,281	3,350	3,600	3,592	3,617	3,453	3,419	3,268
麻酔科依頼	286	267	452	416	432	415	467	628	453	416
自科麻酔	4,762	4,511	4,112	4,169	4,114	4,470	4,385	4,336	4,590	4,479
合　計	8,232	7,961	7,845	7,935	8,146	8,477	8,469	8,417	8,462	8,163





（表１）手術件数・麻酔件数

2020 年度　　手術件数・麻酔件数　　中央手術室

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
手術件数合計		613	579	672	740	651	759	791	673	697	635	591	762	8,163
定時手術件数		326	268	329	369	380	412	408	366	360	339	307	401	4,265
臨時手術件数		287	311	343	371	271	347	383	307	337	296	284	361	3,898
臨時手術の内訳	救急からの緊急	(23)	(26)	(32)	(40)	(39)	(28)	(29)	(24)	(36)	(22)	(32)	(29)	(360)
	時間内開始終了	195	197	222	239	176	227	248	197	226	200	177	222	2,526
	時間内開始~時間外延長	56	65	69	72	53	66	82	59	58	48	54	66	748
	時間外開始	36	49	52	60	42	54	53	51	53	48	53	73	624
定時の時間外延長		51	55	40	49	68	66	67	66	55	50	42	62	671
	時間外開始	(3)	(0)	(0)	(4)	(11)	(11)	(6)	(5)	(1)	(4)	(1)	(3)	(49)
※時間外の合計		143	169	161	181	163	186	202	176	166	146	149	201	2,043
全麻件数		252	233	265	297	266	291	317	263	289	249	228	318	3,268
腰麻件数		137	144	140	169	115	188	188	166	165	129	125	167	1,833
硬麻件数		0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
局麻件数		207	184	240	255	254	249	252	220	220	226	205	256	2,768
静麻件数		16	16	25	17	14	28	30	21	19	28	33	21	268
無麻件数		1	2	2	2	1	3	3	3	4	3	0	0	24
感染症		54	57	82	81	55	74	98	75	63	72	74	79	864
稼働日数		21	18	22	21	20	20	22	19	20	19	18	23	243

全麻件数		252	233	265	297	266	291	317	263	289	249	228	318	3,268
	全麻＋硬麻	(85)	(79)	(86)	(66)	(90)	(84)	(84)	(73)	(79)	(68)	(65)	(87)	(946)
硬麻件数		0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	3
腰・局・静麻 麻酔科依頼		32	30	34	33	30	51	40	38	28	28	40	32	416
	腰麻＋硬麻	(2)	(0)	(0)	(2)	(0)	(8)	(4)	(3)	(2)	(2)	(2)	(1)	(26)
麻酔科依頼件数合計		284	263	299	330	297	342	358	301	317	278	268	350	3,687
麻酔科依頼の割合		46.3%	45.4%	44.5%	44.6%	45.6%	45.1%	45.3%	44.7%	45.5%	43.8%	45.3%	45.9%	45.2%

救急ストップ		1	2	0	1	0	2	1	1	1	4	2	4	19

24時間以内の再手術件数		1	2	1	0	2	1	3	1	3	3	1	2	20

（表２）科別手術件数

2020 年度　　手術件数　　中央手術室

	外科	整形外科	心臓外科	泌尿器(ESWL)		脳外科(脳血内)		産科	婦人科	耳鼻科	眼科(外来)		歯口科	皮膚科	形成外科	内科	神経科	麻酔科	小児科	合計(臨時)	
4月	115	59	13	137	(1)	31	(11)	21	41	15	141	(0)	9	6	19	0	6	0	0	613	(287)
5月	128	64	14	129	(2)	32	(11)	13	30	4	122	(0)	7	5	18	1	11	1	0	579	(311)
6月	153	57	10	144	(2)	35	(10)	18	28	19	155	(0)	8	8	24	0	11	2	0	672	(343)
7月	176	93	12	142	(2)	41	(9)	16	29	24	154	(0)	17	8	20	0	7	1	0	740	(371)
8月	138	86	10	99	(1)	33	(11)	17	36	24	164	(0)	10	9	20	0	5	0	0	651	(271)
9月	153	93	12	159	(3)	35	(10)	15	34	27	168	(0)	11	10	23	0	19	0	0	759	(347)
10月	163	101	14	169	(3)	42	(15)	16	39	23	164	(0)	14	8	25	0	12	1	0	791	(383)
11月	132	96	14	143	(2)	27	(9)	17	29	25	154	(0)	6	4	15	0	10	1	0	673	(307)
12月	148	79	14	144	(3)	42	(12)	15	38	23	156	(0)	7	9	15	0	7	0	0	697	(337)
1月	129	64	14	131	(2)	35	(13)	12	40	19	147	(0)	7	11	17	0	9	0	0	635	(296)
2月	100	82	10	116	(0)	41	(12)	13	33	24	127	(0)	8	7	15	0	15	0	0	591	(284)
3月	167	94	16	161	(0)	51	(15)	15	34	25	160	(0)	12	12	8	0	7	0	0	762	(361)
合計	1,702	968	153	1,674	(21)	445	(138)	188	411	252	1,812	(0)	116	97	219	1	119	6	0	8,163	(3,898)

※ 2009 年 4 月よりアンギオでの脳血内手術を集計する

●歯科・歯科口腔外科（2020年度）

2020年度の方針・概要（ISO質目標に基づいた振り返りなど）

【2020年度「質」目標】

①感染予防対策の徹底

【目標値】　当科での感染症クラスター発生0件

【主な活動】手洗い、うがい、検温、スタンダードプリコーションの徹底、術前ランプ法の推進

②医療安全の強化

【目標値】　医療安全体制の強化

【主な活動】関係各科・他職種との情報共有、インシデントレポート作成の励行

③手術件数の件数拡大

【目標値】　年間手術件数130件以上

【主な活動】口外認定医・専門医は20件以上の手術執刀か手術患者を担当する

④インプラント関連事項の強化

【目標値】　年間50件以上

【主な活動】インプラント適応症例についての理解を深める

【2020年度の振り返り】

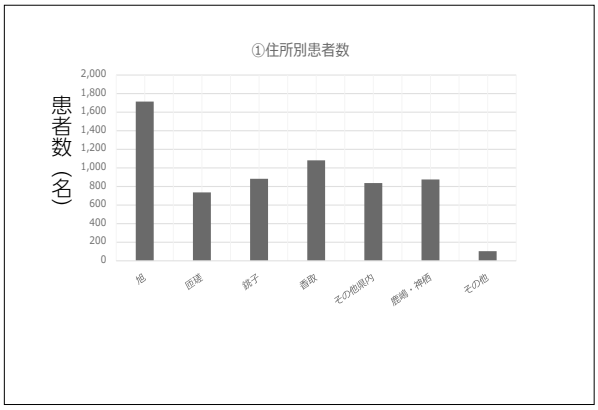
昨年はじめから発生した新型コロナウイルスにより、外来・入院ともに大きな影響を受けた。上半期は、外来受診を控える患者が多く、外来受診者数が減少した。また、厚生労働省と口腔外科学会の提言や、病院の方針に基づき、埋伏智歯抜歯やインプラント治療など緊急を要しない手術を延期した。しかしながら、延期ができない悪性腫瘍手術などが増加したため、最終的には手術件数116件（前年比103%）と増加した。

また、新型コロナウイルスに対して、歯科診療は,エアロゾルにより唾液や血液にさらされることが多いことから感染リスクが高く,さらに、当科は入院患者の口腔ケアのため、院内のさまざまな科を横断することから、クラスター発生の阻止は必須事項であった。

発生当初は、治療法や対応策が確立していない未曽有の事態であったため、対応に苦慮したが、科を挙げて感染予防対策を徹底することで、クラスター発生を抑えられた。それらの対策と成果に関して学会発表にて報告した。次年度も継続していく。

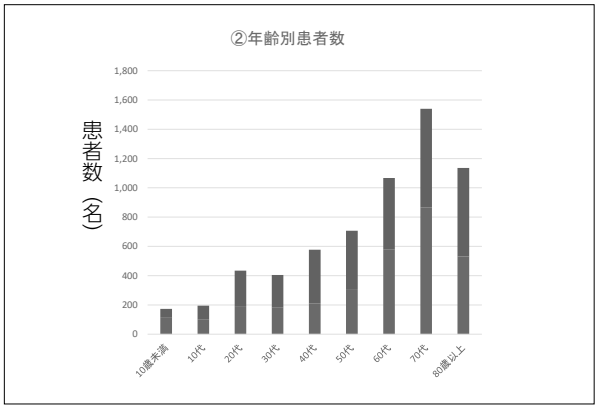
①住所別患者数

住　　所	患者数（名）
旭	1,715
匝瑳	736
銚子	883
香取	1,082
その他県内	838
鹿嶋・神栖	876
その他（鹿嶋・神栖以外の茨城県の地域と他県、不明を含む）	104
計	6,234



②年齢別患者数

年　　齢	男性	女性	患者数（名）
10 歳未満	112	61	173
10 代	102	93	195
20 代	192	242	434
30 代	184	221	405
40 代	211	366	577
50 代	308	399	707
60 代	577	490	1,067
70 代	867	673	1,540
80 歳以上	530	606	1,136
計	3,083	3,151	6,234



③紹介患者内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
総受診者数	361	364	473	456	432	458	519	453	471	455	432	519	5,393
院内依頼	239	231	263	268	239	269	301	256	270	281	263	305	3,185
（外来）	107	119	141	121	126	157	159	144	147	159	132	145	1,657
（入院）	132	112	122	147	113	112	142	112	123	122	131	160	1,528
院外依頼	87	96	157	145	147	143	168	145	160	138	130	178	1,694
（歯科）	82	92	145	134	133	138	154	135	148	131	116	169	1,577
直接	29	26	42	29	26	22	34	33	25	19	24	25	334
救急	3	11	10	12	17	20	12	18	14	13	14	9	153
職員	3	0	1	2	3	4	4	1	2	4	1	2	27

④有病者別患者数

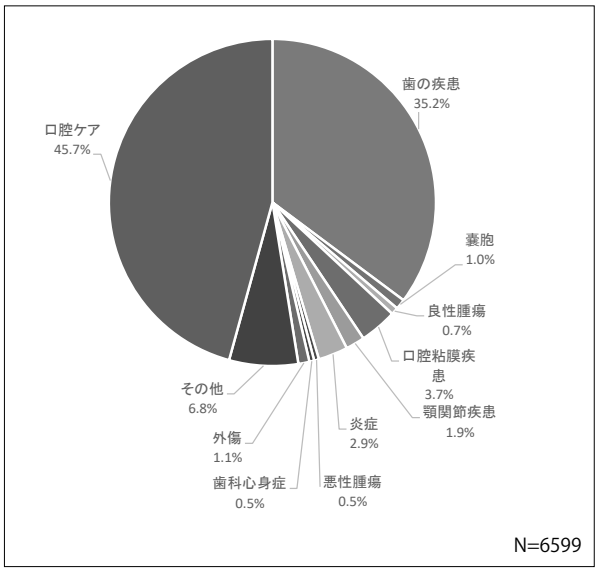
受診者数	5,482
有病者数	3,586

（有病者率：65.4%）

⑤疾患数（延べ数）

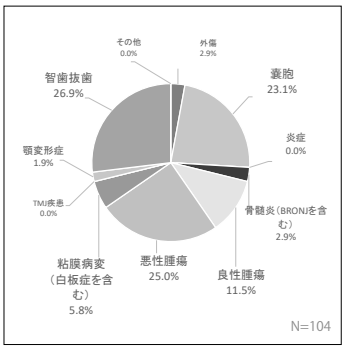
疾患数（延べ数）の月毎の内訳

疾患名	計
歯の疾患	2,061
嚢胞	59
良性腫瘍	42
口腔粘膜疾患	216
顎関節疾患	110
炎症	171
悪性腫瘍	28
歯科心身症	28
外傷	64
神経性疾患	399
その他	2,677
口腔ケア	5,855
合計	6,599



⑥中央手術室における手術件数

手術内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
外傷	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
嚢胞	4	0	2	2	2	3	0	2	1	2	2	4	24
炎症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨髄炎（BRONJを含む）	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3
良性腫瘍	1	0	1	5	1	0	2	0	1	0	0	1	12
悪性腫瘍	0	2	2	2	3	3	5	2	1	1	2	3	26
粘膜病変（白板症を含む）	0	0	1	3	0	0	1	0	0	0	1	0	6
TMJ疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
顎変形症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
智歯抜歯	2	3	0	3	3	5	4	0	3	2	2	1	28
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	7	6	8	16	9	11	12	4	6	6	8	11	104



●泌尿器科（2020年）

2020 年泌尿器科手術件数

術　　式	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
ＣＡＰＤカテーテル抜去術				1								1	2
ＣＡＰＤカテーテル留置術				1									1
ＥＳＷＬ	1	2		1	2	2	2	1	3	3	2	3	22
ｆ－ＴＵＬ	13	15	21	16	17	15	17	6	22	23	18	20	203
ＴＵＬ	2	3	3		5	5	8	5	7	3	5	2	48
ＰＮＬ	2	1			2	2		2	2	3	4		18
ＰＮＬ＆ｆ－ＴＵＬ		1		1					1	2	2		7
ＴＵＶＬ	3	2	5	2	5	3	3		5	6	5	7	46
ヘルニア手術 (鼠径ヘルニア)	1	2	1	1	2		2		1	1		1	12
陰茎悪性腫瘍手術 (陰茎切除)				1							1		2
陰茎悪性腫瘍手術 (陰茎全摘)												1	1
陰嚢血腫除去術			1										1
陰嚢水腫手術 (その他)	1		3	1	1	1	1	1	2		1		12
陰嚢膿瘍切開・排膿										1			1
会陰部膿瘍開放ドレナージ術										1			1
亀頭部生検								1					1
経尿道的前立腺核出 (TUEB)	6	4		4	6	5	7	2	7	7	7	5	60
経尿道的前立腺切除 (TURis-P･TURis-V)	4	2	2	1	2	3			1		1	1	17
経尿道的電気凝固術	1		1	2	1	1			1				7
経尿道的尿管ステント留置術				1	1					1			3
経尿道的尿管狭窄拡張術						1	1		1	1	1		5
経尿道的尿管瘤切除術				1									1
経尿道的膀胱腫瘍切除 (PDD 使用 TURis-Bt)	7	4	7	8	4	5	7	3	8	12	5	3	73
経尿道的膀胱腫瘍切除 (TURis-Bt)	13	8	11	14	9	18	15	7	12	16	14	12	149
経尿道的膀胱頸部切開術 (準Ｋ８２１)			1		1								2
交通性陰嚢水腫手術										1		1	2
骨盤腹膜外膿瘍切開排膿術	1												1
根治的腎摘除術 (静脈血栓摘出術含まない)							1						1
根治的腎摘除術 (静脈血栓摘出術含む)								1					1
根治的腎尿管摘除術			1						1			1	3
根治的前立腺全摘除術	4		3	2	3	1	2					1	16
根治的腹腔鏡下腎摘除術	2		1	2		1			1	1	1	1	10
根治的腹腔鏡下腎尿管摘除術		3	2	3		3	3	3	1			1	19
試験開腹術	1												1
女子尿道脱手術 (カルンクルス含む)	2					1							3
除睾術	2	3	4	1	2	2	2		5	3	1		25
腎摘出術										2			2
腎部分切除術 (ダヴィンチ支援機器使用)	3	2		1	2	2	1	5	2	4	1	2	25
精索静脈瘤手術 (高位結紮術)								1					1
精索捻転手術 (対側精巣固定術を伴う)	1	2				1						1	5
精巣高位摘除術	3	2			1	2	1			1	1	1	12
精巣上体摘出術					1								1

術　　式	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
前立腺生検	58	49	48	38	34	34	31	28	47	46	43	43	499
前立腺全摘除術 (ダヴィンチ支援機器使用)	2	7	5	5	7	7	4	3	4	3	2	2	51
前立腺膿瘍穿刺						1		1					2
停留精巣固定術		1	1			1	1			1	1	2	8
内視尿道切開	1	1		1		2	2	4		2	3	1	17
尿管鏡検査	7	6	4	2	7	6	4	3	7	7	5	7	65
尿管切石術										1			1
尿管膀胱吻合術					1								1
尿膜管摘出術										1	1		2
副腎摘出術												1	1
腹腔鏡下腎摘出術							1	1				1	3
腹腔鏡下副腎摘出術				1			1						2
腹腔鏡下膀胱全摘 (回腸導管) ﾀﾞｳﾞｨﾝﾁ使用			1		1				2				4
包茎手術 (環状切除術)			1	3			2	1		1	1	4	13
包茎手術 (背面切開術)						1		1					2
膀胱異物摘出術 (経尿道的手術)						1		1	1	1	1	1	6
膀胱結石摘出術 (膀胱高位切開術)				1									1
膀胱水圧拡張術	1				1		3	1	1	3	1		11
膀胱生検	2			2		1			1	3		1	10
膀胱全摘 (回腸導管)	1			1	1	1			1		1	2	8
膀胱全摘 (尿管皮膚瘻造設術)									1				1
膀胱全摘（尿路変更なし）			1										1
膀胱尿管逆流手術							1						1
総　　計	145	120	128	119	119	129	123	82	148	161	129	130	1,533

●神経精神科（2020年度）

入院（2020 年度）

年度	新入院件数	退院件数
1965	91	36
1970	204	195
1975	224	218
1980	212	210
1985	293	278
1990	282	282
1995	313	319
1996	340	335
1997	384	387
1998	358	356
1999	354	343
2000	349	357
2001	376	379
2002	334	330
2003	315	320
2004	323	316
2005	331	336
2006	228	273
2007	206	218
2008	184	201
2009	239	307
2010	247	286
2011	309	290
2012	314	336
2013	272	281
2014	290	288
2015	300	309
2016	284	283
2017	279	273
2018	269	270
2019	233	237
2020	199	198

2020 年度　平均在院日数 62.0 日

入院形態別　入院状況（2020 年度、在院は 2020 年 6 月 30 日現在）

	在院患者数	%	新入院件数	%
任意入院	11	31.4	89	44.7
医療保護入院	23	65.7	104	52.3
応急入院	0	0	1	0.5
措置入院	1	2.9	3	1.5
緊急措置入院	0	0	2	1.0
その他	0	0.0	0	0
合計	35	100	199	100

疾病分類別　入院状況　（2020 年度、在院は 2020 年 6 月 30 日現在）

	在院患者数	%	新入院件数	%
F0：症状性・器質性	3	8.6	6	3.0
F1：精神作用物資性	3	8.6	6	3.0
F2：統合失調症	19	54.3	85	42.7
F3：気分（感情）障害	9	25.7	88	44.2
F4：神経症性			3	1.5
F5：生理：身体的要因	1	2.8	2	1.0
F6：人格障害			1	0.5
F7：知的障害			2	1.0
F8：心理的発達障害			1	0.5
F9：小児・青年期障害			0	0
G4：てんかん			0	0
その他			5	2.5
合計	35	100	199	100

神経精神科外来患者数（2020 年度）

ICD-10	女		女 集計	男		男 集計	総計
	再診	初診		再診	初診		
F0	47	23	70	36	16	52	122
F1	9	11	20	33	17	50	70
F2	382	35	417	404	22	426	843
F3	387	87	474	268	56	324	798
F4	260	131	391	124	45	169	560
F5	32	16	48	26	4	30	78
F6	12	2	14	6	1	7	21
F7	34	23	57	56	30	86	143
F8	57	14	71	165	35	200	271
F9	28	14	42	95	21	116	158
G3	0	6	6	2	2	4	10
G4	132	5	137	147	9	156	293
その他	12	12	24	9	8	17	41
総計	1392	379	1771	1371	266	1637	3408

年齢	女		女 集計	男		男 集計	総計
	再診	初診		再診	初診		
0-9	17	17	34	53	24	77	111
10-19	128	62	190	236	57	293	483
20-29	108	58	166	96	25	121	287
30-39	157	47	204	124	23	147	351
40-49	231	41	272	239	38	277	549
50-59	217	40	257	228	25	253	510
60-69	240	40	280	197	32	229	509
70-79	179	50	229	154	29	183	412
80-89	104	16	120	43	13	56	176
90-99	11	8	19	1	0	1	20
総計	1392	379	1771	1371	266	1637	3408

●救命救急センター（2020年度）

外来部門

【1】受診数等

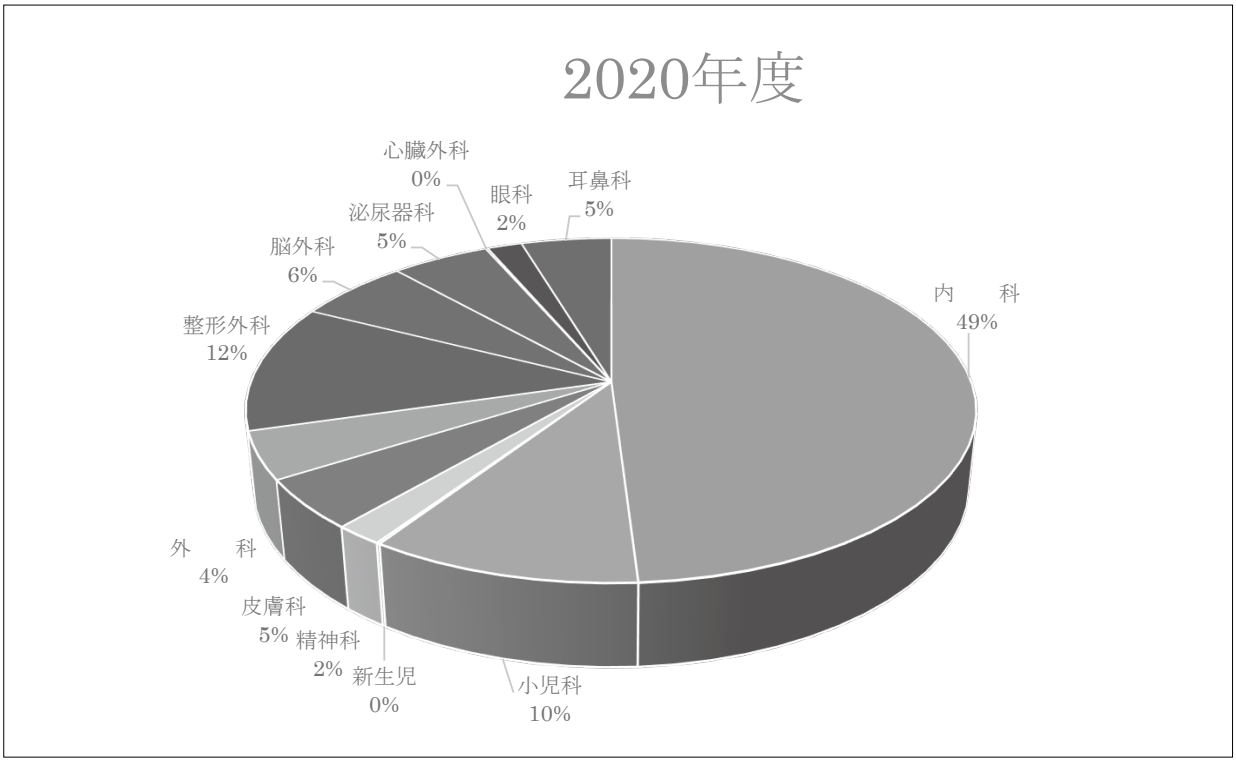
年　　度	2020 年度	2019 年度
受 診 数	33,966	44,537
入 院 数	6,782	7,136
紹 介 数	2,556	3,030
救 急 車	7,115	7,848
手　　術	345	370
外来死亡	189	175

【2】診療科別受診数

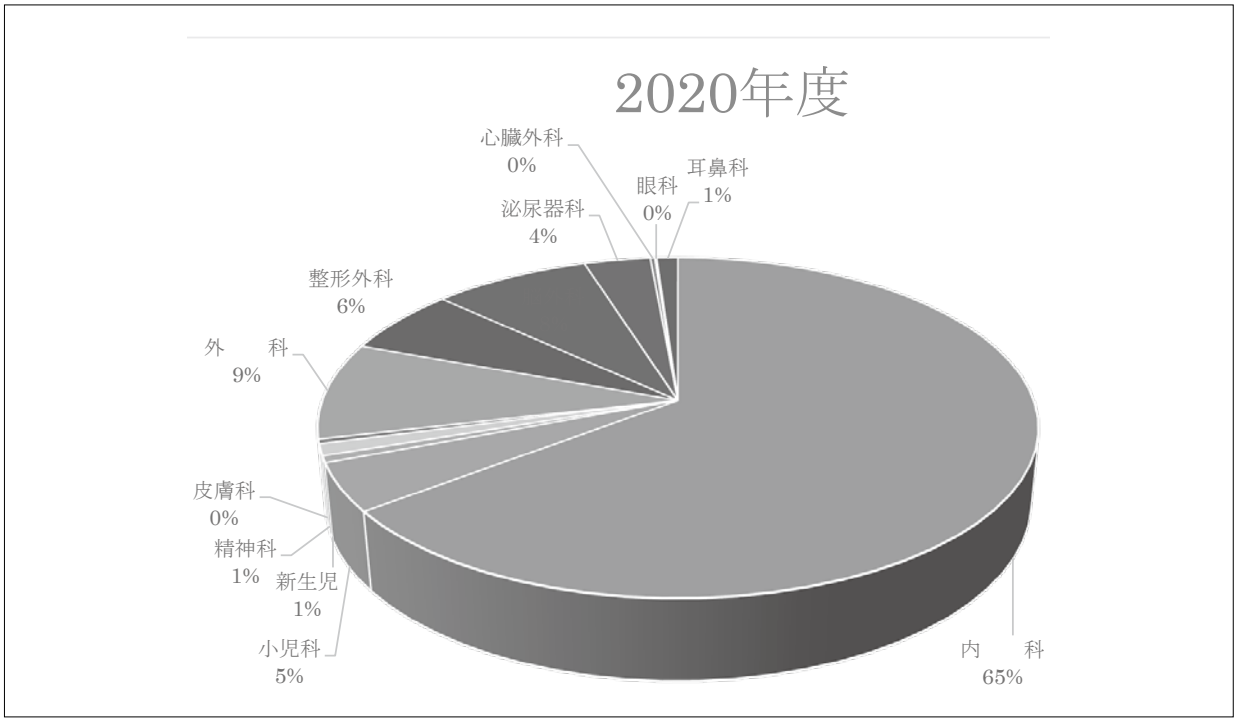
年　　度	2020 年度	2019 年度
内　　科	15,052	17,745
小 児 科	3,176	8,295
新 生 児	41	44
精 神 科	574	494
皮 膚 科	1,441	1,866
外　　科	1,367	1,397
整形外科	3,681	4,466
脳 外 科	1,807	2,113
泌尿器科	1,557	1,621
心臓外科	39	27
眼　　科	548	717
耳 鼻 科	1,433	1,892
歯 口 科	423	727
産婦人科	828	980
透 析 科	204	173
麻 酔 科	3	6
形成外科	1,792	1,974

【3】外来診療科別比率

外来受診数



入院数



【4】市町村別受診数

市町村名	2020 年度	2019 年度
旭市	11,800	15,796
銚子市	4,221	5,655
匝瑳市	4,038	5,074
東庄町	1,375	1796
香取市	3,316	4424
東金市	390	473
九十九里町	207	270
大網白里市	136	128
鹿嶋市・神栖市	3,141	3,929

【5】年齢別受診数

	受診者数（人）	入院数（人）	入院率（%）
10 歳未満	4,040	303	7.5%
10 代	1,858	108	5.8%
20 代	2,264	130	5.7%
30 代	2,517	237	9.4%
40 代	2,784	351	12.6%
50 代	3,113	551	17.7%
60 代	4,303	988	23.0%
70 代	6,382	1,760	27.6%
80 代	5,137	1,748	34.0%
90 歳以上	1,568	606	38.6%
年齢不明	0	0	0%

入院部門統計

救命救急センター入院状況

ERW-A 病棟／ 04-I 病棟　入院数（人）

4 月	70	16
5 月	68	15
6 月	59	18
7 月	77	25
8 月	70	17
9 月	74	22
10 月	87	20
11 月	77	22
12 月	108	13
1 月	99	11
2 月	60	15
3 月	94	11

ERW 病棟（04-I 含む）　入院数計

2018 年度　　1,138 人
2019 年度　　1,304 人
2020 年度　　1,148 人

メディカル・コントロール（MC）部門

【1】事後検証
【2】プロトコール策定
【3】症例検討会
【4】教育
　ACLS、BLS 等教育への関与
　メディカルラリー開催　　年 1 回
　その他

（2020 年度は新型コロナウイルス感染症の流行のため、教育行事は例年より少なめであった）

●緩和ケアセンター（2020年度）

緩和ケア病棟年間報告　　2020 年度（2020/4/1 ～ 2021/3/31）

1：依頼科

科　別	内　科	泌尿器科	婦人科	脳外科	歯口科	外　科	耳鼻科	皮膚科	整形外科	眼科	合　計
累　計	122	21	20	7	5	27	9	5	1	1	218

2：入棟経路

	他　院	自　宅	一般病棟	シルバー	施設	合　計
累　計	1	73	141	2	1	218

3：居住地

	旭市内	旭市外	県　外	合　計
累計	61	127	30	218

4：年齢　性別

年齢	20 以下	21 ～ 30	31 ～ 40	41 ～ 50	51 ～ 60	61 ～ 70	71 ～ 80	81 以上	合　計
男	0	0	1	5	7	27	52	35	127
女	0	0	0	8	11	18	29	25	91

5：原発部位（多重癌を含む）

病名	呼吸器	上部消化管	下部消化管	肝・胆・膵	婦人生殖器	乳腺	泌尿器	皮膚	頭頸部	脳	血液	原発不明	肉腫	その他	合計
累計	45	38	23	36	19	9	25	6	18	5	6	1	2	4	237

6：転帰

	死亡	在宅	転棟	転院	施設	合計
累計	188	20	0	3	2	213

7：剖検率

	剖検者数	剖検率
累計	4	2.1%

8：緩和ケア病棟外来受診者数（入棟相談外来）290 名

9：入棟前死亡患者数　　62 名

月	在院患者延数	入院患者実数	1 日平均入院患者数	平均在院日数	退院患者数	死亡退院	解剖数	待機日数
4 月	406	20	13.5	21.9	17	14	1	1.6
5 月	360	15	11.6	21.2	19	16	0	3.2
6 月	462	21	15.4	26.4	14	14	1	2.8
7 月	514	14	16.6	34.3	16	13	1	4.6
8 月	472	17	15.2	25.5	20	17	0	2.2
9 月	454	17	15.1	27.5	16	14	0	1.2
10 月	492	23	15.9	21.9	22	20	0	2.4
11 月	465	20	15.5	22.7	21	19	0	2.9
12 月	301	11	9.7	20.8	18	15	0	1.1
1 月	321	17	10.4	22.1	12	12	0	1.8
2 月	350	21	12.5	16.7	21	20	1	1.9
3 月	433	22	14.0	22.2	17	14	0	2.6
年間	5030	218	13.8	23.6	213	188	4	2.4

2020/4/1 ～ 2021/3/31

病院死亡者総数　　1,139 名

内　癌死亡者数　　549 名

その他死亡者数　　590 名

緩和ケア病棟死亡者数　188 名

【2020 年度　緩和ケアチーム（入院患者）実績報告】

新規件数	39

転帰内容	継続 （入院中）	継続 （退院通院へ）	終了 （退院）	終了 （転院）	終了 （緩和ケア病棟）	終了 （入院中）	死亡
件数	2	1	5	0	13	11	7

依頼科別	内（消化器）	内（呼吸器）	内（血液）	内（神経内科）	内（腎臓）	外（消化器）	外科（呼吸器）	外科（甲状腺）
件数	6	7	4	0	0	2	0	1
	外（乳腺）	整形外科	脳神経外科	泌尿器科	産婦人科	皮膚科	耳鼻咽喉科	歯科口腔外科
	0	1	1	2	10	0	4	1

原発部位別	脳	頭頸部	上部消化管	下部消化管	胆肝膵	肺	乳腺	婦人生殖器
件数	1	5	6	1	2	7	0	10
	泌尿器	皮膚	血液	肉腫	原発不明	多重がん	その他	
	2	0	4	1	0	0	0	

依頼内容別	疼痛	その他の 身体症状	精神	家族ケア	スピリチュアル ペイン	その他
件数（重複あり）	27	16	26	8	1	9

性別	男性	女性
件数	16	23

年代別	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	90 代
件数	3	5	8	7	11	5	0

PS	0	1	2	3	4
件数	0	1	11	19	8

【2020 年度緩和ケアチーム（通院患者）実績報告】

新規件数	14

転帰	継続 （通院）	継続 （入院）	終了 （通院中）	終了 （他院へ）	終了 （入院）	終了 （緩和ケア病棟）
件数	2	2	9	0	1	0

依頼科別	内（消化器）	内（呼吸器）	内（血液）	内（神経内科）	内（腎臓）	外（消化器）	外科（呼吸器）	外科（甲状腺）
件数	3	1	0	0	0	0	0	2
	外（乳腺）	整形外科	脳神経外科	泌尿器科	産婦人科	皮膚科	耳鼻咽喉科	歯科口腔外科
	3	0	0	1	3	1	0	0

原発部位別	脳	頭頸部	上部消化管	下部消化管	胆肝膵	肺	乳腺	婦人生殖器
件数	0	2	2	1	0	1	3	3
	泌尿器	皮膚	血液	肉腫	原発不明	多重がん	その他	
	1	1	0	0	0	0	0	

依頼内容別	疼痛	その他の 身体症状	精神	家族ケア	スピリチュアル ペイン	その他
件数（重複あり）	12	7	9	5	0	3

性別	男性	女性
件数	4	10

年代別	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	90 代
件数	1	1	1	3	4	3	1

PS	0	1	2	3	4
件数	0	1	10	2	1

●集中治療科（2020年度）

① ISO 質目標に基づいた振り返り

「質」目標達成計画として以下の４項目を挙げて取り組んだ。

１．電子パス導入の推進：現行パスの電子化に取り組んだ。
心臓外科の冠動脈バイパス手術・弁置換手術症例について電子パス申請中である。

２．標準化死亡比の改善：30% 以下を目標に、VAP 発生率 8% 未満を実現するため、VAP 予防バンドルの実施徹底に取り組んだ。VAP 発生率は 3%、人工呼吸器装着 1000 日あたりの VAP 発生症例数は５症例と、それぞれ６ポイント、12 症例改善したにも関わらず標準化死亡比は 36% と８ポイント悪化した。これは看護師・理学療法士・歯科衛生士らの協力を得て、心臓外科および内科症例で VAP 発生率および人工呼吸器装着 1000 日とも、改善を得られたにも関わらず、COVID-19 の 16 症例の標準化死亡比が 114 と極めて高かったためと考える。多大の労力がかかる COVID-19 症例のケアの向上に取り組む必要がある。

３．専従医師の確保：２年で１名の確保を目標に、救急救命科と協働して後期研修医の勧誘と教育強化に取り組んだ結果、協働先の救急救命科に 2020 度、兼任医２名を確保できた。引き続き、リクルート活動を継続中である。

４．平均在室期間の短縮：在室 14 日を越える症例の 5% 以下への削減に取り組んだ。
平均在室日数は６日と３日短縮し、在室 14 日を越える症例は 8% と５ポイント改善し、集中治療加算対象外の在留日数は 12% と 15 ポイント改善した。目標達成のためには透析科の長期滞在症例の削減が必須と考える。

②診療実績

2020 年度　集中治療科　入退室動向（2020.4.1 ～ 2021.3.31）

	入室数	科別割合	予定術後	院内急変	救外から	死亡退院数	ICU死亡率	平均滞在日数	＞2週滞在率	CRRT施行率	CRRT日数	APACHE2	予測死亡率	標準化死亡比	人工呼吸例数	平均人呼日数	VAP発生率	VAP1000日
心臓外科	68	33%	62	1	5	3	4%	5.4	4%	10%	7.1	15	24%	19	37	3.1	5%	18
内　科	69	34%	0	43	26	17	25%	7.4	14%	19%	5.2	19	37%	67	48	6.8	1%	3
外　科	33	16%	7	26	0	2	6%	5.0	6%	12%	3.8	19	37%	17	17	3.0	0%	
透析科	12	6%	0	9	3	1	8%	10.3	25%	33%	8.3	23	51%	16	10	4.6	0%	
脳外科	5	2%	0	2	3	0	0%	1.8	0%	0%		21	38%	0	0			
整形外科	1	0.5%	0	1	0	0	0%	8.0	0%	0%		3.0	4.4%	0	1	1.0	0%	
産婦人科	0																	
泌尿器科	3	1.5%	0	3	0	0	0%	3.0	0%	33%	1.0	19	41%	0	0			
歯口科	9	4%	9	0	0	0	0%	2.0	0%	0%		17	31%	0	7	1.0	0%	
耳鼻科	2	1%	2	0	0	0	0%	2.0	0%	0%		9.5	11%	0	0			
小児科	1	0.5%	0	1	0	0	0%	2.0	0%	0%		19	32%	0	1	1.0	0%	
形成外科	2	1.0%	1	1	0	0	0%	4.0	0%	50%	10	20	32%	0	2	2.5	0%	
合計	205	100	81	87	37	23	11%	6.0	8%	15%	5.9	18	31%	36	123	4.5	2.4%	5
			（ 40%	42%	18% ）													

CRRT : continuous renal replacement therapy : 持続腎代替 (透析) 療法

APACHE Ⅱ : acute physiologic and chronic health evaluation Ⅱ : 重症度評価の指標

標準化死亡比 (SMR : standardized mortality ratio) : ICU 死亡率／予測死亡率

VAP : ventilator-associated pneumonia : 人工呼吸器関連肺炎

VAP/1000d : 人工呼吸器装着 1000 日あたりの VAP 発生症例数

●臨床病理科（2020年）

1年間のトピックス

今年は、常勤医師7名、臨床検査技師11名（内1名育休中）、電子顕微鏡技師1名、診療情報管理士2名の体制でスタートした。新旧スタッフの入れ替わり時期、新しい業務への着手等、人員配置に苦慮しているところである。しかしながら、「質」目標に要員個々のマルチタスク化を掲げ、要員個々が複数の業務遂行可能なることを目指し、業務の滞り防止に取り組んできた。

また、河辺昭宏医師・村上未樹医師においては、多忙を極める煩雑な業務の合間に研鑽をつまれ見事に日本病理学会認定病理専門医試験に合格された。

一方遠隔病理診断センターは、さんむ医療センターとの契約が締結し本稼働が開始された。今後、複数の施設との連携を計画している。

ISO15189については、第２回サーベイランスにおいて適合認定となり、継続の承認となった。

検体数 2020 年

	剖検	細胞診	組織	組織 至急	迅速	電顕 手術例	電顕 剖検例	蛍光 手術例	蛍光 剖検例	免疫 手術例	免疫 剖検例	特染 手術例	特染 剖検例	組織 ブロック	剖検 ブロック	免疫関連遺伝子再構成	Her2 遺伝子 手術例
1月	6	994	1,013		38	8		13		357	24	247	20	5,539	486	2	3
2月	7	978	977	6	29	9		18		346	22	251	20	5,549	318	1	3
3月	2	999	948	1	31	7		10		354	29	252	24	5,839	226	2	4
4月	7	708	768	5	23	4		21		355	31	255	22	4,759	514	2	2
5月	8	858	768	5	27	7		14		343	25	269	27	4,830	423	1	11
6月	3	1,137	967	1	29	8		18		398	22	275	16	5,279	269	2	13
7月	6	1,091	1,039	1	23	9		16		415	25	314	22	5,342	571	1	4
8月	6	997	862	2	29	4		8		311	16	235	12	4,914	388	1	8
9月	7	1,092	959	1	34	3		10		331	14	259	14	5,501	309	2	2
10月	7	1,381	1,043	5	26	4		13		364	30	258	26	5,446	447	2	3
11月	10	1,327	891		28	6		19		328	25	232	24	4,545	715	2	7
12月	9	1,076	943	4	27			7		350	27	262	22	5,621	667	2	5
合計	78	12,638	11,178	31	344	69		167		4,252	290	3,109	249	63,164	5,333	20	65

発行レポート及び染色枚数

	仮発行 レポート	発行 レポート	再発行 レポート	手術 (HE)	手術 (特染)	剖検 (HE)	剖検 (特染)	手術 (免疫種類)	手術 (免疫枚数)	剖検 (免疫種類)	剖検 (免疫枚数)	手術 (免染+コントロール)	剖検 (免染+コントロール)
1月	1	955	164	5,869	1,054	591	380	407	538	38	51	814	76
2月	3	1,011	165	5,860	1,047	414	396	404	508	10	14	808	20
3月	1	969	180	6,134	1,009	289	199	496	635	44	91	992	88
4月	4	771	194	5,084	1,214	632	335	448	589	38	51	896	76
5月	1	764	136	5,105	1,083	478	397	363	466	33	54	726	66
6月	1	921	200	5,580	1,150	355	155	472	575	61	129	944	122
7月		1,043	170	5,690	1,420	776	493	534	662	15	18	1,068	30
8月		894	163	5,163	1,115	467	286	410	535	21	24	820	42
9月		932	137	5,753	1,235	340	224	340	431	4	8	680	8
10月		1,080	167	5,844	1,164	544	418	448	580	16	21	896	32
11月		845	156	4,795	995	786	477	388	498	6	10	776	12
12月	1	1,010	170	5,947	1,134	716	548	421	537	13	28	842	26
合計	12	11,195	2,002	66,824	13,620	6,388	4,308	5,131	6,554	299	499	10,262	598

剖検

	産	婦	産婦	泌尿	小児	外	職員 健診	内	皮	耳	脳	セ外	透析	形外	歯	眼	心外	ドック	精	救急	他	合計
1月				1				3					1							1		6
2月				1				3		1			1				1					7
3月								1					1									2
4月				1				6														7
5月								6			1		1									8
6月								3														3
7月								4					2									6
8月								4			1									1		6
9月								5			1									1		7
10月								5				1	1									7
11月								7			2									1		10
12月				1				6			1									1		9
合計				4				53		1	6	1	7				1			5		78

細胞診

	産	婦	産婦	泌尿	小児	外	職員 健診	内	皮	耳	脳	セ外	透析	形外	歯	眼	心外	ドック	精	救急	他	合計
1月	5	506		242		26		92		12	1		1		4			95		10		994
2月	3	471		231		43		87		16			1		13			96		17		978
3月	3	479		275		36		95		18	1		1		7		1	76		7		999
4月	8	330		188		31		85		9	1		2		14			36		4		708
5月	6	475		193		32		79		14			3	2	9			34		11		858
6月	5	608		263		45		75		23	2		4		14	1		91		6		1,137
7月	4	571		222		44		97		15			2	2	14			113		7		1,091
8月	10	524		217		32		67		19			4		16			96		12		997
9月	1	567		224		38	2	85		13	1	1	1		11	1		129		18		1,092
10月	4	591		254		45	223	86		23	1		7	1	16	1		118		11		1,381
11月	7	539		254		47	256	88		9			2	3	7	1		104		10		1,327
12月	2	514		239		25	57	89		22			1		13	1		103		10		1,076
合計	58	6,175		2,802		444	538	1,025		193	7	1	29	8	138	5	1	1,091		123		12,638

組織診

	産	婦	産婦	泌尿	小児	外	職員健診	内	皮	耳	脳	セ外	透析	形外	歯	眼	心外	ドック	精	救急	他	合計
1月	26	176		112	1	117		362	57	35	8	3	5	45	38		11	13		4		1,013
2月	14	166		82	2	118	2	367	56	36	2	1	6	47	50		9	17		2		977
3月	22	155		82	1	128	3	319	60	36	4	2	9	57	34	4	8	18		6		948
4月	15	114		83		106		245	54	31	5		5	43	44		9	6		8		768
5月	13	108		74		126		280	54	29		2	7	23	34	2	7	5		4		768
6月	27	143		84	1	145		356	69	33	1	4	3	39	35	1	4	14		8		967
7月	18	145		79		154		387	71	36	6	1	3	55	49	2	7	22		4		1,039
8月	17	124		57	2	134		297	55	52	5	3	5	36	44	1	7	19		4		862
9月	23	143		90		136		324	60	39	9		7	49	38	3	7	27		4		959
10月	18	132		103	3	161		351	81	45	4	6	3	58	45	3	7	19		4		1,043
11月	22	122		81		148		300	59	35	4	5	8	39	38		8	16		6		891
12月	17	140		83	1	149	1	339	59	44	6	2	6	40	33		7	12		4		943
合計	232	1,668		1,010	11	1,622	6	3,927	735	451	54	29	67	531	482	16	91	188		58		11,178

組織至急検体

	産	婦	産婦	泌尿	小児	外	職員健診	内	皮	耳	脳	セ外	透析	形外	歯	眼	心外	ドック	精	救急	他	合計
1月						1																1
2月								2							4					1		7
3月								1														1
4月						4					1				1							6
5月						1		3							1							5
6月															1							1
7月															1							1
8月				1											1							2
9月								1														1
10月		1						2							2							5
11月																						
12月		2						1							1							4
合計		3		1		6		10			1				12					1		34

迅速診断

	産	婦	産婦	泌尿	小児	外	職員健診	内	皮	耳	脳	セ外	透析	形外	歯	眼	心外	ドック	精	救急	他	合計
1月		2		1		32					3											38
2月		2				25					1				1							29
3月		2		1		27					1											31
4月				2		15				1	5											23
5月		3		3		19				1				1								27
6月		2		1		26																29
7月						18					3				2							23
8月		4				20					2			1	1	1						29
9月		2		3		23				1	5											34
10月		4		1		17					3					1						26
11月		6		1		19					2											28
12月		3		2		20					2											27
合計		30		15		261				3	27			2	4	2						344

免疫組織化学

	産	婦	産婦	泌尿	小児	外	職員健診	内	皮	耳	脳	セ外	透析	形外	歯	眼	心外	ドック	精	救急	他	合計
1月		10		22		61		46	11	6	3			4	2			1				166
2月		4		23		64		38	7	5	2			3	2			1		1		150
3月	1	14		18		72		45	8	5	4			5	6					2		180
4月		11		18		60		30	7	9	6			6	1		1			1		150
5月		6		25		63		25	9	8	1			3	7							147
6月		3		25		70		47	7	3		1	1	2	4							163
7月		6		17		72		47	9	6	3	1		4	2		1	2		1		171
8月		11		19		73		33	3	6	2	1	1	4	3							156
9月		7		13		64		35	9	4	2			4	3	1				1		143
10月		8		14		73		28	10	8	4	1	2	1	4	2		4				159
11月		3		15		58		38	3	4	4	2	1	4	2					2		136
12月		7		18		69		31	14	9	3		1	4	5							161
合計	1	90		227		799		443	97	73	34	6	6	44	41	3	2	8		8		1,882

蛍光抗体

	産	婦	産婦	泌尿	小児	外	職員健診	内	皮	耳	脳	セ外	透析	形外	歯	眼	心外	ドック	精	救急	他	合計
1月								2	8				3									13
2月								3	8				6		1							18
3月								1	5				4									10
4月								2	16				2		1							21
5月								3	6	1			4									14
6月								4	13				1									18
7月								4	10				2									16
8月									5				3									8
9月									9				1									10
10月								3	9				1									13
11月								2	13				4									19
12月									7													7
合計								24	109	1			31		2							167

電子顕微鏡

	産	婦	産婦	泌尿	小児	外	職員健診	内	皮	耳	脳	セ外	透析	形外	歯	眼	心外	ドック	精	救急	他	合計
1月								4					3		1							8
2月								3					6									9
3月								3					4									7
4月								2					2									4
5月								3					4									7
6月								6					1	1								8
7月								7					2									9
8月								1					3									4
9月								2					1									3
10月								3					1									4
11月								2					4									6
12月																						
合計								36					31	1	1							69

遺伝子検査

	RAS Q-PCR	大腸BRAF Q-PCR	EGFR Q-PCR	ALK RT-PCR	ALK iAEP	ALK FISH	遺伝子再構成 E-PCR	HER2 FISH	CDKN2A FISH	1p/19q FISH	MYC FISH	PD-L1 IHC	ROS1 RT-PCR	皮膚BRAF 皮膚	肺BRAF NGS	MSI PCR	MYD88 PCR	オンコマインDx	その他	計
1月	10	10	6	1	4	1	1	3				4	5	1	3	17				66
2月	7	7	2	1	1		3	4					2			15				42
3月	3	3	8	1	5		2	4				2	6		2	11	1			48
4月	3	3	5	1	4		2	2		1		5	5		1	7		1		40
5月	3	3	7		3			5				4	3		1	6		2		39
6月	13	13	6	2	2		3	7				7	4		1	14	1			73
7月	10	10	4	1	2		3	11				6	3			11		1		62
8月	2	2	3		3		2	4				4	3			8		4	MET 1	36
9月	2	2	6		4		1	3				7	5			4		5		39
10月	3	3	9		5		2	4				7	8		3	7	1	6	CCR4 1	59
11月	4	4	2				3	8				13				10	1	9		54
12月	5	5	1				1	6				7	1			12		4		42
計	65	65	59	7	33	1	23	61		1		66	45	1	11	122	4	32	2	600

看　護　局

●看護局（2020年度）

<COVID-19の対応>

2020年1月より全国的に新型コロナウイルス感染症が拡大し、2020年2月12日より2021年3月末までに158名の入院患者を受け入れた。患者の概要を以下の表に示す。

	期間	入院数	死亡数	ECMO	人工呼吸器
第１波	2/12～5/30	33	3	0	2
第２波	7/3～9/20	42	2	0	1
第３波	10/16～21/3/30	83	18	2	13
合計		158	23	2	16

圏域	第1波	第2波	第3波	合計
香取海匝	26	22	31	79
山武長生夷隅	0	4	11	15
印旛	0	4	3	7
千葉	0	1	6	7
市原	0	1	1	2
東葛南部	3	2	13	18
東葛北部	2	5	14	21
県外	2	3	4	9
合計	33	42	83	158

＜人材の確保と定着＞

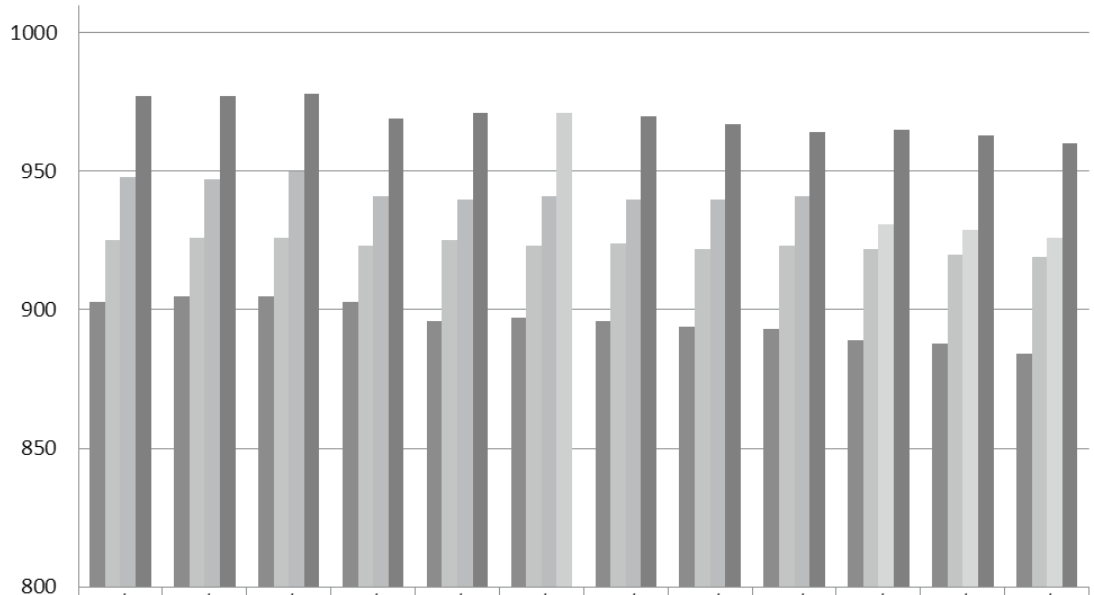
リテンションマネジメントの取り組みは4年目となった。2020年度の職務満足度調査の結果、看護局全体では組織活力度が高く、モチベーションスコアとブランド・ロイヤルティに強みがあった。組織運営の上で、人材ポテンシャル、マネジメントも全国平均を大きく上回っていた。全ての項目で、昨年、一昨年よりスコアが上昇したが、コミュニケーションの強化とワークライフバランスが課題としてあげられた。各部署、結果をもとにアクションプランを策定し、課題に取り組んだ。

また、次世代看護管理者育成を目的に、外部講師による「組織開発ワークショップ」を実施し、受講生30名、運営メンバー9名が参加した。部下5名の他者評価をもとに、自らのリーダーシップをふりかえり、自分らしいリーダーシップ像を描く機会となった。また、グループワークを通し自部署を客観視して、視野を広げることができた。

看護有資格者は2020年4月1日977名（前年29名増）、年間の採用数125名（3名増）、退職者92名（4名減）、退職率は9.9％で、年度の目標を達成することができた。

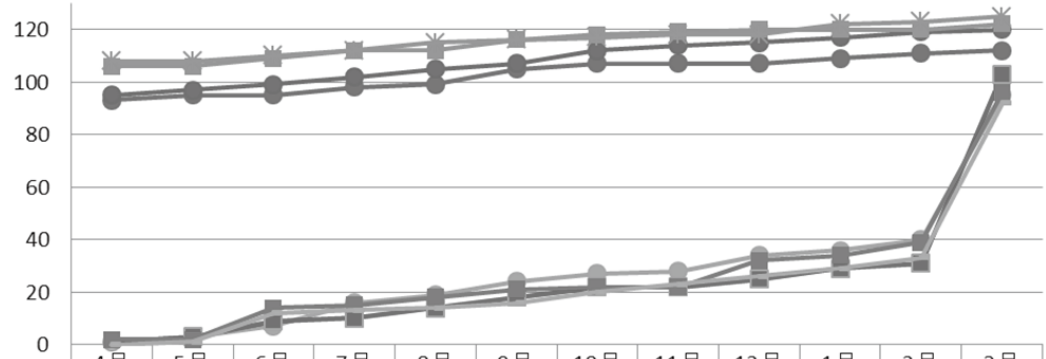
看護有資格者数および在職年数別離職数を以下に示す。

2017～2020年度有資格者数推移



	4/1	5/1	6/1	7/1	8/1	9/1	10/1	11/1	12/1	1/1	2/1	3/1
2017年度	903	905	905	903	896	897	896	894	893	889	888	884
2018年度	925	926	926	923	925	923	924	922	923	922	920	919
2019年度	948	947	950	941	940	941	940	940	941	931	929	926
2020年度	977	977	978	969	971	971	970	967	964	965	963	960

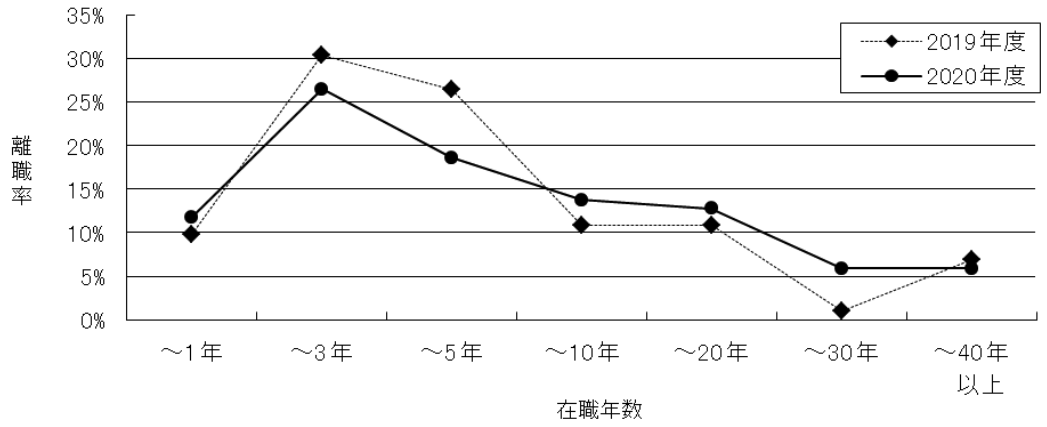
2017～2020年度 退職･採用数（累計）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2017採用	93	95	95	98	99	105	107	107	107	109	111	112
2017退職	1	3	7	16	19	24	27	28	34	36	40	95
2018採用	95	97	99	102	105	107	112	114	115	117	119	120
2018退職	1	3	9	10	14	18	22	22	25	29	31	103
2019採用	106	106	109	112	112	116	118	119	120	120	120	122
2019退職	2	2	14	15	18	21	22	22	32	34	39	96
2020採用	108	108	110	112	115	116	117	118	118	122	123	125
2020退職	0	1	12	13	14	16	20	23	26	29	33	92

在職年数別離職数及び離職率（有資格者）

在職年数		～1年	～3年	～5年	～10年	～20年	～30年	～40年以上
離職数	2019年度	10	31	27	11	11	1	7
	2020年度	12	27	19	14	13	6	6
離職率	2019年度	9.8%	30.4%	26.5%	10.8%	10.8%	1.0%	6.9%
	2020年度	11.8%	26.5%	18.6%	13.7%	12.7%	5.9%	5.9%



＜EPA＞

ベトナムよりEPA看護師候補生を受け入れ2年目となった。2020年度はコロナウイルスの影響で入国が遅れ、就業開始が1月となった。2月の国家試験受験は見合わせ、次年度に向けて、環境に慣れること、日本語を修得することを最優先した。

2020 年度　看護局　研修実績

新人看護師研修						
研修名	研修内容	研修日	時間	講師	受講者	人数
感染管理 基礎講習	スタンダードプリコーションの理解と職員としての基礎習得	4 月 2 日 . 6 日 .7 日 . 8 日	9:00 ～ 10:00 (時間短縮)	感染管理特定認定看護師 佐々木　優子 他院内認定看護師	新人看護師 新入職者	100
電子カルテ操作講習 (部門) 電子カルテ講習 (看護・注射)	情報保護の規定、カルテ操作の習得	4 月 2 日 . 3 日 .6 日	8:30 ～ 12:00	医療情報室師長 年光　康雄 他情報室職員	新人看護師 新入職者	45
安全管理 基礎講習	医療安全の理解と院内規定の理解	4 月 8 日 . 10 日	15:00 ～ 16:45	医療安全管理推進室 白土　てる子 他看護局リスク委員会委員	新人看護師 新入職者	98
看護局オリエンテーション①	看護協会入会書類説明	4 月 9 日	16:00 ～ 17:00	看護管理室　安井　和美	新人看護師 新入職者	100
看護局オリエンテーション②	卒後教育研修説明 部署紹介	4 月 14 日	13:30 ～ 17:00	看護局長　大塚　玲子 教育委員会常任師長 教育専従 図書司書　長谷川　亜紀	新人看護師 新入職者	100
静脈内注射 翼状針採血の方法	点滴静脈内注射とテープ固定 安全機能付き翼状針の使い方	4 月 13 日 . 14 日 .15 日	9:00 ～ 10:30 14:00 ～ 15:30	教育専従	新人看護師 新入職者	95
点滴静脈内注射と輸液ポンプシリンジポンプ	静脈内注射手技獲得と患者確認行動の習得、輸液ポンプ説明	4 月 16 日 .17 日	15:30 ～ 17:00	教育専従	新人看護師 新入職者	95
看護記録　概論	情報記録に関する基礎知識・理解を深める	4 月 20 日	15:30 ～ 17:00	医療情報室師長 年光　康雄 5 西病棟師長　小沼 方子	新人看護師 新入職者	97
酸素吸入・吸引	酸素投与時の注意と気管内吸引の手技獲得	4 月 21 日 . 22 日 .23 日	15:00 ～ 17:00	教育委員会　委員	新人看護師 新入職者	94
導尿・尿道留置カテーテル	導尿・膀胱留置カテーテルの手技獲得		15:00 ～ 17:00	教育委員会　委員	新人看護師 新入職者	
目標管理型の看護計画立案	日本看護業務研究会開発の HCBooks 疾患別看護ケアセットでの看護計画	4 月 24 日	15:30 ～ 17:00	医療情報室師長 年光　康雄	新人看護師 新入職者	99
インスリン治療を正しく行うための基礎知識と技術	血糖測定 インスリン注射手技獲得	4 月 27 日 . 28 日	15:00 ～ 17:00	糖尿病認定看護師 宮原　孝子 院内糖尿病チーム (薬剤師・検査技師)	新人看護師	92
重症度、医療・看護必要度概論①	重症度、医療・看護必要度の理解	4 月 30 日	15:00 ～ 17:00	看護必要度プロジェクトチーム 年光　康雄　他	新人看護師 新入職者	97
環境調整技術	患者の療養環境の理解と調整	5 月 1 日	16:00 ～ 17:00	新生児集中ケア認定看護師 飯高　絵里子	新人看護師	92
クリニカルパス基礎講座	パス用語、パス活用の理解	5 月 11 日	15:00 ～ 17:00	パス委員長 小林　康祐 (医師) 師長　年光康雄	新人看護師 新入職者	97
重症度、医療・看護必要度② (実践編)	重症度、医療・看護必要度の評点	5 月 13 日	15:00 ～ 17:00	看護必要度プロジェクトチーム 年光　康雄　他	新人看護師 新入職者	99
創傷管理技術①	診療計画書と予防対策 圧測定と背抜き	5 月 26 日 . 27 日	15:00 ～ 17:00	皮膚・排泄ケア認定看護師 越川　綾子　　椎名　幸恵	新人看護師 新入職者	98
千葉県看護協会フレッシュセミナー	春と秋に新卒看護師対象に行われる看護協会・新卒としての研修	5 月中旬 2 週間 10 月中旬 2 週間	各 1 日のみ参加	千葉県看護協会	新人看護師	中止
感染予防技術 手洗いテスト	手洗い手技の確認	部署確認に変更	15:00 ～ 17:00	各部署 感染対策リンクナース	新人看護師 新入職者	98

死後のケア	死に関する看護とエンゼルメイクの手技	6月1日.8日	15:30～17:00	緩和ケア認定看護師 信太　千恵子 1-7 病棟　桶谷　弓枝 新生児集中ケア認定看護師 飯高　絵里子	新人看護師	95
リフレッシュ研修	グループダイナミクスの醸成	6月12日	16:00～17:00	看護師確保・定着チーム 8名	新人看護師	89
救命処置技術 ①BLS	一次救命処置習得	6月15日.22日	15:00～17:00	院内 BLS インストラクター　5名	新人看護師	94
救命処置技術 ②気管挿管の物品理解と介助	気管内挿管介助の物品理解と手順習得		15:00～17:00	看護局教育委員会	新人看護師	
創傷管理技術②	DESIGN-R 評価と治療の実際　テープ貼付と剥離	6月30日.7月1日	15:00～17:15	皮膚・排泄ケア認定看護師 椎名　幸恵　　越川　綾子	新人看護師 新入職者	94
放射線の基礎知識・治療・看護	放射線治療・検査を受ける患者への看護	7月15日	15:45～17:00	放射線科外来 看護師　髙木　恵	新人看護師	90
輸血製剤の基礎知識①	輸血製剤の種類と療法の理解 検体採取と提出方法の注意	7月21日	15:45～17:00	検査室輸血認定検査技師 技師長　岩井　利恵	新人看護師 新入職者	89
退院支援・ 意思決定支援	退院調整計画書の理解 事例検討	8月6日	15:30～17:00	退院支援調整室 相澤　彩乃　八馬　弘美 医療相談室 ソーシャルワーカー2名 他　退院支援委員会　4名	新人看護師	89
輸血製剤② 輸血の副作用	輸血製剤使用時の注意と副作用 確認テストと解説	8月17日	15:45～17:00	輸血認定検査技師 技師長　岩井　利恵	新人看護師	88
廃用症候群予防・離床の援助	安全に患者を起居移動させる手技	8月24日.9月3日	15:00～17:00	リハビリテーション科 理学療法士 吉川　もえ　宇都宮　紗英	新人看護師	88
体位ドレナージ・呼吸理学療法の介助	呼吸ケアに関する手技習得		15:00～17:00	リハビリテーション科 理学療法士 入戸野　由佳　嶋田　千寛	新人看護師	
パスと看護過程	標準看護計画とパス記録をするための観察項目	9月9日.23日	15:00～17:00	パス委員会　看護局委員長 年光　康雄 他　パス委員	新人看護師	89
多重課題シミュレーション	今までの基礎技術の統合、多重業務の乗り越え方	9月30日.10月5日	15:00～17:10	看護局教育委員会 新人担当　11名	新人看護師	88
身体拘束と看護倫理	身体拘束を受ける患者の理解と看護	10月30日.11月2日	15:00～17:10	医療安全管理推進室 大島　誠 リスク委員会委員 鈴木　恵　他	新人看護師	87
1年の振り返り研修	1年間のまとめと 次年度課題の抽出	3月9日	15:30～17:00	看護局教育委員会 新人担当　10名	新人看護師	83

ラダー別研修						
研修名	研修内容	研修日	時間	講師	受講者	人数
実地指導者研修　本研修	新人看護師実地指導者の育成	6月6日	8:30～12:15	看護局教育委員会 研修担当C	実地指導者	48
リーダーⅠ (業務リーダー) 本研修	業務リーダーとなる看護師のリーダーシップ育成	6月26日	15:00～17:00	看護局教育委員会 研修担当B	ラダー レベル2	25
2020年度 リーダーⅡ①	部署変革リーダーシップの育成	7月27日	16:00～17:15	看護局教育委員会 常任師長	ラダー レベル3	26
メンバーシップ研修	2年目看護師のメンバーシップ育成	8月31日	14:30～17:00	看護局教育委員会 常任師長	2年目 看護師	84
2020年度 リーダーⅡ②	部署変革リーダーシップの育成	9月28日	16:00～17:30	看護局教育委員会 常任師長	ラダー レベル3	26

実地指導者 中間研修	新人看護師実地指導者の悩み解決	10 月 26 日	15:00 ～ 17:00	看護局教育委員会 研修担当 C	実地指導者	48
リーダーⅠ 中間研修	業務リーダーとなる看護師のリーダーシップ育成	11 月 11 日	15:00 ～ 17:00	看護局教育委員会 研修担当 B	ラダーレベル 2	24
2020 年度 リーダーⅡ③	部署変革リーダーシップの育成	11 月 30 日	16:00 ～ 17:15	看護局教育委員会 常任師長	ラダーレベル 3	25
3 年目事例研究発表会	事例研究の発表	12 月 14 日 .21 日	15:00 ～ 17:00	看護局教育委員会 研究担当	3 年目 看護師	63
2 年目看護師倫理研修	看護倫理事例検討による倫理観醸成	12 月 15 日	15:00 ～ 17:00	看護局教育委員会 研修担当 A	2 年目 看護師	86
リーダーⅠ まとめの研修	業務リーダーとしての成長共有	1 月 25 日	15:30 ～ 17:00	看護局教育委員会 研修担当 B	ラダーレベル 2	24
2020 年度 リーダーⅡ④	部署変革リーダーシップの育成	1 月 26 日	16:00 ～ 17:15	看護局教育委員会 常任師長	ラダーレベル 3	24
実地指導者 まとめの研修	実地指導担当としての成長共有	2 月 1 日	15:30 ～ 17:00	看護局教育委員会 研修担当 C	実地指導者	46
次年度事例研究をされる方への説明	看護理論活用の学習	2 月 15 日	16:00 ～ 17:15	看護局教育委員会 教育専従	2 年目 看護師	82
2020 年度 リーダーⅡ⑤	部署変革リーダーシップの育成	3 月 1 日	16:00 ～ 17:15	看護局教育委員会 常任師長	ラダーレベル 3	19
次年度プリセプター動機付け研修	次年度実地指導者への 新人看護師理解	3 月 8 日	15:30 ～ 17:00	看護局教育委員会 教育専従	次年度 実地指導者	47

院内看護研究発表会						
	研修内容	開催日	時間	発表病棟	受講者	人数
看護研究発表会 7 月	看護の探求と現場活用を発表する	6 月 25 日	16:00 ～ 17:00	看護局教育委員会 研究担当	全看護師	105
看護研究発表会 11 月	看護の探求と現場活用を発表する	11 月 12 日	16:00 ～ 17:00	看護局教育委員会 研究担当	全看護師	78

実践研修						
研修名	研修内容	研修日	時間	講師	受講者	人数
高齢者・慢性期看護分野						
透析予防について	糖尿病腎症と透析導入期の看護	7 月 16 日	17:30 ～ 18:30	糖尿病看護認定看護師 宮原　孝子 透析看護認定看護師 髙尾　美香	全看護師	43
食べるを支える看護	疾病等で食べることに障害を受けた方への援助と理解	10 月 20 日	17:30 ～ 18:15	摂食・嚥下障害看護認定看護師 掛巣　孝則	全看護師	36
認知症患者の看護 行動制限緩和に向けた介入	患者を理解し、行動制限を減らせるケア	2 月 1 日	17:30 ～ 18:30	精神科看護認定看護師 鈴木　圭二	全看護師	52
がん看護分野						
放射線治療看護とケア	放射線治療の基礎知識 放射線治療の流れ	7 月 31 日 8 月 5 日	17:30 ～ 18:30	がん放射線治療看護認定看護師 鵜澤　友美	全看護師 コメディカル	107 コメディカル 25
がん性疼痛看護 すぐに役立つ痛みの治療と看護	痛みの種類と理解、 緩和ケア	9 月 25 日	17:30 ～ 18:30	がん性疼痛看護認定看護師 石毛　明子	全看護師	76
がん化学療法 治療方針の意図を理解する	がん薬物療法の基礎知識 事例検討　意思決定支援	12 月 1 日	17:30 ～ 18:30	糖尿病看護認定看護師 宮原 孝子	全看護師	43

クリティカル看護分野						
術前看護	術前患者のリスク評価と支援	9月11日	17:30～18:15	手術看護認定看護師 廣井　友樹	全看護師	66
脳神経フィジカルアセスメント	脳神経解剖生理と意識レベル判定	10月5日	17:30～18:30	集中ケア認定看護師 伊藤　滋子	全看護師	60
循環器のフィジカルアセスメント	フィジカルイグザミネーションとショックの判定、その報告	11月18日	17:30～18:30	救急看護認定看護師 髙木　涼子	全看護師	82
術中・術後看護	術中・術後観察　体位や体温の変化	12月18日	17:30～18:30	手術看護認定看護師 香取　良美	全看護師	40
呼吸のフィジカルアセスメント	呼吸の異常 ネーザルハイフローについて	8月28日 9月9日 1月29日	17:30～19:00	ERW　向後　房江 ME　佐藤　昭生	全看護師	3回で89
家族看護	家族看護の必要性と事例検討	2月19日	17:30～18:30	救急看護認定看護師 髙木　涼子	全看護師	44
その他　実践研修						
排尿ケアチーム活動紹介 排尿自立サポート	チーム活動とメンバー紹介 依頼と排尿日誌について	11月11日	17:45～18:45	排尿ケアチーム 6西　押田　佳奈子	全看護師	58
妊産婦のメンタルヘルスケア	女性を取り巻く社会背景とメンタルヘルスの重要性	1月22日	17:30～18:30	新生児集中ケア認定看護師 宇野　優美	全看護師	27
文献検索	院内の便利な機能を駆使して文献検索を行えるようになる	8月25日 10月23日 12月15日 2月8日	17:30～18:30	図書司書　長谷川　亜紀	全看護師	4回で117人
次年度の3年目事例介入研究指導者向け研修	看護の喜びと成長を促す指導方法	3月9日	17:30～18:30	教育専従　穴澤　加代子	全看護師	66
院内認定研修						
研修名	研修内容	研修日	時間	講師	受講者	人数
CVポート院内技能認定研修会Ⅲ期	CVポート管理の基礎知識と技術習得	7月11日	17:30～18:10	医療安全管理推進室 白土　てる子 化学療法センター長 中村　朗 化学療法センター 金芳　佳子	受講登録者	28
CVポート院内技能認定Ⅰ～Ⅱ期フォローアップ研修	マニュアル改訂の理解	8月7日	17:30～18:10	医療安全管理推進室 白土　てる子 化学療法センター 金芳　佳子	Ⅰ~Ⅱ期技能認定	35
スキンケアゼミナール（基礎）						
研修名	研修内容	研修日	時間	講師	受講者	人数
褥瘡対策の現状ハイリスク計画立案	予防対策計画立案・褥瘡リスクアセスメント票・記録	5月19日	17:30～18:45	皮膚・排泄ケア認定看護師 越川　綾子	ラダーレベル2以上	91
スキンケアの基礎知識 脆弱な皮膚へのスキンケア	予防対策と治療対策の理解	6月9日	17:30～18:45	皮膚・排泄ケア認定看護師 椎名　幸恵 越川　綾子	ラダーレベル2以上 全職員受講可	96
ベッド・マットレスの特徴 ポジショニング	マットレスの特徴理解と体圧分散を理解してポジショニングをする	7月14日	17:30～18:45	パラマウントベッド 理学療法士　川島　康平	ラダーレベル2以上	103

栄養管理 院内の栄養剤の種類	褥瘡予防・治療のための栄養管理	9月1日	17:30～18:45	摂食・嚥下障害看護認定看護師 掛巣　孝則 臨床栄養課　管理栄養士 坂井　厚夫	ラダーレベル2以上 全職員受講可	94
褥瘡評価 褥瘡治療	褥瘡評価・DESIGN-Rの理解	10月6日	17:30～18:45	皮膚・排泄ケア認定看護師 越川　綾子 院内認定看護師 9西　伊藤　文子	ラダーレベル2以上	104
考査	基礎ゼミ認定の試験	11月10日	17:30～	スキンケア相談室	ラダーレベル2以上	60
2020年度　スキンケア基礎ゼミ修了　考査合格者						40

スキンケアゼミナール（ステップアップ）						
研修名	研修内容	研修日	時間	講師	受講者	人数
レポートの書き方	院内認定レポートを論理的に記述するポイント	6月24日	17:30～18:00	教育専従　穴澤　加代子	基礎ゼミ修了者	22
薬剤の選択と特徴 被覆材の選択と特徴	褥瘡アルゴリズムに沿った薬剤・被覆材の選択	7月21日	17:30～18:45	皮膚・排泄ケア認定看護師 椎名　幸恵	基礎ゼミ修了者 全職員受講可	67
糖尿病足病変予防ケア 血流障害と足病変	足病変と血流障害を理解する	9月15日	17:30～18:45	糖尿病看護認定看護師 宮原　孝子 皮膚排泄ケア認定看護師 椎名　幸恵	基礎ゼミ修了者	70
浮腫のケア 圧迫療法	浮腫の判定と適切な圧迫療法で直接対応をする・フットケアチームへの相談	10月13日	17:30～18:45	理学療法士　山口　恵美子	基礎ゼミ修了者	58
創の診方 創傷治癒過程	創傷治癒過程を理解する	11月17日	17:30～18:45	形成外科医師　橋本　光平	基礎ゼミ修了者 全職員受講可	65
考査	ステップアップゼミ認定の試験 院内認定　実践レポート	12月8日	17:30～	スキンケア相談室	登録者	24
2020年度　ステップアップ修了　　院内認定者数						18

感染ゼミナール（基礎）（ステップアップ）						
研修名	研修内容	研修日	時間	講師	受講者	人数
2020年度の感染ゼミナールは基礎・ステップアップとも開催しておりません。 基礎ゼミナール修了考査を実施						
2020年度　基礎ゼミナール修了認定者数						4

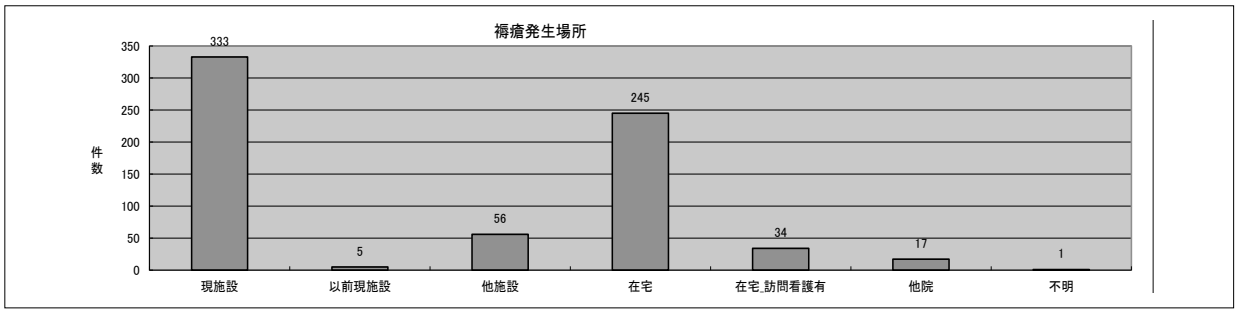
看護補助員研修						
研修名	研修内容	研修日	時間	講師	受講者	人数
おむつ交換とスキンケア	愛護的なスキンケアとおむつの交換や当て方の技術	6月17日	15:30～16:30	皮膚・排泄ケア認定看護師 越川　綾子	看護補助員	19
現場指導者研修	新しく入職する看護補助員への業務方法の指導や支援について	7月8日	15:30～16:30	教育専従　穴澤　加代子 大橋　佐知子 教育委員会　日下　喜久江	看護補助員	16
安全な移乗と安楽をもたらすポジショニング	移乗動作介助とポジショニングの演習	7月30日	15:30～16:30	理学療法士　井藤　李奈	看護補助員	20
看護補助員技術チェック （おむつ交換）	6月に行ったおむつ交換研修の技術習得状況確認	8月18日	15:30～16:30	教育専従　穴澤　加代子 大橋　佐知子	看護補助員	13
嚥下機能と食事介助	食事の形態の違いと適した介助方法　食欲がない患者への対応	8月26日	15:30～16:30	摂食・嚥下障害看護認定看護師 掛巣　孝則	看護補助員	19

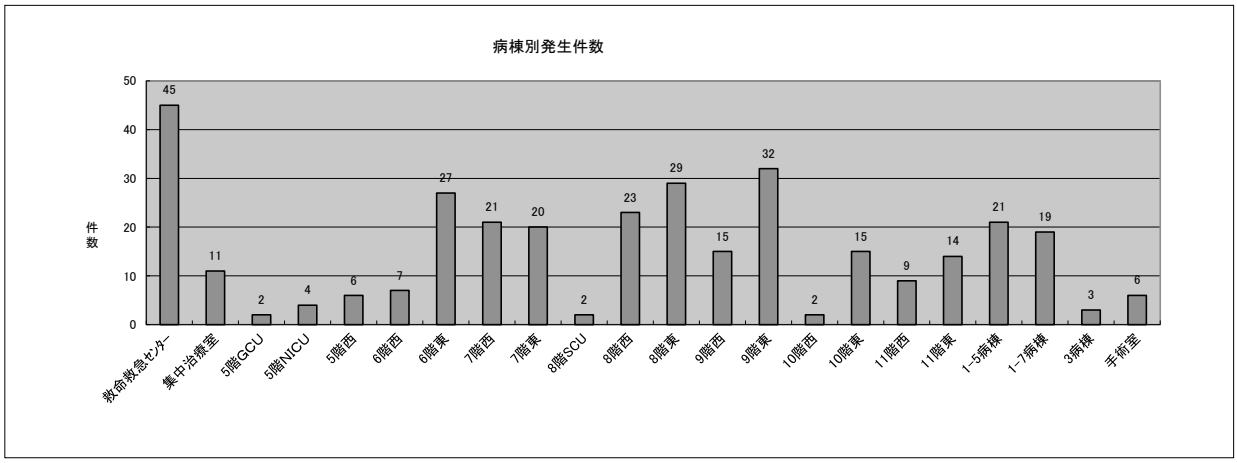
初めて学ぶコミュニケーション技術	看護補助員として患者に対する基本的なコミュニケーション技術を学ぶ	9月16日	15:30～16:30	教育専従　穴澤　加代子	看護補助員	23
看護補助員技術チェック（移動･移乗動作）	7月に行った移動・移乗動作の技術習得状況の確認	10月1日	15:30～16:30	教育専従　穴澤　加代子 大橋　佐知子	看護補助員	12
環境を整える	患者の療養空間の調整 ナイチンゲール環境論	10月15日	15:30～16:30	教育専従　穴澤　加代子	看護補助員	19
看護補助員技術チェック（食事介助）	8月に行った食事介助の技術習得状況の確認	10月27日	15:30～16:30	教育専従　穴澤　加代子	看護補助員	14
入退院に関する書類の適切な処理	書類処理方法 看護補助員として大切にしていること	12月7日	15:30～16:30	6東病棟　看護補助員 副主査　佐野　悦子	看護補助員	22
検体・輸血製剤の取り扱いと検査室への送迎	検体取り扱いと輸血製剤運搬方法	1月19日	15:30～16:30	臨床検査科 技師長　岩井　利恵	看護補助員	21
ストレスマネジメント	ストレスとうまく付き合い気を楽にする方法	2月8日	15:30～16:30	血管撮影室　高木　知美	看護補助員	26

●スキンケア相談室（2020年度）

1．褥瘡ハイリスク計画立案状況
3,453 件× 500 点＝ 17,265,000 円（診療報酬）

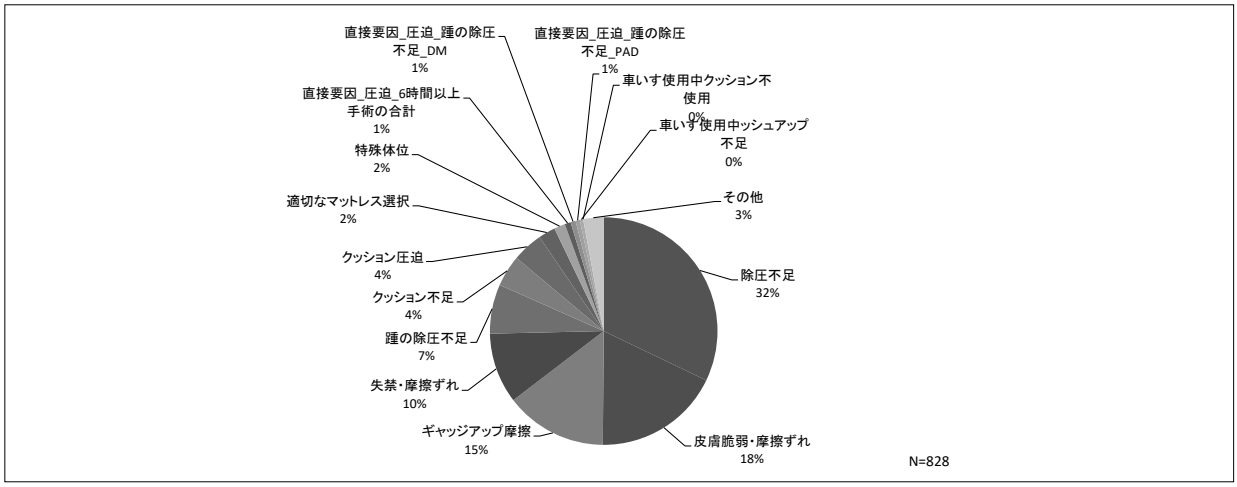
2．褥瘡発生状況
褥瘡発生件数　636 件　（院内発生 333 件　52.4%）
院内発生率 =1.68%
院外発生率 =1.79%



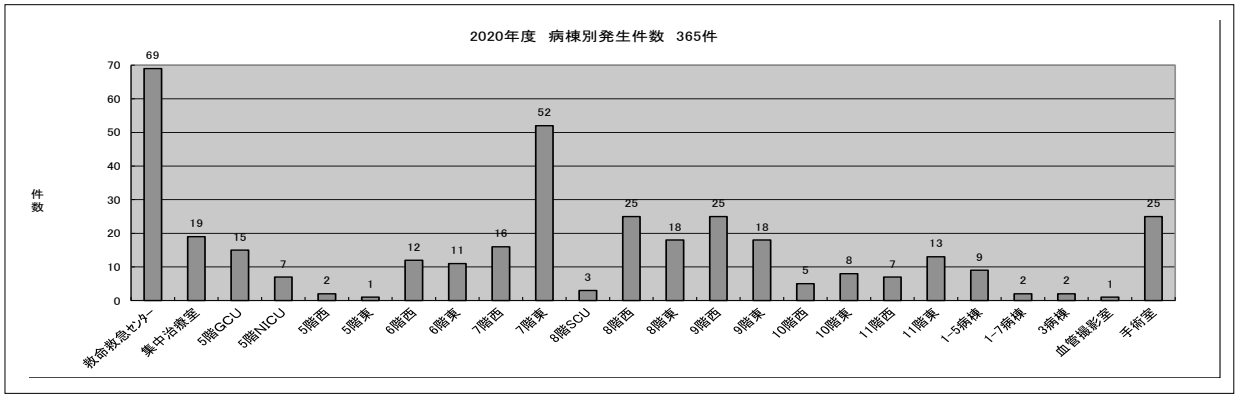


2020 年度　発生要因

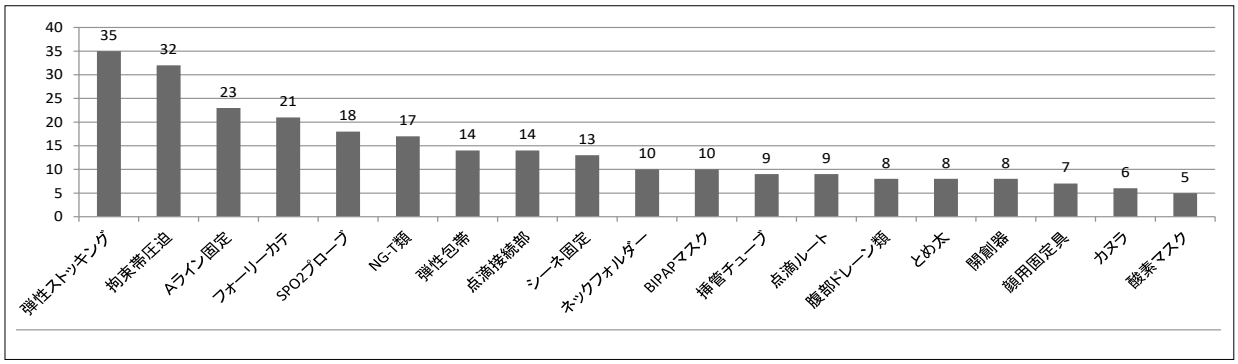
除圧不足	皮膚脆弱・摩擦ずれ	ギャッジアップ摩擦	失禁・摩擦ずれ	踵の除圧不足	クッション不足	クッション圧迫	適切なマットレス選択	特殊体位	直接要因_圧迫_6時間以上手術の合計	直接要因_圧迫_踵の除圧不足_DM	直接要因_圧迫_踵の除圧不足_PAD	車いす使用中プッシュアップ不足	車いす使用中クッション不使用	その他
266	149	120	83	58	37	36	20	13	7	6	5	4	0	24



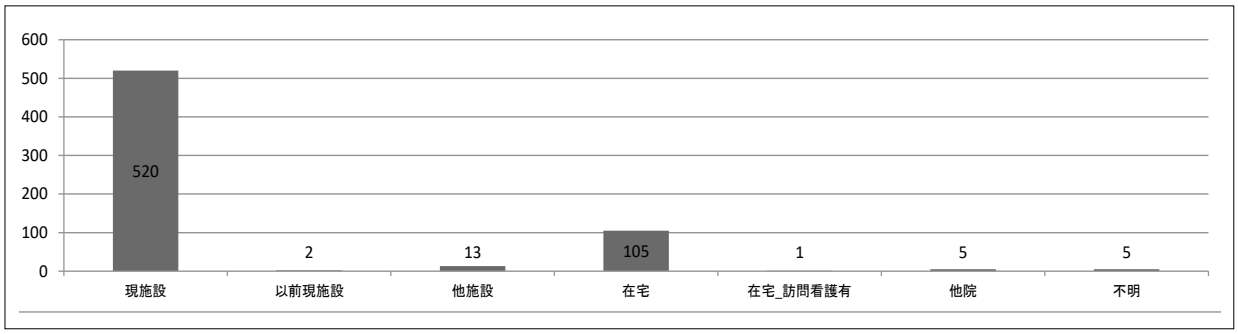
3．MDRPU 発生状況
院内発生率＝ 1.85%



2020 年度　医療機器圧迫発生要因降順



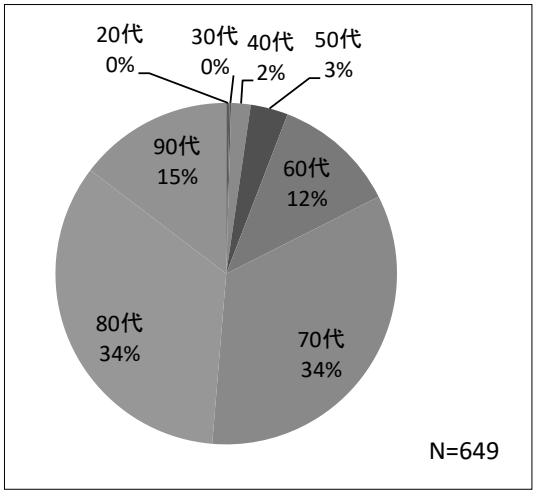
4．スキン - テア発生状況
院内発生率：2.63%



（全体）

スキン・テア発生年齢別

年代	総件数
20 代	2
30 代	1
40 代	12
50 代	23
60 代	76
70 代	219
80 代	221
90 代	95



発生時の予防対策

発生時の予防対策	件数
無	200
有	293
不明	27

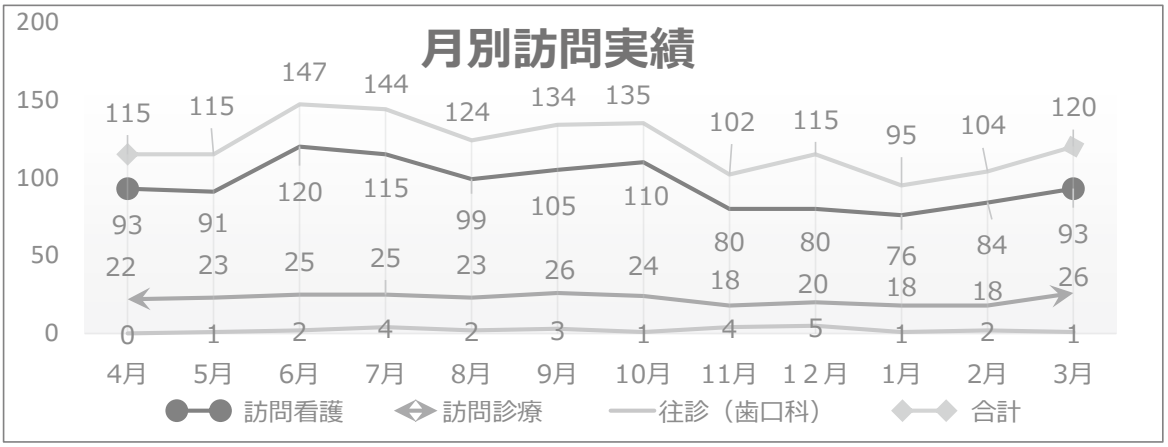
スキン-テア分類

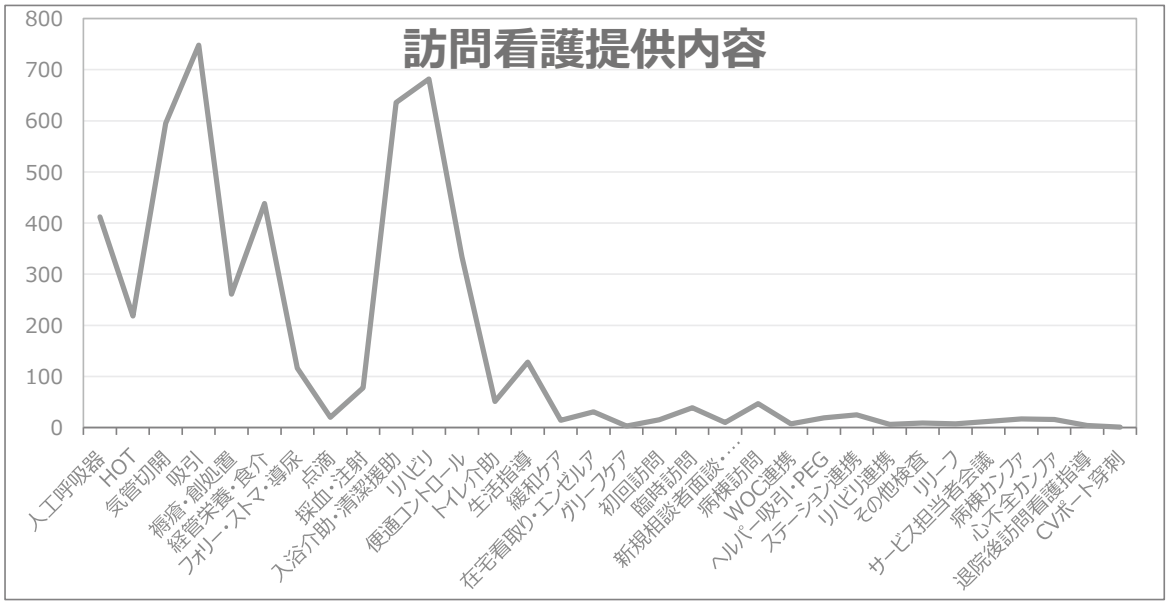
分類	件数
1a	39
1b	121
2a	55
2b	107
3	198

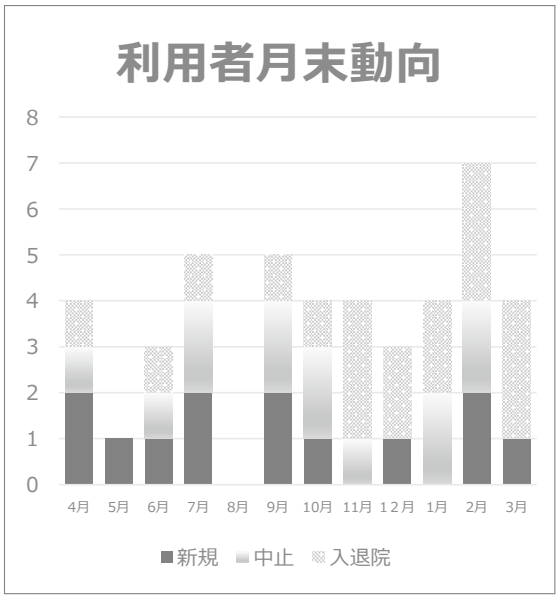
発生に関わった職種 (複数選択）

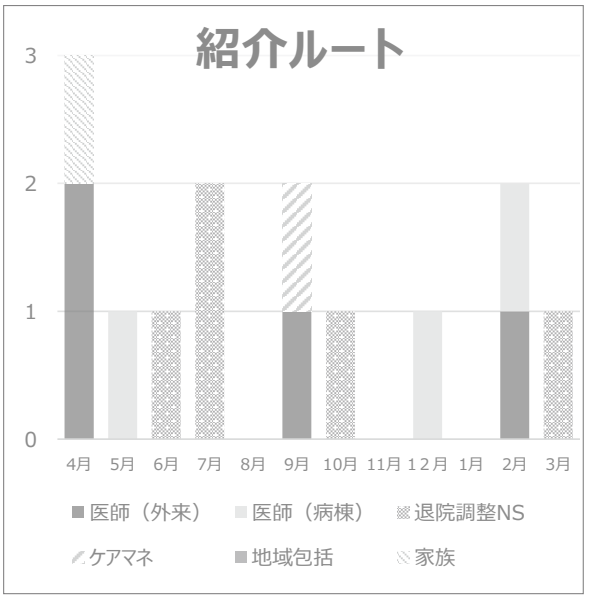
医師	看護師	PT	OT	ST	補助員	その他
101	383	12	1	0	13	19

●訪問看護室（2020年度）

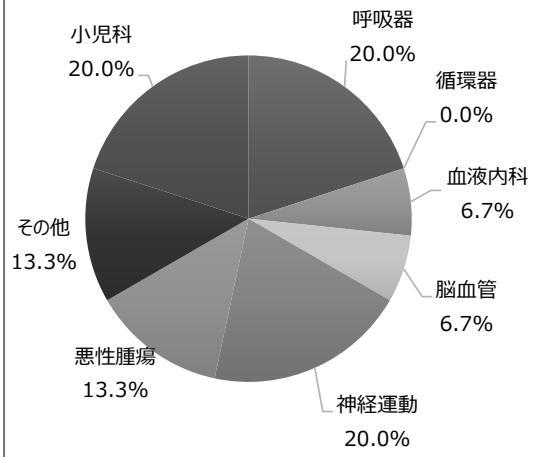




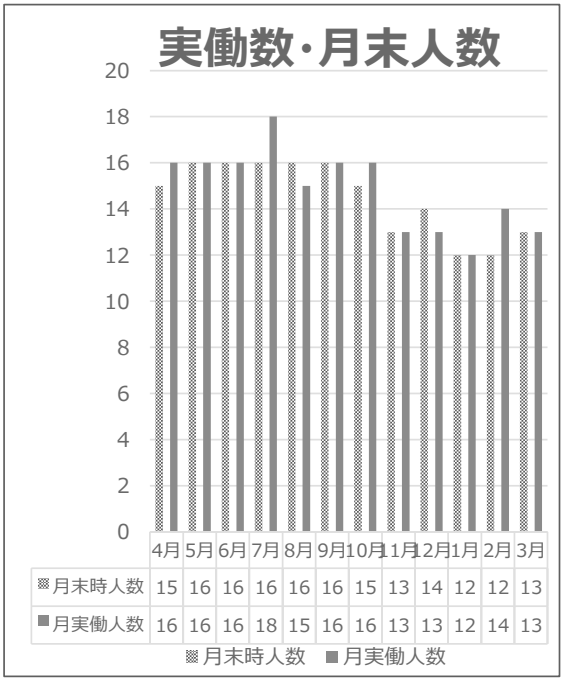




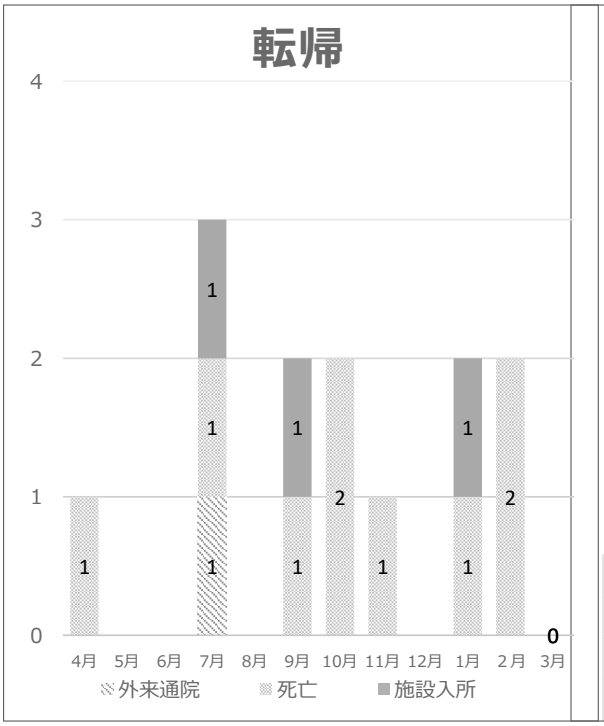
新規疾患



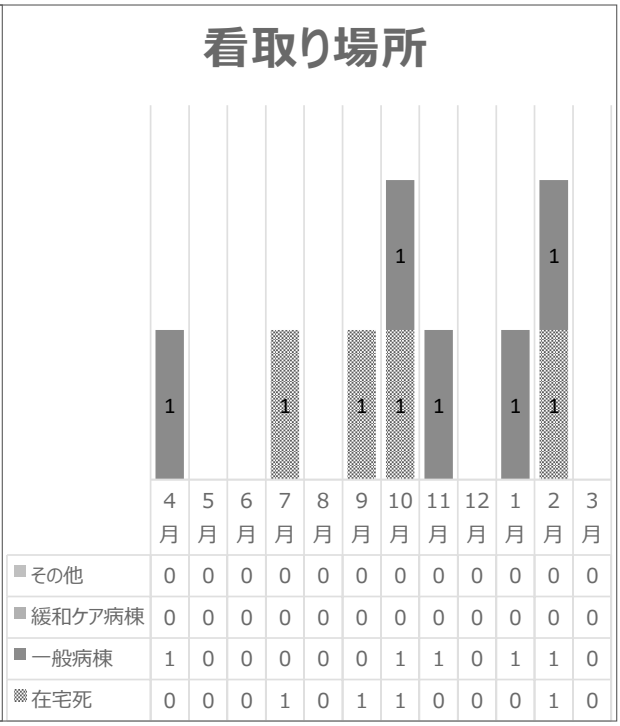
実働数･月末人数



転帰



看取り場所



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緩和ケア病棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般病棟	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0
在宅死	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1	0

●中央洗浄滅菌室（2020年度）

2020.4.1～2021.3.31

滅　菌				滅菌　OPE		消　毒		
汎用	セット	縫合セット 胸腔ドレナージ 気管切開 歯科3点	13,320	外科	7,548	汎用	セット	29,151
							単品	66,304
				心臓外科	973		チューブ作製	7,639
				整形外科	2,049	部署	病棟セット	3,926
							外来セット	9,783
		再滅菌	2	婦人科	933		病棟単品	75,294
							外来単品	115,363
							透析センター鉗子	4,462
	単品	単品	80,527	歯口科	305		学校検診器材	4,990
						消毒セット計		42,860
		再滅菌	10	耳鼻科	477	消毒単品計		274,052
部署	セット	病棟セット	1,836	形成外科	574	機器使用回数	AC滅菌機　No.1	1,251
							AC滅菌機　No.2	1,221
		再滅菌	0	眼　科	7,120		AC滅菌機　No.3	1,197
							AC滅菌機　No.4	1,195
		外来セット	9,534	脳外科	941		EOG滅菌機No.1	166
							EOG滅菌機No.2	194
		再滅菌	18	泌尿器科	3,383		低温プラズマ滅菌機　No.1	805
							低温プラズマ滅菌機　No.2	985
	単品	病棟単品	7,887	その他	2,175		単層式洗浄機　No.1	2,829
							単層式洗浄機　No.2	3,012
		再滅菌	107	再滅菌セット	193		単層式洗浄機　No.3	2,932
							二層式洗浄機　No.4	4,913
		外来単品	74,134	借用器械	2,397		真空式洗浄機	2,074
							ソニックイリゲーター	175
							オリンパス　OER-3　回	865
		再滅菌	424	単品・ディスポ	23,195		ファイバー　本	476
							メジャリング　個	1,202
滅菌セット			53,778	再滅菌単品	405		その他	700
							エンドクレンズD　回	490
滅菌単品			186,689	備考 ・透析用鉗子；回収・配送日の変更 （毎日→週2回）			経食道エコー　本	477
							ファイバー　本	13
総合計	セット		96,638				眼科硬性鏡　本	11
	単品		460,741					

薬　剤　局

●薬剤局（2020年度）

① 2020年度のトピック（ISO質目標に基づいた振り返り）

薬剤部門の2020年度ISO質目標は、１）保険薬局との連携強化、２）薬剤管理指導業務における算定件数の維持(1日平均75件以上)、３）外来持参薬鑑別と薬剤指導の充実、４）院内フォーミュラリー（医薬品の使用指針）の創設、　以上の4テーマを掲げた。

１）患者中心の医療の推進の為に、地域保険薬局との連携は重要と考える。コロナ禍のためこれまでのような対面での定期会議の開催とはならなかったが、その中でもICTの活用により双方向で連絡を取り合い、情報共有できたことは、今後の連携に発展するよい経験となった。

２）学生指導の並行と、日々、中央業務と病棟業務の掛け持ちの状況下において、年間通して目標を上回る算定件数を維持できた。今年度より病棟薬剤業務の診療報酬が上がったこともあり、薬剤管理指導算定と病棟薬剤業務の報酬合計は前年比103%となった。この成果はチーム医療への貢献につながったと思われる。

３）内科外来への拡大と共に、9月以降の持参薬鑑別は業務量が1.5倍となった。鑑別システムを駆使してトラブルなく対応できたが、持参薬の内容によっては待ち時間が発生した。外来における持参薬鑑別は入院後のタスクシフトにも役立つと考える。

４）該当診療科長とプロジェクトチームを中心に、計画的に立ち上げを行なうことができた。今年度開始となった院内フォーミュラリーは、インフリキシマブ、高尿酸血症治療薬、経口PPI、DPP - 4阻害薬、ビスホスホネート骨粗鬆症治療薬、抗インフルエンザ治療薬の6薬効群。3月には電子カルテ上にアラート機能が導入となり、フォーミュラリーが一層促進され、医療費削減効果も現れている。2021年度は継続的なモニタリングと新規フォーミュラリーの拡大に向けて取り組みを行なう。

② 2020年度　業務実績

１）薬品使用額実績　２）処方せん発行実績　３）注射調剤業務実績
４）抗がん剤調製業務実績　５）外来患者指導業務実績　６）入院患者指導業務実績
７）病棟薬剤業務実績　８）外来薬剤鑑別業務実績　９）製剤業務実績
10）医薬品情報関連業務実績　11）TDM 業務実績　12）PET 業務実績

１）2020 年度 薬品使用額実績　（薬効分類別薬価額）

薬効分類	使用額（千円）	比率（%）
中枢神経系用薬	153,589	2.05%
末梢神経系用薬	65,406	0.87%
感覚器官用薬	141,727	1.89%
循環器官用薬	122,979	1.64%
呼吸器官用薬	48,487	0.65%
消化器官用薬	184,119	2.46%
ホルモン剤（抗ホルモン剤を含む）	345,643	4.62%
泌尿生殖器官及び肛門用薬	9,201	0.12%
外皮用薬	20,202	0.27%
ビタミン剤	8,445	0.11%
滋養強壮薬	39,604	0.53%
血液・体液用薬	316,662	4.23%
人工透析用薬	65,949	0.88%
その他の代謝性医薬品	697,448	9.32%
細胞賦活用薬	280	0.00%
腫瘍用薬	3,882,326	51.86%
アレルギー用薬	12,768	0.17%
漢方製剤	3,010	0.04%
抗生物質製剤	209,415	2.80%
化学療法剤	493,766	6.60%
生物学的製剤	433,074	5.78%
寄生動物用薬	3,242	0.04%
調剤用薬	9,327	0.12%
診断用薬	158,076	2.11%
治療を目的としない医薬品	9,491	0.13%
アルカロイド系麻薬	25,657	0.34%
非アルカロイド系麻薬	26,493	0.35%
合計	7,486,388	100.00%

2）2020 年度 処方せん発行実績 （処方せん発行件数）

処方区分		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
外来	院外処方	19,370	17,806	20,474	21,400	20,651	20,493	21,897	19,852	21,095	19,841	18,726	19,715	241,320
	院内処方	1,699	1,522	1,618	1,845	1,686	1,741	1,785	1,666	1,761	1,678	1,564	1,703	20,268
	院外率％	91.9	92.1	92.7	92.1	92.5	92.2	92.5	92.3	92.3	92.2	92.3	92.0	92.3
入院処方		8,687	8,940	9,493	9,645	9,034	9,173	9,853	8,675	9,170	8,871	8,008	9,474	109,023

3）2020 年度　注射調剤業務実績

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
処方枚数	9,563	10,093	10,206	10,964	10,074	10,334	10,857	10,105	10,401	10,994	8,645	11,029	123,265
剤数	63,124	70,104	68,555	70,052	64,837	70,572	73,629	68,909	70,430	75,014	58,443	76,197	829,866

4）2020 年度　抗がん剤調製業務実績

病棟	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
04I	2		1										3
05 西	42	37	56	47	35	23	38	33	25	27	28	34	425
05 東		2								1			3
06 西	35	50	62	57	44	50	56	40	44	41	30	30	539
06 東	26	18	28	39	30	32	12	32	37	7		2	263
07 西			2	1								1	4
07 東			1				1						2
08 西		1	1							3	1		6
08 東				1	1		6	5	5			2	20
09 西	1	1	1	2	1	1	1		3	1	2	1	15
09 東	33	34	13	24	33	10	29	12	17	36	16	22	279
10 西						2	1		1				4
10 東	47	35	25	64	47	21	31	43	42	35	30	30	450
11 西	150	132	121	154	163	119	152	181	134	153	149	193	1,801
11 東	2		1	2		1	4				1		11
1-5			1	3		1	1	3					9
3 病													0
ERW		4				2	2			1			9
ドック													0
外科	90	61	91	107	137	145	168	143	132	157	157	214	1,602
眼科													0
救急科	1						3						4
産婦人科				1	2			1					4
耳鼻科	3		2	4	6	5	9	7	6	3	4	9	58
小児科	1		1	1		1	1	1	1	1	1	2	11
内科	758	581	622	696	696	696	772	709	668	698	634	784	8,314
脳外科													0
泌尿器科	30	29	46	54	50	30	49	50	55	60	51	64	568
皮膚科					2	4	7	5	5	5	8	9	45
婦人科	22	27	29	28	29	33	33	24	27	23	26	32	333
合計	1,243	1,012	1,104	1,285	1,276	1,176	1,376	1,289	1,202	1,252	1,138	1,429	14,782

5）2020 年度　外来患者指導業務実績

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
一般	374	328	407	386	365	363	402	336	312	366	311	444	4,394
化学療法	62	36	60	66	63	56	73	52	43	73	68	62	714

6）2020 年度　入院患者指導業務実績

区分		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
薬剤管理指導	指導患者数	1,139	1,104	1,332	1,323	1,264	1,251	1,367	1,207	1,222	1,176	1,074	1,371	14,830
	指導回数	1,618	1,599	1,952	1,882	1,832	1,744	1,998	1,745	1,783	1,678	1,608	2,031	21,470
	医事請求数	1,491	1,467	1,787	1,696	1,667	1,591	1,784	1,606	1,625	1,522	1,461	1,817	19,514
退院時薬剤指導		295	207	325	288	275	277	335	270	293	233	230	316	3,344
麻薬管理指導		36	39	31	38	51	40	31	22	25	42	21	13	389

7）2020 年度　病棟薬剤業務実績

業務内容　＊１	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医薬品の投薬・注射状況の把握	2,200	2,093	2,455	2,254	2,157	2,236	2,484	2,226	2,233	2,256	2,101	2,554	27,249
医薬品安全性情報等の提供（医療者からの相談）	164	127	137	88	99	109	123	103	117	104	102	174	1,447
持参薬の確認及び服薬計画の提案	463	418	513	517	477	497	488	472	471	450	421	565	5,752
薬剤投与前の相互作用の確認	8	11	13	9	4	5	6	1	8	2	7	4	78
ハイリスク薬等に係る投与前の詳細な説明	35	41	52	50	42	35	41	39	29	44	32	43	483
薬剤投与前の流量又は投与量の計算等の実施	110	118	69	62	59	54	46	70	81	61	62	78	870
その他　　＊２	1,575	1,354	1,601	1,531	1,430	1,415	1,579	1,429	1,460	1,427	1,268	1,593	17,662
合計	4,555	4,162	4,840	4,511	4,268	4,351	4,767	4,340	4,399	4,344	3,993	5,011	53,541

＊１　業務内容は、厚生労働省通知区分による。

＊２　その他に含まれる業務は、ＴＤＭ情報等による処方提案、抗がん剤レジメン確認による副作用低減の処方提案、抗がん剤の無菌調製、ＴＤＭ・検査オーダー依頼、退院先の施設等との連携、カンファレンス参加などがある。

8）2020 年度　手術前外来薬剤鑑別業務実績

	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院手術サポートセンター	患者数	20	25	33	20	22	29	26	21	31	26	32	37	322
	他院薬品数	21	73	71	27	73	50	59	71	56	49	68	107	725
	当院薬品数	24	29	58	38	36	80	40	36	52	32	97	44	566
	合計薬品数	45	102	129	65	109	130	99	107	108	81	165	151	1,291
外科（乳腺センターを含む）	患者数	65	77	95	97	92	98	91	88	82	62	79	108	1,034
	他院薬品数	219	260	410	394	319	409	370	329	305	183	300	438	3,936
	当院薬品数	122	159	110	176	222	252	155	172	141	133	125	167	1,934
	合計薬品数	341	419	520	570	541	661	525	501	446	316	425	605	5,870
泌尿器科	患者数	100	69	82	75	93	106	131	97	110	90	73	93	1,119
	他院薬品数	497	258	393	350	396	440	559	390	529	478	345	469	5,104
	当院薬品数	121	99	115	31	97	203	146	102	120	114	87	114	1,349
	合計薬品数	618	357	508	381	493	643	705	492	649	592	432	583	6,453
整形外科	患者数	22	17	14	31	34	43	23	35	19	28	24	31	321
	他院薬品数	109	92	80	230	209	166	122	176	126	134	107	141	1,692
	当院薬品数	39	36	31	82	74	161	64	89	27	68	74	97	842
	合計薬品数	148	128	111	312	283	327	186	265	153	202	181	238	2,534
婦人科	患者数	24	18	19	27	27	28	30	19	31	25	17	14	279
	他院薬品数	66	87	58	61	79	70	80	66	69	77	59	55	827
	当院薬品数	24	8	20	24	43	24	26	21	25	28	14	25	282
	合計薬品数	90	95	78	85	122	94	106	87	94	105	73	80	1,109
心臓外科	患者数	8	3	5	3	3	6	2	6	7	5	5	3	56
	他院薬品数	27	12	27	9	13	16	5	9	19	13	9	0	159
	当院薬品数	28	19	16	17	19	44	0	44	39	16	28	29	299
	合計薬品数	55	31	43	26	32	60	5	53	58	29	37	29	458
耳鼻科	患者数	3	9	17	7	20	23	18	21	16	18	25	21	208
	他院薬品数	15	18	35	40	58	109	59	67	83	52	106	73	715
	当院薬品数	1	13	55	43	32	31	28	31	48	44	48	33	407
	合計薬品数	16	31	90	83	90	140	87	98	131	96	154	106	1,122
皮膚科	患者数	7	9	10	13	15	10	11	8	7	10	7	11	118
	他院薬品数	48	54	48	45	122	35	54	30	34	52	37	33	592
	当院薬品数	3	34	10	34	4	8	29	15	33	19	34	45	268
	合計薬品数	51	88	58	79	126	43	83	45	67	71	71	78	860
歯口科	患者数	6	5	16	9	7	5	5	6	3	6	5	2	75
	他院薬品数	44	30	63	55	26	16	22	35	15	39	18	9	372
	当院薬品数	2	3	18	23	1	3	8	4	9	22	7	4	104
	合計薬品数	46	33	81	78	27	19	30	39	24	61	25	13	476

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
形成外科	患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	他院薬品数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6
	当院薬品数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計薬品数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6
内　科	患者数	7	5	10	8	8	45	161	167	171	191	158	171	1,102
	他院薬品数	34	33	46	67	36	160	670	695	749	738	711	699	4,638
	当院薬品数	13	16	30	20	13	222	820	734	872	941	707	858	5,246
	合計薬品数	47	49	76	87	49	382	1,490	1,429	1,621	1,679	1,418	1,557	9,884
脳外科	患者数	13	3	12	13	10	10	10	9	10	8	10	12	120
	他院薬品数	79	10	47	74	31	42	39	45	52	40	42	24	525
	当院薬品数	28	4	16	26	20	27	25	14	56	113	38	28	395
	合計薬品数	107	14	63	100	51	69	64	59	108	153	80	52	920
眼　科	患者数	8	11	13	15	15	13	16	24	20	17	12	27	191
	他院薬品数	57	73	98	82	76	75	82	108	134	85	83	104	1,057
	当院薬品数	4	31	9	36	29	36	30	81	28	47	22	101	454
	合計薬品数	61	104	107	118	105	111	112	189	162	132	105	205	1,511
合　計	患者数	283	251	326	318	346	416	524	501	507	487	447	530	4,946
	他院薬品数	1,216	1,000	1,376	1,434	1,438	1,588	2,121	2,021	2,171	1,946	1,885	2,152	20,348
	当院薬品数	409	451	488	550	590	1,091	1,371	1,343	1,450	1,577	1,281	1,545	12,146
	合計薬品数	1,625	1,451	1,864	1,984	2,028	2,679	3,492	3,364	3,621	3,523	3,166	3,697	32,494

9）2020 年度　製剤業務実績

製剤名	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3ATCMC 軟膏	g									250				250
アズノールG添加口腔ケア用含嗽液	L	0.5	1	1	0.5	1	0.5	1	0.5	1	0.5	1	0.5	9
アズノールN口腔ケア用含嗽液	L	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	6.5
2千倍アドレナリン液	mL	920	220	820	1120	820	620	720	700	920	920	820	800	9400
0.01%アドレナリン+2%キシロカイン	ml	60	20	60	40	40	20	40	40	40	40	20	40	460
アドレナリン0.02%+キシロカイン0.5%	ml	200	100	100	200	100	200	100	200	100	300	200	200	2000
5千倍アドレナリン	ml	2100	1700	2200	2350	1700	1900	2050	1800	4250	1900	1800	1950	25700
20 万倍アドレナリン液	ml	600	600	450	700	500	800	600	200	500	600	600	700	6850
アトロピン点眼液 0.5%	本		2						2					4
アムホテリンB(ファンギゾン)点眼液	本	10	4	4	2	2								22
20%塩化アルミニウム液	ml	865		1000	500	500							500	3365
AZ 含嗽液	mL	500	1000	1000	1000	1000		1500	500	1000	500	1000	500	9500
フェノール（液状）	ml									20				20
HSE(ボスミン加高張食塩水注)	ml	100	160	220	120	120	120	180	140	180	120	120	220	1800
Mohs ペースト	g				50									50
塩化ナトリウム点眼液5%	本	8		8			8	8		8		8	4	52
オキシドール2倍希釈液	L	5	3	5.5	5	5	6	5.5	4.5	4.5	5	5	6	60
オバホルモン親水軟膏	g						100							100
オリブ油（滅菌）	ml	60		40	60	40	20	40	60	40		60		420
カプトドロップ	本	6	6	8	8	8	8	12	8	10	6	6	10	96
カルバマゼピン坐薬(200mg)	個				30	30	30	85						175
カルバマゼピン坐薬(400mg)	個	45												45
4%キシロカイン点眼液	ml	180	120	180	180	185	140	220	180	145	140	140	125	1935
0.025%逆性石ケン液	L	4.4	3.8	4.2	4.4	4.6	5.4	6.2	4	4.2	4.8	4.2	5.6	55.8
グリセリン(滅菌)	L	28.2	19.2	25.1	18.7	21.2	19.6	22.2	20.2	20.3	19.7	19.7	18.1	252.3
グルタルアルデヒド溶液	mL		500				500				500			1500
KOH20%+DMSO15%	ml	20		30	20	50	10	20	10	10	30	20		220
ゲンタシンガーゼ	缶	5			3	5	1		5	5			5	29
10%塩酸コカイン水溶液	ml	2	1	4	6	4	7	6	10	7	6	7	8	68
鼓膜麻酔液	ml			10		10			10					30
酢酸3%	ml	600	200		1200	700	200	500	500	600	500	100	1000	6100
サンディミュン点眼液	本	4		4				4				2		14
サンピロ点眼液 0.125%	本											1		1

製剤名	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
２０％自己血清点眼液	ml	305	345	535	205	445	525	270	535	100	525	245	365	4400
ジフルカン点眼液	本	2												2
2%重ソウ水	L	11	9	10.5	9	11.5	8	11	9.5	7	9.5	8.5	8	112.5
硝酸銀液 0.02%	ml						90							90
硝酸銀液 0.05%	ml						60							60
硝酸銀液 0.1%	ml						80	80						160
硝酸銀液 10%	ml	10			20			20				10	10	70
SADBE 2%　*1	ml	20	20	36		38	20	18	18	18	36	18		242
SADBE 0.2%　*1	ml	20	20	34	18	20	58	18	18	36	34	18		294
SADBE 0.02%　*1	ml	80	40	78	56	60	78	16	38	58	54	20	58	636
SADBE 0.002%　*1	ml	20	20	20	40	20	38	36	38	18	56		18	324
SADBE 0.0002%　*1	ml		40		36	20	18	36	18	18	36		18	240
SADBE 0.00002%　*1	ml		40		36	20	18	36	18	18	36		18	240
SADBE 0.000002%　*1	mL		40		36		38	36	18	18	36		18	240
SADBE 0.0000002%　*1	ml		40		36		38	36	20	16	36		20	242
生食点鼻液	ml	35		340		100			60			260	160	955
セフタジジム点眼液 2%	本									10	20	11	10	51
ＤＭＳＯ液 50%	ml		120	60	120		120		120	240			120	900
0.5%デノシン点眼液	本	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
トルイジンブルー	ml				20						50	20		90
ニフレック洗腸液	L	420	356	440	420	400	400	440	340	400	380	360	460	4816
パッチテスト	伴	1		3			2	2		4	1		2	15
バルプロ酸坐剤 200mg	個	30		60			120				60			270
バルプロ酸坐剤 600mg	個	30	30				60	90	60					270
バンコマイシン点眼２%	本									10	10		10	30
ピオクタニン１%	ml	105		30	680	105	620	605	195	575	605	165	680	4365
ピューラックス３倍希釈液	L	1.4	1.4	1.4	0.9	1.4	0.9	1.4	1.4	1.4	1.4	0.9	1.4	14.85
1% ブイフェンド点眼液	本	2	4	8	8	13	9	1						45
液状フェノール	ml			20										20
フェノール水溶液 (5%)[注射]	A		20											20
プリビナ点鼻液	本						24				10			34
ブリリアントブルー液	本				10	20		20			20		20	90
0.1%プレドニン点眼液	本	12	12			20		8	4	8	4	12	4	84
ベクロメタゾンカプセル	個	100	163	246	204	288	158	78	109	196	50	150	197	1939
ベクロメタゾン腸溶性カプセル	個	127	184	152	241	159	89	20	139	198	50	146	199	1704
ヘパリンナトリウム 10 倍希釈点耳液	本	10					10				10			30
１６倍希釈ポピラール液	L	16.8	15.2	18.4	18.2	18.2	18.2	18.2	16.4	17.8	17	14	18.4	206.8
メチレンブルー２%	ml	20			20	150	20		20	20				250
0.8%メトロニダゾール液キシロカイン入り	ml											200		200
0.8%メトロニダゾール液キシロカインビスカス入り	ml			100				1000	500	500	500		1000	3600
メトロニダゾール・ゲル(0.8%)	g	2000	2000			500	2000	1000	500	2500	2000		1000	13500
メントール入りベナパスタ	g									510			510	1020
10%リドカインクリーム	g	2000		2000	2000		2000		2000		2000			12000
内服用ルゴール液	ml												50	50
ルゴール液	ml			20	20	20		20				20	20	120
ルゴール液(シラーテスト用)	ml	300	300	200	600	500	300	200	100	200	300		400	3400
ルゴール液 (内視鏡用)	ml	300		250	300	250	200	200	150	300	350	400	200	2900
レベチラセタム坐剤500mg	個				22				30			15		67
ローダミンＢ（0.1%）	ml											100		100

*1: スクアレン酸ジブチルエステルアセトン液

10）2020 年度　医薬品情報管理科業務実績

疑義照会件数 (院内処方・入院）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
510	538	664	580	492	502	594	562	560	532	470	614	6,618

院内副作用報告件数

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

新規採用品目数

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
9	0	0	20	0	24	16	17	18	0	32	0	136

削除品目数

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
3	0	0	7	0	11	9	9	8	0	21	2	70

回収

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
1	3	0	2	2	1	3	4	4	2	2	2	26

治験調剤件数

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
26	17	19	13	16	14	15	12	20	14	24	24	214

11）2020 年度　TDM 業務実績（血中薬物濃度解析件数）

薬物	入院 / 外来	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
テオフィリン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	1	1	0	3	0	0	0	2	2	0	0	0	9
バルプロ酸	外	8	6	11	5	18	6	5	9	6	9	4	16	103
	入	3	2	3	5	1	2	14	6	5	2	5	5	53
カルバマゼピン	外	5	1	2	5	4	3	3	2	4	1	2	5	37
	入	0	0	1	0	1	1	1	1	0	2	7	5	19
フェニトイン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	5	0	0	1	1	0	1	1	0	2	0	2	13
フェノバルビタール	外	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	2	5
	入	1	3	2	2	3	1	5	5	1	5	4	3	35
エトスクシミド	外	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プリミドン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゾニサミド	外	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クロナゼパム	外	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	4
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
ニトラゼパム	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クロバザム	外	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	3
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガバペンチン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リチウム	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
ジゴキシン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3
ジソピラミド	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

薬物	入院/外来	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
リドカイン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シベンゾリン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
メキシレチン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アミオダロン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アミカシン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	2	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	5
ゲンタマイシン	外	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
	入	5	0	0	0	7	6	0	2	0	0	0	4	24
トブラマイシン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
バンコマイシン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	52	50	74	79	83	79	86	95	102	90	91	115	996
テイコプラニン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	5	1	1	4	3	1	2	8	4	4	0	6	39
シクロスポリン	外	3	4	2	4	4	0	3	5	3	0	2	0	30
	入	4	1	1	0	1	0	4	0	2	3	2	0	18
ボリコナゾール	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	入	0	0	3	0	0	0	2	3	0	1	3	2	14
タクロリムス	外	1	0	3	1	2	1	1	2	1	0	2	1	15
	入	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
レベチラセタム	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	入	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	外	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	入	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計（外来＋入院）		105	71	107	111	131	102	129	143	132	122	126	169	1,448

12）2020 年度　PET 業務実績（FDG 合成実績）

積算サイクロトロン照射時間　(hr)	212.7
積算照射電流　(μ A h)	6380
合成回数 (回)	215
総 F- 合成量（GBq）	7635.0
総 FDG 合成量（GBq）	5226.9
合成収率　(%)	68.5%

診療技術局

●中央検査科（2020年度）

2020 年度は「検査サービスに対する満足度の向上および精密かつ正確で質の高い臨床検査データを迅速に提供」をモットーに、ISO15189 の維持・継続に向けた取り組みを行い、第２回サーベイランスにより適合が認められ継続が承認されました。

本年は新型コロナの影響により大変な一年でしたが、これを機会に新型コロナの遺伝子検査として LAMP 法・PCR 法の導入、迅速抗原検査の導入などに取組むことが出来ました。

検査件数は全体としては対前年度比 100.8%とほぼ横ばいでした。内訳は検体検査の一般検査 78.7%、血液検査 101.9%、生化学検査 101.8%、細菌検査 100.9%、免疫血清検査 68.0%、輸血検査 94.4%、夜間休日検査 99.2%でした。生理検査は心電図検査 98.2%、呼吸機能検査 84.8%、超音波検査 96.0%、脳波検査 84.7%、無散瞳眼底検査 88.0%、聴力検査 87.7%でした。生理検査、得に呼吸機能検査や脳波検査、無散瞳眼底検査の減少は新型コロナの影響が要因と考えられます。同様に医療連携強化施策の一環として導入された生理検査機器共同利用件数も 384 件で対前年比 86.1%と減少が見られました。

2020 年度　中央検査科業務件数

部　　署	検 査 件 数
一般検査	93,296
血液検査	544,883
生化学検査	4,152,079
細菌検査	141,022
免疫血清検査	12,100
輸血検査	29,270
心電図検査	42,425
呼吸機能検査	18,468
超音波検査	18,911
脳波検査	2,554
無散瞳眼底検査	2,786
聴力検査	6,523
夜間休日検査	704,309
総　合　計	5,768,626
外部委託検査	81,191
中央採血室採血患者数	140,709

Ⅰ．中央採血室　　2020 年度

診　療　科	患　者　数
内科	96,753
外科	12,167
心臓外科	2,041
整形外科	1,421
泌尿器科	9,854
神経科	2,837
脳外科	578
耳鼻科	1,597
皮膚科	2,329
歯口科	461
眼科	1,806
形成外科	572
麻酔科	348
産科	1,836
婦人科	5,835
リハビリ科	0
放射線科	0
透析	137
小児科	0
救急科	0
職員検診	137
外来患者合計	140,709
月平均患者数	11,726

Ⅱ．検体検査部門

1．一般検査　　2020 年度

検　査　項　目	外　来	入　院	合　計
尿定性	41,147	6,045	47,192
尿沈渣	31,088	5,218	36,306
妊娠反応	100	1	101
便潜血	6,405	342	6,747
寄生虫検査	22	34	56
髄液検査	66	229	295
穿刺液検査	212	224	436
精液検査	27	0	27
便中ロタウイルス	18	17	35
便中アデノウイルス	18	17	35
RS ウィルス	89	20	109
A 群β溶連菌	160	20	180
アデノウイルス	150	22	172
尿レジオネラ	241	72	313
肺炎球菌	237	70	307
ヒトメタニューモウイ	87	21	108
糞便塗抹顕微鏡検査	75	432	507
SARS 迅速	104	19	123
インフルエンザ	105	34	139
マイコ -IgM	79	23	102
マイコ抗原	4	2	6
総　件　数	80,434	12,862	93,296

2．血液検査　　2020 年度

検　査　項　目	外　来	入　院	合　計
血算	147,170	52,507	199,677
血液像	125,772	49,527	175,299
血液像目視	7,678	7,951	15,629
網状赤血球数	3,098	2,702	5,800
出血時間	1,977	30	2,007
PT	31,510	17,524	49,034
APTT	24,510	16,705	41,215
Fib	6,416	9,391	15,807
FDP	1,977	3,449	5,426
D ダイマー	8,159	7,111	15,270
AT Ⅲ	251	432	683
第Ⅹ Ⅲ因子	70	22	92
SFMC	655	247	902
ループス	73	53	126
混合試験	3	1	4
骨髄像	219	182	401
血沈	15,726	1,660	17,386
凝集能　ADP・コラーゲン	16	8	24
その他 BAL・HPC	6	95	101
総　件　数	375,286	169,597	544,883

3．生化学検査　2020 年度

依頼項目	項目数	外来	入院	合計
蛋白（血清､他）	23	289,574	99,183	388,757
ｱﾐﾉ酸窒素化合物	11	440,470	151,270	591,740
酵素	25	835,604	292,293	1,127,897
鉄代謝	3	26,440	7,510	33,950
心筋マーカー	4	34,839	10,126	44,965
ビリルビン	5	137,719	49,273	186,992
脂質	15	284,728	20,704	305,432
電解質・金属	17	682,661	239,151	921,812
糖代謝	8	158,948	12,442	171,390
内分泌・下垂体	4	12,363	1,467	13,830
内分泌・甲状腺	3	22,035	2,691	24,726
内分泌・性腺	2	444	38	482
感染症･炎症ﾏｰｶｰ	12	168,477	59,438	227,915
腫瘍マーカー	10	47,203	1,977	49,180
薬物	16	3,496	1,747	5,243
補体･免疫ｸﾞﾛﾌﾞﾘﾝ	6	34,020	5,216	39,236
自己免疫関連	3	11,584	466	12,050
透析液	5	6,135	0	6,135
その他	3	4	19	23
CGM(FGM)	1	13	3	16
SMBG	1	237	71	308
総件数		3,196,994	955,085	4,152,079

4．免疫・血清検査　2020 年度

検査項目	外来	入院	合計
寒冷凝集反応	8	6	14
IgE	1,057	142	1,199
クリオグロブリン	222	116	338
血液粘稠度	11	1	12
抗 DNA	1,758	145	1,903
リンパ球サブセッ	423	42	465
造血腫瘍	1	22	23
HIV PCR 定量	403	20	423
高感度 PNH（ＷＢ･ＲＢ）	108	46	154
RNA 抽出	0	0	0
HCV RNA 定量	960	65	1,025
アレルギー (特異 IgE)	5,527	379	5,906
研究アディ	638	0	638
研究 Treg	0	0	0
総件数	11,116	984	12,100

5．細菌検査　2020 年度

検査項目	外来	入院	合計
塗抹	10,184	8,225	18,409
培養			
血液	9,178	7,295	16,473
髄液	114	150	264
尿	6,021	2,857	8,878
泌尿器	16	20	36
婦人科	962	283	1,245
眼	193	35	228
耳	81	439	520
咽頭	177	1,372	1,549
鼻腔	163	308	471
喀痰	1,937	2,251	4,188
便	271	1,264	1,535
胆汁	39	200	239
胃液	5	305	310
開放性膿	754	727	1,481
非開放性膿	363	591	954
穿刺液	262	511	773
嫌気培養	10,459	7,812	18,271
感受性			
１菌種	3,070	2,386	5,456
２菌種	1,235	1,070	2,305
３菌種以上	365	434	799
同定菌数	19,563	16,959	36,522
大腸菌検査	203	174	377
ベロ毒素	0	0	0
ＣＤトキシン	31	907	938
耐性菌検出	2,367	1,861	4,228
質量分析	4,435	3,766	8,201
抗酸菌			
塗抹	1,687	1,391	3,078
培養	1,692	1,419	3,111
同定（ＤＤＨ）	29	19	48
同定（質量分析）	34	21	55
ジェノスカラー	0	3	3
感受性	48	29	77
総件数	75,938	65,084	141,022

6．輸血検査　2020 年度

検査項目	外来	入院	合計
ABO 血液型	6,807	1,063	7,870
Ｒｈ（D）式血液型	6,807	1,063	7,870
不規則抗体スクリーニング	5,839	903	6,742
D 陰性確認試験	59	12	71
直接クームス	76	68	144
間接クームス	1,758	67	1,825
抗体価	11	1	12
解離試験	10	12	22
Ｒｈ他因子	17	6	23
交差適合試験	1,395	2,829	4,224
T&S	3	300	303
抗体同定	25	10	35
輸血副作用	8	15	23
自己血	103	3	106
総件数	22,918	6,352	29,270

7．外部委託検査　2020 年度

検査項目	外来	入院	合計
SRL	62,203	18,947	81,150
三菱	29	2	31
MBL	2	8	10
総件数	62,234	18,957	81,191

Ⅲ．生理検査部門

1．心電図検査　2020 年度

検　査　項　目	外　来	入　院	合　計
心電図	23,695	4,691	28,386
R-R 間隔	25	18	43
心臓超音波	6,318	2,580	8,898
トレッドミル負荷心電図	163	2	165
24 時間ホルター心電図	745	47	792
24 時間自動血圧	6	4	10
ABI・PWV	1,243	571	1,814
Late potential	34	32	66
血管超音波検査	801	372	1,173
携帯型発作時心電図	60	0	60
心音図	0	1	1
心臓超音波経食道法	214	253	467
心筋スペクト	492	58	550
総　件　数	33,796	8,629	42,425

2．呼吸機能検査　2020 年度

検　査　項　目	外　来	入　院	合　計
スクリーニング	14,014	1,268	15,282
呼吸機能精密検査	1,095	239	1,334
呼吸抵抗検査	255	10	265
呼気 NO	1,234	66	1,300
心肺運動負荷試験	109	10	119
連続呼気ガス分析	109	9	118
可逆性テスト	1	0	1
喘息運動負荷試験	0	0	0
鼻腔通気度	29	0	29
時間内歩行試験	19	1	20
総　件　数	16,865	1,603	18,468

3．超音波検査　2020 年度

検　査　項　目	外　来	入　院	合　計
腹部超音波	12,440	1,525	13,965
血管超音波	907	667	1,574
表在超音波	2,625	108	2,733
乳房超音波	454	6	460
造影超音波	85	8	93
穿刺超音波	1	85	86
総　件　数	16,512	2,399	18,911

4．脳波検査　2020 年度

検　査　項　目	外　来	入　院	合　計
脳波	779	477	1,256
筋電図	668	167	835
誘発電位	26	159	185
平衡機能	74	16	90
自律神経	2	5	7
睡眠ポリグラフ	79	69	148
術中モニタリング	0	33	33
総　件　数	1,628	926	2,554

5．眼底検査　2020 年度

検　査　項　目	外　来	入　院	合　計
眼底撮影	2,786	0	2,786
総　件　数	2,786	0	2,786

6．聴力検査　2020 年度

検　査　項　目	外　来	入　院	合　計
標準純音聴力	1,392	82	1,474
気導純音聴力	659	33	692
チンパノメトリー	308	20	328
耳小骨筋反射	95	4	99
標準語音聴力	23	2	25
内耳機能	1	0	1
中耳機能	10	0	10
耳管機能	32	1	33
耳音響放射	91	0	91
耳鳴検査	1	0	1
簡易聴力	3,190	0	3,190
新生児聴力	0	579	579
総　件　数	5,802	721	6,523

Ⅳ．夜間休日検査　2020 年度

依　頼　項　目	項目数	外　来	入　院	合　計
血算	1	11,342	18,438	29,780
血液像	1	10,736	17,594	28,330
PT	1	7,364	9,280	16,644
APTT	1	7,213	9,769	16,982
Fib	1	4,252	6,042	10,294
FDP	1	1,446	2,372	3,818
D ダイマー	1	4,161	3,841	8,002
AT Ⅲ	1	103	547	650
SFMC	1	40	75	115
血沈	1	109	173	282
蛋白	17	22,669	33,017	55,686
酵素	21	67,937	102,161	170,098
ビリルビン	6	10,606	16,992	27,598
CRP	1	10,151	15,446	25,597
プロカルシトニン	1	128	231	359
脂質	13	10,185	4,965	15,150
アミノ酸	8	34,442	51,237	85,679
電解質・金属	13	55,647	85,014	140,661
糖・糖代謝	12	6,018	2,394	8,412
心筋マーカー	4	8,929	7,177	16,106
薬物	4	20	20	40
尿薬物スクリーニング	1	38	2	40
エタノール	1	56	5	61
パラコート	1	0	0	0
アプトテスト引継ぎ	1	0	0	0
梅毒検査	1	2,319	877	3,196
HBs 抗原 (CLIA	1	2,374	895	3,269
HCV 抗体 (CLIA	1	2,385	888	3,273
HBs 抗体 (CLIA	1	924	225	1,149
HIV 抗体 (CLIA	1	2,279	875	3,154
透析液	5	1,825	0	1,825
血ガス	2	96	869	965
尿定性	1	3,741	2,944	6,685
尿沈渣	1	3,691	2,541	6,232
妊娠反応	1	140	1	141
髄液細胞数	1	90	74	164
穿刺液細胞数	6	112	110	222
インフルエンザ	2	204	49	253
マイコ -IgM	1	28	6	34
尿レジオネラ	1	318	70	388
肺炎球菌	1	322	76	398
その他感染症	11	453	132	585
SARS 迅速	1	207	25	232
血液型	1	1,421	490	1,911
直接クームス	1	11	18	29
間接クームス	1	11	21	32
不規則抗体スクリーニング	1	1,421	320	1,741
交差試験 R	1	342	678	1,020
交差試験 F	1	116	240	356
交差試験 P	1	22	165	187
細菌培養	5	3,246	3,238	6,484
総　件　数		301,690	402,619	704,309

●放射線科（2020年度）

人員について

4月より診療放射線技師１名（正規職員）をご採用頂き、技師38名（再雇用職員２名を含む）、医学物理士１名、補助員１名の40名の体制となった。6月には血管撮影室補助員1名をご採用頂き、血管撮影業務の増加に対応している。

業務、機器について

本年度は「放射線診断および治療装置の稼働向上」を目標として活動をしたが、新型コロナウィルスの影響により撮影・治療件数が合計で前年度比95%の結果となった。医療安全に関しては特にヒヤリハット報告数の増加を促し、本年度は28件（前年度比133%）となり目標を達成した。一方、機器関係においては厚生労働省・新型コロナウイルス感染症重点医療機関等設備整備事業による第3CT装置の更新のご承認を頂き、更新された（3月）。

高額医療機器の総合的な調達、稼働および保守の仕組みの検討について

経営企画室を事務局として「検査・放射線機器におけるマネジメント最適化PJ会議」が10回にわたり開催され、資料提出および提案を行った。最終的には単一メーカーへの長期包括契約は情勢変化に伴うリスクが無視できず、従来のスタイル（単一契約・単一保守）の継続が望ましいと結論づけられた。

放射線治療装置更新について

2018年9月に本館1階リニアック室に搬入された新放射線治療装置は2019年1月に動作不良が発覚し、原因は治療室内に蔓延する磁場の影響と推測された。治療室全体に磁場シールド処理するなど多角的に検討をしたが、現放射線治療棟（PETセンター隣）に放射線治療室増築する案について施設整備基本計画会議にてご検討頂く事となった（2019年9月）。増築案はご承認頂き、2020年4月工事起工式が行われた。コロナ禍という厳しい状況の中施設課を中心に多方面のご協力により大変短期間の工事となり、2021年3月に竣工式を迎える事となった。そして、2021年4月より待望の新装置による放射線治療が開始された。長期にわたり理事長先生・院長先生・磯貝先生・事務局長・診療技術局長・各課課長にご心配をおかけした点にお詫び申し上げ、多大なるご配慮・ご協力に深く感謝したい。

他職種との連携について

血管撮影室の安全で効率的な運営を目的として、神田先生（循内）を議長に血管撮影室運営会議が発足され各部署・職種より活発な意見交換が得られている。

2020 年度放射線科業務年報（人数）

	一般撮影		CT				MRI			治療				血管					RI			PET	合計
		歯科CT	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	ﾘﾆｱｯｸ	ﾘﾆｱｯｸ1	組織内	腔内	第1	第2	第1心カテ	第2心カテ	ope15	第1	第2	RI治療		
2020年4月	7,509	22	687	446	768	1,272	302	375	323	732	263	0	13	32	35	60	98	8	40	108	0	130	13,223
2020年5月	7,766	8	740	409	681	1,436	309	365	303	666	261	0	6	30	37	65	101	9	41	93	0	97	13,423
2020年6月	8,884	19	1,030	497	833	1,487	423	519	432	669	302	0	8	30	52	72	123	8	57	113	1	143	15,702
2020年7月	8,948	39	994	510	819	1,497	443	529	399	734	299	0	6	32	44	65	134	10	54	118	1	145	15,820
2020年8月	8,818	30	903	470	802	1,478	398	511	385	771	302	0	13	36	55	62	129	6	49	120	0	136	15,474
2020年9月	8,870	33	1,007	534	827	1,469	439	536	411	702	281	0	6	39	58	60	128	8	60	117	0	142	15,727
2020年10月	9,399	33	1,131	566	904	1,505	467	527	457	927	385	0	9	43	56	70	132	13	58	119	0	127	16,928
2020年11月	8,552	32	967	484	817	1,437	390	481	407	755	297	0	9	27	55	61	112	8	54	110	0	112	15,167
2020年12月	9,169	39	960	596	860	1,489	390	506	412	879	336	0	9	32	50	62	126	14	59	88	0	125	16,201
2021年1月	8,740	26	951	431	823	1,499	379	435	381	531	292	0	10	34	52	59	133	9	62	100	0	104	15,051
2021年2月	8,099	31	918	468	627	1,399	352	462	390	706	278	0	8	33	60	63	118	9	41	97	0	100	14,259
2021年3月	9,924	43	1,175	590	762	1,551	400	518	466	1,141	380	0	15	41	55	67	130	8	58	124	0	139	17,587
合計	104,678	355	11,463	6,001	9,523	17,519	4,692	5,764	4,766	9,213	3,676	0	112	409	609	766	1,464	110	633	1,307	2		
	105,033		44,506				15,222			13,001				3,358					1,942			1,500	184,562
月平均	8,723	30	955	500	794	1,460	391	480	397	768	306	0	9	34	51	64	122	9	53	109	0		
	8,752.8		3,708.8				1,268.5			1,083.4				279.8					161.8			125.0	15,380.2
前年度比			99%	91%	96%	97%	92%	93%	94%	97%	103%		89%	112%	125%	98%	104%	124%	95%	94%			
	93%		97%				93%			98%				107%					94%			93%	95%

●臨床工学室（2020年度）

2020年度の方針・概要

2020年度ISO「質」目標として、①安全な医療提供体制の強化、②医療の質の向上、③業務形態と将来的な業務構想、④診療報酬改定による見直しを掲げた。各部署で医療法に基づく医療機器安全に使用するための自部署及び他部署において研修会、勉強会を開催。関連学会及び職能団体が主催する各種学術大会、研修会へ参加による最新知識・技術習得と業務・研究成果の発表。今後の業務構想として各部署だけではなく、全部署に於いて業務が遂行できるための適切な人員と人材確保。医療機器による適切な治療の提供と収益向上へ見直しの検討。

（臨床工学室　岩井　昇）

臨床工学室　業務（治療）実績

臨床工学室 人工透析センター　　2020.04.01　～　2021.03.31（件）

血液浄化療法名	症例数		施行件数	
	他病棟症例数	総症例数	他病棟施行数	総施行数
血液透析 (HD)	85	797	303	26,391
血液透析（CAPD 併用）	0	4	0	36
オンライン血液透析濾過(OHDF)+(CAPD併用)		3		106
血液透析＋リクセル	0	4	0	483
オンライン血液透析濾過 (OHDF)	0	357	0	27,553
間歇補充型血液透析濾過（IHDF)	0	155	0	5,273
体外限外濾過（ECUM）	3	6	6	13
持続緩除式血液透析濾過 (CHDF)	114	114	558	558
持続緩除式血液透析 (CHD)	10	10	30	30
持続緩除式血液濾過 (CHF)	4	4	7	7
血漿交換 (PE)	0	9	0	32
二重膜濾過血漿交換 (DFPP)	0	4	0	27
選択的血漿成分吸着 (PA)	0	1	0	11
エンドトキシン吸着 (PMX-DHP)	13	13	19	19
血液吸着（DHP）	2	2	3	3
顆粒球除去療法 (G-CAP)	0	1	0	3
腹水濾過濃縮再静注法 (CART)	0	4	0	4
自家末梢血幹細胞採取（AU-PBSCH）	0	13	0	19
同種末梢血幹細胞採取（AL-PBSCH）	0	3	0	3
総　数	231	1,504	926	60,571

主な保守業務実績

人工透析センター保守業務実績　　（件）

	始業点検	使用中点検	終業点検	合　計
水処理装置 (個人用ＲＯ含む)	626	1,878	-	2,504
透析液溶解・供給装置	626	1,878	603	3,107
透析装置（個人機含む）	929	-	303	1,232
血液浄化装置	676	-	-	676
合　計	2,857	3,756	906	7,519

機器調整・修理件数　　（件）

水処理装置	4
透析液溶解・供給装置	9
透析装置（個人機含む）	14
血液浄化装置	8
計	35

透析液環境検査　　（検体）

Ｅ　Ｔ　検　査	266
細　菌　検　査	261
計	527

●臨床工学室 ME 機器管理室　　2020.04.01 ～ 2021.03.31（件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
血管撮影室業務（心臓カテーテル検査、心臓内電気生理検査、ペースメーカ関連業務）		172	190	221	227	208	216	234	211	229	223	215	234	2,580
IABP	導入件数	1	2	3	7	8	4	2	4	6	6	4	3	50
	使用中点検	5	2	10	11	43	9	17	5	7	15	17	14	155
PCPS ECMO	導入件数	1	0	0	0	3	0	0	4	2	3	2	0	15
レスピレーター	使用後点検	131	120	118	119	139	147	191	140	180	175	132	175	1,767
	使用中点検	197	189	183	194	261	213	224	214	192	186	202	421	2,676
高気圧酸素治療件数		8	5	4	0	0	0	0	0	12	16	4	0	49
ペースメーカ関連業務	病棟点検	46	51	73	55	53	70	172	67	63	37	53	64	804
	外来点検	160	171	169	195	175	161	67	172	183	180	154	188	1,975
各種ME機器	点検	119	175	229	183	180	209	78	111	50	67	78	73	1,552
	修理	50	45	32	58	63	51	50	18	15	22	19	28	451
ラジオ波焼灼療法		2	4	6	7	2	5	4	4	5	4	6	6	55
合　計		892	954	1,048	1,056	1,135	1,085	1,039	950	944	934	886	1,206	12,129

●臨床工学室 中央手術室　　2020.04.01 ～ 2021.03.31（件）

依　　頼	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心臓外科	15	14	11	12	19	12	17	10	15	15	11	18	169
泌尿器科	38	45	46	45	29	46	57	42	40	36	31	39	494
婦人科	13	8	8	18	9	8	6	6	9	12	8	7	112
耳鼻咽喉科	1		1	7	1	6	8		6	3	3	6	42
歯口科	1	1	1	2			1			1	3	1	11
整形外科	5	1	3	12	3	3	4	5	1	3	2	6	48
外科	8	13	17	18	11	10	13	11	14	19	20	19	173
脳外科	2		1	3	4	3	4	1		1	2	1	22
眼科	2	5	5	3	5	1	3	3	1		1	2	31
形成外科	1		2	3	3	2	1	2	3	2	2	1	22
腎内科	3		1		2		1	2			1	2	12
循環器内科	1		1		1	3	3	4			5		18
麻酔科	14	14	9	7	10	18	11	12	10	9	11	14	139
神経精神科													0
皮膚科										2			2
救急救命科	1		1		1								3
合　　計	105	101	107	130	98	112	129	98	99	103	100	116	1,298

中央手術室　医療機器修理　　（件）

修理点検件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
院内修理	10	16	17	26	17	12	15	12	10	16	10	26	187

中央手術室　医療機器点検　　（件）

定期点検機器	点検数
電気メス	27
除細動器	12
人工心肺一式	64
生体情報モニタ	201
麻酔器	53
IABP	4

（件）

シリンジポンプ	129
輸液ポンプ	4
天吊機器	108
フロン使用機器	24
その他点検	100
各種医療機器設備 (毎月点検)	1,605
超音波メス等 (納品時点検)	49
合　計	2,380

●神経精神科（2020年度）

神経精神科臨床心理（2020年度）

神経精神科 公認心理師業務年報　2020 年度　2021 年 4 月

	面接				心理査定				心理療法		予診	集団療法	個別支援	合計	(19年度)	(18年度)	(17年度)
	本人	家族	関係者	電話相談	知能査定	性格査定	その他	査定処理	本人	家族							
外来	15	4	2	9	83	72	172	589	453	14	32	0	16	1461	(2350)	(2691)	(2622)
入院	17	3	0	1	10	15	10	39	129	12	−	61	30	327	(328)	(555)	(592)
デイケア	158	7	1	16	−	−	−	−	−	−	−	148	2	332	(378)	(343)	(396)
合計	190	14	3	26	93	87	182	628	582	26	32	209	48	2120	(3056)	(3589)	(3610)
(19年度)	(235)	(8)	(17)	(105)	(143)	(168)	(336)	(865)	(894)	(25)	(40)	(194)	(26)	(3056)			
(18年度)	(245)	(25)	(17)	(61)	(202)	(160)	(242)	(873)	(1369)	(66)	(65)	(187)	(77)	(3589)			
(17年度)	(226)	(22)	(23)	(62)	(141)	(171)	(185)	(832)	(1481)	(44)	(82)	(266)	(75)	(3610)			

	リエゾン				緩和ケア		地域支援	会議	カンファレンス	情報処理	教育・研修	職員メンタルヘルス		その他	合計
	心理面接	カンファレンス	コンサルテーション	ラウンド延べ人数	心理面接	カンファレンス						本人	関係者		
合計	44	45	3	575	0	5	2	362	996	1695	42	0	0	488	4257
(19年度)	(16)	(78)	(0)	(598)	(6)	(18)	(16)	(288)	(998)	(2233)	(56)	(177)	(160)	(518)	(5162)
(18年度)	(7)	(73)	(5)	(698)	(7)	(24)	(30)	(417)	(1164)	(2886)	(111)	(254)	(198)	(619)	(6493)
(17年度)	(223)	(82)	(63)	—	(0)	(29)	(41)	(435)	(1027)	(2587)	(109)	(240)	(102)	(673)	(5611)

精神保健福祉士（PSW）

ケースワーク　2020 年度　（総員 8 名）

月	ｹｰｽﾜｰｸ合計	実施方法					紹介経路				援助手段				
		新規	継続	入院	外来	その他	職員	本人	家族	その他	面接	訪問	電話	文書	ｶﾝﾌｧ
4 月	647	70	577	161	457	29	435	108	27	77	124	183	299	34	7
5 月	523	64	459	143	358	22	358	91	9	65	136	147	193	39	8
6 月	686	92	594	204	461	21	456	104	18	108	141	181	306	33	25
7 月	667	118	549	194	436	37	438	116	18	95	164	188	251	47	17
8 月	618	120	498	193	378	47	412	87	23	96	139	157	256	42	24
9 月	563	79	484	153	391	19	324	130	25	84	142	155	219	35	12
10 月	623	85	538	228	372	23	374	124	30	95	187	184	214	20	18
11 月	560	92	468	158	388	14	345	112	23	80	170	172	171	31	16
12 月	610	119	491	167	413	30	394	103	24	89	135	241	172	38	24
1 月	544	73	471	168	366	10	321	143	16	10	174	172	160	28	10
2 月	452	73	379	110	321	21	272	104	23	53	116	142	143	35	16
3 月	676	111	565	260	400	16	404	171	30	71	200	225	206	27	18
合計	7169	1096	6073	2139	4741	289	4533	1393	266	923	1828	2147	2590	409	195

	援助内容												
月	受診	入院	退院	療養	経済	就労	教育	住宅	家族	生活	心理	人権	その他
4 月	39	29	67	65	36	15	0	2	28	324	18	13	11
5 月	38	31	49	60	28	7	0	4	24	254	21	4	3
6 月	50	29	108	67	40	11	3	11	38	295	11	6	17
7 月	69	41	84	68	44	21	1	24	27	268	7	6	7
8 月	57	44	95	71	41	17	3	12	25	219	14	9	11
9 月	48	28	69	56	41	21	2	10	31	230	11	8	8
10 月	55	31	92	87	24	17	4	32	35	222	11	4	9
11 月	64	27	79	60	37	13	0	15	22	228	8	5	2
12 月	52	30	64	92	33	21	4	11	18	267	8	5	5
1 月	46	21	52	99	29	15	8	11	17	222	16	7	1
2 月	32	18	49	65	35	9	4	10	21	185	13	7	4
3 月	34	92	62	130	44	8	3	15	13	237	22	9	7
合計	584	421	870	920	432	175	32	157	299	2951	160	83	85

グループワーク　　2020 年度

	実施回数	参加患者数
4 月	36	188
5 月	30	188
6 月	41	277
7 月	46	265
8 月	32	171
9 月	33	187
10 月	35	229
11 月	25	190
12 月	31	264
1 月	23	144
2 月	22	153
3 月	22	144
合計	376	2400

関連業務　　2020 年度

	業　務　内　容													
情報処理		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
C1	記録(カルテ、ケース記録、DC 個人記録など)	764	778	883	848	782	829	859	781	888	723	651	778	9564
C2	各種文書（届出書類等）	20	26	30	26	17	17	21	31	25	7	8	10	238
C3	資料作成・整理	67	44	64	85	78	70	88	70	72	55	43	62	798
C4	統計	76	67	69	83	75	75	100	58	80	47	58	50	838
C5	その他（患者等の情報交換含む）	240	239	254	261	267	216	215	212	237	175	136	199	2651
院内関係業務														
C6	ケースカンファレンス	265	233	261	295	249	240	268	230	223	189	164	208	2825
C7	各種会議	33	30	46	41	46	39	50	36	44	33	37	40	475
C8	各種行事	21	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	23
C9	院内教育・実習指導	0	0	1	1	1	1	3	45	2	0	3	2	59
C10	院内研修・研究	5	5	10	9	7	5	15	5	9	5	3	11	89
C11	管理	29	57	54	38	28	31	32	28	30	37	38	37	439
C12	その他（関連業務の情報交換含む）	83	121	150	132	106	106	125	75	87	61	74	103	1223
地域関係業務（準備・片付け等含む）														
C13	関係機関連絡調整	170	165	209	162	151	156	167	145	158	120	134	218	1955
C14	関係機関主催会議	1	2	2	1	4	2	6	3	7	3	3	3	37
C15	関係機関主催行事	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
C16	教育・実習指導	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	8
C17	研修・研究・学会	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
C18	社会資源開拓（職場開拓含む）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C19	ボランティア養成・支援	0	2	2	2	1	2	2	2	1	1	2	2	19
C20	精神保健福祉士協会(全国･県など)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
C21	その他(関係業務などの情報交換含む)	11	30	20	19	4	2	4	11	11	12	1	1	126
総　　計		1785	1800	2056	2003	1816	1792	1956	1741	1874	1468	1360	1725	21376

デイケアセンター（2020年度）

2020 年度デイケア在籍者統計（2020 年 4 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日）

男女比

男　性	78
女　性	72
合　計	150

住所地

海匝郡市	旭市	58
	銚子市	29
	匝瑳市	13
	小　計	100
香取郡市	香取市	14
	香取郡	12
	小　計	26
山武郡市	東金市	0
	山武市	6
	山武郡	8
	小　計	14
その他の千葉県		1
茨城県	鹿嶋市	1
	神栖市	6
	その他の茨城県	2
	小　計	9
その他の都道府県		0
合　計		150

年齢	男性	女性	合計	%
10 代	4	3	7	5.3%
20 代	6	14	20	12.7%
30 代	14	8	22	15.3%
40 代	16	20	36	24.0%
50 代	19	12	31	20.0%
60 代	12	6	18	12.7%
70 代	6	9	15	9.3%
80 代	1	0	1	0.7%
合計	78	72	150	100.0%
平均年齢	47.6	45.7	46.7	

通所期間	男性	女性	合計	%
6 ヶ月以内	0	0	0	0.0%
1 年以内	7	5	12	8.0%
1 年	11	10	21	14.0%
2 年	16	9	25	16.7%
3 ～ 5 年	9	14	23	15.3%
5 ～ 10 年	25	27	52	34.7%
10 年以上	10	7	17	11.3%
合計	78	72	150	100%
平均通所期間	5 年 10 ヶ月	5 年 7 ヶ月	5 年 8 ヶ月	

診断名	(ICD10)	男性	女性	合計	%
器質性健忘症候群	F04	1	1	2	1.3%
器質性精神障害	F06	0	0	0	0.0%
統合失調症	F20	47	38	85	56.7%
統合失調感情障害	F25	1	2	3	2.0%
躁病	F30	0	1	1	0.7%
躁うつ病	F31	13	5	18	12.0%
うつ病	F32	3	3	6	4.0%
不安障害	F40・F41	1	3	4	2.7%
強迫性障害	F42	0	0	0	0.0%
PTSD	F43.1	0	0	0	0.0%
適応障害	F43.2	0	1	1	0.7%
身体表現性障害	F45	1	0	1	0.7%
摂食障害	F50	0	3	3	2.0%
パーソナリティ障害	F60	0	2	2	1.3%
知的障害	F70・F71	2	4	6	4.0%
広汎性発達障害	F84	5	3	8	5.3%
多動性障害	F90	0	1	1	0.7%
その他		5	4	9	6.0%
合　計		79	71	150	100%

2020 年度デイケア退所者統計（2020 年 4 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日）

男女比

男　性	20
女　性	28
合　計	48

年齢	男性	女性	合計	%
10 代	4	6	10	20.8%
20 代	5	3	8	16.7%
30 代	2	5	7	14.6%
40 代	3	4	7	14.6%
50 代	4	5	9	18.8%
60 代	2	3	5	10.4%
70 代	0	1	1	2.1%
80 代	0	1	1	2.1%
合計	20	28	48	100%
平均退所時年齢	36.3	41.0	39.0	

通所期間	男性	女性	合計	%
6 ヶ月以内	1	4	5	10.4%
1 年以内	1	0	1	2.1%
1 年	8	6	14	29.2%
2 年	3	3	6	12.5%
3 ～ 5 年	4	4	8	16.7%
5 ～ 10 年	2	9	11	22.9%
10 年以上	1	2	3	6.3%
合計	20	28	48	100%
平均通所期間	2 年 11 ヶ月	4 年 2 ヶ月	3 年 8 ヶ月	

診断名	（ICD10）	男性	女性	合計	%
器質性健忘症候群	F04	0	0	0	0.0%
器質性精神障害	F06	0	1	1	2.1%
統合失調症	F20	5	13	18	37.5%
統合失調感情障害	F25	0	0	0	0.0%
躁病	F30	0	0	0	0.0%
躁うつ病	F31	3	5	8	16.7%
うつ病	F32	3	2	5	10.4%
不安障害	F40・F41	0	1	1	2.1%
強迫性障害	F42	0	1	1	2.1%
PTSD	F43.1	0	0	0	0.0%
適応障害	F43.2	0	0	0	0.0%
身体表現性障害	F45	0	1	1	2.1%
摂食障害	F50	0	1	1	2.1%
パーソナリティ障害	F60	0	0	0	0.0%
知的障害	F70・F71	0	0	0	0.0%
広汎性発達障害	F84	3	1	4	8.3%
多動性障害	F90	0	1	1	2.1%
その他		6	1	7	14.6%
合　計		20	28	48	100%

住所地

海匝郡市	旭市	13
	銚子市	8
	匝瑳市	5
	小　計	26
香取郡市	香取市	7
	香取郡	4
	小　計	11
山武郡市	東金市	0
	山武市	3
	山武郡	4
	小　計	7
その他の千葉県		1
茨城県	鹿嶋市	0
	神栖市	3
	その他の茨城県	0
	小　計	3
その他の都道府県		0
合　計		48

退所転機

終了	18
中断	30
合　計	48

退所理由

就労	5
就学	6
社会資源利用	4
社会内適応	2
終了その他	1
精神科入院	11
他科入院	0
症状再燃	1
参加意欲低下	9
対人関係問題	0
問題退所	0
死亡	5
中断その他	4
合　計	48

神経精神科OTセンター（2020年度）

利用者

	入院	外来	合計
男性	52	4	56
女性	76	14	90
合計	128	18	146

年齢

	入院	外来	合計
10 代	6	9	15
20 代	10	4	14
30 代	15	2	17
40 代	24	2	26
50 代	34	1	35
60 代	24	0	24
70 代	10	0	10
80 代	3	0	3
90 代	2	0	2
合計	128	18	146

疾患分類別

ICD-10		入院	外来	合　計
F0	症状性を含む器質性精神障害	4	0	4 (2.7%)
F1	精神作用物質使用による精神および行動の障害	5	1	6 (4.1%)
F2	統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害	70	8	78 (53.4%)
F3	気分障害	44	0	44 (30.1%)
F4	神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	3	2	5 (3.4%)
F5	生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	2	1	3 (2.1%)
F6	成人の人格および行動の障害	0	0	0 (0.0%)
F7	精神遅滞	0	0	0 (0.0%)
F8	心理発達の障害	0	4	4 (2.7%)
F9	小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害	0	2	2 (1.4%)
G4	てんかん	0	0	0 (0.0%)
合　計		128	18	146 (100.0%)

●臨床栄養科（2020年度）

◆基本方針：食の安全性・満足度の向上　栄養管理業務の充実

◆質目標

1．栄養食事基準の見直し
日本人の食事摂取基準（2020年度版）と照らし合わし、当院の食種構成や栄養基準を改定する。

2．食の安全と強化
厨房内エリア担当者において、作業手順の明確化および情報共有により、インシデントの原因を追究していく。

3．業務の効率化とスキルアップ
業務内容を見直し、必要に応じて改善を行っていく。
個々の能力アップを併せて行い、病院食の質の向上や患者満足度の向上に繋げていく。

給食管理

新型コロナウイルスの影響で、4～6月は患者数が大きく減少した。その結果、食数や給食収益は対前年度比大きく減少した。

その後食数は持ち直してきたが年度通算で見ると前年度を上回ることはなかった。給食食材費はほぼ前年度並であった。

給食業務において発生するインシデントは、昨年度からの課題でもあったが件数の削減には繋がらなかった。「確認をきちんとする」という対策だけでは不十分である。当事者だけでなく関係する全ての人が情報共有し繰り返さないためにはどうするかを皆で考えていく必要がある。引き続き重要課題として取り組んでいく。

給食業務に携わる人員も毎年減少している。更なる業務の効率化が求められる。勤務シフトの改編を行うなどして対応した。患者食アンケートは概ね好評であった。

栄養管理

外来・入院患者数が少なかったこともあり栄養指導件数は、4～5月は昨年度を大きく下回った。その後も前年度を上回ることはなかった。

新型コロナ感染防止の観点から、集団栄養指導の中の、糖尿病教室（外来）は、4～6月は休止、糖尿病教室（入院）と妊婦教室については、2020年度全て休止とした。個人指導は、感染対策を行い実施した。

NST回診は、新規依頼も多く回診件数は過去3年間で最高となった。褥瘡のある患者さんは「低栄養」の傾向にある。褥瘡回診と連携し対象患者を積極的にNST依頼していったことが影響していると思う。入院患者への栄養介入を積極的に行い、補助食品や付加食品等を利用して栄養改善に努めていった。経管栄養剤について、ほとんどオーダされない物もあり、それが在庫にも影響するので定期的な見直しが必要である。今後NSTに提案し協議していく必要がある。

チーム医療・地域医療連携

NST、褥瘡、糖尿病といった「チーム医療」に栄養士は積極的に参加した。糖尿病サポートチームは、周辺地域住民の血糖コントロール改善が主な活動目標であり、地域のイベントに参加してきた。新型コロナ感染拡大でイベントが全て中止になり十分な活動が出来なかった。

地域医療連携に関して、会議や研修会等もオンライン開催になってしまい、関係者とのコミュニケーションがとれない状態が続いている。

①入院患者食数（2020 年度）

	一般食									特別治療食											検査食	合計	その他				
										加算									非加算								
	普通食	全粥食	7分粥食	5分粥食	3分粥食	流動食	嚥下食	離乳食	調乳	糖尿病食	心疾患食	膵炎食	腎臓病食	透析食	腎臓病食蛋白制限	濃厚流動経管	計	比率(%)	濃厚流動経管	濃厚流動経口	高血圧食			特養	養護	シルバーケア	ケアハウス	デイケア
2020年4月	12,890	5,898	2,415	7,200	358	344	2,082	51	948	4,072	3,021	210	217	1,525	1,827	0	10,872	22.8%	3,196	736	404	229	47,623	3,550	2,671	8,604	3,293	231
5月	11,730	5,521	2,786	8,941	219	458	3,160	5	836	3,843	3,187	467	274	1,085	2,048	0	10,904	22.4%	2,794	674	421	196	48,645	3,730	2,844	8,583	3,354	228
6月	13,359	5,558	2,392	8,906	320	319	2,693	38	776	4,516	3,180	305	308	1,438	1,748	0	11,495	22.9%	2,729	623	713	279	50,200	3,721	2,654	8,740	3,187	348
7月	14,123	5,851	2,182	9,702	181	366	2,806	48	798	3,997	3,609	259	162	1,830	1,568	0	11,425	21.8%	3,263	654	826	272	52,497	3,939	2,843	8,735	3,347	326
8月	13,546	6,940	2,342	9,150	194	191	2,529	32	850	4,115	2,951	357	280	1,518	1,803	0	11,024	21.3%	3,485	621	594	203	51,701	3,865	2,769	8,590	3,251	355
9月	14,111	6,403	2,657	9,183	165	338	2,208	49	768	3,935	3,187	488	221	1,073	1,206	0	10,110	19.9%	3,456	554	610	138	50,750	3,696	2,554	8,481	3,188	356
10月	15,559	6,388	3,039	9,043	319	441	2,554	97	884	3,824	2,791	308	325	1,074	1,524	0	9,846	18.5%	3,398	731	682	180	53,161	3,882	2,603	8,007	3,217	406
11月	14,061	5,574	2,566	8,367	579	458	3,020	47	969	4,172	2,814	415	298	1,209	1,649	0	10,557	20.8%	3,036	680	710	194	50,818	3,410	2,371	7,688	3,050	362
12月	14,100	5,793	2,628	7,429	328	342	2,582	11	1,062	4,648	3,516	469	173	1,606	1,958	0	12,370	23.9%	3,617	645	593	230	51,730	3,347	2,323	8,591	3,076	377
2021年1月	13,047	5,639	2,692	7,313	349	489	3,203	24	1,043	4,727	4,042	470	95	1,516	2,221	0	13,071	25.2%	3,324	633	706	248	51,781	3,526	2,321	8,888	3,091	292
2月	11,555	4,759	1,913	7,059	360	399	3,056	91	841	4,713	3,389	668	177	1,350	1,574	0	11,871	25.7%	2,616	625	744	232	46,121	3,163	2,097	8,075	2,693	237
3月	14,198	5,409	2,257	8,028	241	450	2,668	61	1,274	5,468	4,026	298	130	1,673	1,556	0	13,151	24.8%	3,275	809	820	293	52,934	3,583	2,329	9,012	3,052	275
小　計	162,279	69,733	29,869	100,321	3,613	4,595	32,561	554	11,049	52,030	39,713	4,714	2,660	16,897	20,682	0	136,696	22.5%	38,189	7,985	7,823	2,694	607,961	43,412	30,379	101,994	37,799	3,793
合　計	計 607,961																							計 217,377				

②栄養指導件数（個別）（2020 年度）

	糖尿病		高血圧心疾患		脂質異常症		肥満		腎臓病・透析		肝臓病・膵炎		大腸がん		クローン病潰瘍性大腸炎		マーゲンESD		嚥下食		周術その他	
	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来
2020年4月	7	41	10	4	0	1	1	0	10	83	2	0	12	0	0	0	19	0	4	0	1	83
5月	11	52	11	0	1	0	1	1	18	84	2	0	17	0	0	0	19	0	4	0	3	68
6月	7	52	20	0	2	0	0	1	18	95	2	0	18	0	1	1	22	0	3	0	3	105
7月	8	42	14	4	1	1	2	1	12	87	3	0	13	0	2	0	20	0	4	0	7	107
8月	9	25	9	7	1	3	0	6	15	60	0	0	14	0	1	0	20	0	10	0	0	103
9月	9	35	16	4	0	1	1	1	8	66	2	1	6	0	2	0	23	0	6	1	5	125
10月	10	29	12	6	0	1	1	5	10	111	3	0	13	0	0	0	13	0	4	0	8	90
11月	12	27	15	5	0	3	1	6	9	100	0	0	13	0	0	0	18	0	2	0	5	86
12月	7	39	9	5	1	2	0	4	18	103	1	0	18	0	2	1	28	0	3	0	6	82
2021年1月	9	37	7	9	0	0	0	3	15	107	1	0	12	0	0	0	17	0	2	0	6	76
2月	11	24	9	9	1	2	2	2	14	89	0	0	9	0	2	0	17	0	2	0	5	80
3月	13	32	17	5	0	2	1	3	16	83	1	0	19	0	0	0	16	0	4	0	4	104
小　計	113	435	149	58	7	16	10	33	163	1068	17	1	164	0	10	2	232	0	48	1	53	1109
	548		207		23		43		1231		18		164		12		232		49		1162	
合　計	3,689 件																					

③栄養指導件数（集団）（2020 年度）

	入院		外来					
	糖尿病教室		糖尿病外来教室		妊婦教室		ドック指導	
	回数	患者数	回数	患者数	回数	患者数	回数	患者数
2020年4月	0	0	0	0	0	0	12	25
5月	0	0	0	0	0	0	5	9
6月	0	0	0	0	0	0	17	43
7月	0	0	2	4	0	0	16	55
8月	0	0	2	3	0	0	15	74
9月	0	0	3	5	0	0	15	78
10月	0	0	2	3	0	0	16	98
11月	0	0	1	3	0	0	13	67
12月	0	0	3	5	0	0	15	71
2021年1月	0	0	3	9	0	0	15	59
2月	0	0	4	12	0	0	12	46
3月	0	0	3	11	0	0	11	31
小　計	0	0	23	55	0	0	162	656
合　計	23 回 55 人							

※合計ドック指導は除外

●医療連携福祉相談室（2020年度）

相談係　2020年度（2020年4月1日～2021年3月31日）

1．主な業務について

医療連携福祉相談室では、地域の医療機関・関係機関との連携強化のため、以下の取り組みを推進した。

香取・海匝地域の高齢者施設での新型コロナウイルス感染症対応を検討する機会を目的とし、保健所と共同で第10回地域医療連携懇談会・北総近隣地域感染対策講習会を2020年9月に開催した。104名の関係者にご参加いただき、施設内クラスター発生時の対応に重点を置いた研修会を行った。

香取海匝地域難病相談支援センター事業の一つとして、喀痰吸引等研修がある。今年度は新型コロナウイルスの影響により開催中止も検討したが、他事業所でも行わないため、多くの事業所から開催を要望するご意見をいただき、2020年12月に開催した。感染対策を行いながらの研修ではあったが、経鼻栄養や吸引等の処置が必要な患者さんが自宅へ退院するケースも増えているため、この状況下でも開催する意義があったと思われる。

新型コロナウイルス第一波時の休校や、その後も継続したステイホームの影響で、家庭内の事故や保護者の育児負担・ストレスにより、MSWが関わった家族問題調整の新規件数が348件と2019年度から約1.5倍に増加した。院内関係部署や、児童相談所・子育て世代包括支援センターなどの院外関係機関との連携を更に密にして、問題の早期発見・予防が出来る体制を整えた。

救急搬送の当院一極集中によりベッドコントロール難渋問題、満床による不応需問題解決と、二次救急相当の患者さんの転院調整の円滑化を図るため、救急救命科医師とSNSを利用した転院調整の件で、2021年3月に匝瑳市民病院、多古中央病院、島田総合病院へ訪問して話合いを行った。

2．入院・外来ケース件数

	入　院	外　来	合　計
新規	2,508	653	3,161
再来	43	40	83
実件数	2,551	693	3,244
総件数	22,110	2,908	25,018

3．紹介経路（新規・再来、実件数のみ）

	本　人	家　族	知　人	医　師	看護師	院内職員	関係機関	その他	合　計
新　規	27	73	0	1,129	1,512	227	188	5	3,161
再　来	4	9	0	22	27	4	17	0	83
合　計	31	79	0	1,150	1,538	231	205	5	3,244

4．診療科別実件数（新規・再来、実件数のみ）

内科	1,536
整形外科	347
脳神経外科	324
小児科	260
透析科	214
外科	124
泌尿器科	116
産科	94
新生児科	59
形成外科	32
婦人科	27

耳鼻咽喉科	20
皮膚科	15
眼科	12
救急救命科	12
歯口科	7
心臓外科	4
神経精神科	4
放射線科	1
リハビリテーション科	0
その他	36
合計	3,244

5. MSW行動別業務集計

	面接	電話	文書	訪問	行動別延件数	実件数
受診援助	115	457	19	0	591	51
入院援助	58	222	1	0	281	20
退院援助	10,240	36,633	88	0	46,961	2,090
療養上の問題調整	1178	2,070	89	13	3,350	384
経済問題調整	1,473	1,936	16	2	3,427	322
就労問題調整	5	6	0	0	11	2
住宅問題調整	0	0	0	0	0	0
教育問題調整	0	0	0	0	0	0
家族問題調整	878	5,359	0	0	6,237	375
日常生活援助	0	0	0	0	0	0
心理・情緒的援助	0	0	0	0	0	0
医療における人権擁護	0	0	0	0	0	0
ケースワーク小計	13,947	46,683	213	15	60,858	3,244

6. 関連業務集計　総件数 9,251件

関連業務		総件数
クライエント処遇会議	病棟ケースカンファレンス（ERW、1-5、1-7、NICU、5東、5西、6東、6西、7東、7西、8東、8西、9東、9西、10東、10西、11東、11西）、心不全チームカンファレンス、HIVカンファレンス、緩和ケアチームカンファレンス、FAST（家族支援チーム）、小児科児童精神科カンファレンス、化学療法センター合同カンファレンス患者サポートカンファレンス	921
各種会議	旭市認知症コーディネーター連絡会、旭市認知症初期集中支援チーム委員会議、安全カンファレンス・患者サポート会議、患者相談中央会議、クリニカルパス委員会、健康づくり支援委員会、診療技術局全体会議、診療技術局代表者会議、診療技術局教育委員会、診療技術局安全委員会、総合患者支援センター会議、患者相談支援連絡会議、退院支援委員会、病床管理委員会、入院・手術サポートセンター（PFMセンター）運営会議、虐待防止委員会、がん診療あさひ編集委員会、がん診療運営委員会、がん相談支援連絡会議、がん相談支援専門部会アピアランスチームWEB会議、緩和ケア病棟入棟審査会、脳卒中連携会議、千葉県高次脳機能障害会議、新型コロナウイルス感染対策本部会議、感染防止対策加算カンファレンス、自己同意不可能且つ代諾者となり得る者がいない場合の医的侵襲行為に関するガイドラインについての検討会議、在院日数短縮プロジェクト会議、千葉県総合難病相談支援センター担当者会議、千葉県認知症疾患医療センター会議、千葉県東部地域救急医療ネットワーク会議、香取広域地域救急医療ネットワーク会議、旭市救急医療ネットワーク会議、自殺企図再発防止会議、千葉県がん相談支援専門部会会議、旭市要保護児童対策地域協議会、千葉県難病医療提供体制整備事業実務者会議、大腿骨近位部骨折WEB会議	1,648
研修・研究・学会	喀痰吸引研修、千葉県子ども虐待対策研究会、認知症疾患医療センター事例検討会、北総近隣地域感染症講習会・地域連携懇談会	53
教育・実習指導	旭中央病院附属看護学校講義、千葉科学大学実習生対応　等	353
情報処理	日報、月報、年報、がん相談、難病相談業務集計　等	5,415
その他関連業務	総合難病相談支援センター担当者研修会　等	54
合　　計		8,444

7. 脳卒中地域連携事業について

2020年度香取海匝脳卒中地域連携の集い

新型コロナウィルス感染拡大防止につき、開催中止。

8. 認知症相談について　※外来での対応件数のみ

（1）専門医療相談件数（月別）（電話による相談及び面接による相談、それぞれの件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電　話	21	30	32	46	28	38	30	27	33	31	47	46	409
面　接	6	14	2	3	0	0	0	1	4	4	7	2	43
合　計	27	44	34	49	28	38	30	28	37	35	54	48	452

（2）専門医療相談のための地域包括支援センターとの連絡調整件数（月別）及びその他機関との情報収集・提供件数（月別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
地域包括支援センターとの連絡調整件数	2	1	2	2	2	2	1	4	5	7	12	5	45
その他機関との情報収集・提供件数	7	5	1	20	0	3	1	2	6	4	17	11	77
合　計	9	6	3	22	2	5	2	6	11	11	29	16	122

2020年度認知症疾患医療センター会議関連

開催日		参加人数
2020年10月26日	2020年度 第1回 認知症疾患医療連携協議会（書面開催）	19名

9. 難病相談について

①相談件数

〔入院〕実件数　200件、総件数　1,288件　　〔外来〕実件数 42件、総件数 118件

②相談を受けた患者さんの疾患

筋萎縮性側索硬化症、進行性核上性麻痺、パーキンソン病、重症筋無力症、多発性硬化症/視神経脊髄炎、慢性脱髄性多発神経炎、ウェスト症候群、多系統萎縮症、脊髄小脳変性症、もやもや病、一次性ネフローゼ症候群、プリオン病、自己免疫性後天性凝固因子欠乏症、好酸球性副鼻腔炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症、好酸球性多発結果粘性肉芽腫症、悪性関節リウマチ、原発性抗リン脂質抗体症候群、全身性エリテマトーデス、皮膚筋炎/多発筋炎、全身性強皮症、混合性結合組織病、成人スチル病、ベーチェット病、特発性拡張型心筋症、拘束型心筋症、再生不良性貧血、自己免疫性溶血性貧血、特発性血小板減少性紫斑病、血栓性血小板減少性紫斑病、原発性免疫不全症候群、多発性嚢胞腎、黄色靱帯骨化症、後縦靭帯骨化症、大脳皮質基底核変性症、サルコイドーシス、特発性間質性肺炎、肺動脈性肺高血圧症、網脈色素変性症、クローン病、潰瘍性大腸炎、類天疱瘡

③難病に関する講演・研修会の開催事業

演題等	対象者	参加者数	内容
喀痰吸引等研修（第3号）	香取・海匝地域の患者を担当するヘルパー等	11名	香取・海匝地域の患者を担当するヘルパー等を対象とし、第13回研修を12/3, 4に喀痰吸引等研修（第3号）を行った。

10. がん相談について

①相談件数

〔入院〕実件数　693件、総件数 3,325件　　〔外来〕実件数 272件、総件数 532件

②相談を受けた患者の疾患

GIST、MALTリンパ腫、S状結腸がん、悪性黒色腫、悪性神経膠腫、悪性線維性組織球腫、悪性中皮腫、悪性リンパ腫、胃がん、胃食道接合部がん、陰茎がん、咽頭がん、上顎がん、横行結腸がん、外陰がん、外耳道がん、下行結腸がん、肝がん、肝細胞がん、肝門部胆管がん、急性骨髄性白血病、頬部粘膜がん、原発不明がん、血管肉腫、膠芽腫、甲状腺がん、喉頭がん、子宮がん、子宮頚がん、子宮体がん、脂腺がん、歯肉がん、十二指腸乳

頭部がん、上行結腸がん、食道がん、腎がん、腎盂がん、神経内分泌腫瘍、腎細胞がん、膵がん、精巣がん、膵頭部がん、舌がん、前立腺がん、大腸がん、多発性骨髄腫、胆管がん、胆嚢がん、直腸がん、乳がん、乳頭部がん、尿管がん、脳腫瘍、バーキットリンパ腫、肺がん、肺腺がん、膀胱がん、慢性骨髄性白血病、盲腸がん、有棘細胞がん、卵巣がん

③がん患者サロン

例年月1回、第3月曜日(14：00～16:00)に医療連携福祉相談室にて開催していますが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催が中止となりました。

千葉県がんセンターで【ピア・サポーターズサロンちば＠リモート】を月2回開催しており、希望者にはそちらの案内をしています。

今後はオンラインでのがん患者サロンの開催も検討予定です。

11. 家族問題調整（FASTケース)について

新規相談件数

	身体的虐待	ネグレクト	心理的虐待	性的虐待	DV	特定妊婦	高齢者虐待	障害者虐待	合計
2016年	28	78	5	24	4	55			194
2017年	22	76	11	17	5	65	4	2	202
2018年	39	73	17	14	10	56	15	3	227
2019年	40	74	14	20	7	56	18	1	230
2020年	28	183	16	23	11	66	18	3	348

※高齢者虐待、障害者虐待については、2017年度より集計をとっている。

対応実件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実件数	50	48	60	54	42	61	53	51	59	49	53	57	637

対応延べ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	412	286	461	460	473	533	541	471	409	421	408	485	5360
面接	31	58	89	66	53	127	97	64	86	75	33	99	878
合計	443	344	550	526	526	660	638	535	495	496	441	584	6238

虐待種別

身体的虐待	28
ネグレクト	183
心理的虐待	23
性的虐待	16
DV	11
特定妊婦	66
高齢者虐待	18
障害者虐待	3
合計	348
（児童虐待のみ250）	

被虐待児の性別

男	125
女	125
合計	250

被虐待児の発達障害の有無

有り	77
無し	173
合計	250

発見時の被虐待児の年齢

新生児（出生後28日未満）	46
乳児（1歳未満）	37
幼児（1歳から6歳）	101
小学生（7歳から12歳）	46
中学生（13歳から15歳）	13
高校生（16歳から18歳）	7
合計	250

児童虐待ケースの対応内容

児童相談所　通告	11
児童相談所　連携	46
市町村　通告	34
市町村　連絡	159
合計	250

児童相談所通告ケースの種別

身体的虐待	3
ネグレクト	7
心理的虐待	0
性的虐待	1
特定妊婦	5
合計	16

児童虐待ケースの保護者の問題

経済的問題	71
精神疾患	56
DV	29
知的障害	18

勉強会開催

開催日	テーマ	参加人数
2020年10月5日月曜日	FAST院内勉強会	58名
2020年11月15日日曜日	CAPワークショップ	21名

12. 退院調整業務内訳

①退院者数　2,095名

②年齢別

	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代～	合計
在宅	3	5	6	25	39	62	105	118	29	392
施設	1	1	1	3	5	9	40	72	43	175
転院	3	3	12	35	68	164	358	497	190	1,330
死亡	0	0	1	2	4	18	50	87	36	198
合計	7	9	20	65	116	253	553	774	298	2,095

※退院後の療養先について

自宅への退院は「在宅」、介護老人保健施設や介護老人福祉施設などへの入所は「施設」、他の医療機関への転院は「転院」、退院調整中に死亡した場合は「死亡」としている

③依頼元診療科

診療科	件数
内科	1,168
整形外科	320
脳神経外科	280
透析科	143
泌尿器科	85
外科	50
形成外科	22
救急救命科	6

診療科	件数
心臓外科	5
婦人科	5
皮膚科	4
耳鼻咽喉科	3
小児科	2
新生児科	1
歯口科	1
総計	2,095

④調整先

（1）医療機関　1,330件

病院	住所	件数
イムス佐原リハビリテーション病院	香取市	298
九十九里ホーム病院	匝瑳市	88
たむら記念病院	銚子市	85
匝瑳市民病院	匝瑳市	77
成田リハビリテーション病院	成田市	57
栗源病院	香取市	44
銚子市立病院	銚子市	43
本多病院	香取市	41
東陽病院	山武郡横芝光町	41
東庄病院	香取郡東庄町	39
多古中央病院	香取郡多古町	36
さんむ医療センター	山武市	34
神栖済生会病院	茨城県神栖市	31
田辺病院	旭市	30
島田総合病院	銚子市	25
香取おみがわ医療センター	香取市	24
渡辺病院	茨城県神栖市	24
鹿島病院	茨城県鹿嶋市	24
兒玉病院	銚子市	23
長谷川病院	八街市	22
内田病院	銚子市	20
宮本病院	茨城県稲敷市	17
京友会病院	旭市	14
県立佐原病院	香取市	14
白十字総合病院	茨城県神栖市	14
髙根病院	山武郡芝山町	11
九十九里病院	山武郡九十九里町	10
大栄病院	成田市	9
守医院	匝瑳市	8
浅井病院	東金市	7
季美の森リハビリテーション病院	大網白里市	7
飯倉医院	旭市	6
藤田病院	匝瑳市	5
成田富里徳洲会病院	富里市	5
新八街総合病院	八街市	5
鹿島神宮前病院	茨城県鹿嶋市	4
東京山手メディカルセンター	東京都新宿区	4
海上寮療養所	旭市	3
山野病院	香取市	3
南八街病院	八街市	3
帝京大学医学部附属病院	東京都板橋区	3
東京慈恵会医科大学附属柏病院	柏市	3
成田赤十字病院	成田市	2
東葉クリニック大網脳神経外科	大網白里市	2
下志津病院	四街道市	2
千葉大学医学部附属病院	千葉市中央区	2
千葉みなとリハビリテーション病院	千葉市中央区	2
三橋病院	千葉市中央区	2
平山病院	千葉市花見川区	2
習志野第一病院	習志野市	2
東京湾岸リハビリテーション病院	習志野市	2
東京ベイ・浦安市川医療センター	浦安市	2
清仁会病院	茨城県神栖市	2
成田病院	成田市	1
聖マリア記念病院	成田市	1
千葉しすい病院	印旛郡酒々井町	1
とうがね中央糖尿病腎クリニック	東金市	1
大網病院	大網白里市	1
東邦大学医療センター佐倉病院	佐倉市	1
おゆみの中央病院	千葉市緑区	1
千葉リハビリテーションセンター	千葉市緑区	1
千葉県こども病院	千葉市緑区	1
千葉みなと病院	千葉市中央区	1
千葉市立青葉病院	千葉市中央区	1
いなげ西病院	千葉市稲毛区	1
リハビリテーション病院さらしな	市原市	1
五井病院	市原市	1
千葉県循環器病センター	市原市	1
第2北総病院	鎌ケ谷市	1
秋元病院	鎌ケ谷市	1
初富保健病院	鎌ケ谷市	1
津田沼中央総合病院	習志野市	1
船橋総合病院	船橋市	1
北習志野花輪病院	船橋市	1
日本医科大学千葉北総病院	印西市	1
行徳中央病院	市川市	1
君津中央病院	木更津市	1
新東京病院	松戸市	1
いらはら診療所	松戸市	1
タムス浦安病院	浦安市	1
柏厚生総合病院	柏市	1
国立がん研究センター東病院	柏市	1
聖光会病院	長生郡長柄町	1
小山記念病院	茨城県鹿嶋市	1
大野診療所	茨城県鹿嶋市	1
土浦協同病院	茨城県土浦市	1
アイビークリニック	茨城県ひたちなか市	1
日立総合病院	茨城県日立市	1
東京慈恵会医科大学葛飾医療センター	東京都葛飾区	1
慶應義塾大学病院	東京都新宿区	1
国立がん研究センター中央病院	東京都中央区	1
日本大学病院	東京都千代田区	1
赤羽リハビリテーション病院	東京都北区	1
西埼玉中央病院	埼玉県所沢市	1
西大宮病院	埼玉県さいたま市	1
神奈川県立がんセンター	神奈川県横浜市	1
新戸塚病院	神奈川県横浜市	1
富士宮中央クリニック	静岡県富士宮市	1
富士市立中央病院	静岡県富士市	1
滋賀県立総合病院	滋賀県守山市	1
合計		1,330

（2）施設 175件

施設	住所	件数
介護老人保健施設シルバーケアセンター	旭市	69
特別養護老人ホーム花園	匝瑳市	8
特別養護老人ホームやすらぎ園	旭市	5
特別養護老人ホーム白寿園	旭市	4
養護老人ホーム光楽園	山武郡横芝光町	4
ケアハウス希望の里	匝瑳市	3
特別養護老人ホームかとりの郷福楽園	香取市	3
介護付き有料老人ホームエクセルシオール佐原	香取市	3
介護老人保健施設市川ゆうゆう	市川市	3
障害者支援施設みどり園	我孫子市	3
住宅型有料老人ホームグットヴィレッジ横芝光	山武郡横芝光町	3
介護老人保健施設シオン	茨城県神栖市	3
特別養護老人ホームしおさい苑	茨城県神栖市	3
恵天堂特別養護老人ホーム	旭市	2
介護老人保健施設すこやかリハビリケアセンター	旭市	2
特別養護老人ホーム太陽の家	匝瑳市	2
障害者支援施設聖マーガレットホーム	匝瑳市	2
特別養護老人ホーム松丘園	匝瑳市	2
介護老人保健施設とよさと	銚子市	2

施設	住所	件数
船橋市障害者支援施設北総育成園	香取郡東庄町	2
特別養護老人ホーム三愛	山武郡横芝光町	2
介護老人保健施設二川苑	山武郡芝山町	2
サービス付き高齢者住宅ふれあいの郷	大網白里市	2
特別養護老人ホームマリンピア神栖	茨城県神栖市	2
特別養護老人ホーム東風荘	旭市	1
特別養護老人ホーム東風荘松里館	旭市	1
グループホームナザレの家あさひ	旭市	1
グループホームふれ愛	旭市	1
グループホーム横大道ハウス	旭市	1
マンション泉	旭市	1
障害児入所施設聖母療育園	旭市	1
障害者支援施設聖マリア園	旭市	1
サービス付き高齢者住宅アウル	匝瑳市	1
介護老人保健施設ミスヘンテ記念ケアセンター	匝瑳市	1
障害者支援施設八日市場学園	匝瑳市	1
介護老人保健施設なぎさ	銚子市	1
介護老人保健施設慈風苑	銚子市	1
特別養護老人ホーム松籟の丘	銚子市	1
グループホーム日下部	香取市	1
救護施設風の郷厚生園	香取市	1
障害者支援施設佐原聖家族園	香取市	1
特別養護老人ホーム水都苑	香取市	1
特別養護老人ホーム杜の家栗源	香取市	1
養護老人ホームひまわり園	香取市	1
養護老人ホーム瑞穂園	香取市	1
特別養護老人ホームささがわ	香取郡東庄町	1
住宅型有料老人ホームてんしょうの宿	山武郡横芝光町	1
特別養護老人ホーム横芝光	山武郡横芝光町	1
特別養護老人ホーム吉祥苑	山武郡横芝光町	1
特別養護老人ホーム第二松丘園	山武郡横芝光町	1
養護老人ホーム坂田苑	山武郡横芝光町	1
介護老人保健施設松尾リハビリ苑	山武市	1
特別養護老人ホーム成島苑	山武市	1
介護老人福祉施設両総	東金市	1
介護老人保健施設あさいケアセンター	東金市	1
介護付き有料老人ホーム手と手と手	八街市	1
介護老人保健施設おゆみの	千葉市緑区	1
介護付き有料老人ホームアビタシオン千葉	千葉市中央区	1
サービス付き高齢者住宅愛生グリーンプラザ八千代	八千代市	1
サービス付き高齢者住宅アヴィラージュ新鎌ケ谷	鎌ケ谷市	1
ケアハウスシャロン	茨城県神栖市	1
障害者支援施設鹿島育成園	茨城県潮来市	1
住宅型有料老人ホームきらら真光寺	東京都町田市	1
合計		175

（3）自宅退院 392件

（4）調整中に死亡退院 198件

連携係

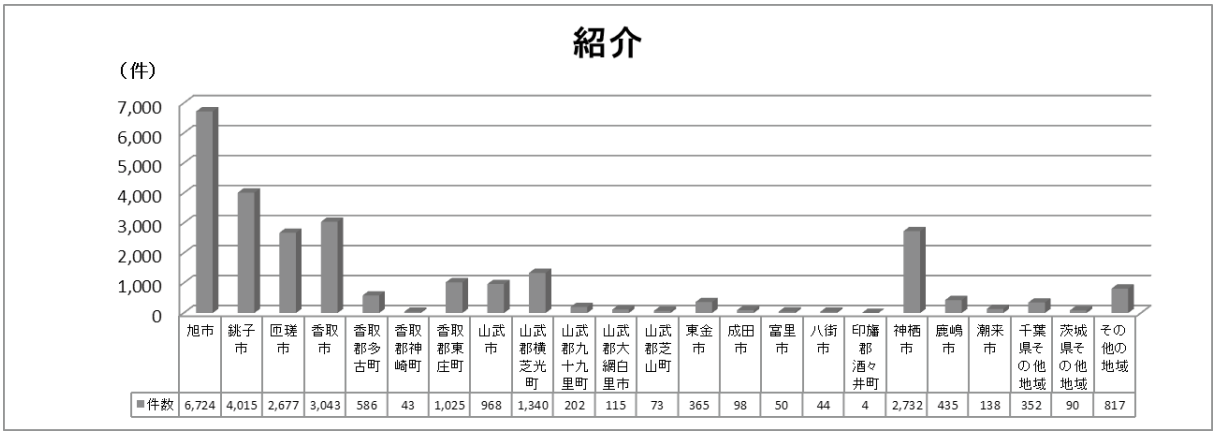
紹介・逆紹介を通じた二人主治医制の推進、及び地域完結型医療の構築に向け業務を行なった。当年度は訪問業務の制約を受けざるを得ないなか、特に内部業務の改善を図った。

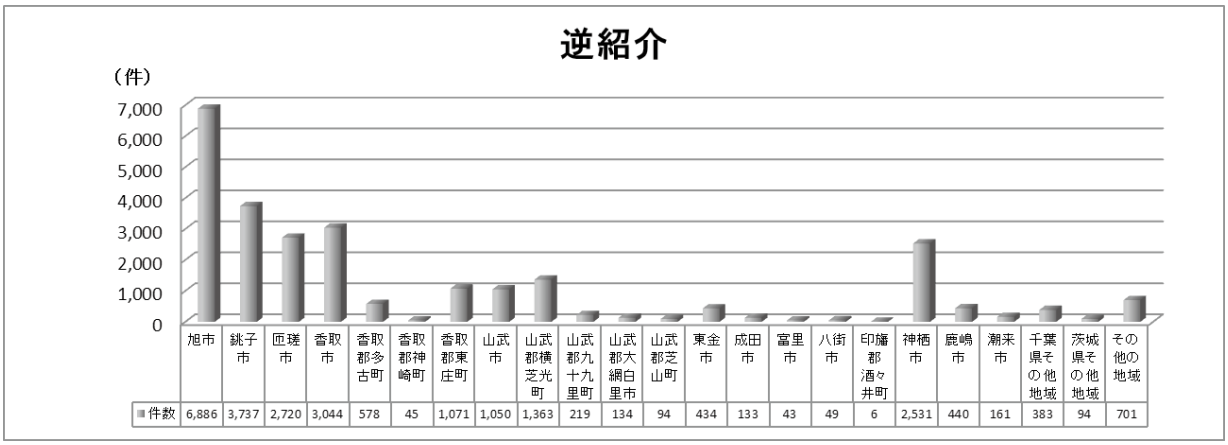
年度計画において、医療機関等との交流会として、当地域の医師を主な対象とした地域医療者（医師）懇談会を年２回実施することを目標に掲げたが、新型コロナ感染症が収束しないため、当年度の開催は見送らざるを得なかった。

なお当年度は、2020年9月4日（金）に第10回地域医療連携懇談会・北総近隣地域感染対策講習会（香取・海匝健康福祉センター共催）を、「新型コロナウイルス感染症研修会」と題して、高齢者入所施設を対象に開催し、院内外から104名（院外91名・院内13名）のご出席を頂いた。

以上

2020 年度　紹介・逆紹介患者数　居住地別件数





2020 年度　紹介・逆紹介患者数　居住地別件数と比率

		都道府県	市町村	紹介件数	全体に占める比率	逆紹介件数	全体に占める比率
診療圏	二次保健医療圏	千葉県	旭市	6,724	25.9%	6,886	26.6%
		千葉県	銚子市	4,015	15.5%	3,737	14.4%
		千葉県	匝瑳市	2,677	10.3%	2,720	10.5%
		千葉県	香取市	3,043	11.7%	3,044	11.7%
		千葉県	香取郡多古町	586	2.3%	578	2.2%
		千葉県	香取郡神崎町	43	0.2%	45	0.2%
		千葉県	香取郡東庄町	1,025	4.0%	1,071	4.1%
		香取海匝二次保健医療圏　小計		18,113	69.7%	18,081	69.9%
	山武地区	千葉県	山武市	968	3.7%	1,050	4.1%
		千葉県	山武郡横芝光町	1,340	5.2%	1,363	5.3%
		千葉県	山武郡九十九里町	202	0.8%	219	0.8%
		千葉県	山武郡大網白里市	115	0.4%	134	0.5%
		千葉県	山武郡芝山町	73	0.3%	94	0.4%
		千葉県	東金市	365	1.4%	434	1.7%
		山武地区　小計		3,063	11.8%	3,294	12.7%
		千葉県	成田市	98	0.4%	133	0.5%
		千葉県	富里市	50	0.2%	43	0.2%
		千葉県	八街市	44	0.2%	49	0.2%
		千葉県	印旛郡酒々井町	4	0.0%	6	0.0%
		茨城県	神栖市	2,732	10.5%	2,531	9.8%
		茨城県	鹿嶋市	435	1.7%	440	1.7%
		茨城県	潮来市	138	0.5%	161	0.6%
千葉県　その他　地域				352	1.4%	383	1.5%
茨城県　その他　地域				90	0.3%	94	0.4%
その他の地域				817	3.2%	701	2.7%
合　　計				25,936	100%	25,916	100%

2020年度　登録医・カルナコネクト　加入医療機関数　市町村別一覧表

市町村	医科		歯科		合計	
	登録医	カルナ	登録医	カルナ	登録医	カルナ
旭市	25	22	25	22	50	44
匝瑳市	19	19	8	7	27	26
銚子市	23	18	26	20	49	38
香取市	32	27	9	8	41	35
東庄町	2	2	1	1	3	3
多古町	2	2	0	0	2	2
神崎町	0	0	1	1	1	1
山武市	6	3	1	1	7	4
横芝光町	5	5	0	0	5	5
九十九里町	1	1	0	0	1	1
成田市	1	1	0	0	1	1
東金市	1	1	0	0	1	1
四街道市	1	0	0	0	1	0
神栖市	15	14	6	6	21	20
鹿嶋市	4	2	2	2	6	4
鉾田市	1	1	0	0	1	1
合計	138	118	79	68	217	186

（2021年3月31日現在）

2020年度　訪問件数一覧表

訪問年月	件数
2020年4月	3
5月	1
6月	12
7月	13
8月	3
9月	9
10月	26
11月	14
12月	11
2021年1月	6
2月	3
3月	9
合計	110

（単位：件）

2020年度　共同利用実績

検査項目	件数
単純CT	718
造影CT	106
CT-CAG	31
歯科CT	10
単純MRI	1,289
造影MRI	35
一般撮影	12
マンモグラフィ	14
核医学	59
骨密度	9
腹部超音波	169
心臓超音波	145
甲状腺超音波	54
頸動脈超音波	5
ABI・PWV	1
ホルター心電図	10
合計	2,667

紹介患者係

2017 年 3 月より「地域医療支援病院」となり二人主治医制のさらなる推進のため、かかりつけ医の紹介相談、大学病院への受診案内や予約手続き、セカンドオピニオンの相談等、他医療機関への紹介に関しての窓口として業務を行った。

また、満床等により入院出来ない患者さんの他医療機関への調整業務も新たに担当し、迅速かつ柔軟な対応を実施している。

その他、共同利用受付窓口や看護師対応による総合相談窓口としての役割や紹介状の確認、発送業務も行っており、発送件数は 26,045 件（前年度比＋ 20.5%）と大きく増加した。

2020 年度紹介患者センター来室件数　（単位：名）

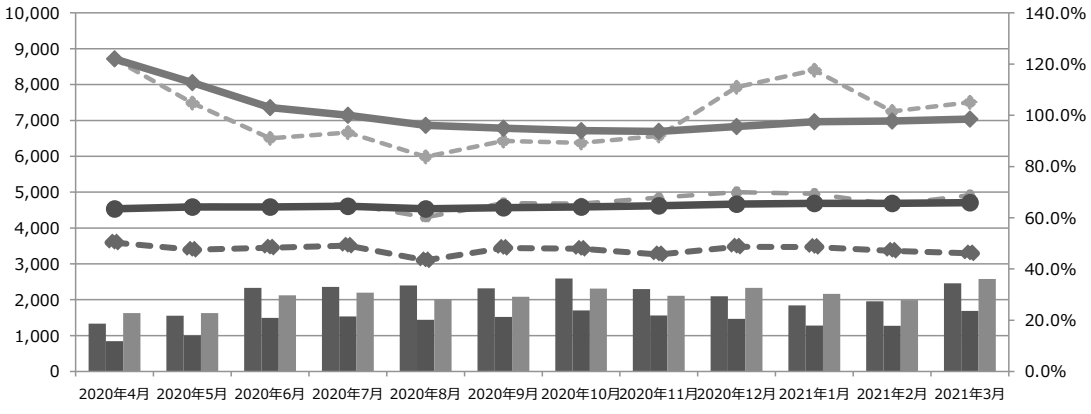
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
102	109	150	148	150	163	178	157	149	146	162	194	1,808

2020 年度かかりつけ医等相談件数　（単位：名）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
59	58	80	77	79	77	80	74	69	74	91	112	930

2020 年度紹介状発送件数　（単位：名）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
1,883	1,488	2,195	2,112	2,041	2,194	2,544	2,240	2,331	2,212	2,024	2,781	26,045



	2020年4月	2020年5月	2020年6月	2020年7月	2020年8月	2020年9月	2020年10月	2020年11月	2020年12月	2021年1月	2021年2月	2021年3月
初診患者数	1,336	1,555	2,332	2,355	2,398	2,317	2,595	2,296	2,099	1,841	1,958	2,456
紹介患者数	848	1,008	1,497	1,538	1,443	1,522	1,699	1,559	1,470	1,278	1,276	1,689
逆紹介患者数	1,630	1,630	2,121	2,198	2,010	2,086	2,314	2,112	2,330	2,165	1,987	2,581
紹介率	63.5%	64.8%	64.2%	65.3%	60.2%	65.7%	65.5%	67.9%	70.0%	69.4%	65.2%	68.8%
紹介率（累積）	63.5%	64.2%	64.2%	64.5%	63.5%	63.9%	64.2%	64.7%	65.3%	65.6%	65.6%	65.9%
逆紹介率	122.0%	104.8%	91.0%	93.3%	83.8%	90.0%	89.2%	92.0%	111.0%	117.6%	101.5%	105.1%
逆紹介率（累積）	122.0%	112.8%	103.0%	100.0%	96.1%	95.0%	94.0%	93.7%	95.6%	97.5%	97.8%	98.5%
退院時逆紹介率	50.3%	47.5%	48.3%	49.1%	43.4%	48.2%	47.9%	45.7%	48.7%	48.6%	47.1%	46.1%

2021.4.6作成 医事課 岩井淳一

センター等

●予防医学研究センター（2020年度）

トピックス

1．人間ドックと新型コロナウイルス感染拡大の影響

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が発出された中で、事業の継続について協議を行った。人間ドックや脳ドックなどの健診は、人間ドック実施施設と受診者との契約で、生活習慣病の予防やがんの早期発見などを目的として行われ、生命予後に関わる疾患が発見されている。このため休止する場合、既に契約を取交わしている予約者に不利益が生じないよう、後日の予約・検査を実施できる体制の構築が求められる。当院利用者は、毎年同一月の希望が多く、既に9月迄予約が入っており、休止により日常診療における検査室とセンターの間で取り決めされた人数以上の受診者を割り当てることは不可能であり、健診関連8団体による「健康診断実施時における新型コロナウイルス感染対策」・当院の感染予防対策に従い、各検査室の協力を得ながら継続実施することにした。受診者数について2018-2019年度との比較で、4・5月は1日ドック約55%、2日ドック75%低下していた。年間比較では1日ドック（2018・19年度2,018名、2020年度1,962名）−3%、2日ドック（2018・19年度1,197名、2020年度826名）−31%であった。2日ドック受診者の減少理由として、利用者が感染リスクを避け1日ドックに変更されるケースが見られた。そのため1日ドック希望者に対する枠が少なく、2日ドック枠を1日ドックに振替え対応した。

2日ドックには、脳ドック・肺ドックやPET検診などのオプション検査を設定しており、センターの感染防止対策の取組みや通院2日ドックを提案し受診していただいた。

2．健診センターから予防医学研究センターへ

健診センターは2020年10月1日より、病気の予防と早期発見・早期治療という役割に、新たに予防医学に関する研究を加え、名称を予防医学研究センターと改称し、センター長に橋本尚武医師が着任、医師2名体制となった。

各部署の協力をえながら病気の予防と早期発見・早期治療、予防医学に関する研究に取り組み、受診者の健康寿命の延伸、健康で活力のある充実した日々を送ってもらえるよう研鑽に努めます。

3．人間ドック健診施設機能評価の更新審査

2016年9月に取得した人間ドック健診施設機能評価認定（Ver.3.0）の認定期間は2021年3月末日迄であったことから、2019年11月より更新に向けて準備に取り組んだ。今回は評価基準Ver.4.0での受審となり、評価方法が5段階から3段階に、受診者対応、画像精度管理、結果説明、保健指導、フォローアップ体制などに関する項目の整理と新しい項目が追加されており、各領域について看護師・保健師、事務職が分担し、マニュアル、検診結果解析、文書・議事録等の点検・確認・作成を実施し、12月2日訪問審査に臨んだ。

当院はISO9001認証施設であり、検診業務に関わる診療局、放射線科、中央検査科、内視鏡検査室、眼科、臨床栄養科など各領域で、マニュアルの整備や記録の管理、院内全体での医療安全や感染対策に関する教育研修会の計画・実施、諸議事録管理などが適正に実施されていることが高く評価され、Ver.4.0の要求事項を満たしているとされ2021年1月14日に認定された。

当院人間ドックは、受診当日に医師による検査結果説明を実施しており、精密検査や治療が指示された受診者の受診行動の把握、生活習慣病を重視した保健指導に対するフォローアップなど、保健師・看護師が保健指導選定基準を作成し、保健指導の実施、医療機関受診行動の把握改善に向けた取り組みが高く評価された。引き続き質・サービスの向上に取り組む必要がある。

4．今後の課題

人間ドックの結果から、診察医師により精検や治療を指示された介入レベルの高いと思われる受診者の中に、多忙等の理由により医療機関を受診されず、翌年のドックで病状が進行しているケースも散見されている。確かな受診行動を促す目的で予約制によるドック外来を開設し、医療機関の紹介や相談など、健診だけではなくフォローアップする体制ができればさらに質的向上がはかれると思われる。また、減少傾向にある2日ドックに関して、保健師・看護師による保健指導をさらに充実したものにするなどの工夫が必要と思われる。

令和２年度（2020）受診者数(月別)

コース種別	性別＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
１日ドック	男性	54	53	117	99	118	96	121	92	105	104	80	124	1,163
	女性	24	30	77	94	64	86	62	66	67	57	84	88	799
	小計	78	83	194	193	182	182	183	158	172	161	164	212	1,962
２日ドック	男性	23	6	53	59	60	65	73	54	47	40	32	26	538
	女性	10	4	14	21	32	30	52	36	34	22	17	16	288
	小計	33	10	67	80	92	95	125	90	81	62	49	42	826
合　計	男性	77	59	170	158	178	161	194	146	152	144	112	150	1,701
	女性	34	34	91	115	96	116	114	102	101	79	101	104	1,087
	合計	111	93	261	273	274	277	308	248	253	223	213	254	2,788

年代別受診者数

	１日ドック		２日ドック		計
年代	男性	女性	男性	女性	
40 歳未満	51	31	3	7	92
40 ～ 49 歳	150	108	51	14	323
50 ～ 59 歳	266	187	98	53	604
60 ～ 69 歳	414	305	176	122	1,017
70 ～ 79 歳	269	152	184	83	688
80 歳以上	13	16	26	9	64
小計	1,163	799	538	288	2,788
総計	1,962		826		2,788

脳ドックコース別受診者数

コース	受診者数
オプションコース	419
単独脳ドックコース	181
計	600

定期健診受診者数

	男性	女性	計
受　診　者	66	105	171

受託企業数　　20　社

オプション検査件数

検査項目	合　計
ＨＣＶ抗体	247
ＨＩＶ抗体	97
子宮頸癌	142
子宮体癌	154
脳検診	419
肺癌検診	166
乳癌検診	195
腫瘍マーカー	1,567
甲状腺機能検査	327
骨密度検査	144
麻酔（内視鏡）	106
血液型	146
ＲＦ	24
ＣＲＰ	33
歯科検診	30
ＰＥＴ	155
内臓脂肪面積測定	453
ヘリコバクター・ピロリ抗体	440
計	4,845

人間ドックで発見された癌症例

病　　名	症例数	男性
胃　癌	10	8
食道癌	1	1
膵臓癌	2	1
肺癌	2	2
膀胱癌	2	2
前立腺癌	5	5
濾胞性リンパ腫	1	0
胃 MALT リンパ腫	3	1
合　　計	26	20

人間ドック契約団体数

自治体　（国保・高齢者医療）	25
共済組合	5
健保連集合契約・健保直接契約	23
企業・事業所	15
健診代行機関	6

令和２年度 (2020) 人間ドック成績一覧
A；異常なし　　B；所見あるも心配なし　　C；軽度異常あり生活習慣改善を要す
D1；要医療（E；現在治療中を含む）　　D2；要精密検査

ドック全受診者成績

	40 歳未満				40 歳～ 49 歳				50 歳～ 59 歳				60 歳～ 69 歳			
受診者数	92				323				604				1,017			
異常なし（A ＋ B)	15				25				17				12			
症例 / 新判定	A+B	C	D1 (E)	D2	A+B	C	D1 (E)	D2	A+B	C	D1 (E)	D2	A+B	C	D1 (E)	D2
肥満	80	5	4	3	285	14	14	10	533	39	13	19	930	51	12	24
呼吸器疾患	86	0	0	6	307	0	1	15	542	1	6	55	896	2	12	106
高血圧	80	8	4	0	228	42	51	2	341	96	163	4	496	120	396	5
高コレステロール	89	1	0	2	292	15	0	16	533	53	0	18	913	87	0	17
高中性脂肪	87	3	0	2	302	16	0	5	585	15	0	4	1,002	14	0	1
高尿酸	82	7	0	3	298	19	0	6	533	50	0	21	907	80	0	30
心電図異常	79	7	0	6	286	24	2	11	505	59	5	35	825	111	12	69
食道疾患	80	4	1	0	268	38	3	3	531	60	4	1	853	138	4	4
胃疾患	67	16	1	2	227	81	2	0	337	251	5	3	367	619	9	5
十二指腸疾患	82	2	0	0	300	8	1	0	568	26	2	1	953	39	3	1
胆石・胆嚢ポリープ	68	19	0	0	208	87	0	4	366	179	0	10	601	316	0	26
肝機能異常(脂肪肝含)	73	25	0	4	179	131	0	13	277	300	0	26	539	440	0	32
糖尿病	75	15	0	2	186	94	23	20	288	216	49	51	340	394	181	102
血液疾患	84	5	1	2	280	21	10	12	554	30	7	13	969	38	2	8
便潜血	82	0	0	7	294	0	2	27	553	0	5	41	924	0	7	78
前立腺疾患	12	0	0	0	78	0	0	0	275	0	0	6	438	0	0	25
婦人科	27	4	1	4	59	14	18	10	149	28	11	17	329	34	5	15
乳房疾患	6	0	0	1	12	0	0	2	45	3	0	4	111	3	1	6
眼底・視力検査	73	0	0	12	244	7	7	51	452	10	9	110	654	27	31	276
その他の疾患	73	0	0	12	244	7	7	51	452	10	9	110	820	40	23	127
合　　計	1,385	121	12	68	4,577	618	141	258	8,419	1,426	288	549	13,867	2,553	698	957

	70 歳～ 79 歳				80 歳以上				総計			
受診者数	688				64				2,783			
異常なし（A ＋ B)	1				0				70			
症例 / 新判定	A+B	C	D1 (E)	D2	A+B	C	D1 (E)	D2	A+B	C	D1 (E)	D2
肥満	640	34	5	9	60	2	2	0	2,528	145	50	65
呼吸器疾患	527	4	13	144	44	0	5	14	2,402	7	37	340
高血圧	272	80	326	10	18	7	38	1	1,435	353	978	22
高コレステロール	643	35	0	10	61	2	0	0	2,531	193	0	63
高中性脂肪	678	9	0	1	63	0	0	0	2,717	57	0	13
高尿酸	629	37	0	22	55	5	0	3	2,504	198	0	85
心電図異常	489	116	18	65	36	16	0	11	2,220	333	37	197
食道疾患	572	96	6	1	53	7	0	0	2,357	343	18	9
胃疾患	161	498	9	8	6	54	1	0	1,165	1,519	27	18
十二指腸疾患	634	32	3	2	55	3	0	0	2,592	110	9	4
胆石・胆嚢ポリープ	398	227	3	12	34	17	0	2	1,675	845	3	54
肝機能異常(脂肪肝含)	380	274	0	17	41	18	0	3	1,489	1,188	0	95
糖尿病	185	259	156	88	9	35	17	2	1,083	1,013	426	265
血液疾患	638	36	1	13	49	8	2	4	2,574	138	23	52
便潜血	602	0	7	70	54	0	1	6	2,509	0	22	229
前立腺疾患	320	0	0	26	24	0	0	5	1,147	0	0	62
婦人科	184	13	4	3	14	2	0	1	762	95	39	50
乳房疾患	75	2	0	1	7	0	0	2	256	8	1	16
眼底・視力検査	390	21	24	242	22	1	5	31	1,835	66	76	722
その他の疾患	549	30	14	91	47	3	1	11	2,185	90	54	402
合　　計	8,966	1,803	589	835	752	180	72	96	37,966	6,701	1,800	2,763

ドック男性受診者成績

	40歳未満				40歳～49歳				50歳～59歳				60歳～69歳			
受診者数	54				201				364				590			
異常なし（A＋B)	7				8				8				4			
症例 / 新判定	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2
肥満	48	1	3	2	171	10	11	9	315	28	9	12	541	30	7	12
呼吸器疾患	52	0	0	2	188	0	0	13	322	0	4	38	495	2	9	83
高血圧	47	4	3	0	131	29	40	1	171	66	123	4	247	72	270	1
高コレステロール	52	0	0	2	180	8	0	13	336	25	0	3	550	35	0	5
高中性脂肪	51	2	0	1	185	11	0	5	355	8	0	1	577	12	0	1
高尿酸	48	5	0	1	187	12	0	2	339	20	0	5	557	31	0	2
心電図異常	44	6	0	4	172	20	1	8	293	46	4	21	451	77	9	53
食道疾患	49	3	0	0	164	32	3	1	318	40	4	1	486	89	4	2
胃疾患	42	8	1	1	142	54	2	0	202	154	3	3	189	384	6	3
十二指腸疾患	50	1	0	0	189	8	1	0	340	20	2	1	547	27	3	1
胆石・胆嚢ポリープ	34	16	0	0	113	64	0	3	206	110	0	8	309	202	0	16
肝機能異常(脂肪肝含)	32	20	0	2	94	99	0	8	143	205	0	15	278	286	0	21
糖尿病	40	12	0	2	90	76	17	18	148	138	38	40	154	240	131	65
血液疾患	52	2	0	0	191	5	0	5	340	18	1	5	559	23	2	6
便潜血	51	0	0	2	184	0	1	16	329	0	3	29	534	0	5	44
前立腺疾患	12	0	0	0	78	0	0	0	275	0	0	6	438	0	0	25
婦人科																
乳房疾患																
眼底・視力検査	45	0	0	6	153	3	6	28	257	6	7	75	375	17	15	161
その他の疾患	45	0	0	6	153	3	6	28	257	6	7	75	541	30	7	12
合　　計	794	80	7	31	2,765	434	88	158	4,946	890	205	342	7,828	1,557	468	513

ドック男性受診者成績

	70歳～79歳				80歳以上				総計			
受診者数	453				39				1,701			
異常なし（A＋B)	0				0				27			
症例 / 新判定	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2
肥満	420	23	4	6	37	2	0	0	1,532	94	34	41
呼吸器疾患	321	4	11	117	26	0	3	10	1,404	6	27	263
高血圧	170	48	226	9	11	3	25	0	777	222	687	15
高コレステロール	433	16	0	4	38	1	0	0	1,589	85	0	27
高中性脂肪	443	9	0	1	39	0	0	0	1,650	42	0	9
高尿酸	433	17	0	3	37	2	0	0	1,601	87	0	13
心電図異常	305	89	13	46	18	14	0	7	1,283	252	27	139
食道疾患	376	67	4	1	34	3	0	0	1,427	234	15	5
胃疾患	92	344	7	5	4	33	1	0	671	977	20	12
十二指腸疾患	416	27	2	1	33	2	0	0	1,575	85	8	3
胆石・胆嚢ポリープ	237	164	3	7	20	10	0	1	919	566	3	35
肝機能異常(脂肪肝含)	231	201	0	14	24	12	0	2	802	823	0	62
糖尿病	102	161	124	66	5	20	13	1	539	647	323	192
血液疾患	414	28	1	10	29	7	0	3	1,585	83	4	29
便潜血	393	0	5	48	34	0	0	4	1,525	0	14	143
前立腺疾患	320	0	0	26	24	0	0	5	1,147	0	0	62
婦人科												
乳房疾患												
眼底・視力検査	261	14	14	157	12	0	4	20	1,103	40	46	447
その他の疾患	420	23	4	6	37	2	0	0	1,453	64	24	127
合　　計	5,787	1,235	418	527	462	111	46	53	22,582	4,307	1,232	1,624

ドック女性受診者成績

	40歳未満				40歳～49歳				50歳～59歳				60歳～69歳			
受診者数	38				122				240				427			
異常なし（A＋B)	8				17				9				8			
症例 / 新判定	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2
肥　満	32	4	1	1	114	4	3	1	218	11	4	7	389	21	5	12
呼吸器疾患	34	0	0	4	119	0	1	2	220	1	2	17	401	0	3	23
高血圧	33	4	1	0	97	13	11	1	170	30	40	0	249	48	126	4
高コレステロール	37	1	0	0	112	7	0	3	197	28	0	15	363	52	0	12
高中性脂肪	36	1	0	1	117	5	0	0	230	7	0	3	425	2	0	0
高尿酸	34	2	0	2	111	7	0	4	194	30	0	16	350	49	0	28
心電図異常	35	1	0	2	114	4	1	3	212	13	1	14	374	34	3	16
食道疾患	31	1	1	0	104	6	0	2	213	20	0	0	367	49	0	2
胃疾患	25	8	0	1	85	27	0	0	135	97	2	0	178	235	3	2
十二指腸疾患	32	1	0	0	111	0	0	0	228	6	0	0	406	12	0	0
胆石・胆嚢ポリープ	34	3	0	0	95	23	0	1	160	69	0	2	292	114	0	10
肝機能異常(脂肪肝含)	41	5	0	2	85	32	0	5	134	95	0	11	261	154	0	11
糖尿病	35	3	0	0	96	18	6	2	140	78	11	11	186	154	50	37
血液疾患	32	3	1	2	89	16	10	7	214	12	6	8	410	15	0	2
便潜血	31	0	0	5	110	0	1	11	224	0	2	12	390	0	2	34
前立腺疾患																
婦人科	27	4	1	4	59	14	18	10	149	28	11	17	329	34	5	15
乳房疾患	6	0	0	1	12	0	0	2	45	3	0	4	111	3	1	6
眼底・視力検査	28	0	0	6	91	4	1	23	195	4	2	35	279	10	16	115
その他の疾患	28	0	0	6	91	4	1	23	195	4	2	35	279	10	16	115
合　　計	591	41	5	37	1,812	184	53	100	3,473	536	83	207	6,039	996	230	444

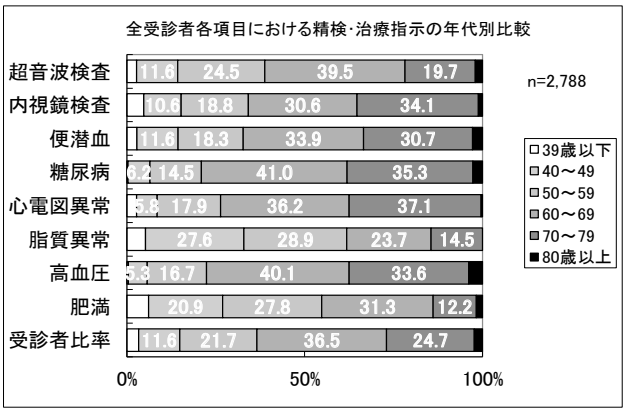
ドック女性受診者成績

	70歳～79歳				80歳以上				総計			
受診者数	235				25				1,087			
異常なし（A＋B)	1				0				43			
症例 / 新判定	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2
肥　満	220	11	1	3	23	0	2	0	996	51	16	24
呼吸器疾患	206	0	2	27	18	0	2	4	998	1	10	77
高血圧	102	32	100	1	7	4	13	1	658	131	291	7
高コレステロール	210	19	0	6	23	1	0	0	942	108	0	36
高中性脂肪	235	0	0	0	24	0	0	0	1,067	15	0	4
高尿酸	196	20	0	19	18	3	0	3	903	111	0	72
心電図異常	184	27	5	19	18	2	0	4	937	81	10	58
食道疾患	196	29	2	0	19	4	0	0	930	109	3	4
胃疾患	69	154	2	3	2	21	0	0	494	542	7	6
十二指腸疾患	218	5	1	1	22	1	0	0	1,017	25	1	1
胆石・胆嚢ポリープ	161	63	0	5	14	7	0	1	756	279	0	19
肝機能異常(脂肪肝含)	149	73	0	3	17	6	0	1	687	365	0	33
糖尿病	83	98	32	22	4	15	4	1	544	366	103	73
血液疾患	224	8	0	3	20	1	2	1	989	55	19	23
便潜血	209	0	2	22	20	0	1	2	984	0	8	86
前立腺疾患												
婦人科	184	13	4	3	14	2	0	1	762	95	39	50
乳房疾患	75	2	0	1	7	0	0	2	256	8	1	16
眼底・視力検査	129	7	10	85	10	1	1	11	732	26	30	275
その他の疾患	129	7	10	85	10	1	1	11	732	26	30	275
合　　計	3,179	568	171	308	290	69	26	43	15,384	2,394	568	1,139

全受診者の各項目における精検・治療指示の年代別比較

（人）

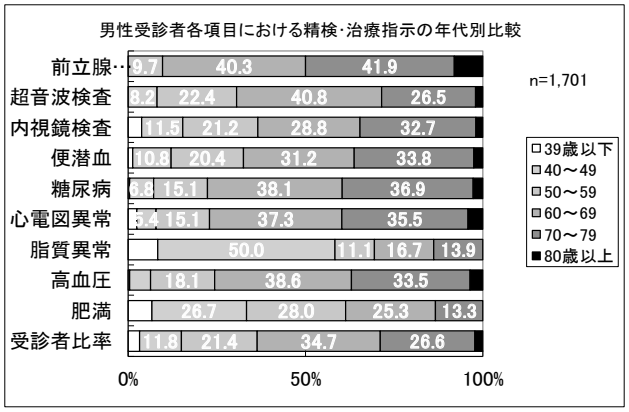
	39歳以下	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	全体
全受診者	92	323	604	1017	688	64	2788
肥満	7	24	32	36	14	2	115
高血圧	4	53	167	401	336	39	1000
脂質異常	4	21	22	18	11	0	76
心電図異常	6	13	40	81	83	1	224
糖尿病	2	43	100	283	244	19	691
便潜血	7	29	46	85	77	7	251
内視鏡検査	4	9	16	26	29	1	85
超音波検査	4	17	36	58	29	3	147



男性受診者の各項目における精検・治療指示の年代別比較

（人）

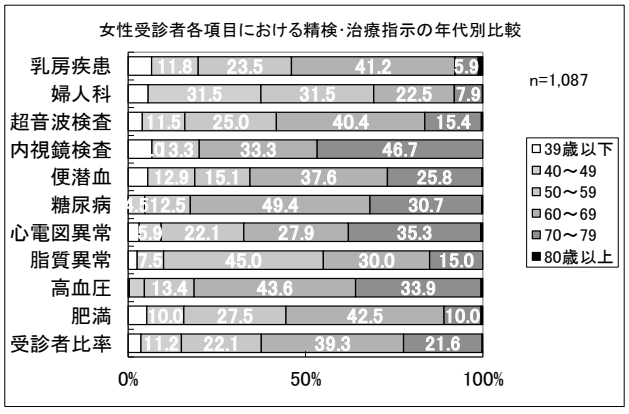
	39歳以下	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	全体
男性受診者	54	201	364	590	453	39	1701
肥満	5	20	21	19	10	0	75
高血圧	3	41	127	271	235	25	702
脂質異常	3	18	4	6	5	0	36
心電図異常	4	9	25	62	59	7	166
糖尿病	2	35	78	196	190	14	515
便潜血	2	17	32	49	53	4	157
内視鏡検査	2	6	11	15	17	1	52
超音波検査	0	4	11	20	13	1	49
前立腺(PSA)	0	0	6	25	26	5	62



女性受診者の各項目における精検・治療指示の年代別比較

（人）

	39歳以下	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	全体
女性受診者	38	122	240	427	235	25	1087
肥満	2	4	11	17	4	2	40
高血圧	1	12	40	130	101	14	298
脂質異常	1	3	18	12	6	0	40
心電図異常	2	4	15	19	24	4	68
糖尿病	0	8	22	87	54	5	176
便潜血	5	12	14	35	24	3	93
内視鏡検査	1	0	2	5	7	0	15
超音波検査	2	6	13	21	8	2	52
婦人科	5	28	28	20	7	1	89
乳房疾患	1	2	4	7	1	2	17



●PET画像診断センター（2020年度）

2020年度は初頭より新型コロナウイルスの猛威によって緊急事態宣言が発動されるなど、激動の一年となった。不要不急の検査を避ける医師の判断や患者自身の受診控えといった風潮は当センターにも例外なく影響を与え、核医学検査はトータルで前年度比約200件の減少となった。2021年度にも新型コロナウイルスの影響は少なからず残存すると思われ、厳しい船出が予想されるが、なんとか実施件数の回復とそれに伴う一層の診療貢献を目指したいと考えている。また、コロナ禍を奇貨として検査枠などを見直し、より無駄の少ない効率的な検査室運用を模索する次第である。

一方、診療外では心筋血流PET製剤（18F-flurpiridaz）の第2相治験に参加する機会を得た。参加施設の多くが都心の病院であり、心臓カテーテル検査の実施が抑制された事情もあって当院にかかる期待は大きく、最終的には当初の予定より多い9名の患者をエントリーすることができた（全施設合計は50名）。これは全参加施設中最多とのことであり、多大な協力を賜った循環器内科の各医師にはこの場を借りて改めて深謝申し上げたい。

最後に2020年度のPET/CT検査の実施件数（合計1500件）、シンチおよびSPECT(/CT)検査の実施件数（合計1955件）の内訳を表1、2に示す。

表1　FDG-PET/CT検査数

	件数
診療	1336
ドック	155
治験	9

表2　シンチおよびSPECT(/CT)検査数

検査名	件数	検査名	件数
骨シンチ	510	脳血流シンチ（^{123}I-IMP）	215
ガリウムシンチ	140	脳 DAT シンチ	154
肺血流シンチ	20	副腎髄質シンチ	10
肺換気シンチ	18	副甲状腺シンチ	11
心筋血流シンチ（^{99m}Tc-MIBI）	364	唾液腺シンチ	23
心筋血流シンチ（^{201}TlCl）	192	センチネルリンパ節シンチ（^{99m}Tc- フィチン酸）	97
心筋 MIBG シンチ	133	甲状腺摂取率シンチ	13
心筋ピロリン酸シンチ	11	その他	44

注1：肺換気・血流同時シンチについては製剤毎にカウントした

注2：年間施行件数が10件以下の検査（消化管出血シンチ、リンパ管シンチ、腎動態シンチ、ソマトスタチン受容体シンチ、副腎皮質シンチなど）については「その他」に集約した

●入院･手術サポートセンター（2020年度）

【入退院部門】

慢性的な満床状態の改善に向けての取り組み

・入院前面談をより多くの患者に実施

・早期に退院困難要因の抽出

・必要時には連携室、入院病棟、外来と情報共有し、入院前から退院支援の介入ができる

・早期に介入することで在院日数の短縮につなげる

確実な服薬指導

・入院書類説明と同日に薬剤鑑別を行い、休薬の指示を患者へ的確に伝える

・検査、処置等に必要な食止めの説明、それに伴う内服薬の中止等の説明

＊これらを確実に実施し、安心して入院し安全に治療が受けられることを目標にしております。

【周術期部門】

今年度、外科系すべての診療科の予定全身麻酔手術の介入を目標に業務拡大を行ってきました。ロードマップにあるように内科TAVI手術も含め、目標達成することができました。各診療科医師はじめ、外来スタッフ、栄養士、薬剤師、理学療法士、検査技師、社会福祉士、歯科衛生士などなどの皆さんのご協力のおかげだと感謝しております。

手術が決定した時点から、周術期管理が必要という流れが軌道に乗り、多くの患者さんの術前ケア介入が実施されるようになりました。手術看護認定看護師や熟練した専従の看護師にて術前のケアに徹しています。

文責　茂木鈴枝

●入院･手術サポートセンター（周術期介入）ロードマップ

2019年 4月		5～7月	8月	9～11月	12月	2020年 1～3月	4～5月	6～9月	2021年度	
入院・手術サポートセンター（PFMセンター）	5科目【心臓外科】勉強会	1科目【外科】未介入症例 順次介入開始	6科目【耳鼻科】介入準備･勉強会	予約枠運用に向けて準備	7科目【歯口科】介入準備･勉強会	6科目【耳鼻科】本格稼働	11科目【皮膚科】介入準備	11科目【皮膚科】パイロット／本格稼働	入院当日手術順次拡大	
周術期（入退院センター統合	4科目【整形】人工関節介入開始	5科目【心臓外科】パイロット	※TAVIも心外と併せて検討	6科目【耳鼻科】パイロット	予約枠による運用開始	8科目【形成外科】介入準備／パイロット	10科目【眼科】介入準備	10科目【眼科】パイロット／本格稼働	内科系手術　介入開始	
	入院当日手術開始（円錐切除）	センター内業務の整備	5科目【心臓外科】本格稼働			7科目【歯口科】パイロット	9科目【脳神経外科】介入準備／パイロット	9科目【脳神経外科】本格稼働		
	3科目【婦人科】全麻全例介入開始							8科目【形成外科】パイロット／本格稼働		
								7科目【歯口科】本格稼働		

ＫＰＩ

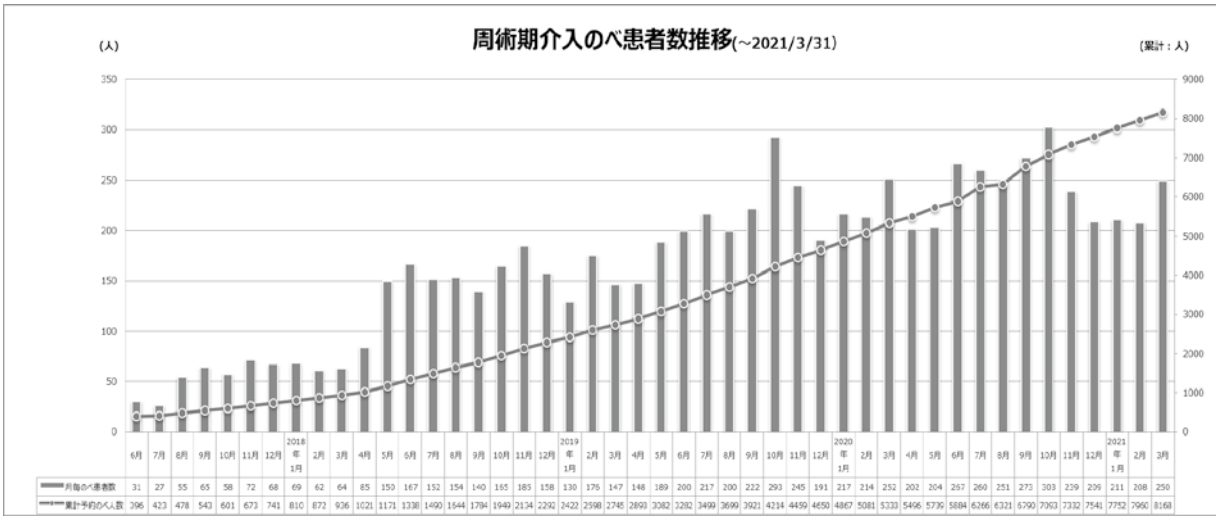
延べ患者数 2020/4月～2021/3月 2877人	実患者数 2020/4月～2021/3月 1666人	1日あたりの新患数（実患数/稼働日） 2020/4月～2021/3月 平均6.8人/日	1日あたりの患者数（延べ患者数/稼働日） 2020/4月～2021/3月 平均11.8人/日
周術期栄養指導 2020/4月～2021/3月 1154件	周術期口腔ケア依頼件数 2020/4月～2021/3月 1434件	周術期リハビリ指導件数 2020/4月～2021/3月 360件	手術室介入症例率 2020/4月～2021/3月 67.95%
【算出方法】 **延べ患者数：**初回を含むセンター介入患者の総数 **実患者数：**初回センター介入患者数 **周術期栄養指導・口腔ケア依頼件数・リハビリ指導件数：**集計期間に於ける各科介入数 **介入症例率：**緊急・m-ECT・アンギオを除く麻酔科依頼件数を分母にセンター介入症例数より算出（病床管理委員会資料より引用） **休止薬・禁煙実施率：**実患者数を分母に、センター介入により中止・延期なく手術に至った症例数より算出		休止薬実施率 2020/4月～2021/3月 100%	禁煙実施率 2020/4月～2021/3月 100%

－周術期介入患者数まとめ－

- 集計期間：2016/6/7～2021/3/31時点
- 周術期介入 **のべ**患者数　合計：**8,168**名
- 周術期介入　**実**患者数　合計：**4,198**名

【科別詳細（実患者）】

外科（2,492名）2016/6～
泌尿器科（569名)2018 /4～
婦人科（606名）2018/9～
整形外科(149名）2019/3～
心臓外科（113名）2019/8～
耳鼻咽喉科（189名)2020/3～
歯科口腔外科(35名）2020/4～
形成外科(4名）2020/8～
TAVI(22名）2020/7～
脳外科（7名）2020/7～
眼科（7名）2020/8～
皮膚科（5名）2020/9～



周術期業務担当　看護師数（2021/3月現在）

月・水・金：3人/日
火・木：5人/日（9西・Ope室からリリーフ
＋常勤3名）

入退院業務担当看護師数（2021/3月現在）

月・火・木・金：常勤3＋パート0.5
＋バンビ兼務
水：パート1日勤務可能

【算出条件】
のべ患者数：周術期センター患者リスト統合データより算出。
のべ患者1予約＝1患者としてカウント
実患者数：同一患者で複数回OPEを実施している患者は、OPE1回につき実患者1でカウント。センター受診前の入院キャンセル、オペ中止はカウント除外（延期はカウント）

企画情報局

●経営企画室（2020年度）

1．2020年度のトピック

(1)　2019年度業務実績の評価と第1期中期計画業務実績評価

2019年度業務実績の評価については、2019年度計画の91項目の計画目標に対して各項目の進捗状況と自己評価を取りまとめた。この内容について業務実績自己評価会議、理事会、評価委員会、旭市議会等に説明を行ない確認・評価され旭市長において承認された。2019年度実績の総合評価はA（進捗が計画を上回っている）と評価いただいた。また、当院の第1期中期計画は2016年度から4年間となっており、2019年度は最終年度となる。2016～2019年度の評価を基に第1期中期計画の業務実績評価を行なった。4年間のそれぞれの評価は全てAとなっており、総合的な4年間の自己評価もAとした。この内容について、旭市が設置する評価委員会において審議いただいたところ自己評価と同様の評価を頂き旭市長に承認いただいた。

(2)　アクションプランに基づいたプロジェクトの推進と実施結果

2020年度のアクションプランの項目は以下の8項目となっている。

1-1　医療安全の推進（安全な組織文化の醸成）
2-1　入院手術サポート（PFM)の充実
2-2　院内フォーミュラリーの創設
3-1　働き方改革
3-2　内部統制の推進
4-1　診療報酬改定への対応
4-2　高額医療機器の効率的な稼働
4-3　計画的な設備投資

当室がプロジェクトチームとして参加したのは「院内フォーミュラリーの創設」、「高額医療機器の効率的な稼働」、「計画的な設備投資」である。「院内フォーミュラリーの創設」では下半期より段階的に導入を開始。インフリキシマブ、高尿酸血症、インフエンザ（フローチャート式）」、「PPI」、「DPP-4阻害剤」、「ビスホスホネート」のフォーミュラリーをスタートした。「高額医療機器の効率的な稼働」については先進的な高額医療機器のマネジメント手法として「高額医療機器における長期包括契約」について研究・検討を行ってきたが、当院におけるメリットデメリットを考慮した結果、当面、現状のスタイル（単一契約・単一保守）を維持する事とした。「計画的な設備投資」については医療分野における院内オートメーションについて最新の技術等について情報収集を行った。来年度も引き続きポストコロナを見据えた、医療分野におけるデジタルトランスフォーメーション等の応用を念頭にオートメーション化の調査・研究を継続する。

(3)　その他

①　ＳＣＵ（脳卒中ケアユニット）の設置について

第二期中期計画に掲げられている「5疾病に対する医療水準の向上」に関する「脳卒中」の分野において、効率的な初期治療を提供する事を目的としたＳＣＵ（脳卒中ケアユニット）の設置について検討し脳外科病棟の3床を一般病床より転換した。

●医療情報室（2020年度）

総評

Covid-19 流行に振り回された１年だった。１年のうちにオンライン環境の増強や運営サポートなど、電子カルテのリプレースと重ならなかった事だけが救いと言えよう。東京近郊への出入が憚れる中、放射線サテライトのメンテナンスは不可避であるほか、新規案件として初めての経験となる東京都文京区本郷に病理診療所を開設（稼働は２０２１年度）するにあたっての準備作業に相当のリソースを割いたほか、島根との相互バックアップ事業など、Nuro 光が旭市に届いたことによりインターネット環境の劇的な改善とともに外部通信網を活用した案件が目白押しとなる１年であった。通信網のセキュリティ制御においても IP-VPN の一択状態から IPsec-VPN+IKE による、より簡易な方式が実用的な価格で運営できる体制となり、順次既存回線に対して更新をすすめているところである。

＜主な対応イベント＞

2020.05	コロナに伴う発熱外来設営
	Zoom や Webex 等のオンラインビデオシステム手配・操作代行
	オンライン需要の急増に伴うインターネットネットワーク枯渇
2020.05	カルテ端末として利用できる iPadPro を 300 台配給開始
	（医師・研修医・歯科衛生士・薬剤師・リハビリ技師 限定）
2020.06	昨年度台風被害に伴う対策としての本館１２階空調機増設
2020.06	ＷＥＢのみによる日本医療情報学会開催
	事務局が顔なじみであった事から、運営ノウハウの提供を受ける
2020.06	リニアック棟増床に伴う院内光回線ルート変更（電柱ルート変更）
2020.07	オンライン診療実験実施（１件のみ）
2020.07	Ｎｕｒｏ光開設
	１回線あたり従来の１５倍以上速いため、順次切り替え実施。
2020.07	Smapa Terminal スタート（自動受付機更新）
2020.07	Smapa Display スタート（スマートホンによる順番表示機能）
2020.08	VDi リソース増強に伴う医師向けクライアント増速対応
2020.08	看護師用実施入力携帯ツール iPodTouch 端末 300 台配布スタート
2020.08	研修医採用のオンライン面接対応
2020.09	クレジットによる後払い（会計を待たずに帰れる）サービス開始
2020.09	ＳＣＵ病棟開設（システム対応準備期間は 4 か月）
2020.09	ＲＦＩＤ／ローカル５Ｇ本格検討開始
2020.09	本郷設営準備作業開始、12 月物件契約　⇒本運用は 2021 年６月
2020.10	IPsec-VPN+IKE を実現する「Ｍｅｒａｋｉ」本格導入
2021.02	サテライト改廃対応（目黒移設・中野開設・大宮閉鎖）
2021.03	島根県立中央病院との相互バックアップ事業開始（片乗り入れ）
2021.03	オンライン資格確認システム本稼働

＜スタッフ（2021.3. 現在）＞

職 員：13 名（医師 1 名、看護師 2 名、事務 10 名）

協力会社：６名（エヌデーデー）＋５名（ネットワンシステムズ）

事　務　局

●総務人事課（2020年度）

【働き方改革・内部統制推進】

アクションプランに掲げられた「働き方改革」について、タスクシフト・タスクシェアの現状、今後の取り組み予定について調査を行った。また、調査結果を基に長時間労働診療科へヒアリングし、各診療科の状況把握や長時間労働の要因と対策、今後の取組みについて検討を行うなど労働時間管理の徹底、適正化を進めている。

また、「内部統制の推進」については内部統制に関わる組織体制を構築、法令及び行動規範の遵守に関する規程等の整備を推進した。

【監査】

監事監査は決算監査及び業務監査（定例監査、特別監査）、会計監査人による監査は期末決算監査、期中監査が行われ、何れも適正な業務の遂行及びコンプライアンス遵守について指摘はなかった。

【公用車管理】

経年劣化が見られた公用車２台を廃車し中古車２台を購入した。各部署協力のもと使用効率アップの徹底を図っている。

【図書管理】

① 購入資料：単行初/110冊、学術雑誌/92誌、電子ジャーナル契約数/6,361誌
② 契約データベース：Clinical Key、Cochrane Library、DynaMed、医学中央雑誌、メディカルオンライン+eBooks
③ 相互貸借：院外外注(院内所蔵分含む）/1,340件、当院受付け/616件
④ 図書室利用実習：図書室資料の使い方・図書室の使い方/2回、医学中央雑誌検索講習/4回

●経理課（2020年度）

＜2020年度の部署方針と実施成果＞

１．「人材の育成・強化、および業務遂行能力の向上」

4月の人事異動での減員、人員構成の若年化など、不安要素が多い中で2020年度はスタートしたが、各自が自分の役割と課題に責任感を持って取り組んだことと、若手職員のサポート体制を強化したことで、人員の不足をカバー。結果として業務の「質」を落とさず、逆に向上させることができたと考える。

２．「会計窓口関連業務の改革」

2019年度に行った「自動精算機」や「医事システム」の更新を受け、2020年度は会計窓口関連の業務に、見直しや新たな制度の導入を進めた。主な内容は以下のとおり。

（１）現金精査（全回収）業務の抜本的見直し、業務の明確化と周知徹底
（２）銀行による集配金を、警備会社への委託へ変更
（３）「診療費クレジット後払い」の導入

＜2020年度決算について＞

新型コロナウィルスの感染拡大は当院の経営にも大きな影響を及ぼしたが、日々地域基幹病院としての役割の遂行に努めていく中で、国・県・旭市から補助金等の助成もあり、結果5億5,990万円の純利益を計上することができた。

●医事課（2020年度）

2020年度医事課の部署方針と実績

〈部署方針〉

・診療報酬改定への対応

・収入増加への取り組み

・働き方改革への対応

〈取り組み内容と実績〉

●2020年度診療報酬改定により緩和ケア病棟の基準変更や地域医療体制確保加算等の新設項目に適切に対応し届出を行った。また、2020年9月より脳卒中ケアユニット（SCU）3床を稼働（算定開始は2020年11月）した。

●新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて適切に対応し、新型コロナウイルス感染症に係る入院料等の収入確保を行った。

●2020年度の診療報酬請求額は34,673,223千円で前年比102.4％であった。

●施設課（2020年度）

・青駐車場整備工事12137.88㎡及び有料駐車場整備工事6380.68㎡

・放射線治療棟増築工事260.31㎡　2021年2月末竣工

整備班

2020年度・排水処理量

本館 下水道放流	本館以外附属含む 汚水処理場処理	合計
103,675㎥	103,967㎥	207,642㎥

2020年度・廃棄物処理量

資源	一般可燃物	不燃物	医療廃棄物	感染医療廃棄物	合　計
970kg	686,140kg	4,620kg	38,007kg	483,640kg	1,213,377kg

節水及びゴミの削減にご協力お願い致します。

エネルギー班

・電気・重油・ガス使用量削減（エネルギー班）

エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）で、エネルギー管理指定工場などは、「エネルギー消費原単位年平均１パーセント改善目標」となっています。

旭中央病院全体のエネルギーの使用に係わる原単位変化は、2013年度原油換算9,129klから2020年度原油換算7,745kl（- 1,384kl)となり対2013年度比84.8%

空調・照明等を中心に、省エネルギー対策を実施した結果大幅な削減を達成しました。

これは、当課のみならず病院職員の省エネへの意識が高まり、御協力の下達成出来たものと考えます。

これからも、節電等省エネに御協力をお願い致します。

内訳	2013 年度	2020 年度	2013 年度差
電気	28,199 千 kwh	25,408 千 kwh	－ 2,791 千 kwh
重油	475kl	322kl	－ 153kl
ガス	1,244 千㎥	788 千㎥	－ 456 千㎥

●契約課（2020年度）

2020年度契約課の方針と実績について

１．2020年度の方針

2020年度の部署方針は、資産・診療材料費・経費の購入削減を継続し、経営基盤の安定強化に繋げるとした。

２．部署目標と成果

上記部署方針を実現するため目標値を設定し、下記内容で削減に取り組んだ結果、一定の成果を出すことができた。

（ア）器具備品費・開発費の削減（目標値：当初見積額から２億円の値引き）
見積もりを精査し必要性の有無、競合品の検討（競争原理）および実績を基に交渉を行う。

（イ）委託費の削減（目標値：当初見積額から5千万円の値引き）
必要性の有無、複数年契約の活用、契約方法の見直しおよび実績を基に交渉を行う。

（ウ）診療材料費の削減（目標値：年間効果額（前年度購入量にて算出）５千万円）
高額医療材料（循環器・整形領域）の価格交渉の強化やベンチマーク情報を活用し購入額の削減を行う。

３．トピックス

新型コロナウイルスの影響により個人用防護具をはじめとする医療材料の不足、価格の高騰が生じたが、都度製品の見直しを行い価格高騰への対応、在庫の確保に努めた。

●広報患者相談課（2020年度）

○スタッフ数　13名

○2020年度の方針と評価

〈部署方針〉

①患者等誤認防止：郵便物の宛先、振り込み等の入金処理の確認の徹底（目標値：誤認件数0件）

②働き方改革への対応：業務の効率化を図り、残業時間の縮減、年次有給休暇取得5日以上に繋げる（目標値：全スタッフ5回以上の休暇取得）

③資格の取得：業務に関係する資格取得を目指す（目標値：3名以上）

④未収金の抑制：早期介入による未収金発生の防止。臨戸訪問、法的手段（支払督促）などによる回収（目標値：未収金残高対入院外来収益比率0.47%以下）

〈評価〉

①郵便物の宛先や振込入金処理等の誤認は年間を通じて発生していない。

②担当業務の適正化・共有化をすすめるとともに、当課が事務局を務める委員会の開催方法の見直し（事前資料配布による会議時間の短縮化など）や、外部環境の変化を踏まえた印刷物発行体制の調整（時期・内容）などを行い、業務の効率化・残業縮減を図り、公休取得についても目標値を達成した。

③資格取得は2名が合格した。新型コロナウイルス流行地域への出張自粛のため、対面方式のセミナー受講は来年度以降に延期した。

④直近の未収金を早期に督促すること等により、窓口未収金残高対入院外来収益比率は0.38%で目標を達成した。

医療安全管理推進室

●医療安全管理推進室（2020年度）

□部門目標

2020年度の当室の基本方針は、「1．患者誤認件数の減少」「2．病理レポート既読管理システムの構築」「3．チームSTEPPSの推進」他とした。

□目標を達成するための具体的な活動

1．患者誤認件数の減少‥①職員へ指差し呼称の推奨、②患者確認マニュアルの周知、③現場ラウンドによる実施確認

2．病理レポート既読管理システムの構築‥①病理レポートの既読状況の把握・分析、②既読確認方法の決定、③病理レポートの管理状況を院内で報告

3．チームSTEPPSの推進‥①全職員対象研修会開催（1回/月）、②看護局以外のミニ講座の受講者増加、③多職種チームへの介入、④「医療における安全文化に関する調査」を実施

□活動実績

1．患者誤認件数の減少‥「患者誤認件数：10%減」の目標は概ね達成できたが、書類や電子カルテに関わる患者誤認の報告が増加している。引き続き、マニュアルの周知、指差し呼称での確認の徹底を継続する。

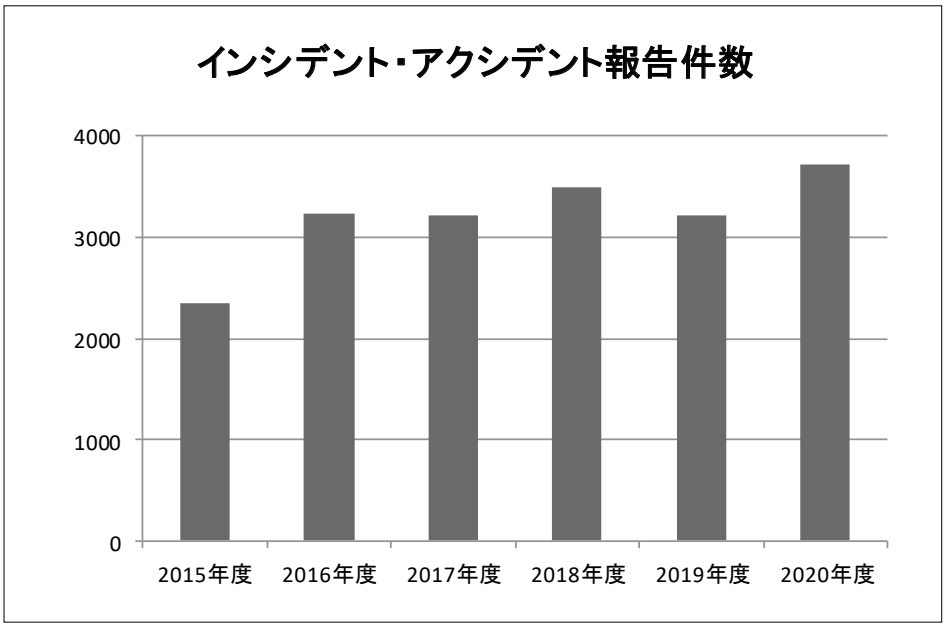
2．病理レポート既読管理システムの構築‥2020年9月より病理レポートの既読管理が開始となった。設定された期間（2週と4週）、未読のまま経過したレポート（改版含む）について医療安全室よりオーダー医へお知らせしている。

3．チームSTEPPSの推進‥チームSTEPPS研修会を1回/月開催し、2021年1月に対象とする職員の受講が終了し（2020年度受講者数570名）、全職員の受講が完了した（休職等の一部の職員を除く）。

そして、昨年より継続中の多職種チームへの介入として、BeeActコアメンバーが透析センターへの支援活動として、「チームSTEPPSスキルの学習」「ギャップ分析（As is（現状）/To be（あるべき姿）」等のワークショップを3回実施した。

その他、12月に当院で2回目となる「医療における安全文化に関する調査」を行い、総合評価は前回と比較し偏差値が大幅に上昇し、職員の医療安全に対する意識やチームワークが高まってきていることを確認することができた。

次年度も引き続き、医療安全の推進に向けて努力していきたい。



■医療安全研修会 <2020 年度 >

［院内］

開催日	対象者	研修名	研修内容	参加者数
< 主催 ; 教育委員会、医療安全・事故防止対策会議、他 >				
4 月 1 日（水 ）	新採用職員	新採用者オリエンテーション（資料配付のみ）	「医療安全管理」 講師：医療安全管理推進室長　糸林　詠	116 名
5 月 25 日（月）～開始	全職員	2020 年度 第 1 回医療安全研修会（ｅ - ラーニング SafetyPlus による動画研修）	「当院の医療安全の現状と今後の取り組み」 講師：医療安全管理推進室 医療安全管理者　白土 てる子	2,121 名
6 月 17 日（水）	医師、看護師、他	第 28 回　チーム STEPPS 研修会	第 28 回 チーム STEPPS 研修会 講師：チーム STEPPS 推進プロジェクトチーム 循環器内科部長　櫛田 俊一	42 名
6 月 26 日（金）	セーフティマネージャー、SM ワーキングメンバー、他	2020 年度 第 1 回セーフティマネージャー全体会議	2020 年度セーフティマネージャーワーキング活動等について	116 名
7 月 6 日（月）	医師、看護師、他	第 29 回　チーム STEPPS 研修会	第 29 回 チーム STEPPS 研修会 講師：チーム STEPPS 推進プロジェクトチーム 医療安全管理者　大島　誠	43 名
7 月 17 日（金）	医師、看護師、他	第 30 回　チーム STEPPS 研修会	第 30 回 チーム STEPPS 研修会 講師：チーム STEPPS 推進プロジェクトチーム 医療安全管理者 大島　誠	45 名
7 月 22 日（水）	全職員、近隣施設医療従事者	2020 年度リスクマネジメント講演会	「医療紛争の現状と医療訴訟を回避するための診療記録について」 講師：蒔田法律事務所　弁護士　蒔田 覚 先生 主催：医療安全・事故防止対策会議、教育委員会	104 名（院内） 24 名（院外） （合計 128 名）
8 月 6 日（木）	医師、看護師	皮下埋め込み型 CV ポート研修会	「～基礎知識からトラブルシューティングまで～」 講師：株式会社　メディコン　村上　貴範 氏	30 名
8 月 11 日（火）	医師、看護師、他	第 31 回　チーム STEPPS 研修会	第 31 回 チーム STEPPS 研修会 講師：チーム STEPPS 推進プロジェクトチーム 臨床工学技士　佐藤 昭生	41 名
8 月 19 日（水）	医師、看護師、他	第 32・33 回 チーム STEPPS 研修会（＊ 1 日 2 回開催）	「第 32 回 チーム STEPPS 研修会」（時間内） 講師：チーム STEPPS 推進プロジェクトチーム 医療安全管理者　白土 てる子 「第 33 回 チーム STEPPS 研修会」（時間外） 講師：チーム STEPPS 推進プロジェクトチーム 循環器内科部長　櫛田 俊一	50 名（時間内） 41 名（時間外）
8 月 20 日（木）	全職員	2020 年度リスクマネジメント講演会 DVD 上映会①	「医療紛争の現状と医療訴訟を回避するための診療記録について」 講師：蒔田法律事務所　弁護士　蒔田 覚 先生 主催：医療安全・事故防止対策会議、教育委員会	62 名
9 月 2 日（水）	全職員	2020 年度リスクマネジメント講演会 DVD 上映会②	「医療紛争の現状と医療訴訟を回避するための診療記録について」 講師：蒔田法律事務所　弁護士　蒔田 覚 先生 主催：医療安全・事故防止対策会議、教育委員会	60 名
9 月 7 日（月）	医師、看護師、他	第 34 回　チーム STEPPS 研修会	第 34 回 チーム STEPPS 研修会 講師：チーム STEPPS 推進プロジェクトチーム 理学療法士　岡野 寛	38 名
9 月 17 日（木）	医師、看護師、他	第 35 回　チーム STEPPS 研修会	第 35 回 チーム STEPPS 研修会 講師：チーム STEPPS 推進プロジェクトチーム 薬剤師　向後 徹生	37 名

10 月 5 日（月）	全職員	2020 年度リスクマネジメント講演会 DVD 上映会③	「医療紛争の現状と医療訴訟を回避するための診療記録について」 講師：蒔田法律事務所　弁護士　蒔田 覚 先生 主催：医療安全・事故防止対策会議、教育委員会	32 名
10月14日（水）	医師、看護師、他	第 36 回 チーム STEPPS 研修会	第 36 回 チーム STEPPS 研修会 講師：チーム STEPPS 推進プロジェクトチーム 理学療法士 岩瀬　浩一	38 名
10月16日（金）	セーフティマネージャー、SM ワーキンググメンバー、他	2020 年度 第 2 回 セーフティマネージャー全体会議	1. 医療安全管理推進室からの報告 2. セーフティマネージャーワーキング活動報告（中間報告）	102 名
10月21日（水）	医師、看護師、他	第 37 回 チーム STEPPS 研修会	第 37 回 チーム STEPPS 研修会 講師：チーム STEPPS 推進プロジェクトチーム 循環器内科部長　櫛田 俊一	38 名
11 月 4 日（水）	医師、看護師、他	第 38 回 チーム STEPPS 研修会	第 38 回 チーム STEPPS 研修会 講師：チーム STEPPS 推進プロジェクトチーム TQM センター　菱木　睦実	30 名
11 月 5 日（木）	医療技術職、他	2020 年度 医薬品・医療機器安全研修会	「1. インシデント報告の事例から気をつけたいこと」 講師：薬剤局　薬剤師　佐々木 芳枝、礒部　優子 「2.　安全な放射線検査のために」 講師：診療放射線技師長　宮﨑 孝、 放射線科看護師 髙木 恵 （代理：診療放射線技師 渡邉 聡）	98 名
11月15日（日）	FAST 関連職員、他	FAST 講演会	「CAP ワークショップ」子どもの暴力防止プログラム（おとな向け）暴力の定義や子どもへの人権・暴力への対応を教育するための 基礎を学ぶ 講師：CAP なのはな	21 名
11月24日（火）	医師、看護師、他	第 39 回 チーム STEPPS 研修会	第 39 回 チーム STEPPS 研修会 講師：チーム STEPPS 推進プロジェクトチーム 医療安全管理者　大島　誠	30 名
12 月 8 日（火）	医師、看護師、他	第 40 回 チーム STEPPS 研修会	第 40 回 チーム STEPPS 研修会 講師：チーム STEPPS 推進プロジェクトチーム 看護師　高木 知美	30 名
12月17日（木）	医師、看護師、他	第 41 回 チーム STEPPS 研修会	第 41 回 チーム STEPPS 研修会 講師：チーム STEPPS 推進プロジェクトチーム 理学療法士　岩瀬　浩一	40 名
1 月 13 日（水）	医師、看護師、他	第 42 回 チーム STEPPS 研修会	第 42 回 チーム STEPPS 研修会 講師：チーム STEPPS 推進プロジェクトチーム 臨床工学技士　佐藤　昭生	27 名
2 月 18 日（木）～開始	全職員	第 21 回リスクマネージメント大会・2020 年度 第 3 回 セーフティマネージャー全体会議 （e-ラーニング SafetyPlus による動画研修）	1. 基調報告 医療安全管理推進室長 ジェネラルセーフティマネージャー　糸林 詠 2. 医療安全活動優秀表彰 3. セーフティマネージャーワーキング活動報告（最終報告） 主催：医療安全・事故防止対策会議、 医療安全推進委員会、教育委員会	2,038 名
< 主催 ; 診療局 >				
4 月 6 日（月）	新研修医	令和 2 年度 新研修医オリエンテーション	「医療安全について」 講師：医療安全管理推進室 医療安全管理者　白土 てる子 「Safe Master インシデント管理システム操作説明」 講師：医療安全管理推進室 診療情報管理士　梅原 馨	32 名

8 月 13 日（木） 8 月 14 日（金）	研修医	研修医対象 中心静脈穿刺研修会	「1. 中心静脈穿刺講義」 講師：外科　西村 隆則 「2. エコーを使用しての穿刺手技」 指導医；救急救命科、外科、循環器内科医師含む 10 名	合計 27 名 （2 日間）
＜主催 ; 看護局 ＞				
4 月 8 日（水） 4 月 10 日（金）	新人看護師	新人看護師安全研修会	「安全管理　基礎講習」 講師：医療安全管理推進室 医療安全管理者　白土てる子、他	合計 98 名 （2 日間）
7 月 11 日（土）	看護師	ＣＶポート 技能認定研修会（第Ⅲ期）	「ＣＶポートの管理」穿刺・固定・管理・抜針 講師：がん化学療法看護認定看護師 金芳 佳子	28 名
10月30日（金） 11 月 2 日（月）	新人看護師	新人看護師安全研修会	安全 / 倫理 「身体拘束時の注意」「倫理的配慮」 講師：精神看護認定看護師　鈴木 恵	87 名
＜主催 ; 薬剤局 ＞				
6 月 25 日（木）	薬剤師、他	薬剤局安全研修会	「e- ラーニング セーフティプラス視聴研修会」 指導者：薬剤局安全部会	22 名
7 月 21 日（火）	薬剤師	薬剤局安全研修会 大塚製薬 WEB 講演会	「良質な地域医療に向けて～院内フォーミュラリーの果たす役割～」 講師：NTT 東日本関東病院 薬剤部　DI 室長　市橋 孟 先生 主催：大塚製薬株式会社	14 名
8 月 20 日（木）	薬剤師、他	薬剤局安全研修会	「e- ラーニング セーフティプラス視聴研修会」 指導者：薬剤局安全部会	20 名
9 月 1 日（火）	薬剤師	薬剤局安全研修会 （改正薬機法に向けた薬剤師のための Web セミナー）	「薬剤師が腎機能の臨床検査値を使うと何ができる？」 演者：千葉大学医学部附属病院 薬剤部　山口 洪樹 先生 共催：千葉大学医学部附属病院　薬剤部／ 大日本住友製薬株式会社	9 名
9 月 24 日（木）	薬剤師、他	薬剤局安全研修会	チーム STEPPS ミニ講座「コミュニケーション」 指導者：チーム STEPPS 推進プロジェクトチーム 薬剤師　向後 徹生	17 名
10月15日（木）	薬剤師	薬剤局安全研修会 （Web 講演会）	「フォーミュラリーによる治療の標準化」 「1. フォーミュラリーの今後の発展性を考える」 演者：昭和大学　統括薬剤部長　佐々木 忠徳先生 「2. 小児の酸関連疾患の診断と治療」 演者：信州大学医学部 小児医学教室　准教授 中山 佳子先生 主催：第一三共株式会社・アストラゼネカ株式会社	7 名
10月15日（木）	薬剤師、他	薬剤局安全研修会	チーム STEPPS　ミニ講座「リーダーシップ」 指導者：チーム STEPPS 推進プロジェクトチーム 薬剤師 向後 徹生	17 名
10月19日（月）	薬剤師	薬剤局安全研修会 （Web 講演会）	「外来がん化学療法の質向上に向けた当院の取り組み ～地域の薬局と連携して安全ながん化学療法に貢献する～」 演者：東邦大学医療センター大森病院 薬剤部室長 有田　仁紀先生	5 名
12 月 3 日（木）	薬剤師	薬剤局安全研修会 （Web 講演会）	「当院で策定しているフォーミュラリーについて」 講師：鳥取大学医学部附属病院 薬剤部　森本 邦明先生	9 名
＜主催 ; 診療技術局 ＞				
9 月 11 日（金） 9 月 14 日（月）	診療技術局職員	診療技術局安全研修会	「基本動作の介助方法」 講師：リハビリテーション科 理学療法士 井藤 李奈 、他	合計 20 名 （2 日間）

1 月 28 日（木）	診療技術局職員	診療技術局安全研修会	災害時の役割～メディカルスタッフの対応～ 「1. 災害拠点病院について～災害時の診療技術局の位置づけ～」 講師 : 臨床工学技士　佐藤　和樹（千葉 DMAT） 「2. 災害について」 講師：救命救急センター 看護師　髙木 涼子（日本 DMAT）	67 名
［院外］				
開催日	対象者	研修名	研修内容	参加者数
12 月 4 日（金） 12 月 5 日（土）	医療安全管理者（看護師）	2020 年度　医療安全管理者養成講習会第 3 クール（Ｗｅｂ開催）	「医療の質管理」「地域連携の取り組み」 「防止の考え方と方法に関するトピックス」、他 主催：一般社団法人 日本病院会	1 名
12月19日（土）	薬剤師、他	2020 年度第 1 回薬剤安全セミナー（Ｗｅｂ開催）	「常備薬の適切な管理　～インスリン製剤と注射用カリウム製剤～」 主催：公益財団法人 日本医療機能評価機構 認定病院患者安全推進協議会	4 名
12月25日（金） 12月26日（土）	医療安全管理者（看護師）	2020 年度　医療安全管理者養成講習会第 2 クール（Ｗｅｂ開催）	「チーム医療とは何かーエビデンスに基づいたチーム医療（チーム STEPPS）」 「事例分析の実習（Ｉｍ SAFER）」「院内研修と安全文化の醸成」、他 主催：一般社団法人 日本病院会	1 名
2 月 6 日（土）	医療安全管理者（看護師）	令和 2 年度医療安全担当者 中央交流会（Ｗｅｂ開催）	千葉県東部地区地域連携医療安全担当者会議 実践報告「千葉県内医療安全ネットワークの活動紹介 ～立ち上げから活動方法・内容について～」、他 発表者 : 総合病院国保旭中央病院 医療安全管理者 白土 てる子 主催：公益社団法人　千葉県看護協会	1 名

TQM センター

●TQMセンター（2020年度）

2020年度の方針・概要

TQMセンター運営の基本理念は、2010年開設以来一貫して「医療の質を高める組織作り」と「内部コミュニケーションの充実」である。これに基づき、(1)医療の質指標（quality indicator, QI）の分析、(2)QC活動、(3)院内横断活動部門の支援、(4)病院評価への参画の4つを活動の柱としている。

2020年度は、3項目について以下の点を目標・方針とした。

(1)QI分析；有効なQIの選択・算出・追跡、関心の高いQI提供による院内周知

(2)QC活動；QC活動の充実と展開、院内へのQC情報発信

(3)病院評価；患者満足度調査と外来待ち時間調査の実施、分析、改善状況と効果の確認

2020年度の活動

(1) QI分析（図1-1～1-4；2020年度日本病院会QIプロジェクトから抜粋）

他施設との比較

a．日本病院会QIプロジェクト

b．京都大学QIP

c．がん登録QI研究

d．全国自治体病院協議会　医療の質の評価・公表等推進事業

(2) QC活動

2020年度のQC活動は、5サークルの参加があった(表1)。5月のキックオフミーティングから2月の発表大会まで、アドバイザーの協力のもとサークル活動を継続した。2021年2月22日の発表大会は、新型コロナ感染予防のため昨年度と同様に無観客で口演サークルを対象に動画撮影し、動画・抄録による採点とした(図2)。最優秀賞「勤務面子の刃～午前集中 土日の至急～」(薬剤局)が受賞した(表2)。

(3) 横断活動支援

A．横断活動ジャーナル

2011年度から院内横断活動の紹介として、11グループ(院内感染対策委員会、褥瘡対策委員会、NST委員会、クリニカルパス委員会、緩和ケアチーム、家族支援チーム、薬剤局、リハビリテーション科、糖尿病サポートチーム、病院まつり実行委員会、排尿ケアチーム)の活動を横断活動ジャーナルにて発行している。2020年度は、6回発行した。

B．まめ知識講座

2015年2月から、患者さんの健康維持・病気の予防と対応に関する知識の普及、院内滞在時間の有効活用を目的として「まめ知識講座」を開催しているが、2020年度は新型コロナ感染拡大防止のため休講とした。

(4) 病院評価

A．患者満足度調査

例年6月に実施している患者満足度調査(入院(表4))を、2020年度は新型コロナ感染拡大防止のため入院調査のみ10月に実施した。

各カテゴリーの平均は、昨年度より概ね上がったが、「この病院について総合的な評価」の設問については、昨年度に引き続き低下した。

B．外来患者待ち時間調査

外来患者待ち時間調査(表5)では、予約外診察待ち時間平均65分、予約診察待ち時間平均30.9分で、予約患者の「診察前待ち時間」は、昨年度と比較すると約10分減少した。「診察後の待ち時間」「院内処方」に関する待ち時間は若干増加した。

2020年度も調査結果を各部署にフィードバックし、課題となった項目の対策・実施計画を検討していただき、検討結果をあわせて患者満足度調査冊子を発行した。

C．ISO外部審査

2020年12月9日(水)～11日(金)の3日間において、ISO更新審査を受審した。今回の審査では、全27審査枠において45の部署および委員会が対象となった。審査の結果は、「高く評価できる事項‥39項目」「観察事項‥24項目」「軽微な不適合ならびに重大な不適合‥0項目」となった。不適合がなかった事から、是正処置を行なうことなく認証期間の更新が承認された。

図１－１　救急車・ホットラインの応需率

分子：救急車で来院した患者数
分母：救急車受け入れ要請件数

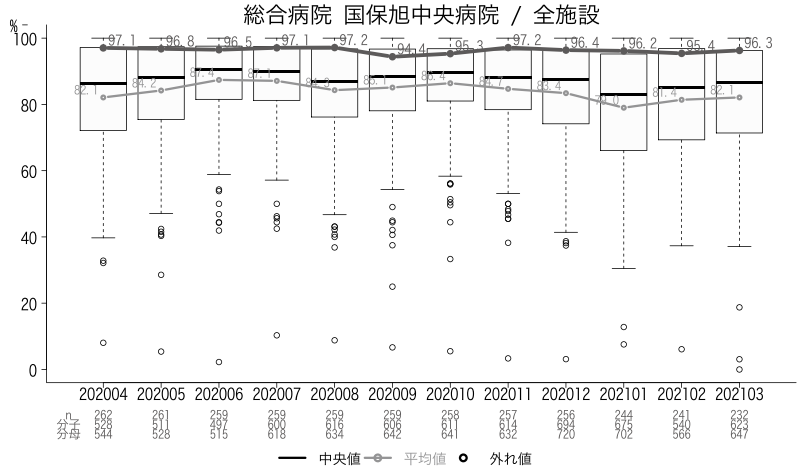


図１－２　死亡退院患者率

分子：死亡退院患者数
分母：退院患者数

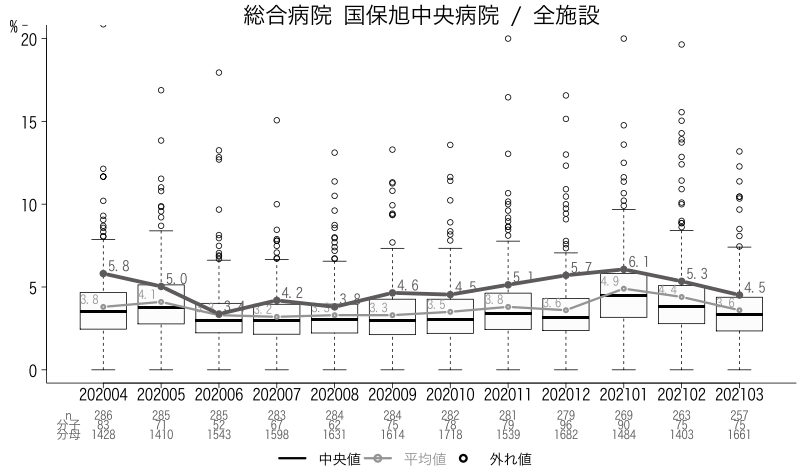
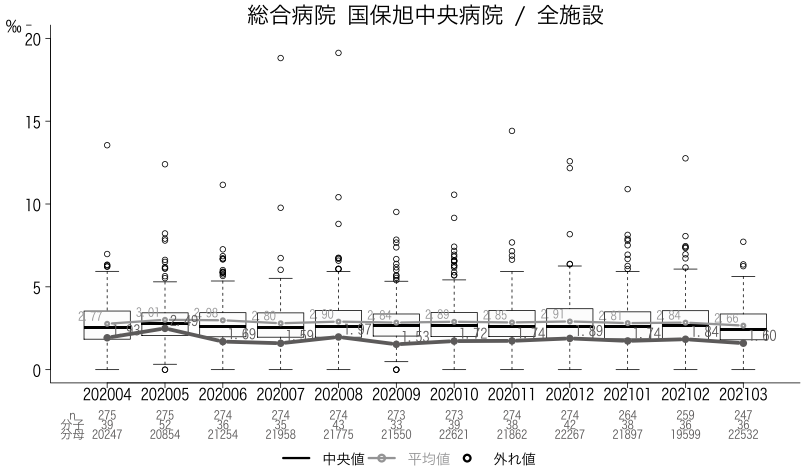
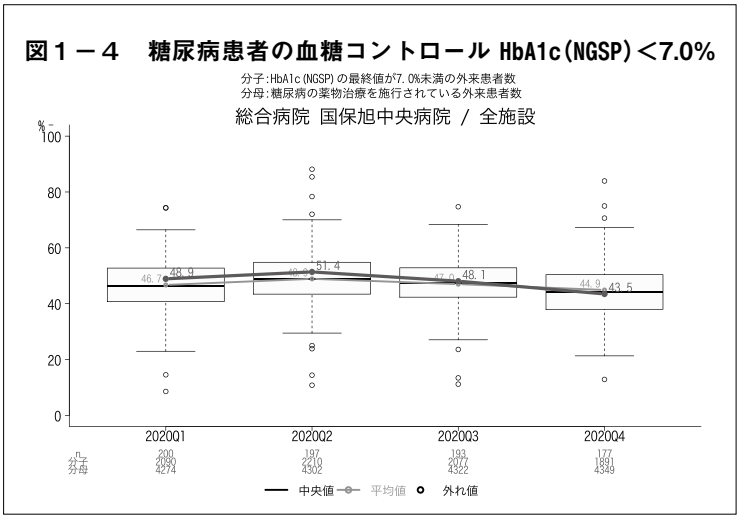


図１－３　入院患者の転倒・転落発生率

分子：医療安全管理室へインシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数
分母：入院延べ患者数





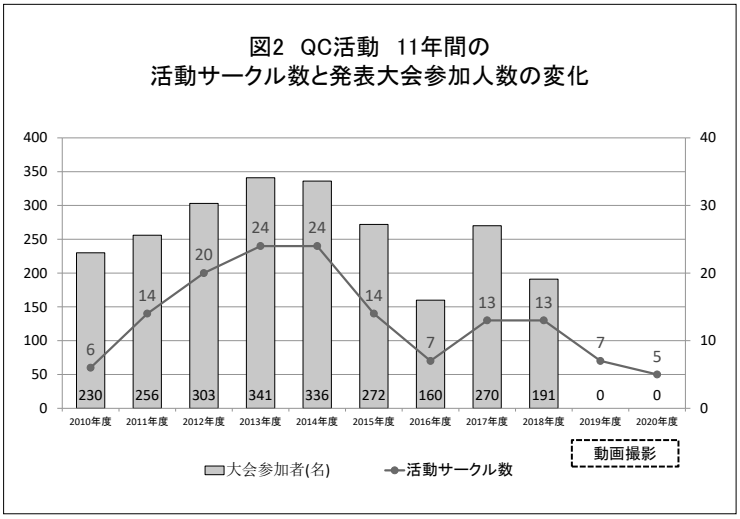


表1. 2020年度QC活動参加サークル一覧

No.	参加部署	サークル名	テーマ
1	薬剤局	勤務面子の刃 ～午前集中 土日の至急～	土日祝日における勤務回数の縮減
2	7西病棟	STOP再発行～物品請求シールを捨てないで～	7西病棟における、物品請求シールの紛失による再発行数の減少
3	7東・3病棟合同	オルト・ハート	認知機能障害を持つ患者の身体拘束の低減
4	中央検査科	ハリネズミvol.3	もっと採り直し検体を減らすには
5	TQMセンター	“QCの種”見つけてもらい隊	院内におけるQC活動の啓発

表2. 2020年度QC活動発表大会（ビデオ審査） 表彰サークル

授賞	最優秀賞
参加部署	薬剤局
サークル名	勤務面子の刃～午前集中 土日の至急～
テーマ	土日祝日における勤務回数の縮減

表４　2020年10月実施　入院患者満足度調査点数グラフ　全病棟

◆医師について◆	時期	回答数	回答率	−5.0 0 5.0 10.0	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
1 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	784	99%	8.10	0.02	7.51(7.34)
	昨年度	767	99.4%	8.08		
2 入院中の診察、治療方針、経過、検査、手術などの説明	今年度	786	99.3%	7.49	0.04	
	昨年度	765	99.1%	7.45		
3 担当医に対する信頼感	今年度	785	99.2%	7.93	0.23	
	昨年度	763	98.9%	7.70		
4 悩みや相談に対する適切な応対	今年度	774	97.8%	7.33	0.24	
	昨年度	753	97.6%	7.09		
5 看護師・事務職員などへの連絡	今年度	779	98.4%	7.32	-0.07	
	昨年度	756	98%	7.39		
6 プライバシーへの配慮	今年度	777	98.2%	7.71	0.08	
	昨年度	748	96.9%	7.63		
7 退院後の注意事項などに関する説明	今年度	771	97.5%	7.30	0.22	
	昨年度	735	95.3%	7.08		
8 地域の医療機関への紹介に関する説明	今年度	747	94.5%	6.86	0.57	
	昨年度	687	89.2%	6.29		

◆看護職員について◆	時期	回答数	回答率	−5.0 0 5.0 10.0	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
1 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	787	99.4%	8.09	0.10	7.37(7.23)
	昨年度	767	99.4%	7.99		
2 相談しやすい雰囲気	今年度	786	99.3%	7.67	0.11	
	昨年度	762	98.9%	7.56		
3 ナースコールを押してから訪室までの時間	今年度	773	97.7%	6.97	0.10	
	昨年度	747	96.8%	6.87		
4 患者さんが頼んだことに対しての確実な対応	今年度	778	98.3%	7.38	0.02	
	昨年度	754	97.8%	7.36		
5 入院中のスケジュール、検査、手術などの説明	今年度	783	98.9%	7.46	0.13	
	昨年度	762	98.8%	7.33		
6 悩みや相談に対する適切な応対	今年度	773	97.7%	7.22	0.29	
	昨年度	747	96.8%	6.93		
7 看護職員同士の連絡	今年度	769	97.1%	6.69	0.38	
	昨年度	746	96.7%	6.31		
8 医師・事務職員などへの連絡	今年度	771	97.4%	7.06	0.21	
	昨年度	740	95.9%	6.85		
9 プライバシーへの配慮	今年度	774	97.8%	7.55	0.12	
	昨年度	742	96.2%	7.43		
10 退院手続きの説明	今年度	769	97.1%	7.45	0.08	
	昨年度	737	95.5%	7.37		
11 退院後の注意事項などに関する説明	今年度	765	96.6%	7.29	0.12	
	昨年度	730	94.6%	7.17		
12 看護に対しての全体的な満足度	今年度	782	98.9%	7.57	-0.02	
	昨年度	761	98.6%	7.59		

◆その他職員について◆

1【放射線職員（レントゲン・CT・MRI・アイソトープ・PETなど）】	時期	回答数	回答率	−5.0 0 5.0 10.0	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	712	89.9%	7.29	-0.18	7.28(7.32)
	昨年度	662	85.8%	7.47		
b 対応や説明	今年度	696	87.9%	7.14	0.00	
	昨年度	655	84.9%	7.14		
c プライバシーへの配慮	今年度	691	87.3%	7.40	0.05	
	昨年度	641	83.1%	7.35		

2【検査室職員（心電図・超音波・内視鏡検査など）】	時期	回答数	回答率	−5.0 0 5.0 10.0	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	684	86.4%	7.41	-0.13	7.39(7.38)
	昨年度	647	83.9%	7.54		
b 対応や説明	今年度	671	84.8%	7.31	0.03	
	昨年度	638	82.7%	7.28		
c プライバシーへの配慮	今年度	668	84.4%	7.44	0.13	
	昨年度	629	81.5%	7.31		

2020年10月実施　入院患者満足度調査点数グラフ　全病棟

3【リハビリテーション職員（理学・作業療法など）】	時期	回答数	回答率	−5.0 0 5.0 10.0	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	550	69.6%	7.81	0.28	7.39(7.17)
	昨年度	531	68.8%	7.53		
b 対応や説明	今年度	543	68.6%	7.70	0.15	
	昨年度	524	67.9%	7.55		
c プライバシーへの配慮	今年度	540	68.2%	7.59	0.28	
	昨年度	513	66.5%	7.31		
d リハビリの量(回数・時間など)	今年度	543	68.6%	6.86	0.25	
	昨年度	516	66.9%	6.61		
e リハビリの質(内容)	今年度	541	68.4%	6.99	0.13	
	昨年度	514	66.6%	6.86		

4【医療連携福祉相談室職員】	時期	回答数	回答率	−5.0 0 5.0 10.0	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	532	67.2%	7.25	0.04	7.29(7.1)
	昨年度	511	66.2%	7.21		
b 対応や説明	今年度	523	66.1%	7.26	0.23	
	昨年度	505	65.5%	7.03		
c プライバシーへの配慮	今年度	521	65.8%	7.35	0.28	
	昨年度	504	65.3%	7.07		

5【栄養士】	時期	回答数	回答率	−5.0 0 5.0 10.0	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	539	68.2%	7.14	0.13	7.11(6.91)
	昨年度	497	64.4%	7.01		
b 対応や説明	今年度	526	66.5%	7.00	0.19	
	昨年度	493	63.9%	6.81		
c プライバシーへの配慮	今年度	524	66.2%	7.20	0.30	
	昨年度	491	63.7%	6.90		

6【薬剤師】	時期	回答数	回答率	−5.0 0 5.0 10.0	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	652	82.4%	7.90	-0.01	7.77(7.78)
	昨年度	619	80.2%	7.91		
b 対応や説明	今年度	641	81%	7.71	-0.03	
	昨年度	611	79.2%	7.74		
c プライバシーへの配慮	今年度	632	79.8%	7.70	0.02	
	昨年度	595	77.1%	7.68		

7【電話交換職員（病院への電話に最初に対応する）】	時期	回答数	回答率	−5.0 0 5.0 10.0	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
a 言葉づかい、応対	今年度	572	72.3%	6.81	0.25	7.01(6.6)
	昨年度	534	69.3%	6.56		
b プライバシーへの配慮	今年度	551	69.7%	7.20	0.57	
	昨年度	523	67.9%	6.63		

8【病棟清掃担当者】	時期	回答数	回答率	−5.0 0 5.0 10.0	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	710	89.8%	7.46	0.03	7.43(7.32)
	昨年度	657	85.2%	7.43		
b プライバシーへの配慮	今年度	688	87%	7.39	0.18	
	昨年度	636	82.4%	7.21		

9【シーツ交換担当者】	時期	回答数	回答率	−5.0 0 5.0 10.0	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	670	84.6%	7.64	0.34	7.64(7.18)
	昨年度	625	81%	7.30		
bプライバシーへの配慮	今年度	650	82.4%	7.63	0.57	
	昨年度	608	78.8%	7.06		

◆病院食について◆	時期	回答数	回答率	−5.0 0 5.0 10.0	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
提供時間	今年度	743	93.9%	6.54	-0.12	5.62(5.66)
	昨年度	692	89.7%	6.66		
温度	今年度	741	93.6%	6.28	0.00	
	昨年度	690	89.4%	6.28		
食事内容	今年度	739	93.7%	4.03	-0.02	
	昨年度	692	89.7%	4.05		

2020年10月実施　入院患者満足度調査点数グラフ　全病棟

◆施設設備について◆

	時期	回答数	回答率	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
1 院内の案内表示	今年度	693	87.7%	-0.07	6.35(6.33)
	昨年度	647	83.9%	6.32	
2 院内の飲食スペース・施設　a 本館1階売店	今年度	676	85.6%	-0.08	
	昨年度	641	83.1%	5.89	
b 本館12階売店	今年度	644	81.4%	0.23	
	昨年度	616	79.8%	5.51	
c 本館1階コーヒーショップ	今年度	639	80.7%	-0.01	
	昨年度	612	79.3%	6.46	
d 展望ラウンジ	今年度	636	80.4%	-0.09	
	昨年度	594	77%	6.54	
3 院内放送の音量	今年度	667	84.3%	0.04	
	昨年度	618	80.3%	6.16	
4 病棟、病室の静けさ	今年度	733	92.6%	-0.01	
	昨年度	694	89.9%	6.00	
5 病棟、病室のにおい	今年度	731	92.3%	0.27	
	昨年度	691	89.6%	6.31	
6 病棟、病室の温度設定	今年度	737	93.1%	-0.02	
	昨年度	695	90.1%	5.91	
7 病棟、病室の清潔さ	今年度	734	92.7%	0.03	
	昨年度	697	90.3%	7.29	
8 トイレ、洗面所、入浴シャワー室の清潔さ	今年度	739	93.4%	-0.12	
	昨年度	700	90.7%	7.29	

◆相談・支援体制について◆

	時期	回答数	回答率	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
相談したい部署の案内表示はわかりやすいか	今年度	612	77.3%	-0.02	6.04(5.93)
	昨年度	568	73.6%	5.63	
相談された部署の対応は役立ったか	今年度	599	75.7%	0.24	
	昨年度	547	70.9%	6.23	

◆入院・手術サポートセンターについて◆

	時期	回答数	回答率	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
1 [入院のご案内]の冊子	今年度	721	91.1%	-0.03	7.53(7.52)
	昨年度	688	89.3%	7.12	
2 入院手続きの説明　a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	760	96%	0.10	
	昨年度	718	93.1%	7.54	
b 対応や説明	今年度	752	95%	0.01	
	昨年度	713	92.4%	7.43	
c プライバシーへの配慮	今年度	743	93.9%	0.23	
	昨年度	700	90.7%	7.28	
3 入院・手術について看護師の説明a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	759	95.9%	-0.04	
	昨年度	632	82%	7.86	
b 対応や説明	今年度	757	95.6%	-0.13	
	昨年度	630	81.8%	7.69	
c プライバシーへの配慮	今年度	750	94.7%	-0.01	
	昨年度	620	80.5%	7.66	
d 説明を受けたことで安心して入院する事ができた	今年度	755	95.4%	-0.06	
	昨年度	621	80.6%	7.55	

◆全体的なことについて◆

	時期	回答数	回答率	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
1 病院の公式ホームページ	今年度	629	79.5%	-0.14	6.91(6.02)
	昨年度	613	79.5%	5.14	
2 入院中に必要な情報が、充分入手できた	今年度	676	85.4%	0.06	
	昨年度	643	83.4%	5.39	
3 安心して入院生活が送れた	今年度	736	93%	0.12	
	昨年度	711	92.1%	7.35	
4 今後も当院を利用したい	今年度	741	93.6%	0.09	
	昨年度	717	92.9%	7.79	
5 当院を家族・知人に紹介したい	今年度	729	92.1%	0.11	
	昨年度	704	91.2%	6.97	
6 病院は感染対策が出来ていると思うか	今年度	736	93%	new	
	昨年度	0	%	0.00	
7 患者さん誤認防止のための本人確認	今年度	747	94.4%	0.09	
	昨年度	715	92.7%	8.12	
8 この病院についての総合的な評価	今年度	750	94.9%	-0.07	
	昨年度	718	93.2%	7.39	

表５　2020年10月　患者待ち時間調査　実績

調査実施期間　　；2020年10月　外来診療日(21日間)

調査対象延べ患者数　；40,405名（「旭中央病院診療実績」の外来患者数　54,538名）

測定内容　　；以下の7箇所の調査時刻に該当した患者数と待ち時間

1.「婦人科」は、日付のみの予約で時間指定はない。従って、全ての受診患者は「外来到着からから診察開始」までを診察待ち時間とする。

2.「指標2」に於いて、予約時刻に遅れて到着した場合は「予約時刻」からではなく「外来到着時刻」から測定する。

3.「指標2」に於いて、予約時刻より早く診察が開始された場合の待ち時間は「0分」とする。

4.各指標に於いて、最短時間と最長時間の科を次の色で示す。　最長科　**最短科**

5. 1 時間毎の推移の各指標に於いて、最長の時間帯を次の色で示す。　最長の時間帯

	診察待ち時間				会計待ち時間				くすり待ち時間		院内滞在時間			
指標№	1		2		3		4		5		6-1		6-2	
指標名	外来到着から診察開始		予約時刻から診察開始		診察終了から会計可能		会計可能から会計終了		診察終了から薬引換		外来到着から会計終了		外来到着から薬引換	
	調査対象患者数	平均(分)	調査対象患者数	平均(分)	調査対象患者数	平均(分)	調査対象患者数	平均(分)	調査対象患者数	平均(分)	調査対象患者数	平均(分)	調査対象患者数	平均(分)
	7,105	**65.0**	**19,740**	**30.9**	**34,974**	**21.9**	**37,308**	**5.7**	**1,647**	**41.1**	**37,407**	**106.3**	**1,804**	**129.0**
内科	1,207	98.1	7,903	35.4	13,505	19.8	13,296	11.1	801	44.2	13,322	125.9	854	148.3
小児科	234	68.0	627	35.4	1,347	16.3	1,566	2.2	84	36.8	1,576	90.0	106	85.8
外科	155	63.8	698	33.4	1,367	31.8	1,692	5.0	58	40.7	1,692	116.7	64	139.3
乳腺センター	64	52.2	445	15.5	544	15.9	544	2.2	44	47.3	544	68.7	44	115.0
整形外科	398	87.4	1,033	35.1	2,137	30.9	2,035	2.7	34	37.9	2,039	115.0	34	123.1
脳外科	605	48.7	106	32.6	788	25.1	760	2.6	10	44.9	761	91.4	10	108.3
泌尿器科	379	70.4	1,470	33.9	2,121	25.8	2,046	2.2	265	30.1	2,047	119.0	277	118.9
眼科	236	32.0	2,169	43.0	2,090	31.8	2,422	2.5	28	56.7	2,423	137.9	38	177.0
皮膚科	1,243	43.7	225	16.6	2,065	24.5	2,071	2.9	50	36.4	2,099	83.7	53	96.7
耳鼻科	624	40.6	922	21.2	1,586	23.7	1,545	2.7	18	45.6	1,546	82.2	19	91.1
歯口科	149	52.5	1,045	10.9	1,442	11.6	2,421	1.9	65	35.9	2,423	72.1	103	101.7
産科	20	54.1	600	34.8	638	19.8	699	2.5			709	79.1		
婦人科	1,644	72.8			1,811	17.9	1,989	2.4	10	37.6	1,995	97.1	10	136.9
神経科	41	54.9	1,289	17.3	2,086	20.8	2,111	2.6	166	46.2	2,115	71.4	178	99.3
麻酔科			305	15.5	296	18.5	286	4.2	4	37.8	286	77.1	4	67.5
心臓外科			136	26.2	197	9.4	218	6.6	7	42.3	219	104.3	7	177.9
形成外科	106	50.9	767	11.8	924	15.9	934	4.5	3	24.7	938	68.5	3	89.7
リハビリ					30	23.5	673	2.2			673	80.2		

1時間毎の推移	調査対象患者数	待ち時間(分)	調査対象患者数	待ち時間(分)	調査対象患者数	待ち時間(分)	調査対象患者数	待ち時間(分)	調査対象患者数	待ち時間(分)	調査対象患者数	待ち時間(分)	調査対象患者数	待ち時間(分)
8時以前	628	72.5											136	139.3
8時台	1,919	67.1	2,034	24.9	2,487	21.9	1,589	2.9	69	32.1	12,074	114.8	412	136.8
9時台	1,728	66.1	4,746	29.3	6,849	25.2	6,111	3.7	318	44.9	8,609	113.9	385	132.1
10時台	1,519	67.0	4,165	34.7	6,932	24.8	7,025	4.3	304	50.0	6,559	110.9	273	132.8
11時台	588	42.2	2,806	36.0	6,177	24.6	6,598	6.6	259	41.0	2,671	106.4	192	129.2
12時台			699	36.2	3,807	23.1	4,776	7.8	196	43.2	1,830	102.6	134	121.9
13時台			1,640	29.2	2,721	17.4	3,396	8.0	160	36.9	2,580	88.7	126	118.2
14時台			2,008	27.6	2,643	14.8	3,153	7.0	142	33.7	1,785	85.6	83	108.0
15時台			1,210	27.9	1,871	13.2	2,399	6.5	105	33.5	964	70.0	44	85.9
16時台			430	29.4	1,092	10.6	1,564	5.8	75	28.7	328	57.3	19	85.1
17時以降			2	23.5	395	7.3	697	4.0	19	31.7	7	34.4		

内部監査室

●内部監査室（2020年度）

１．内部監査室の開設

地方独立行政法人法の改正により、業務の適性を確保する為の体制を整備することが求められることとなり、2020年8月の理事会で組織改正の承認を経て10月1日付で内部監査室を開設した。なお、職員は既存のTQMセンター職員(6名)が兼務することとした。

２．当年度の取組（2020年10月～2021年3月）

初年度の取組としては、内部監査の年度実施計画を策定し、2021年1月に院内2部署および付属4施設（下表参照）を対象に内部監査を実施。改善を要する事項2件、推奨事項9件等を確認し、各々改善要求を通知。年度末に改善の進捗状況を確認した。

また、事務局総務人事課および施設課に対して2020年10月に実施された監事特別監査に立会い、監査、指摘内容を相互に確認した。

このほか、会計監査人による年度末の現金実差および年度末棚卸の確認に立会い、双方とも問題なく運営されていることを確認した。

2020年度　内部監査実施部署

院内	薬剤局
	事務局医事課
付属施設	養護老人ホーム東総園
	特別養護老人ホーム東総園
	介護老人保健施設シルバーケアセンター
	ケアハウス東総園

以上

地域医療支援センター

●地域医療支援センター（2020年度）

千葉県策定の「香取海匝保健医療圏地域医療再生計画」を背景に、医療提供体制の強化や地域医療の質の向上を図ることを目的に、２０１２年３月より支援業務を展開しています。

現在、地域医療支援センターは「教育ユニット」「臨床研究支援ユニット」の２つの機能を担っています。教育ユニットである「スキルセンター」では、トレーニング室や模擬病室などの施設、および医療用シミュレータや検査・診断用機器等を活用し、院内スタッフ及び地域の医療従事者への教育訓練支援を継続しています。なお、利用状況等について、院内向けに月１回地域医療支援センターだよりを発行しています。

また、臨床研究支援ユニットである「臨床研究支援センター」では、倫理審査委員会事務局支援（院内臨床倫理問題や臨床研究に関する審議支援）、多職種から構成される院内ＣＲＣやデータマネージャーによる臨床研究実施支援、並びに治験施設支援機関（SMO）による治験業務支援を継続しています。

〔トピックス〕

＜スキルセンター＞

・新型コロナウイルス感染症の拡大防止や２度の緊急事態宣言（2020 年４月７日～５月 25 日、2021 年１月８日～３月 21 日）により、院外 (地域) から多くの医療従事者等が参加する研修･イベントは中止となり、院外からの利用者数は延べ７６名で、前年度に比べて９６．１％減少した。

＜臨床研究支援センター＞

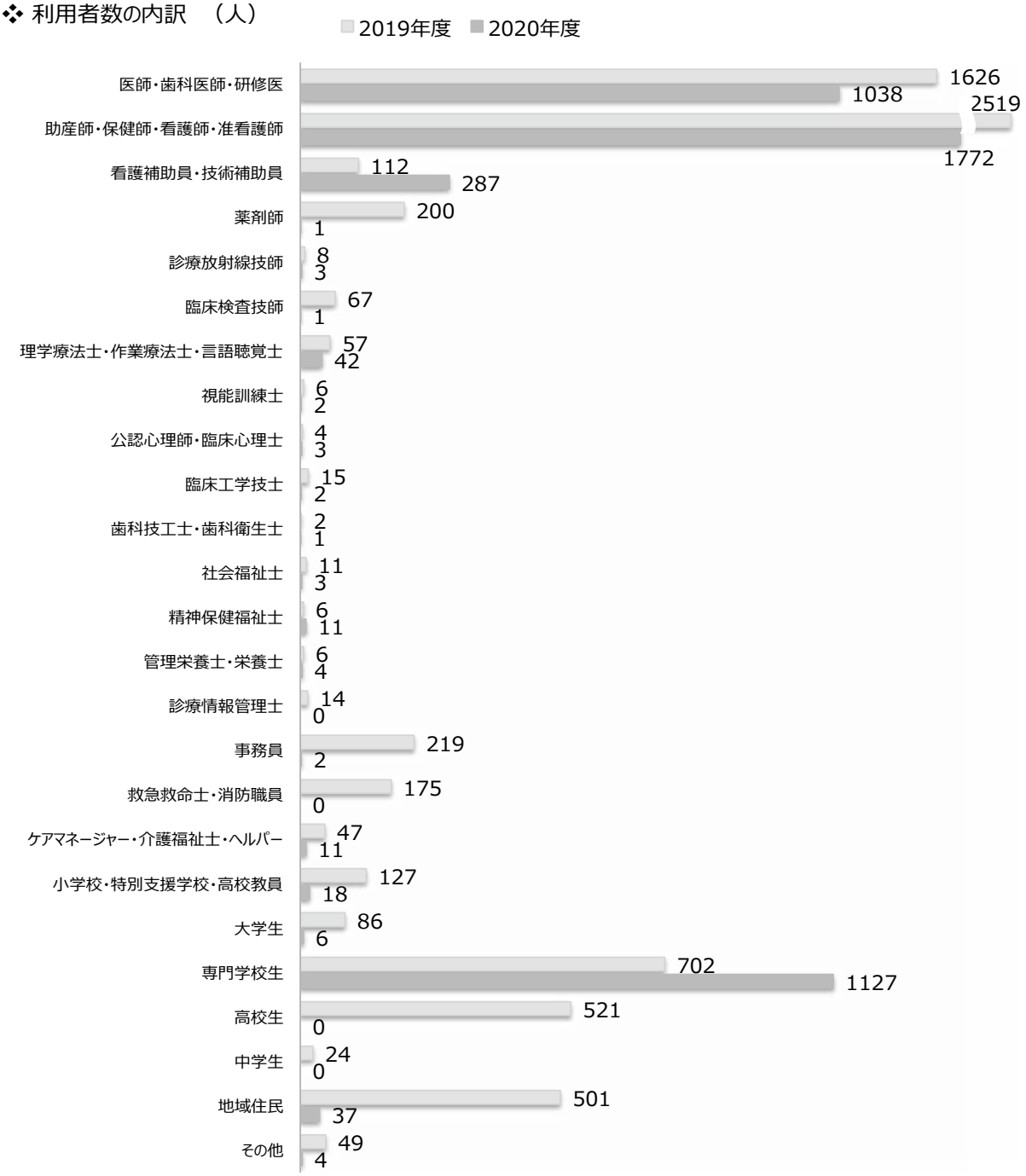
・新規臨床研究の申請件数は、コロナ禍ではありますが、2020 年度も年間 100 件程度（特定臨床研究を含む）で推移しています。当院が研究代表を務める多機関共同介入研究（ランダム化比較試験）も開始されました。

・2020 年度も初期研修医卒業研究への支援を実施し、2021 年２月、院内で卒業研究発表会が開催されました (2 年次 ;29 名)。卒業研究は当院初期研修プログラムの特徴の一つです。

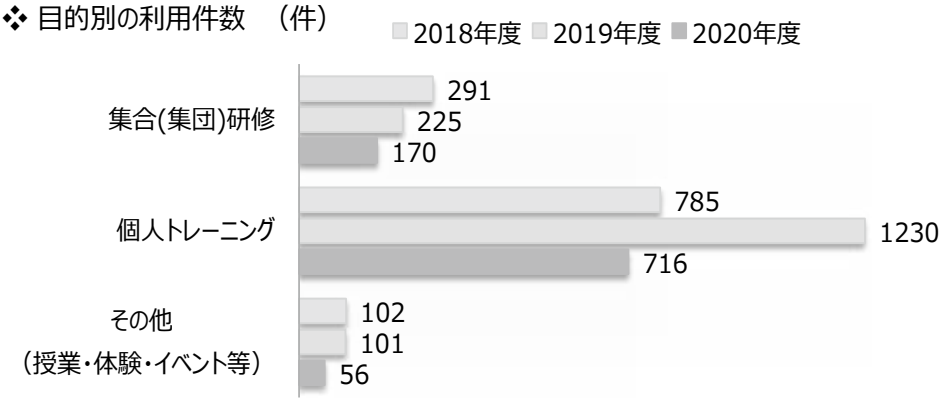
＜ スキルセンター　施設およびシミュレータ機器等の利用状況　（2020年度）＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	176	108	72	42	43	52	65	70	88	91	74	61	942
利用者数 （講師・指導者を除く）	723	303	639	189	449	305	374	336	234	410	318	95	4,375
利用日数	30	31	28	24	27	26	30	29	31	31	28	28	343
利用者数のうち 院外からの利用者数	0	0	0	0	8	7	4	11	29	5	12	0	76
利用件数のうち センター外への機器等持出数	1	4	6	0	4	1	3	2	2	7	5	1	36

❖ 利用者数の内訳　（人）



❖ 目的別の利用件数　（件）

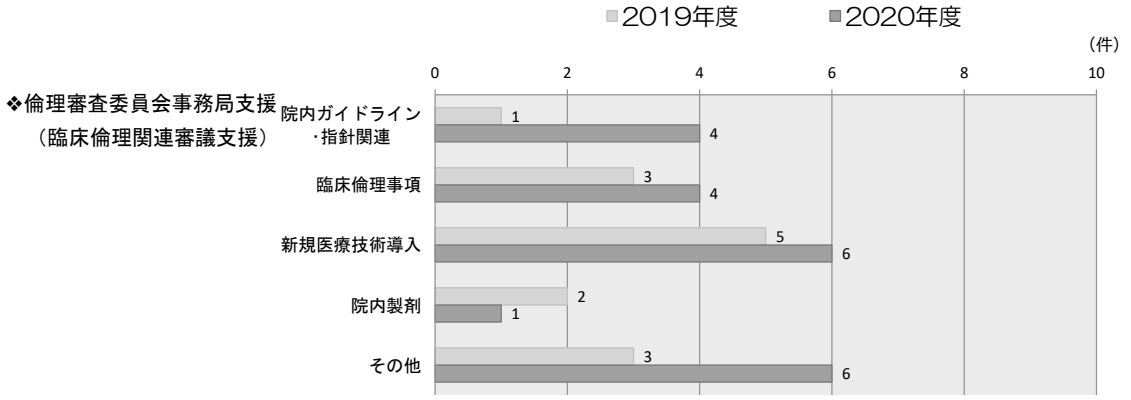


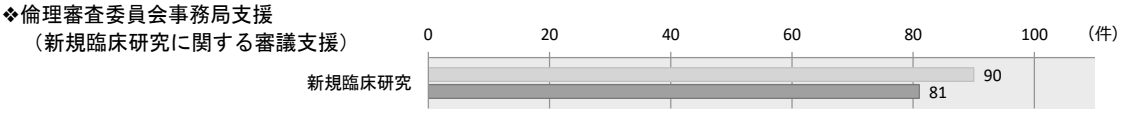
❖ 利用者の利用内容

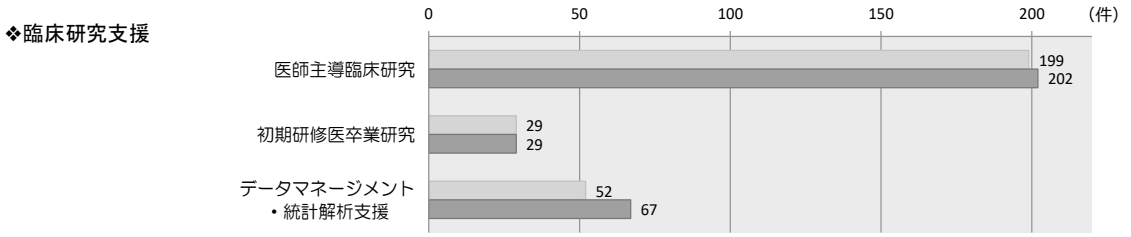
利 用 者	利 用 内 容（教育、研修、授業など）
医　師 歯科医師 研修医	内視鏡手術，縫合･結紮，気管挿管，気管切開，動脈採血，腰椎穿刺，小児手背静脈路確保，骨髄路確保，乳児気管挿管，感染対策技術，血管吻合，卒研ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ，中心静脈穿刺，血管内治療，外科ﾊﾝｽﾞｵﾝ，消化器内視鏡検査，気管支鏡検査，腹部超音波検査，心臓超音波検査，一次救命処置，二次救命処置，JMECC(救急蘇生講習)，生命･医療倫理ｾﾐﾅｰ
助産師 保健師 看護師 准看護師	感染基礎，安全管理基礎，輸液ﾎﾟﾝﾌﾟ･ｼﾘﾝｼﾞﾎﾟﾝﾌﾟの準備と管理，点滴静脈内注射，酸素吸入･吸引，導尿･尿道留置ｶﾃｰﾃﾙ，ｲﾝｽﾘﾝ治療の基礎知識と技術，急変時対応，静脈注射，褥瘡対策･診療計画書と予防対策，DESIN-R評価と治療，死後のｹｱ，一次救命処置，気管挿管の介助，離床の援助，呼吸理学療法の介助，ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ呼吸，ﾒﾝﾊﾞｰｼｯﾌﾟ，ｸﾘﾆｶﾙﾊﾟｽと看護過程，二次救命処置，多重課題ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ，ICLS(蘇生ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ)，身体拘束時の注意と倫理的配慮，産科危機的出血対応，臨床研究ｾﾐﾅｰ，生命･医療倫理ｾﾐﾅｰ
看護補助員 技術補助員	病院機能，身だしなみ，個人情報保護，教育ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ，看護補助員業務，医療安全，接遇，基礎看護技術，感染基礎，ｵﾑﾂ交換とｽｷﾝｹｱ，現場指導者研修，安全な移乗と安楽をもたらすポジショニング，病院食と安全な食事介助，安全に配慮した基本動作と移乗介助方法，コミュニケーション技術，環境を整える，入退院に関する書類とスキャナーが必要な書類，病棟窓口業務，検体･輸血製剤の取扱い，検査の送り迎えで気を付けたいこと，ストレスと上手に付き合い気を楽にする方法，一次救命処置
診療放射線技師･臨床検査技師	安全に配慮した基本動作と移乗介助方法
理学療法士･作業療法士･言語聴覚士	一次救命処置，安全に配慮した基本動作と移乗介助方法，小児急変時対応，生命･医療倫理ｾﾐﾅｰ，
公認心理師	一次救命処置，安全に配慮した基本動作と移乗介助方法
社会福祉士･精神保健福祉士	一次救命処置，安全に配慮した基本動作と移乗介助方法
事務員	一次救命処置，臨床研究ｾﾐﾅｰ
介護福祉士･ヘルパー	喀痰吸引等基本研修
小学校･特別支援学校教員	構音訓練勉強会
大学生	医学生見学，看護学生ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ
専門学校生	附属看護専門学校授業「小児看護」「感染予防」「移乗･移送」「胃管ﾁｭｰﾌﾞ挿入･経管栄養」「ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ呼吸」「統合実習」「老年看護」「静脈血採血」「小児一次救命処置」「静脈内点滴」「注射方法」「救命処置」「酸素療法と吸引」，看護学生ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ
地域住民	運動教室

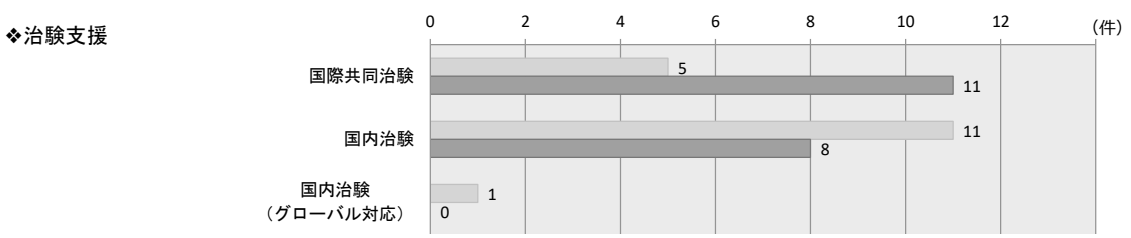
＜臨床研究支援センター　業務支援状況概略　（2020年度）＞

倫理審査委員会 事務局支援	院内ガイドライン･指針関連に関する審議支援（4件）
	臨床倫理関連に関する審議支援（17件） （内訳）　臨床倫理事項（4件）、新規医療技術導入（保険適応内：2件、保険適応外：4件）、 院内製剤（1件）、その他（6件）
	新規臨床研究に関する審議支援（81件）
	第4回 生命･医療倫理セミナー〔外部講師招聘〕（受講者:104名、同DVDｾﾐﾅｰ:97名）
臨床研究支援	医師主導臨床研究（202件）、 初期研修医卒業研究　（29件）
	データマネージメント･統計解析支援（67件）
	研究デザイン･統計コンサルテーション〔外部講師招聘〕（計17回開催、延べ受講者:95名）
	第33回 臨床研究セミナー〔外部講師招聘〕（受講者:56名、同DVDｾﾐﾅｰ:9名）
治験支援	国際共同治験（11件）、 国内治験（8件）









① 2020年度　倫理審査委員会審議状況　（計6回開催）

開催日		審議事項	審議件数
第98回	2020/5/19	院内ガイドライン･指針関連	1
		臨床倫理関連	3
		臨床研究関連 新規申請（7件）、重篤有害事象（2件）、変更申請（21件）、 年次報告（15件）、中止･中断･終了報告（29件）	74
		その他	2
第99回	2020/7/21	院内ガイドライン･指針関連	3
		臨床倫理関連	2
		臨床研究関連 新規申請（17件）、重篤有害事象（5件）、変更申請（5件）、 年次報告（17件）、中止･中断･終了報告（7件）	51
		その他	4
第100回	2020/9/15	臨床倫理関連	3
		臨床研究関連 新規申請（13件）、重篤有害事象（3件）、変更申請（10件）、 年次報告（9件）、中止･中断･終了報告（4件）	39
第101回	2020/11/17	臨床倫理関連	5
		臨床研究関連 新規申請（18件）、重篤有害事象（2件）、変更申請（9件）、 年次報告（10件）、中止･中断･終了報告（11件）	50
第102回	2021/1/19	臨床倫理関連	1
		臨床研究関連 新規申請（8件）、重篤有害事象（1件）、変更申請（6件）、 年次報告（9件）、中止･中断･終了報告（8件）	32
		その他	1
第103回	2021/3/16	臨床倫理関連	3
		臨床研究関連 新規申請（18件）、重篤有害事象（2件）、変更申請（10件）、 年次報告（20件）、中止･中断･終了報告（14件）	64
		その他	1

② 2020年度　臨床研究実施状況（医師主導臨床研究）

（2021/3/31 時点）

部署			研究種別	人を対象とする医学系研究に関する倫理指針		臨床研究法
				（前向き）	（後向き）	（特定臨床研究）
診療局	内科	アレルギー・膠原病内科	当院単独	1	10	
			多施設共同	5	2	3
		血液内科	当院単独	1	3	
			多施設共同	9	6	8
		呼吸器内科	当院単独	1	1	
			多施設共同	7	2	11
		循環器内科	当院単独		14	
			多施設共同	14	6	1
		消化器内科	当院単独		6	
			多施設共同	10	8	4
		腎臓内科	当院単独			
			多施設共同	1	1	
		総合診療内科	当院単独		6	
			多施設共同		1	
		糖尿病代謝内科	当院単独	1	1	
			多施設共同	2		
		感染症科	当院単独		2	
			多施設共同			
	外科		当院単独		4	
			多施設共同	3	1	2
	整形外科		当院単独			
			多施設共同	7	2	
	脳神経外科		当院単独		1	
			多施設共同		1	
	泌尿器科		当院単独		1	
			多施設共同		1	
	産科・婦人科		当院単独			
			多施設共同	1		
	神経精神科		当院単独			
			多施設共同	3	1	
	小児科		当院単独		3	
			多施設共同	2	1	
	救命救急科		当院単独		2	
			多施設共同	2	2	
	心臓外科		当院単独		1	
			多施設共同			
	眼科		当院単独		1	
			多施設共同			
	麻酔科		当院単独		2	
			多施設共同			
	臨床病理科		当院単独			
			多施設共同		2	
	放射線科		当院単独	1		
			多施設共同		3	
	予防医学研究センター		当院単独		4	
			多施設共同			
（小計）			当院単独	5	62	
			多施設共同	66	40	29
（合計） 202件						

③ 2020年度　臨床研究セミナー等の開催状況

	講　師	演　題	区　分	開催日	受講者数
第4回 生命･医療倫理ｾﾐﾅｰ （日本専門医機構認定共通講習）	生命倫理政策研究会 共同代表 勝島 次郎 先生	インフォームド･コンセントの意義と限界 ～自立尊重と医療者の職業倫理について考える～	倫理領域	2020/12/2	104名
第33回 臨床研究ｾﾐﾅｰ	慶應義塾大学 佐藤 泰憲 先生	アンケート調査の計画と解析入門	倫理領域以外	2020/11/16	56名

④ 2020年度　治験実施状況一覧 （2020年4月～2021年3月）

（2021/3/31時点）

	診療科	対象疾患	Phase	デザイン	実施症例 / 契約症例	備考
1	糖尿病代謝内科	糖尿病性腎症	Ⅲ	DBT	4/4	2021/1/4 治験終了
2	アレルギー・膠原病内科	関節リウマチ	Ⅱ/Ⅲ	DBT	4/5	2020/11/6 治験終了
3		関節リウマチ(継続試験)	Ⅲ	OT	4/4	
4		遺伝性血管性浮腫	Ⅲ	OT	1/1	
5		遺伝性血管性浮腫(拡大治験)	Ⅲ	OT	1/1	
6	循環器内科	心不全	Ⅲ	DBT	3/8	
		PCI後再狭窄		OT	0/10	
7		慢性心不全	Ⅲ	DBT	3/3	2020/11/9 治験終了
8		高リポプロテイン血症	Ⅱ	DBT	5/8	
9		高リポプロテイン血症	Ⅲ	DBT	3/5	
10		末梢動脈疾患		OT	10/15	
11		末梢動脈疾患		OT	3/5	
13	腎臓内科	高リン血症	Ⅲ	DBT	0/5	
14	外科	直腸癌患者	ピボダル	SBT	0/4	
15	泌尿器科	膀胱癌	Ⅱ	OT	0/4	
16		前立腺癌	Ⅲ	DBT	4/5	
17	整形外科	骨欠損患者		OT	6/10	2020/6/17 治験終了
18	PET画像診断センター	冠動脈造影検査予定患者	Ⅱ	OT	9/10	2021/3/25 治験終了
19	血液内科	骨髄異形成症候群	BE	SBT	1/3	2021/1/4 治験終了
（計）9診療科、17治験						

附属施設・併設施設

●旭中央病院附属飯岡診療所（2020年度）

2020年度総受診者数は4315人で、1日平均29名の患者さんが受診されています。

受診者数はここ数年変化がありません。

紫村（火曜日）、山田（水曜日）、窪田（金曜日）の3人により、高血圧、糖尿病など慢性期の安定した患者さんを中心に午前のみ診療を行っている。また本院で状態が落ち着いた患者さんへの継続処方の依頼も受けている。

●旭中央病院附属看護専門学校（2020年度）

2020度の卒業生は58名で旭中央病院へ57名が就職、助産師課程への進学が１名でした。2019年12月に始まった新型コロナウイルスの猛威は瞬く間に世界中に広がり、教育現場にも大きな影響を与えました。しかし、どのような状況下であれ、私たち医療に携わる者は、病に苦しむ人々を助けるべく、確かな知識と技術を習得しなければなりません。本校は旭中央病院の附属施設であることから、 実習を中心とした看護師教育には非常に恵まれた看護専門学校であります。多くの看護師養成所が臨地実習を学内演習に代替する中、本校は6月から通常の臨地実習での看護教育が可能となりました。今後も恵まれた環境を活かして、技術だけではなく、教育理念にあります「感じ、考え、自己を見つめ直せる看護実践者」の育成に努めて参る所存です。

Ⅰ　年間行事

月	全体行事	新型コロナウイルスよる変更
４月	９日 (金)　始業 12 日 (月) 入学前オリエンテーション 13 日 (火)　入学式　縮小開催 14 日 (水) 入学後オリエンテーション 15 日 (木) 入学後オリエンテーション 23 日（木）　24 日（金）　３年生ケースレポート発表会	４月 14 日（火）～　臨時休校 ※学校教員の担当する科目を遠隔授業にて実施
5	5/7 日（木）～7/14（火）　臨地実習（3 年生）	臨地実習を学内演習に代替
6		臨地実習再開
7	15 日（水）～ 20 日（月）　基礎実習Ⅰ - ① 18 日 (土)　オープンキャンパス　中止　８・９月縮小開催 22 日 (水)　終業　(夏季休暇　30 日間) 29 日 (水)　高校教員対象学校説明会　例年６月を７月実施	
8	３日 (月) 学校運営会議　例年５月を８月実施 24 日（土）　オープンキャンパス　縮小開催 60 名×２回 26 日 (月)　始業 27 日 (木)　全校避難訓練	
9	９月１日（木）～ 10 月 27 日（火）　臨地実習（3 年生） ９月 19 日（土）　オープンキャンパス　縮小開催 60 名×２回	講師会議　中止 彩花祭　中止 国際福祉機器展見学（1 年生）　中止 東大病理標本室見学（2 年生）　中止
10	17 日 (土)　推薦社会人入試 30 日 (金)　戴帽式　縮小開催	
11	４日 (水) ～ 13 日 (金)　基礎実習Ⅰ② 16 日 (月) ～ 25 日 (火)　基礎実習Ⅱ 26 日（木）～ 12 月 10 日（木）　統合実習（3 年生）	千葉県看護学生研究発表会　中止
12	16 日 (水)　終業　(冬季休暇 20 日間)	
1	６日 (水)　始業 12 日（火）～２月 17 日（水）　臨地実習（2 年生） 12 日（火）　14 日（木）　職員採用試験 15 日 (金)　16 日 (土)　一次入試	
2	12 日 (金)　13 日 (土)　二次入試 14 日（日）　第 110 回看護師国家試験　試験会場：神奈川県 16 日（火）　准看護師試験 12 日（火）　14 日（木）　就職オリエンテーション	
3	５日 (水)　卒業式　縮小開催 17 日 (水)　修了式　(春季休暇　20 日間) 26 日（金）　第 110 回看護師国家試験　合格発表	

Ⅱ　2020年度実施　（2021年　入学者選抜試験）　　54名入学

	指定校推薦	社会人選考	一般一次	一般二次
試験日	10 月 17 日 筆記・面接	10 月 17 日 筆記・面接	1 月 15 日　筆記 18 日　面接	2 月 12 日　筆記 13 日　面接
志願者数	38	9	41	12
受験者数	38	9	37	11
合格者数	30	1	23	4
入学者数	30	0	22	2

Ⅲ　2020年度　学生在籍状況　　4月在籍183名→3月末在籍172名

	在籍数 4 月	在籍数 3 月末	2020 年度退学数
1 年生　　58 回生	60	53	7
2 年生　　57 回生	64	60	4
3 年生　　56 回生	59	59	0

Ⅳ　学校自己点検・評価結果（2020年度）

本校においては2015年度から自己点検・自己評価を実施し、2016年度からホームページにて評価結果の公表、2019年度から学校関係者評価の実施・公表をしております。本校が実施している教育や運営状況を年度毎に振り返り、学校関係者評価委員の客観的な評価を頂きながら教育の質向上に取り組んでまいります。

1．自己評価結果

評価は、厚生労働省の「看護教育自己評価指針」や文部科学省の「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考に、本校に合致した「学校自己点検・自己 評価表」を作成し、それに基づき評価しました。

看護実践者として活躍できる人材育成を使命とし、教育方法を工夫しながら知識・技術の向上に努めてきました。自己点検・自己評価項目は、Ⅰ学校運営　Ⅱ管理運営　Ⅲ教育過程　Ⅳ教育活動　Ⅴ学生生活への支援　Ⅵ入学・卒業対策（入学・教育の成果）　Ⅶ教員資質向上　Ⅷ広報・地域活動　の8の評価内容に分類し、50の小項目評価について、実施しています。評価は4段階とし、4が良い、3がやや良い、2がやや不十分、1が不十分の評価となります。

2020年度　自己評価結果

平均値の比較	2020 年度	2019 年度	2018 年度	2017 年度	2016 年度	2015 年度
Ⅰ学校運営	3.60	3.40	3.47	3.10	2.93	2.30
Ⅱ管理運営	3.16	3.11	3.08	2.76	2.78	2.65
Ⅲ教育課程	3.38	3.10	3.32	3.11	3.21	2.79
Ⅳ教育活動	3.15	3.11	3.21	3.05	2.91	2.59
Ⅴ学生生活支援	3.34	3.25	3.20	3.00	2.94	2.86
Ⅵ入学・卒業対策	3.12	3.19	3.23	2.78	2.89	2.75
Ⅶ教員の資質向上	2.48	2.28	2.00	2.00	1.97	1.58
Ⅷ広報・地域活動	3.19	3.30	3.07	2.88	2.55	2.26
総平均点	3.17	3.09	3.07	2.83	2.77	2.47

2．全体評価・課題

自己点検・自己評価を実施し6年が経過する。2018年度を境に評価点3.0ポイント以上の項目が増えている。特に「Ⅰ学校経営」「Ⅲ教育課程」「Ⅴ学生生活への支援」のポイントが上昇している。学校のビジョンを教員各々が自分の教育活動に落とし込み、教育理念の浸透した看護師を育てようという意識をもって教育に当たってきた成果であるといえる。およそ10年ごとに社会背景に配慮した看護基礎教育の見直しがなされるが、第5次指定規則改正の決定を受けて取り組んでいる新しいカリキュラムを編み出す作業が「Ⅰ学校経営」「Ⅲ教育課程」の評価点上昇に繋がったといえる。

今年度は新型コロナウイルスに翻弄された1年であり、教育の質を保障することに苦慮したが、「Ⅲ教育課程」（0.28ポイント↑）の評価点が上っているのは、母体病院の臨地実習支援と感染予防対策の実施により学びを止めることなく継続できた結果であると考える。

「Ⅶ教員の資質向上」は過去6年を見ても評価点が3.0以下である。2020年度は2.48ポイントであったが、前年度よりも0.20ポイント上がっている。今年度の重点課題として、授業研究を導入した結果といえる。今後も継続して、教育力の向上を図っていく。

18歳人口の減少と大学化の影響により受験者数の減少が懸念されるため、専門学校の生き残りをかけて当校のブランド作りや広報戦略など、入り口のマネジメントを強化していく。また、卒業生追跡評価等による出口のマネジメントも進めていく。

評価結果をもとに、課題の明確化を図り目標を掲げ、今後も学校全体で学校運営、教育の充実に努めていく。

３．大項目別評価・課題

Ⅰ学校運営　3.40（2019年度）⇒3.60（2020年度）

2019年度と比較し4項目においてポイントが上っている。新型コロナウイルス感染により2度にわたって緊急事態宣言が出されたが、学びを止めない学びの保障を実践できた。また教育理念・教育目標と教育活動に一貫性を持たせる努力が図られている。学校関係者評価委員会による評価では「ほぼ適切」という評価がなされた。2022年度から運用されるカリキュラム編成に取り組む機会が、自校のカリキュラム評価の機会にもなっている。社会の求める看護師の育成に向けて理念と教育目的との一貫性、教育内容と教育課程の一貫性を図っていく。

Ⅱ管理運営　3.11⇒3.16

第二期中期計画に基づき適切な財政基盤のもとで学校運営がなされている。今年度は感染症対策のためのＩＣＴ教育の充実が課題となり、ホームページに学生専用ページを増設したが、ネット環境に課題は残る。あわせて個人情報管理と倫理配慮に関しての問題は生じていないが、更なる慎重な対応は必要である。母体病院の大講堂等を臨時教室とし、三密回避に努めて授業を行い感染予防ができているが、3学年の教室が離れ交流は少ない。教職員の任用に関しては、人事交流システムの運用により学校と臨床との循環が図れている。2021年度千葉県看護教員養成講習会への受講者も決定している。引き続き教員確保と教育の質向上を図っていく。

Ⅲ教育課程　3.10⇒3.38

2021年8月末を期限にカリキュラムの編成に取り組んでいる。多くの実習を母体病院で実施できているため、実習指導者委員会の協力のもとコロナ禍にあっても6月から臨地実習を再開できた。実習指導においては人権を侵害するような事案は生じていないが、共に学ぶ共育を目指して臨床と連携をとっていく必要がある。

Ⅳ教育活動　3.11⇒3.15

今年度は感染症対策のための休校があり時間割変更が余儀なくされた。そのため、2019年度に比較し3項目においてポイントが下がっている。しかし、講師の協力もあり年度内のカリキュラムは終了できている。自らの授業実践を顧みるためのデータとして授業評価を実施しているが、授業改善は教員個人の努力に期待している部分が大きい。意味あるデータを集めるために質問項目の検討を図っていく。実習場でのインシデントに関しては学生の学習機会とするとともに、安全な実習環境の整備として教員によるインシデント分析を今後も実施していく。2022年度は人事交流制度導入後、初めて交流看護師が学校から臨床に戻る年である。学校で培った教育力を新人教育や実習指導、患者教育で発揮してくれることを期待する。

Ⅴ学生生活への支援　3.25⇒3.34

学校負担で抗体検査やワクチン接種を実施している。また、学校カウンセラーによるカウンセリングにより学生の心身の健康に努めている。メンタルヘルスに不調をきたす学生が多かったため、教員による面談を適宜実施し学業継続の支援を図ってきた。卒業生支援としてのホームカミングデイは感染対策から開催できなかった。卒業生全員が母体病院への就職が決まったため、卒後教育への移行支援策の強化が課題である。

Ⅵ入学・卒業対策3.19⇒3.12

18歳人口の減少と大学化に伴い、専門学校の志願者は全国的に減少している。今年度は学生募集活動がコロナ感染により十分にはできなかったが、感染予防対策下でのオープンキャンパスを2回実施した。感染の収束がまだ見込めないため、次年度はホームページをリニューアルしアクセス数の増加を狙っていく。志願動機の薄さからの退学が増えているため、アドミッションポリシーに適う学生の選抜方法の検討が必要である。また、看護を学ぶ中での看護学生としての小さな日々の成長を、教員がともに喜び分かち合う姿勢が動機づけの強化に繋がると考える。国家試験対策としては合格率4年連続100％を目指して、成績別個別支援を実施している。低学年からの学習支援策については評価・検討していく。過去5年間にわたり【就職先での評価】項目は2.5以下である。卒業生の就職後の評価（ディプロマポリシー）を得るシステムが整っていないため、カリキュラム編成の中で構築していく。

Ⅶ教員の資質向上　2.28⇒2.48

教員の学習機会は、コロナ感染により研修中止やオンデマンドが多かったことに加え、コロナ対応のカリキュラム運営により教員の自己研鑽に費やす時間の確保が難しかった。しかし、カリキュラム編成会議の場が教員の学習の機会となっている。今年度は重点課題として授業研究の構築を進めてきた。システムが作られ全教員が授業研究を行い、共に学び合う場となった。引き続き、授業研究を継続していく。

Ⅷ広報・地域活動　3.30⇒3.19

コロナ禍による社会活動の抑制に伴い、行事の中止や地域との交流の場が絶たれた年であった。地域社会貢献活動として千葉県赤十字社による献血に継続協力している。また、看護学生としてコロナ禍だからこそできる社会貢献を模索し、学生ボランティア活動が始まった。季節の壁面制作物を作成して病棟に提供し、喜んでいただけた。今後はさらに地域に出向いたボランティア活動を検討していく。学校の存続には学校の存在を地域及び県外に周知させていくことが重要となる。学校紹介ＰＶを活用していくとともに、新たな広報活動も考える。新たな活動としては看護学生雑誌への学生記事の掲載が決まっている。

Ⅴ　学校関係者評価（2020年度）

本校は、2015年度から学校評価(学校自己点検・運営評価)を年に一度実施し、公表しています。2019年度からはこれに加え、本校が実施している教育や運営状況を学校関係者評価委員会の客観的評価を頂きながら教育の質向上に取り組み始めました。

〔評価委員〕

①関連業界等関係者

太田　仁　　：地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院　総務人事課長

大塚　玲子　　：地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院　看護局長

②卒業生

林　恭子　　：旭中央病院附属看護専門学校　同窓会長

③教育に関し知見を有する者

河合　節子　　：旭中央病院附属看護専門学校　前学校顧問

1）学校運営　　※評価は４段階（適切、ほぼ適切、やや不適切、不適）

【現状と課題】

評価項目 (中項目)		項目ごと	全体
1	目標の策定	適切	ほぼ適切
2	教育目標の設定と分析	ほぼ適切	
3	学校評価の実施	ほぼ適切	
4	学校づくりと教育内容の充実	ほぼ適切	
5	組織統一性	ほぼ適切	

【関係者評価】

	評価	ご意見　等
学校運営に関する評価	ほぼ適切	・全項目で評価が高くなっており努力が伺える。特に学校づくりの向上を高く評価する。 ・教育理念、目標を各教科の目標に落とし込み、一貫性のある教育に向け計画、実施されている。 ・教育目標の周知はされており、教育理念に沿った介入ができている。 ・教育理念､教育目標をもって取り組まれていることは良いが､新カリキュラム編成の完成に向けて頑張ってほしい。

2）管理運営

【現状と課題】

	評価項目 (中項目)	項目ごと	全体
6	適正な予算執行の進行管理	ほぼ適切	ほぼ適切
7	法令順守・個人情報の保護	ほぼ適切	
8	教職員の確保	ほぼ適切	
9	情報のシステム化	ほぼ適切	
10	危機管理体制	ほぼ適切	
11	施設設備・教材の妥当性	ほぼ適切	
12	図書室の整備	ほぼ適切	
13	学生意見の反映	ほぼ適切	
14	厚生設備の整備	ほぼ適切	

【関係者評価】

	評価	ご意見　等
管理運営に関する評価	ほぼ適切	・学生の意見の反映に課題あり。 ・有資格者の充足に繋がるシステム構築を期待している。 ・感染対策の取り組みを行い、教育面ではネット環境に課題は残るが可能な範囲で実施されていた。 ・感染症対策に十分な配慮がなされていた。 ・予算や設備に制約はあるが、更なる改善を進めてほしい。 ・学内、学生住宅でのネット環境について検討が必要である。

3）教育課程

【現状と課題】

評価項目 (中項目)		項目ごと	全体
15	教育課程の評価	ほぼ適切	ほぼ適切
16	授業計画書の妥当性	ほぼ適切	
17	単位認定の公平性	適切	
18	実習環境・指導体制の妥当性	ほぼ適切	
19	実習における倫理的配慮	適切	
20	学生指導上の倫理的配慮	ほぼ適切	

【関係者評価】

	評価	ご意見　等
教育課程に関する評価	ほぼ適切	・全項目で評価が高くなっており努力の跡がみえる。 ・教育風土のある実習施設の下で実習教育がされている。 ・各担当教員が領域で何を学ばせたいか、講師及び実習担当者と協議を重ねることでシラバスも充実されてくると思う。 ・コロナ禍であるが内容を変更し学内で取り組むことができた。また、感染対策を行い臨地実習も再開できた。 ・人事交流システムを活かして更に良い実習環境を進めていきたい。 ・コロナ禍の中で創意工夫して努力していることが感じられる。

4）教育活動

【現状と課題】

評価項目 (中項目)		項目ごと	全体
21	時間割の妥当性	ほぼ適切	ほぼ適切
22	指導方法・内容の妥当性	ほぼ適切	
23	不合格者への対応	ほぼ適切	
24	授業担当者の妥当性	ほぼ適切	
25	学生による授業評価	ほぼ適切	
26	インシデントの把握・分析	ほぼ適切	
27	実習指導の役割分担と協働	ほぼ適切	

【関係者評価】

	評価	ご意見　等
教育活動に関する評価	ほぼ適切	・指導方法については適宜振り返りがされている。 ・科目担当講師の多さに関しては引き続き調整が必要かと思う。 ・時間割変更等、教員も大変であったと思う。臨床での体験ができなかったことは残念でしたが、コロナ禍であり仕方ないと思われる。 ・コロナ禍の中で創意工夫して努力していることが感じられる。

5）学生生活への支援

【現状と課題】

評価項目 (中項目)		項目ごと	全体
28	心身の健康管理	ほぼ適切	ほぼ適切
29	学生相談の実施	ほぼ適切	
30	学業継続の支援体制	ほぼ適切	
31	卒業生支援	ほぼ適切	
32	自主活動支援	ほぼ適切	
33	保護者との連携	ほぼ適切	

【関係者評価】

	評価	ご意見　等
学生生活への支援に関する評価	ほぼ適切	・卒業生２名の早期退職者がいるため、就職先との一層の情報共有に努めてほしい。 ・クラス担任を窓口に健康管理相談、学業支援体制はできている。情報の共有を図りながら今後も継続してほしい。 ・面接や日々の行動を観察し、配慮されていると思う。 ・熱意をもって細やかに支援されている。卒業生にとって、先生方が近くにいてくれているという安心感がもてる。 ・支援に向けた努力がみられる。

6）入学・卒業対策

【現状と課題】

評価項目 (中項目)		項目ごと	全体
34	学生募集と受け入れ	ほぼ適切	ほぼ適切
35	学生選抜の妥当性	ほぼ適切	
36	学校説明会	適切	
37	国家試験対策	ほぼ適切	
38	中途退学の防止	ほぼ適切	
39	卒業生支援	ほぼ適切	
40	卒業生の質向上	ほぼ適切	
41	就職先での評価	やや不適切	

【関係者評価】

	評価	ご意見　等
入学・卒業支援に関する評価	ほぼ適切	･大学化の中で学生募集、説明会の実施、選抜の工夫など尽力されている。 ・卒業生像を視野に入れた段階的な目標を検討されると良いと思う。 ・就職後の評価を得るシステムを構築して頂きたい。 ・学校説明会、教員説明会は有用である。 ・国家試験対策に力を入れ、高い合格率を維持している。 ・卒業生の支援や就職先評価は難しいと思うが取り組んでいってほしい。 ・学校ガイダンスの他、高校訪問など認知度を上げる努力が必要である。

7）教員資質向上

【現状と課題】

評価項目 (中項目)		項目ごと	全体
42	教員による授業研究評価	ほぼ適切	ほぼ適切
43	研修等の成果の共有	ほぼ適切	
44	研究調査活動	ほぼ適切	
45	臨床研修	ほぼ適切	

【関係者評価】

	評価	ご意見　等
教員資質向上に関する評価	ほぼ適切	・研究調査活動が低い評価ですので、学会活動とリンクする形で取り組んでほしい。 ・全教員が授業研究に取り組み、相互評価の場を設けたことは努力の賜物と思われる。継続することで今後も教育の質向上に寄与できると思う。 ・教員の学習する機会が少なかったと思いますが、できることをされ自己研鑽されていたと思う。 ・コロナ禍の中で資質の向上は難しいとは思うが努力を続けてほしい。

8）広報・地域活動

【現状と課題】

評価項目 (中項目)		項目ごと	全体
46	学校広報活動	適切	ほぼ適切
47	ホームページ	ほぼ適切	
48	関係団体の事業協力	ほぼ適切	
49	施設開放	ほぼ適切	
50	協力関係の確立	ほぼ適切	

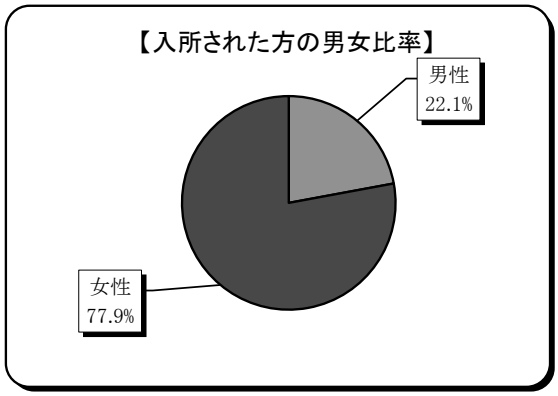
【関係者評価】

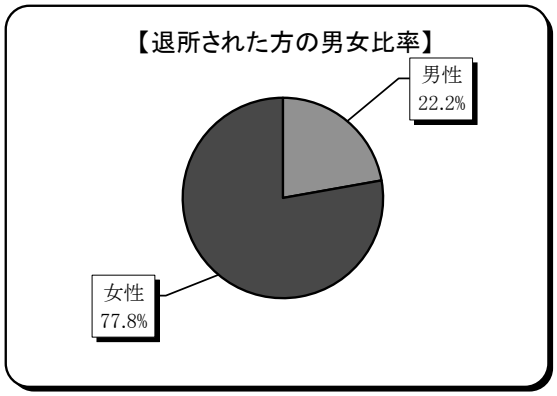
	評価	ご意見　等
広報・地域活動に関する評価	ほぼ適切	・コロナ禍の状況においてホームページの工夫、雑誌への掲載など努力されている。 ・コロナ禍で活動が制限されている中、広報活動を考え実践されていたと思う。今後も PR 活動を継続してほしい。 ・学生のボランティア活動が始まり、今後に期待がもてる。 ・広報活動の努力は見られる。 ・ホームページ機能のリニューアルを検討していく必要がある。

●介護老人保健施設シルバーケアセンター（2020年度）

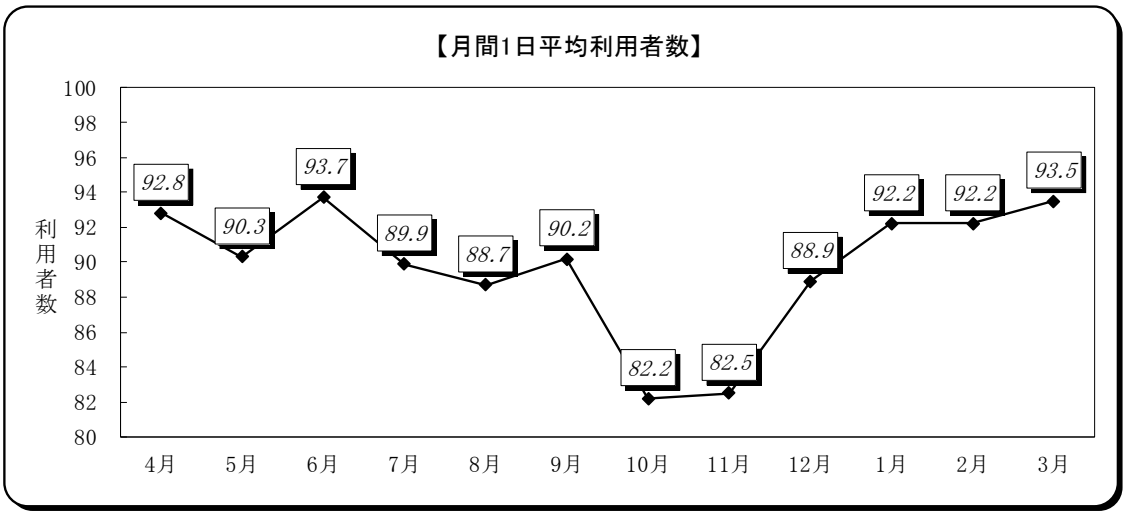
1.『介護老人保健施設』『短期入所療養介護』の利用状況

【入所された人数】男性110名　女性388名　合計498名　【退所された人数】男性111名　女性389名　合計500名

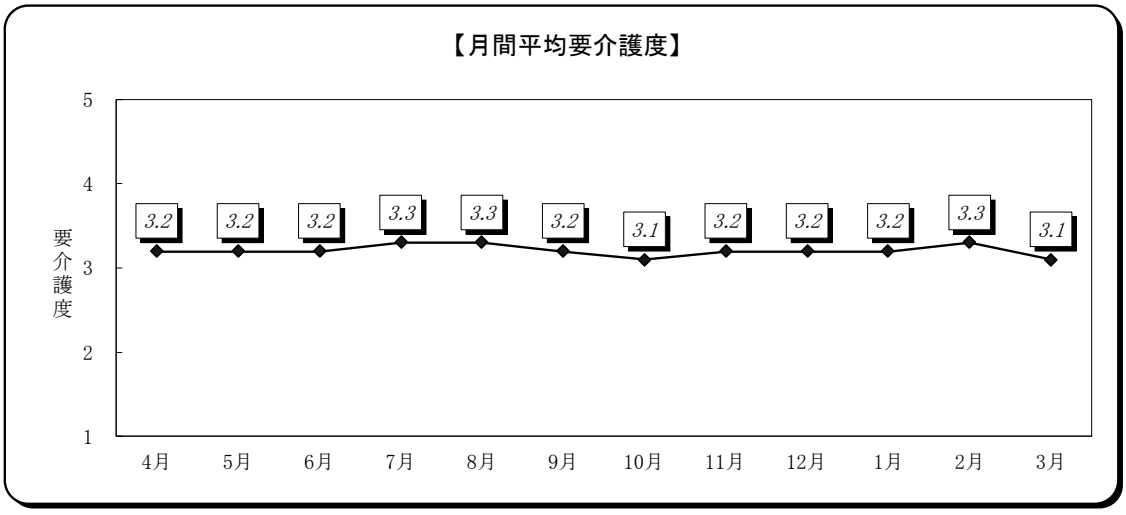




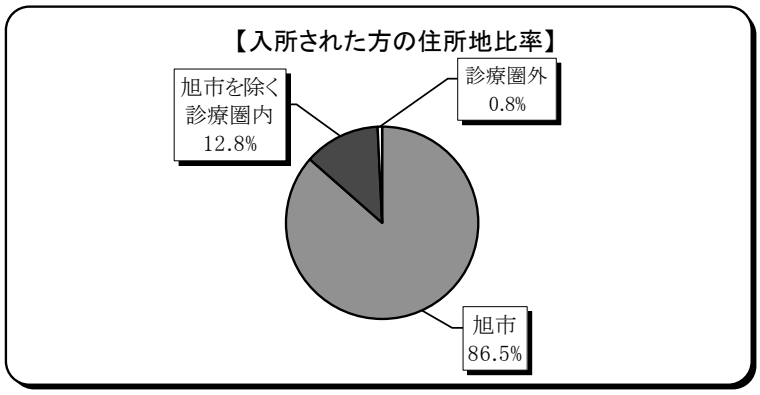
【年度内1日平均在所者数】89.8名



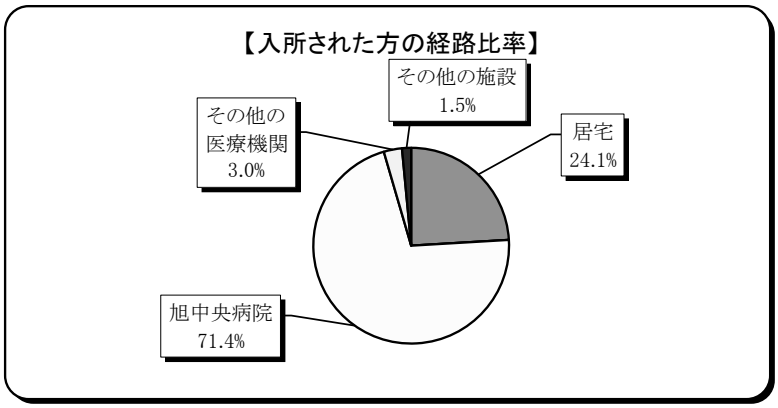
【老健年度内平均要介護度】3.21



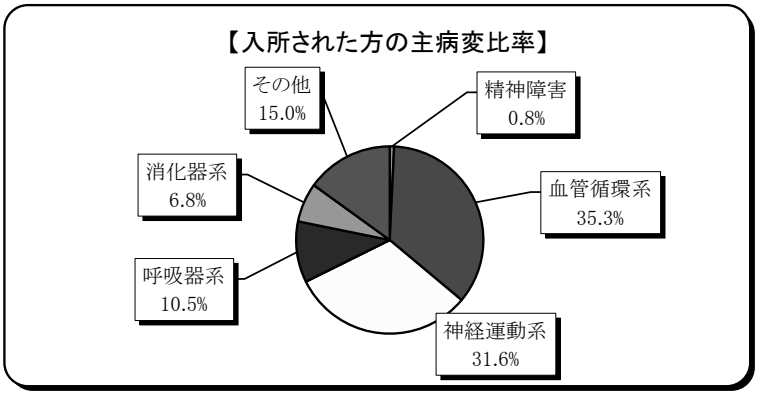
【老健入所された方の住所地】
旭市　115名
旭市を除く診療圏内　17名
診療圏外　1名



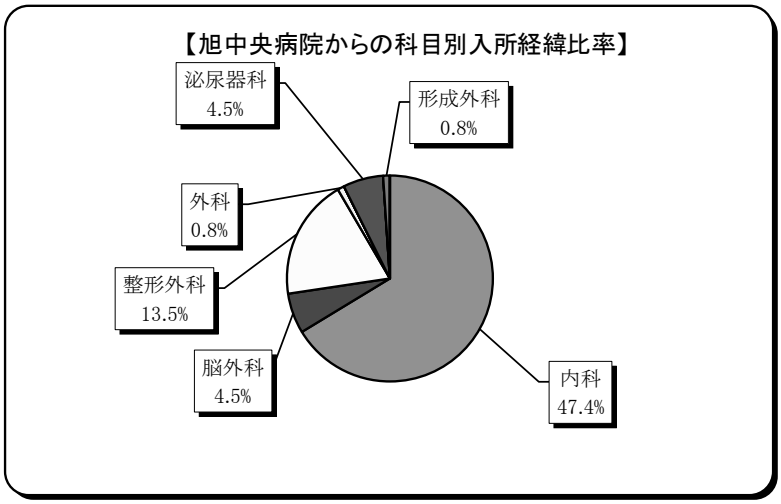
【老健入所された方の経路】
家庭　32名
介護保険施設　0名
旭中央病院　95名
その他の医療機関　4名
その他の施設　2名



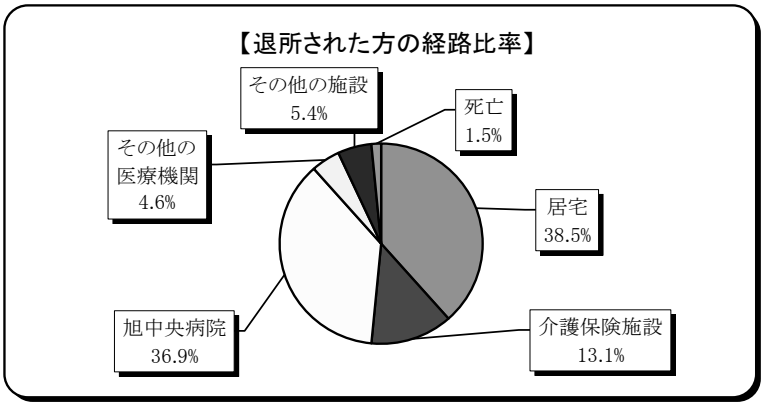
【老健入所された方の主病変】
精神障害系　1名
血管循環系　47名
神経運動系　42名
内分泌系　0名
呼吸器系　14名
消化器系　9名
その他　20名
上記の内特定疾病(2号被保険者）1名
【2号被保険者＝40歳以上65歳未満の利用者】

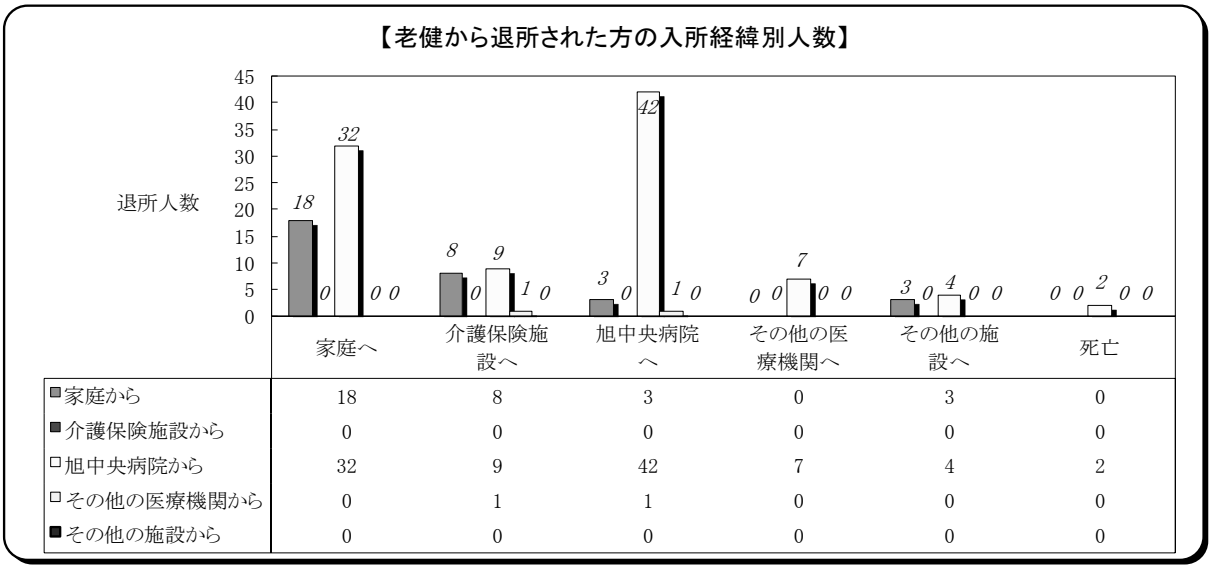


【旭中央病院からの科目別老健入所経緯】
内科　63名
脳外科　6名
整形外科　18名
外科　1名
眼科　0名
耳鼻科　0名
泌尿器科　6名
精神科　0名
心臓外科　0名
形成外科　1名
麻酔科　0名
皮膚科　0名
婦人科　0名

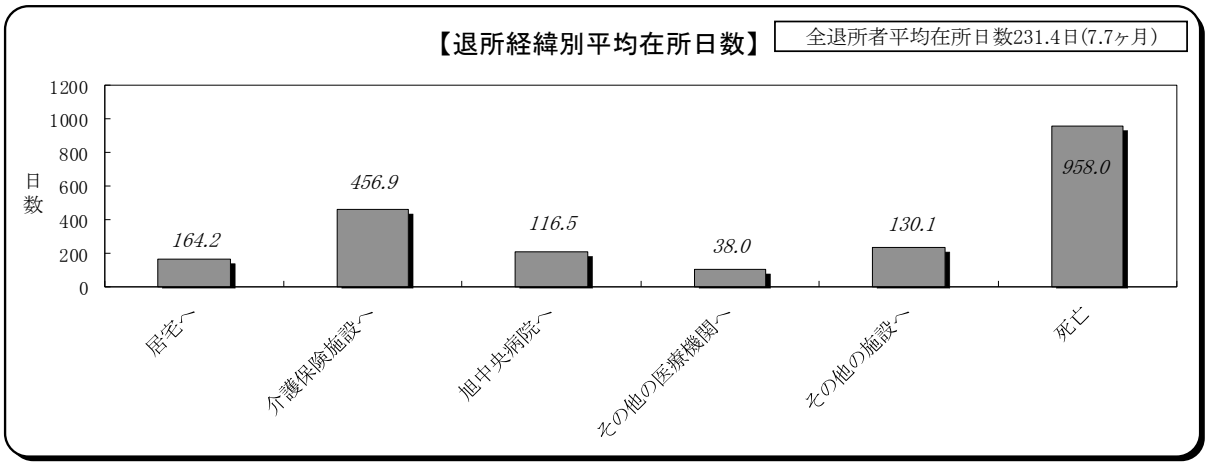


【老健から退所された方の経路】
家庭　50名
介護保険施設　17名
旭中央病医院　48名
その他の医療機関　6名
その他の施設　7名
死亡　2名

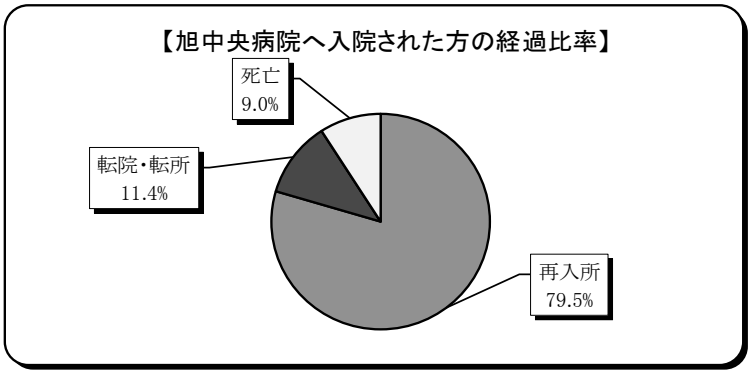




	家庭へ	介護保険施設へ	旭中央病院へ	その他の医療機関へ	その他の施設へ	死亡
家庭から	18	8	3	0	3	0
介護保険施設から	0	0	0	0	0	0
旭中央病院から	32	9	42	7	4	2
その他の医療機関から	0	1	1	0	0	0
その他の施設から	0	0	0	0	0	0

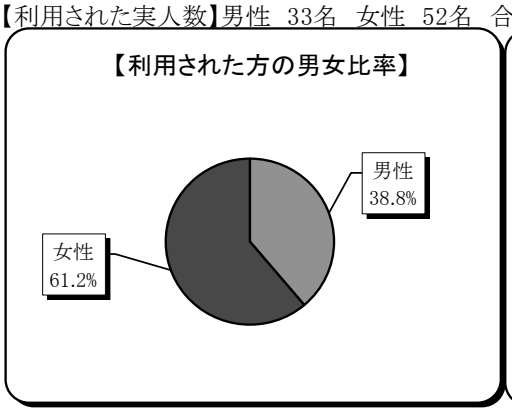


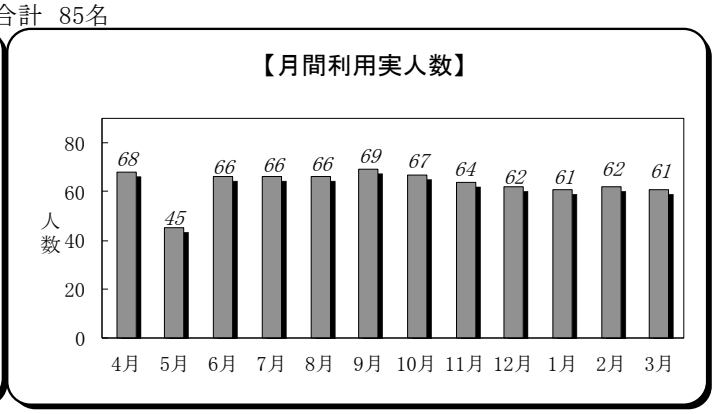
【老健から旭中央病院へ入院された方の経過】
当施設へ再入所　35名
他の医療機関・施設へ転院・転所　5名
自宅へ退院　0名
死亡　4名



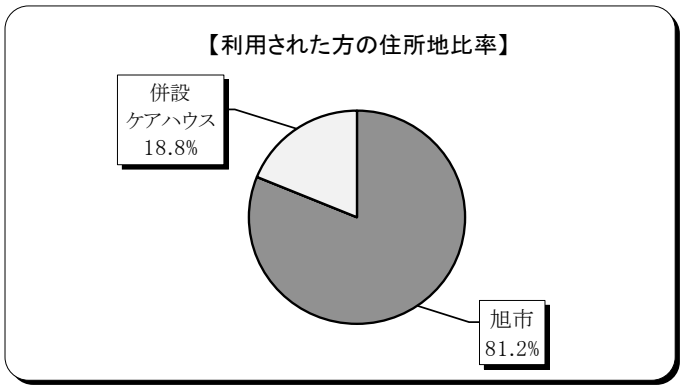
2.『通所リハビリテーション』の利用状況

【利用された実人数】男性 33名 女性 52名 合計 85名

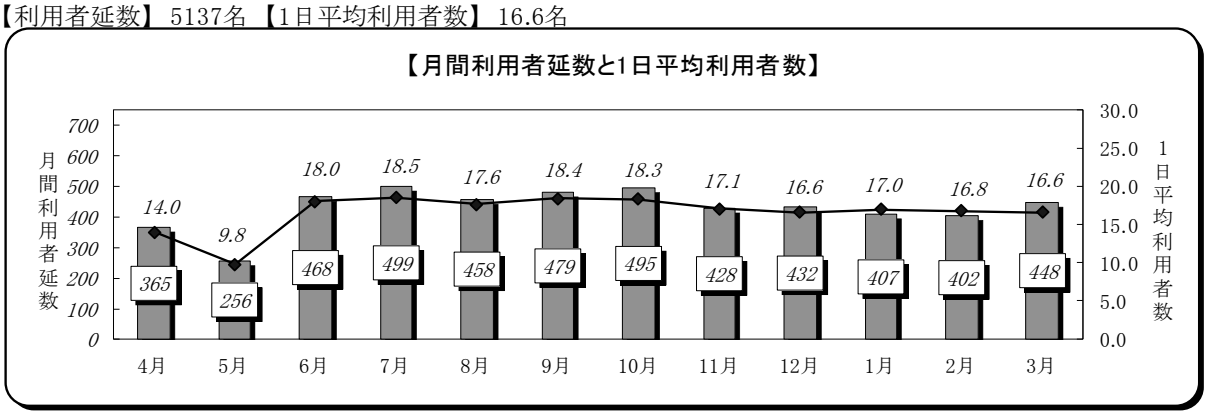




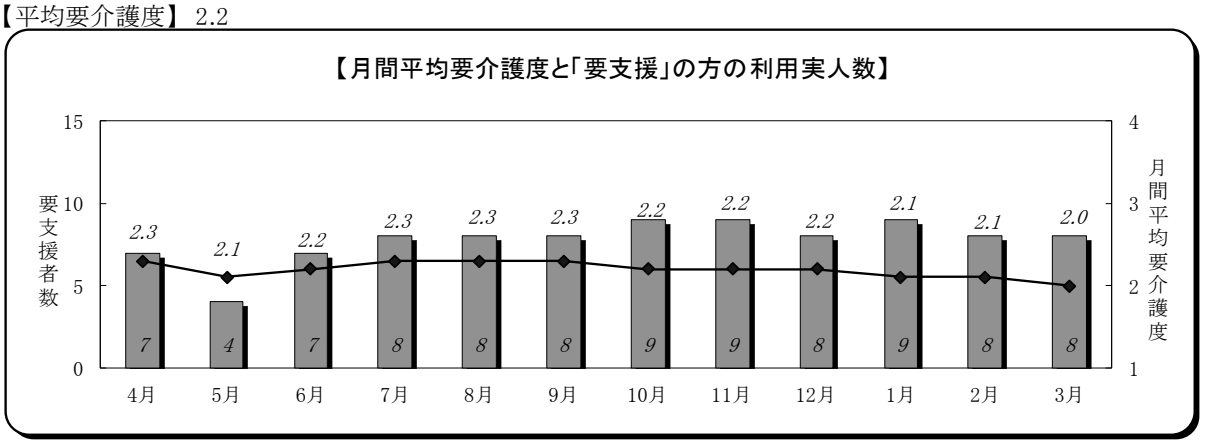
【利用された方の住所地】
旭市 69名
旭市を除く診療圏内 0名
診療圏外 0名
併設ケアハウス 16名



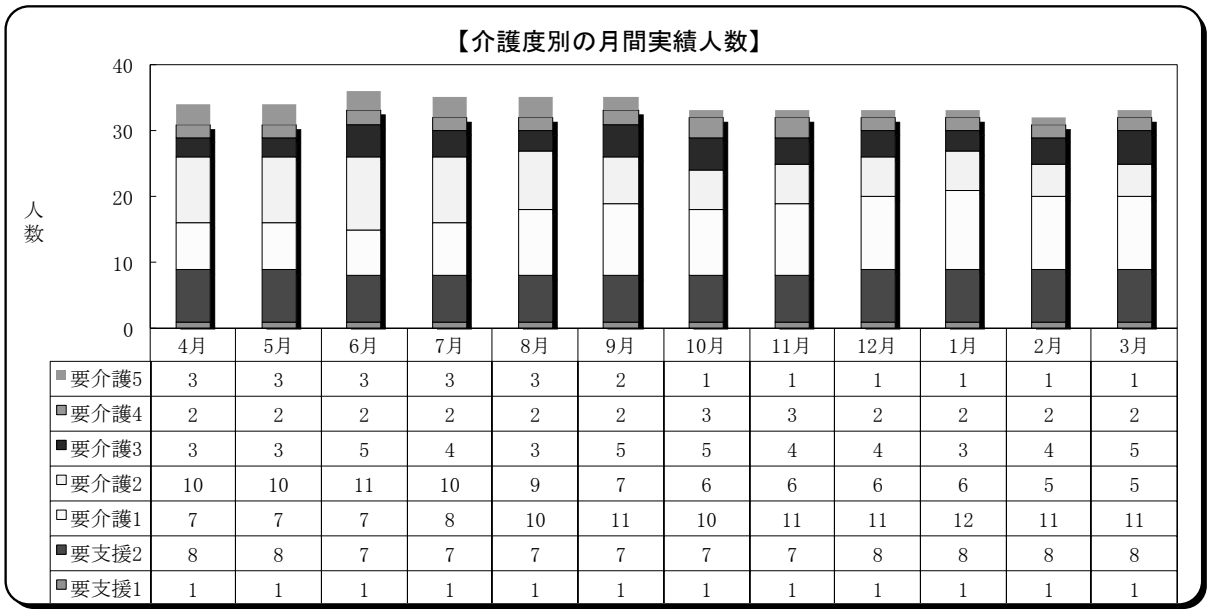
【利用者延数】 5137名 【1日平均利用者数】 16.6名



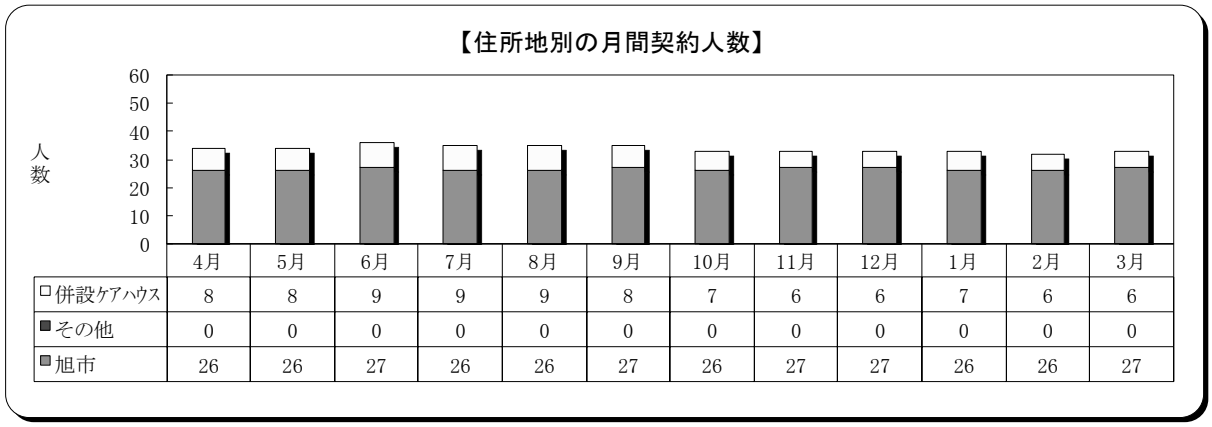
【平均要介護度】 2.2



3.『居宅介護支援』の利用状況



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護5	3	3	3	3	3	2	1	1	1	1	1	1
要介護4	2	2	2	2	2	2	3	3	2	2	2	2
要介護3	3	3	5	4	3	5	5	4	4	3	4	5
要介護2	10	10	11	10	9	7	6	6	6	6	5	5
要介護1	7	7	7	8	10	11	10	11	11	12	11	11
要支援2	8	8	7	7	7	7	7	7	8	8	8	8
要支援1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
併設ケアハウス	8	8	9	9	9	8	7	6	6	7	6	6
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旭市	26	26	27	26	26	27	26	27	27	26	26	27

〈集計注釈〉
①『介護老人保健施設』と『短期入所療養介護』における「利用人数」については、1人の方が複数回利用された場合はその回数で集計した。
②『通所リハビリテーション』における「利用された方の住所地」については、ケアハウスが併設であるため、その特殊性からケアハウスからの利用については単独で集計した。その他、実際の住所地と現在生活している場所の住所地が異なる方は、現在生活している住所地より集計した。
②『介護予防短期入所療養介護』と『介護予防通所リハビリテーション』の実績についてはそれぞれ『短期入所療養介護』と『通所リハビリテーション』へ包括した。
③「要介護度」については各月末時点での要介護度で集計した。

●養護老人ホーム東総園・特別養護老人ホーム東総園（2020年度）

主な行事及びクラブ活動

①　季節毎の行事

	養護老人ホーム	特別養護老人ホーム
春	ひな祭り	
夏	お盆法要　納涼会	
秋	敬老会 (敬老の祝い)	
冬	クリスマス会　新年会　節分	

②　クラブ活動

養護老人ホーム	特別養護老人ホーム
習字　華道	習字　生け花

■　養護・特養事業状況

①　職員の状況　　**(2021 年 3 月 31 日現在)**

職種	養　護	特　養
※施設長	1	1
※事務長	1	1
生活相談員 （社会福祉士）	1 （1）	1 （1）
事務職員	1	2
看護職員	1	3
介護職員 （介護福祉士）	7 （7）	23 （21）
管理栄養士	1	1
嘱託医	2	2
その他	1	3
計	16	37
総人員	53	

※両施設兼務

② 保険者　措置実施機関別利用者数　(2021 年 3 月 31 日現在)

保険者名 措置実施機関	養護				特養			
	男	女	計	前年度	男	女	計	前年度
旭市	11	10	21	24	7	33	40	39
匝瑳市	0	1	1	1	0	0	0	0
銚子市	1	0	1	1	0	0	0	0
香取市	0	0	0	1	0	1	1	1
多古町	0	1	1	1	0	0	0	0
成田市	0	1	1	1	0	0	0	0
合計	12	13	25	29	7	34	41	40

③ 年齢構成　(2021 年 3 月 31 日現在)

年齢別	養護			特養		
	男	女	計	男	女	計
64 以下	0	0	0	0	0	0
65 ～ 69	0	0	0	2	0	2
70 ～ 74	4	2	6	0	1	1
75 ～ 79	2	0	2	0	0	0
80 ～ 84	4	3	7	0	9	9
85 ～ 89	2	5	7	0	8	8
90 ～ 94	0	4	4	2	9	11
95 ～ 99	0	3	3	0	9	9
計	12	17	29	4	36	40
平均年齢	78.8	87.5	83.9	80.2	89.3	88.4
前年平均年齢	77.8	87.5	83.5	82.3	90.1	89.1

④ 月別要介護認定状況　(2020 年 4 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
養護	3.0	3.0	3.0	3.0	3.1	3.1	3.1	3.1	3.2	3.1	3.1	3.2	3.3
特養	3.9	3.9	3.9	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9

⑤　入退所状況　　(2020 年 4 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日)

入　所　経　路			退　所　経　路		
在宅から	養　護	特　養		養　護	特　養
独　居	2	2	入院先での逝去	1	
同　居		3	園内での逝去	2	6
グループホーム			他の施設へ	4	
ケアハウス		1	自宅（家族）復帰		
			社会復帰		
			病院		5
他の施設から　養護		3			
特養					
老健	1	3			
病院					
合　計	3	12		7	11

■　在宅支援事業状況 (2020 年 4 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日)

①　短期入所生活介護

事業規模

	養　　護	特　　養
専用ベッド数	6 床	2 床
1 日当たりの平均利用数	0.85 人	0.40 人
利用率 延べ利用者数／専用ベッド数× 365 日	14.2%	20.3%

利用状況

	利用人数	延べ日数	月平均利用日数
特　養	6	148	12.3 日
養護 (基準該当)	13	311	25.9 日
生活管理 (旭市)	2	12	1 日

②　居宅介護支援 (介護予防含む)

年間延べ人数	月平均人数
1,201	100.0

●ケアハウス東総園(2020年度)

1.入退居状況

	退　居		退居後	入　居		入居前（居住地）
2020年4月	1名	女：81歳	入院先にて死去	1名	女：93歳	シルバーケアセンター（旭市）
9月	2名	女：92歳 女：89歳	入院先にて死去 入院先にて死去	2名	女：95歳 女：93歳	シルバーケアセンター（旭市） シルバーケアセンター（旭市）
10月	2名	女：84歳 女：91歳 （死去）	入院先にて死去	2名	女：91歳 女：91歳	自宅（旭市） 自宅（旭市）
12月	1名	女：81歳	家族と同居	1名	女：77歳	自宅（旭市）
2021年1月	1名	女：81歳	家族と同居	1名	女：85歳	介護老人保健施設（旭市）
3月	3名	女：81歳 女：99歳 女：82歳	シルバーケアセンターへ入所 療養型病院へ入院 療養型病院へ入院	3名	女：94歳 男：87歳 女：77歳	自宅（旭市） 自宅（旭市） シルバーケアセンター（旭市）
計	10名 (男0名・女10名)			10名 (男1名・女9名)		

2．入院・入所状況　延べ13名（2020年4月1日～2021年3月31日）

	病名	入院先
女性	脳出血	8階西病棟
女性	左乳がん	5階西病棟
女性	肺炎	11階西病棟
女性	転倒による受傷	シルバーケアセンター
女性	転倒による受傷	シルバーケアセンター
女性	細菌性肺炎	6階東病棟
女性	肺炎	1-5病棟
女性	蜂窩織炎の増悪	シルバーケアセンター
男性	腸閉塞	9階東病棟
女性	左大腿骨転子部骨折	シルバーケアセンター
女性	慢性腎不全	1-5病棟
男性	麻痺性イレウス	9階西病棟
女性	腎盂腎炎	9階東病棟

3．介護度別要介護認定者(2021年3月31日現在・全入居者数40名)

要支援1	5名
要支援2	8名
要介護1	11名
要介護2	4名
要介護3	2名
要介護4	1名
合　　計	31名

4．市町村別入居状況(2021年3月31日現在)

市町村名等	入居者数
旭市	28名
匝瑳市	1名
東庄町	1名
銚子市	2名
その他（県内）	4名
その他（県外）	4名
合計	40名

5．年齢別・男女別入居者数 (2021 年 3 月 31 日現在)

	55 ～ 64	65 ～ 69	70 ～ 74	75 ～ 79	80 ～ 84	85 ～ 89	90 ～	計
男	1	0	1	1	3	3	1	10
女	0	0	1	2	3	9	15	30
計	1	0	2	3	6	12	16	40

	男	女	全体
平均年齢	81.7	89.3	87.4

6．2020 年度実施行事

2020 年 4 月	季節のごはん（食事会）　モーニング（食事会）　そばの会　お茶会
5 月	バーベキュー（食事会）　パンの日（食事会）　お茶会
6 月	やきそばの会（食事会）　たこ焼きパーティー（食事会）　わなげ大会　お茶会
7 月	季節のごはん（食事会）　ランチの日（食事会）　パフェの会　お茶会
8 月	そうめんの会（食事会）　メロンソーダの会　納涼会　花火大会　わなげ大会と盆踊り　お茶会
9 月	敬老会（食事会）　お茶会
10 月	開園記念日祝膳（食事会）　ラーメンの日（食事会）　バザー　ハロウィン仮装大会　お茶会
11 月	お好み焼きの日（食事会）　秋の運動会　健康チェック（1 回目）　お茶会
12 月	芋煮会（食事会）　忘年会（食事会）　ビンゴゲーム大会　クリスマス会　年越しそばの日（食事会）　年越しゲーム大会　お茶会
2021 年 1 月	新年会（食事会）　新年ゲーム大会　鍋の日（食事会）　お茶会
2 月	節分の日（食事会）　おでんの日（食事会）　お茶会
3 月	ひなまつりの日（食事会）　健康チェック：２回目　ごほうび会（食事会）　お茶会

7．クラブ活動 (2021 年 3 月現在)

（抜粋）

ラジオ体操

みんなでフラダンス

ミニゲーム大会

ピアダンス（ボランティア講師）

編み物（ボランティア講師）

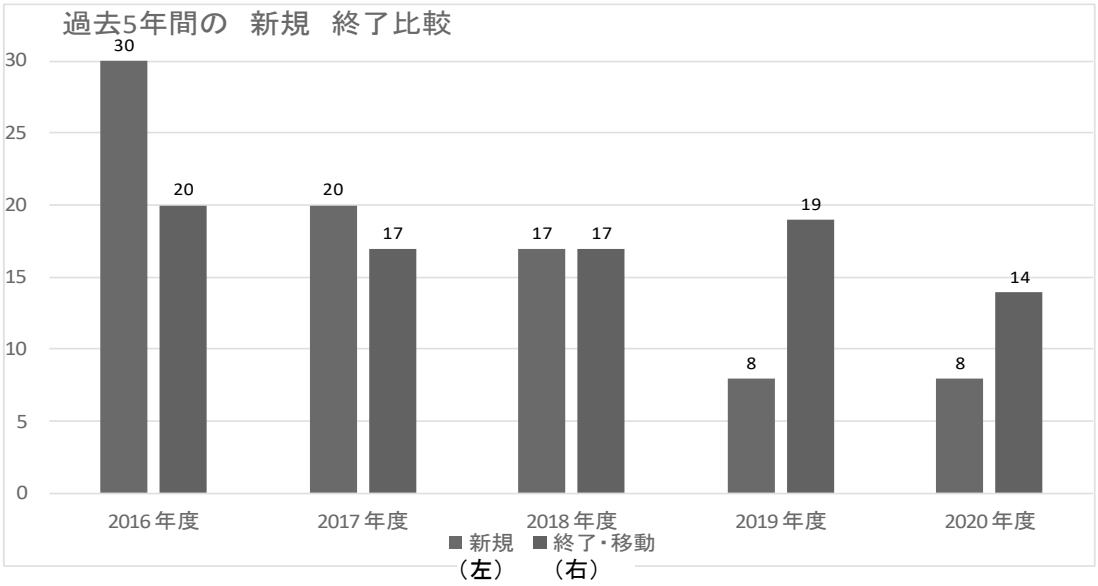
8. その他

令和２年度は、新型コロナウイルスの流行状況を踏まえながら、施設運営の方向性や園内イベント等の開催有無を模索する状況であった。同年 11 月には職員の異動があり、新しい生活相談員を迎えた。ここ近年の特徴として、平均年齢を見ても全体で 87.4 歳となっており、入居者の高齢化が進行している印象を受ける。また入居申込者数に関しても、新型コロナウイルス流行の影響を受けたこともあり、例年より少ない印象を受けた。また空室予定が発生し待機者の方へお声掛けしても、感染のリスクから集団生活は避けたいとのことで、入居を保留としたいといった回答を頂くケースも多々あった。今後の流行状況にもよるが、できる限り入居者数の現状維持に努めていきたいと考える。また老健併設として、シルバーケアセンターとの連携をさらに強化しつつ、病院側からの受け入れなど病床管理の面でも貢献をしていけるようにしていきたいと考える。

●訪問看護ステーション 旭こころとくらしのケアセンター(AKK) (2020年度)

年度ごとの比較(2017～2020年度)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
平均登録者数(最多)	139.7(143)	140.4(144)	132.2(139)	127(130)
看護職員数	7	6	6	(6)5.5
延べ訪問回数	5828	5245	4733	4062
精神科訪問看護基本療養費算定数(算定率)	5305(91.0%)	4787(91.2%)	4362(92.1%)	3741 (92.1%)
複数名加算(4500円)	107	44	79	88
退院支援指導加算	5	5	1	1
看護師一人当たりの年間訪問件数(人月当たり)	757件(63.2)	797件(66.5)	727件(60.5)	680件(56.6)
看護師1名当たりの受け持ち利用者数	19.9人	23.4人	22人	23人



24時間対応体制（　2017～2020年度　）

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
算定件数	1540件	1529件	1452件	1324件
算定料金（全収入に対する比率）	3,850,000（6.7%）	9,785,600（16.9%）	9,438,000（17.7%）	8,473,600（18.1%）
看護師1名当たりの待機の回数（月）	5.7回	6.6回	6.6回	7.2回

24時間対応体制　2021年3月

登録者数	122名
24時間対応体制同意者数	122名
24時間対応体制加算の算定者数	108件
24時間対応体制の利用者数	15名
1か月の対応件数（電話連絡 相談）	90件
職員1名あたりの待機の数	約9.75回
緊急の訪問対応の件数	0件

2020 年 10 月で開設 11 年目を迎えた。

2020 年度は COVID の感染を危惧された利用者さまの訪問頻度の減少、看護師 2017 年度７名より５名となったことも影響し、11 月ころから新規利用者の受け入れを停止・訪問件数も前年の 85.8%と減少した。

2021 年度は看護師 4 名で対応し、規模の縮小もやむを得ない状況である。

近隣の精神障害に対応している訪問看護ステーションが増加してきているが、重症者や 24 時間対応できるステーションは少なく、精神科地域医療への役割は大きい。

また、COVID の感染拡大　地域での陽性者・濃厚接触者の在宅療養者の増加などにより保健所の業務ひっ迫・医療崩壊がすでに始まっており、訪問看護ステーションの対応も必要とされている。

まずは、この危機的な状況をなんとか乗り切っていきたい。

文責　　河口　成富

旭中央病院年報　２０２０

第20号

2021年12月17日　印刷
2021年12月24日　発行

発行所　総合病院　国保旭中央病院
千葉県旭市イ1326番地
http://www.hospital.asahi.chiba.jp/
発行者　吉　田　象　二
印刷所　株式会社　豊文堂